

板橋区多文化共生実態調査報告書

2015年3月

板橋区 文化・国際交流課

板橋区多文化共生実態調査報告書 目次

第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査実施の概要	3
第2章 調査結果の要約	9
1 外国人区民調査	9
2 日本人区民調査	11
第3章 調査結果の分析／アンケート編	15
I 外国人区民調査	15
1 回答者の基本属性について	15
(1) 性別・年齢	15
(2) 国籍	19
(3) 婚歴	21
(4) 就業形態	23
(5) 在留資格	25
(6) 居住地域・居住形態	27
(7) 同居者	31
(8) 居住年数	34
(9) 板橋区の住みやすさ	37
(10) 板橋区での定住意向	42
2 ことばについて	45
(1) 日常会話のできる外国語	45
(2) 日本語能力	46
(3) 日本語に関する困りごと	49
(4) 日本語の学習	51
(5) 日本語学級の認知度	57
(6) 日本語教室	59

3	地域での生活や活動について	63
(1)	地域でのつきあいの程度	63
(2)	日本人とのつきあい	65
(3)	外国人どうしのつきあい	70
(4)	日本人とのトラブル	75
(5)	地域活動	76
(6)	困っていることや心配なこと	89
4	災害など緊急時の対応について	96
(1)	災害時に不安なこと	96
(2)	避難場所等の認知度	98
(3)	災害に関する活動への参加意向	101
(4)	災害対策のニーズ	104
(5)	避難時の心配ごと	107
5	子育てや教育について	110
(1)	子どもの状況	110
(2)	子どもの学校生活について	112
(3)	子育て、教育の悩み	115
6	地域の外国人との共生について	121
(1)	多文化共生事業の認知について	121
(2)	板橋区の交流事業に期待するもの	122
(3)	東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待すること	124
(4)	多文化共生について	125
(5)	偏見や差別	135
7	自由回答（抜粋）	140

II 日本人区民調査145

1	回答者の基本属性について	145
(1)	性別・年齢	145
(2)	婚歴	147
(3)	就業形態	148
(4)	居住地域・居住形態	150
(5)	同居者数	154
(6)	区内居住年数	156
(7)	板橋区の住みやすさ	157
(8)	板橋区での定住意向	160

2	ことばについて	163
(1)	日常会話のできる外国語	163
(2)	日本語教室	164
3	地域での生活や活動について	166
(1)	地域でのつきあいの程度	166
(2)	外国人とのつきあい	167
(3)	外国人増加の実感	173
(4)	外国人とのトラブル	176
(5)	地域活動	177
(6)	近所に外国人が住むことについて	186
(7)	外国人が生活ルールを理解するための重要事項	189
(8)	外国人増加の利点・欠点	193
4	災害など緊急時の対応について	205
(1)	災害時に不安なこと	205
(2)	避難場所等の認知度	207
(3)	災害に関する活動への外国人の参加	210
(4)	災害対策のニーズ	215
(5)	避難時の心配ごと	219
5	子育てや教育について	222
(1)	子どもの状況	222
(2)	子育て、教育の悩み	225
6	地域の外国人との共生について	228
(1)	多文化共生事業の認知について	228
(2)	板橋区の交流事業に期待するもの	229
(3)	東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待すること	230
(4)	多文化共生について	231
(5)	偏見や差別	243
7	自由回答（抜粋）	248

第4章 参考資料 _____ **253**

1	アンケート調査 送付資料一式	253
---	----------------	-----

第1章 調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

板橋区では、区内在住の外国人が1万8千人を超えている現状を踏まえ、国籍や民族のちがいを認め合い、だれもが安心して暮らせる「多文化共生のまちづくり」を推進している。

本調査は、地域での実情や区民ニーズを把握し、今後の行政サービスに調査結果を役立てることを目的に実施した。

2 調査実施の概要

区内の外国人区民3,000人、日本人区民2,000人を対象に、地域生活や活動状況、区民ニーズ等について把握するために、アンケート調査を実施した。

(1) 調査期間

平成26年12月20日(土)～平成27年1月9日(金) [21日間]

(2) 調査の方法

郵送によるアンケート調査票の配付、アンケート調査票に直接回答を記入してもらい、返信用封筒で郵送にて回収した。また、調査協力へのお礼と回収率の向上を図るため、調査票の発送約1週間後に「お礼状兼ご協力のお願いのハガキ」を全対象者に配付した。

(3) 調査対象と抽出方法

調査対象	外国人区民調査	区内に居住する20歳以上の男女 3,000人
	日本人区民調査	区内に居住する20歳以上の男女 2,000人
抽出方法	外国人区民調査	住民基本台帳から単純無作為抽出
	日本人区民調査	

(4) 発送物

外国人区民調査 (3,000 票)	調査のお願い、調査票、周知チラシ※、返信用封筒※		
	【言語別の内訳】		
	①外国語 3,000 票	中国語	1,560 票
		ハングル	720 票
		英語	480 票
タガログ語		240 票	
②日本語ルビ付き	3,000 票		
日本人区民調査 (2,000 票)	調査のお願い、調査票、周知チラシ※、返信用封筒※		

※「周知チラシ」「返信用封筒」は、外国人、日本人区民調査共に同じ内容

(5) 回収結果

①回収率

外国人区民調査 21.5%、日本人区民調査 39.7%

②配布状況

	外国人区民調査	日本人区民調査	備考
配布数(票)	3,000 票	2,000 票	
不達数(票)	73 票	8 票	宛先不明分
有効配布数(票)	2,927 票	1,992 票	(配布数)-(不達数)

③回収状況

	外国人区民調査	日本人区民調査	備考
回収数(票)	630 票	790 票	
無記入・回答拒否数(票)	1 票	3 票	
有効回収数(票)	629 票	787 票	
有効回収率(%)	21.5%	39.7%	(有効回収数)÷(有効配布数)×100 ※小数第二位を四捨五入

(6) 外国人回答者の国籍について

本報告書では、外国人区民調査の全設問において国籍別のクロス集計結果を掲載しているが、回答者数と分析の精度の都合上、外国人区民調査問 37 の回答結果をもとに、以下の5つのカテゴリ区分を用いている。

- ・韓国、朝鮮： 問 37 で 1.韓国、朝鮮を選択した人。
- ・中国： 問 37 で 2.中国を選択した人。
- ・フィリピン： 問 37 で 9.フィリピンを選択した人。
- ・その他のアジア：問 37 で 5.バングラデシュ、6.タイ、7.ネパール、11.マレーシアを選択した人、及び 12.その他の記述内容がイラン、インドネシア、カンボジア、シンガポール、台湾、ベトナム、香港も含む。※台湾、香港は在留カードの区分に準じ、“その他のアジア”に振り分けている。
- ・その他： 問 37 で 4.米国、8.英国、10.ブラジルを選択した人。12.その他の記述内容が上記以外の人。

(7) 調査結果の集計表・グラフについて

- ・回答の構成比(%)は、各設問の母数(n)を基数とした百分率(%)で表示してある。
- ・百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、構成比の合計が 100%にならない場合がある。
- ・クロス集計、分析では、表側項目の無回答を除いて集計しているため、各項目の母数の合計が全体の母数と一致しない場合がある。
- ・以下に本調査の母比率(母集団＝外国人・日本人のそれぞれの比率)を推定するために用いる標本誤差の早見表を示す。(ただし信頼度 95%とする。)

結果の% サンプル数	10% (又は90%)	20% (又は80%)	30% (又は70%)	40% (又は60%)	50%
1,500	±1.55%	±2.07%	±2.37%	±2.53%	±2.58%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
500	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
250	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

第2章 調査結果の要約

第2章 調査結果の要約

1 外国人区民調査

(1) 日本語学習

- 日本語能力において、「よくできる」と「まあまあできる」を合わせた割合は、話すことについては76.9%、読むことについては70.1%、書くことについては63.9%となっており、書くこと、読むこと、話すことの順に難易度が高くなっている。
- 日本語に関して困ることは、「とくにない」が39.1%と最も高くなっているが、具体的な困りごととしては「漢字の読み書き」が32.3%、「役所、病院での説明の理解」が30.2%、「新聞、雑誌などの読解」が28.8%と高くなっている。
- 現在の日本語の学習状況は、「学んでいる」が32.3%、「学んでいない」が65.0%となっている。国籍別にみると、全ての国籍で「学んでいない」が「学んでいる」を上回っているが、「学んでいる」は「中国」、「その他」が他の国籍と比較してやや高くなっている。
- 現在日本語を学習している203人の学習方法を聞いたところ、「新聞、雑誌、映画などを利用した独学」が最も高く39.4%、次いで「日本語学校」が28.1%、「職場」が21.2%の順になっている。また、「役所の日本語教室」については3.0%、「ボランティアなどによる日本語教室」は9.9%となっている。

(2) 災害などの緊急時の対応

- 災害時に不安なことは、「家族の安否」が最も高く69.5%、次いで「通信手段が遮断し、連絡がとれない」が57.7%、「食料品の確保」が45.3%の順になっている。
- 避難場所等の認知度は、「よく知っている」が11.3%、「すこし知っている」が37.2%、「聞いたことはある」が21.0%で、合わせた認知度は69.5%となっている。
- 災害活動に関する参加意向は、「おおいに参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた割合は、〈町会等の活動〉については65.5%、〈避難場所での通訳〉については63.9%、〈外国人どうしの協力体制づくり〉については61.4%となっている。
- 板橋区への災害対策ニーズは、「おおいに望む」、「どちらかといえば望む」を合わせた割合をみると、〈マニュアル等の配布〉は78.7%、〈防災訓練〉は67.1%、〈協力体制づくり〉は74.4%、〈情報を伝える体制づくり〉は78.6%、〈FMラジオ〉は69.5%となっている。

(3) 子育てや教育

- 小・中学校に通っている子どもと暮らしている親に学校生活についての困りごとについて聞いたところ、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、〈学校からの通知や連絡が理解しにくい〉が 19.1%、〈子どもが日本の生活習慣を理解しにくい〉が 5.6%、〈子どもが授業内容を理解しにくい〉が 9.0%となっている。
- 子育て、教育の悩みは、〈子どもの教育費が高い〉が最も高く、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、56.3%、次いで〈子どもをあずける所が見つからない〉が 43.7%、〈就職のとき不利にならないか心配〉が 32.8%の順になっている。

(4) 地域での生活や活動

- 地域でのつきあいの程度は、「個人的なことについて相談できる人がいる」が 32.6%、「世間話をする人がいる」が 21.9%、「あいさつする程度の人がある」が 28.9%、「つきあいのある人はいない」が 14.5%となっている。
- 地域でのつきあいがあると回答した人に日本人とのつきあいについて聞いたところ、「個人的なことについて相談できる人がいる」が 31.6%、「世間話をする人がいる」が 24.2%、「あいさつする程度の人がある」が 33.1%、「つきあいのある人はいない」が 8.6%となっている。
- 今後の日本人とのつきあいの意向は、「個人的なことを相談するくらい」が 37.8%、「世間話をするくらい」が 42.9%、「あいさつするくらい」が 15.4%、「つきあいたくない」が 0.6%となっている。
- 地域活動の参加状況は、〈町会、自治会等の行事〉に「よく参加している」または「ときどき参加している」と解答した人の割合は 21.9%。同様に〈PTA等の活動〉は 17.9%、〈お年寄り等の支援活動〉は 2.4%、〈趣味等の活動〉は 15.6%、〈国際交流等の活動〉は 6.7%となっている。
- 地域活動への参加意向は、「積極的に参加したい」が 11.8%、「機会があれば参加したい」が 63.3%、「あまり参加したくない」が 13.4%、「参加したくない」が 9.2%となっている。

(5) 地域の外国人と日本人との共生

- 板橋区の多文化共生事業についての認知度は、「とくになし」が 64.5%で最も高くなっているが、全体から「とくになし」を除くと、“日本語が話せない板橋区内外国人のための「語学ボランティア制度」”が 15.3%で最も高く、次いで“「外国人による日本語スピーチ大会」”が 11.4%、“弁護士などの専門家による「外国人相談会」”が 10.2%の順になっている。
- 板橋区の交流事業について期待するものは、「国際平和」が 54.5%で最も高く、次いで「区民交流」が 36.4%、「青少年交流」が 33.2%の順になっている。
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待することは、「多文化共生についての理解促進」が 48.0%で最も高く、次いで「日本人との交流の場の増加」が 41.7%、「語学ボランティアの育成」が 41.3%の順になっている。

- 「多文化共生のまちづくり」を進めていくにあたってしたいことは「おおいにしたい」と「機会があればしたい」を合わせると、〈日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉は 85.2%、〈母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する〉は 73.6%、〈地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する〉は 72.8%となっている。
- 多文化共生に関して日本人に望むことは、「おおいに望む」と「どちらかといえば望む」を合わせると、〈外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉は 79.8%、〈外国人の住民と言葉をかわす〉は 74.7%、〈日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する〉は 74.9%、〈外国語を習得するようにつとめる〉は 63.6%、〈国際交流の行事に参加する〉は 71.9%となっている。

2 日本人区民調査

(1) 日本語学習

- 日本語教室の認知度は、「よく知っている」が 1.5%、「すこし知っている」が 4.6%、「聞いたことはある」が 19.1%で、合わせると 25.2%となっている。
- ボランティアの日本語教師の参加意向は、「おおいにやってみたいと思う」が 2.0%、「機会があればやってみたいと思う」が 19.8%で、合わせると 21.8%となっている。

(2) 災害や緊急時の対応

- 災害時に不安なことは、「家族の安否」が 85.1%、次いで「水道・電気・ガスが止まること」が 79.0%、「食料品の確保」が 70.0%となっている。
- 避難場所等の認知度は、「よく知っている」が 23.9%、「すこし知っている」が 43.2%、「聞いたことがある」が 16.3%で、合わせた認知度は 83.4%となっている。
- 外国人への災害活動のニーズは、「おおいに望む」と「どちらかをいえば望む」を合わせた割合は、〈町会等の活動〉は 89.5%、〈避難場所での通訳〉は 80.2%、〈外国人どうしの協力体制づくり〉は 82.4%となっている。
- 板橋区への災害対策ニーズは〈マニュアル等の配布〉では、「おおいに望む」、「どちらかといえば望む」を合わせると、90.4%、同様に、〈防災訓練〉は 82.0%、〈協力体制づくり〉は 86.8%、〈情報を伝える体制づくり〉は 85.8%、〈FM ラジオ〉は 79.0%となっている。

(3) 子育てや教育

- 子育て、教育の悩みは、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、〈子どもの教育費が高い〉が最も高く、57.2%となっており、次いで〈子どもをあずける所が見つからない〉が 51.8%、〈相談する人、場所がない〉が 20.3%などの順になっている。

(4) 地域での生活や活動

- 地域でのつきあいの程度は、「個人的なことについて相談できる人がいる」が16.1%、「世間話をする人がいる」が17.3%、「あいさつする程度の人がある」が22.4%、「つきあいのある人はいない」が43.8%となっている。
- 地域でのつきあいがあると回答した人に外国人とのつきあいについて聞いたところ、「個人的なことについて相談できる人がいる」が4.1%、「世間話をする人がいる」が11.2%、「あいさつする程度の人がある」が21.2%、「つきあいのある外国人はいない」が59.0%となっている。
- 今後の外国人とのつきあいの意向は、「個人的なことを相談するくらい」が5.0%、「世間話をするくらい」が35.7%、「あいさつするくらい」が47.3%、「つきあいたくない」が9.8%となっている。
- 地域活動の参加状況は、〈町会、自治会等の行事〉に「よく参加している」または「ときどき参加している」と解答した人の割合は28.6%、同様に〈PTA等の活動〉は12.0%、〈お年寄り等の支援活動〉は4.5%、〈趣味等の活動〉は14.8%、〈国際交流等の活動〉は0.7%となっている。
- 地域活動への参加意向は、「積極的に参加したい」が2.7%、「機会があれば参加したい」が49.6%、「あまり参加したくない」が31.5%、「参加したくない」が13.7%となっている。

(5) 地域の外国人と日本人との共生

- 板橋区の多文化共生事業についての認知度は、「特になし」が62.8%と最も高いが、「特になし」を除くと、「国・都市との交流事業」が15.0%で最も高く、次いで「外国人による日本語スピーチ大会」が8.1%となっている。
- 板橋区の交流事業について期待するものは、「国際平和」が55.7%で最も高く、次いで「青少年交流」が42.2%となっている。
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待することは、「案内表示などの多言語化」が38.9%で最も高く、次いで「多文化共生についての理解促進」が35.8%、「語学ボランティアの育成」が35.7%の順になっている。
- 「多文化共生のまちづくり」への参加意向は、〈外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉については、「おおいにしたい」と「機会があればしたい」を合わせると、74.0%、同様に〈日本語、文化を外国人住民に紹介する〉は61.9%、〈国際交流の行事に参加する〉は52.5%となっている。
- 多文化共生に関して外国人に望むことは、「おおいに望む」と「どちらかといえば望む」を合わせると、〈日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉は90.1%、〈日本人の住民と言葉をかわす〉は84.5%、〈母国の言葉、文化を日本人住民に紹介する〉は69.8%、〈日本語を習得するようにつとめる〉は87.8%、〈国際交流の行事に参加する〉は78.2%となっている。

第3章- I 外国人区民調査

第3章- I 外国人区民調査

1 回答者の基本属性について

(1) 性別・年齢

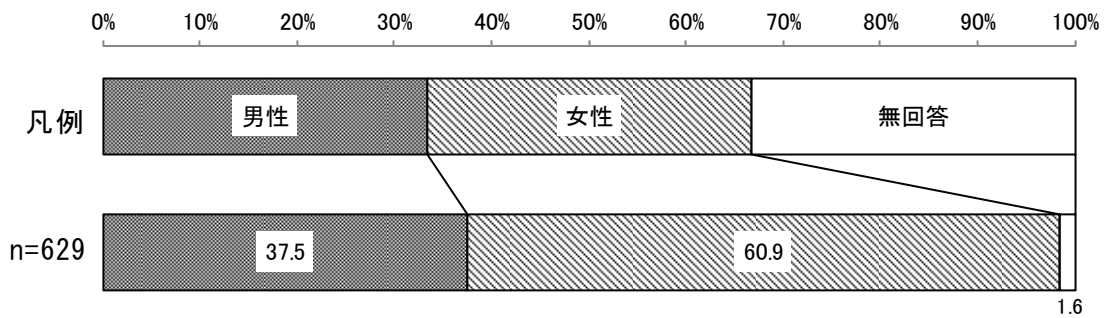
問1 はじめに、あなたの性別と生まれた年を記入してください。

★外国人・日本人 共通設問

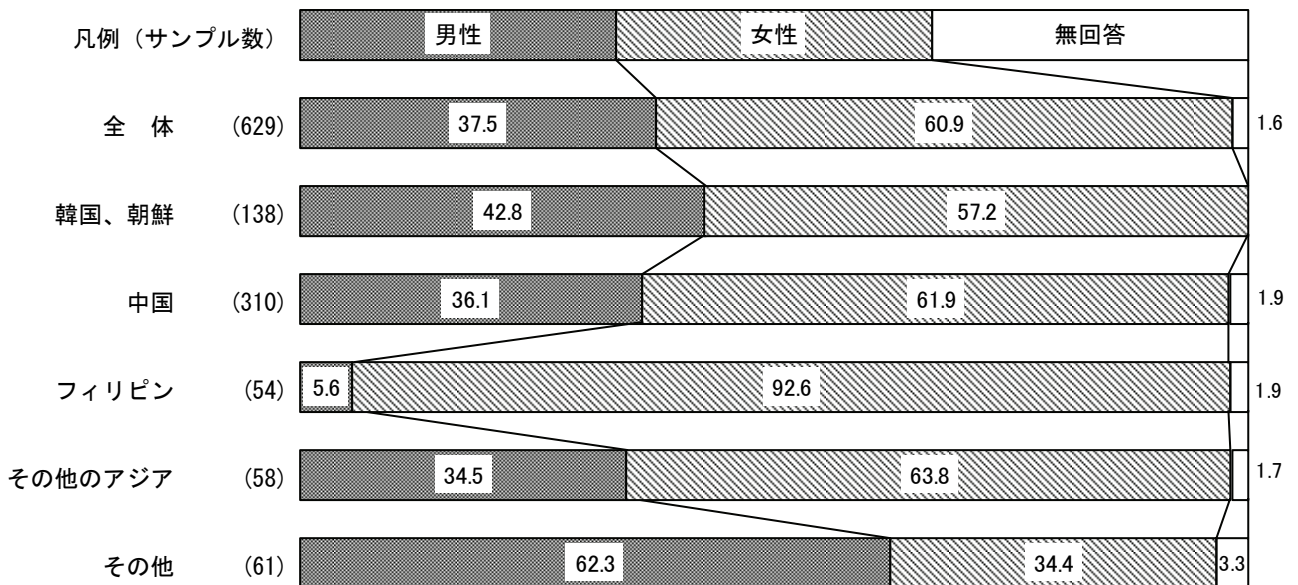
○性別

- ・回答者の性別は、「男性」が37.5%、「女性」が60.9%となっている。
- ・国籍別にみると、韓国、朝鮮、中国、フィリピン、その他のアジアでは「女性」の数が「男性」を上回っている。中でも、フィリピンは「女性」が92.6%で「男性」を大きく上回っている。
- ・年代別にみると、全ての年代で「女性」が「男性」を上回っている。中でも、50代は「女性」が72.5%で「男性」を大きく上回っている

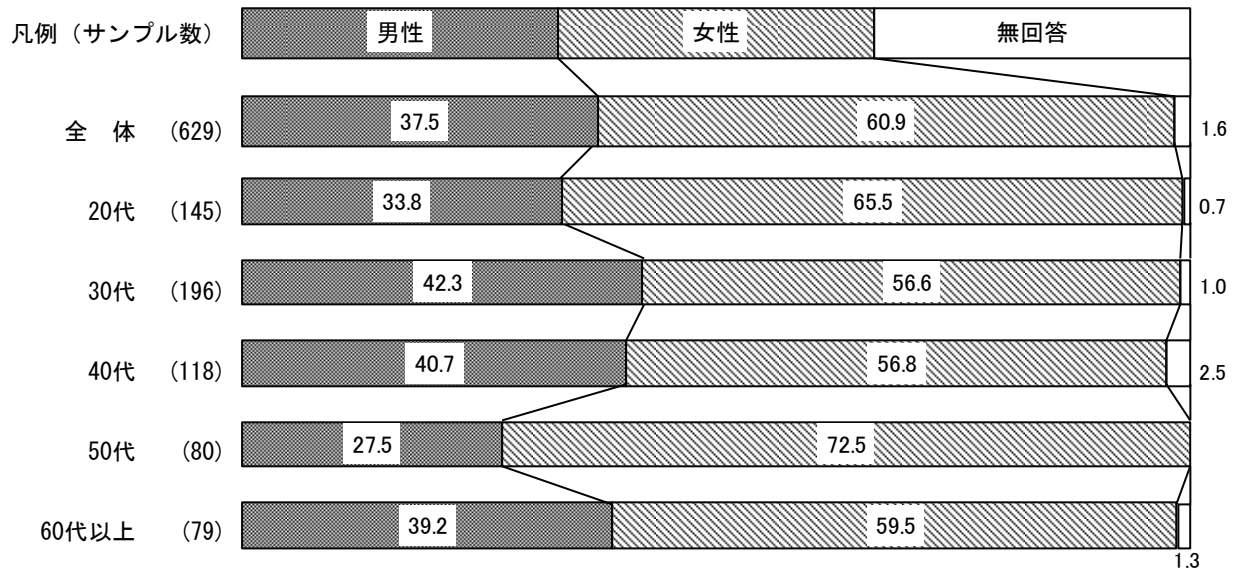
図表1 回答者の性別（単数回答）



図表2 国籍別性別（単数回答）



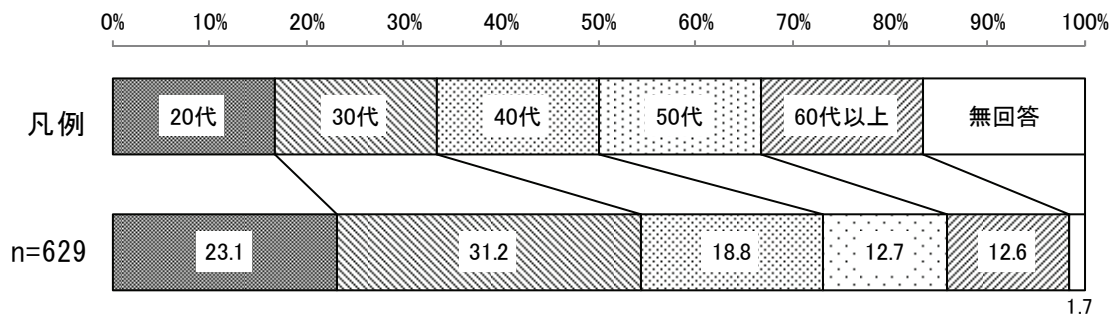
図表3 年代別回答者の性別（単数回答）



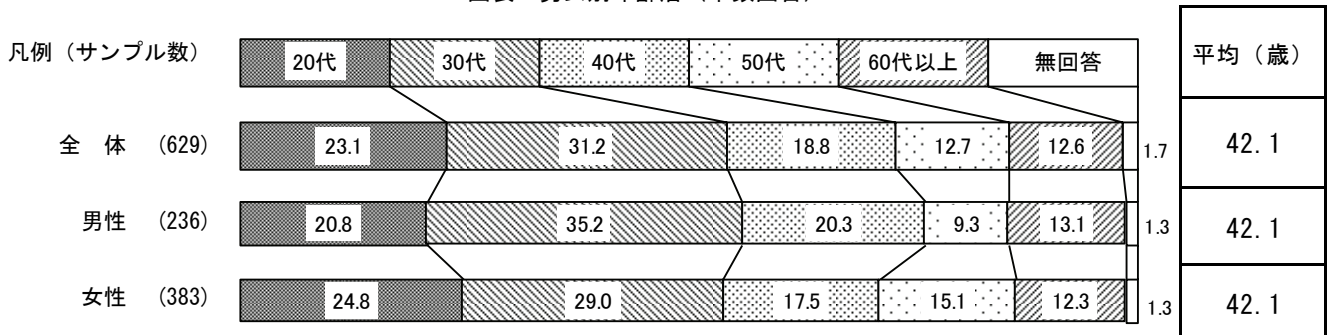
○年齢

- ・回答者の年齢は、「30代」が31.2%、「20代」が23.1%、「40代」が18.8%の順になっている。
- ・男女別にみると、男女ともに「30代」が最も高く、次いで「20代」、「40代」の順になっている。また、平均年齢は男女ともに42.1歳となっている。
- ・国籍別にみると、「韓国、朝鮮」では「60歳以上」、「中国」、「その他のアジア」では「30代」、「フィリピン」では「40代」が最も高くなっている。平均年齢は「韓国、朝鮮」が50.5歳で最も高く、「その他のアジア」が38.1歳で最も低い。
- ・居住地域別にみると、平均年齢が最も高いのは常盤台地域で42.6歳、最も低いのは高島平地域で40.4歳となっている。

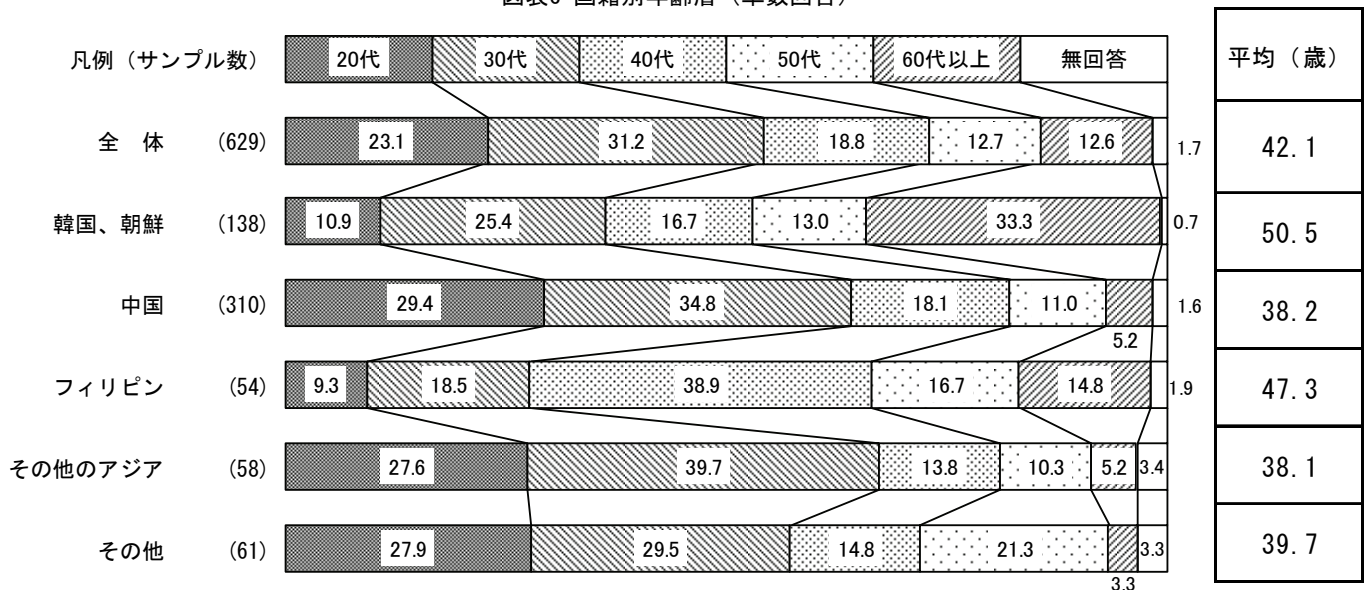
図表4 回答者の年齢層（単数回答）



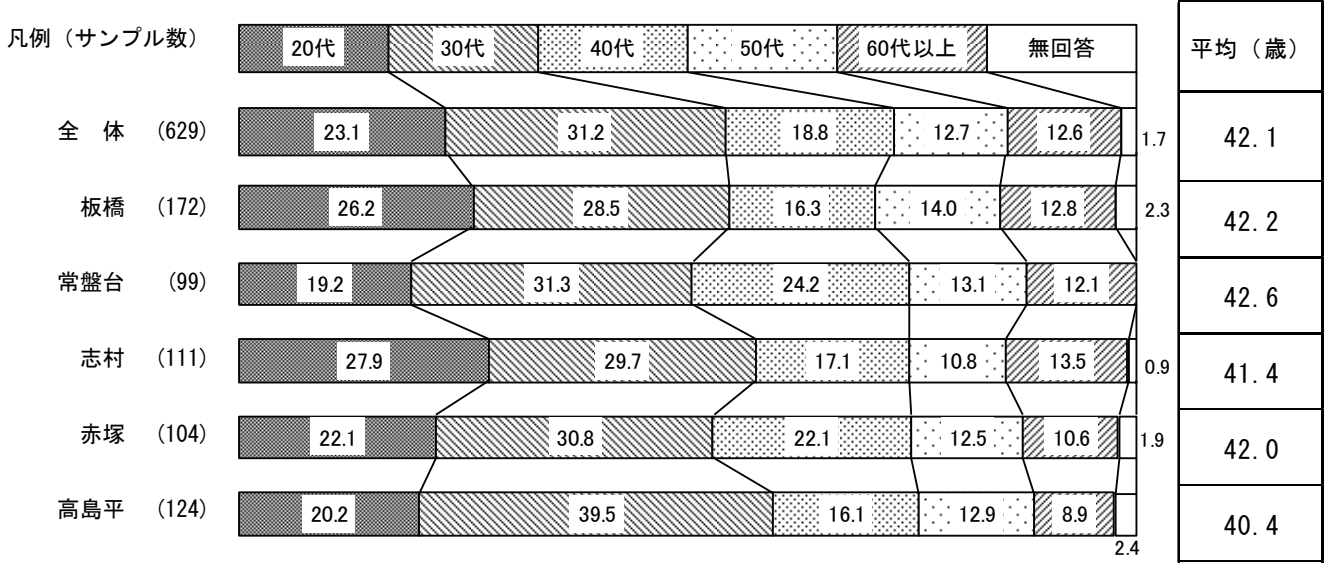
図表5 男女別年齢層（単数回答）



図表6 国籍別年齢層（単数回答）



図表7 居住地別年齢層（単数回答）

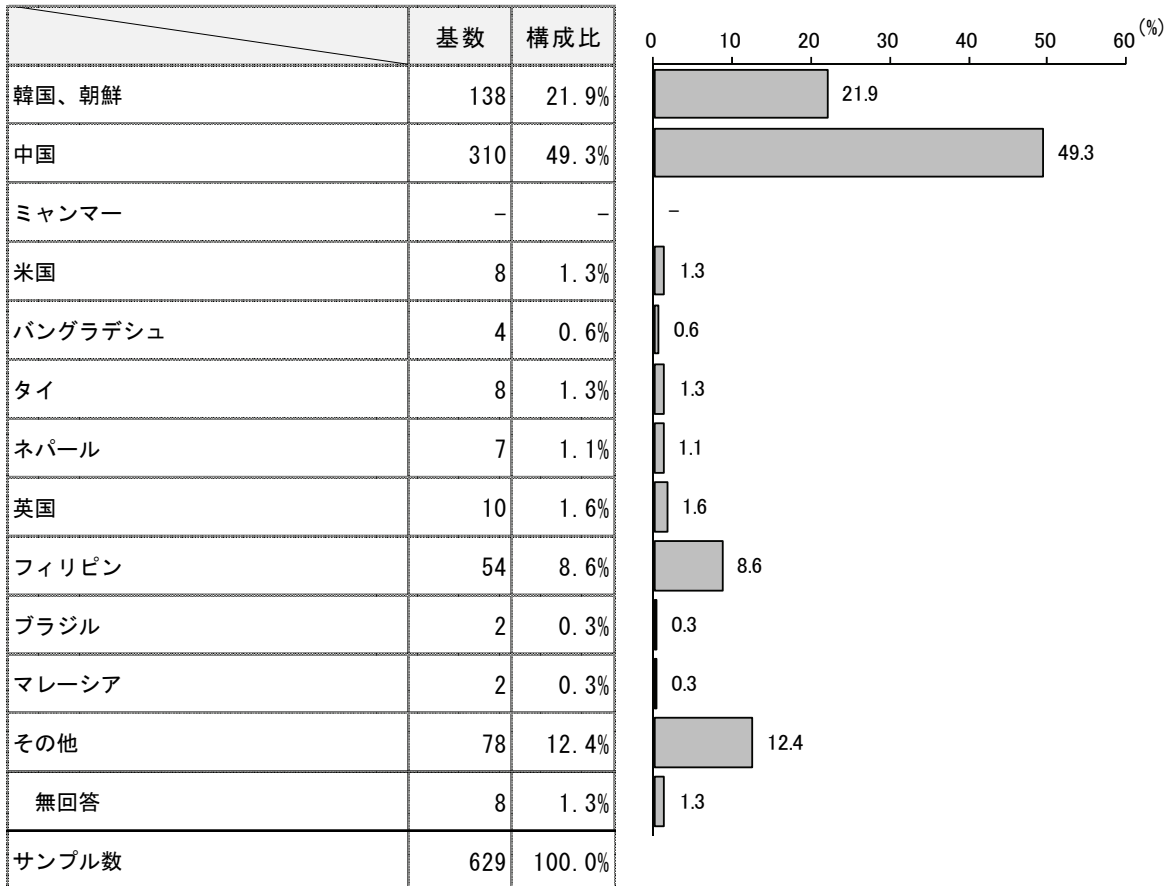


(2) 国籍

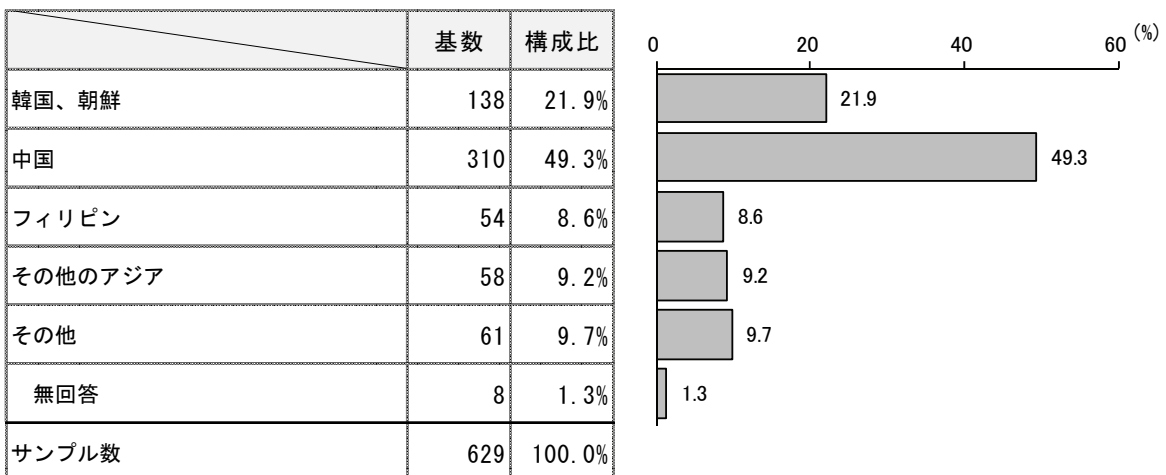
問37 あなたの国籍は以下のどれにあたりますか。

- ・回答者の国籍は、「中国」が49.3%、「韓国、朝鮮」が21.9%、「フィリピン」が8.6%の順になっている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに20～50代で「中国」が最も高く、60歳以上で「韓国、朝鮮」が最も高い。
- ・居住地域別にみると、赤塚地域で「韓国、朝鮮」が他の地域と比較してやや高くなっている。

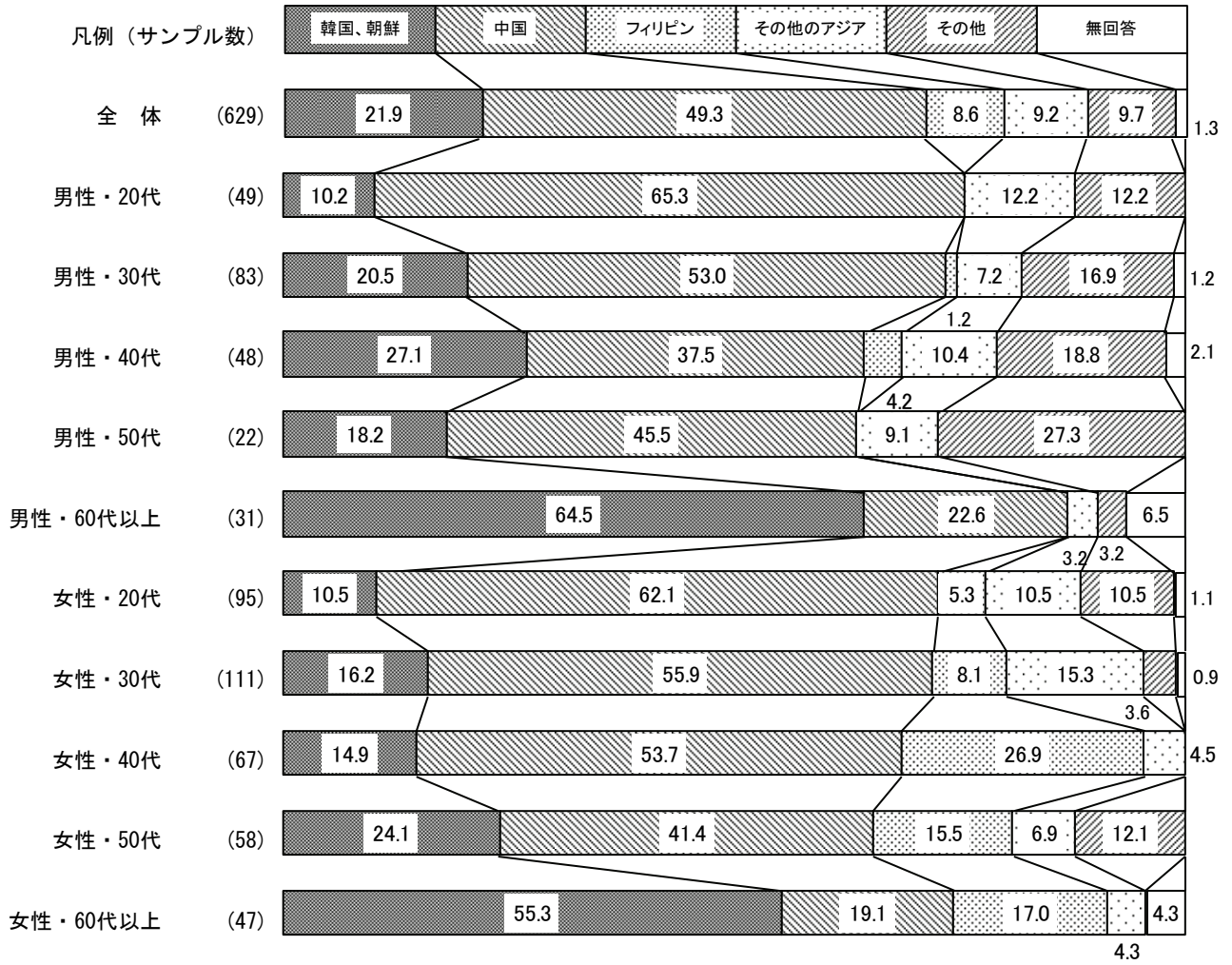
図表8 国籍（単数回答）



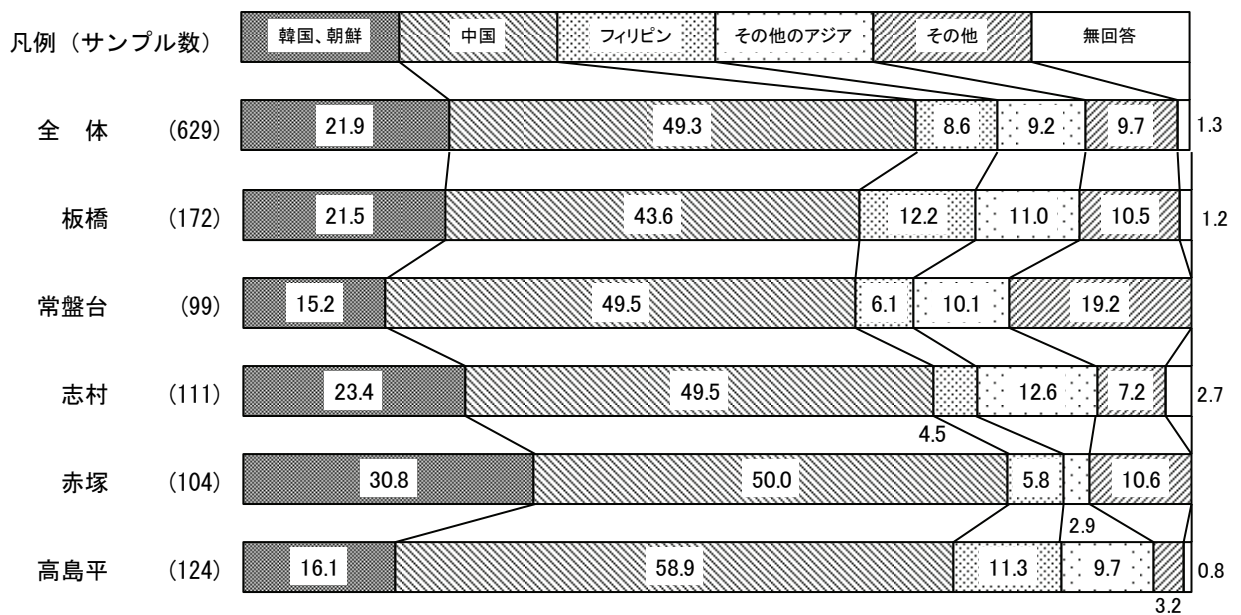
図表9 カテゴリ再集計国籍（単数回答）



図表10 男女・年代別国籍（単数回答）



図表11 居住地域別国籍（単数回答）



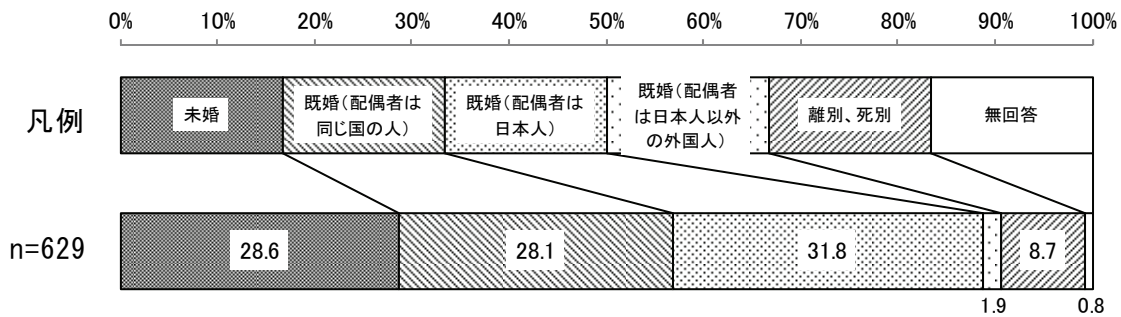
(3) 婚歴

問38 あなたは、^{げんざい}現在、^{けっこん}結婚していますか。(ひとつだけ○)

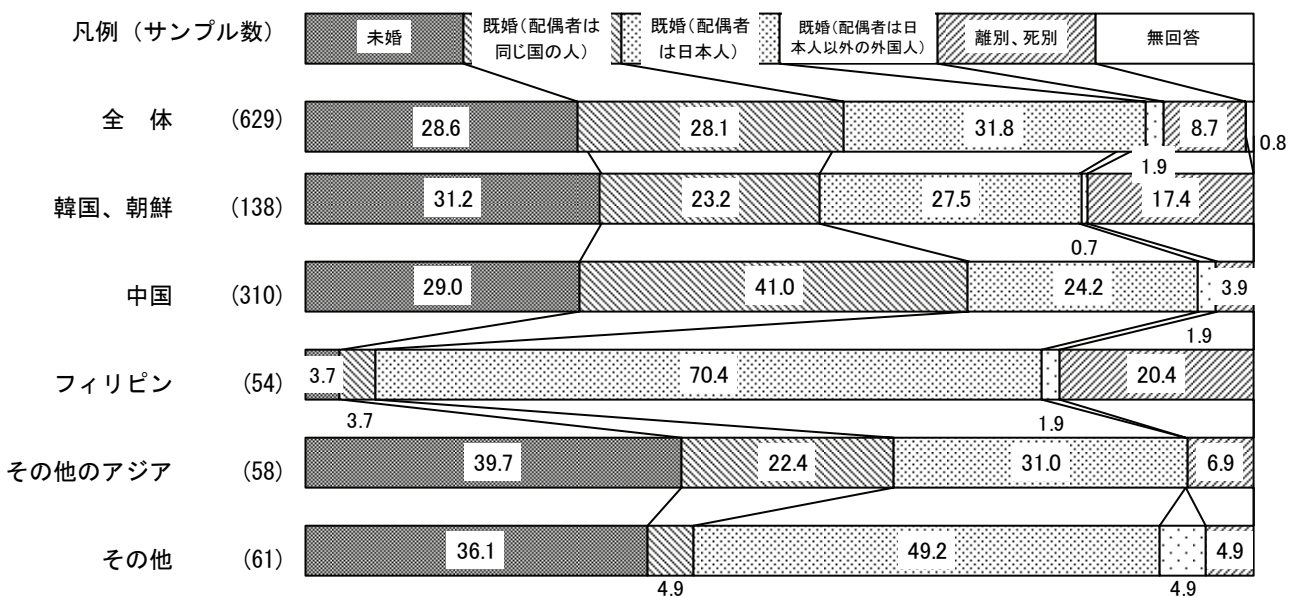
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の婚歴は、「既婚(配偶者は日本人)」が 31.8%、「未婚」が 28.6%、「既婚(配偶者は同じ国の人)」が 28.1%の順になっている。
- ・国籍別にみると、“フィリピン”、“その他”では「既婚(配偶者は日本人)」，“中国”では「既婚(配偶者は同じ国の人)」，“韓国、朝鮮”、“その他のアジア”では「未婚」が最も高くなっている。“フィリピン”の「既婚(配偶者は日本人)」は 70.4%で7割を超えている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに 20 代では「未婚」が 7 割を超えている。また、男性の 30 代以上では「既婚(配偶者は同じ国の人)」が最も高い傾向にあり、同じ国の人と結婚している割合が高いことがわかるが、女性の 30 代以上は「既婚(配偶者は日本人)」が最も高い傾向にあり日本人と結婚している割合が高いことがわかる。

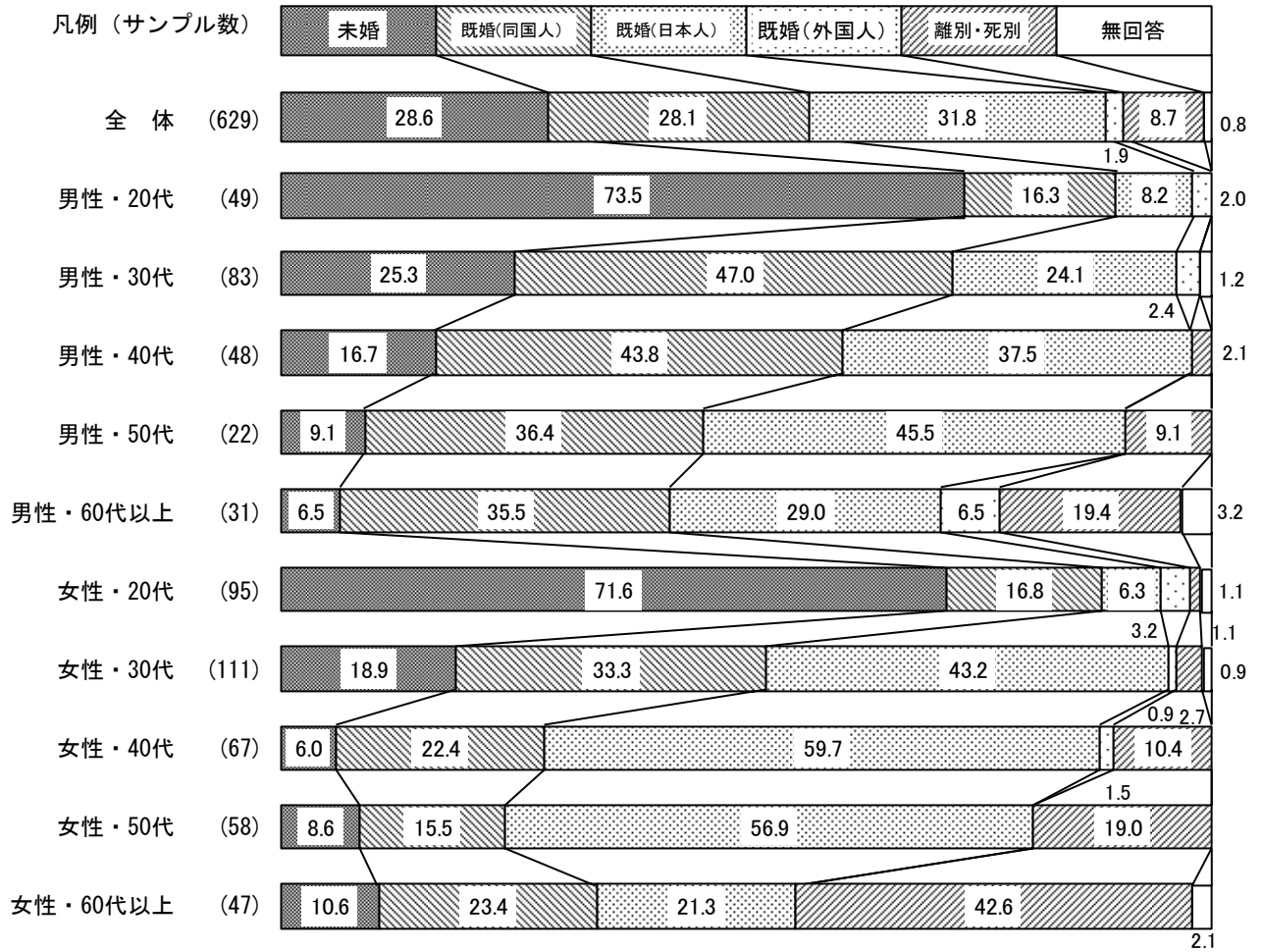
図表12 婚歴 (単数回答)



図表13 国籍別婚歴 (単数回答)



図表14 男女・年代別婚歴（単数回答）



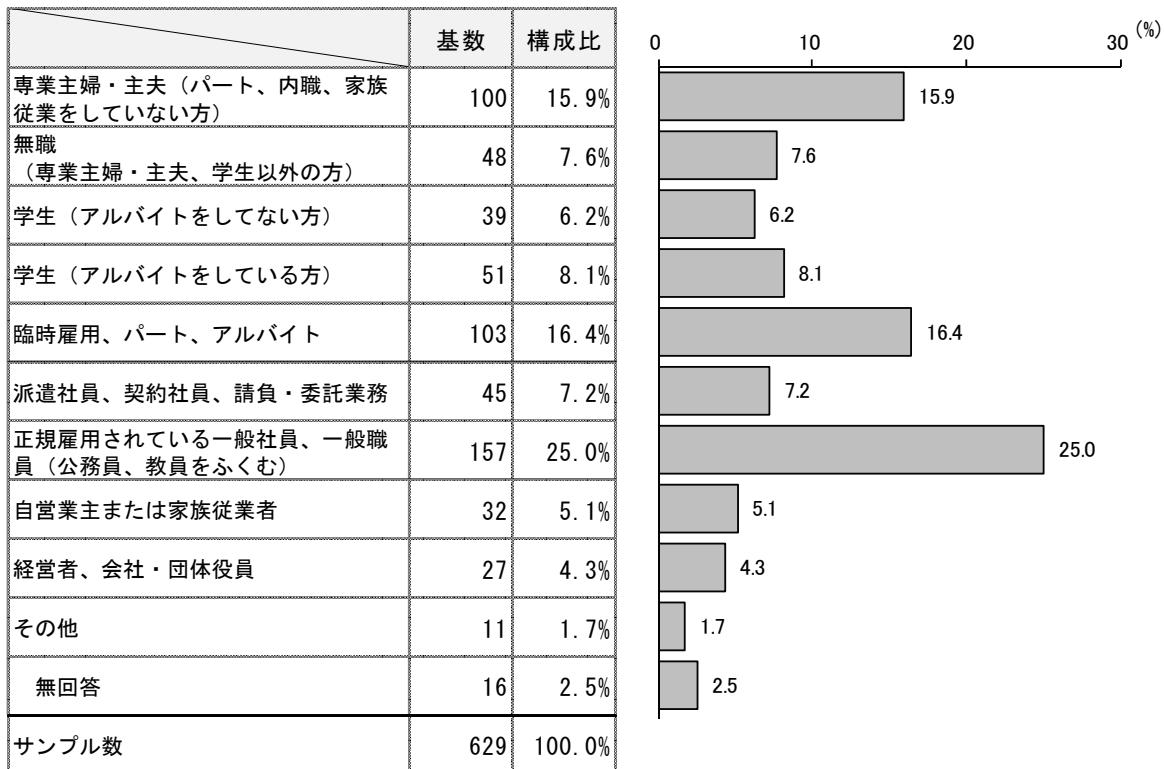
(4) 就業形態

問39 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

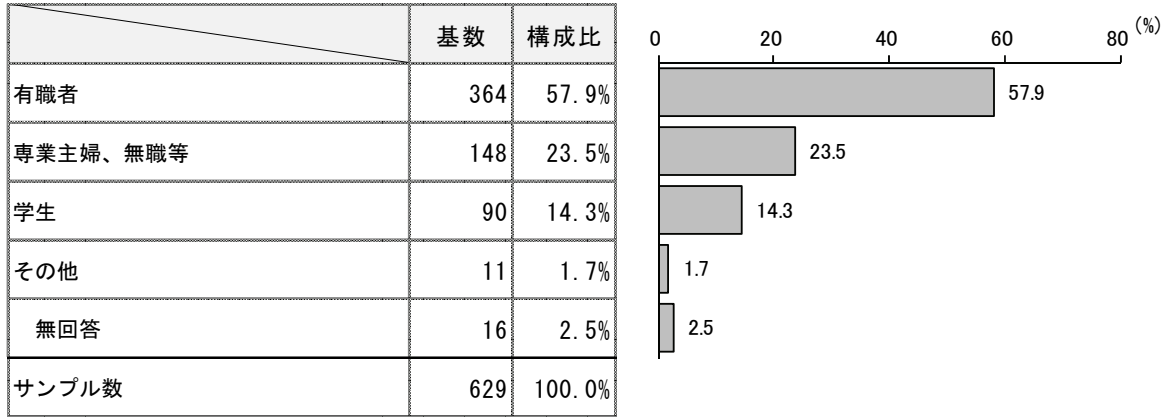
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の就業形態は、「正規雇用されている一般社員、一般職員(公務員、教員をふくむ)」が 25.0%、次いで「臨時雇用、パート、アルバイト」が 16.4%、「専業主婦・主夫(パート、内職、家族従業をしていない方)」が 15.9%の順になっている。
- ・また「専業主婦・主夫(パート、内職、家族従業をしていない方)」と「無職(専業主婦・主夫、学生以外の方)」を合わせた「専業主婦、無職等」で再集計すると、23.5%で、およそ5人に1人を占めている。
- ・国籍別にみると、「フィリピン」以外の国籍では「正規雇用されている一般社員、一般職員(公務員、教員をふくむ)」が最も高くなっているが、「フィリピン」は「臨時雇用、パート、アルバイト」が最も高くなっている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに 20 代は「学生(アルバイトをしている方)」が最も高くなっているが、女性の 30 代、60 歳以上では「専業主婦・主夫(パート、内職、家族従業をしていない方)」、女性の 40 代、50 代は「臨時雇用、パート、アルバイト」が最も高くなっている。一方、男性の 60 歳以上で「自営業主または家族従業者」が最も高くなっているものの、30～50 代は「正規雇用されている一般社員、一般職員(公務員、教員をふくむ)」が最も高くなっている。

図表15 就業形態 (単数回答)



図表16 カテゴリ再集計就業形態（単数回答）



図表17 国籍別就業形態（単数回答）

	調査数	専業主婦・主夫（パート、内職、家族従業員をしない方）	無職（専業主婦・主夫、学生以外の方）	学生（アルバイトをしない方）	学生（アルバイトをしている方）	臨時雇用、パート、アルバイト	派遣社員、契約社員、請負・委託業務	一般社員、教員をふくむ	正規雇用されている一般職	自営業主または家族従業員	経営者、会社・団体役員	その他	無回答
全体	629	100	48	39	51	103	45	157	32	27	11	16	
韓国、朝鮮	138	26	10	2	6	18	14	34	12	9	1	6	
中国	310	45	25	29	37	50	20	79	8	9	6	2	
フィリピン	54	11	5	2	2	23	2	4	4	1	1	1	
その他のアジア	58	13	6	3	4	6	6	14	1	2	2	1	
その他	61	5	2	5	2	6	2	24	7	6	1	1	

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表18 男女・年代別就業形態（単数回答）

	調査数	専業主婦・主夫（パート、内職、家族従業員をしない方）	無職（専業主婦・主夫、学生以外の方）	学生（アルバイトをしない方）	学生（アルバイトをしている方）	臨時雇用、パート、アルバイト	派遣社員、契約社員、請負・委託業務	一般社員、教員をふくむ	正規雇用されている一般職	自営業主または家族従業員	経営者、会社・団体役員	その他	無回答
全体	629	100	48	39	51	103	45	157	32	27	11	16	
男性・20代	49	-	-	11	17	2	2	16	-	1	-	-	
男性・30代	83	2	3	3	2	6	11	46	4	5	-	1	
男性・40代	48	1	2	-	-	6	7	15	7	9	1	-	
男性・50代	22	-	1	-	-	2	2	11	2	4	-	-	
男性・60代以上	31	1	6	-	-	3	3	3	6	2	2	5	
女性・20代	95	9	5	22	25	7	5	20	-	1	-	1	
女性・30代	111	34	10	1	4	15	7	28	7	1	3	1	
女性・40代	67	20	6	-	-	27	3	8	-	1	1	1	
女性・50代	58	15	7	-	-	24	3	3	3	2	-	1	
女性・60代以上	47	17	8	-	1	7	1	3	1	-	3	6	

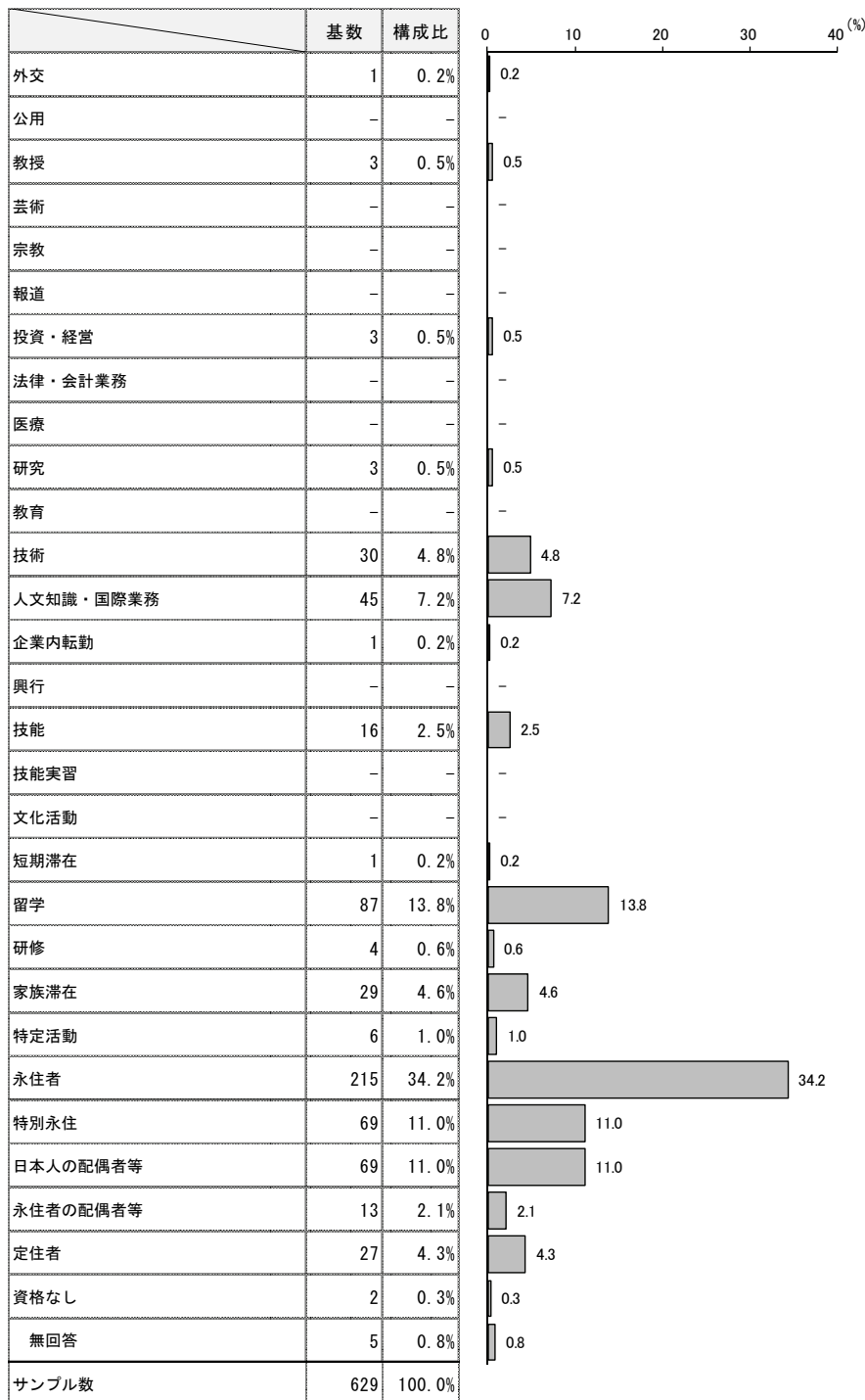
上段：件数（件）、下段：構成比（%）

(5) 在留資格

問40 あなたの在留資格は以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- ・回答者の在留資格は、「永住者」が34.2%で最も高く、次いで「留学」が13.8%、「日本人の配偶者等」、「特別永住」が11.0%の順になっている。
- ・国籍別にみると、「韓国、朝鮮」以外の国籍では、「永住者」が最も高く、「フィリピン」は59.3%で約6割となっている。一方、「韓国、朝鮮」では「特別永住」が最も高くなっている。

図表19 在留資格（単数回答）



図表20 国籍別在留資格（単数回答）

	調査数	外交	公用	教授	芸術	宗教	報道	投資・経営	法律・会計業務	医療	研究	教育	技術	人文知識・国際業務	企業内転勤
全体	629	1	-	3	-	-	-	3	-	-	3	-	30	45	1
	100.0	0.2	-	0.5	-	-	-	0.5	-	-	0.5	-	4.8	7.2	0.2
韓国、朝鮮	138	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	6	8	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	1.4	-	-	-	-	4.3	5.8	-
中国	310	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	18	24	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	5.8	7.7	-
フィリピン	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他のアジア	58	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	1
	100.0	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	6.9	1.7
その他	61	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	-	2	9	-
	100.0	-	-	4.9	-	-	-	-	-	-	4.9	-	3.3	14.8	-

	興行	技能	技能実習	文化活動	短期滞在	留学	研修	家族滞在	特定活動	永住者	特別永住	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	資格なし	無回答
全体	-	16	-	-	1	87	4	29	6	215	69	69	13	27	2	5
	-	2.5	-	-	0.2	13.8	0.6	4.6	1.0	34.2	11.0	11.0	2.1	4.3	0.3	0.8
韓国、朝鮮	-	1	-	-	-	8	-	3	1	26	67	11	2	1	1	1
	-	0.7	-	-	-	5.8	-	2.2	0.7	18.8	48.6	8.0	1.4	0.7	0.7	0.7
中国	-	11	-	-	-	66	2	21	3	115	1	28	8	12	-	-
	-	3.5	-	-	-	21.3	0.6	6.8	1.0	37.1	0.3	9.0	2.6	3.9	-	-
フィリピン	-	-	-	-	1	-	-	-	-	32	-	10	2	9	-	-
	-	-	-	-	1.9	-	-	-	-	59.3	-	18.5	3.7	16.7	-	-
その他のアジア	-	2	-	-	-	7	1	5	2	19	1	10	-	1	-	-
	-	3.4	-	-	-	12.1	1.7	8.6	3.4	32.8	1.7	17.2	-	1.7	-	-
その他	-	1	-	-	-	6	-	-	-	21	-	10	1	4	-	1
	-	1.6	-	-	-	9.8	-	-	-	34.4	-	16.4	1.6	6.6	-	1.6

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

(6) 居住地・居住形態

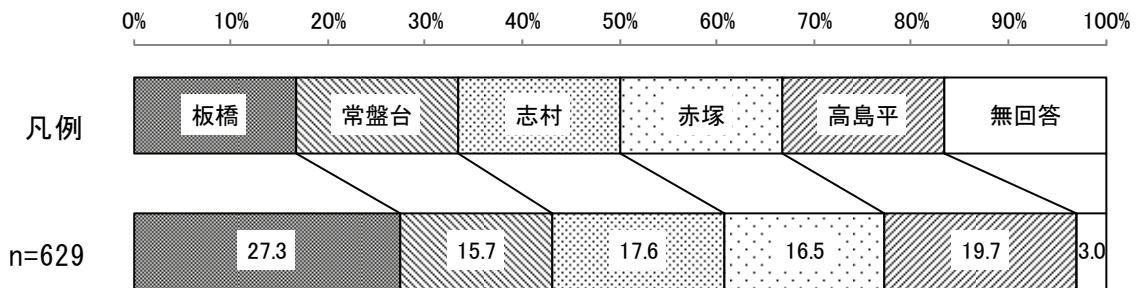
○居住地

問47 あなたが現在、住んでいる板橋区の地域は以下の中のどれにあたりますか。

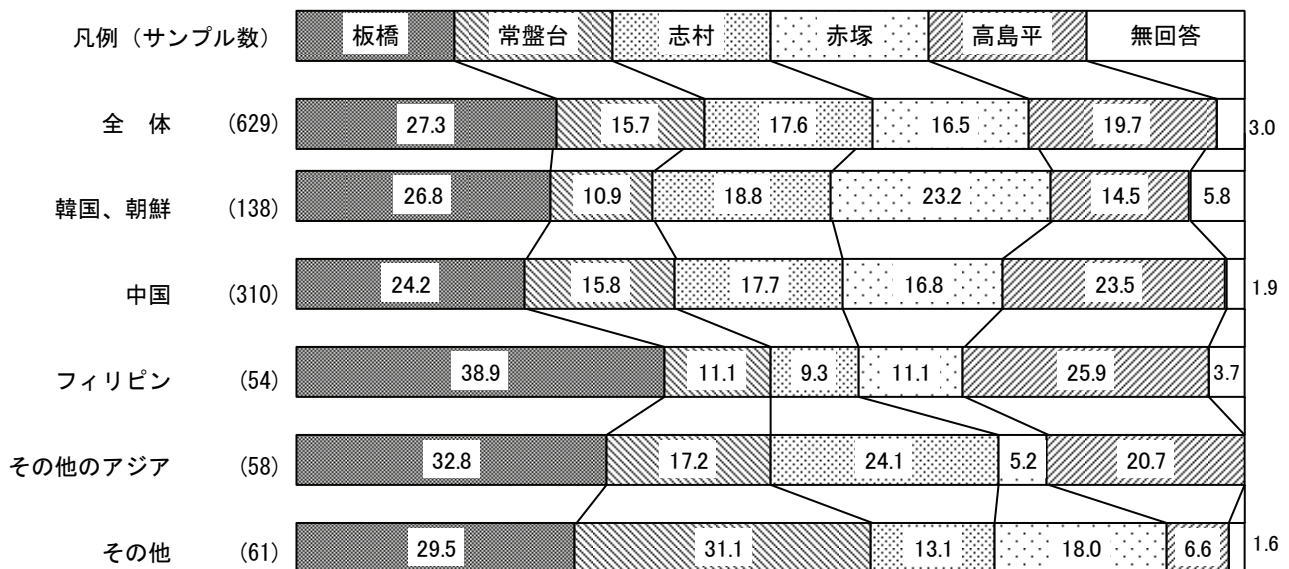
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の居住地は、「板橋地域」の割合が最も高く27.3%、次いで「高島平地域」が19.7%、「志村地域」が17.6%、「赤塚地域」が16.5%、「常盤台地域」が15.7%の順となっている。
- ・国籍別にみると、“中国”、“フィリピン”、では「板橋地域」が最も高く、次いで「高島平地域」となっている。
- ・男女・年代別でみると、男性の年齢が低い人は「板橋地域」に住んでいる人が多く、年齢が高い人は「志村地域」に住んでいる人が多い。また、女性の年齢が高い人は「板橋地域」に住んでいる人が多い。

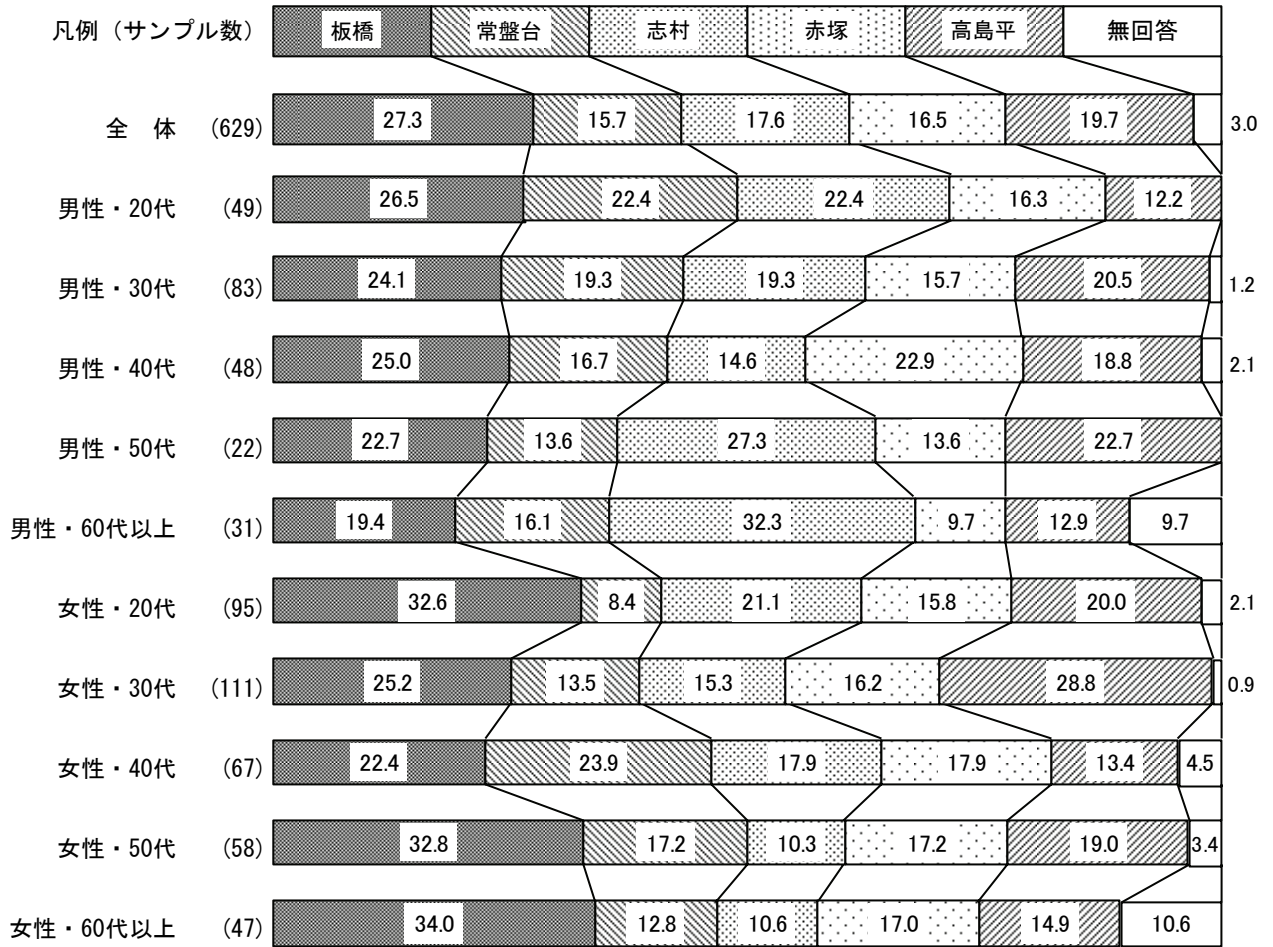
図表21 居住地（単数回答）



図表22 国籍別居住地（単数回答）



図表23 男女・年代別居住地域（単数回答）



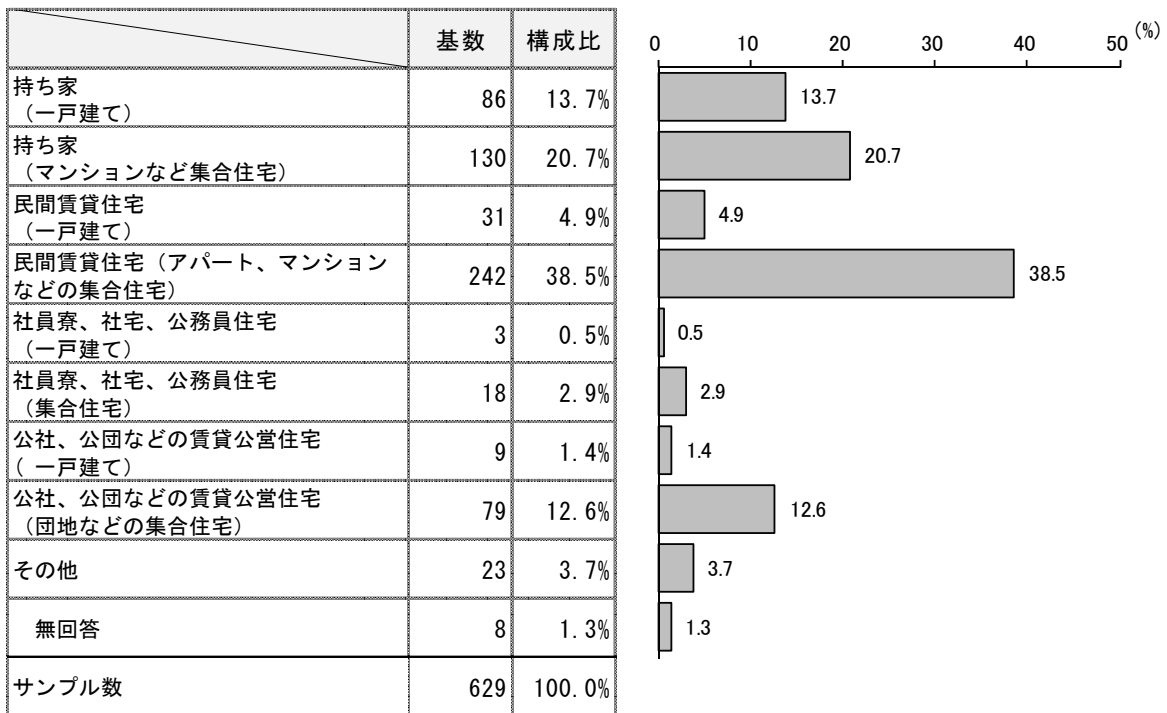
○居住形態

問48 あなたの**現在の**お住まいは、以下の**中の**どれにあたりますか。(ひとつだけ○)

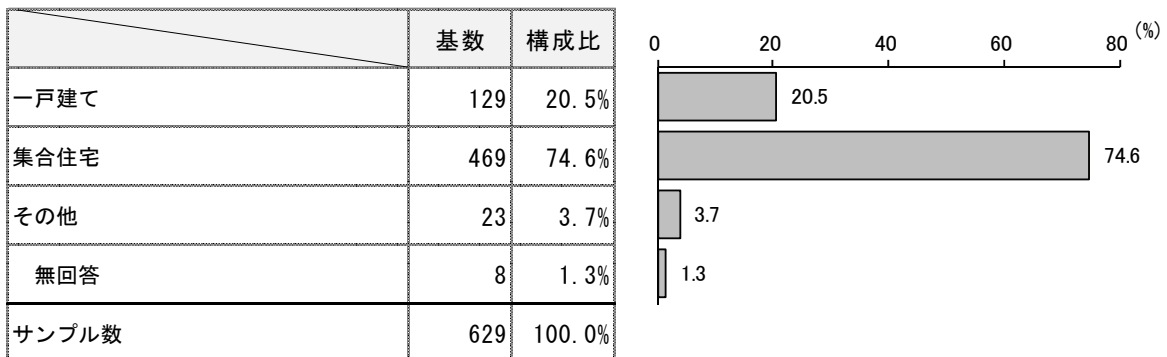
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の居住形態は、「民間賃貸住宅(アパート、マンションなどの集合住宅)」が最も高く 38.5%、次いで「持ち家(マンションなど集合住宅)」が高く、20.7%となっている。また、持ち家か賃貸を問わず建物の種類で再集計してみると、「一戸建て」が20.5%、一方「集合住宅」が74.6%となっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「民間賃貸住宅(アパート、マンションなどの集合住宅)」が最も高くなっており、「フィリピン」は5割を超えている。

図表24 居住形態（単数回答）



図表25 カテゴリ再集計居住形態（単数回答）



図表26 国籍別居住形態（単数回答）

	調査数	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンションなど集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（アパート、マンションなどの集合住宅）	社員寮、社宅、公務員住宅（一戸建て）	社員寮、社宅、公務員住宅（集合住宅）	公社、公園などの賃貸	公社、公園などの賃貸（団地などの賃貸集合住宅）	その他	無回答
全体	629	86	130	31	242	3	18	9	79	23	8
	100.0	13.7	20.7	4.9	38.5	0.5	2.9	1.4	12.6	3.7	1.3
韓国、朝鮮	138	30	26	3	53	-	3	-	18	2	3
	100.0	21.7	18.8	2.2	38.4	-	2.2	-	13.0	1.4	2.2
中国	310	31	67	18	107	-	15	7	50	13	2
	100.0	10.0	21.6	5.8	34.5	-	4.8	2.3	16.1	4.2	0.6
フィリピン	54	6	7	4	29	-	-	1	3	4	-
	100.0	11.1	13.0	7.4	53.7	-	-	1.9	5.6	7.4	-
その他のアジア	58	5	18	4	23	2	-	-	5	1	-
	100.0	8.6	31.0	6.9	39.7	3.4	-	-	8.6	1.7	-
その他	61	13	11	2	27	1	-	1	3	2	1
	100.0	21.3	18.0	3.3	44.3	1.6	-	1.6	4.9	3.3	1.6

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

(7) 同居者

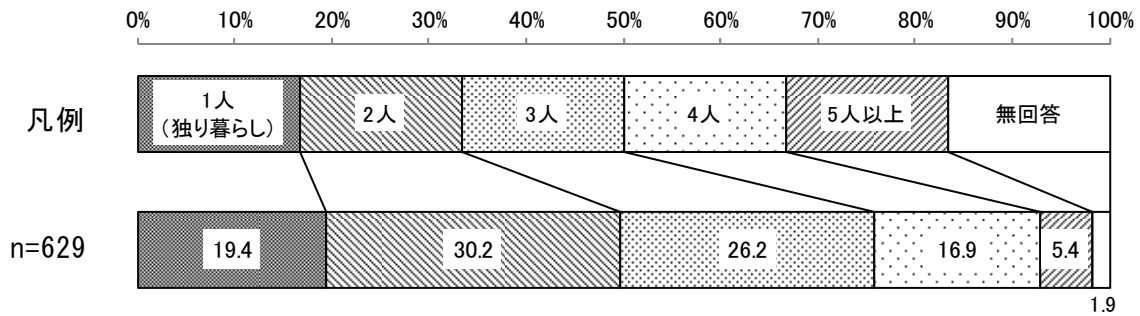
○同居者の人数

問41 あなたが現在、同居している人は何人いますか。あなたを含めて人数を記入してください。

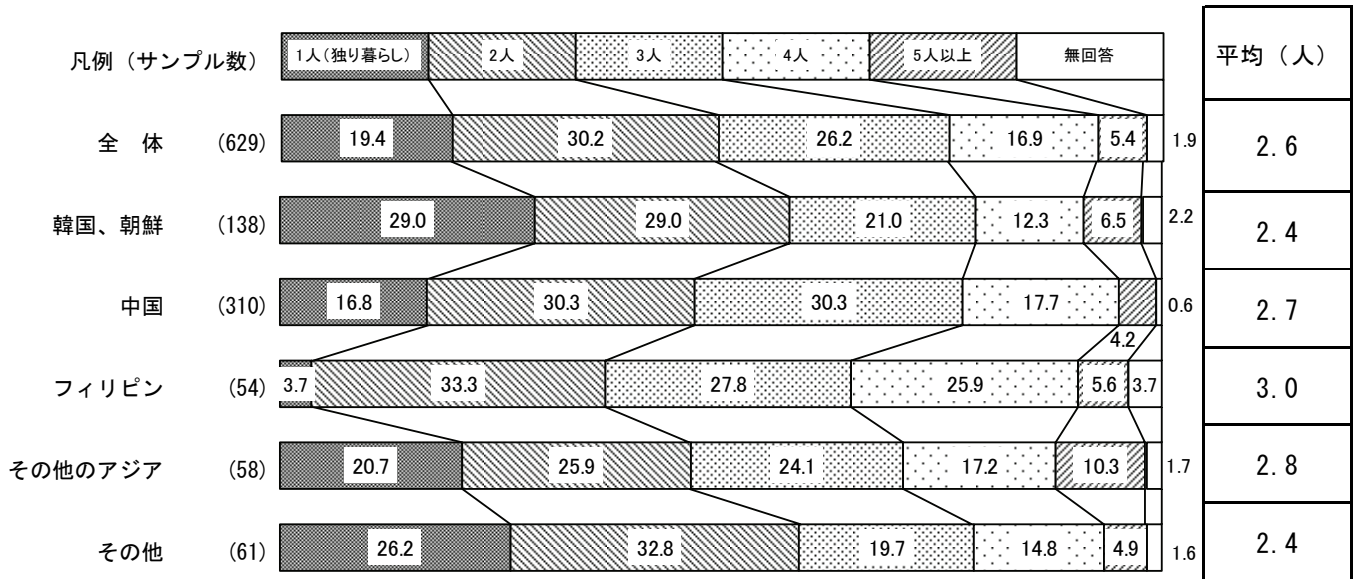
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者を含んだ同居者の人数は、平均すると2.6人となっている。
- ・国籍別にみると、「1人(独り暮らし)」は“韓国、朝鮮”が最も高くなっているが、「2人以上」は“フィリピン”が最も高くなっている。

図表27 同居者の人数(単数回答)



図表28 国籍別同居者の人数(単数回答)



図表29 在留資格別同居者の人数（単数回答）

	調査数	1人 (独り暮らし)	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均(人)
全体	629 100.0	122 19.4	190 30.2	165 26.2	106 16.9	34 5.4	12 1.9	2.6
永住者	215 100.0	23 10.7	54 25.1	72 33.5	47 21.9	15 7.0	4 1.9	2.9
留学	87 100.0	32 36.8	30 34.5	13 14.9	7 8.0	4 4.6	1 1.1	2.1
特別永住	69 100.0	19 27.5	18 26.1	15 21.7	12 17.4	4 5.8	1 1.4	2.5
日本人の配偶者等	69 100.0	3 4.3	32 46.4	19 27.5	12 17.4	3 4.3	-	2.8
人文知識・国際業務	45 100.0	21 46.7	17 37.8	6 13.3	1 2.2	-	-	1.7
技術	30 100.0	12 40.0	11 36.7	3 10.0	3 10.0	1 3.3	-	2.0
家族滞在	29 100.0	-	8 27.6	11 37.9	8 27.6	2 6.9	-	3.1
定住者	27 100.0	1 3.7	4 14.8	11 40.7	10 37.0	1 3.7	-	3.3
永住者の配偶者等	13 100.0	-	2 15.4	5 38.5	4 30.8	1 7.7	1 7.7	3.3
資格なし	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	1.5

上段：件数（件）、下段：構成比（％）

※在留資格別のクロス集計は、回答者数の多い上位9資格と資格なしの10項目のカテゴリ区分を用いている。

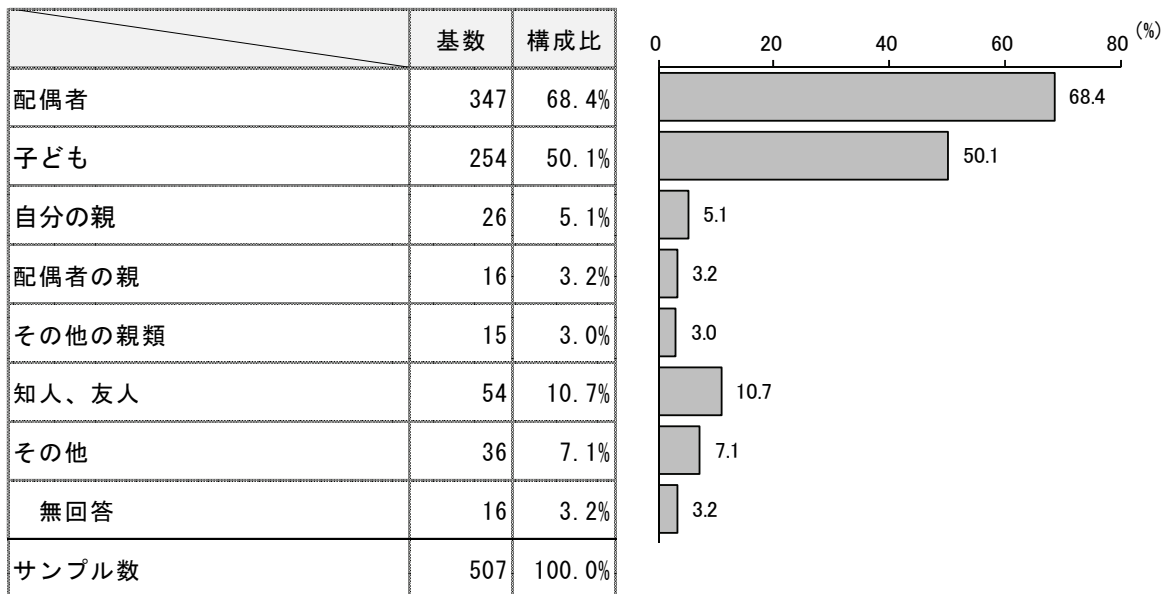
○同居者の続柄

問42 問41 で2人以上と回答した方(1人で住んでいない人)にお聞きします。あなたが現在、いっしょに住んでいる人はどなたですか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・同居者と暮らしている 507 人についてその続柄をみると、「配偶者」の割合が最も高く 68.4%、次いで「子ども」が 50.1%、「知人、友人」が 10.7%の順になっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「配偶者」が最も高く、次いで「子ども」となっている。“中国”、“フィリピン”は最も高い「配偶者」が7割を超えている。

図表30 同居者の続柄（複数回答）



図表31 国籍別同居者の続柄（複数回答）

	調査数	配偶者	子ども	自分の親	配偶者の親	その他の親類	知人、友人	その他	無回答
全体	507	347	254	26	16	15	54	36	16
	100.0	68.4	50.1	5.1	3.2	3.0	10.7	7.1	3.2
韓国、朝鮮	98	65	49	11	3	1	2	9	5
	100.0	66.3	50.0	11.2	3.1	1.0	2.0	9.2	5.1
中国	258	184	133	10	7	10	38	13	5
	100.0	71.3	51.6	3.9	2.7	3.9	14.7	5.0	1.9
フィリピン	52	37	31	1	3	-	1	6	1
	100.0	71.2	59.6	1.9	5.8	-	1.9	11.5	1.9
その他のアジア	46	27	21	3	1	1	10	4	-
	100.0	58.7	45.7	6.5	2.2	2.2	21.7	8.7	-
その他	45	31	17	-	2	3	3	3	3
	100.0	68.9	37.8	-	4.4	6.7	6.7	6.7	6.7

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

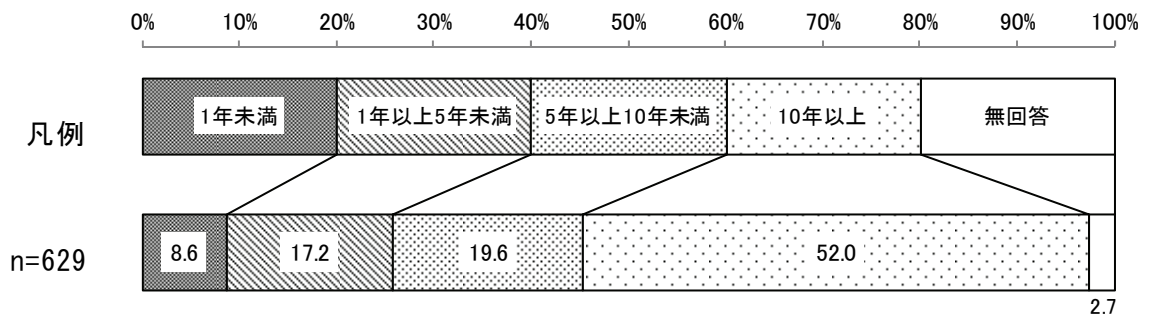
(8) 居住年数

○国内居住年数

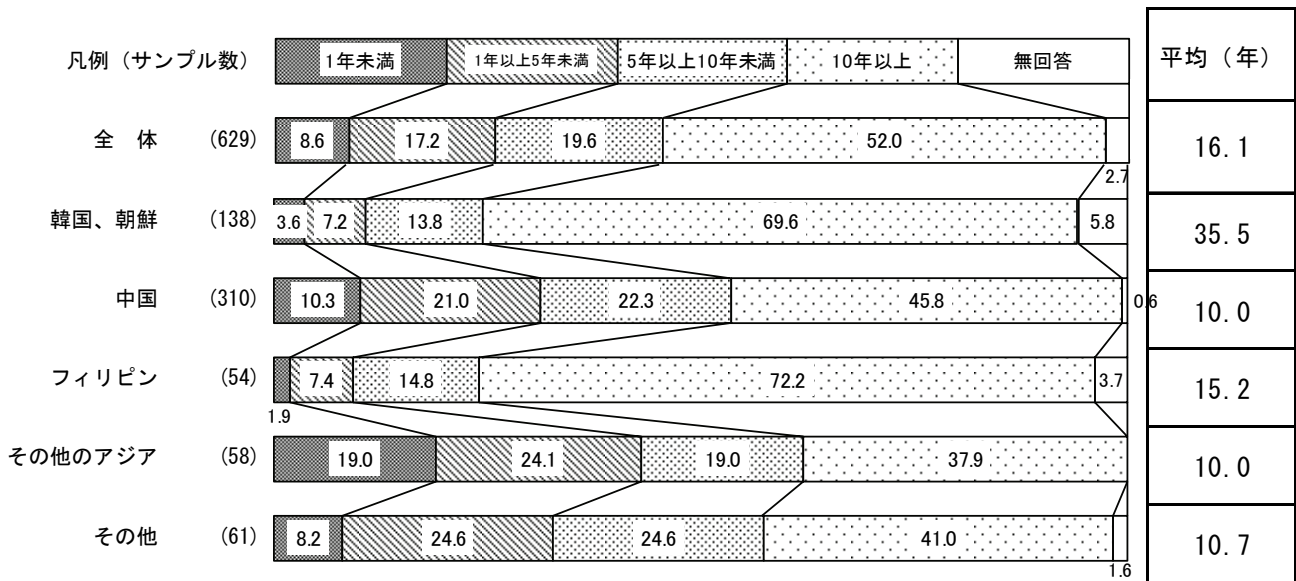
問43 あなたは、日本に何年、住んでいますか。来日を繰返している場合は、通算して記入してください。

- ・回答者の国内居住年数は、「10年以上」の割合が最も高く52.0%となっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「10年以上」が最も高くなっている。中でも、「フィリピン」は72.2%で7割を超えている。また、平均居住年数は“韓国、朝鮮”が35.5年で最も高く、“中国”、“その他のアジア”が10.0年で最も低い。

図表32 国内居住年数（単数回答）



図表33 国籍別国内居住年数（単数回答）



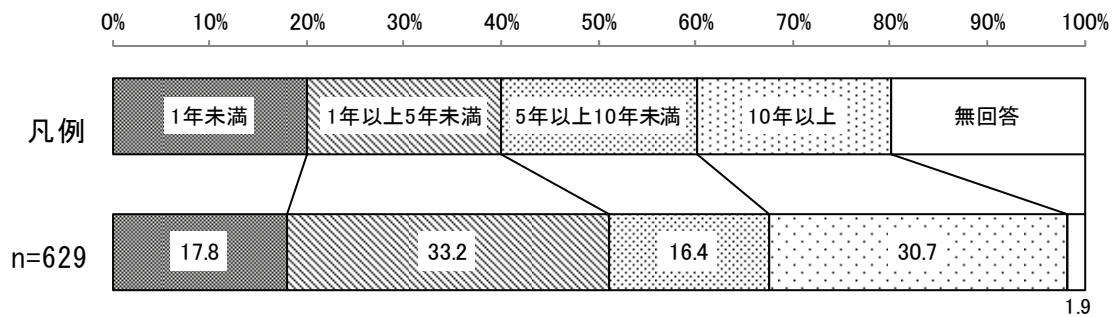
○区内居住年数

とい
問44 あなたは、^{いたばしく なんねん す}板橋区に何年、住んでいますか。

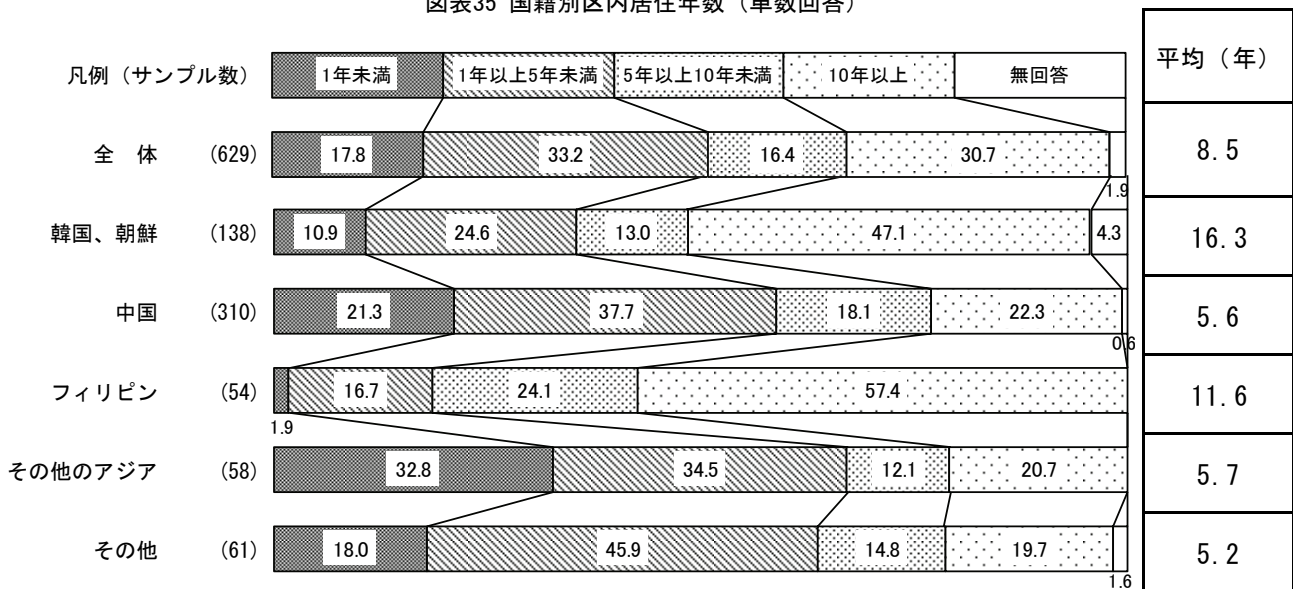
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の区内居住年数は、「1年以上5年未満」の割合が最も高く 33.2%、次いで「10年以上」が 30.7%、「1年未満」が 17.8%の順になっている。
- ・国籍別にみると、“韓国、朝鮮”と“フィリピン”では「10年以上」が高くなっているが、“中国”、“その他のアジア”、“その他”では「1年以上5年未満」が高くなっている。
- ・居住地域別にみると、「板橋地域」、「常盤台地域」、「高島平地域」では「1年以上5年未満」が最も高くなっているが、「志村地域」、「赤塚地域」では「10年以上」が最も高くなっている。志村地域は平均居住年数が9.5年で最も高く、高島平地域は7.3年で最も低くなっている。

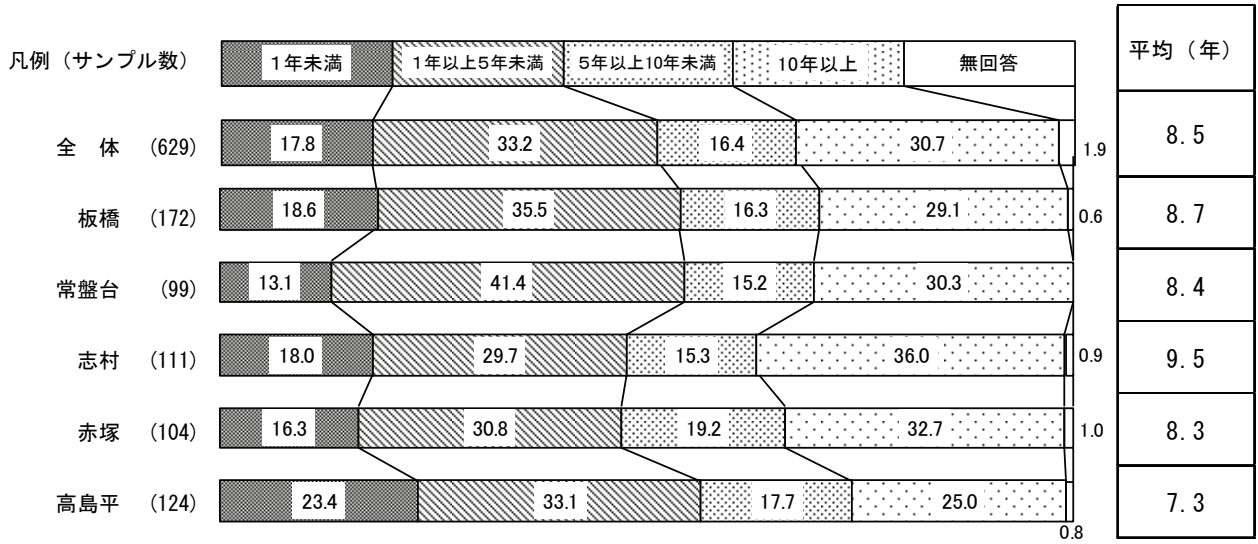
図表34 区内居住年数（単数回答）



図表35 国籍別区内居住年数（単数回答）



図表36 居住地域別区内居住年数（単数回答）



(9) 板橋区の住みやすさ

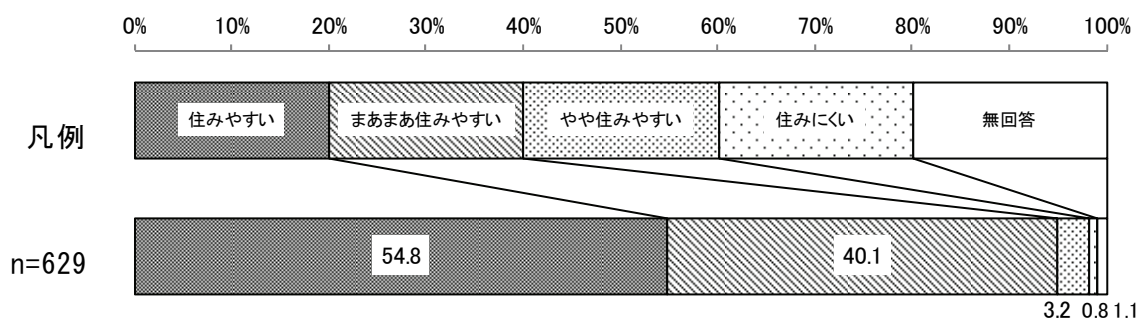
○住みやすさ

問45 あなたにとって、板橋区は住みやすいところだと思いますか。(ひとつだけ○)

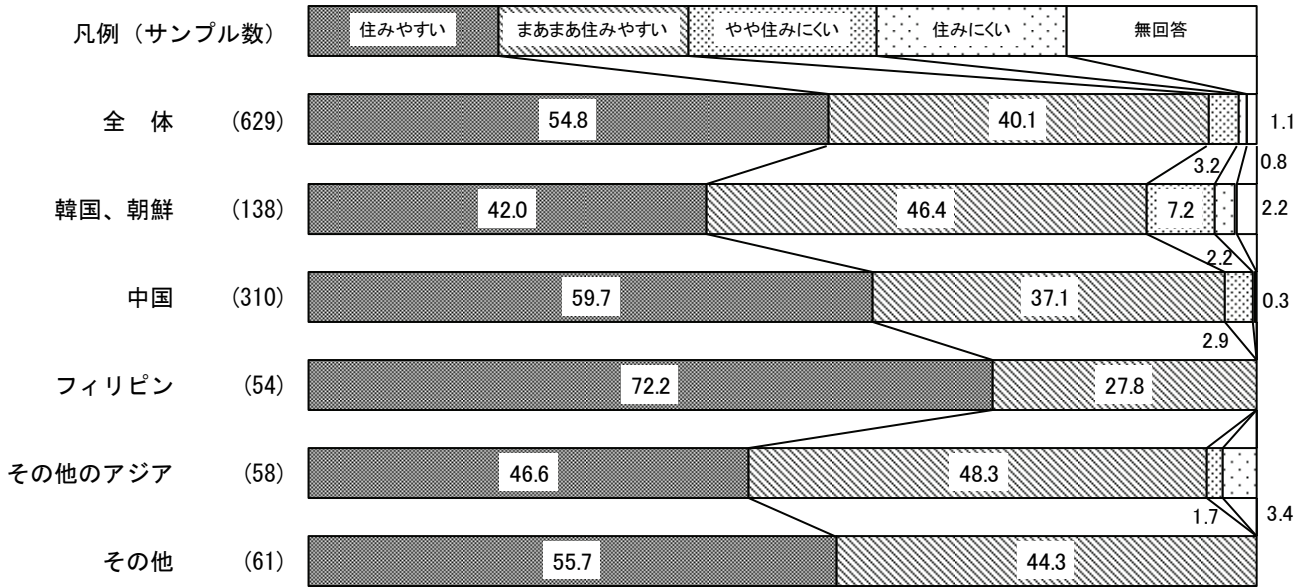
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の板橋区の住みやすさについては、「住みやすい」が 54.8%、「まあまあ住みやすい」が 40.1%で、合わせると9割以上の方が板橋区は住みやすいと答えている。
- ・国籍別にみると、「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせた割合は、“フィリピン”、“その他”が 100.0%で最も高く、次いで“中国”が 96.8%となっており、9割を超えている国籍が多いが、“韓国、朝鮮”は 9割を下回っている。
- ・男女・年代別にみると、全ての年代において、約9割以上の方が住みやすいと感じていることがわかる。また、40代を除いた年代で、男性が女性より高くなっており、より男性のほうが住みやすいと感じていることがわかる。
- ・日本人とのつきあいの程度別にみると、日本人と少しでもつきあいのある人は「住みやすい」が5割台となっているが、つきあいのある日本人がいない人で「住みやすい」が 77.8%で7割台となっている。このことから日本人とつきあいのない人も板橋区は住みやすいところだと感じていることがわかる。
- ・日本での生活の心配事別にみると、日本での生活の心配事と住みやすさの間に有意な差はみられない。
- ・婚歴別にみると、既婚者が未婚者より住みやすいと感じている割合がやや高くなっている。
- ・就業形態別にみると、有職者と専業主婦、無職等と比較し、学生、その他が住みやすいと感じている割合が高いことがわかる。
- ・居住地域別にみると、板橋地域、赤塚地域で「住みやすい」が高くなっており、志村地域で低くなっている。

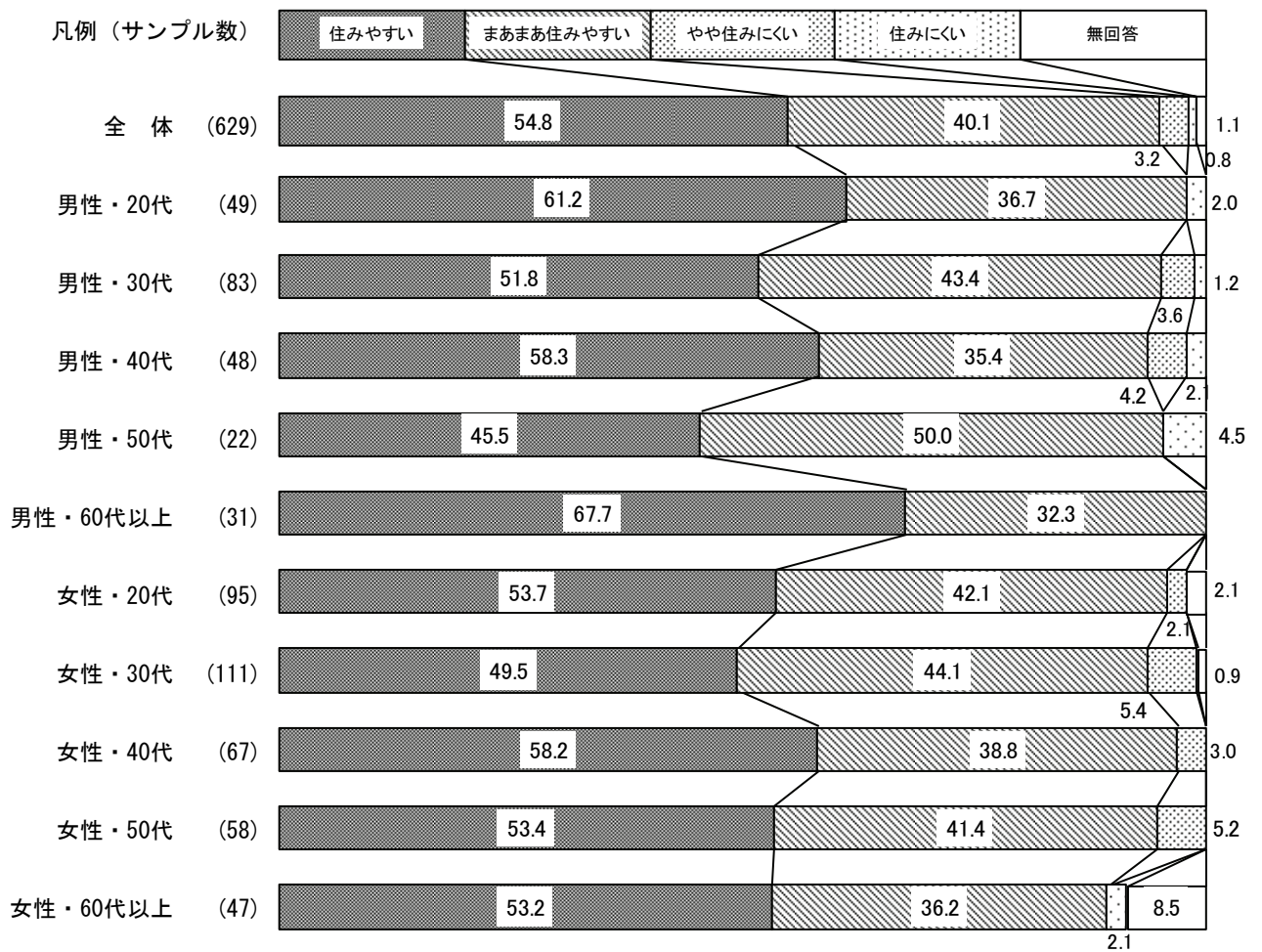
図表37 住みやすさ（単数回答）



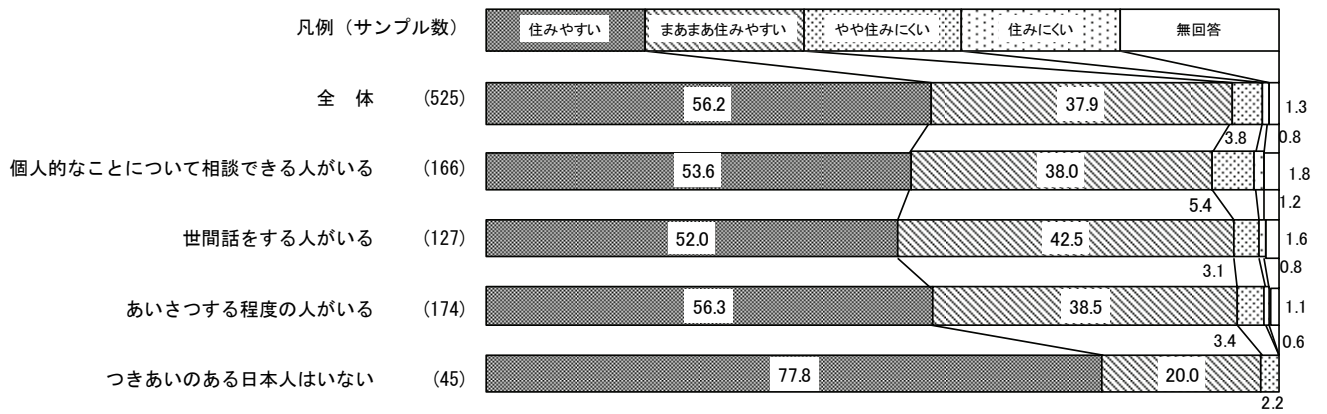
図表38 国籍別住みやすさ（単数回答）



図表39 男女・年代別住みやすさ（単数回答）



図表40 日本人とのつきあいの程度別住みやすさ（単数回答）

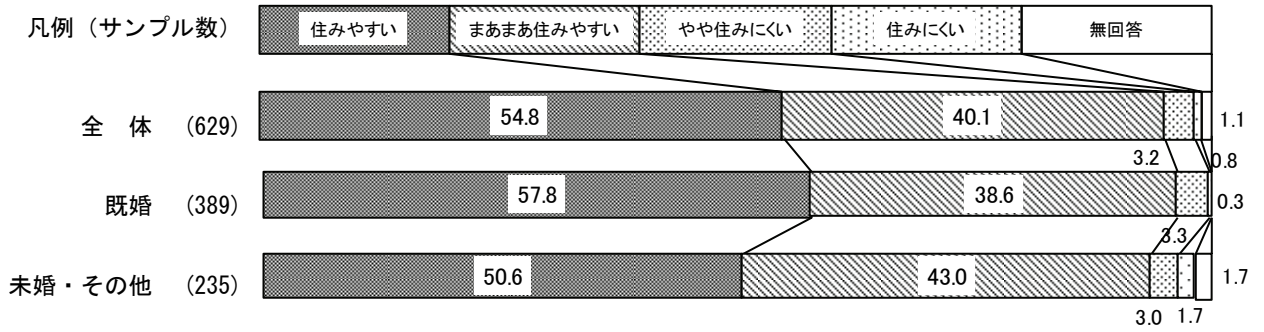


図表41 日本での生活の心配事別住みやすさ（単数回答）

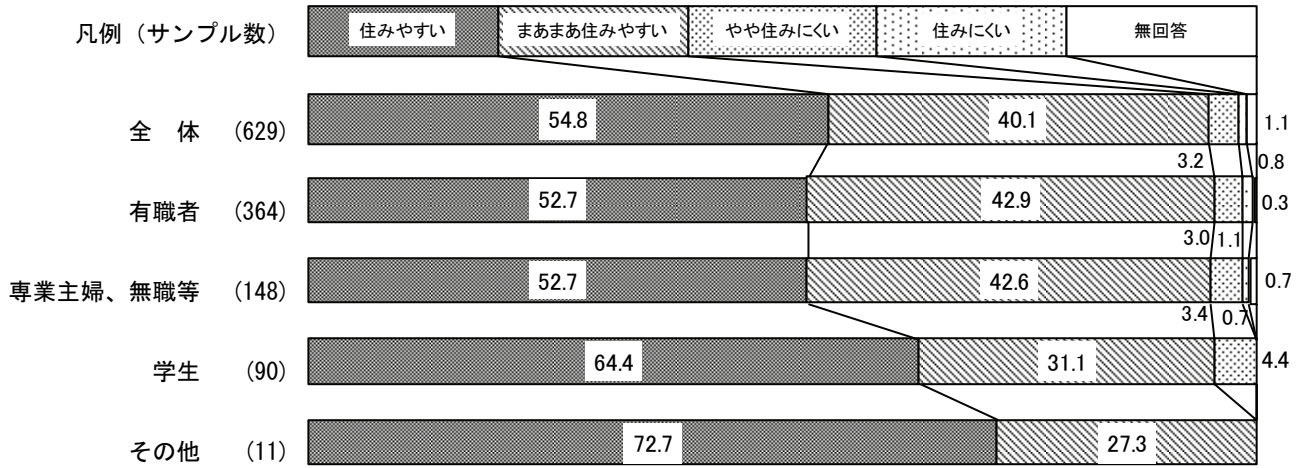
	調査数	住みやすい	まあまあ住みやすい	やや住みにくい	住みにくい	無回答
全体	629	345	252	20	5	7
	100.0	54.8	40.1	3.2	0.8	1.1
ゴミの出し方	25	9	14	-	2	-
	100.0	36.0	56.0	-	8.0	-
日本語の不自由さ	150	93	53	3	1	-
	100.0	62.0	35.3	2.0	0.7	-
情報の少なさ	100	53	40	5	1	1
	100.0	53.0	40.0	5.0	1.0	1.0
住まいさがし	62	30	24	6	2	-
	100.0	48.4	38.7	9.7	3.2	-
住まいの使い方	9	3	5	-	1	-
	100.0	33.3	55.6	-	11.1	-
病院、医療	94	54	35	5	-	-
	100.0	57.4	37.2	5.3	-	-
税金	143	74	55	10	2	2
	100.0	51.7	38.5	7.0	1.4	1.4
年金	143	73	62	6	-	2
	100.0	51.0	43.4	4.2	-	1.4
老後の生活	181	90	80	9	1	1
	100.0	49.7	44.2	5.0	0.6	0.6
子育て、教育	107	57	44	4	1	1
	100.0	53.3	41.1	3.7	0.9	0.9
仕事さがし	138	66	62	7	2	1
	100.0	47.8	44.9	5.1	1.4	0.7
職場での仕事	40	22	16	1	1	-
	100.0	55.0	40.0	2.5	2.5	-
職場での人間関係	55	31	22	1	1	-
	100.0	56.4	40.0	1.8	1.8	-
給与	53	23	28	2	-	-
	100.0	43.4	52.8	3.8	-	-
学校生活	15	9	4	2	-	-
	100.0	60.0	26.7	13.3	-	-
災害時、緊急時の対応	134	65	63	5	-	1
	100.0	48.5	47.0	3.7	-	0.7
近所でのつきあい	52	29	21	2	-	-
	100.0	55.8	40.4	3.8	-	-
知人、友人とのつきあい	31	17	13	1	-	-
	100.0	54.8	41.9	3.2	-	-
日本人とのトラブル	25	16	9	-	-	-
	100.0	64.0	36.0	-	-	-
日本人の偏見、差別	155	74	68	11	2	-
	100.0	47.7	43.9	7.1	1.3	-
物価の高さ	148	79	61	5	1	2
	100.0	53.4	41.2	3.4	0.7	1.4
選挙権がないこと	90	43	39	5	2	1
	100.0	47.8	43.3	5.6	2.2	1.1
その他	17	7	8	-	1	1
	100.0	41.2	47.1	-	5.9	5.9
とくにない	97	53	39	2	-	3
	100.0	54.6	40.2	2.1	-	3.1
わからない	6	6	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

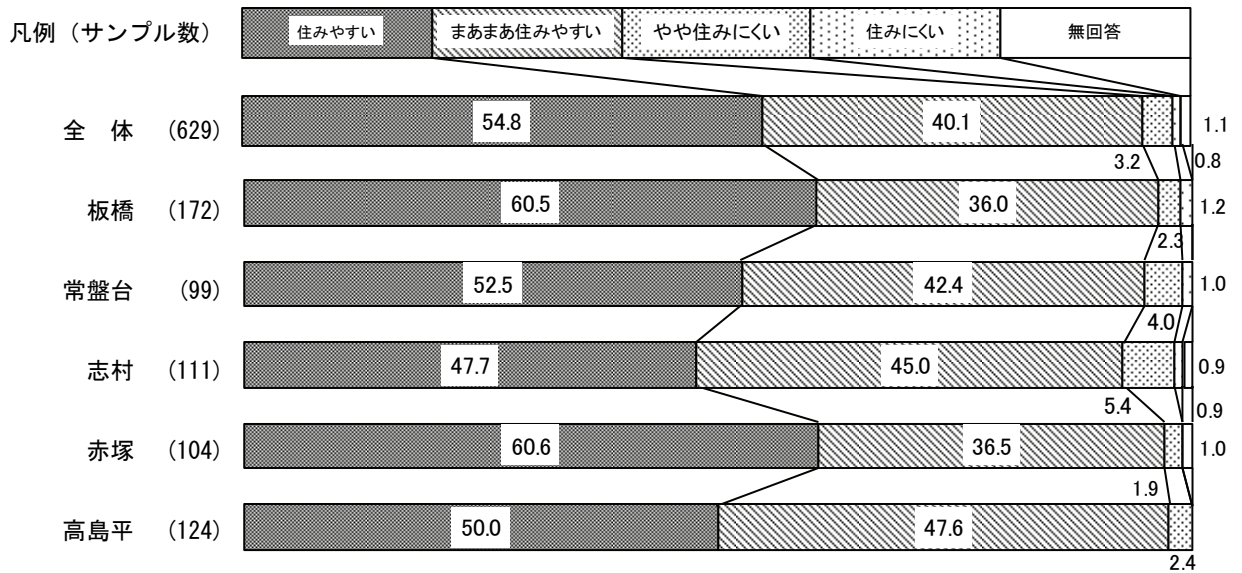
図表42 婚歴別住みやすさ（単数回答）



図表43 就業形態別住みやすさ（単数回答）



図表44 居住地域別住みやすさ（単数回答）



(10) 板橋区での定住意向

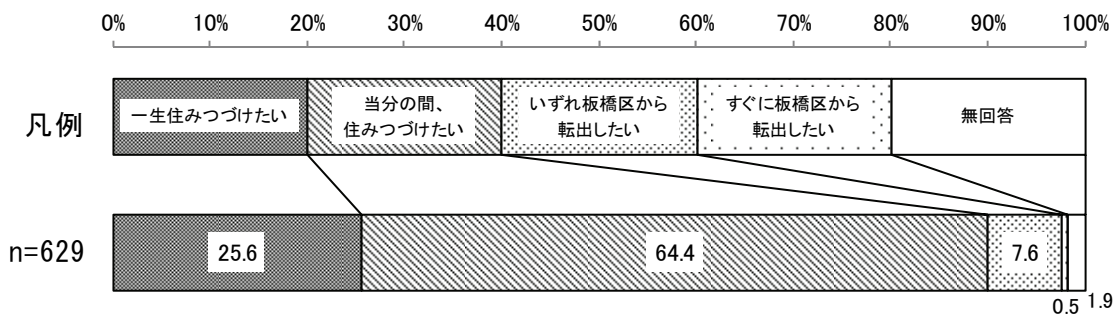
○定住意向

問46 あなたは、今後、どれくらい板橋区に住みつづけたいですか。(ひとつだけ○)

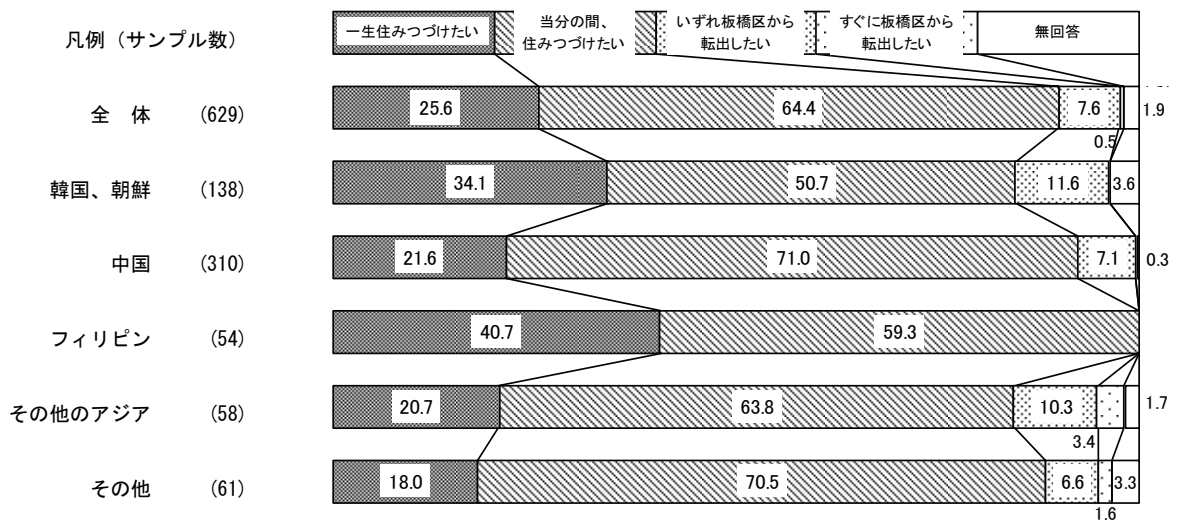
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の板橋区での定住意向は、「一生住みつづけたい」が 25.6%、「当分の間、住みつづけたい」が 64.4%で、合わせた割合は 90.0%となっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「当分の間、住みつづけたい」が最も高く、次いで「一生住みつづけたい」となっている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに 20～50 代で「当分の間、住みつづけたい」が最も高くなっているが、60 歳以上は「一生住みつづけたい」が最も高くなっている。また、年齢が高くなるにつれ、「一生住みつづけたい」の割合が高くなっていることがわかる。
- ・満 15 歳以下の子どもの有無別にみると、子どもの有無に関わらず「当分の間、住みつづけたい」が最も高く、次いで「一生住みつづけたい」となっているが、「一生住みつづけたい」は「子どもがいる」が「子どもがいない」を 5.7 ポイント上回っている。
- ・居住地域別にみると、全ての地域で「当分の間、住みつづけたい」が最も高く、次いで「一生住みつづけたい」となっている。
- ・同居者の人数別にみると、全ての人数で「当分の間、住みつづけたい」が最も高く、次いで「一生住みつづけたい」となっている。また、同居者が増えるにつれ「一生住みつづけたい」の割合が高くなる傾向がある。

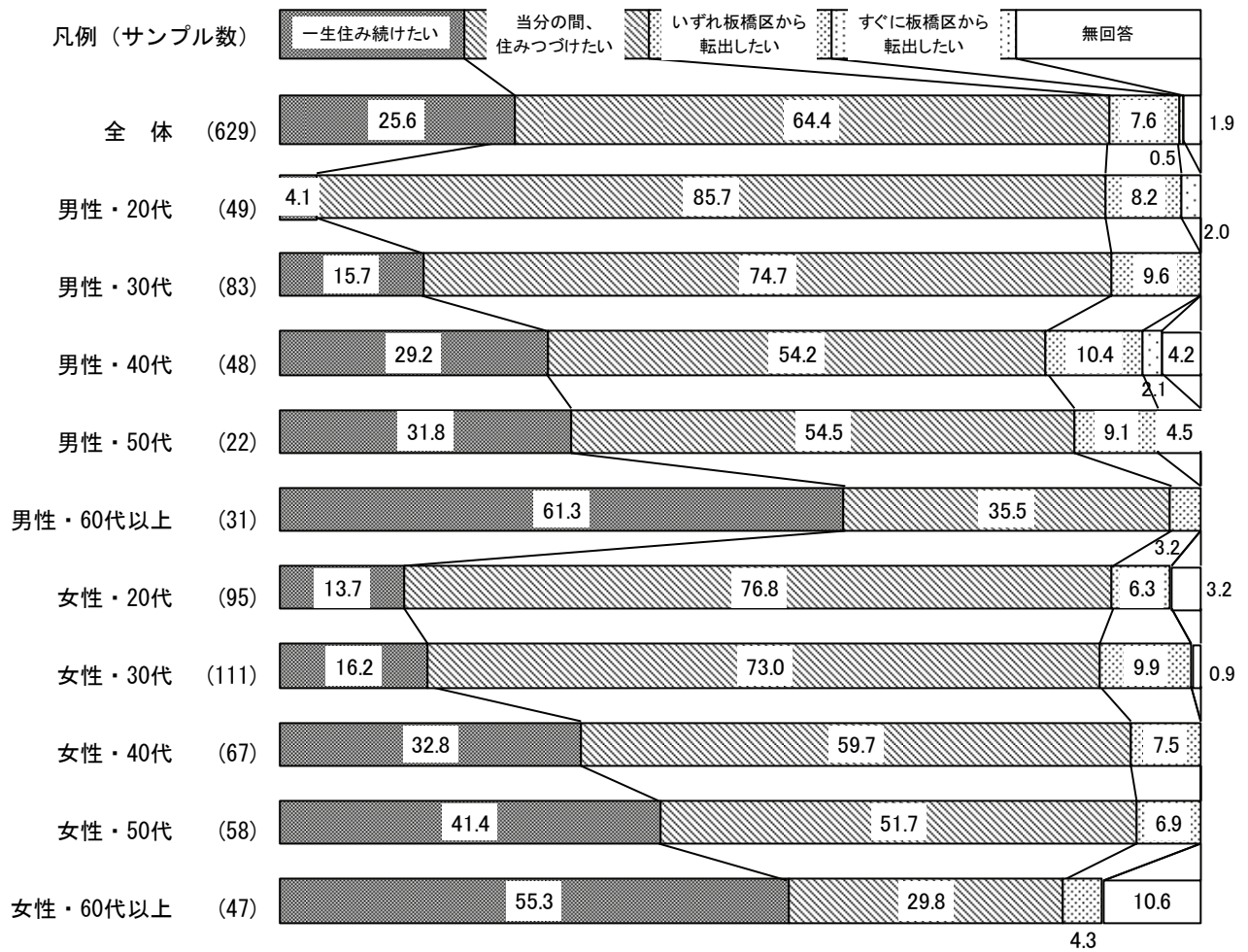
図表45 定住意向（単数回答）



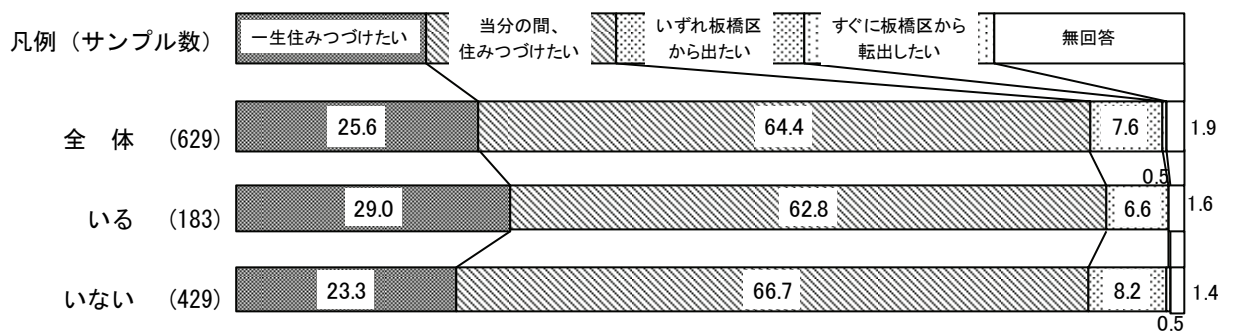
図表46 国籍別定住意向（単数回答）



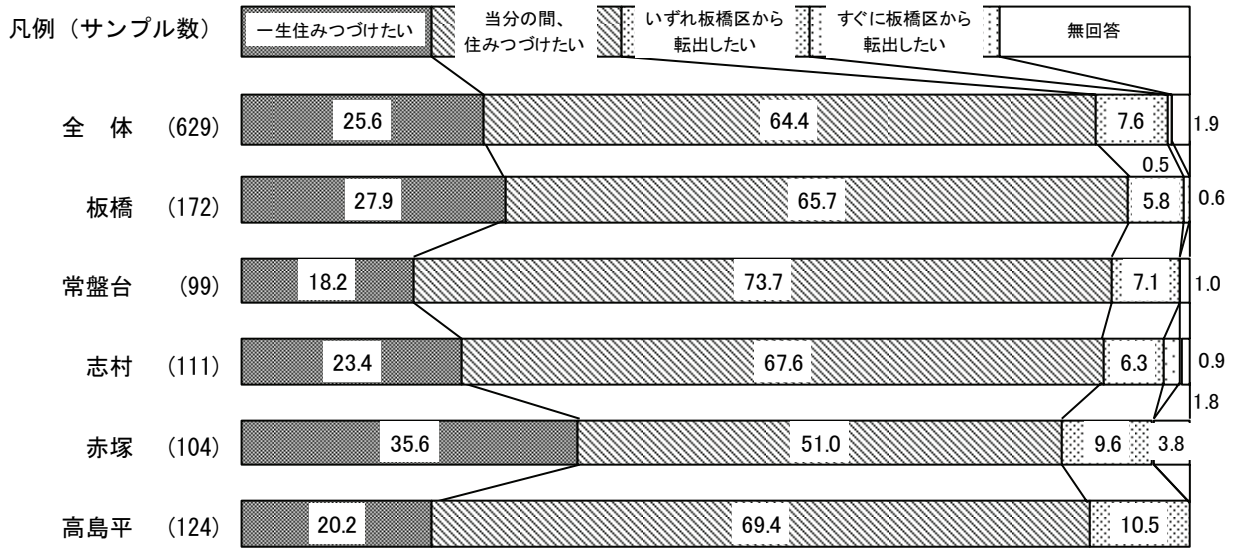
図表47 男女・年代別定住意向（単数回答）



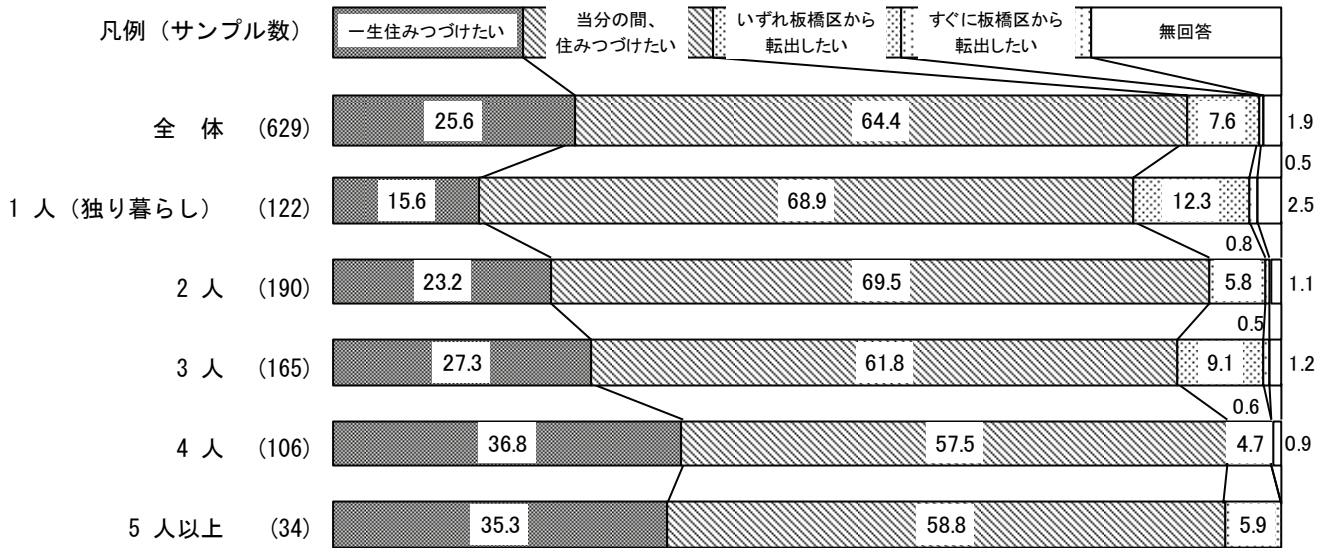
図表48 子どもの有無別定住意向（単数回答）



図表49 居住地域別定住意向（単数回答）



図表50 同居者数別定住意向（単数回答）



2 ことばについて

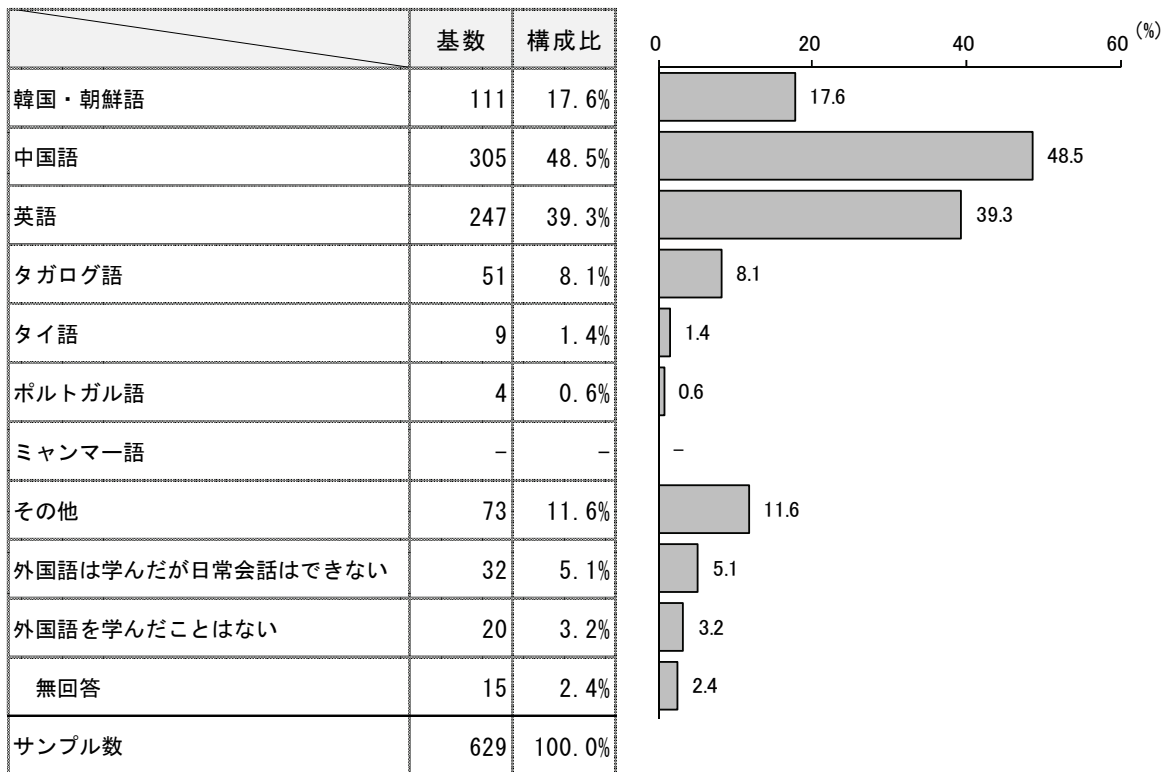
(1) 日常会話のできる外国語

問2 あなたは、日本語以外で日常会話のできる外国語はありますか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・日常会話のできる外国語は、「中国語」が最も高く 48.5%、次いで「英語」が 39.3%、「韓国・朝鮮語」が 17.6%などの順になっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で母国語が高くなっているが、母国語を除くと、「英語」が高い傾向があることから、英語の習得率が高いことがわかる。

図表51 日常会話できる外国語（複数回答）



図表52 国籍別日常会話できる外国語（複数回答）

	調査数	韓国・朝鮮語	中国語	英語	タガログ語	タイ語	ポルトガル語	ミャンマー語	その他	外国語は学んだが日常会話はできない	外国語を学んだことはない	無回答
全体	629	111	305	247	51	9	4	-	73	32	20	15
韓国、朝鮮	138	96	2	21	-	-	-	-	2	19	11	9
中国	310	11	273	114	-	-	-	-	12	10	7	4
フィリピン	54	1	-	34	51	-	-	-	2	1	1	-
その他のアジア	58	-	26	29	-	8	-	-	24	1	1	-
その他	61	-	1	48	-	13.8	4	-	41.4	1.7	1.7	-
	100.0	-	1.6	78.7	-	1.6	6.6	-	49.2	1.6	-	1.6

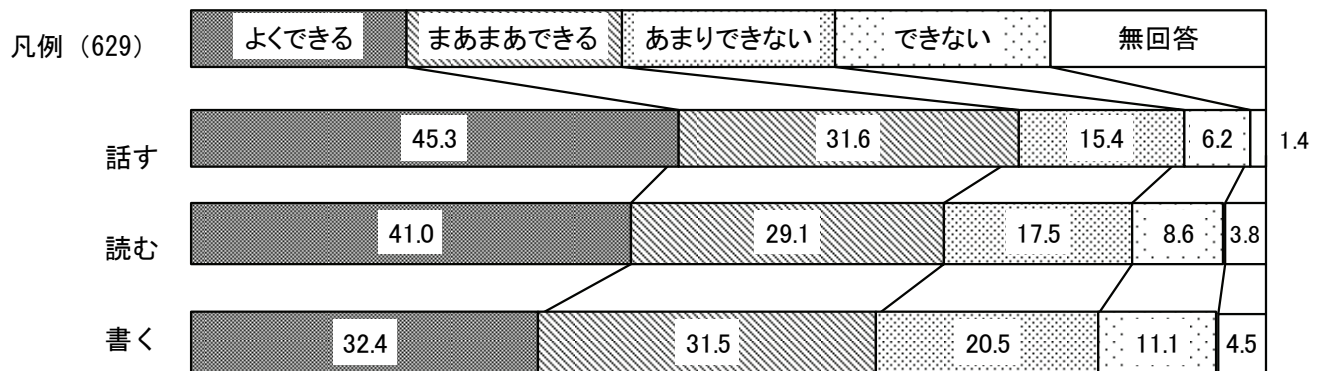
上段：件数（件）、下段：構成比（%）

(2) 日本語能力

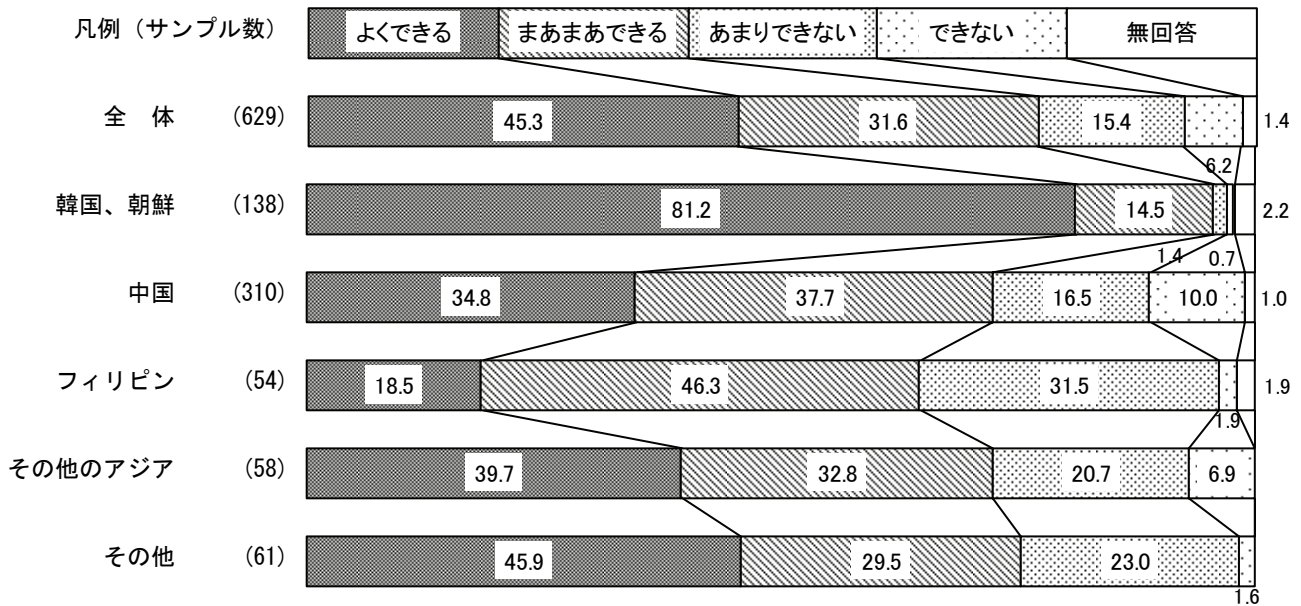
問3 あなたはどのくらい日本語ができますか。(A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

- ・日本語能力において、「よくできる」と「まあまあできる」を合わせた割合は、話すことについては 76.9%、読むことについては 70.1%、書くことについては 63.9%となっており、話すこと、読むこと、書くことの順に習得率が高くなっていることがわかる。
- ・国籍別にみると、話すこと、読むこと、書くことのいずれにおいても、“韓国、朝鮮”は「よくできる」が高くなっている。また、“フィリピン”においては、他の国籍と比較して「よくできる」が低くなっている。
- ・国内居住年数別にみると、話すことについては「よくできる」と「まあまあできる」を合わせた割合は、居住年数が長くなるにつれ高くなる傾向があるが、読むこと、書くことについては、居住年数10年以上では高くなるものの、10年未満では居住年数が長くなるにつれ、割合が高くなる傾向はみられない。

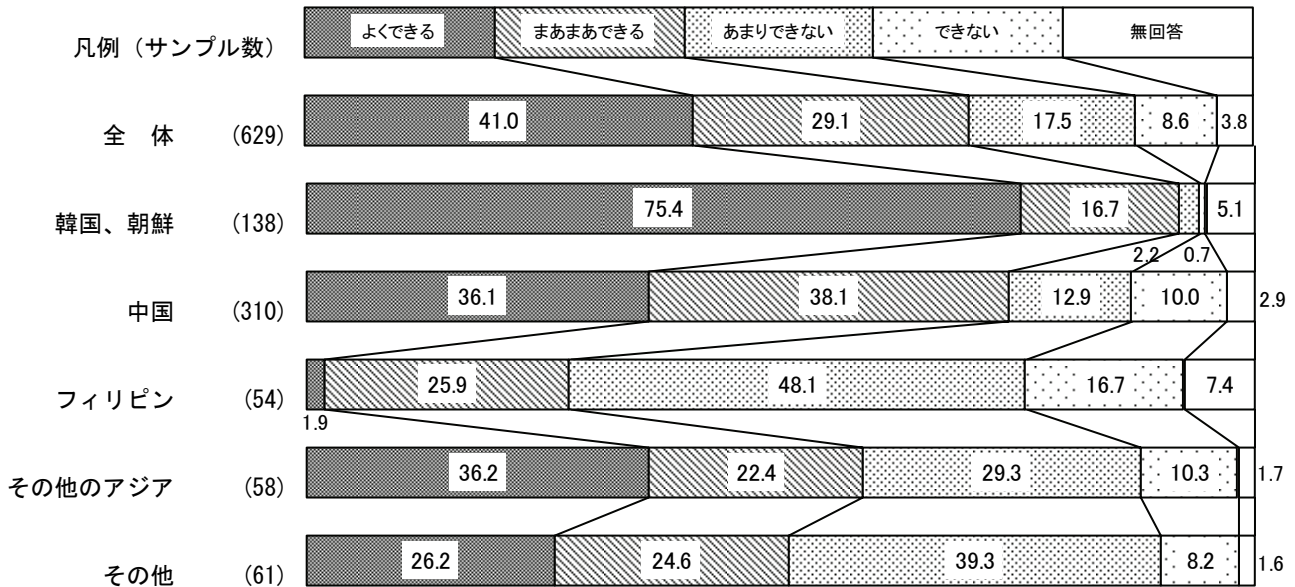
図表53 日本語能力（単数回答）



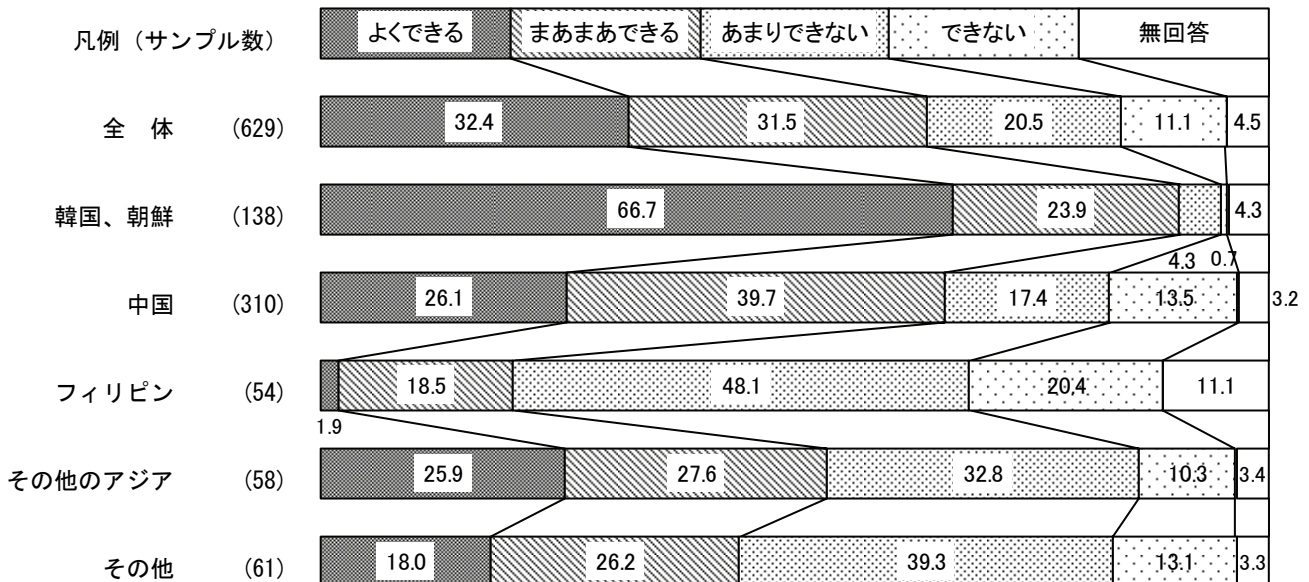
図表54 国籍別日本語能力ー話す（単数回答）



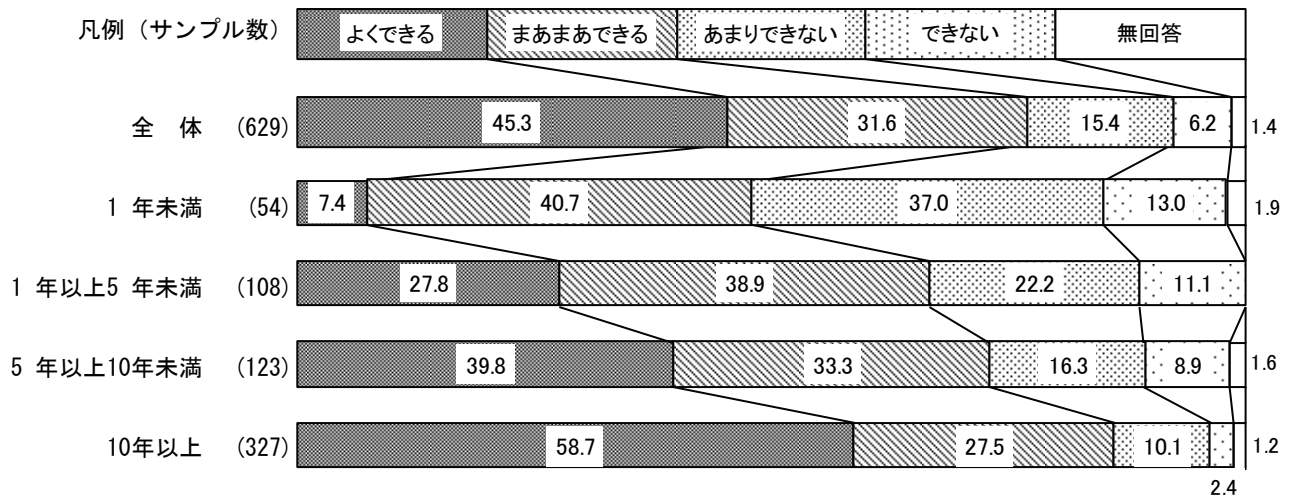
図表55 国籍別日本語能力ー読む（単数回答）



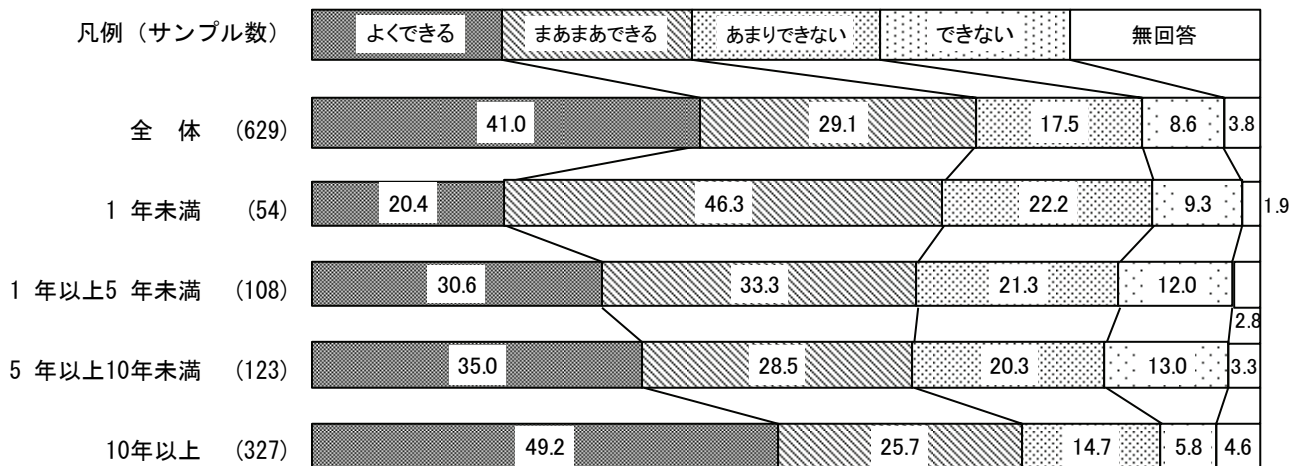
図表56 国籍別日本語能力ー書く（単数回答）



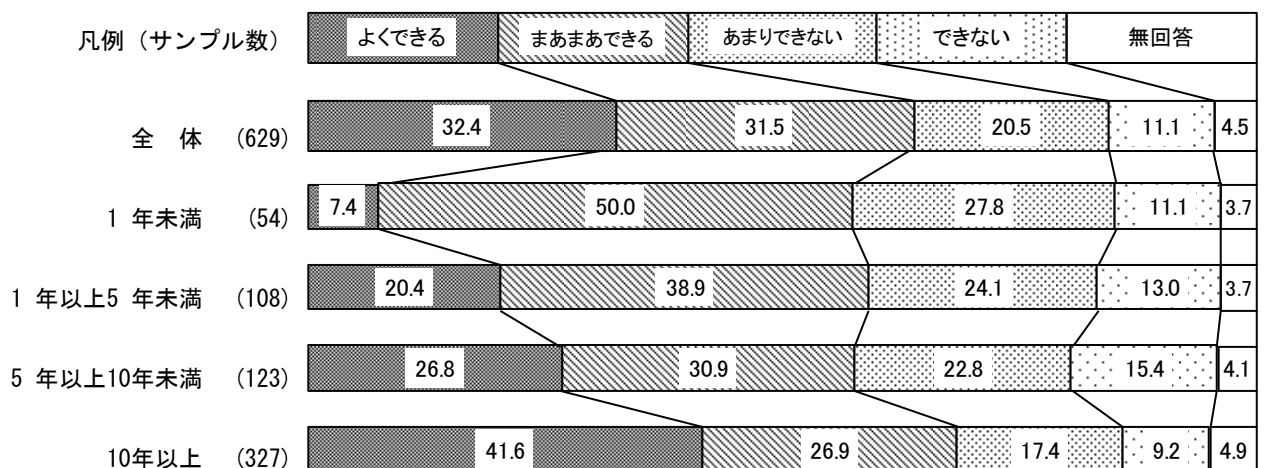
図表57 国内居住年数別日本語能力一話す（単数回答）



図表58 国内居住年数別日本語能力一読む（単数回答）



図表59 国内居住年数別日本語能力一書く（単数回答）

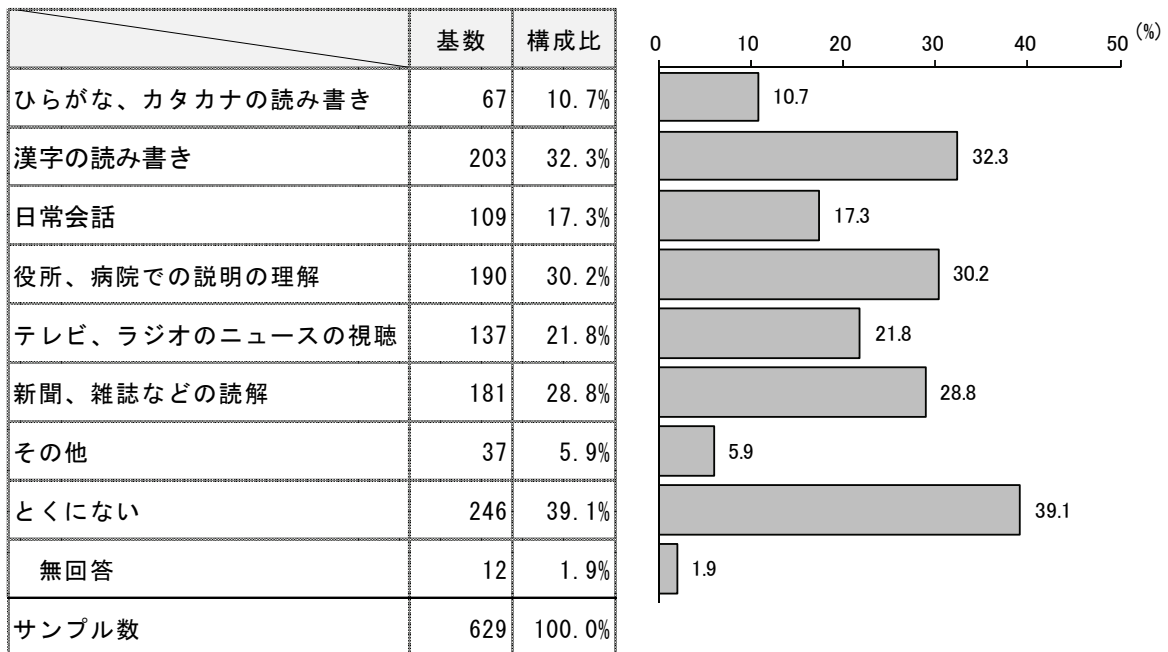


(3) 日本語に関する困りごと

問4 あなたは、日本語に関して困ることはありますか。(いくつかでも○)

- ・日本語に関して困ることは、「とくにない」が 39.1%と最も高いが、具体的な困りごととしては「漢字の読み書き」が 32.3%、「役所、病院での説明の理解」が 30.2%、「新聞、雑誌などの読解」が 28.8%と高くなっている。
- ・国籍別にみると、「韓国、朝鮮」、「中国」は「とくにない」が最も高くなっているが、「フィリピン」、「その他のアジア」、「その他」は「漢字の読み書き」が最も高くなっている。中でも「フィリピン」は 77.8%と高くなっている。
- ・国内居住年数別にみると、1年未満では「日常会話」と「テレビ、ラジオのニュース視聴」、1年以上 10年未満では「役所、病院での説明の理解」が最も高くなっている。

図表60 日本語に関する困りごと（複数回答）



図表61 国籍別日本語に関する困りごと（複数回答）

	調査数	ひらがな、カタカナの読み書き	漢字の読み書き	日常会話	役所、病院での説明の理解	テレビ、ラジオのニュースの視聴	新聞、雑誌などの読解	その他	とくにない	無回答
全体	629	67	203	109	190	137	181	37	246	12
	100.0	10.7	32.3	17.3	30.2	21.8	28.8	5.9	39.1	1.9
韓国、朝鮮	138	5	26	7	12	6	14	3	95	5
	100.0	3.6	18.8	5.1	8.7	4.3	10.1	2.2	68.8	3.6
中国	310	32	62	67	95	68	70	20	121	4
	100.0	10.3	20.0	21.6	30.6	21.9	22.6	6.5	39.0	1.3
フィリピン	54	16	42	9	28	17	31	1	4	2
	100.0	29.6	77.8	16.7	51.9	31.5	57.4	1.9	7.4	3.7
その他のアジア	58	8	32	12	25	20	26	6	12	-
	100.0	13.8	55.2	20.7	43.1	34.5	44.9	10.3	20.7	-
その他	61	4	37	12	26	23	36	5	12	-
	100.0	6.6	60.7	19.7	42.6	37.7	59.0	8.2	19.7	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表62 国内居住年数別日本語に関する困りごと（複数回答）

	調査数	ひらがな、カタカナの読み書き	漢字の読み書き	日常会話	役所、病院での説明の理解	テレビ、ラジオのニュースの視聴	新聞、雑誌などの読解	その他	とくにない	無回答
全体	629 100.0	67 10.7	203 32.3	109 17.3	190 30.2	137 21.8	181 28.8	37 5.9	246 39.1	12 1.9
1年未満	54 100.0	6 11.1	20 37.0	25 46.3	20 37.0	25 46.3	20 37.0	4 7.4	9 16.7	-
1年以上5年未満	108 100.0	10 9.3	41 38.0	29 26.9	52 48.1	42 38.9	39 36.1	14 13.0	22 20.4	1 0.9
5年以上10年未満	123 100.0	21 17.1	44 35.8	26 21.1	46 37.4	31 25.2	46 37.4	8 6.5	40 32.5	-
10年以上	327 100.0	29 8.9	92 28.1	27 8.3	67 20.5	38 11.6	75 22.9	10 3.1	168 51.4	9 2.8

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

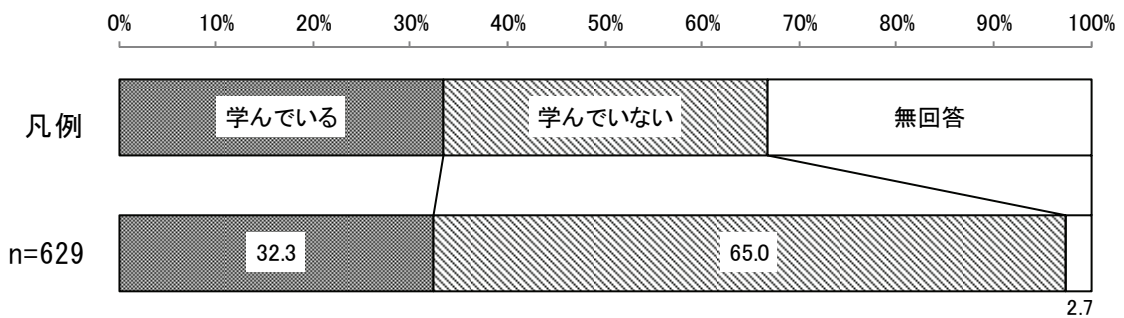
(4) 日本語の学習

○日本語の学習状況

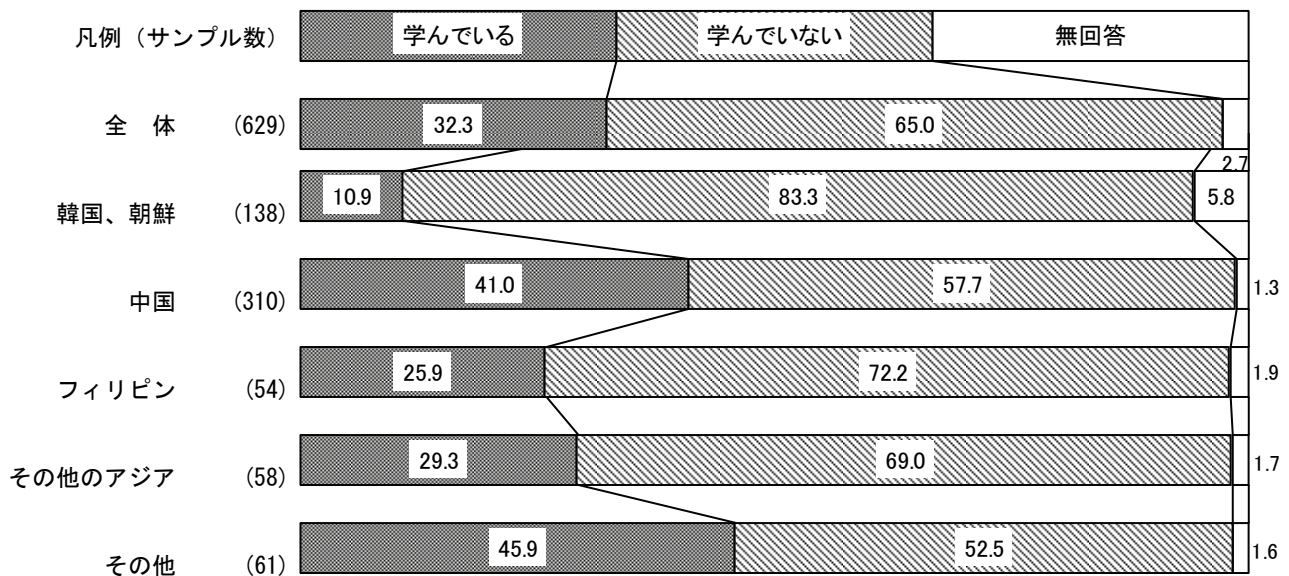
問5 あなたは、現在、日本語を学んでいますか。(ひとつだけ○)

- ・現在の日本語の学習状況は、「学んでいる」が32.3%、「学んでいない」が65.0%となっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「学んでいない」が「学んでいる」を上回っているが、「学んでいる」は“中国”、“その他”が他の国籍と比較してやや高くなっている。

図表63 日本語の学習状況（単数回答）



図表64 国籍別日本語の学習状況（単数回答）



図表65 日本語の習熟度別日本語の学習状況（単数回答）

	調査数	学んでいる	学んでいない	無回答
全体	629 100.0	203 32.3	409 65.0	17 2.7
話す				
よくできる	285 100.0	50 17.5	227 79.6	8 2.8
まあまあできる	199 100.0	90 45.2	106 53.3	3 1.5
あまりできない	97 100.0	48 49.5	47 48.5	2 2.1
できない	39 100.0	14 35.9	25 64.1	- -
読む				
よくできる	258 100.0	57 22.1	194 75.2	7 2.7
まあまあできる	183 100.0	79 43.2	102 55.7	2 1.1
あまりできない	110 100.0	51 46.4	57 51.8	2 1.8
できない	54 100.0	13 24.1	40 74.1	1 1.9
書く				
よくできる	204 100.0	34 16.7	164 80.4	6 2.9
まあまあできる	198 100.0	90 45.5	107 54.0	1 0.5
あまりできない	129 100.0	60 46.5	65 50.4	4 3.1
できない	70 100.0	15 21.4	54 77.1	1 1.4

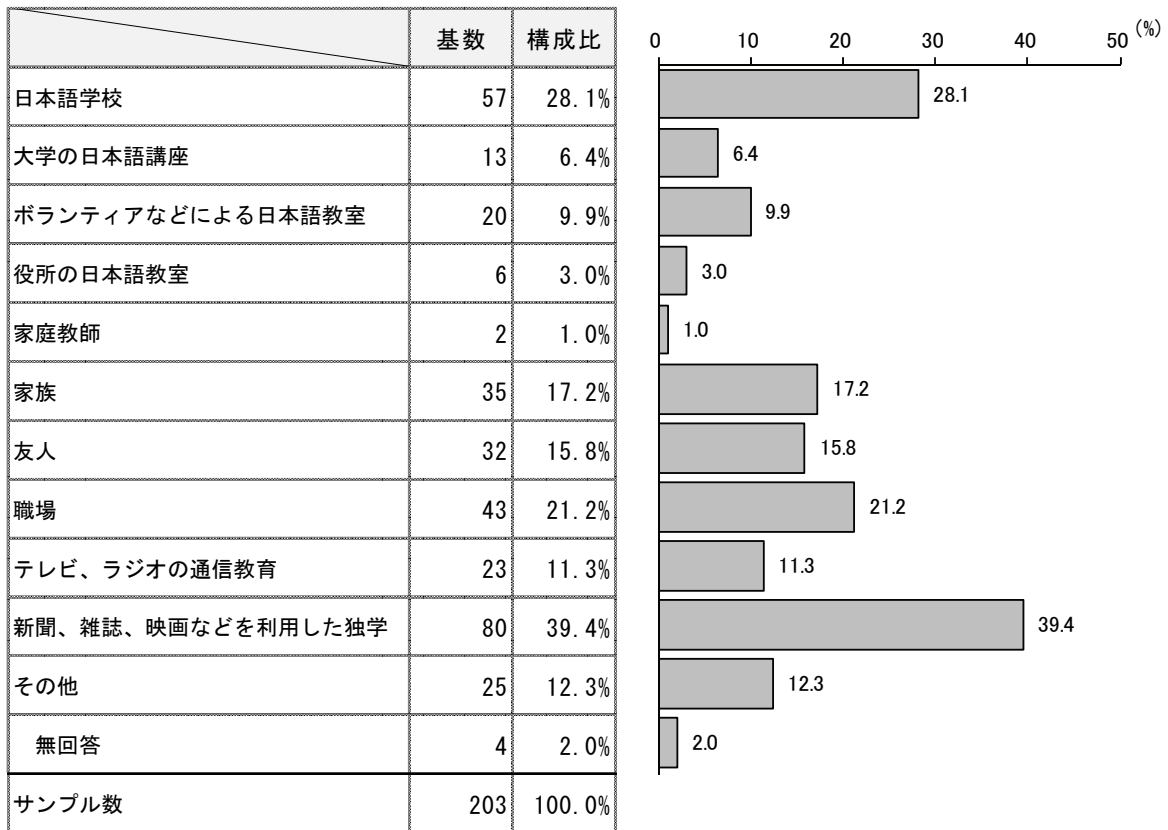
上段：件数（件）、下段：構成比（%）

○日本語の学習方法

問6 問5 で 1 に回答された方(現在、日本語を学んでいる人)にお聞きします。あなたは、日本語をどのような方法で学んでいますか。(いくつでも○)

- ・現在日本語を学習している 203 人の学習方法を聞いたところ、「新聞、雑誌、映画などを利用した独学」が最も高く 39.4%、次いで「日本語学校」が 28.1%、「職場」が 21.2%の順になっている。また、「役所の日本語教室」については 3.0%、「ボランティアなどによる日本語教室」は 9.9%となっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「新聞、雑誌、映画などを利用した独学」が高い傾向にある。しかし“フィリピン”は「家族」が最も高くなっている。
- ・日本語の習熟度別にみると、全ての習熟度で「新聞、雑誌、映画などを利用した独学」が高くなっているが、話すことの習熟度が低い人は日本語学校に通っている割合が高いことがわかる。

図表66 日本語の学習方法（複数回答）



図表67 国籍別日本語の学習方法（複数回答）

	調査数	日本語学校	大学の日本語講座	ボランティアなどの日本語教室	役所の日本語教室	家庭教師	家族	友人	職場	教育テレビ、ラジオの通信	新聞、雑誌、映画などを利用した独学	その他	無回答
全体	203	57	13	20	6	2	35	32	43	23	80	25	4
	100.0	28.1	6.4	9.9	3.0	1.0	17.2	15.8	21.2	11.3	39.4	12.3	2.0
韓国、朝鮮	15	4	1	-	-	-	-	2	1	2	8	1	1
	100.0	26.7	6.7	-	-	-	-	13.3	6.7	13.3	53.3	6.7	6.7
中国	127	40	8	12	4	-	17	17	23	15	51	15	2
	100.0	31.5	6.3	9.4	3.1	-	13.4	13.4	18.1	11.8	40.2	11.8	1.6
フィリピン	14	1	-	3	1	1	10	2	5	3	4	-	1
	100.0	7.1	-	21.4	7.1	7.1	71.4	14.3	35.7	21.4	28.6	-	7.1
その他のアジア	17	7	-	3	-	1	4	5	3	2	7	3	-
	100.0	41.2	-	17.6	-	5.9	23.5	29.4	17.6	11.8	41.2	17.6	-
その他	28	5	4	2	1	-	4	6	11	1	10	4	-
	100.0	17.9	14.3	7.1	3.6	-	14.3	21.4	39.3	3.6	35.7	14.3	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表68 日本語習熟度別日本語の学習方法（複数回答）

	調査数	日本語学校	大学の日本語講座	ボランティアなどの日本語教室	役所の日本語教室	家庭教師	家族	友人	職場	教育テレビ、ラジオの通信	新聞、雑誌、映画などを利用した独学	その他	無回答
全体	203	57	13	20	6	2	35	32	43	23	80	25	4
	100.0	28.1	6.4	9.9	3.0	1.0	17.2	15.8	21.2	11.3	39.4	12.3	2.0
話す													
よくできる	50	9	6	3	-	-	3	9	11	6	28	6	2
	100.0	18.0	12.0	6.0	-	-	6.0	18.0	22.0	12.0	56.0	12.0	4.0
まあまあできる	90	25	5	10	1	1	20	10	20	10	35	11	2
	100.0	27.8	5.6	11.1	1.1	1.1	22.2	11.1	22.2	11.1	38.9	12.2	2.2
あまりできない	48	19	2	5	5	1	11	11	11	6	13	5	-
	100.0	39.6	4.2	10.4	10.4	2.1	22.9	22.9	22.9	12.5	27.1	10.4	-
できない	14	4	-	2	-	-	1	2	1	1	4	2	-
	100.0	28.6	-	14.3	-	-	7.1	14.3	7.1	7.1	28.6	14.3	-
聞く													
よくできる	57	14	7	4	-	-	3	10	11	7	29	7	3
	100.0	24.6	12.3	7.0	-	-	5.3	17.5	19.3	12.3	50.9	12.3	5.3
まあまあできる	79	26	4	8	3	-	9	5	12	8	30	9	1
	100.0	32.9	5.1	10.1	3.8	-	11.4	6.3	15.2	10.1	38.0	11.4	1.3
あまりできない	51	14	2	7	3	1	21	13	15	7	18	6	-
	100.0	27.5	3.9	13.7	5.9	2.0	41.2	25.5	29.4	13.7	35.3	11.8	-
できない	13	2	-	1	-	1	1	2	3	-	2	3	-
	100.0	15.4	-	7.7	-	7.7	7.7	15.4	23.1	-	15.4	23.1	-
書く													
よくできる	34	4	3	-	-	-	3	9	9	6	21	4	1
	100.0	11.8	8.8	-	-	-	8.8	26.5	26.5	17.6	61.8	11.8	2.9
まあまあできる	90	33	7	8	1	-	11	7	13	8	37	10	2
	100.0	36.7	7.8	8.9	1.1	-	12.2	7.8	14.4	8.9	41.1	11.1	2.2
あまりできない	60	16	3	11	5	1	18	12	16	7	17	7	1
	100.0	26.7	5.0	18.3	8.3	1.7	30.0	20.0	26.7	11.7	28.3	11.7	1.7
できない	15	3	-	1	-	1	1	1	3	1	4	3	-
	100.0	20.0	-	6.7	-	6.7	6.7	6.7	20.0	6.7	26.7	20.0	-

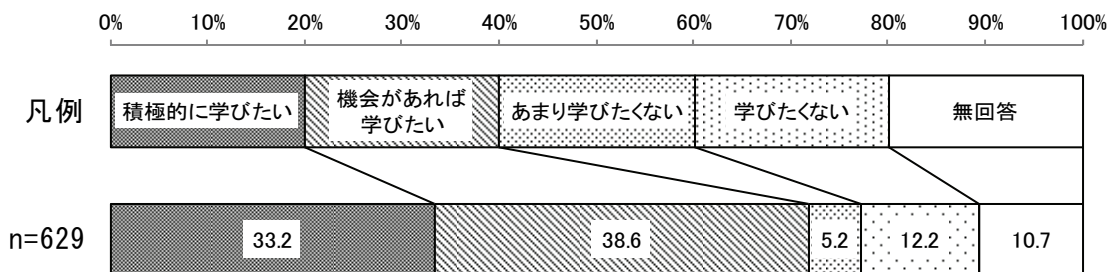
上段：件数（件）、下段：構成比（%）

○日本語の学習意向

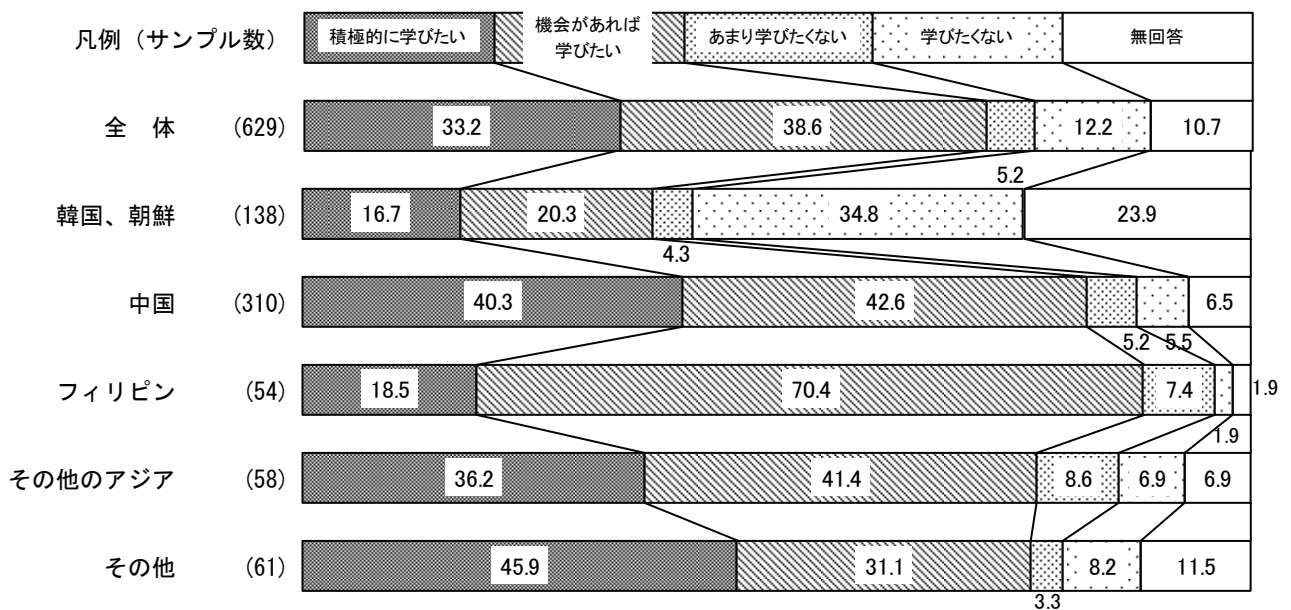
問7 あなたは、今後、日本語を学びたいと思いますか。(ひとつだけ○)

- ・日本語の学習意向は、「積極的に学びたい」が 33.2%、「機会があれば学びたい」が 38.6%で、合わせると 71.8%となっている。
- ・国籍別にみると、「積極的に学びたい」と「機会があれば学びたい」を合わせた割合は、“中国”、“フィリピン”では8割超え、“その他のアジア”、“その他”では7割超えで学びたいと思っている割合が高いことがわかる。一方、“韓国、朝鮮”は3割台後半と低くなっている。
- ・日本語学習の有無別にみると、「積極的に学びたい」と「機会があれば学びたい」を合わせた学習意向は、現在学んでいる人においては92.1%で9割を超えているが、現在学んでいない人においても64.0%で学びたいと思っている割合が半数を超えていることがわかる。

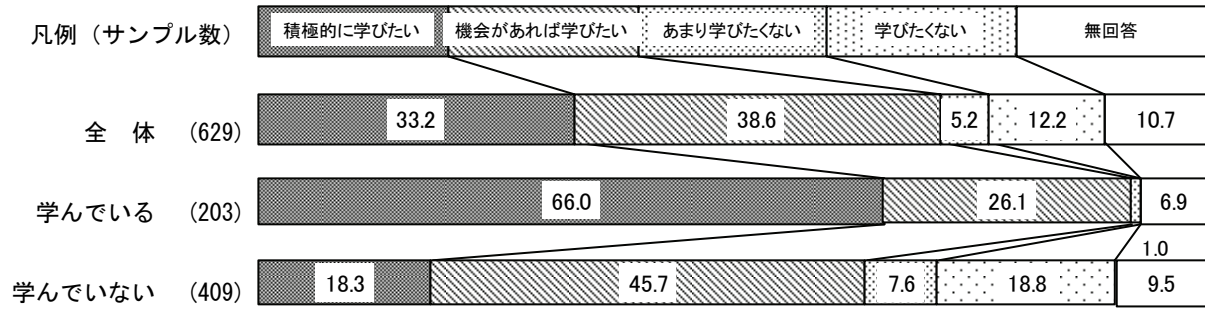
図表69 日本語の学習意向（単数回答）



図表70 国籍別日本語の学習意向（単数回答）



図表71 日本語学習の有無別日本語の学習意向（単数回答）

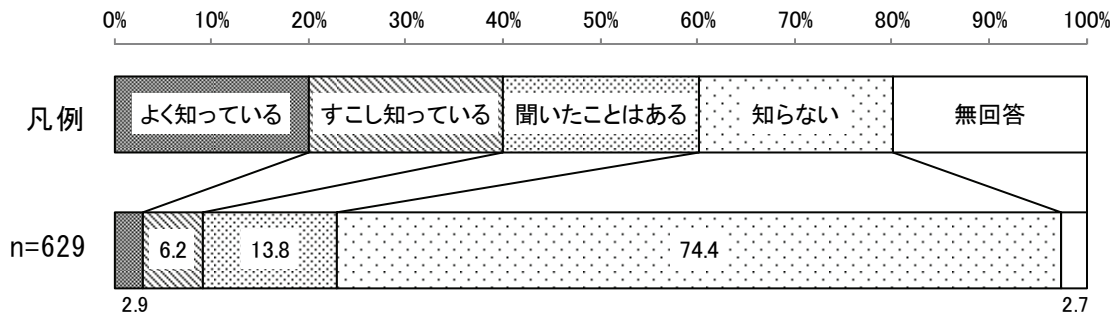


(5) 日本語学級の認知度

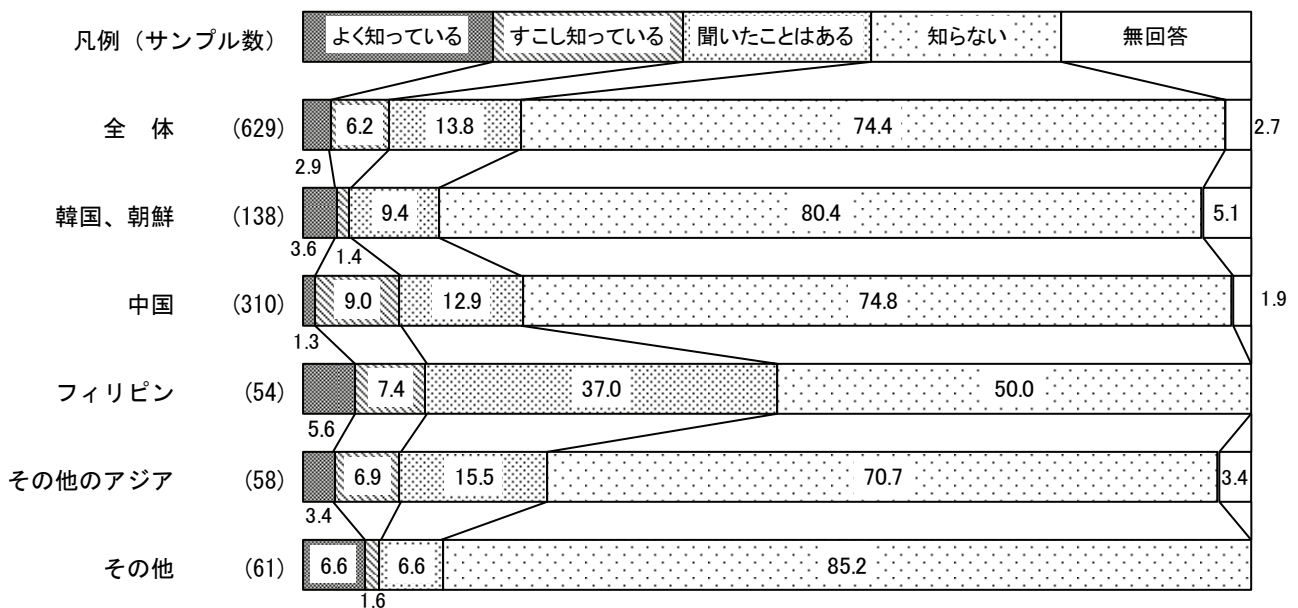
問8 あなたは、^{いたばしくない}板橋区内の5つの^{しょうちゅうがっこう}小中学校に、^{がいこくじん}外国人の子ども向けの^{こむ}「日本語学級」がある^{にほんごがっきゅう}ことを知っていますか。(ひとつだけ○)

- ・日本語学級の認知度は、「よく知っている」が 2.9%、「すこし知っている」が 6.2%、「聞いたことはある」が 13.8%で、合わせると 22.9%となっている。
- ・国籍別にみると、「フィリピン」の認知度が特に高く、「よく知っている」、「すこし知っている」、「聞いたことはある」を合わせた割合は 50.0%となっている。
- ・満 15 歳以下の子どもの有無別にみると、子どもがいる人では「よく知っている」、「すこし知っている」、「聞いたことはある」を合わせた割合は 31.2%で、子どもがいない人では 18.7%で子どもがいる人の認知度が高いことがわかる。

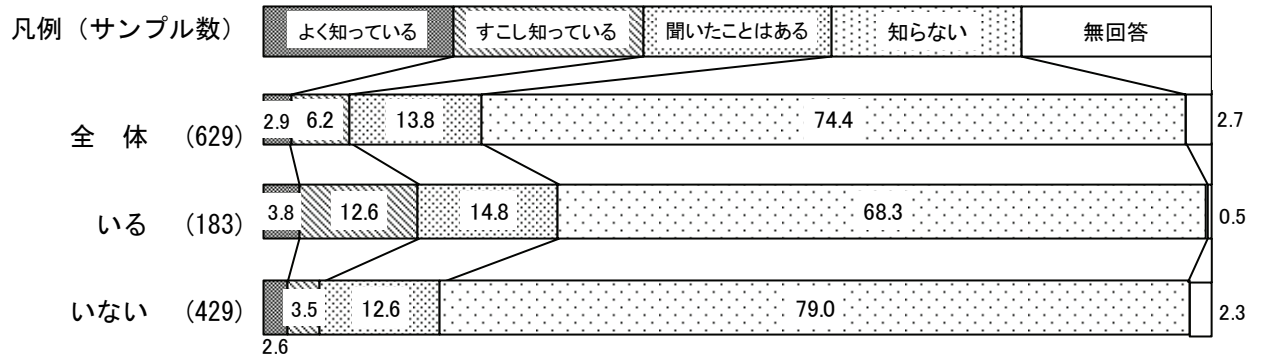
図表72 日本語学級の認知度（単数回答）



図表73 国籍別日本語学級の認知度（単数回答）



図表74 子どもの有無別日本語学級の認知度（単数回答）



(6) 日本語教室

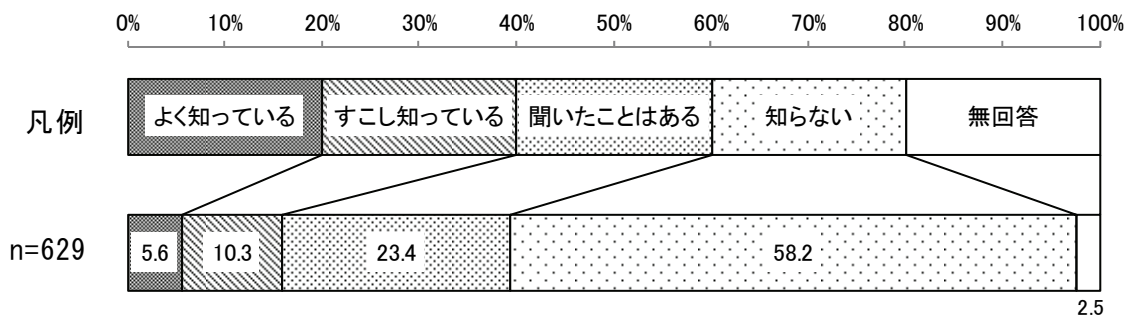
○日本語教室の認知度

問9 あなたは、外国人向けに、板橋区が主催している日本語教室や、ボランティアによる日本語教室があることを知っていますか。(ひとつだけ○)

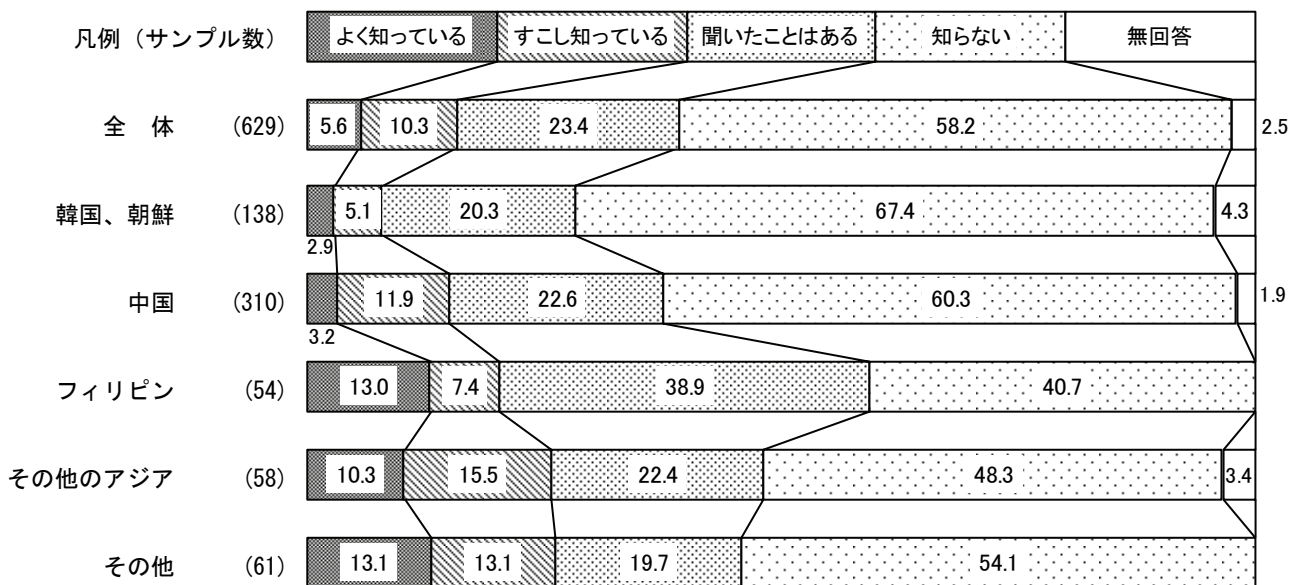
★外国人・日本人 共通設問

- ・日本語教室の認知度は、「よく知っている」が 5.6%、「すこし知っている」が 10.3%、「聞いたことはある」が 23.4%で合わせると 39.3%となっている。
- ・国籍別にみると、「よく知っている」、「すこし知っている」、「聞いたことはある」を合わせた割合は、“フィリピン”が 59.3%で約6割と最も高くなっている。一方、“韓国、朝鮮”は 28.3%で2割台後半となっており、最も低くなっている。

図表75 日本語教室の認知度（単数回答）



図表76 国籍別日本語教室の認知度（単数回答）

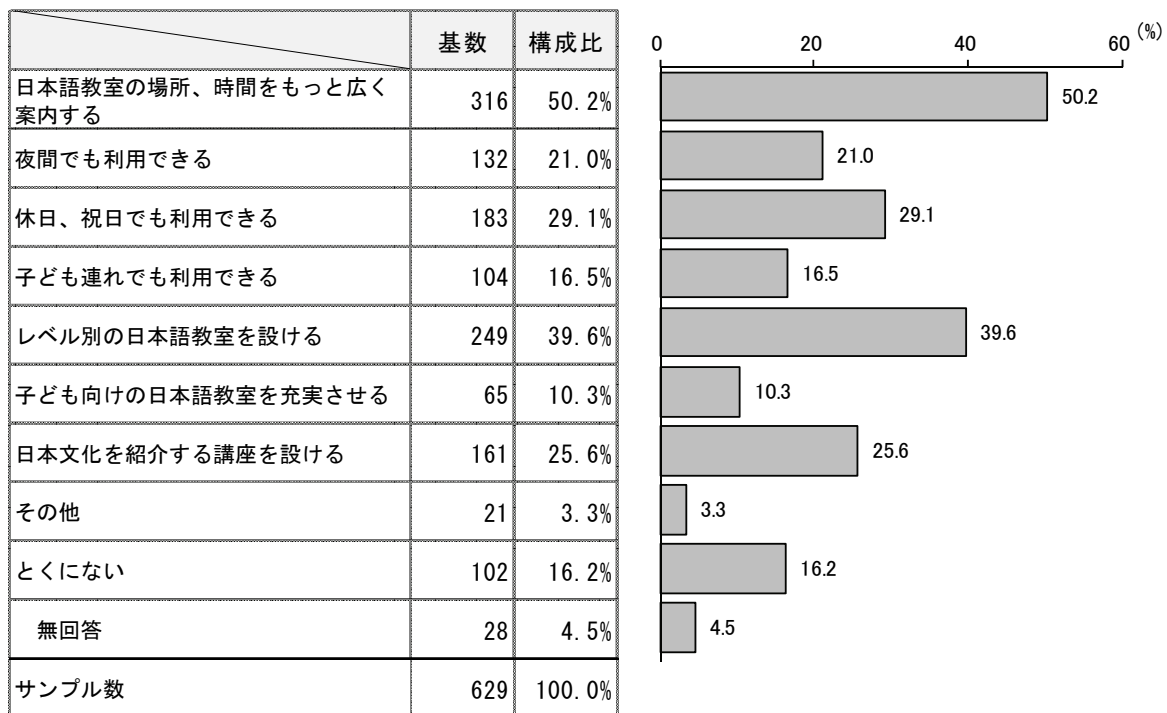


○日本語教室の改善点

問10 板橋区が主催している日本語教室や、ボランティアによる日本語教室が、もっと利用しやすくなるために、あなたは、今後、どのようなことが重要だと思いますか。
(いくつでも○)

- ・日本語教室の改善点は、「日本語教室の場所、時間をもっと広く案内する」が50.2%で最も高く、次いで「レベル別の日本語教室を設ける」が39.6%、「休日、祝日でも利用できる」が29.1%の順になっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「日本語教室の場所、時間をもっと広く案内する」が高い傾向にあり、“その他のアジア”以外の国籍では最も高くなっている。“その他のアジア”では「レベル別の日本語教室を設ける」が最も高くなっている。
- ・日本語教室の認知度別にみると、全ての認知度で「日本語教室の場所、時間をもっと広く案内する」が高い傾向があり、「少し知っている」、「聞いたことはある」、「知らない」では5割を超えている。そのため、日本語教室を利用しやすくするためには、日本語教室の案内に力を入れていくことが大切であることがわかる。

図表77 日本語教室の改善点（複数回答）



図表78 国籍別日本語教室の改善点（複数回答）

	調査数	日本語教室の場所、時間をもっと広く案内する	夜間でも利用できる	休日、祝日でも利用できる	子ども連れでも利用できる	レベル別の日本語教室を設ける	子ども向けの日本語教室を充実させる	日本文化を紹介する講座を設ける	その他	とくにない	無回答
全体	629 100.0	316 50.2	132 21.0	183 29.1	104 16.5	249 39.6	65 10.3	161 25.6	21 3.3	102 16.2	28 4.5
韓国、朝鮮	138 100.0	67 48.6	22 15.9	22 15.9	19 13.8	31 22.5	8 5.8	13 9.4	7 5.1	36 26.1	13 9.4
中国	310 100.0	159 51.3	67 21.6	101 32.6	58 18.7	135 43.5	35 11.3	89 28.7	6 1.9	52 16.8	6 1.9
フィリピン	54 100.0	29 53.7	6 11.1	18 33.3	11 20.4	20 37.0	12 22.2	24 44.4	1 1.9	3 5.6	2 3.7
その他のアジア	58 100.0	25 43.1	14 24.1	18 31.0	10 17.2	31 53.4	8 13.8	22 37.9	3 5.2	5 8.6	3 5.2
その他	61 100.0	35 57.4	22 36.1	23 37.7	5 8.2	31 50.8	2 3.3	12 19.7	3 4.9	4 6.6	1 1.6

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表79 子どもの有無別国籍別日本語教室の改善点（複数回答）

	調査数	日本語教室の場所、時間をもっと広く案内する	夜間でも利用できる	休日、祝日でも利用できる	子ども連れでも利用できる	レベル別の日本語教室を設ける	子ども向けの日本語教室を充実させる	日本文化を紹介する講座を設ける	その他	とくにない	無回答
全体	629 100.0	316 50.2	132 21.0	183 29.1	104 16.5	249 39.6	65 10.3	161 25.6	21 3.3	102 16.2	28 4.5
子どもがいる 韓国、朝鮮	27 100.0	18 66.7	5 18.5	7 25.9	10 37.0	6 22.2	-	3 11.1	1 3.7	4 14.8	-
子どもがいる 中国	112 100.0	52 46.4	25 22.3	38 33.9	40 35.7	48 42.9	22 19.6	34 30.4	3 2.7	18 16.1	1 0.9
子どもがいる フィリピン	19 100.0	10 52.6	-	2 10.5	3 15.8	7 36.8	3 15.8	12 63.2	1 5.3	-	1 5.3
子どもがいる その他のアジア	15 100.0	9 60.0	2 13.3	5 33.3	5 33.3	9 60.0	3 20.0	7 46.7	2 13.3	2 13.3	-
子どもがいる その他	9 100.0	4 44.4	4 44.4	2 22.2	-	6 66.7	-	4 44.4	1 11.1	-	-
子どもがいない 韓国、朝鮮	106 100.0	49 46.2	17 16.0	15 14.2	9 8.5	25 23.6	8 7.5	10 9.4	6 5.7	31 29.2	9 8.5
子どもがいない 中国	194 100.0	105 54.1	42 21.6	62 32.0	18 9.3	86 44.3	13 6.7	55 28.4	3 1.5	33 17.0	4 2.1
子どもがいない フィリピン	33 100.0	19 57.6	6 18.2	16 48.5	8 24.2	13 39.4	7 21.2	12 36.4	-	3 9.1	1 3.0
子どもがいない その他のアジア	41 100.0	16 39.0	12 29.3	13 31.7	5 12.2	22 53.7	4 9.8	15 36.6	1 2.4	3 7.3	2 4.9
子どもがいない その他	51 100.0	31 60.8	18 35.3	21 41.2	5 9.8	25 49.0	2 3.9	8 15.7	2 3.9	4 7.8	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表80 日本語学習の有無別日本語学習の意向別日本語教室の改善点（複数回答）

	調査数	間をもっと広く案内する	夜間でも利用できる	休日、祝日でも利用できる	子ども連れでも利用できる	をレベル別の日本語教室を設ける	子ども向けの日本語教室を充実させる	座を設ける	日本文化を紹介する講座	その他	とくにない	無回答
全体	629 100.0	316 50.2	132 21.0	183 29.1	104 16.5	249 39.6	65 10.3	161 25.6	21 3.3	102 16.2	28 4.5	
日本語を学んでいる 積極的に学びたい	134 100.0	88 65.7	33 24.6	42 31.3	14 10.4	62 46.3	10 7.5	44 32.8	6 4.5	10 7.5	1 0.7	
日本語を学んでいる 機会があれば学びたい	53 100.0	19 35.8	11 20.8	18 34.0	7 13.2	24 45.3	8 15.1	19 35.8	3 5.7	7 13.2	2 3.8	
日本語を学んでいる あまり学びたくない	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	
日本語を学んでいる 学びたくない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
日本語を学んでいない 積極的に学びたい	75 100.0	40 53.3	23 30.7	32 42.7	17 22.7	37 49.3	11 14.7	20 26.7	3 4.0	7 9.3	-	
日本語を学んでいない 機会があれば学びたい	187 100.0	105 56.1	38 20.3	63 33.7	40 21.4	89 47.6	25 13.4	51 27.3	4 2.1	20 10.7	2 1.1	
日本語を学んでいない あまり学びたくない	31 100.0	12 38.7	5 16.1	7 22.6	6 19.4	9 29.0	2 6.5	9 29.0	-	9 29.0	-	
日本語を学んでいない 学びたくない	77 100.0	27 35.1	9 11.7	10 13.0	13 16.9	11 14.3	7 9.1	10 13.0	3 3.9	33 42.9	3 3.9	

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表81 日本語教室の認知度別日本語教室の改善点（複数回答）

	調査数	間をもっと広く案内する	夜間でも利用できる	休日、祝日でも利用できる	子ども連れでも利用できる	をレベル別の日本語教室を設ける	子ども向けの日本語教室を充実させる	座を設ける	日本文化を紹介する講座	その他	とくにない	無回答
全体	629 100.0	316 50.2	132 21.0	183 29.1	104 16.5	249 39.6	65 10.3	161 25.6	21 3.3	102 16.2	28 4.5	
よく知っている	35 100.0	14 40.0	10 28.6	13 37.1	6 17.1	15 42.9	5 14.3	12 34.3	-	2 5.7	-	
ずこし知っている	65 100.0	35 53.8	15 23.1	21 32.3	10 15.4	36 55.4	9 13.8	27 41.5	3 4.6	7 10.8	1 1.5	
聞いたことはある	147 100.0	84 57.1	35 23.8	46 31.3	26 17.7	53 36.1	17 11.6	46 31.3	6 4.1	14 9.5	4 2.7	
知らない	366 100.0	183 50.0	72 19.7	103 28.1	61 16.7	145 39.6	34 9.3	76 20.8	12 3.3	79 21.6	8 2.2	

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

3 地域での生活や活動について

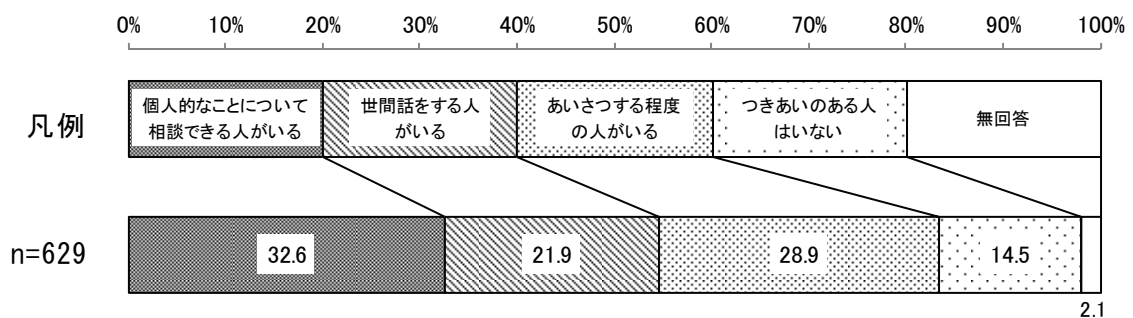
(1) 地域でのつきあいの程度

問11 あなたは、現在、住んでいる地域で、国籍を問わずつきあいのある人はいますか。
(ひとつだけ○)

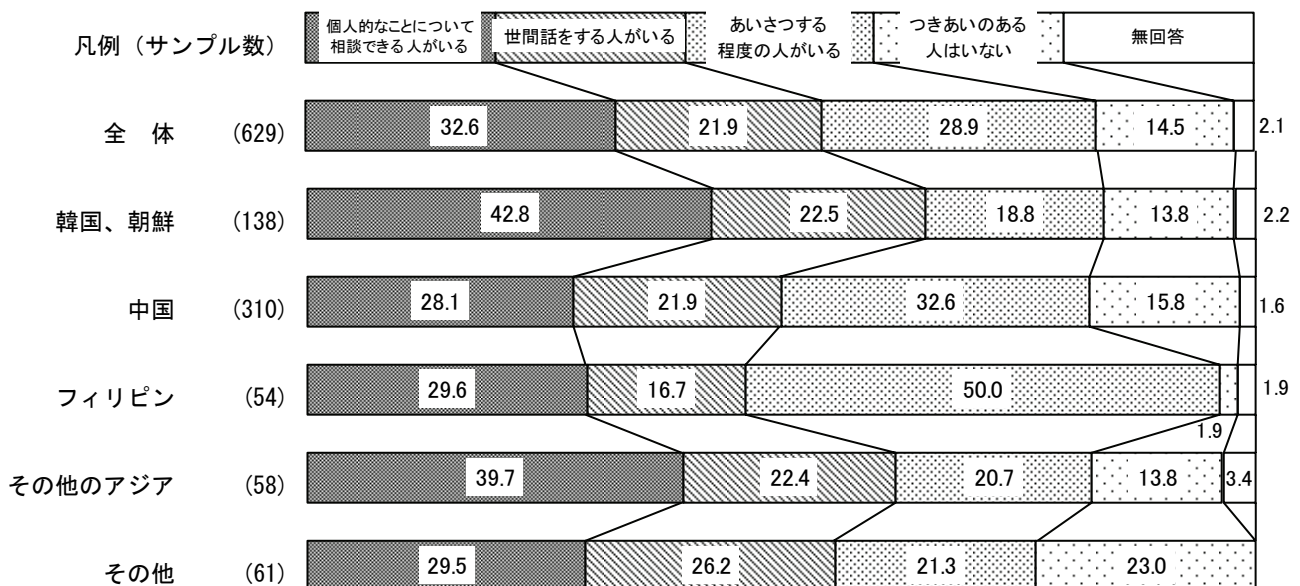
★外国人・日本人 共通設問

- ・地域でのつきあいの程度は、「個人的なことについて相談できる人がいる」が 32.6%、「世間話をする人がいる」が 21.9%、「あいさつする程度の人がある」が 28.9%、「つきあいのある人はいない」が 14.5%となっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「個人的なことについて相談できる人がいる」が高い傾向にあるが、“中国”、“フィリピン”は「あいさつする程度の人がある」が最も高くなっている。
- ・男女・年代別にみると、女性は「個人的なことについて相談できる人がいる」が高い傾向にあり、50代で最も高い割合となっている。一方、男性は、30～50代で「あいさつする程度の人がある」が最も高くなっている。
- ・区内居住年数別にみると、「1年未満」では「つきあいのある人はいない」が最も高くなっているが、「5年以上」では「個人的なことについて相談できる人がいる」が最も高い割合となっている。また、「個人的なことについて相談できる人がいる」は居住年数が長くなるにつれ高くなっていることがわかる。

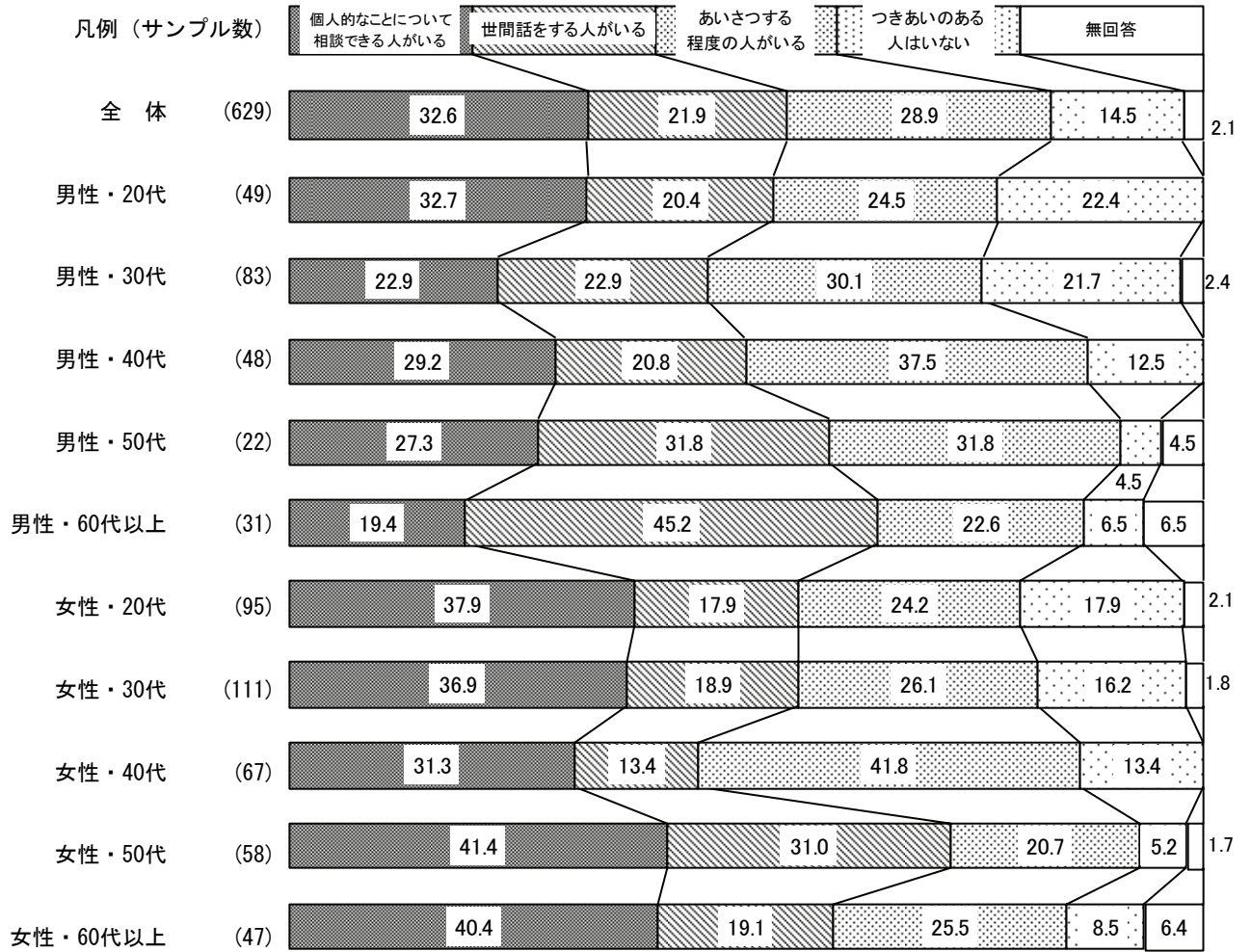
図表82 地域でのつきあいの程度（単数回答）



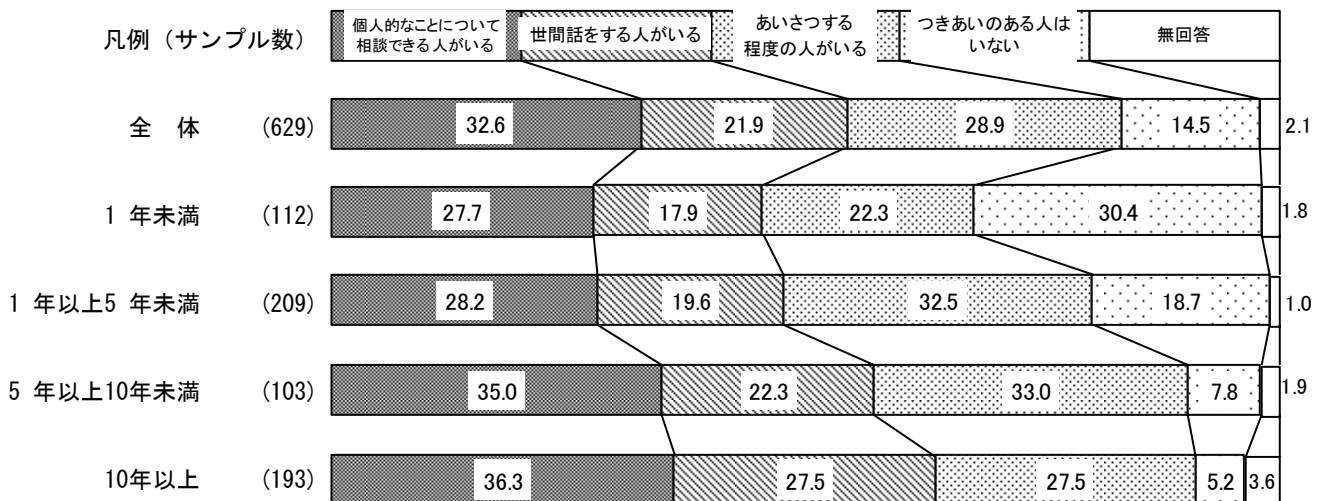
図表83 国籍別地域でのつきあいの程度（単数回答）



図表84 男女・年代別地域でのつきあいの程度（単数回答）



図表85 区内居住年数別地域でのつきあいの程度（単数回答）



(2) 日本人とのつきあい

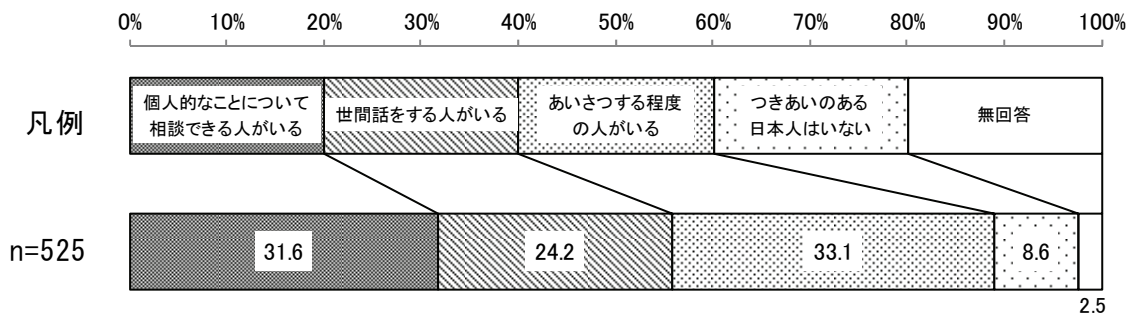
○日本人とのつきあいの程度

問12 問11で1、2、3に回答した方(住んでいる地域で、つきあいのある人)にお聞きします。
現在、つきあいのある人の中に、日本人はいますか。(ひとつだけ○)

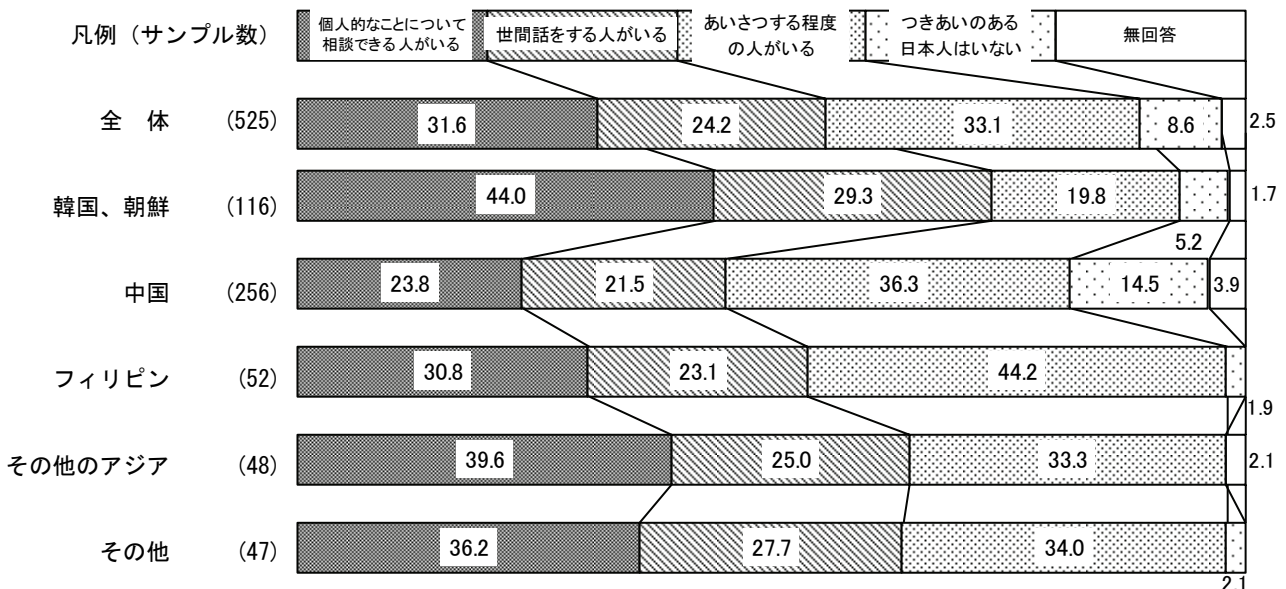
★外国人・日本人 共通設問

- ・地域でのつきあいがあると回答した525人に日本人とのつきあいについて聞いたところ、「個人的なことについて相談できる人がいる」が31.6%、「世間話をする人がいる」が24.2%、「あいさつする程度の人がある」が33.1%、「つきあいのある日本人はいない」が8.6%となっている。
- ・国籍別にみると、“韓国、朝鮮”、“その他のアジア”、“その他”では「個人的なことについて相談できる人がいる」が最も高くなっているが、“中国”、“フィリピン”では「あいさつする程度の人がある」が最も高くなっている。
- ・男女・年代別にみると、女性は20代、40代を除いた全ての年代で「個人的なことについて相談できる人がいる」が高い傾向にある。男性は「個人的なことについて相談できる人がいる」も高くはあるが、「あいさつする程度の人がある」も高くなっている。
- ・区内居住年数別にみると、10年未満では「あいさつする程度の人がある」が最も高くなっているが、10年以上では「個人的なことについて相談できる人がいる」が最も高くなっている。また、居住年数が長くなるにつれ、「個人的なことについて相談できる人がいる」は高くなる傾向がある。

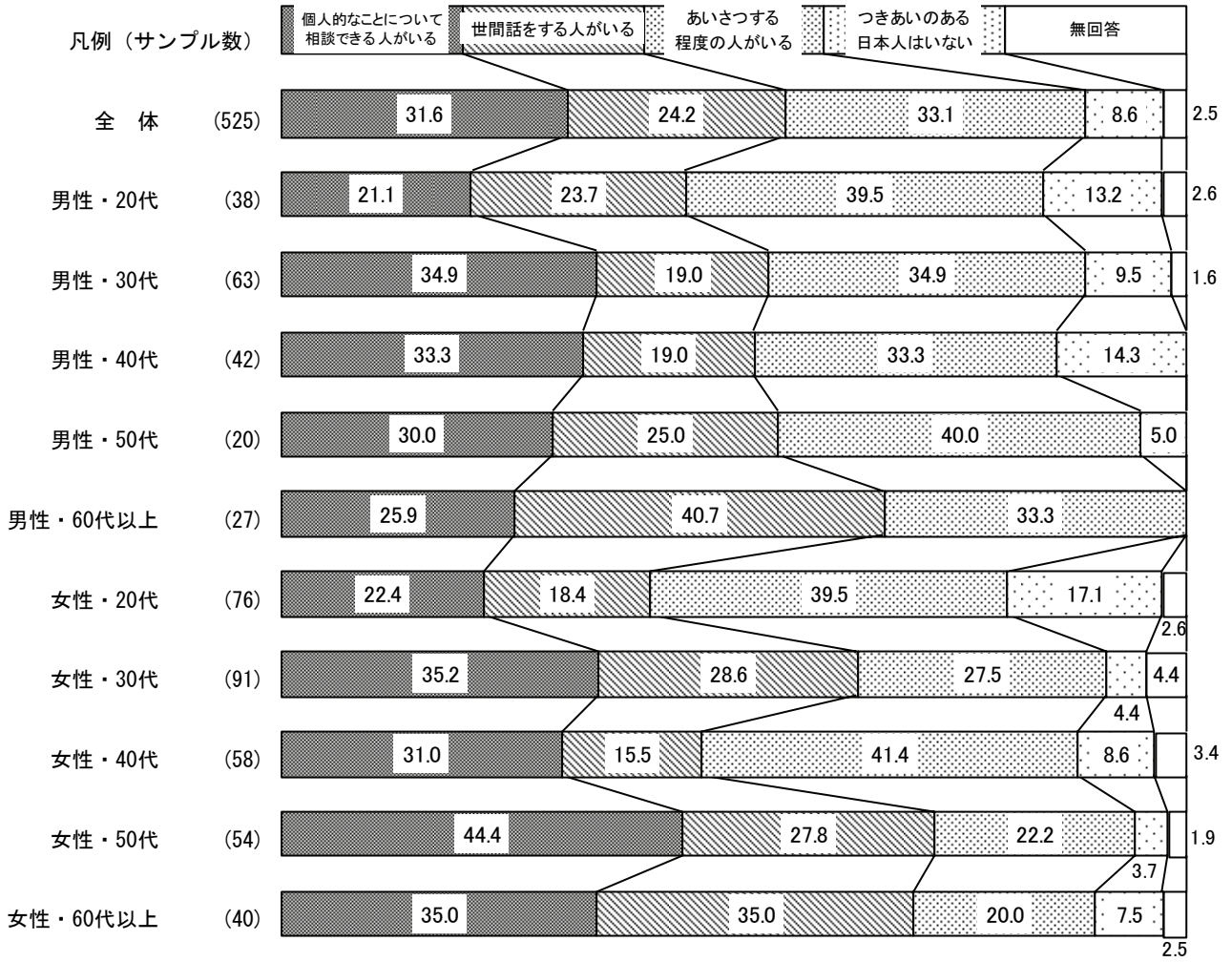
図表86 日本人とのつきあいの程度 (単数回答)



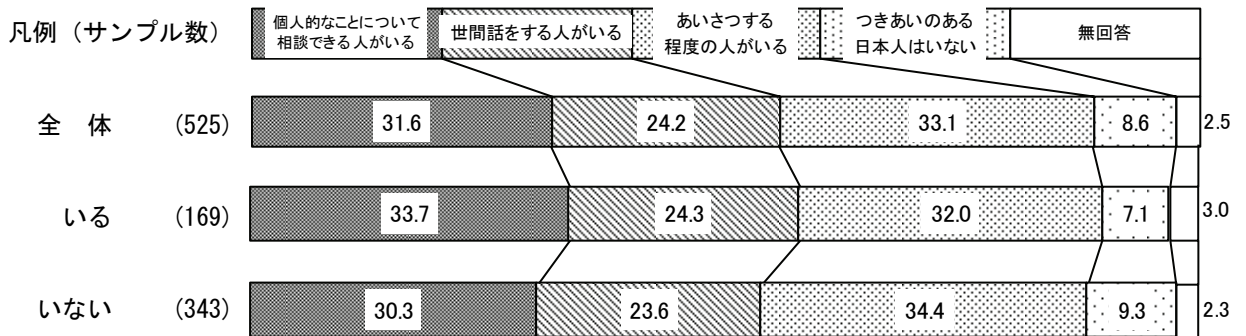
図表87 国籍別日本人とのつきあいの程度 (単数回答)



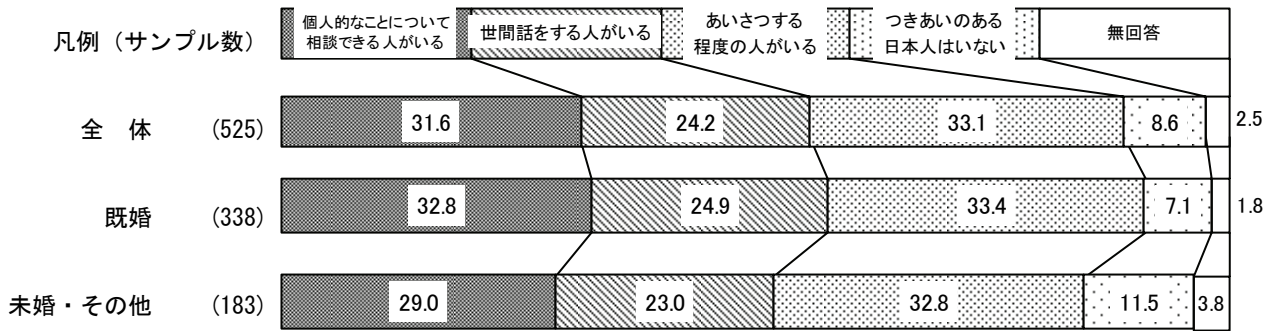
図表88 男女・年代別日本人とのつきあいの程度（単数回答）



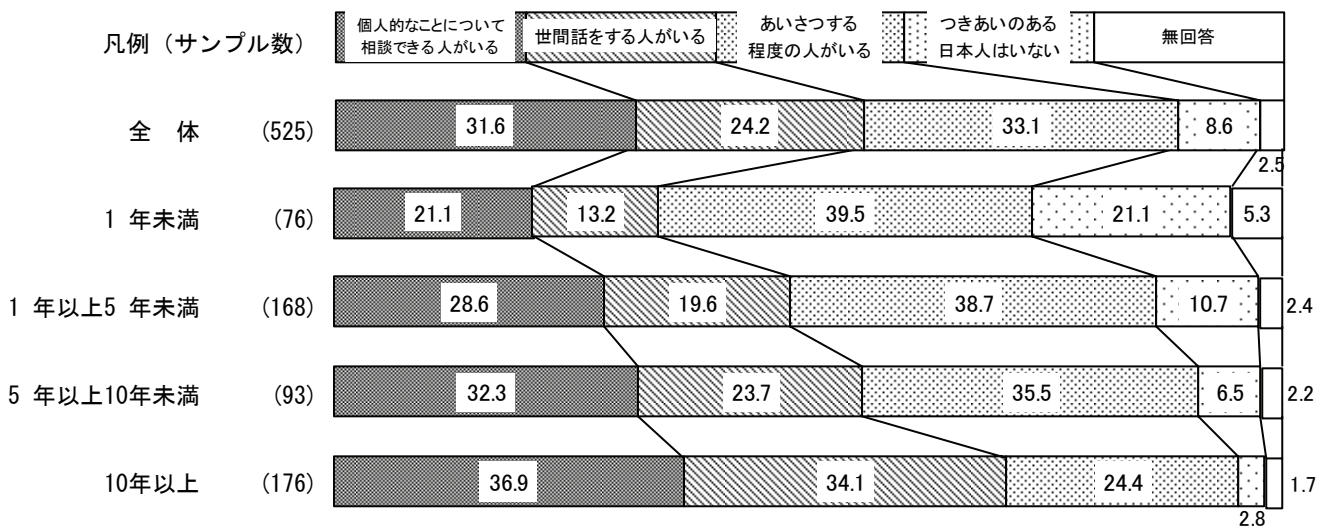
図表89 子どもの有無別日本人とのつきあいの程度（単数回答）



図表90 婚歴別日本人とのつきあいの程度（単数回答）



図表91 区内居住年数別日本人とのつきあいの程度（単数回答）



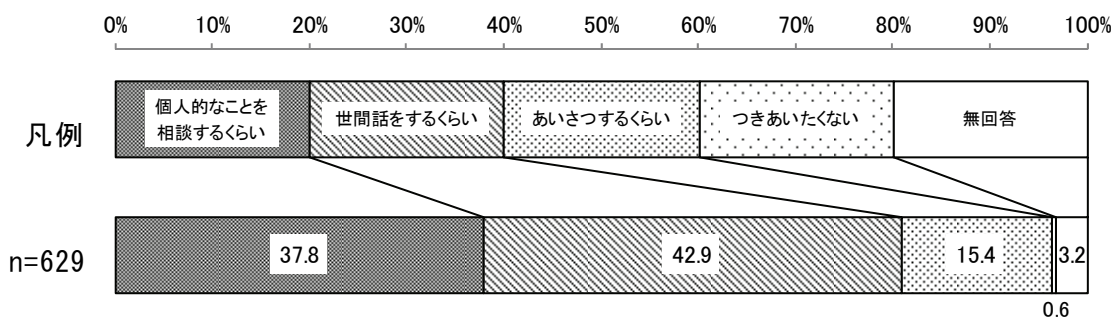
○日本人とのつきあいの意向

問13 あなたは、今後、住んでいる地域で、日本人とどのくらいつきあいをしたいと思いますか。(ひとつだけ○)

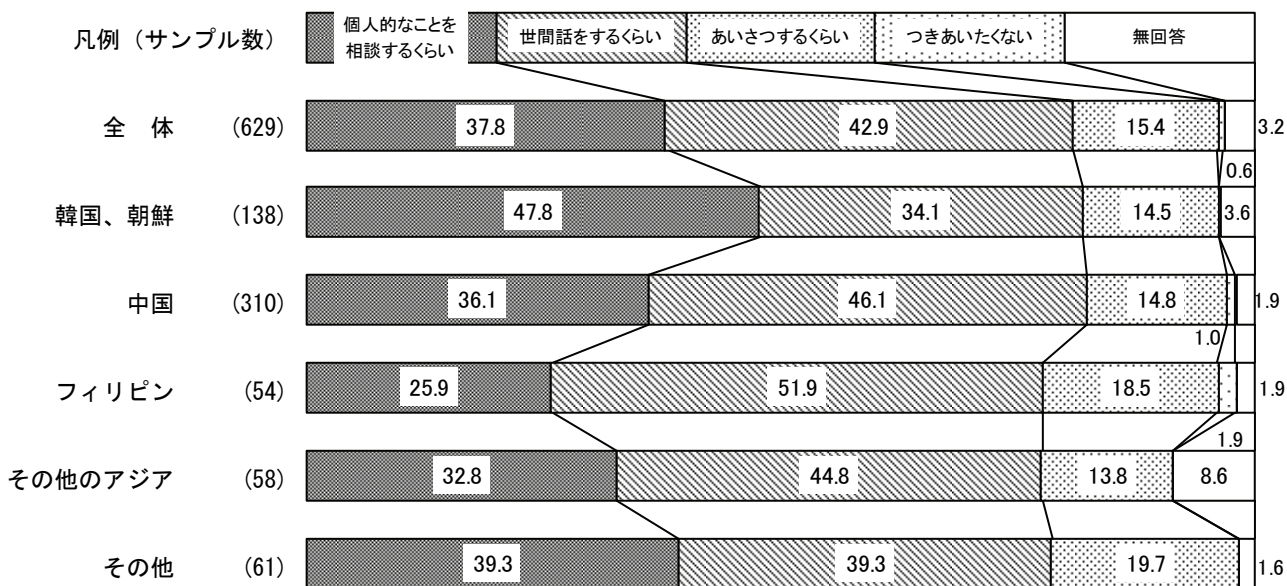
★外国人・日本人 共通設問

- ・今後の日本人とのつきあいの意向は、「個人的なことを相談するくらい」が 37.8%、「世間話をするくらい」が 42.9%、「あいさつするくらい」が 15.4%、「つきあいたくない」が 0.6%となっている。
- ・国籍別にみると、“韓国、朝鮮”、“その他”では「個人的なことを相談するくらい」が最も高くなっているが、“中国”、“フィリピン”、“その他のアジア”では「世間話をするくらい」が最も高くなっている。また、「個人的なことを相談するくらい」と「世間話をするくらい」を合わせた割合は、いずれの国籍においても現在のつきあい（問 12）の状況を上回っている。中でも、“中国”は現在のつきあいと 36.9 ポイントの差があり、日本人とつきあうことに対して意欲がより高いことがわかる。
- ・日本人とのつきあいの程度別にみると、「個人的なことについて相談できる人がいる」以外のつきあいの度合いでは「世間話をするくらい」が最も高くなっている。このことから、現在日本人とのつきあいが無いまたはあいさつする程度と回答している人も「世間話をするくらい」のつきあいは望んでいることがわかる。

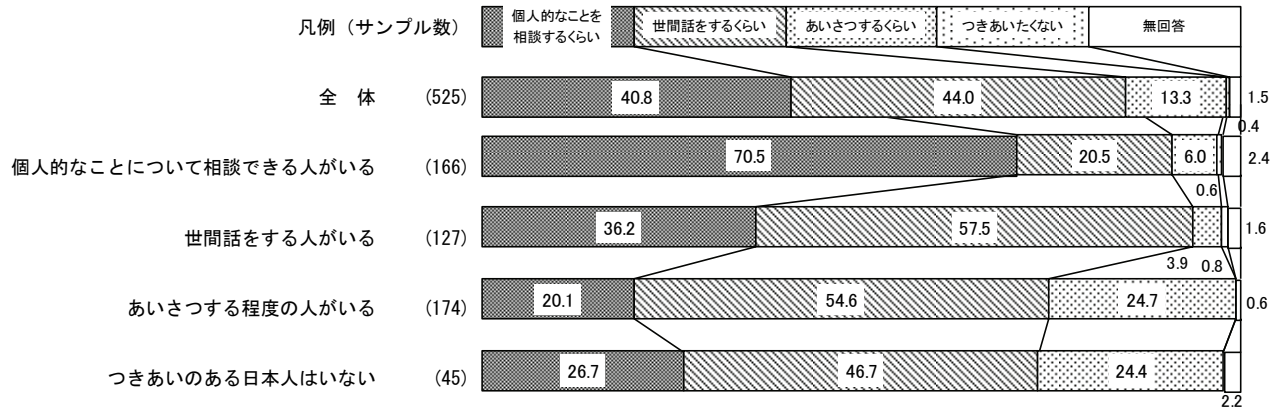
図表92 日本人とのつきあいの意向（単数回答）



図表93 国籍別日本人とのつきあいの意向（単数回答）



図表94 日本人とのつきあいの程度別日本人とのつきあいの意向（単数回答）



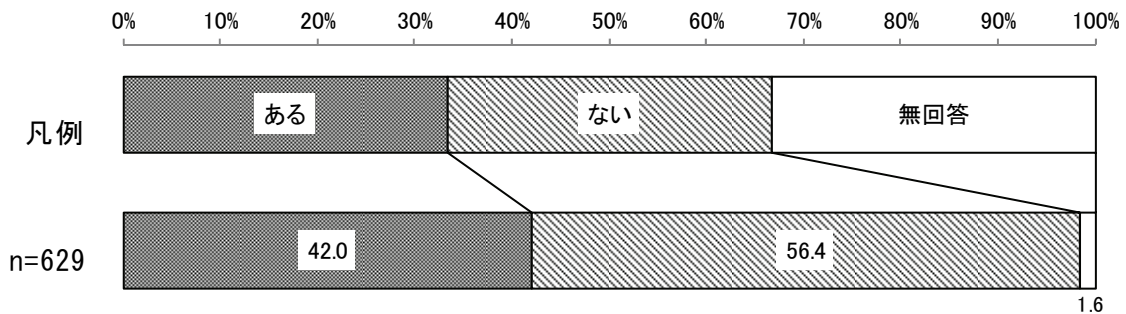
(3) 外国人どうしのつきあい

○外国人どうしの仲間やグループの有無

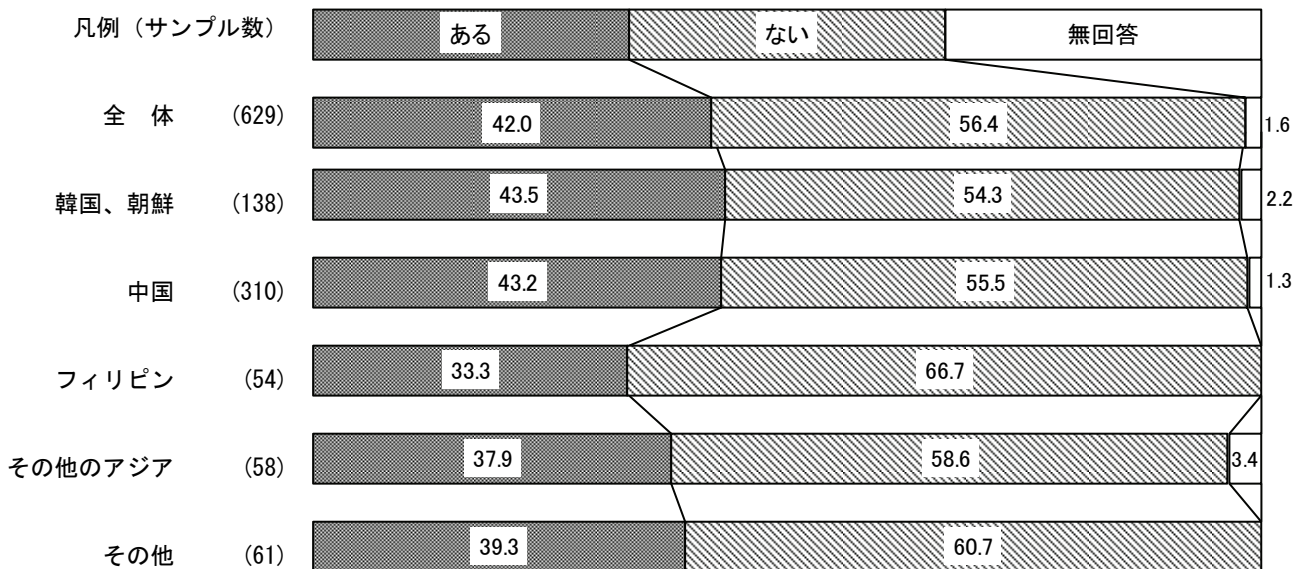
問14 あなたには、外国人どうしで相談、情報交換などができる仲間やグループはありますか。(ひとつだけ○)

- ・外国人どうしのつきあいは、相談、情報交換などができる仲間やグループが「ある」が 42.0%、「ない」が 56.4%となっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「ない」が最も高くなっている。しかし、“韓国、朝鮮”、“中国”では「ある」が 4割を超えており、やや高くなっていることがわかる。
- ・男女・年代別にみると、男性の 20 代、女性の 30 代で「ある」が「ない」を上回っている。また、男女ともに 40 代、50 代で「ない」の割合が高くなっている。

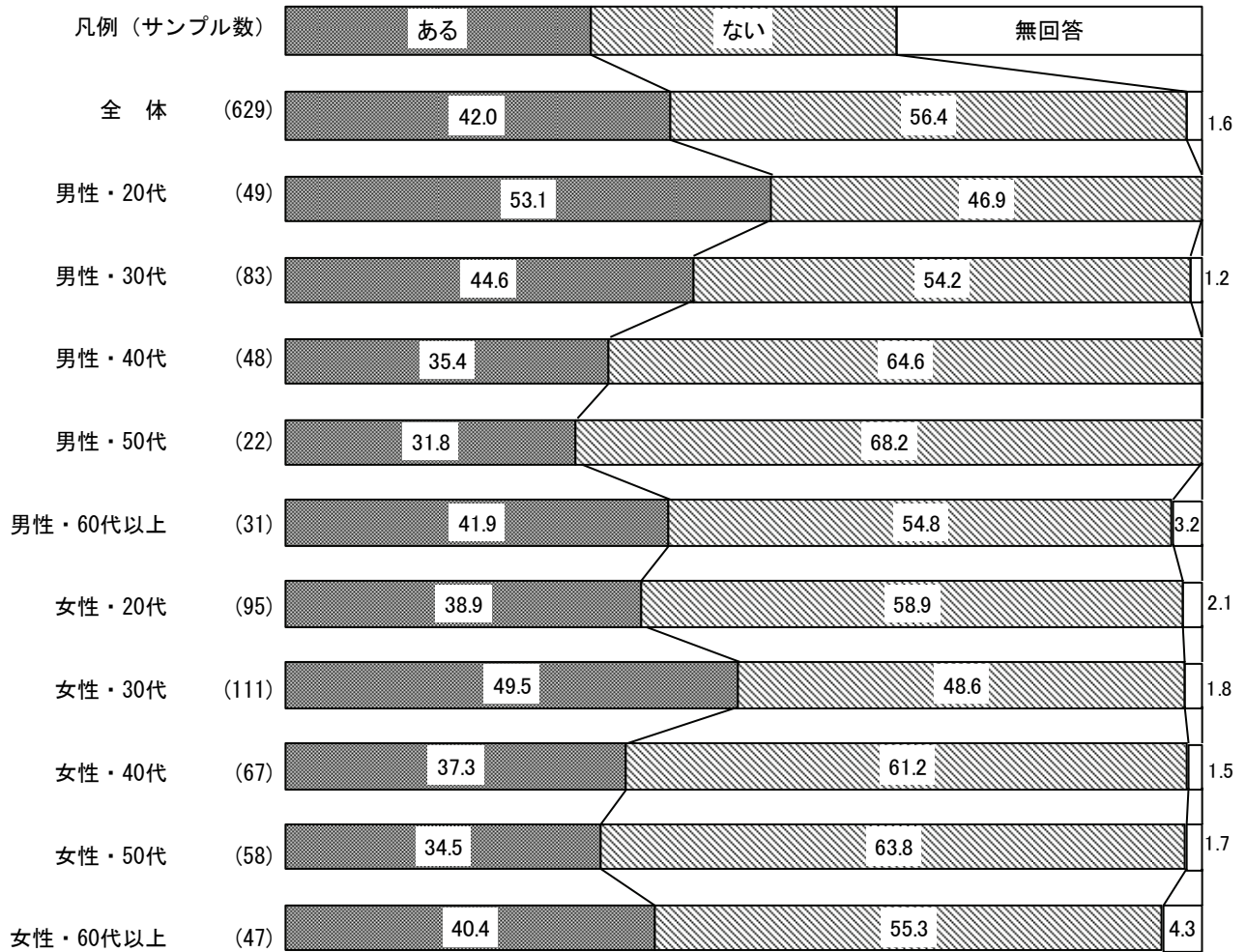
図表95 外国人どうしの仲間やグループの有無（単数回答）



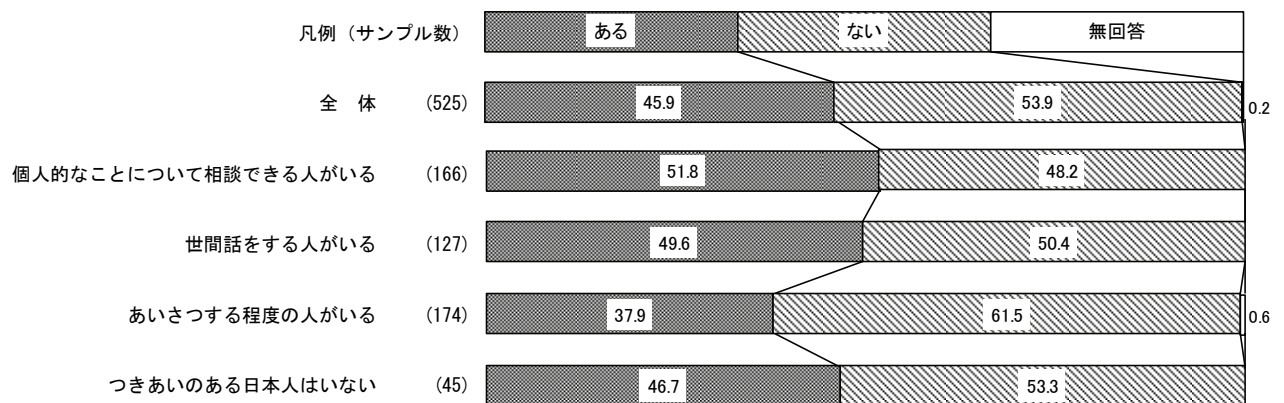
図表96 国籍別外国人どうしの仲間やグループの有無（単数回答）



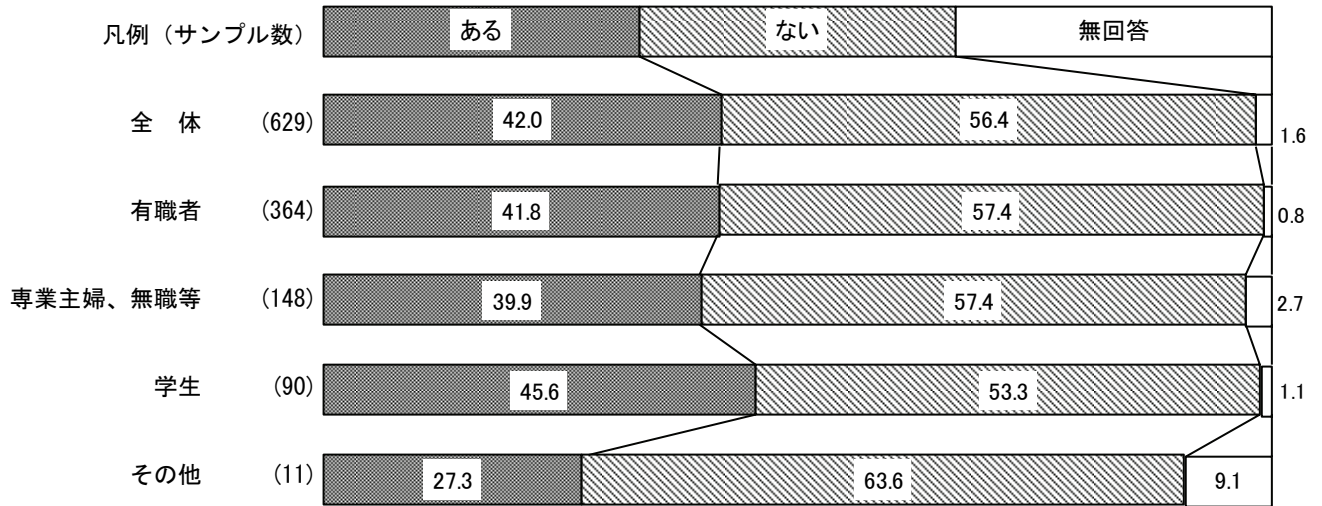
図表97 男女・年代別外国人どうしの仲間やグループの有無（単数回答）



図表98 地域でのつきあいの程度別外国人どうしの仲間やグループの有無（単数回答）



図表99 就業形態別外国人どうしの仲間やグループの有無（単数回答）



○外国人どうしの仲間やグループの内容

問15 問14 で 1 に回答した方にうかがいます。外国人どうしで相談、情報交換できる仲間、グループはどのような人たちですか。板橋区では、外国人のグループをとおして、生活に役立つ情報を提供し、また、ご意見をお聞きしたいと考えています。お答えできる範囲でかまいませんので、以下について、自由に記入してください。

問 14 において、外国人どうしで相談、情報交換できる仲間やグループが「ある」と回答した 264 人に対して、その仲間やグループの種類、活動内容について自由に記述していただいたところ、198 人から回答が寄せられた。

記述のあった内容は多岐に渡るため、回答者のコミュニティによって下記の 7 項目に整理した。また、1 人の回答が複数の内容に渡る場合には、回答を分けてそれぞれの項目へ分類したため、各項目の件数の合計は全体の回答者数と一致しない。

なお、記述内容の整理にあたっては、分類結果をイメージしやすくするため、原文の内容の主旨がそこなわないう配慮して一部抜粋した。

図表100 外国人どうしの仲間やグループの種類及び活動内容（自由記述）

コミュニティ	情報交換ができる仲間やグループの種類	活動内容
国籍・宗教	同国や同郷、母国の近隣国の人 【 32件 】	○近所のスポーツセンターや温泉施設などへ行っている。(女性 60歳 中国)
		○広く意見交換をする。(男性 63歳 韓国、朝鮮)
		○冬になるとスキーをしたり、休日には友人とパーティをしたり、温泉に出かけたりする。 (男性 40歳 中国)
		○定期的に食事をしながら、お互いに色々な事を聞いたり相談したりする。 (女性 28歳 韓国、朝鮮) など
	外国支援団体 【 14件 】	○民団や韓国語教室が主催しているイベント・交流会に定期的に行っている。 (女性 28歳 韓国、朝鮮)
		○板橋区で相談や情報交換や語学勉強会などを行っている。(女性 67歳 韓国、朝鮮)
		○東京都内で募金を集める活動を行っている。(女性 25歳 中国) など
	宗教施設やそこに通う人 【 18件 】	○ボランティア活動を行っている。(女性 35歳 韓国、朝鮮)
		○炊き出しを行っている。(女性 55歳 その他)
○時々教会で新しく知り合った人にボランティアで言語を教え合っている。 (女性 31歳 フィリピン) など		
学校	同じ学校の友人や先生 学生時代の友人 【 34件 】	○休日に一緒に食事をする。(男性 30歳 中国)
		○定期的な活動はしていませんが、一緒に出掛けたりパーティーをしている。 (女性 39歳 中国)
		○大学の研究室で雑談をしている。(男性 33歳 中国)
		○バイト先や寮でパーティーを行っている。(男性 29歳 中国) など
	留学生同士や関連機関 【 16件 】	○1年に何回か外食をしている。(男性 34歳 中国)
		○学校周辺(渋谷)で食事などを行っている。(男性 22歳 韓国、朝鮮)
	○祝日の時、一緒に旅行に行ったりパーティーをしている。(女性 22歳 中国)	
	○ピクニック、クリスマスや年末の忘年会を行っている。(女性 31歳 中国) など	

コミュニ ティ	情報交換ができる 仲間やグループの種類	活動内容
職場	職場の同僚や以前 働いていた職場の友人 (アルバイトを含む) 【 42件 】	○会社が開催するイベントに参加している。(女性 34歳 中国)
		○不定期で食事をしたり、家に招待しホームパーティーをしたりしています。 (男性 40歳 不明)
		○会社の先輩社員に子育ての相談をしている。(女性 36歳 中国)
		○食事・旅行・人生相談などをしている。(女性 34歳 その他のアジア) など
子育て	子育て仲間 【 18件 】	○月一回ぐらいは一緒に食事をする。(男性 34歳 中国)
		○OPTA活動に参加している。(女性 58歳 韓国、朝鮮)
		○子育て、病院などの情報交換している。(女性 38歳 中国)
		○子供を通して、年に何回かある集まりに参加している。(女性 42歳 中国) など
習い事・ 趣味	習い事教室の友人 【 9件 】	○中国語教室で、保護者の方と互いに相談し合ったり、助け合ったりしています。 (女性 46歳 中国)
		○赤塚公園で、サッカー・テニスなどの活動をしている。(男性 38歳 中国)
		○スポーツ・登山・食事会を行っている。(男性 34歳 中国)
		○旅行。(女性 35歳 その他のアジア) など
家族・ 近所・ 親戚・	家族や親戚 【 10件 】	○ネットのみだが、イタリア人・在日外国人に関するニュースの情報交換をしている。 (男性 30歳 その他)
		○ネット上のコミュニティ活動。(男性 31歳 韓国、朝鮮)
		○情報交流。(女性 42歳 中国) など
		○姉弟とは各自の自宅で、お食事と会話をしたり交流しています。(女性 27歳 中国)
その他	近隣の住人 【 7件 】	○定期的に食事会をします、分らない事があったらお互いに聞いたりします。 (女性 40歳 その他のアジア)
		○パーティーやミーティングをしている。(女性 51歳 フィリピン) など
		○ホームパーティーで暮らしのことなど相談しています。(女性 25歳 フィリピン)
		○食事に行ったり、美術館など一緒に見に行ったりしている。(女性 29歳 中国)
その他	その他、友人などの 個人的な集まり 【 22件 】	○不定期で食事したり、散歩・フリーマーケットなど散策している。(不明 39歳 中国) など

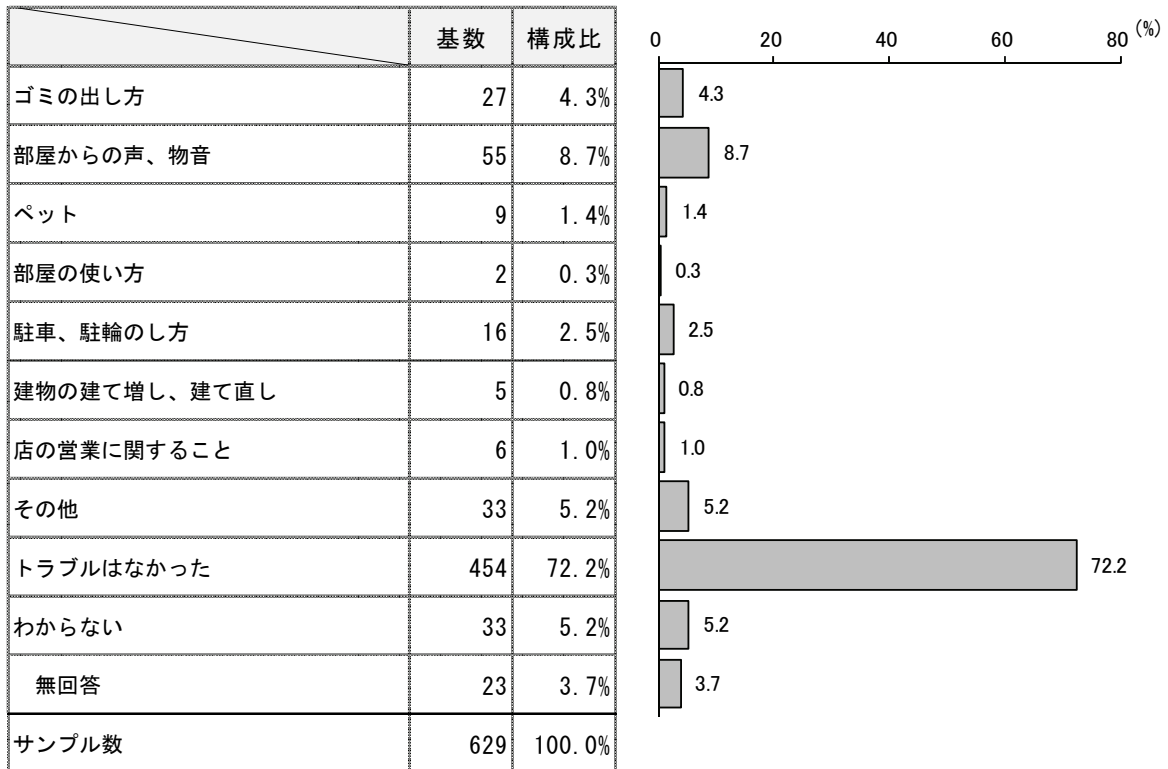
(4) 日本人とのトラブル

問16 あなたは、今までに地域の日本人との間で、どのようなトラブルを経験しましたか。
(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

・日本人とのトラブルは、「トラブルはなかった」が72.2%で最も高いが、具体的なトラブルとしては、「部屋からの声、物音」が最も高く8.7%、「ゴミの出し方」が4.3%、「駐車、駐輪のし方」が2.5%の順になっている。

図表101 日本人とのトラブル（複数回答）



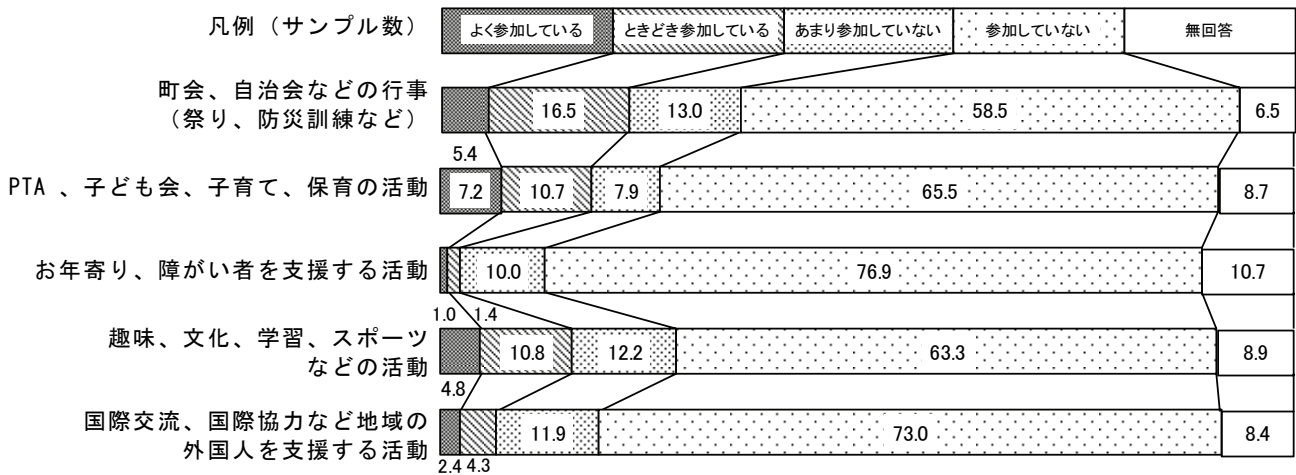
(5) 地域活動

問17 あなたは、以下の地域の活動に参加していますか。
 (A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

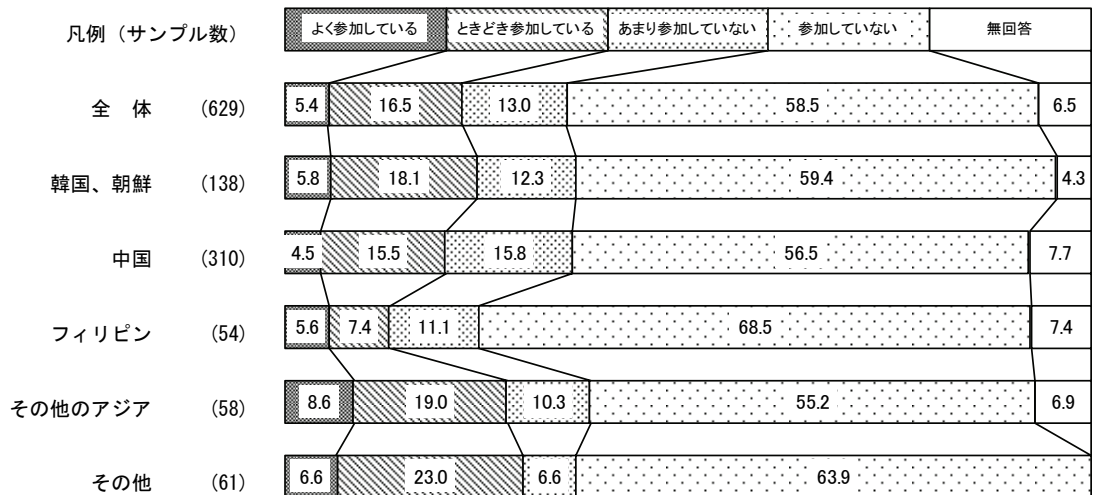
★外国人・日本人 共通設問

- ・地域活動の参加状況は、〈町会、自治会などの行事〉に「よく参加している」または「ときどき参加している」と解答した人の割合は 21.9%。同様に〈PTA などの活動〉は 17.9%、〈お年寄りなどの支援活動〉は 2.4%、〈趣味などの活動〉は 15.6%、〈国際交流などの活動〉は 6.7%となっている。
- ・国籍別にみると、〈町会、自治会などの行事〉において「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、“その他のアジア”、“その他”が高くなっており、“フィリピン”で「参加していない」が6割台後半と他の国籍と比較して高くなっている。〈お年寄りなどの支援活動〉は、「参加していない」が全ての国籍で7割を超えている。中でも“その他”は9割を超えて、最も高くなっている。〈国際交流などの活動〉においては、“韓国、朝鮮”、“フィリピン”、“その他”で「参加していない」が8割を超えている。
- ・男女・年代別にみると、〈町会、自治会などの行事〉に「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、男性は 50 代、女性は 30 代が最も高く、男女ともに 20 代が最も低くなっている。〈PTA などの活動〉は、男女ともに 20 代、60 歳以上は低くなっている。30～50 代の男性で年齢が高くなるにつれ、参加している割合が高くなる傾向がある。
- ・日本人とのつきあいの程度別にみると、〈町会、自治会などの行事〉、〈PTA などの活動〉でつきあいの程度が高い人ほど参加率が高くなる傾向がみられる。
- ・就業形態別にみると、〈町会、自治会などの行事〉、〈PTA などの活動〉は、専業主婦、無職等が高くなっている。また、〈趣味などの活動〉の参加率は有職者が高くなっている。

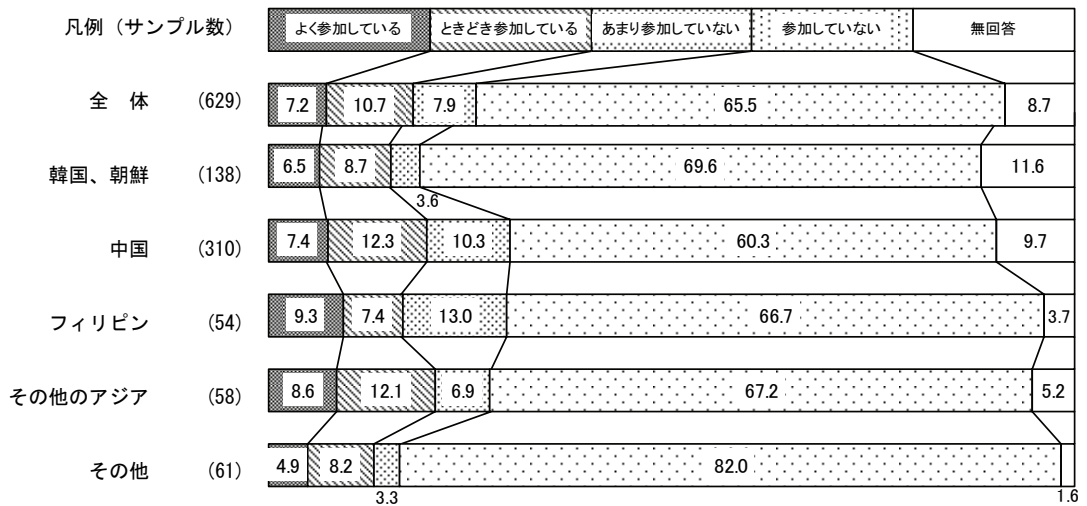
図表102 地域活動（単数回答）



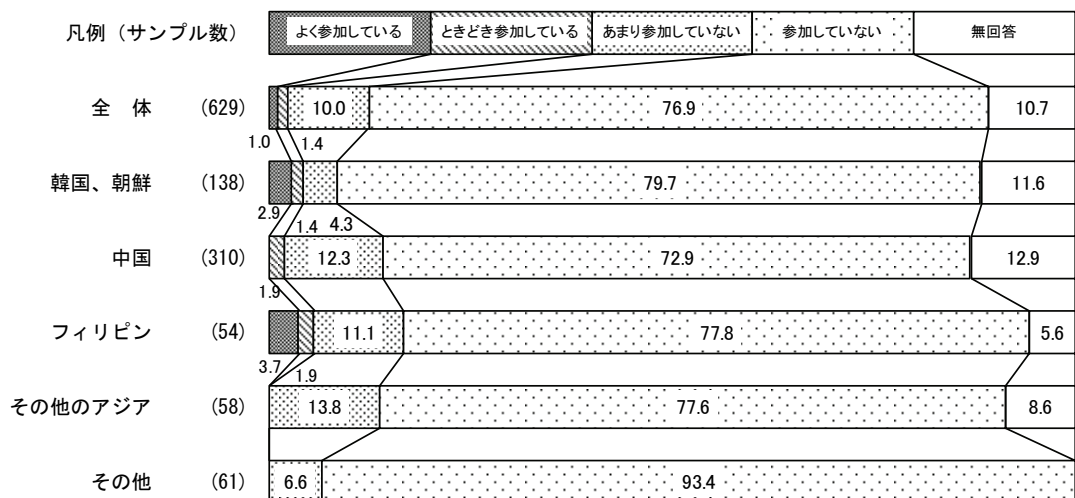
図表103 国籍別町会、自治会などの行事（単数回答）



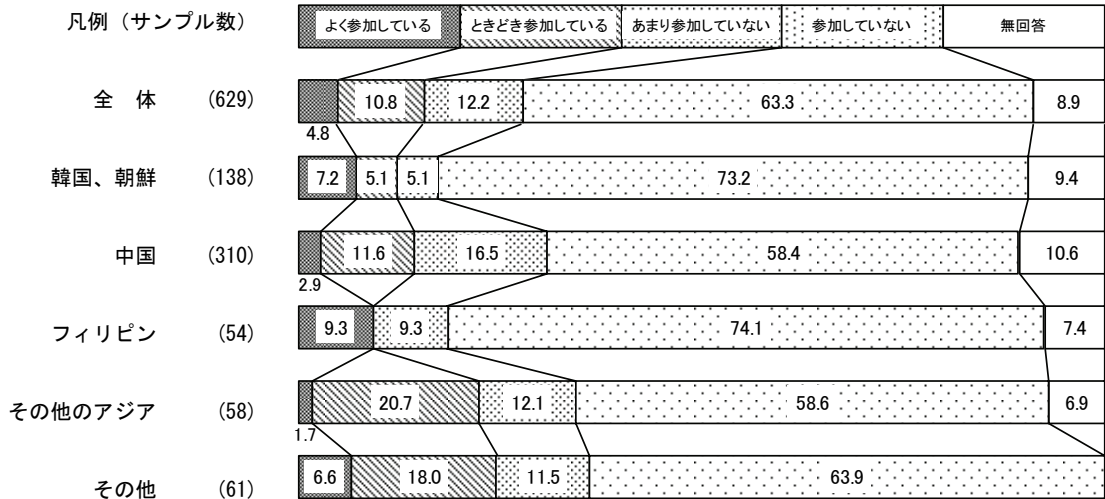
図表104 国籍別PTA、子ども会、子育て、保育の活動（単数回答）



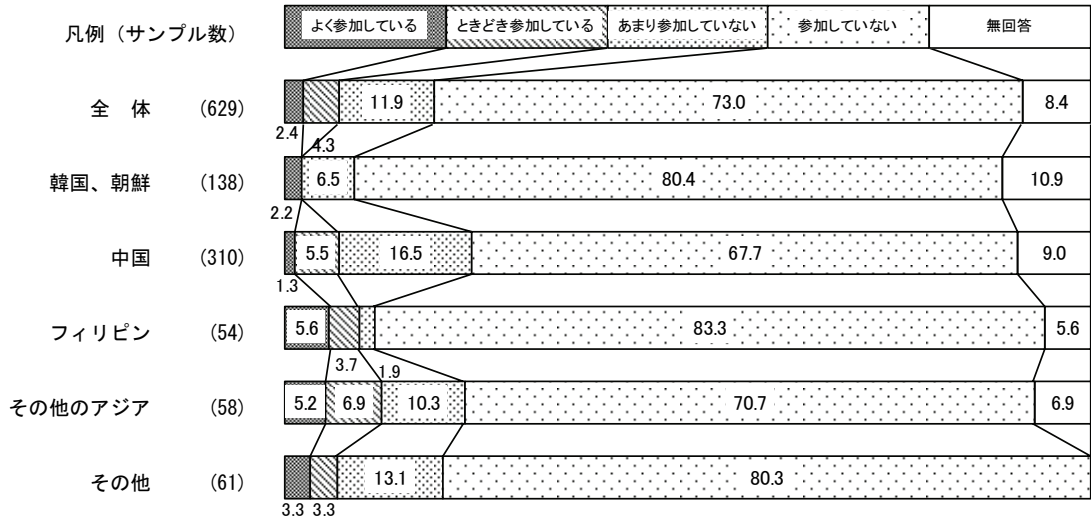
図表105 国籍別お年寄り、障がい者を支援する活動（単数回答）



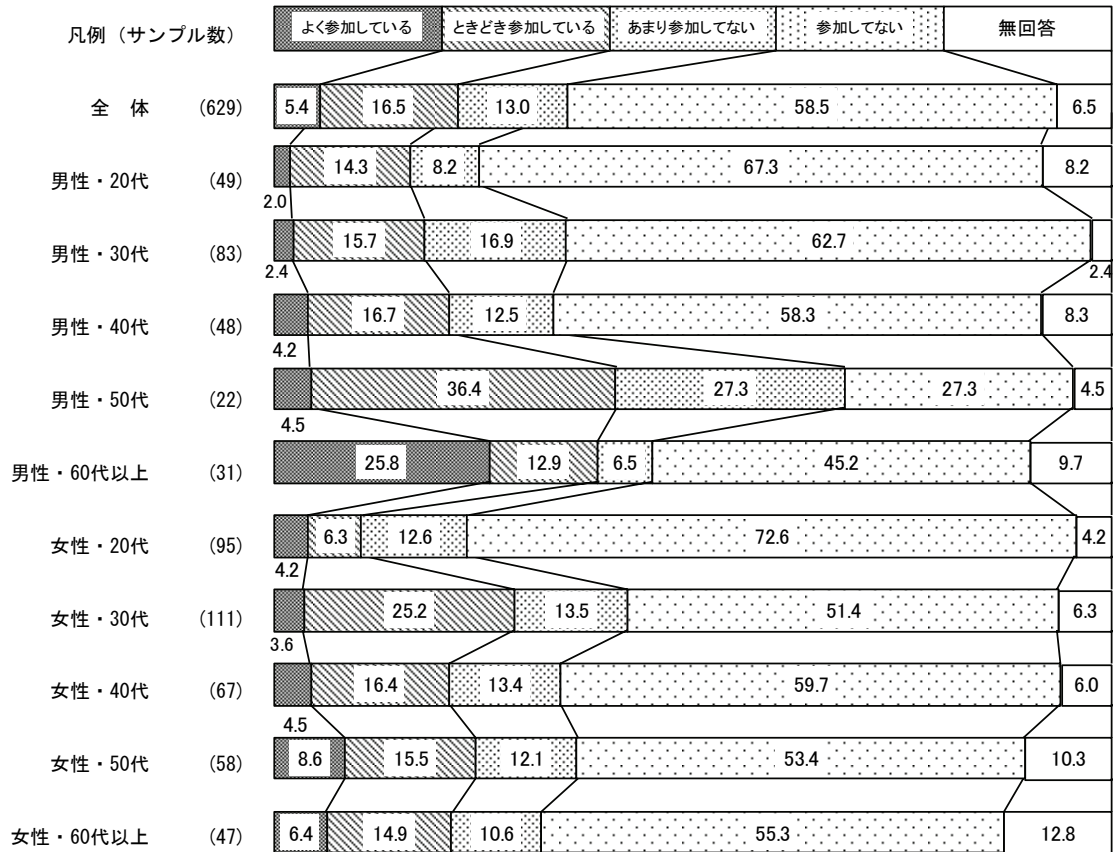
図表106 国籍別趣味、文化、学習、スポーツなどの活動（単数回答）



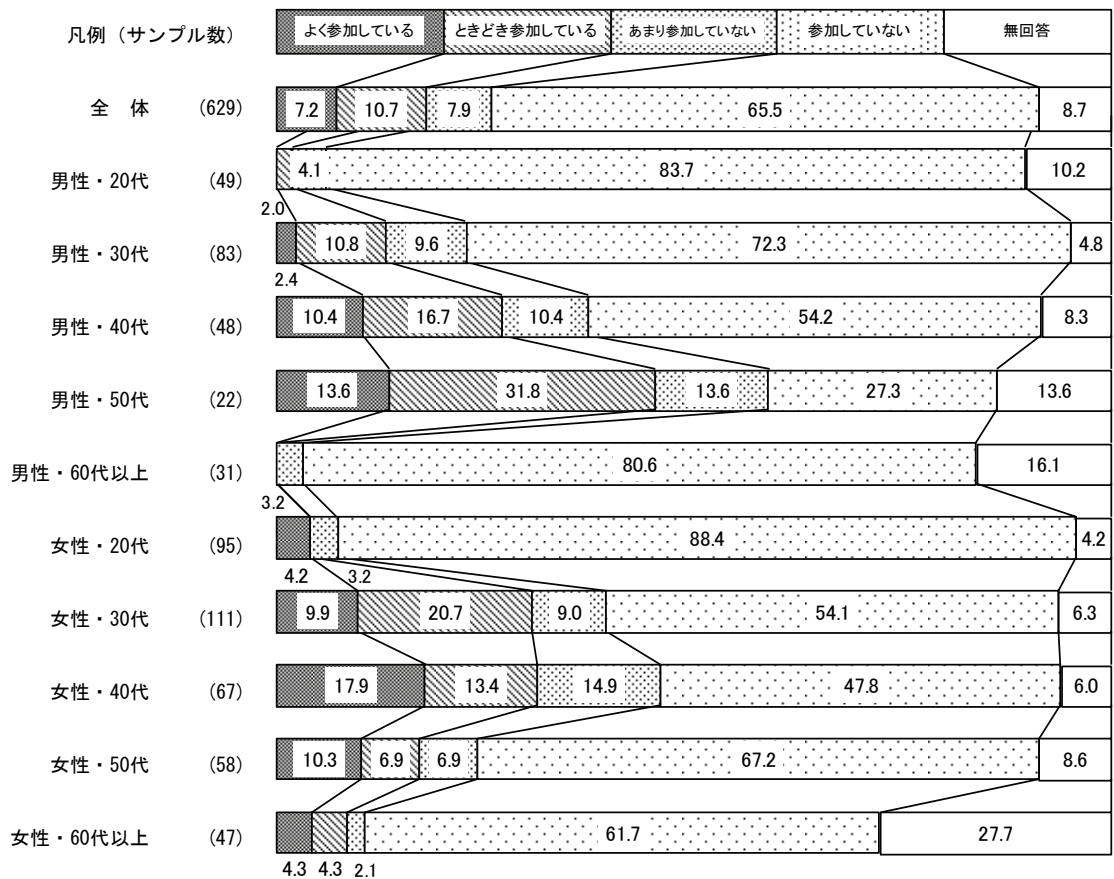
図表107 国籍別国際交流、国際協力など地域の外国人を支援する活動（単数回答）



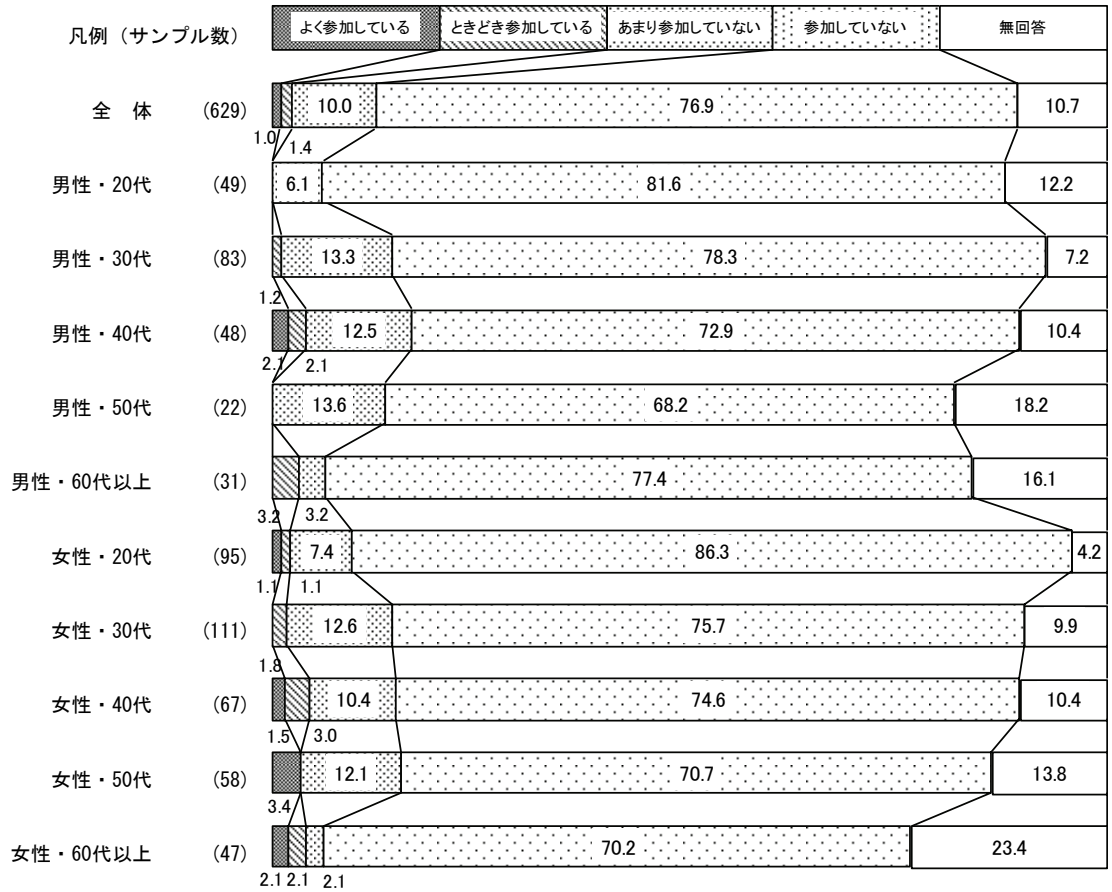
図表108 男女・年代別町会、自治会などの行事（単数回答）



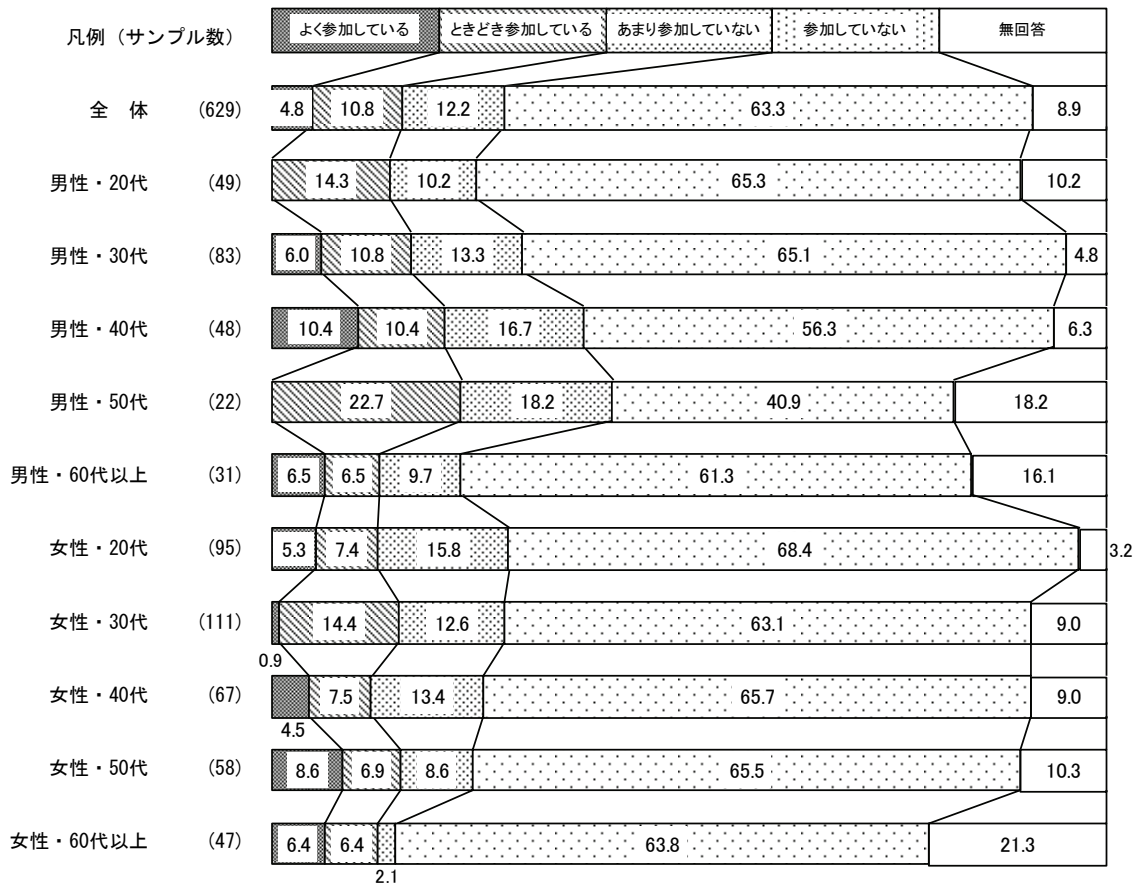
図表109 男女・年代別PTA、子ども会、子育て、保育の活動（単数回答）



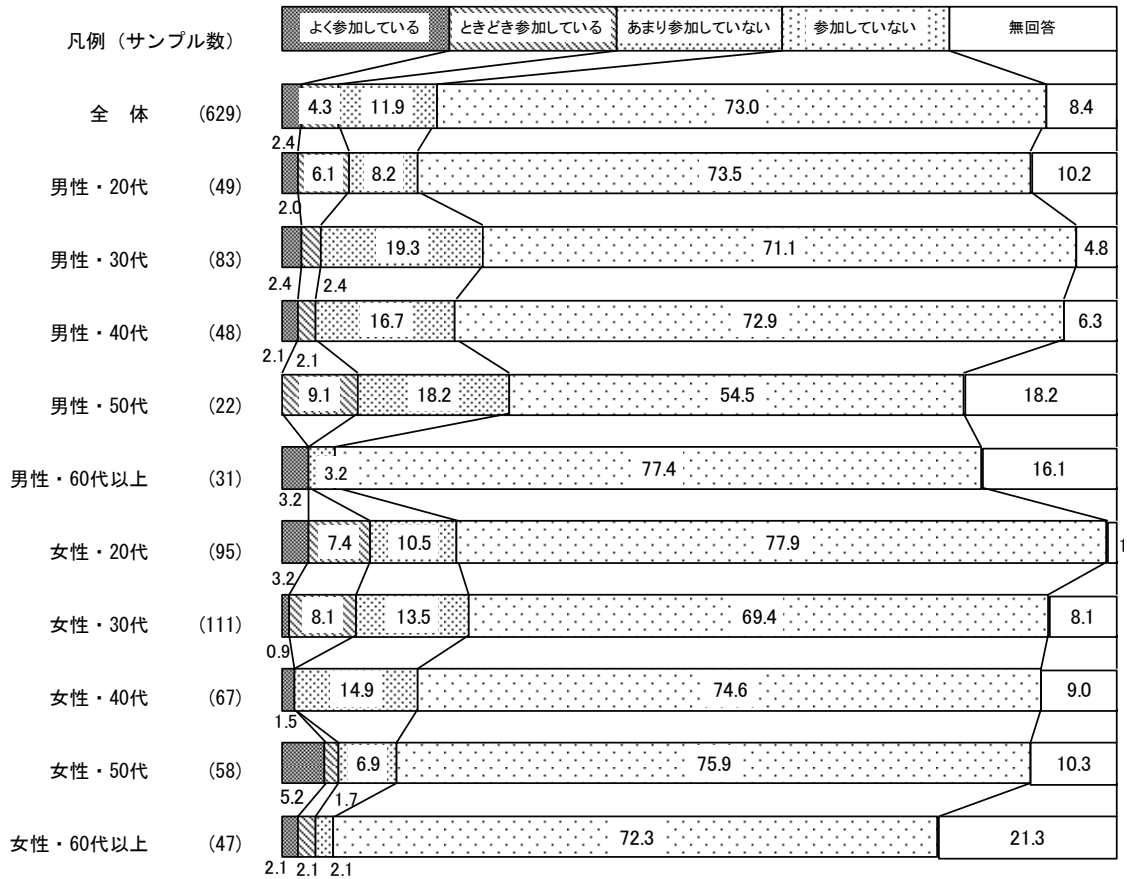
図表110 男女・年代別お年寄り、障がい者を支援する活動（単数回答）



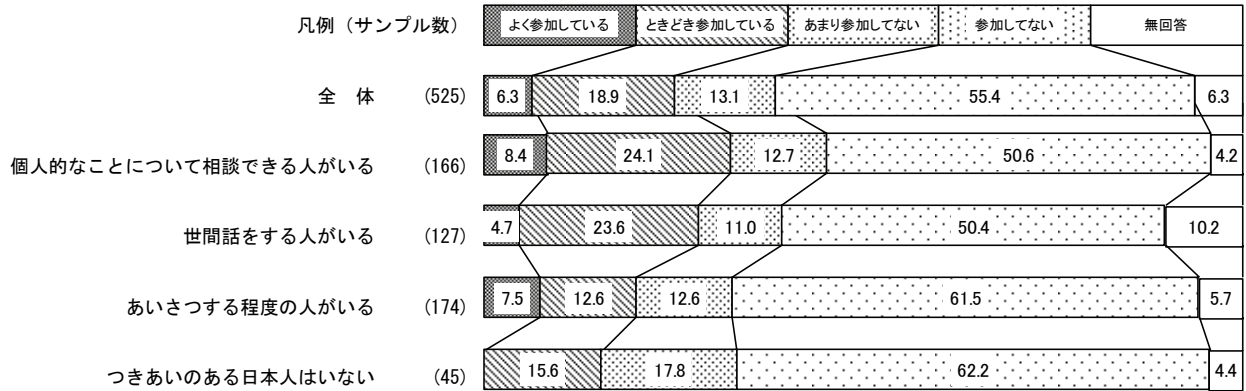
図表111 男女・年代別趣味、文化、学習、スポーツなどの活動（単数回答）



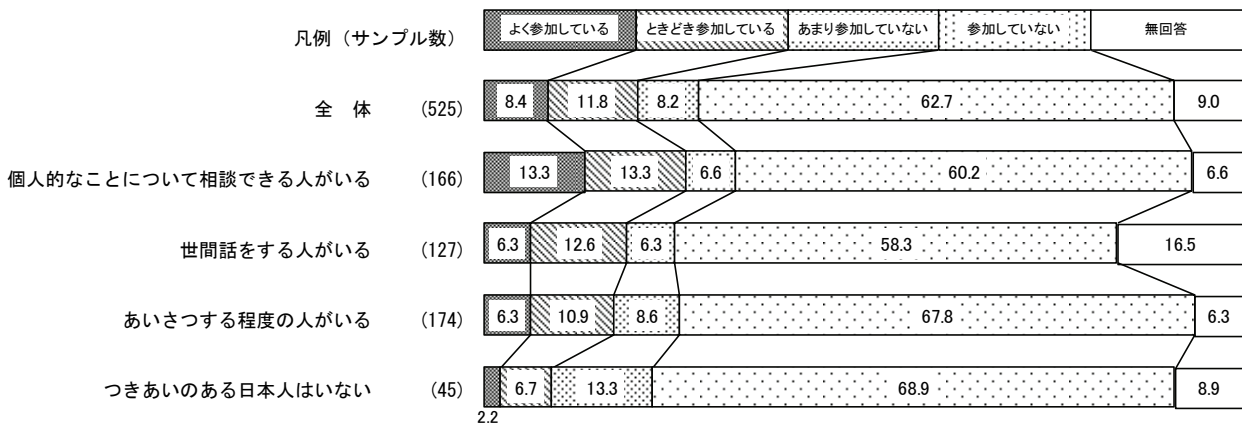
図表112 男女・年代別国際交流、国際協力など地域の外国人を支援する活動（単数回答）



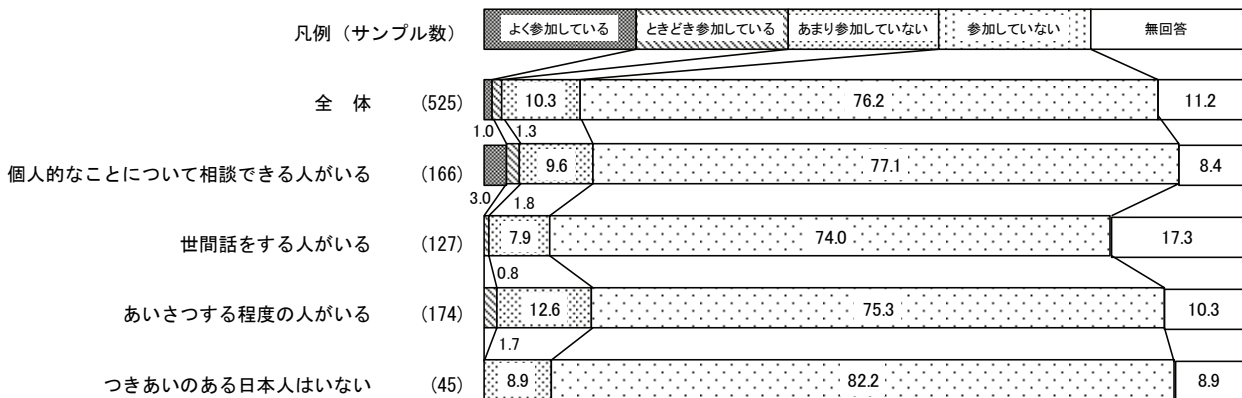
図表113 日本人とのつきあいの程度別町会、自治会などの行事（単数回答）



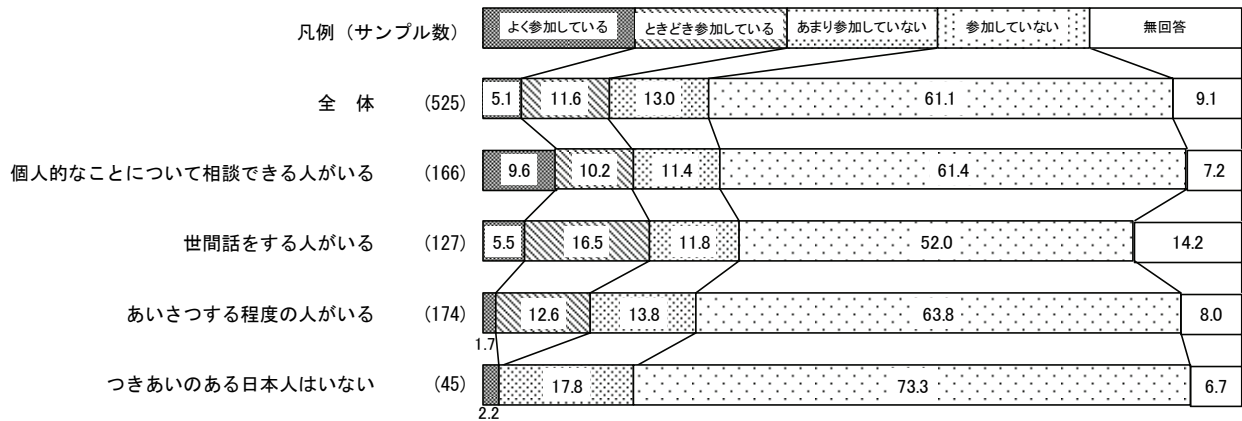
図表114 日本人とのつきあいの程度別PTA、子ども会、子育て、保育の活動（単数回答）



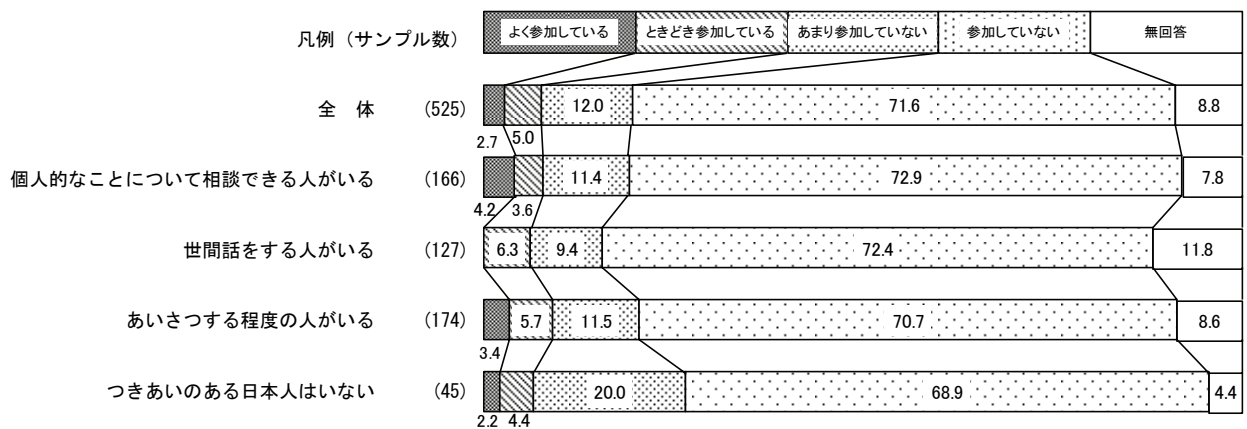
図表115 日本人とのつきあいの程度別お年寄り、障がい者を支援する活動（単数回答）



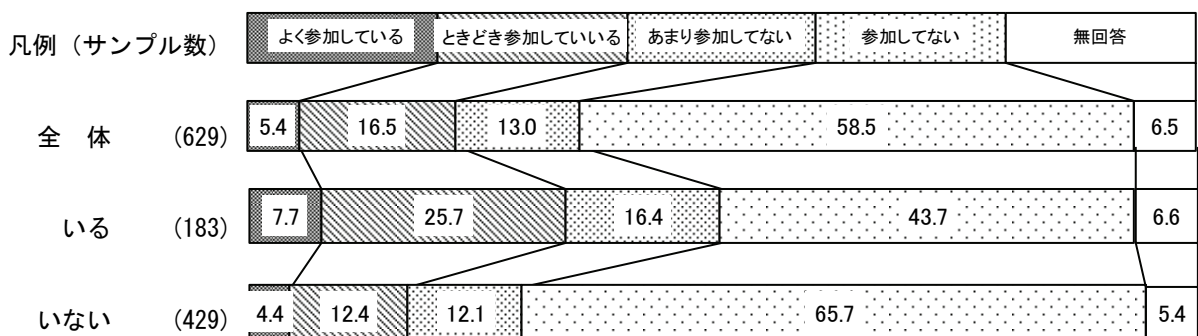
図表116 日本人とのつきあいの程度別趣味、文化、学習、スポーツなどの活動（単数回答）



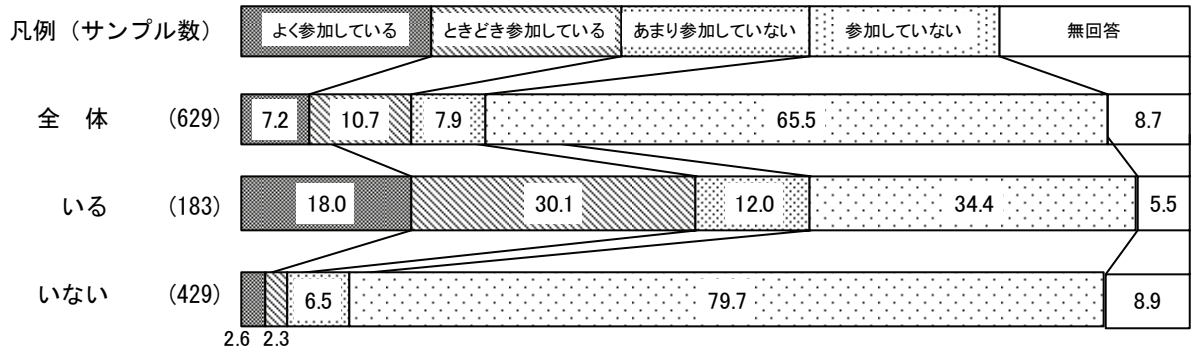
図表117 日本人とのつきあいの程度別国際交流、国際協力など地域の外国人を支援する活動（単数回答）



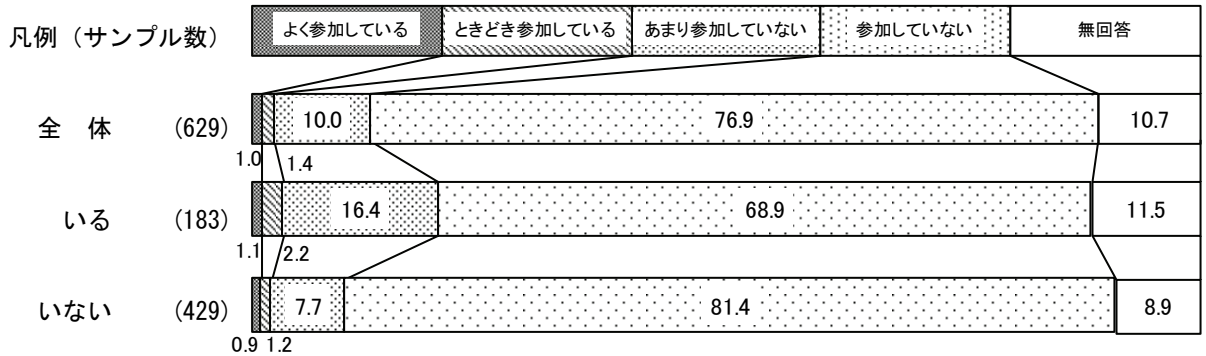
図表118 子どもの有無別町会、自治会などの行事（単数回答）



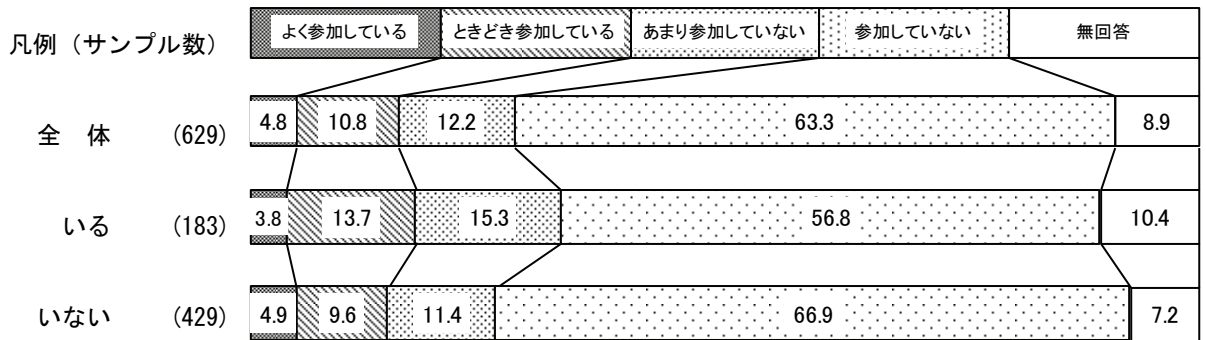
図表119 子どもの有無別PTA、子ども会、子育て、保育の活動（単数回答）



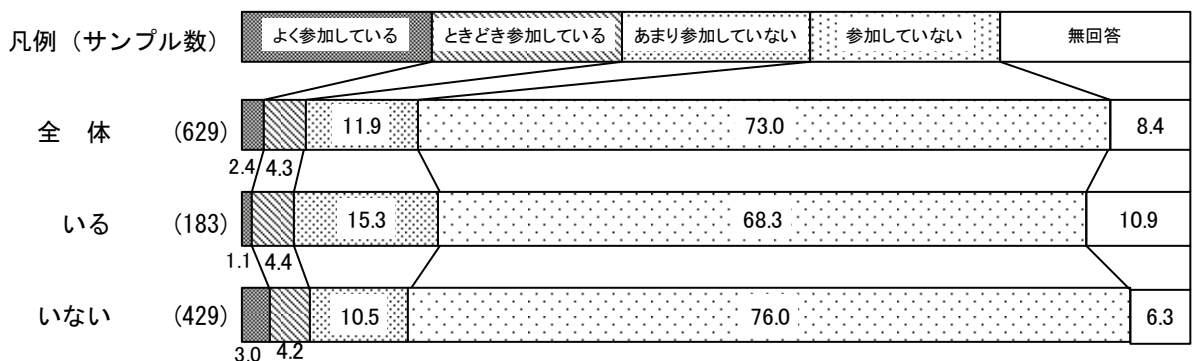
図表120 子どもの有無別お年寄り、障がい者を支援する活動（単数回答）



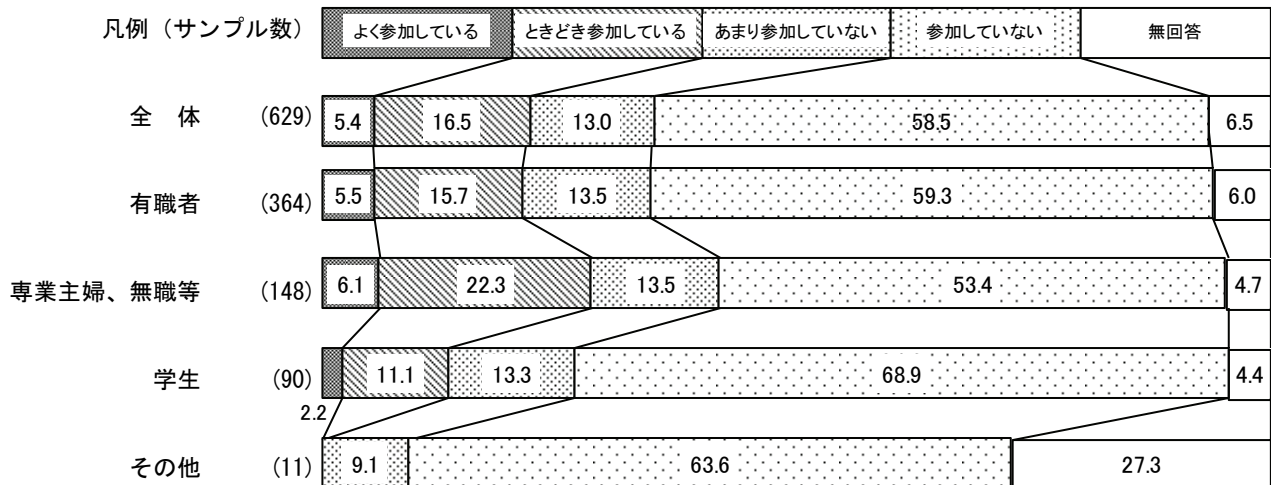
図表121 子どもの有無別趣味、文化、学習、スポーツなどの活動（単数回答）



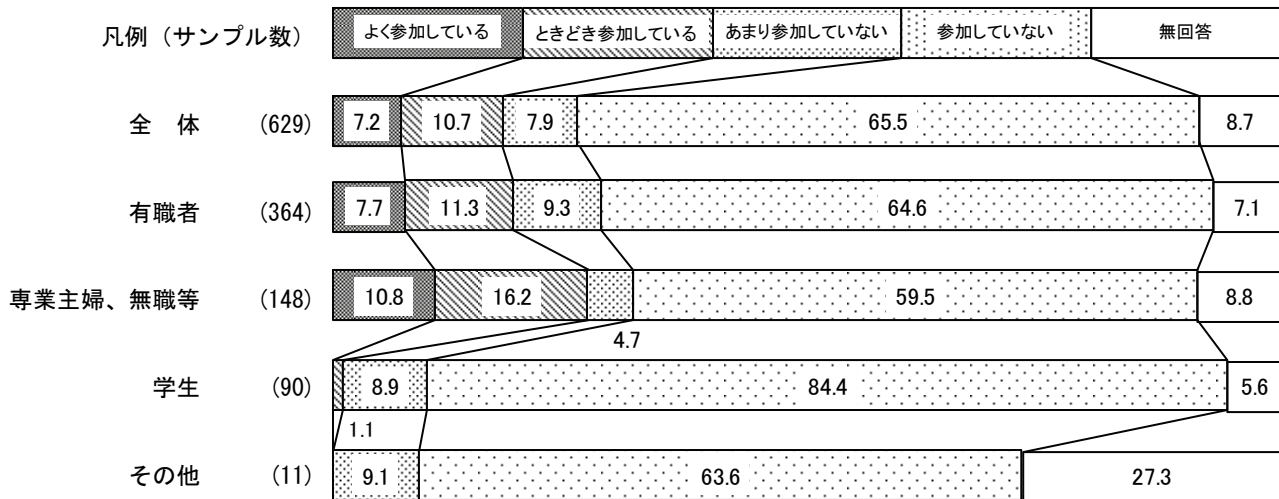
図表122 子どもの有無別国際交流、国際協力など地域の外国人を支援する活動（単数回答）



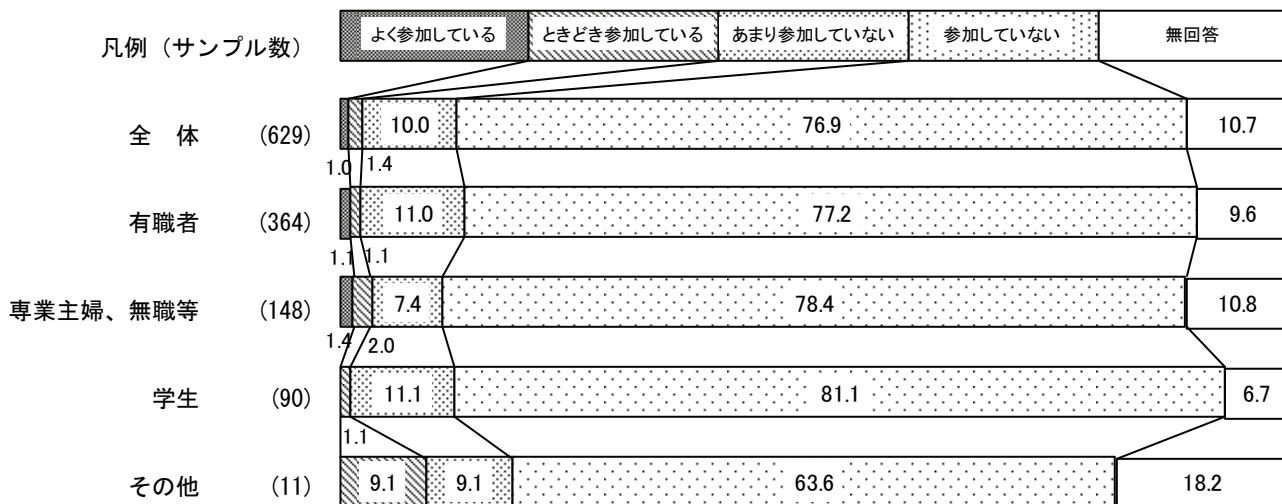
図表123 就業形態別町会、自治会などの行事（単数回答）



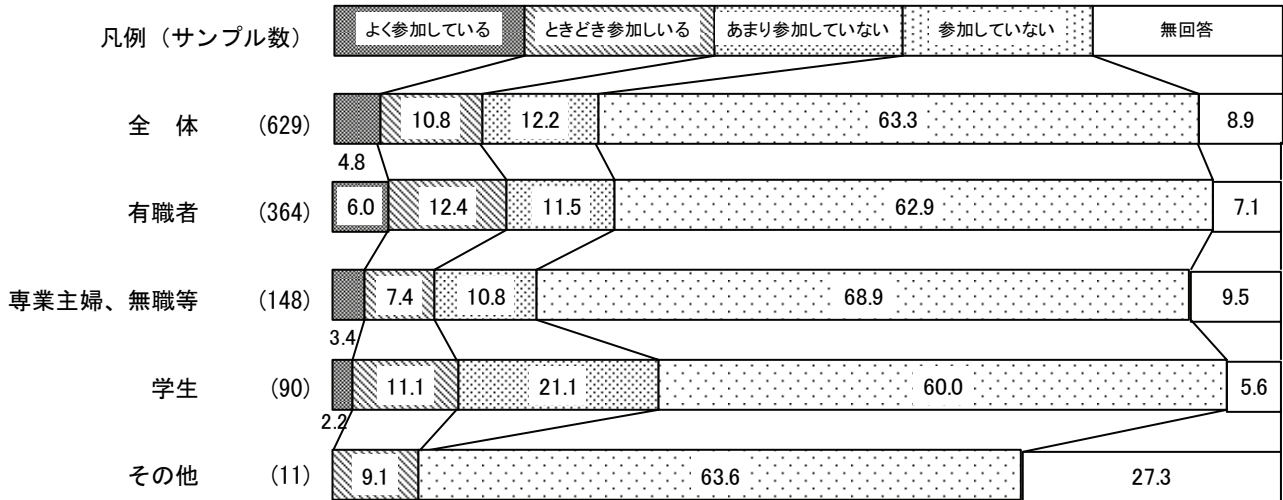
図表124 就業形態別PTA、子ども会、子育て、保育の活動（単数回答）



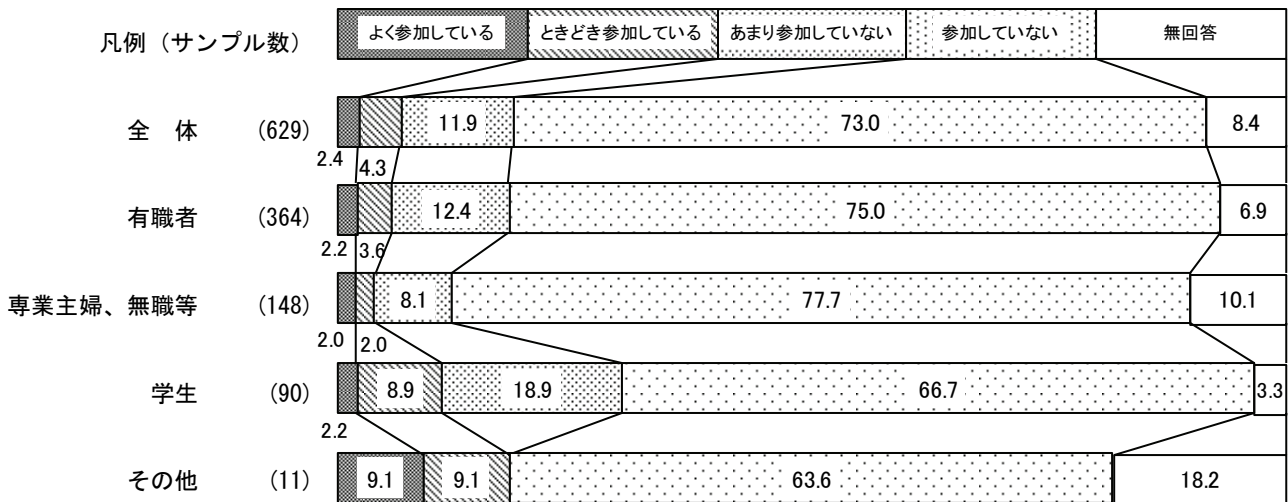
図表125 就業形態別お年寄り、障がい者を支援する活動（単数回答）



図表126 就業形態別趣味、文化、学習、スポーツなどの活動（単数回答）



図表127 就業形態別国際交流、国際協力など地域の外国人を支援する活動（単数回答）



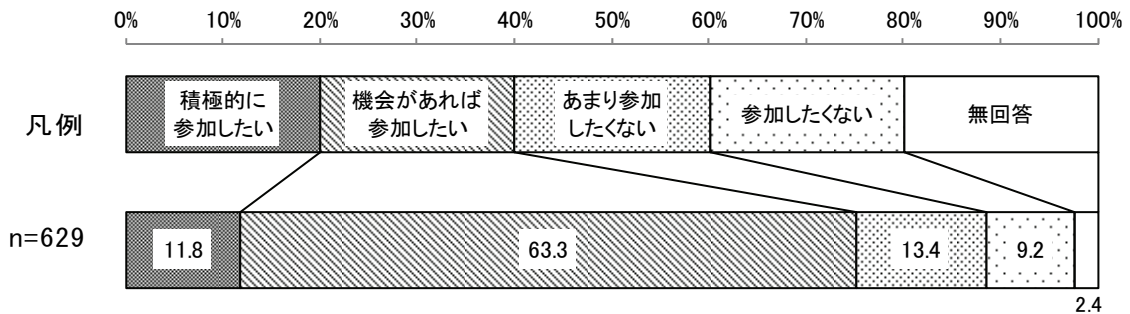
○地域活動への参加意向

問18 あなたは、今後、地域の活動に参加したいとおもいますか。(ひとつだけ○)

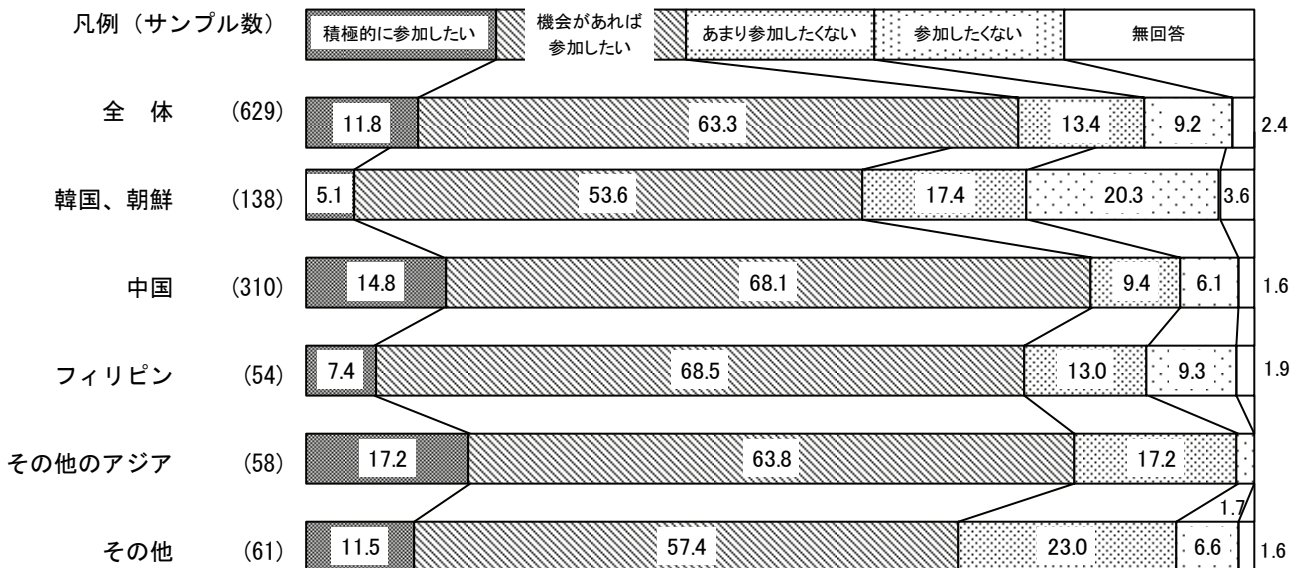
★外国人・日本人 共通設問

- ・地域活動への参加意向は、「積極的に参加したい」が11.8%、「機会があれば参加したい」が63.3%、「あまり参加したくない」が13.4%、「参加したくない」が9.2%となっている。
- ・国籍別にみると、「積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」を合わせた割合は、“中国”、“フィリピン”、“その他のアジア”では7割を超えており、“その他”では6割台後半となっている。しかし“韓国、朝鮮”では、5割台後半となっており、参加意向が他の国籍と比較して低いことがわかる。
- ・就業形態別にみると、「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた割合は、学生が最も高く8割台後半となっており、参加意向が高いことがわかる。

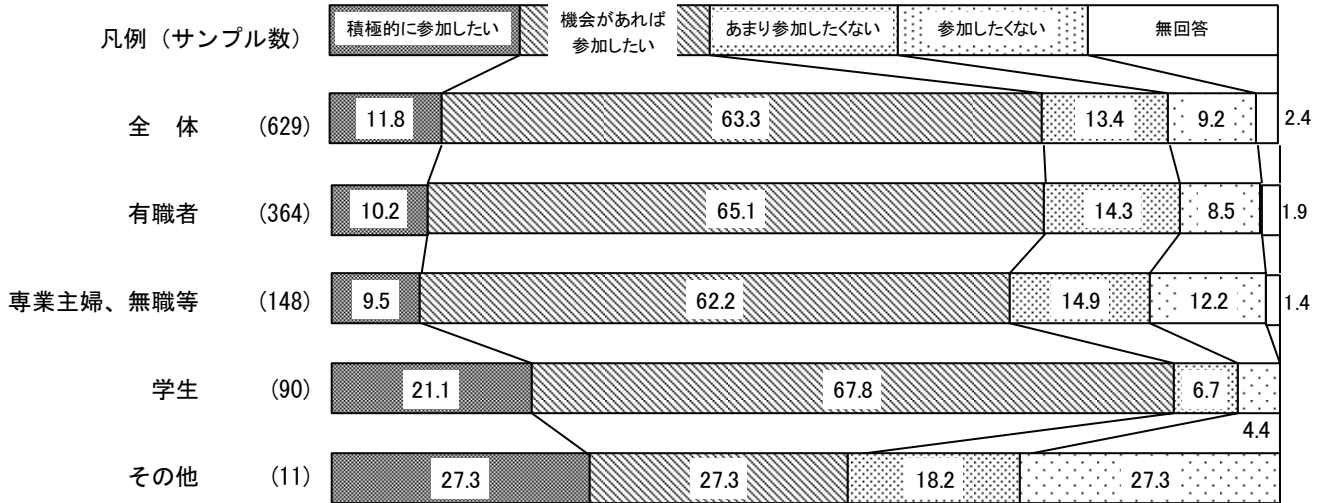
図表128 地域活動への参加意向（単数回答）



図表129 国籍別地域活動への参加意向（単数回答）



図表130 就業形態別地域活動への参加意向（単数回答）



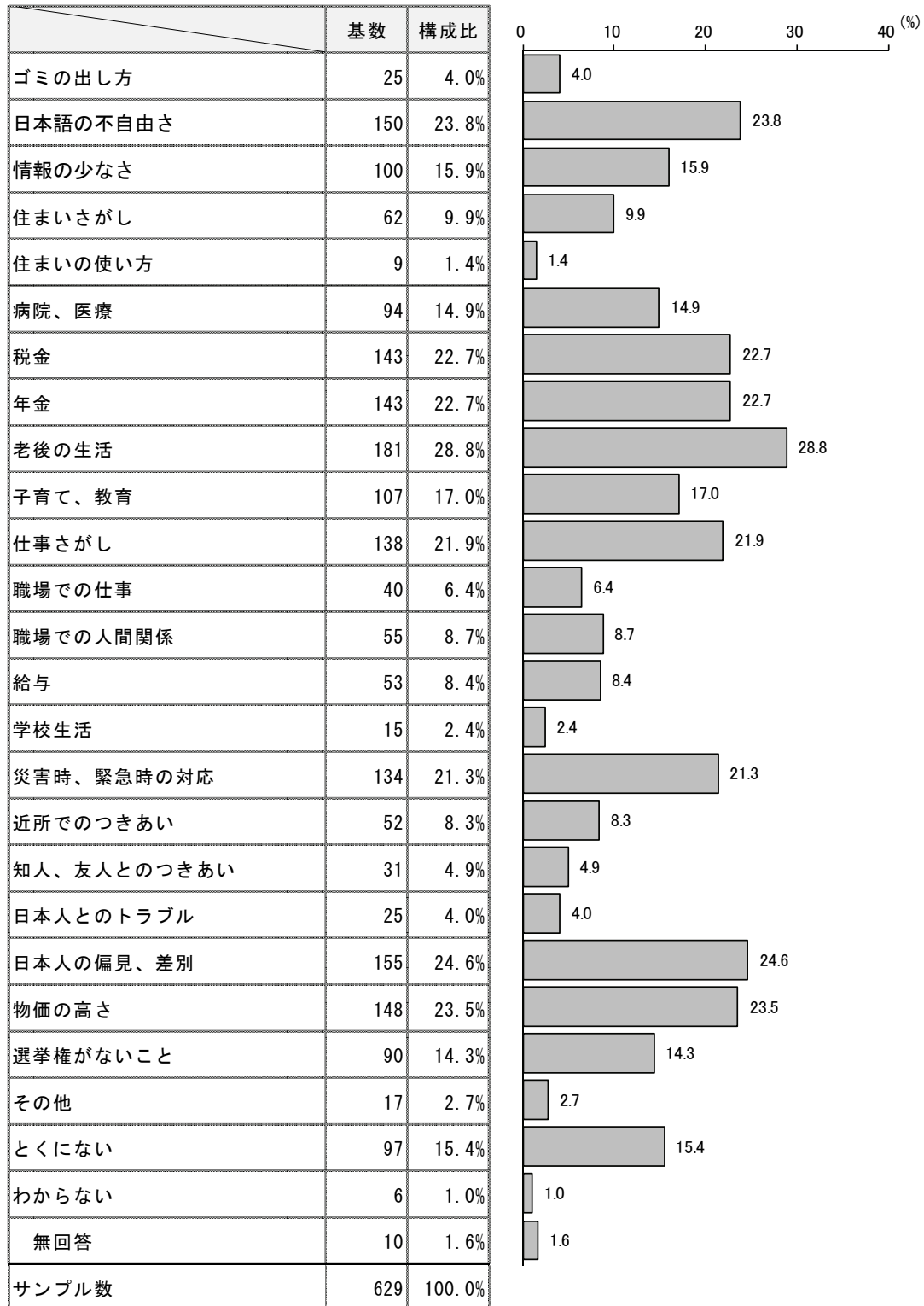
(6) 困っていることや心配なこと

○困っていることや心配なことの有無

とい
問19 あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なことはありますか。(いくつでも○)

- ・困っていることや心配なことは、「老後の生活」が 28.8%で最も高く、次いで「日本人の偏見、差別」が 24.6%、「日本語の不自由さ」が 23.8%の順になっている。
- ・国籍別にみると、“中国”、“フィリピン”、“その他”で「老後の生活」が最も高くなっているが、“韓国、朝鮮”は「とくにない」が最も高くなっているが、「とくにない」を除くと、「日本人の偏見、差別」が最も高くなっている。“その他のアジア”では「物価の高さ」が最も高くなっている。
- ・日本語の習熟度別にみると、日本語の習熟度が低い層では「日本語の不自由さ」が最も高くなっている。一方、習熟度が高い層では「老後の生活」や「日本人の偏見、差別」が高い傾向にある。
- ・就業形態別にみると、有職者は「老後の生活」が最も高く、次いで「年金」、「税金」の順になっている。このことから、有職者は金銭面に困りごとや心配なことがあることがわかる。また「日本語の不自由さ」は有職者以外の就業形態で高い傾向がある。

図表131 困っていることや心配なことの有無（複数回答）



図表132 国籍別困っていることや心配なことの有無（複数回答）

	調査数	ゴミの出し方	日本語の不自由さ	情報の少なさ	住まいがし	住まいの使い方	病院、医療	税金	年金	老後の生活	子育て、教育	仕事さがし	職場での仕事	職場での人間関係
全体	629 100.0	25 4.0	150 23.8	100 15.9	62 9.9	9 1.4	94 14.9	143 22.7	143 22.7	181 28.8	107 17.0	138 21.9	40 6.4	55 8.7
韓国、朝鮮	138 100.0	2 1.4	6 4.3	16 11.6	15 10.9	2 1.4	10 7.2	25 18.1	25 18.1	34 24.6	11 8.0	24 17.4	7 5.1	9 6.5
中国	310 100.0	10 3.2	86 27.7	49 15.8	29 9.4	3 1.0	54 17.4	75 24.2	78 25.2	86 27.7	69 22.3	70 22.6	16 5.2	27 8.7
フィリピン	54 100.0	1 1.9	19 35.2	12 22.2	3 5.6	-	12 22.2	12 22.2	10 18.5	24 44.4	9 16.7	12 22.2	3 5.6	5 9.3
その他のアジア	58 100.0	5 8.6	19 32.8	11 19.0	8 13.8	2 3.4	10 17.2	16 27.6	12 20.7	15 25.9	14 24.1	17 29.3	7 12.1	9 15.5
その他	61 100.0	7 11.5	19 31.1	12 19.7	6 9.8	2 3.3	8 13.1	13 21.3	16 26.2	21 34.4	3 4.9	13 21.3	7 11.5	5 8.2

	給与	学校生活	災害時、緊急時の対応	近所でのつきあい	知人、友人とのつきあい	日本人とのトラブル	日本人の偏見、差別	物価の高さ	選挙権がないこと	その他	とくにない	わからない	無回答
全体	53 8.4	15 2.4	134 21.3	52 8.3	31 4.9	25 4.0	155 24.6	148 23.5	90 14.3	17 2.7	97 15.4	6 1.0	10 1.6
韓国、朝鮮	9 6.5	3 2.2	15 10.9	10 7.2	3 2.2	3 2.2	37 26.8	14 10.1	27 19.6	5 3.6	41 29.7	1 0.7	4 2.9
中国	26 8.4	9 2.9	82 26.5	22 7.1	16 5.2	16 5.2	81 26.1	83 26.8	39 12.6	8 2.6	38 12.3	-	3 1.0
フィリピン	3 5.6	-	12 22.2	7 13.0	3 5.6	-	6 11.1	20 37.0	10 18.5	1 1.9	2 3.7	1 1.9	2 3.7
その他のアジア	9 15.5	1 1.7	8 13.8	6 10.3	4 6.9	3 5.2	14 24.1	23 39.7	4 6.9	1 1.7	6 10.3	2 3.4	-
その他	6 9.8	2 3.3	15 24.6	6 9.8	5 8.2	3 4.9	17 27.9	8 13.1	10 16.4	1 1.6	7 11.5	2 3.3	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表133 日本語習熟度別困っていることや心配なことの有無（複数回答）

	調査数	ゴミの出し方	日本語の不自由さ	情報の少なさ	住まいの狭さ	住まいの使い方	病院 医療	税金	年金	老後の生活	子育て、 教育	仕事さがし	職場での仕事	職場での人間関係
全体	629 100.0	25 4.0	150 23.8	100 15.9	62 9.9	9 1.4	94 14.9	143 22.7	143 22.7	181 28.8	107 17.0	138 21.9	40 6.4	55 8.7
話す														
よくできる	285 100.0	8 2.8	8 2.8	25 8.8	26 9.1	-	18 6.3	63 22.1	68 23.9	80 28.1	40 14.0	50 17.5	15 5.3	25 8.8
まあまあできる	199 100.0	11 5.5	45 22.6	39 19.6	15 7.5	6 3.0	33 16.8	51 25.6	44 22.1	63 31.7	39 19.6	50 25.1	17 8.5	22 11.1
あまりできない	97 100.0	4 4.1	68 70.1	23 23.9	15 15.5	2 2.1	30 30.9	22 22.7	26 26.8	26 26.8	19 18.6	19 18.6	7 7.2	7 7.2
できない	39 100.0	2 5.1	28 71.8	9 20.5	6 15.4	1 2.6	13 33.3	6 15.4	5 12.8	11 28.2	10 25.6	4 10.3	1 2.6	1 2.6
読む														
よくできる	258 100.0	8 3.1	11 4.3	24 9.3	23 8.9	1 0.4	18 7.0	57 22.1	55 21.3	67 26.0	36 14.0	43 16.7	13 5.0	26 10.1
まあまあできる	183 100.0	11 6.0	43 23.5	37 20.2	18 9.8	4 2.2	30 16.4	39 21.3	37 20.2	53 29.0	33 18.0	49 26.8	16 8.7	18 9.8
あまりできない	110 100.0	4 3.6	55 60.0	29 26.4	12 10.9	3 2.7	28 25.5	33 30.0	37 33.6	38 34.5	25 22.7	29 26.4	8 7.3	9 8.2
できない	54 100.0	2 3.7	35 64.8	10 18.5	8 14.8	1 1.9	15 27.8	10 18.5	7 13.0	16 29.6	10 18.5	4 25.9	1 1.9	2 3.7
書く														
よくできる	204 100.0	4 2.0	12 1.0	16 7.8	17 8.3	-	10 4.9	49 24.0	44 21.6	56 27.5	29 14.2	27 13.2	9 4.4	15 7.4
まあまあできる	198 100.0	12 6.1	41 20.7	38 19.2	22 11.1	4 2.0	31 15.7	42 21.2	42 21.2	52 26.3	34 17.2	56 28.3	9 9.6	27 13.6
あまりできない	129 100.0	6 4.7	57 44.2	30 23.3	15 11.6	4 3.1	24 26.4	34 26.4	36 27.9	41 31.8	24 18.6	33 25.6	6 4.7	8 6.2
できない	70 100.0	3 4.3	41 58.6	15 21.4	7 10.0	1 1.4	16 22.9	13 18.6	13 18.6	23 32.9	16 22.9	8 25.7	4 5.7	4 5.7

	給与	学校生活	災害時、 緊急時の対応	近所でのつきあい	い知人、 友人とのつきあい	日本人とのトラブル	日本人の偏見、 差別	物価の高さ	選挙権がないこと	その他	とくにない	わからない	無回答
全体	53 8.4	15 2.4	134 21.3	52 8.3	31 4.9	25 4.0	155 24.6	148 23.5	90 14.3	17 2.7	97 15.4	6 1.0	10 1.6
話す													
よくできる	17 6.0	6 2.1	42 14.7	15 5.3	8 2.8	3 1.1	72 25.3	42 14.7	54 18.9	12 4.2	69 24.2	2 0.7	6 2.1
まあまあできる	20 10.1	4 2.0	51 25.6	17 8.5	14 7.0	11 5.5	67 29.6	28 14.1	28 2.5	5 8.5	17 0.5	1 0.5	2 1.0
あまりできない	11 11.3	4 4.1	29 29.9	9 17.5	9 9.3	9 9.3	20 20.6	29 29.9	8 8.2	8 -	3 3.1	2 2.1	1 1.0
できない	5 12.8	1 2.6	10 25.6	3 7.7	3 -	2 -	4 10.3	10 25.6	10 -	4 -	1 10.3	1 2.6	-
読む													
よくできる	17 6.6	5 1.9	42 16.3	16 6.2	9 3.5	2 0.8	72 27.9	39 15.1	46 17.8	13 5.0	63 24.4	1 0.4	5 1.9
まあまあできる	17 9.3	5 2.7	43 23.5	16 8.7	11 6.0	16 8.7	52 28.4	51 27.9	23 12.6	1 0.5	19 10.4	-	3 1.6
あまりできない	13 11.8	4 3.6	31 28.2	16 14.5	10 9.1	5 4.5	24 21.8	42 39.2	17 15.5	3 2.7	2 1.8	3 2.7	-
できない	6 11.1	1 1.9	13 24.1	3 5.6	3 -	2 -	6 3.7	13 11.1	1 1.9	-	8 14.8	2 3.7	-
書く													
よくできる	12 5.9	3 1.5	30 14.7	11 5.4	4 2.0	1 0.5	50 24.5	27 13.2	40 19.6	8 3.9	55 27.0	1 0.5	5 2.5
まあまあできる	23 11.6	7 3.5	49 24.7	18 9.1	14 7.1	14 7.1	67 33.8	54 27.3	27 13.6	6 3.0	22 11.1	-	1 0.5
あまりできない	8 6.2	4 3.1	30 23.3	17 13.2	10 7.8	7 5.4	26 20.2	44 34.1	12 9.3	3 2.3	6 4.7	3 2.3	2 1.6
できない	9 12.9	1 1.4	18 25.7	4 5.7	2 2.9	3 4.3	10 14.3	19 27.1	5 7.1	-	9 12.9	2 2.9	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表134 就業形態別困っていることや心配なことの有無（複数回答）

	調査数	ゴミの出し方	日本語の不自由さ	情報の少なさ	住まいがし	住まいの使い方	病院・医療	税金	年金	老後の生活	子育て、教育	仕事さがし	職場での仕事	職場での人間関係
全体	629	25	150	100	62	9	94	143	143	181	107	138	40	55
	100.0	4.0	23.8	15.9	9.9	1.4	14.9	22.7	22.7	28.8	17.0	21.9	6.4	8.7
有職者	364	9	68	52	32	3	44	99	109	131	67	62	25	34
	100.0	2.5	18.7	14.3	8.8	0.8	12.1	27.2	29.9	36.0	18.4	17.0	6.9	9.3
専業主婦、無職等	148	5	42	21	13	3	27	23	26	39	35	40	7	10
	100.0	3.4	28.4	14.2	8.8	2.0	18.2	15.5	17.6	26.4	23.6	27.0	4.7	6.8
学生	90	11	34	25	16	3	19	17	5	4	4	33	8	10
	100.0	12.2	37.8	27.8	17.8	3.3	21.1	18.9	5.6	4.4	4.4	36.7	8.9	11.1
その他	11	-	3	1	1	-	3	2	1	4	-	1	-	1
	100.0	-	27.3	9.1	9.1	-	27.3	18.2	9.1	36.4	-	9.1	-	9.1

	給与	学校生活	災害時、緊急時の対応	近所でのつきあい	い知人、友人とのつきあい	日本人とのトラブル	日本人の偏見、差別	物価の高さ	選挙権がないこと	その他	とくにない	わからない	無回答
全体	53	15	134	52	31	25	155	148	90	17	97	6	10
	8.4	2.4	21.3	8.3	4.9	4.0	24.6	23.5	14.3	2.7	15.4	1.0	1.6
有職者	34	4	77	25	9	9	88	75	60	11	59	2	6
	9.3	1.1	21.2	6.9	2.5	2.5	24.2	20.6	16.5	3.0	16.2	0.5	1.6
専業主婦、無職等	7	1	27	11	3	5	27	38	19	3	31	1	1
	4.7	0.7	18.2	7.4	2.0	3.4	18.2	25.7	12.8	2.0	20.9	0.7	0.7
学生	11	9	22	15	19	9	36	30	6	2	4	1	-
	12.2	10.0	24.4	16.7	21.1	10.0	40.0	33.3	6.7	2.2	4.4	1.1	-
その他	-	-	4	1	-	1	3	3	2	-	-	2	-
	-	-	36.4	9.1	-	9.1	27.3	27.3	18.2	-	-	18.2	-

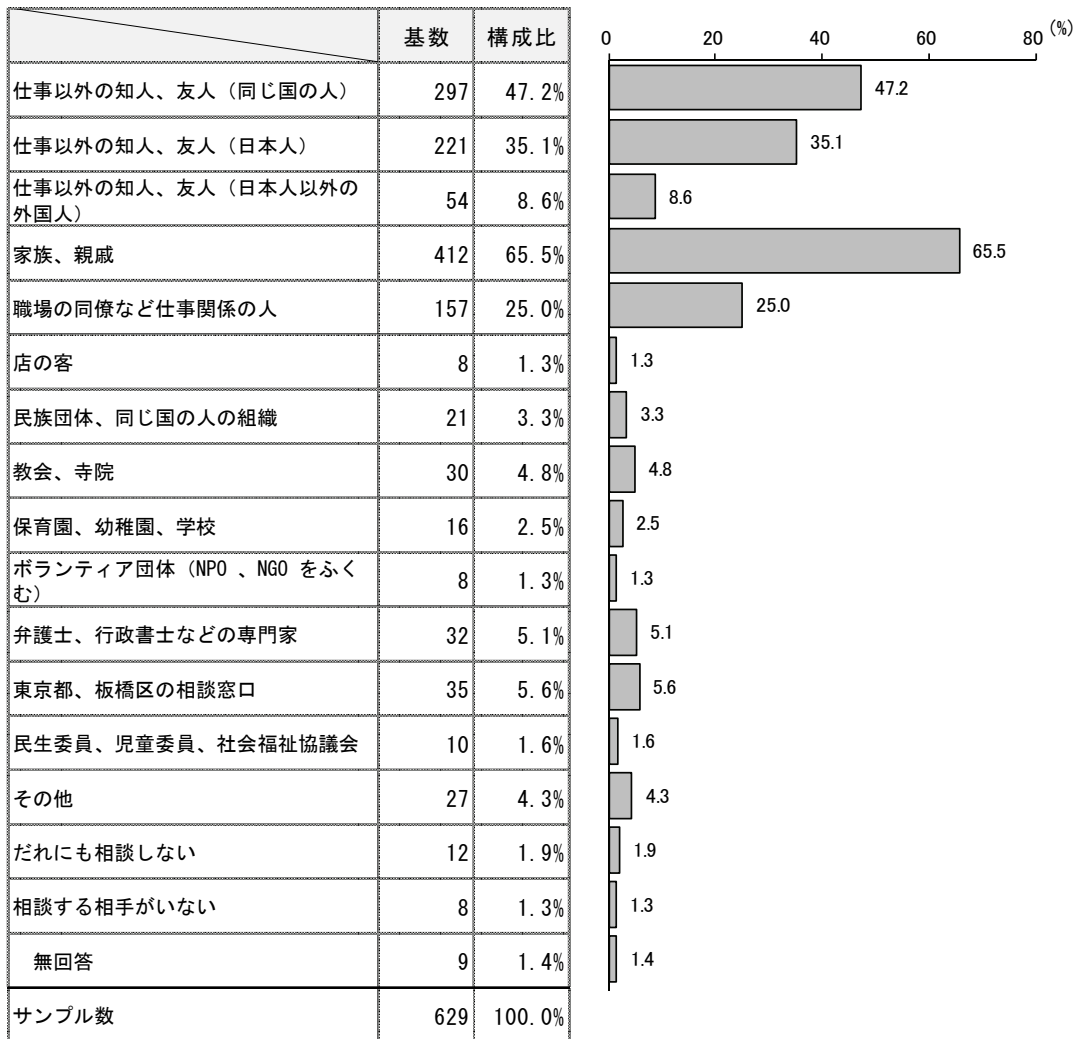
上段：件数（件）、下段：構成比（%）

○相談相手

問20 あなたは、日常生活のことで困った場合、だれに相談しますか。(いくつでも○)

- ・困った場合の相談相手は、「家族、親戚」が最も高く 65.5%、次いで「仕事以外の知人、友人(同じ国の人)」が 47.2%、「仕事以外の知人、友人(日本人)」が 35.1%の順になっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「家族、親戚」が最も高くなっている。次いで“中国”、“フィリピン”、“その他のアジア”では「仕事以外の知人、友人(同じ国の人)」となっているが、“韓国、朝鮮”、“その他”では「仕事以外の知人、友人(日本人)」となっている。

図表135 相談相手（複数回答）



図表136 国籍別相談相手（複数回答）

	調査数	仕事以外の知人 （同じ国の知人） 友人	仕事以外の知人 （日本人以外の外国人） 友人	仕事以外の知人 （日本人以外の外国人） 友人	家族、親戚	職場の同僚など仕事関係の人	店の客	民族団体、同じ国の人の組織	教会、寺院	保育園、幼稚園、学校	ボランティア団体（NPO、NGOをふくむ）	弁護士の専門家、行政書士などの専門家	窓口、板橋区の相談	民生委員、児童委員、社会福祉協議会	その他	だれにも相談しない	相談する相手がいない	無回答
全体	629	297	221	54	412	157	8	21	30	16	8	32	35	10	27	12	8	9
	100.0	47.2	35.1	8.6	65.5	25.0	1.3	3.3	4.8	2.5	1.3	5.1	5.6	1.6	4.3	1.9	1.3	1.4
韓国、朝鮮	138	49	53	8	84	36	-	12	8	1	-	7	7	1	8	4	4	3
	100.0	35.5	38.4	5.8	60.9	26.1	-	8.7	5.8	0.7	-	5.1	5.1	0.7	5.8	2.9	2.9	2.2
中国	310	173	93	20	214	69	5	5	5	11	2	13	18	4	12	5	1	3
	100.0	55.8	30.0	6.5	69.0	22.3	1.6	1.6	1.6	3.5	0.6	4.2	5.8	1.3	3.9	1.6	0.3	1.0
フィリピン	54	22	20	3	36	11	1	2	10	2	4	1	3	3	2	2	2	-
	100.0	40.7	37.0	5.6	66.7	20.4	1.9	3.7	18.5	3.7	7.4	1.9	5.6	5.6	3.7	3.7	3.7	-
その他のアジア	58	30	23	9	33	18	2	2	3	2	2	5	4	2	2	1	1	1
	100.0	51.7	39.7	15.5	56.9	31.0	3.4	3.4	5.2	3.4	3.4	8.6	6.9	3.4	3.4	1.7	1.7	1.7
その他	61	21	30	13	41	20	-	-	3	-	-	4	2	-	2	-	-	-
	100.0	34.4	49.2	21.3	67.2	32.8	-	-	4.9	-	-	6.6	3.3	-	3.3	-	-	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

4 災害など緊急時の対応について

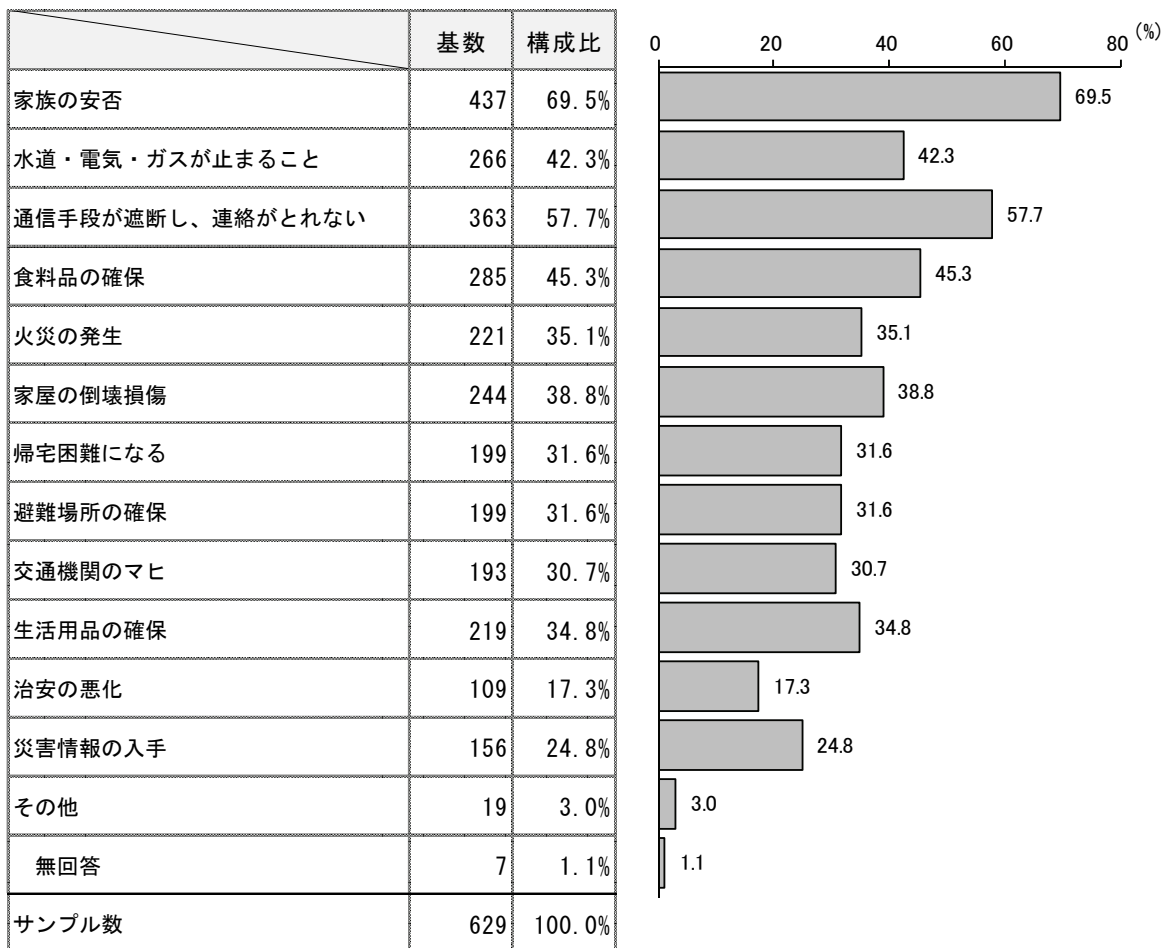
(1) 災害時に不安なこと

問21 あなたが、地震などの災害が発生したときに不安なことは何ですか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・災害時に不安なことは、「家族の安否」が最も高く 69.5%、次いで「通信手段が遮断し、連絡がとれない」が 57.7%、「食料品の確保」が 45.3%の順になっている。
- ・国籍別にみると、「家族の安否」が全ての国籍で高くなっているが、“その他のアジア”は「通信手段が遮断し、連絡がとれない」が最も高くなっている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに30代以上では「家族の安否」が最も高くなっているが、20代では「通信手段が遮断し、連絡がとれない」が最も高くなっている。

図表137 災害時に不安なこと（複数回答）



図表138 国籍別災害時に不安なこと（複数回答）

	調査数	家族の安否	水道・電気・ガスが止まること	連絡手段が遮断し、連絡がとれない	食料品の確保	火災の発生	家屋の倒壊損傷	帰宅困難になる	避難場所の確保	交通機関のマヒ	生活用品の確保	治安の悪化	災害情報の入手	その他	無回答
全体	629 100.0	437 69.5	266 42.3	363 57.7	285 45.3	221 35.1	244 38.8	199 31.6	199 31.6	193 30.7	219 34.8	109 17.3	156 24.8	19 3.0	7 1.1
韓国、朝鮮	138 100.0	103 74.6	71 51.4	61 44.2	57 41.3	46 33.3	45 32.6	44 31.9	53 38.4	45 32.6	48 34.8	21 15.2	27 19.6	3 2.2	1 0.7
中国	310 100.0	216 69.7	109 35.2	192 61.9	141 45.5	104 33.5	121 39.0	97 31.3	96 31.0	95 30.6	105 33.9	53 17.1	73 23.5	7 2.3	2 0.6
フィリピン	54 100.0	46 85.2	31 57.4	37 68.5	30 55.6	22 40.7	27 50.0	22 40.7	25 46.3	20 37.0	24 44.4	17 31.5	21 38.9	2 3.7	-
その他のアジア	58 100.0	35 60.3	25 43.1	37 63.8	27 46.6	16 27.6	21 36.2	16 27.6	11 19.0	14 24.1	19 32.8	8 13.8	16 27.6	2 3.4	1 1.7
その他	61 100.0	33 54.1	28 45.9	33 54.1	29 47.5	32 52.5	28 45.9	18 29.5	12 19.7	16 26.2	22 36.1	10 16.4	16 26.2	4 6.6	1 1.6

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表139 男女年代別災害時に不安なこと（複数回答）

	調査数	家族の安否	水道・電気・ガスが止まること	連絡手段が遮断し、連絡がとれない	食料品の確保	火災の発生	家屋の倒壊損傷	帰宅困難になる	避難場所の確保	交通機関のマヒ	生活用品の確保	治安の悪化	災害情報の入手	その他	無回答
全体	629 100.0	437 69.5	266 42.3	363 57.7	285 45.3	221 35.1	244 38.8	199 31.6	199 31.6	193 30.7	219 34.8	109 17.3	156 24.8	19 3.0	7 1.1
男性・20代	49 100.0	16 32.7	14 28.6	27 55.1	20 40.8	11 22.4	19 38.8	9 18.4	7 14.3	8 16.3	12 24.5	8 16.3	13 26.5	-	-
男性・30代	83 100.0	59 71.1	23 27.7	45 54.2	31 37.3	22 26.5	28 33.7	25 30.1	22 26.5	25 30.1	26 30.1	12 14.5	17 20.5	2 2.4	1 1.2
男性・40代	48 100.0	37 77.1	16 33.3	22 45.8	14 29.2	13 27.1	19 39.6	13 27.1	12 25.0	10 20.8	11 22.9	9 18.8	14 29.2	3 6.3	-
男性・50代	22 100.0	18 81.8	7 31.8	8 36.4	10 45.5	5 22.7	5 22.7	3 13.6	4 18.2	5 22.7	7 31.8	2 9.1	1 4.5	1 4.5	1 4.5
男性・60代以上	31 100.0	24 77.4	17 54.8	13 41.9	13 41.9	15 48.4	12 38.7	4 12.9	13 41.9	5 16.1	13 41.9	4 12.9	8 25.8	-	6.5
女性・20代	95 100.0	44 46.3	38 40.0	67 70.5	44 46.3	29 30.5	42 44.2	37 38.9	30 31.6	28 29.5	31 32.6	16 16.8	26 27.4	3 3.2	1 1.1
女性・30代	111 100.0	89 80.2	54 48.6	73 65.8	59 53.2	47 42.3	46 41.4	43 38.7	43 38.7	51 45.9	47 42.3	24 21.6	31 27.9	3 2.7	-
女性・40代	67 100.0	60 89.6	35 52.2	44 65.7	38 56.7	28 41.8	31 46.3	24 35.8	23 34.3	23 34.3	27 40.3	13 19.4	19 28.4	3 4.5	-
女性・50代	58 100.0	45 77.6	31 53.4	28 48.3	29 50.0	26 44.8	22 37.9	22 37.9	21 36.2	21 36.2	24 41.4	8 13.8	12 20.7	1 1.7	1 1.7
女性・60代以上	47 100.0	34 72.3	26 55.3	26 55.3	20 42.6	19 40.4	15 31.9	15 31.9	20 42.6	12 25.5	16 34.0	9 19.1	10 21.3	2 4.3	1 2.1

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

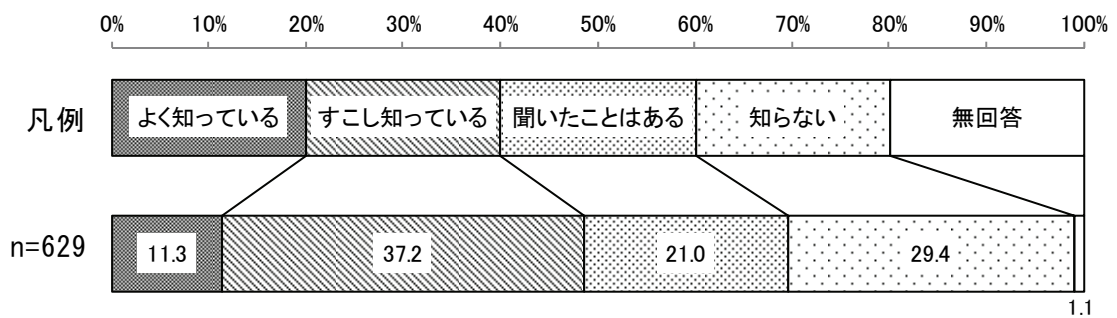
(2) 避難場所等の認知度

問22 あなたは、地震などの災害が発生した場合の避難場所、避難道路を知っていますか。
(ひとつだけ○)

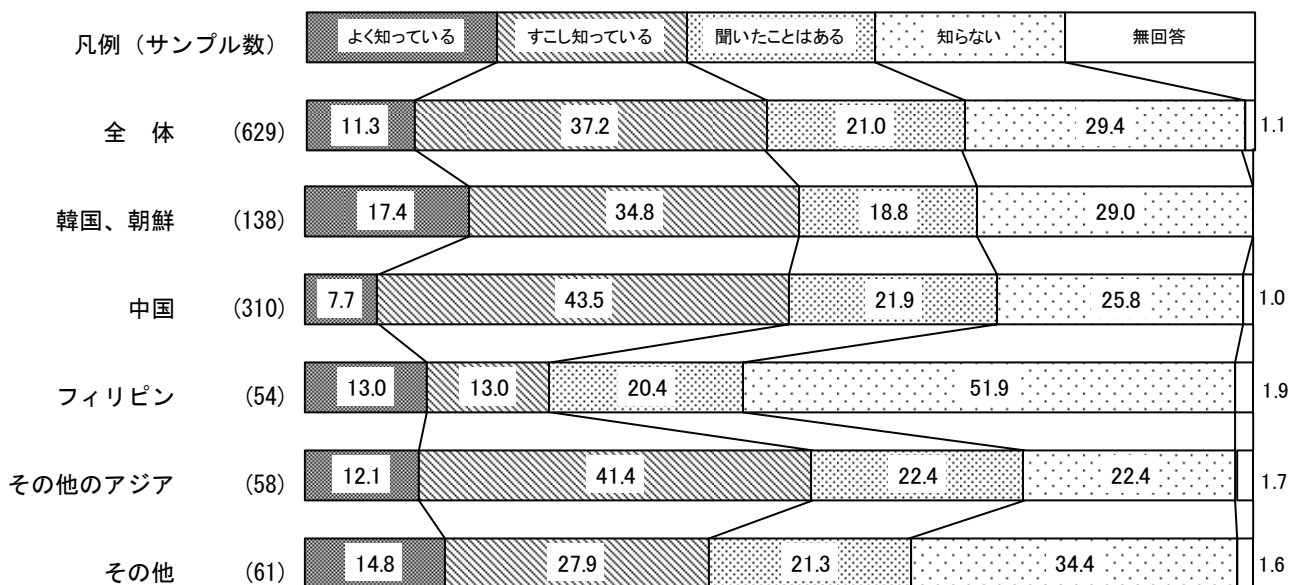
★外国人・日本人 共通設問

- ・避難場所の認知度は、「よく知っている」が 11.3%、「すこし知っている」が 37.2%、「聞いたことはある」が 21.0%で、合わせた認知度は 69.5%となっている。
- ・国籍別にみると、「よく知っている」、「すこし知っている」、「聞いたことはある」を合わせた割合は、“韓国、朝鮮”、“中国”、“その他のアジア”、“その他”では6割を超えているが、“フィリピン”は半数を下回っており、認知度が最も低くなっている。
- ・男女・年代別にみると、男性は年齢が高くなるにつれ認知度が高くなる傾向がみられるが、女性は 30～50代で認知度が高くなっている。
- ・就業形態別にみると、有職者が 73.1%で最も高く、次いで専業主婦、無職等が 68.9%となっている。
- ・居住地域別にみると、志村地域、赤塚地域、高島平地域では7割を超えており、認知度が高くなっていることがわかる。

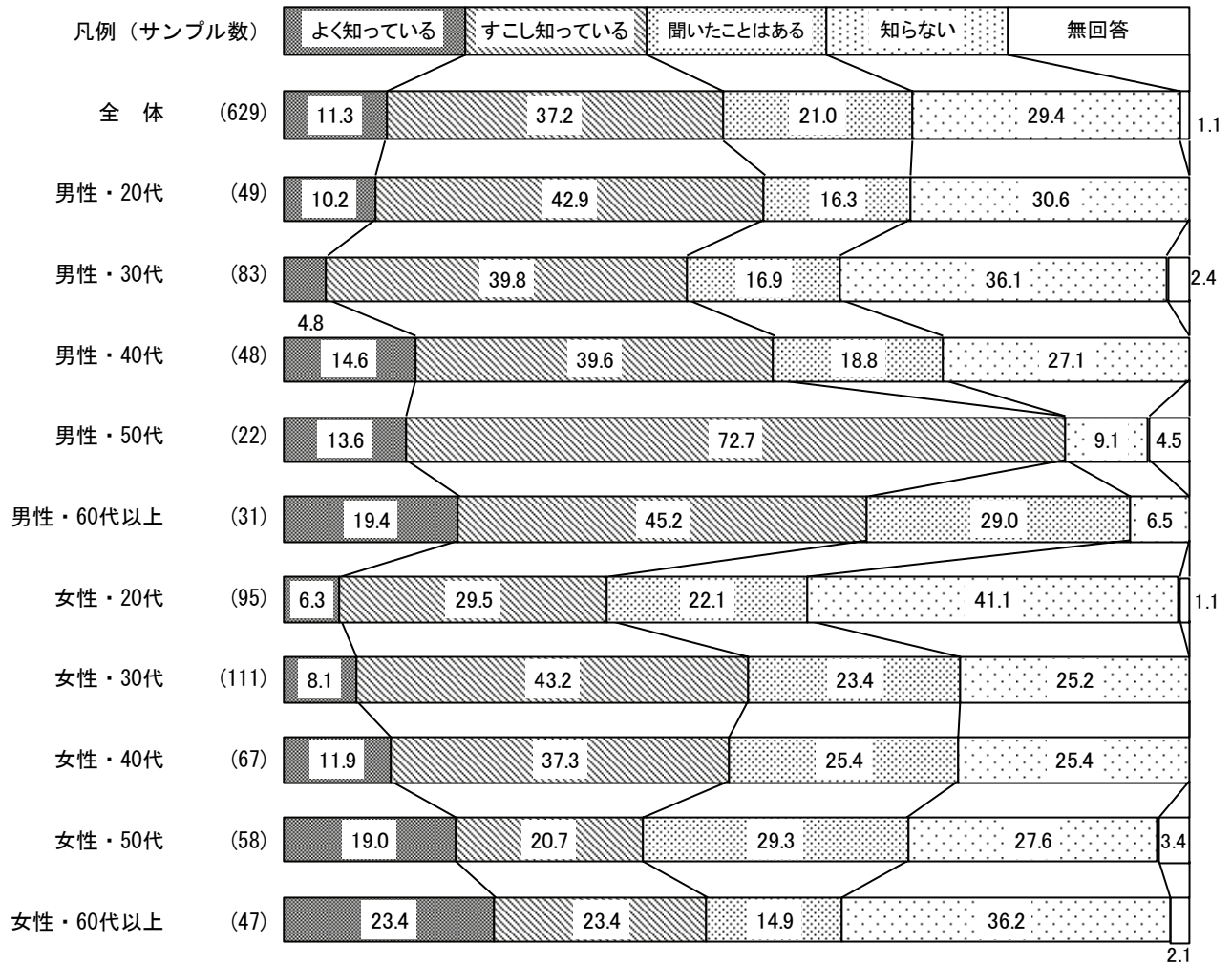
図表140 避難場所等の認知度（単数回答）



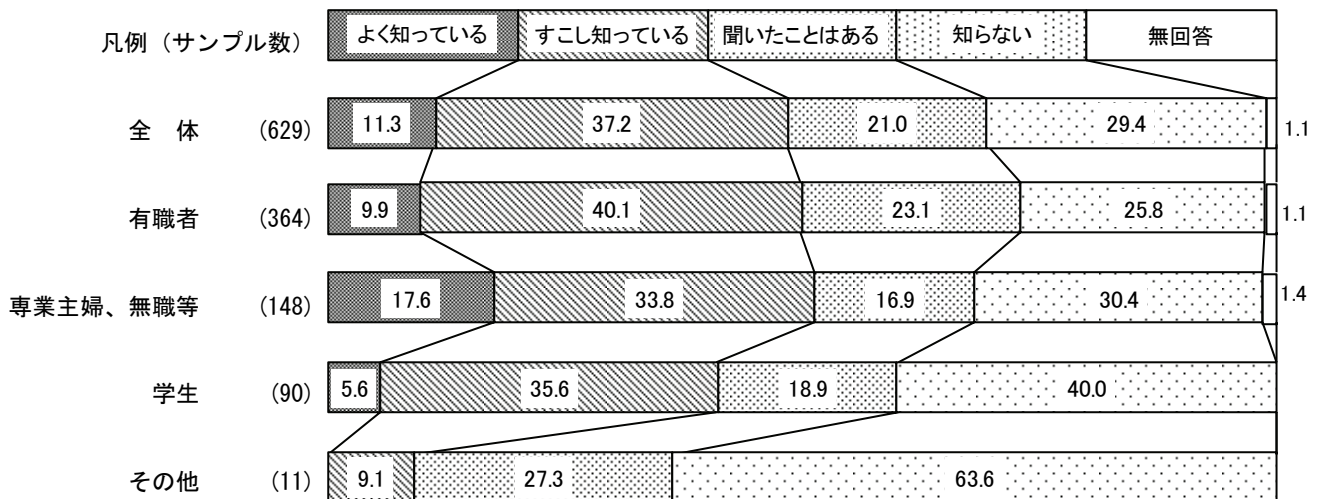
図表141 国籍別避難場所等の認知度（単数回答）



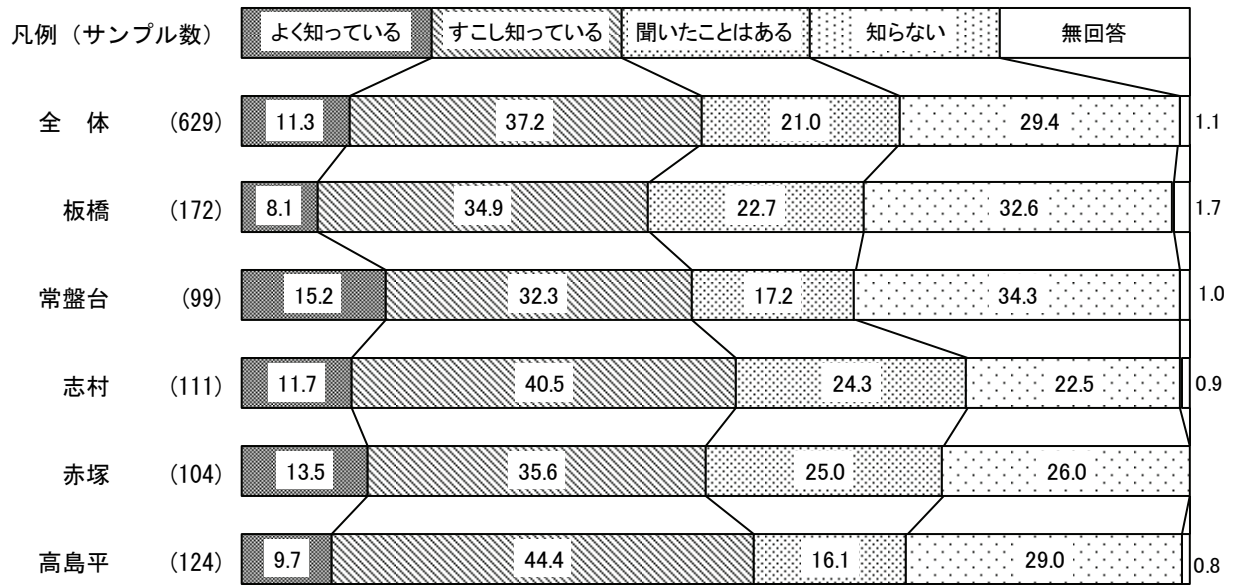
図表142 男女・年代別避難場所等の認知度（単数回答）



図表143 就業形態別避難場所等の認知度（単数回答）



図表144 居住地域別避難場所等の認知度（単数回答）



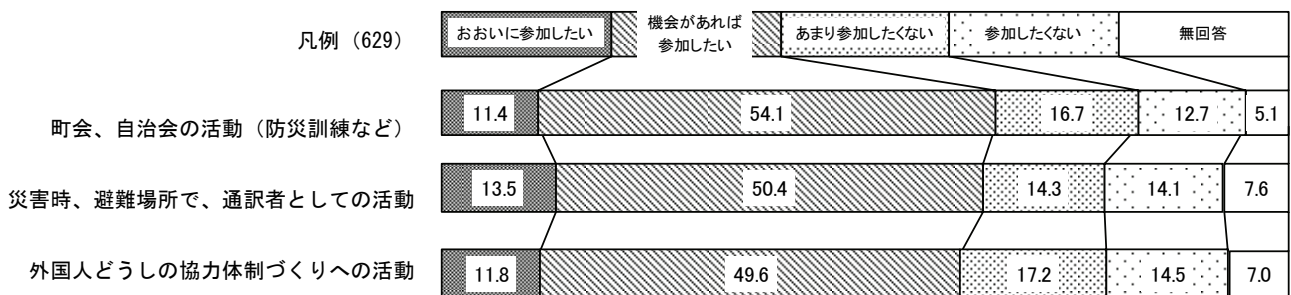
(3) 災害に関する活動への参加意向

問23 あなたは、以下の地震などの災害に関する活動に、参加したいと思いますか。
 (A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

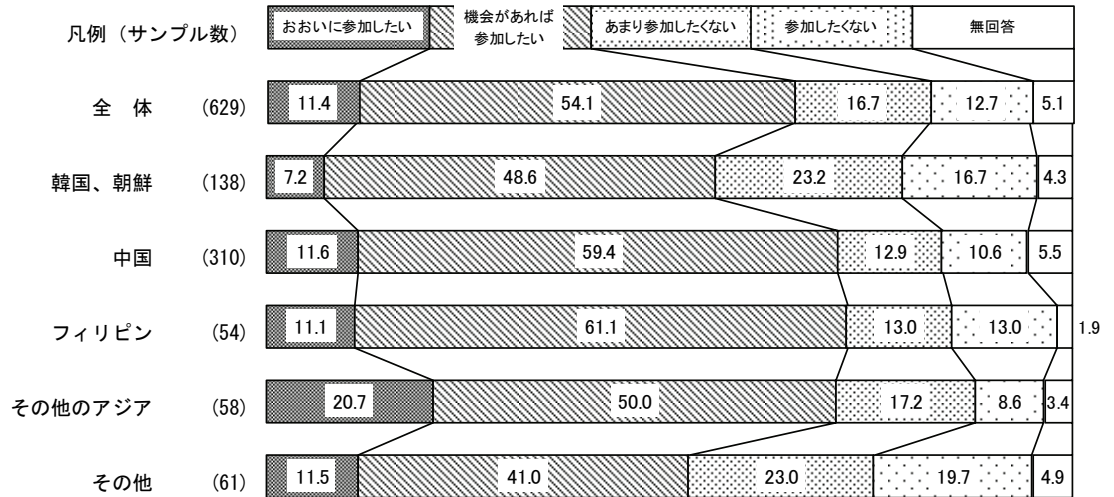
★外国人・日本人 共通設問

- ・災害活動に関する参加意向は、「おおいに参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた割合は、
 <町会、自治会などの活動>については65.5%、<避難場所での通訳>については63.9%、<外国人どうしの
 協力体制づくり>については61.4%となっている。
- ・国籍別にみると、「おおいに参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた割合は、いずれの活動に
 おいても“中国”、“フィリピン”、“その他のアジア”で参加意向が高くなっている。

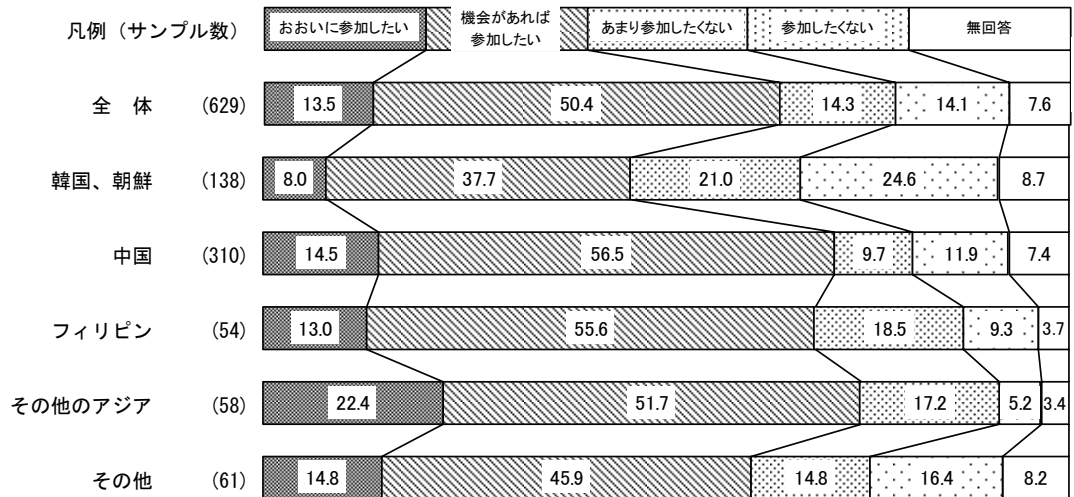
図表145 災害に関する活動への参加意向（単数回答）



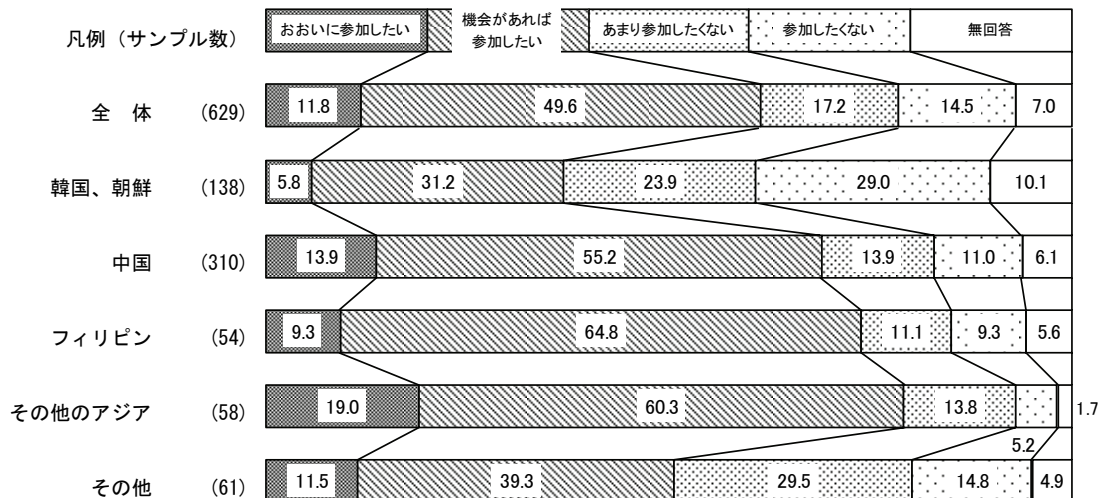
図表146 国籍別町会、自治会の活動（防災訓練など）（単数回答）



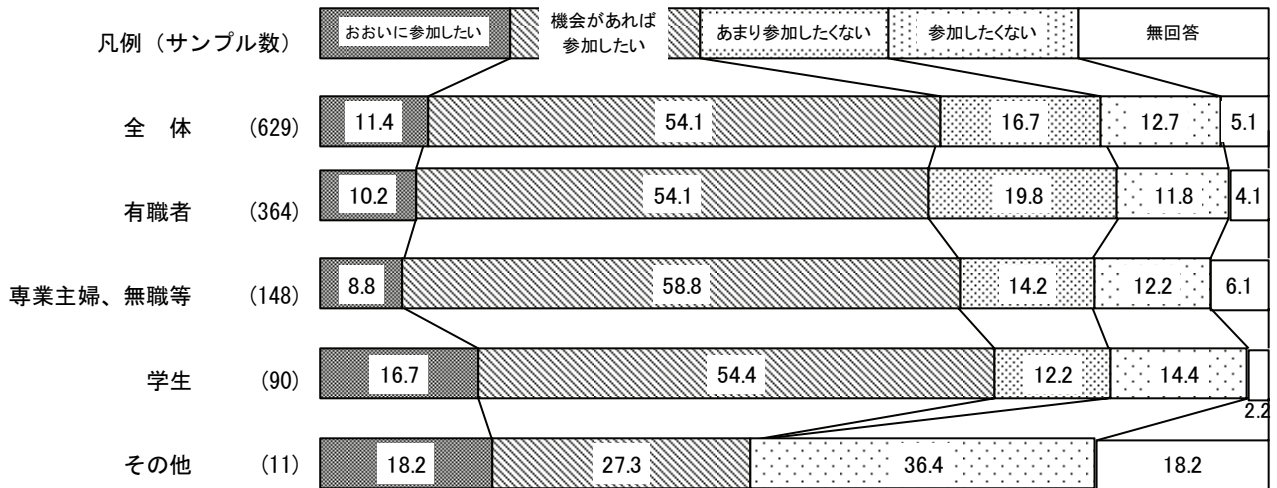
図表147 国籍別災害時、避難場所で、通訳としての活動（単数回答）



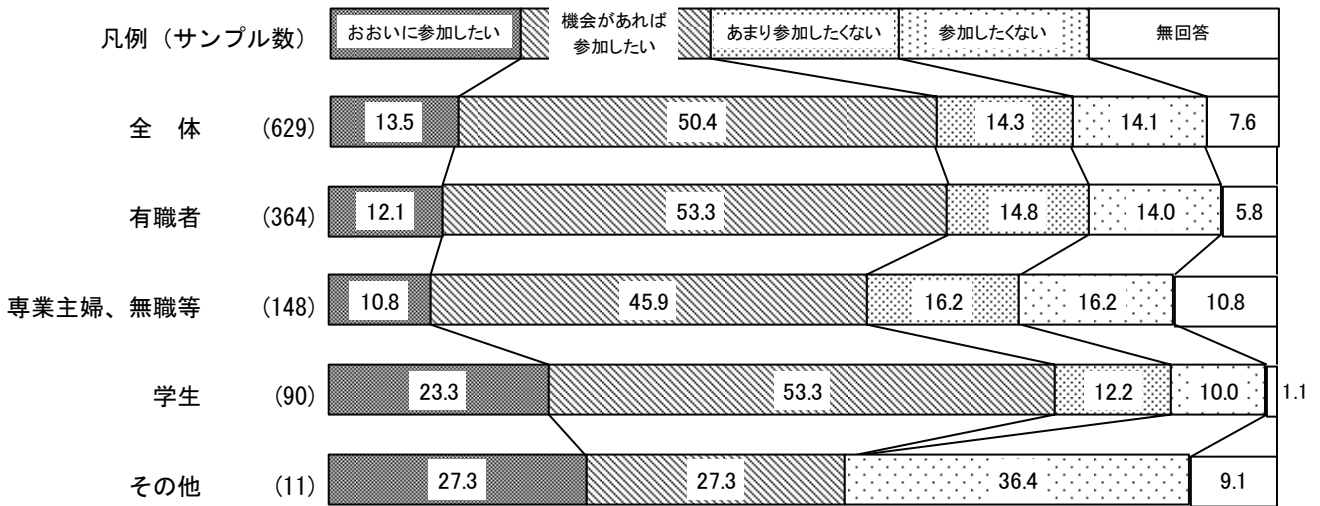
図表148 国籍別外国人どうしの協力体制づくりへの活動（単数回答）



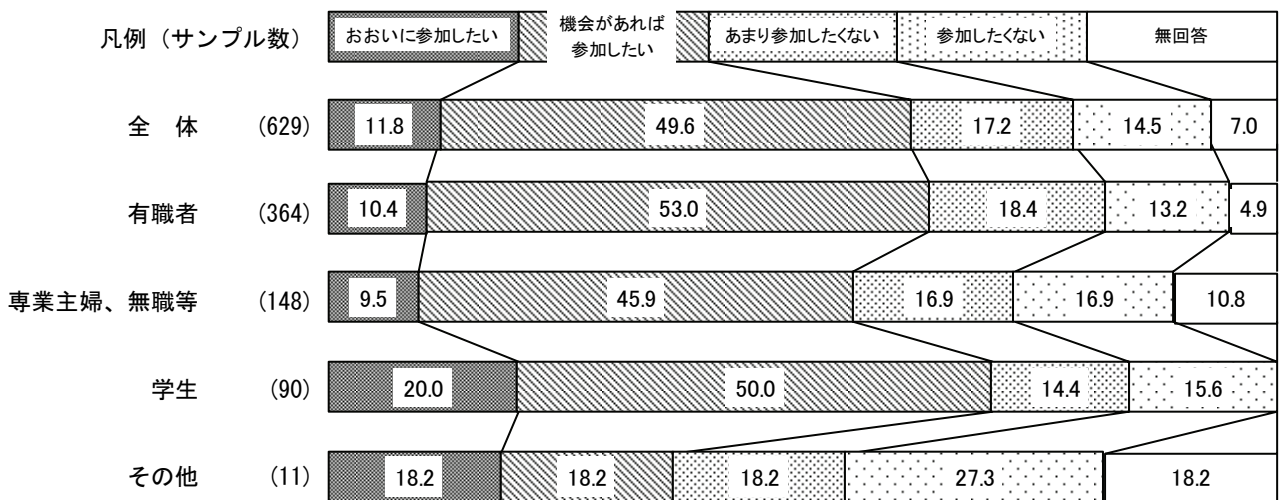
図表149 就業形態別町会、自治会の活動（防災訓練など）（単数回答）



図表150 就業形態別災害時、避難場所で、通訳としての活動（単数回答）



図表151 就業形態別外国人どうしの協力体制づくりへの活動（単数回答）



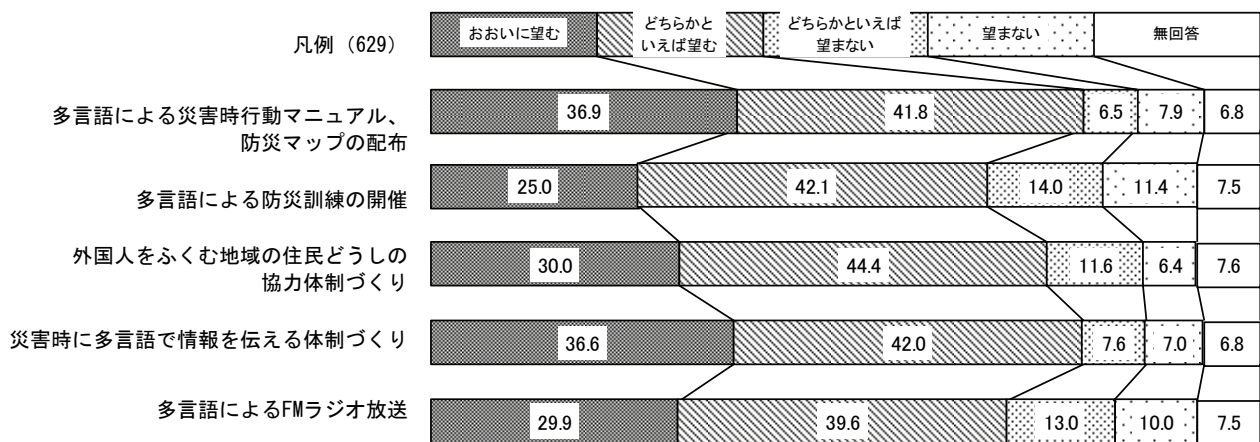
(4) 災害対策のニーズ

問24 以下の外国人をふくむ住民に対する災害対策を、あなたは、板橋区に望みますか。
(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

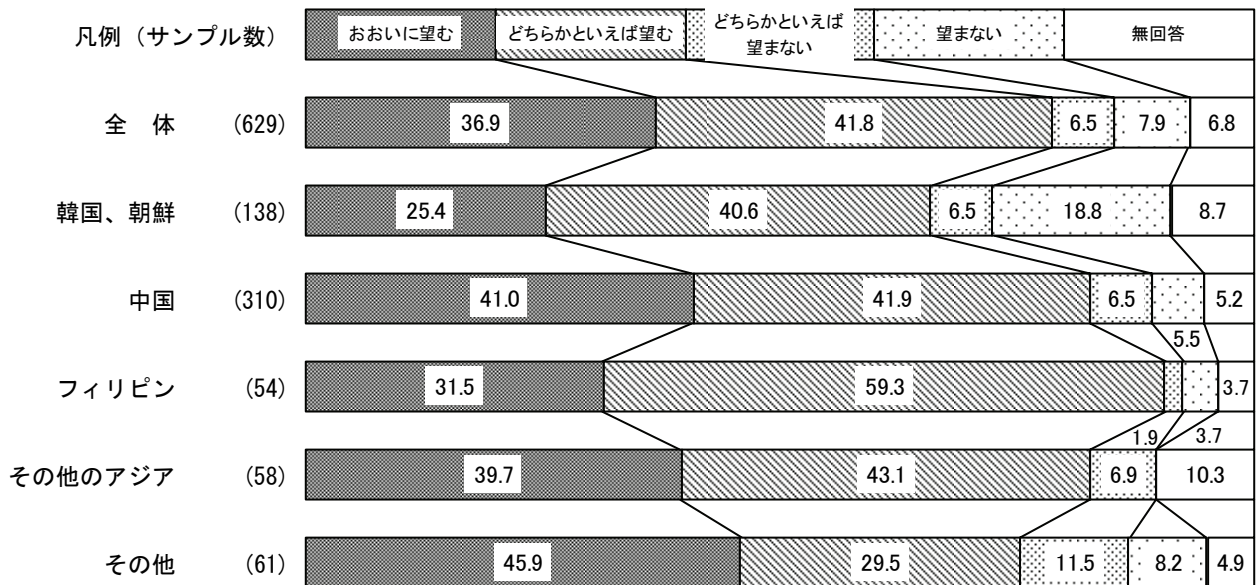
★外国人・日本人 共通設問

- ・板橋区への災害対策のニーズは、「おおいに望む」、「どちらかといえば望む」を合わせた割合をみると、
〈マニュアルなどの配布〉は 78.7%、〈防災訓練〉は 67.1%、〈協力体制づくり〉は 74.4%、〈情報を伝える体制づくり〉は 78.6%、〈FMラジオ〉は 69.5%となっている。
- ・国籍別にみると、「おおいに望む」、「どちらかといえば望む」を合わせた割合は、いずれの項目においても
“フィリピン”が約9割で最も高く、ニーズが高くなっていることがわかる。一方、“韓国、朝鮮”は他の国籍と比較して低い傾向となっている。

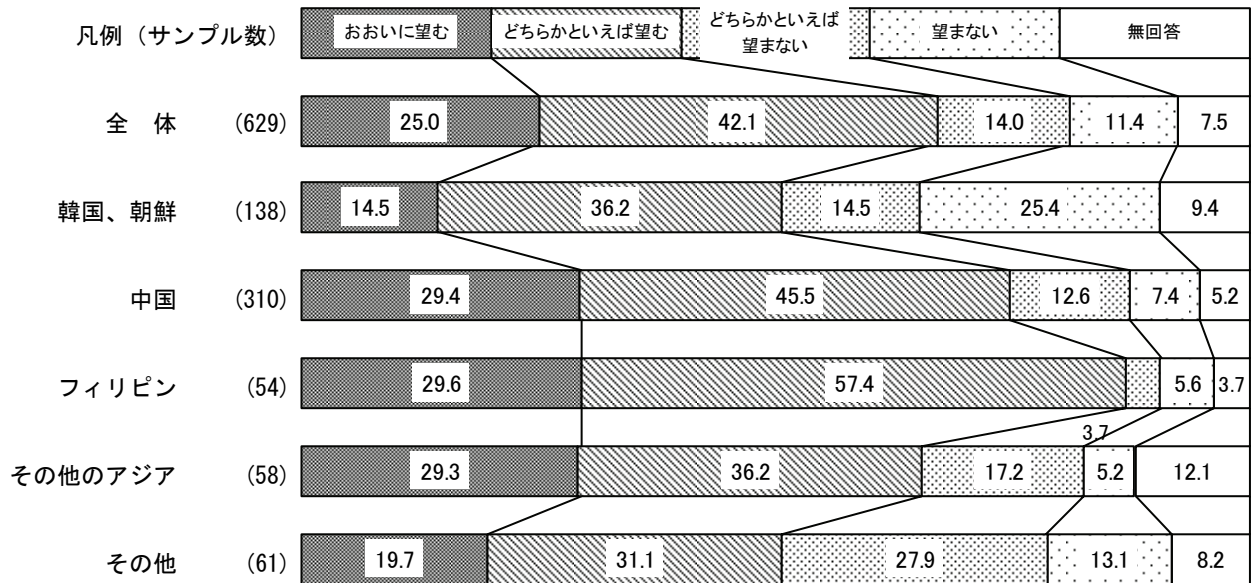
図表152 災害対策のニーズ（単数回答）



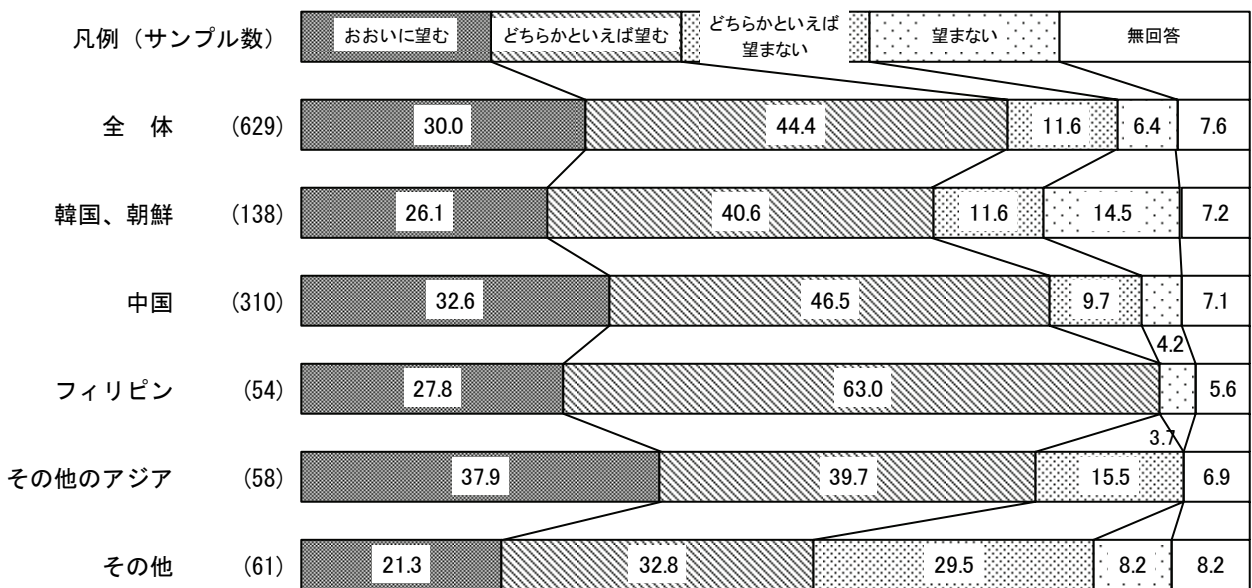
図表153 国籍別多言語による災害時行動マニュアル、防災マップの配布（単数回答）



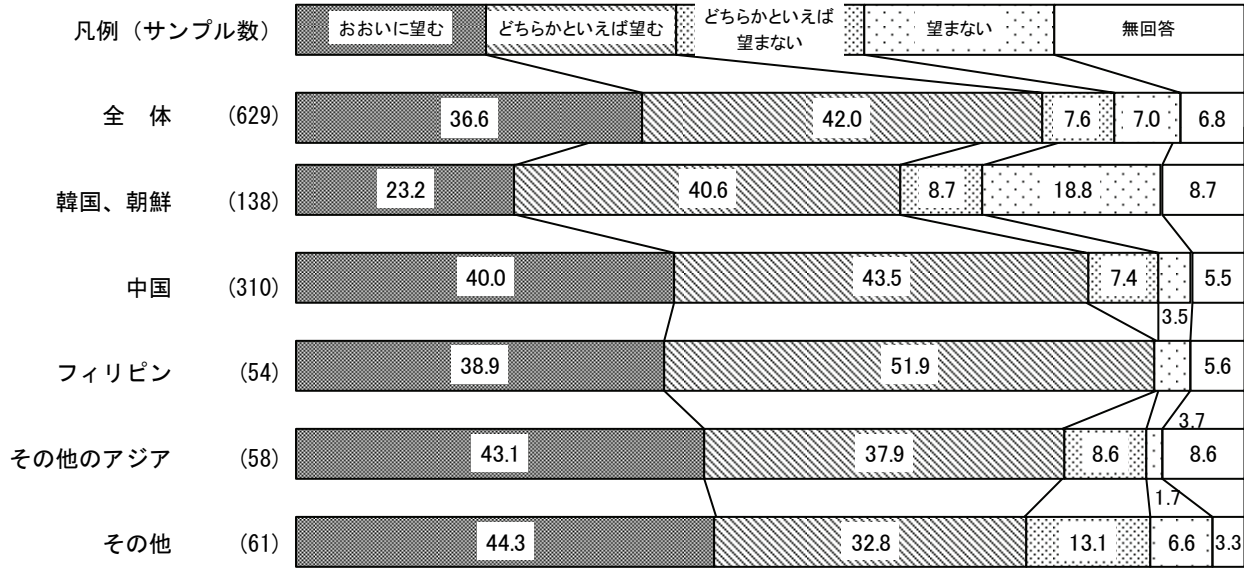
図表154 国籍別多言語による防災訓練の開催（単数回答）



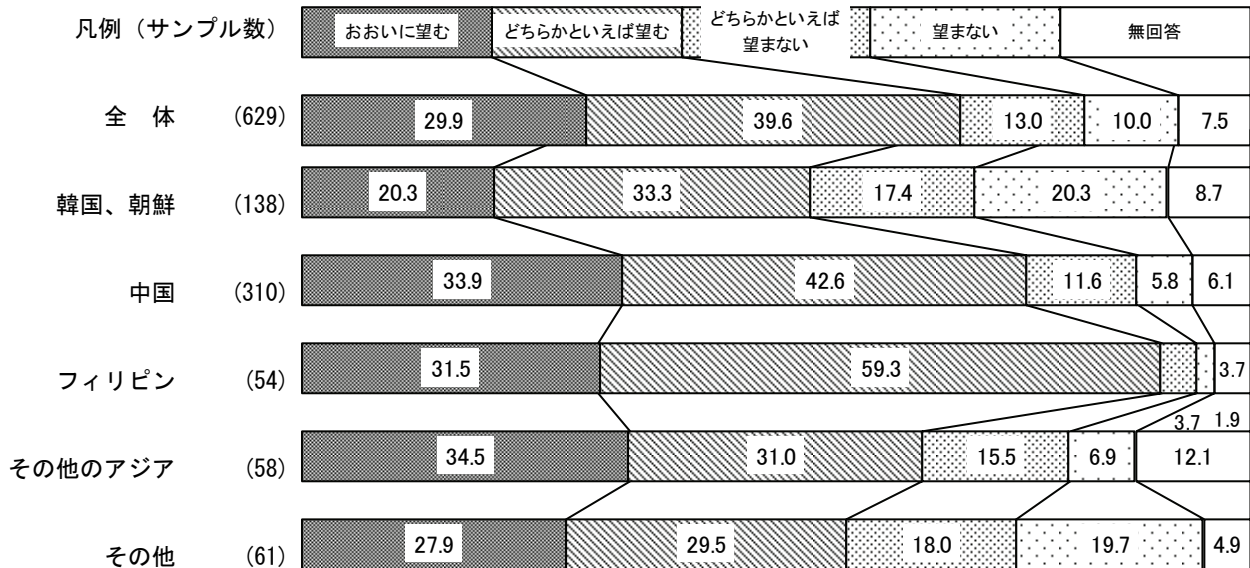
図表155 国籍別外国人をふくむ地域の住民どうしの協力体制づくり（単数回答）



図表156 国籍別災害時に多言語で情報を伝える体制づくり（単数回答）



図表157 国籍別多言語によるFMラジオ（単数回答）



(5) 避難時の心配ごと

問25 あなたは、地震などの災害において避難することについて、以下のことは心配ですか。
(A～Dについて、それぞれひとつだけ○)

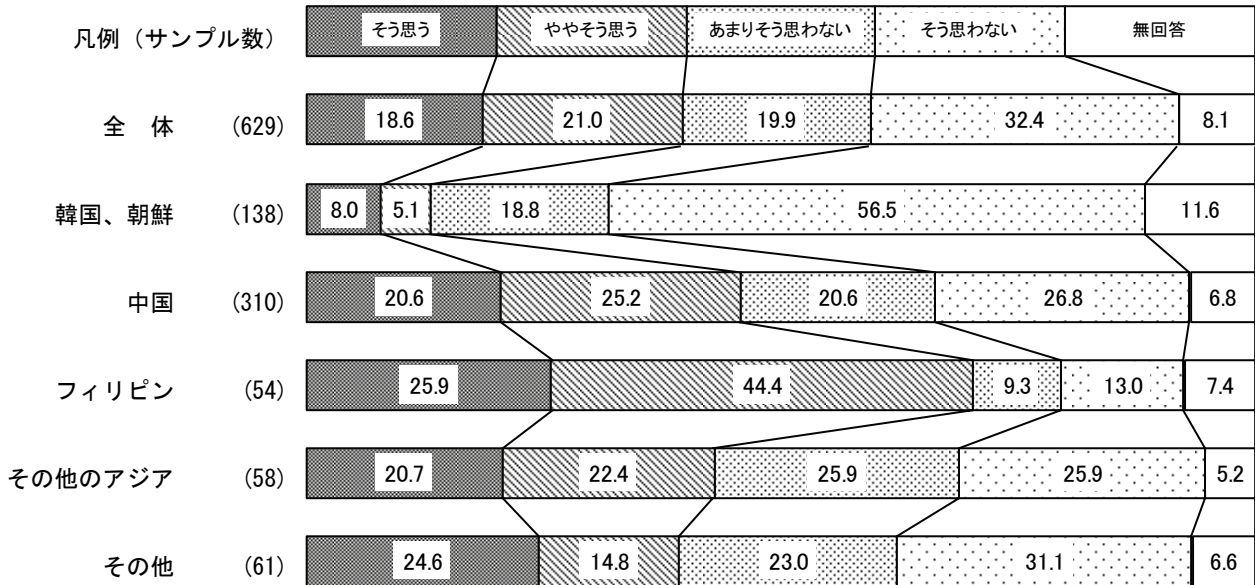
★外国人・日本人 共通設問

- ・避難時の心配ごとは、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、〈外国語が通じないか心配〉は 39.6%、〈日本人と協力して行動できるか心配〉は 32.6%、〈日本人の反応がわからないので心配〉は 39.6%、〈ばくぜんとした不安を感じる〉は 52.9%となっている。
- ・国籍別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、いずれの項目においても“フィリピン”が最も高く、〈ばくぜんとした不安を感じる〉以外の項目で“韓国、朝鮮”が最も低くなっている。また、〈ばくぜんとした不安を感じる〉は全ての国籍で「そう思う」、「ややそう思う」の割合が高い傾向となっていることから、災害時避難することに関しては全ての国籍で不安を感じていることがわかる。

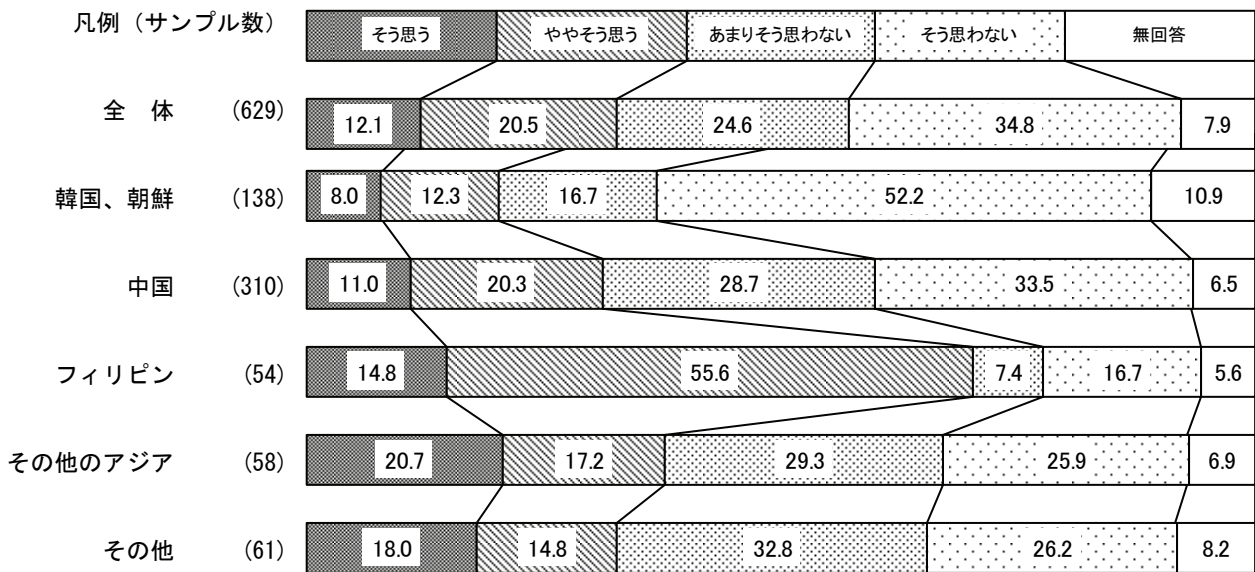
図表158 避難時の心配ごと（単数回答）

凡例 (629)	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
日本人に外国語が通じないか心配	18.6	21.0	19.9	32.4	8.1
日本人と協力して行動できるか心配	12.1	20.5	24.6	34.8	7.9
災害などの緊急時に、日本人の反応がどうなるかわからないので心配	16.5	23.1	23.8	29.3	7.3
ばくぜんとした不安を感じる	22.4	30.5	18.4	22.6	6.0

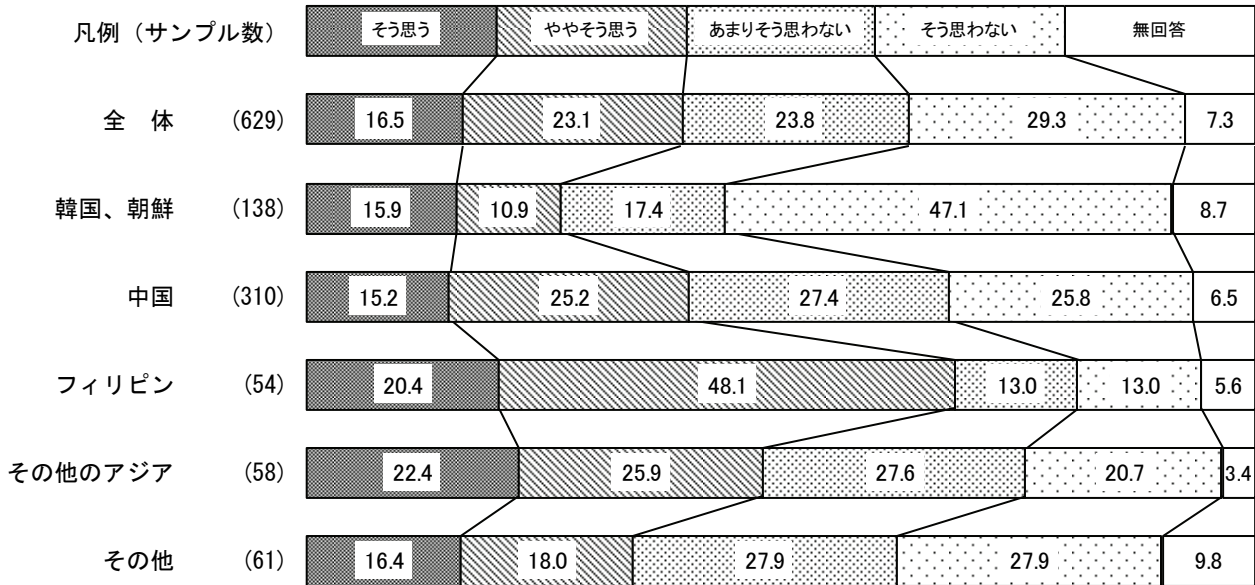
図表159 国籍別日本人に外国語が通じないか心配（単数回答）



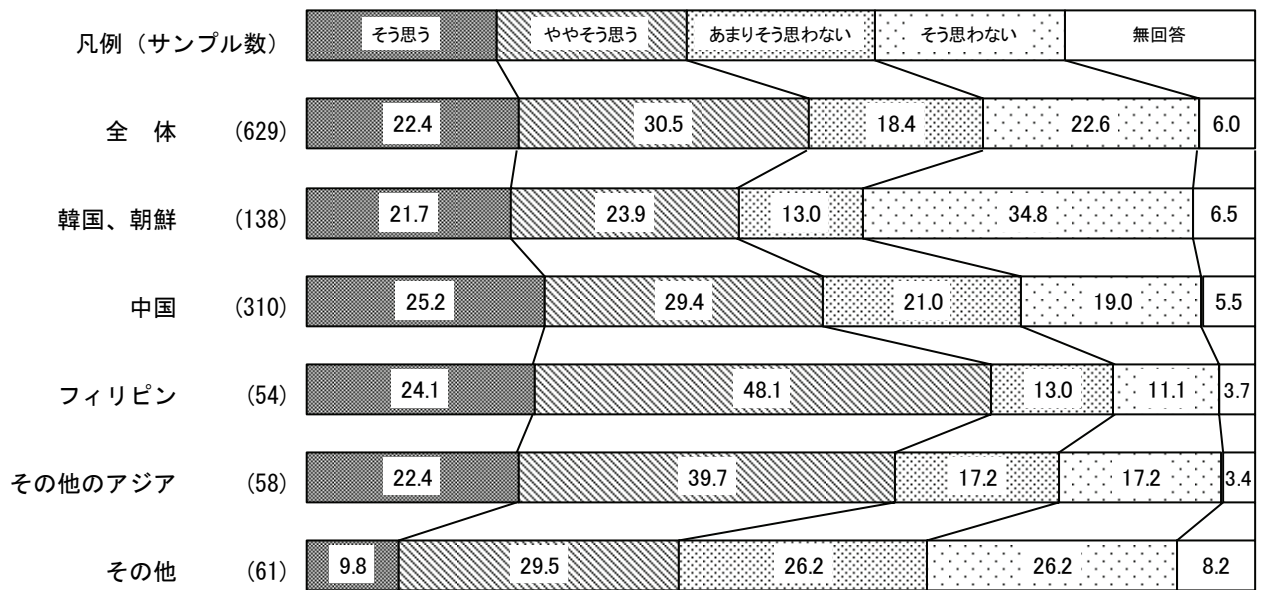
図表160 国籍別日本人と協力して行動できるか心配（単数回答）



図表161 国籍別災害などの緊急時に、日本人の反応がどうなるかわからないので心配（単数回答）



図表162 国籍別ばくぜんとした不安を感じる（単数回答）



5 子育てや教育について

(1) 子どもの状況

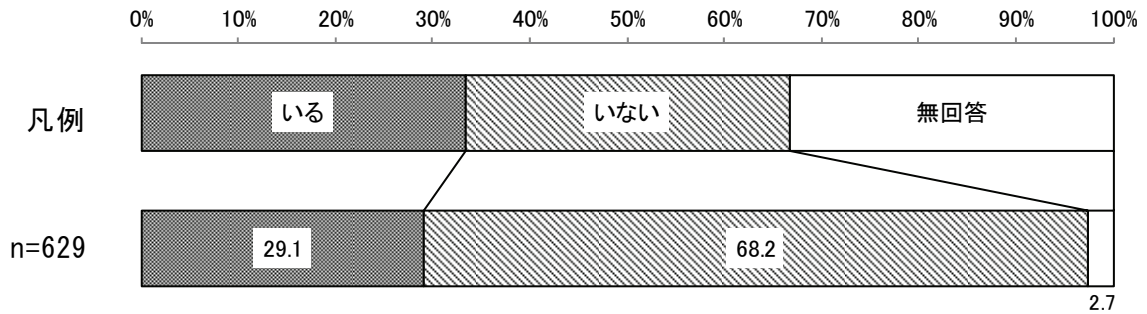
○子どもの有無

問26 あなたは、現在、^{げんざい}いっしょに暮らしている^く満15才以下^{まん}のご自分^{さいいか}のお子さん^{じぶん}はいますか。
(ひとつだけ○)

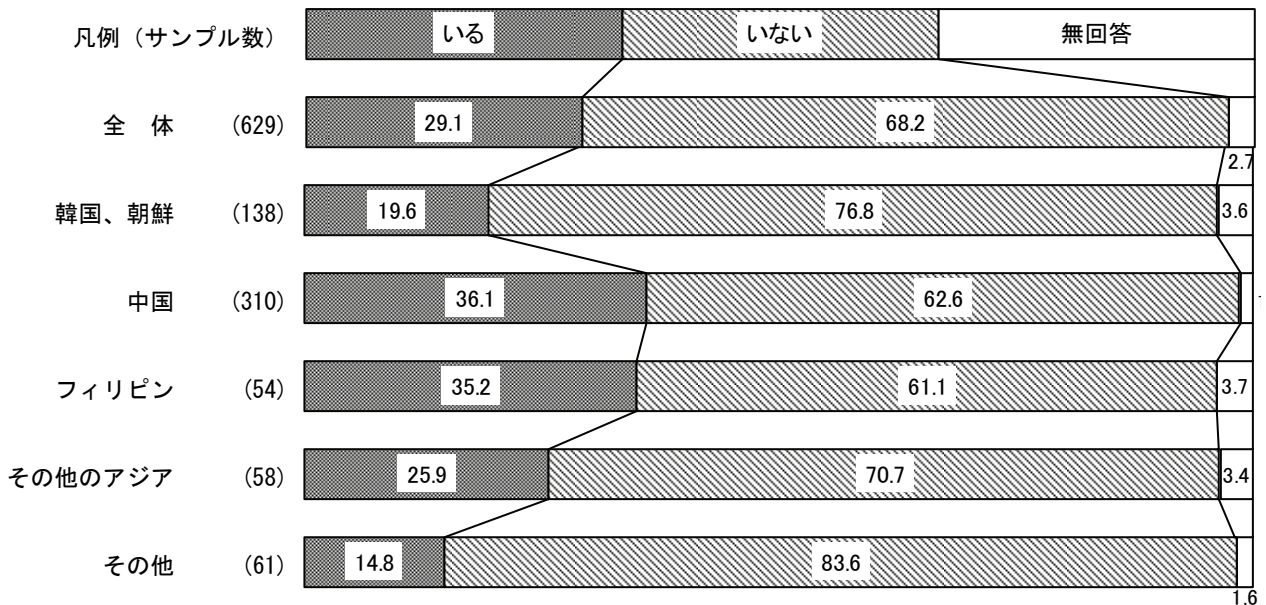
★外国人・日本人 共通設問

- ・満15歳以下の子どもの有無は、「いる」が29.1%、「いない」が68.2%となっている。
- ・国籍別にみると、子どもがいる割合は“中国”が最も高く、次いで“フィリピン”となっている。

図表163 子どもの有無（単数回答）



図表164 国籍別子どもの有無（単数回答）



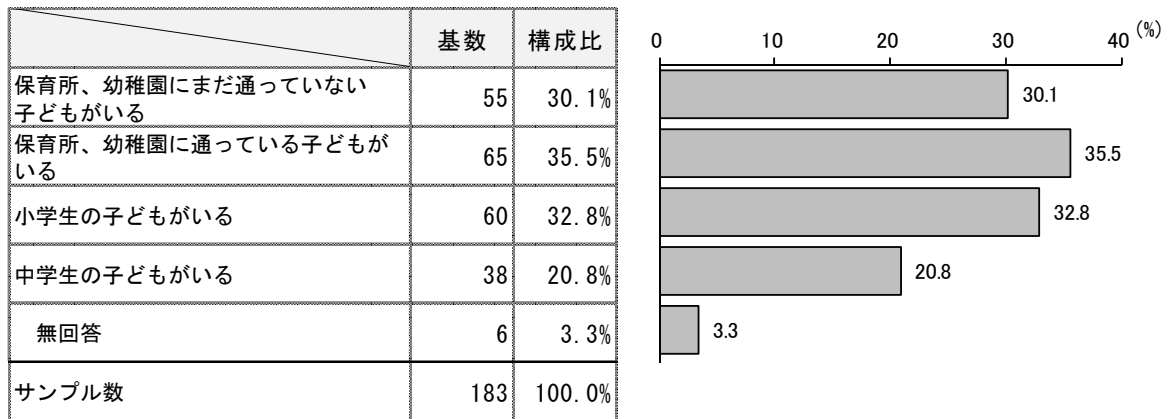
○子どもの学年

問27 問26 で 1 に回答した方(現在、満15才以下のご自分のお子さんと暮らしている人)にお聞きします。あなたが現在、いっしょに暮らしているお子さんについて、以下の中からあてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

・満15歳以下の子どもと暮らしている183人に子どもの学年について聞いたところ、「保育所、幼稚園にまだ通っていない子どもがいる」が30.1%、「保育所、幼稚園に通っている子どもがいる」が35.5%、「小学生の子どもがいる」が32.8%、「中学生の子どもがいる」が20.8%となっている。

図表165 子どもの学年（複数回答）



図表166 国籍別子どもの学年（複数回答）

	調査数	い 通 る	保 育 所、 幼 稚 園 に も ま だ	保 育 所、 幼 稚 園 に 通 っ て	小 学 生 の 子 ど も が い る	中 学 生 の 子 ど も が い る	無 回 答
全 体	183	55	65	60	38	6	6
	100.0	30.1	35.5	32.8	20.8	3.3	
韓国、朝鮮	27	9	9	9	6	-	-
	100.0	33.3	33.3	33.3	22.2	-	-
中国	112	37	41	33	22	5	5
	100.0	33.0	36.6	29.5	19.6	4.5	
フィリピン	19	2	3	9	8	1	1
	100.0	10.5	15.8	47.4	42.1	5.3	
その他のアジア	15	2	7	6	1	-	-
	100.0	13.3	46.7	40.0	6.7	-	-
その他	9	4	4	3	1	-	-
	100.0	44.4	44.4	33.3	11.1	-	-

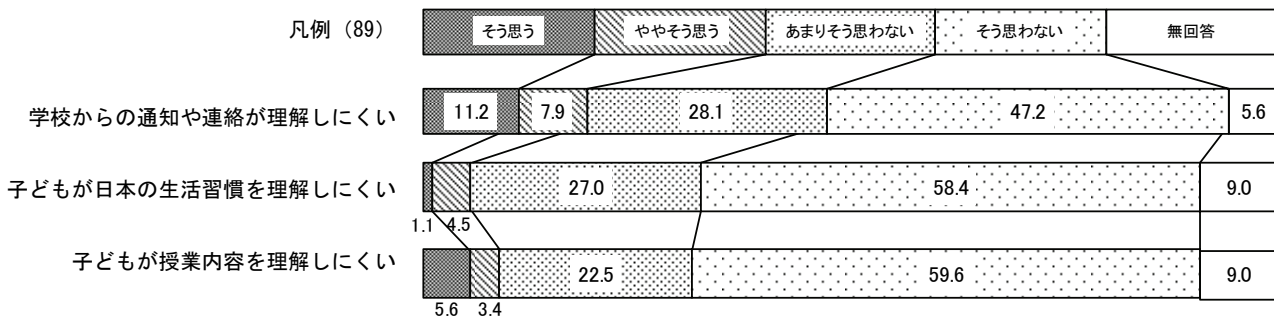
上段：件数（件）、下段：構成比（%）

(2) 子どもの学校生活について

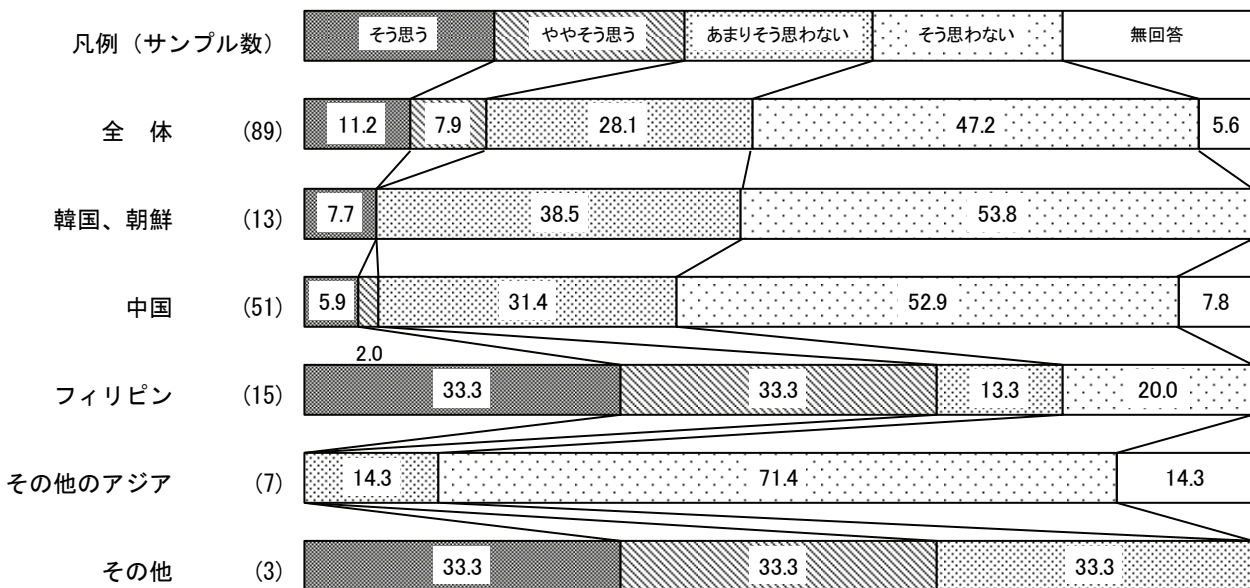
問28 問27 で 3、4 のいずれかに回答した方(小・中学校に通っているお子さんと暮らしている人)にお聞きします。あなたは、お子さんの学校生活に関して、以下のことについて、どう思いますか。(A~Cについて、それぞれひとつだけ〇)

- ・小・中学校に通っている子どもと暮らしている 89 人に学校生活についての困りごとを聞いたところ、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、<学校からの通知や連絡が理解しにくい>が 19.1%、<子どもが日本の生活習慣を理解しにくい>が 5.6%、<子どもが授業内容を理解しにくい>が 9.0%となっている。
- ・国籍別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、<学校からの通知や連絡が理解しにくい>は“フィリピン”、“その他”が最も高く、<子どもが授業内容を理解しにくい>においても“フィリピン”は最も高くなっている。
- ・日本人とのつきあいの程度別にみると、いずれの項目においてもつきあいのある日本人がいない人が、学校生活において理解しにくいことがあると感じていることがわかる。

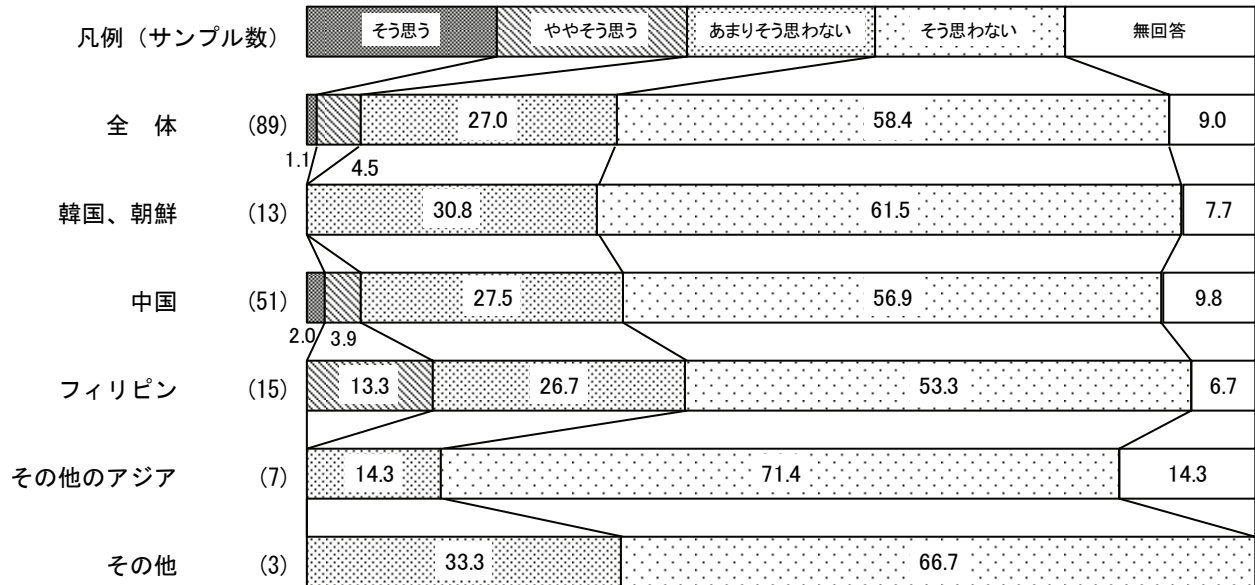
図表167 子どもの学校生活について（単数回答）



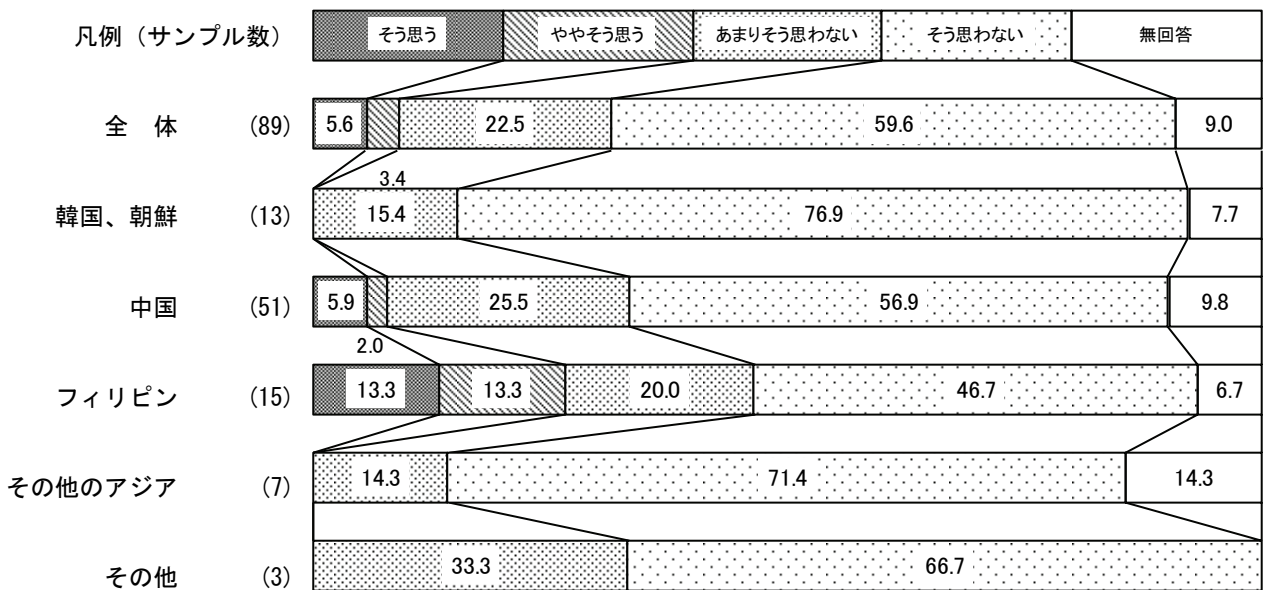
図表168 国籍別学校からの通知や連絡が理解しにくい（単数回答）



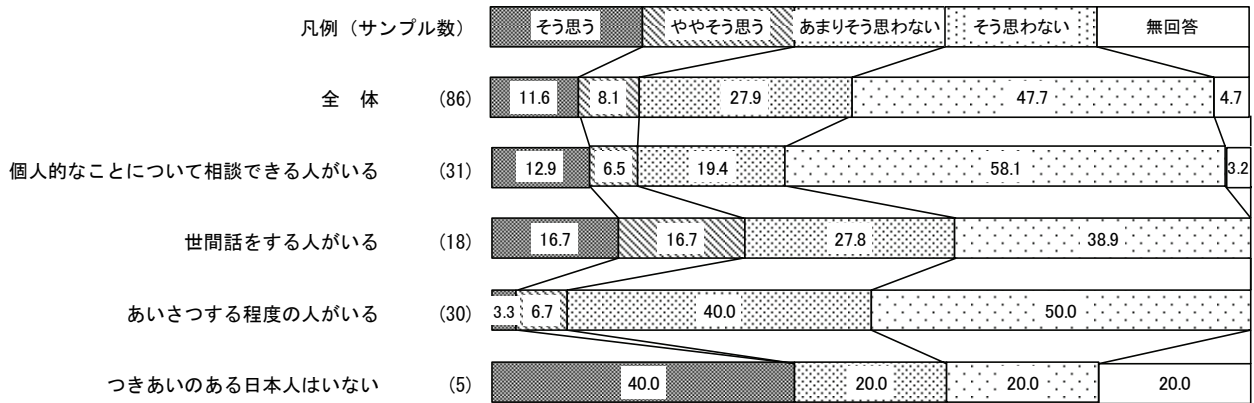
図表169 国籍別子どもが日本の生活習慣を理解しにくい（単数回答）



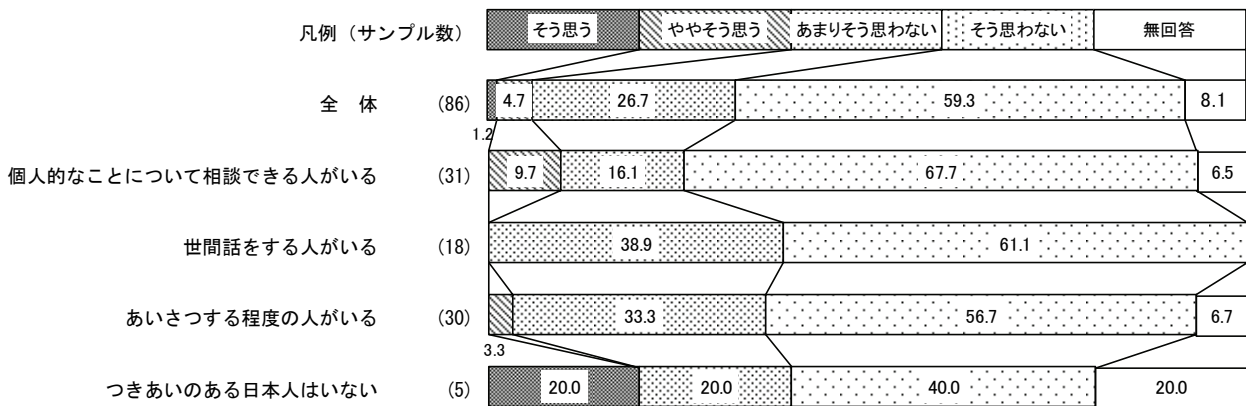
図表170 国籍別子どもが授業内容を理解しにくい（単数回答）



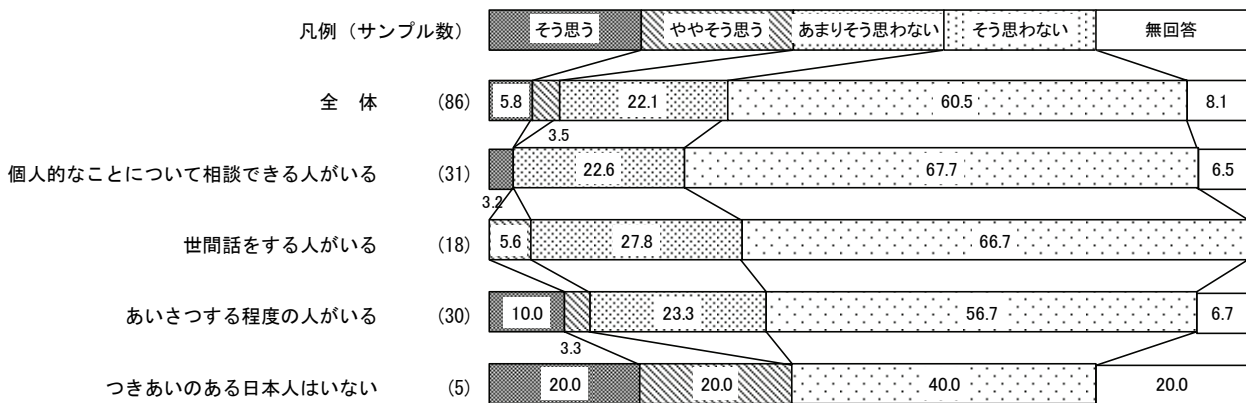
図表171 日本人とのつきあいの程度別学校からの通知や連絡が理解しにくい（単数回答）



図表172 日本人とのつきあいの程度別子どもが日本の生活習慣を理解しにくい（単数回答）



図表173 日本人とのつきあいの程度別子どもが授業内容を理解しにくい（単数回答）



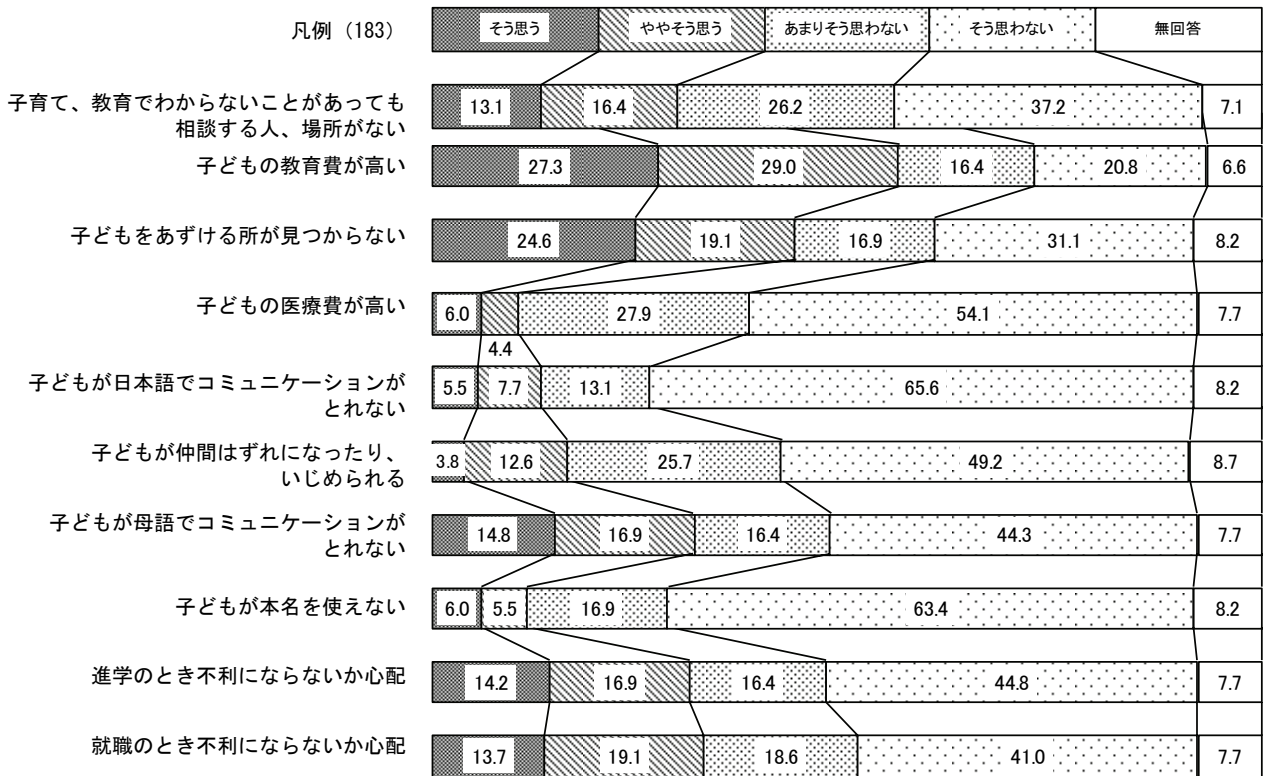
(3) 子育て、教育の悩み

問29 あなたは、^{げんざい}現在、^い以下の子育て、^{こそだ}教育^{きょういく}に関する^{かん}ことについて、^{おも}どう思いますか。
(A～Jについて、それぞれひとつだけ○)

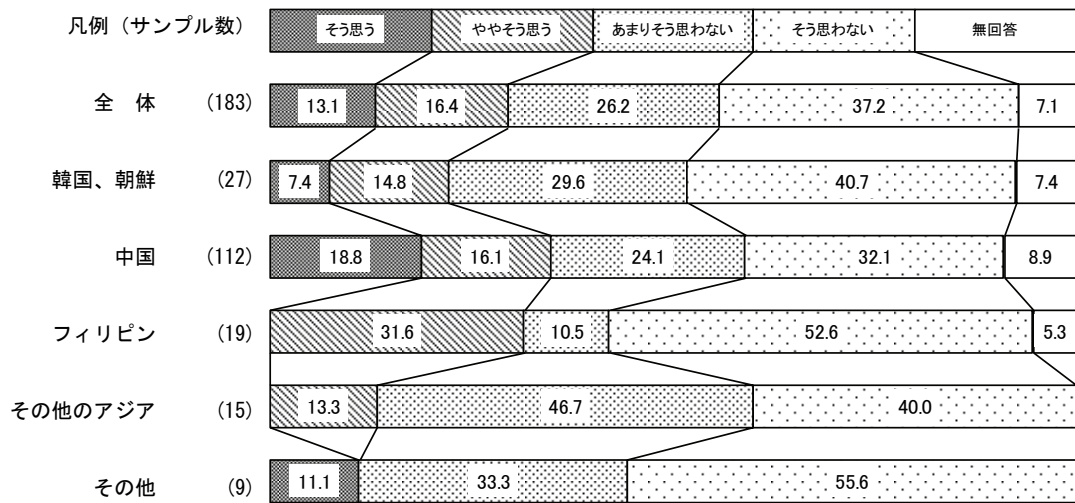
★外国人・日本人 共通設問

- ・子育て、教育の悩みは、〈子どもの教育費が高い〉が最も高く、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、56.3%、次いで〈子どもをあずける所が見つからない〉が 43.7%、〈就職のとき不利にならないか心配〉が 32.8%の順になっている。
- ・国籍別にみると、〈相談する人、場所がない〉については、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は“中国”が 34.9%で最も高く、次いで“フィリピン”が 31.6%となっている。
- ・〈子どもの教育費が高い〉については、“フィリピン”が 42.1%で最も低くなっているが、他の国籍はいずれも半数を超えており、子どもの教育費が高いと思っている割合が高いことがわかる。
- ・〈子どもをあずける所が見つからない〉については、“中国”が 49.1%で最も高く、“フィリピン”が 15.8%で最も低い。“フィリピン”以外の国籍はいずれも4割を超えている中、“フィリピン”は1割台半ばとなっており、“フィリピン”は他の国籍と比較して子どものあずけどころにあまり困っていないことがわかる。
- ・〈子どもの医療費が高い〉については、“その他のアジア”の 20.0%が最も高くなっている。
- ・〈日本語でコミュニケーションがとれない〉については、“中国”が 19.6%で最も高くなっているが、全ての国籍において、「そう思う」、「ややそう思う」の割合は2割を切っており、日本語でのコミュニケーションがとれないと感じている人は少ないことがわかる。
- ・〈仲間はずれやいじめられる〉については、“フィリピン”が 21.0%で最も高くなっているが、それ以外は全ての国籍において、「そう思う」、「ややそう思う」の割合は2割以下となっている。
- ・〈母語でコミュニケーションがとれない〉については、“その他のアジア”が 46.6%で最も高く、次いで“中国”が 37.5%となっている。
- ・〈子どもが本名を使えない〉については、“その他のアジア”が 20.0%で最も高くなっている。また、“フィリピン”は「そう思わない」が 84.2%で8割を超えている。
- ・〈進学で不利にならないか心配〉については、“中国”が 38.4%で最も高く、次いで“その他のアジア”が 26.6%となっている。
- ・〈就職で不利にならないか心配〉については、“韓国、朝鮮”が 44.4%で最も高く、次いで“中国”が 36.6%となっている。

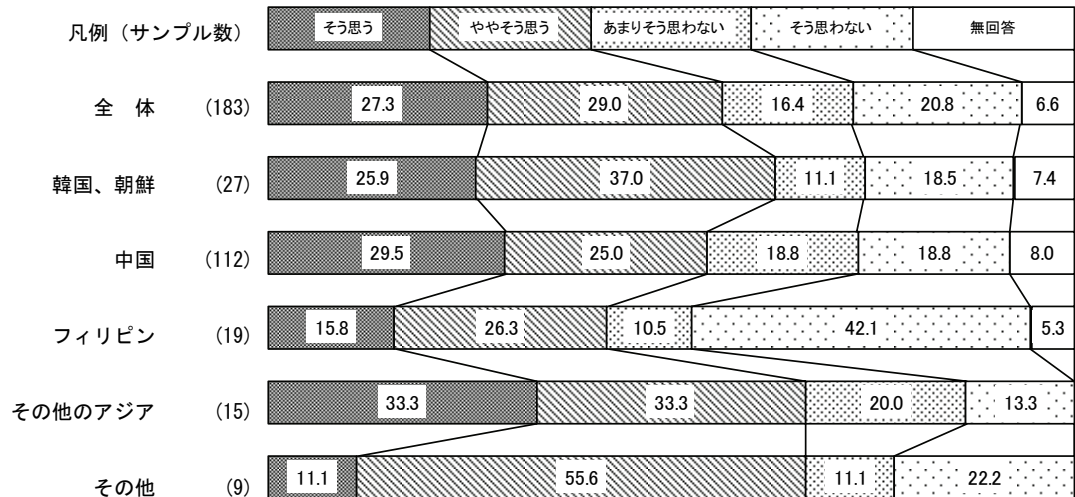
図表174 子育て、教育の悩み（単数回答）



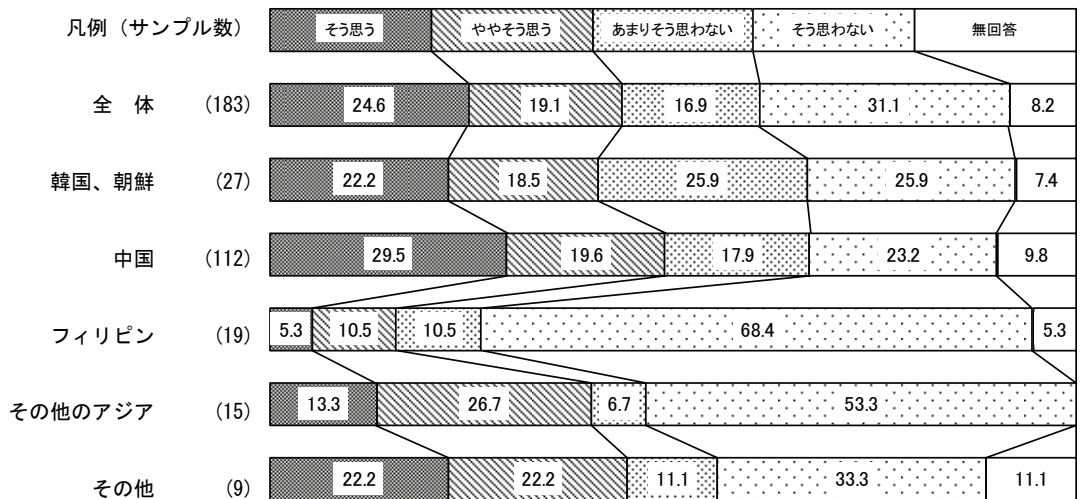
図表175 国籍別子育て、教育でわからないことがあっても相談する人、場所がない（単数回答）



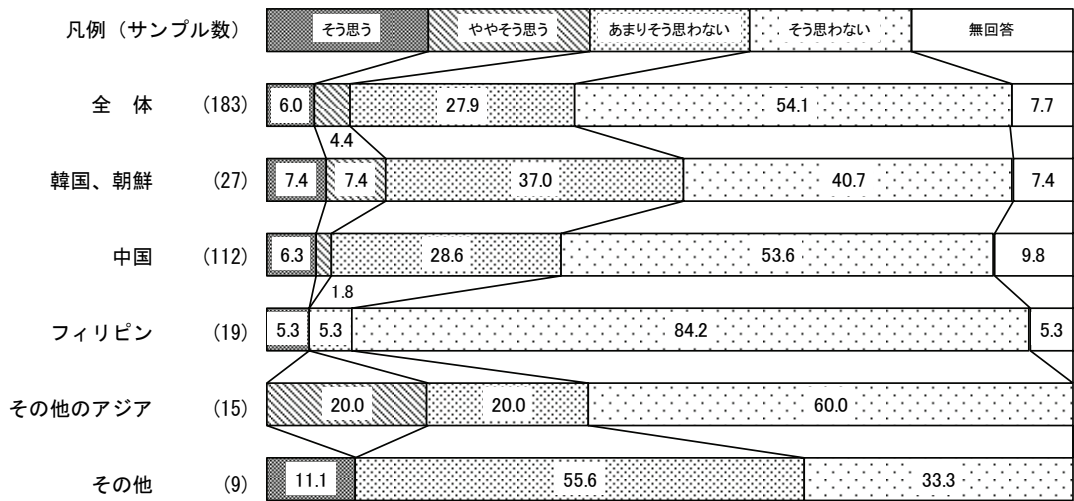
図表176 国籍別子どもの教育費が高い（単数回答）



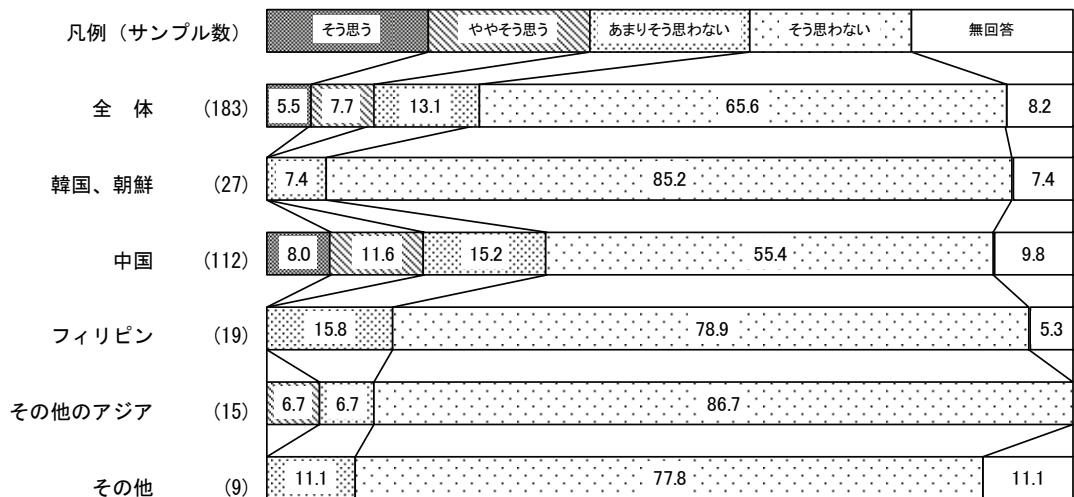
図表177 国籍別子どもをあずける所が見つからない（単数回答）



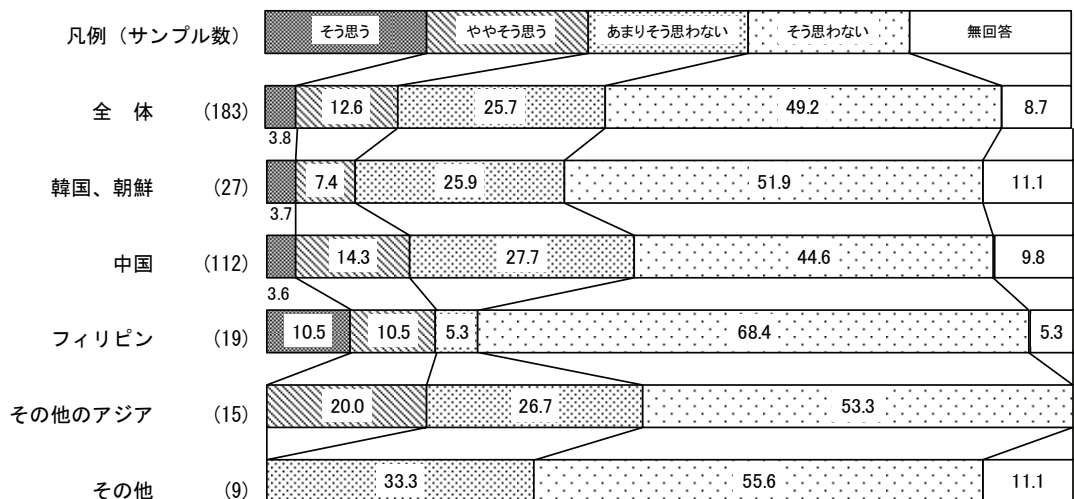
図表178 国籍別子どもの医療費が高い（単数回答）



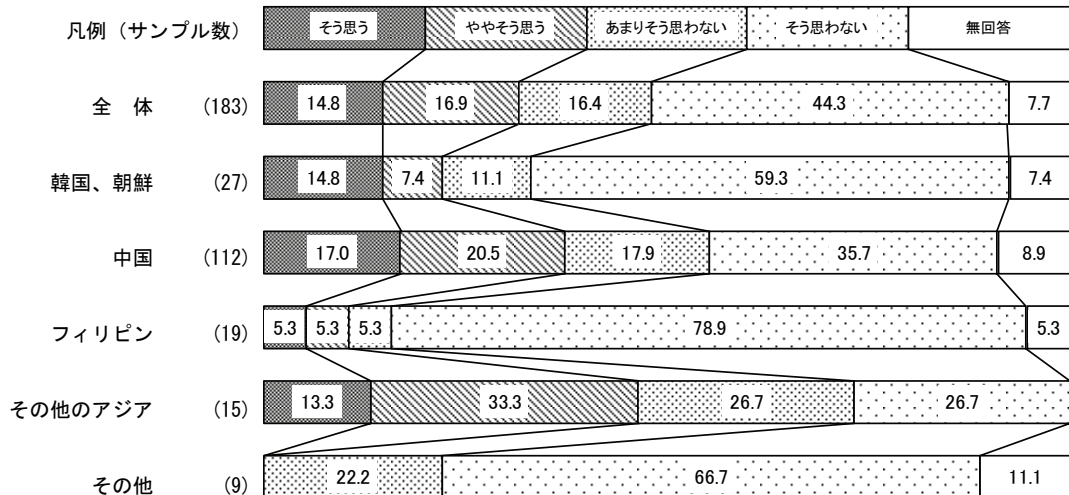
図表179 国籍別子どもが日本語でコミュニケーションがとれない（単数回答）



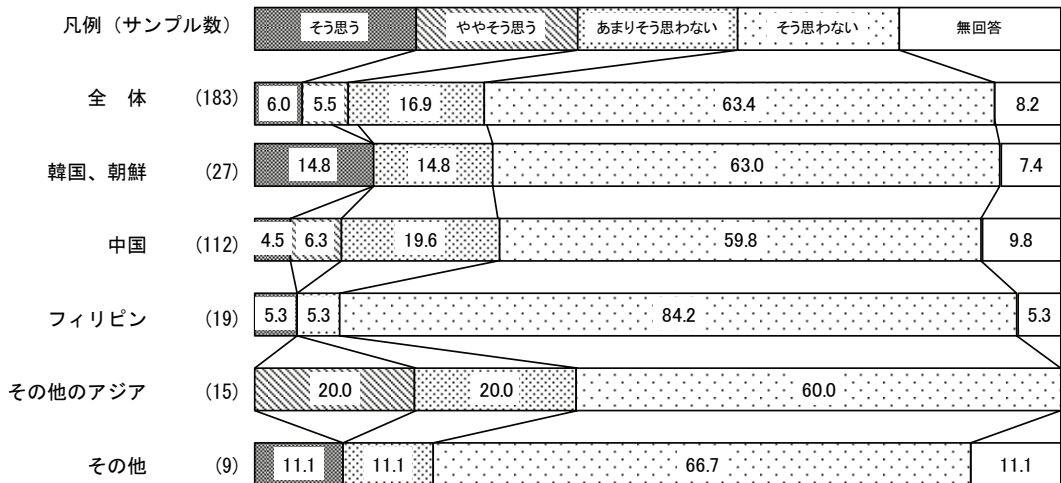
図表180 国籍別子どもが仲間はずれになったり、いじめられる（単数回答）



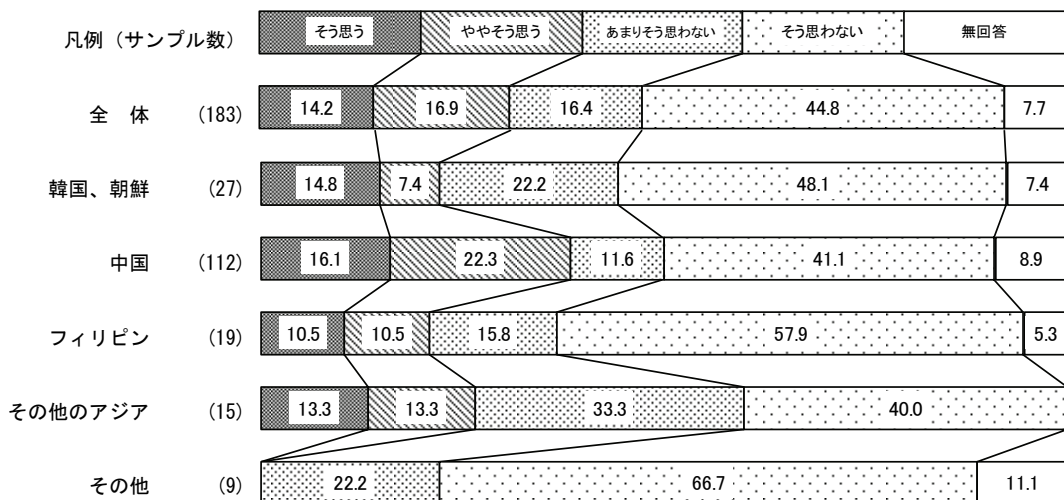
図表181 国籍別子どもが母語でコミュニケーションがとれない（単数回答）



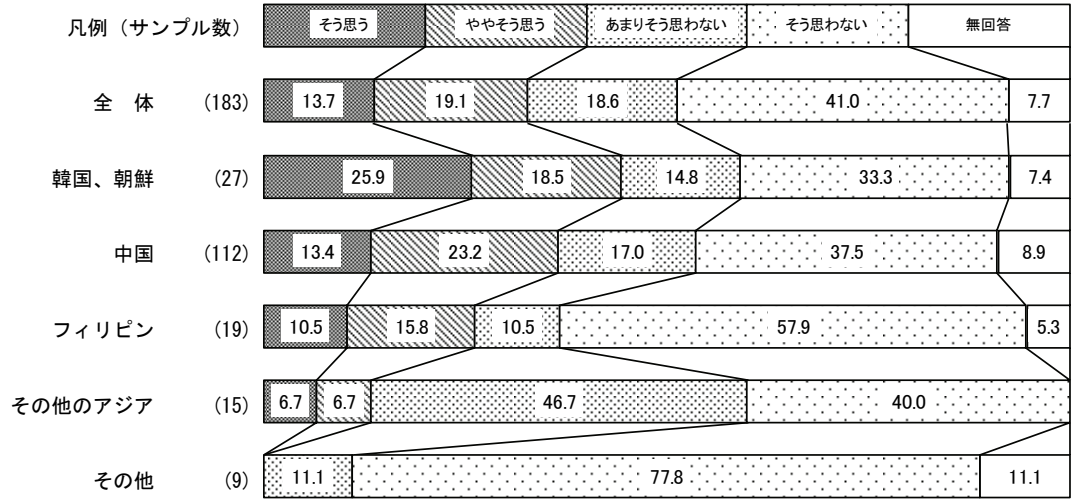
図表182 国籍別子どもが本名を使えない（単数回答）



図表183 国籍別進学するとき不利にならないか心配（単数回答）



図表184 国籍別就職のとき不利にならないか心配（単数回答）



6 地域の外国人との共生について

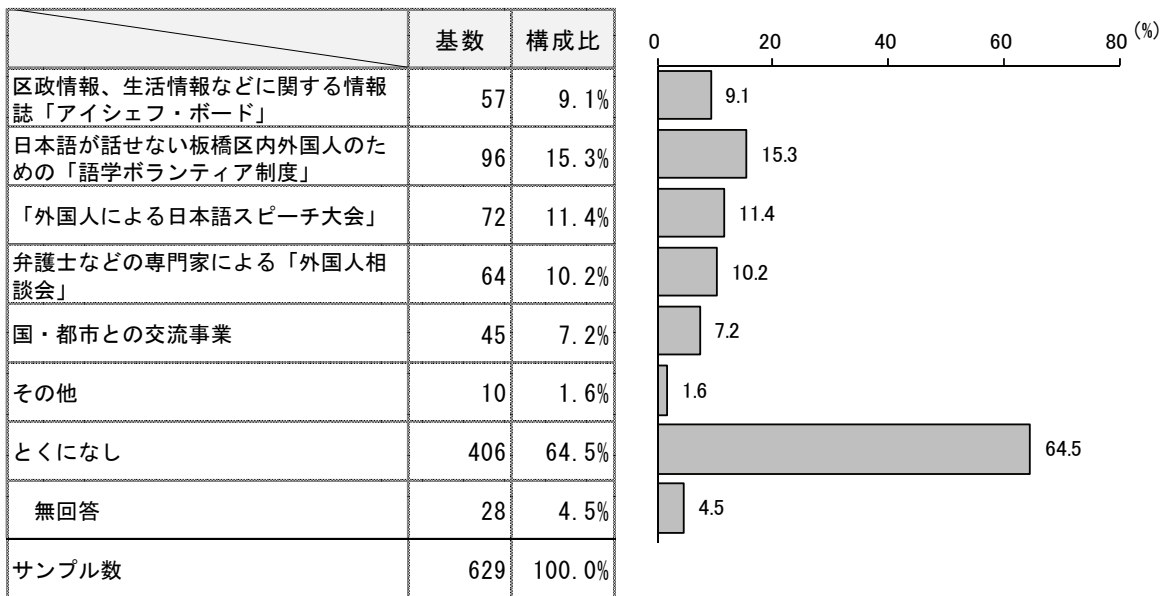
(1) 多文化共生事業の認知について

問30 あなたは、板橋区の以下の多文化共生事業について、知っていますか。
(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・板橋区が多文化共生事業についての認知度は、「とくになし」が 64.5%で最も高くなっているが、全体から「とくになし」を除くと、“日本語が話せない板橋区内外国人のための「語学ボランティア制度」”が 15.3%で最も高く、次いで“外国人による日本語スピーチ大会”が 11.4%、“弁護士などの専門家による「外国人相談会」”が 10.2%の順になっている。
- ・日本人とのつきあいの程度別で各事業の認知度をみると、“日本語が話せない板橋区内外国人のための「語学ボランティア制度」”が高い傾向にあるが、個人的なことについて相談できる人がいる人は“外国人による日本語スピーチ大会”が最も高くなっている。

図表185 多文化共生事業についての認知度（複数回答）



図表186 日本人とのつきあいの程度別多文化共生事業についての認知度（複数回答）

	調査数	シエフ・ボード	区政情報、生活情報など	日本語が話せない板橋区内外国人のための「語学ボランティア制度」	外国人による日本語スピーチ大会	弁護士などの専門家による「外国人相談会」	国・都市との交流事業	その他	とくになし	無回答
全体	525	54	85	64	57	42	7	330	23	
	100.0	10.3	16.2	12.2	10.9	8.0	1.3	62.9	4.4	
個人的なことについて相談できる人がいる	166	22	26	27	22	12	2	102	10	
	100.0	13.3	15.7	16.3	13.3	7.2	1.2	61.4	6.0	
世間話をする人がいる	127	10	16	10	12	13	2	81	8	
	100.0	7.9	12.6	7.9	9.4	10.2	1.6	63.8	6.3	
あいさつする程度の人がある	174	21	34	20	20	15	2	104	5	
	100.0	12.1	19.5	11.5	11.5	8.6	1.1	59.8	2.9	
つきあいのある日本人はいない	45	1	8	7	3	2	-	32	-	
	100.0	2.2	17.8	15.6	6.7	4.4	-	71.1	-	

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

(2) 板橋区の交流事業に期待するもの

問31 板橋区では、以下の国や都市と交流をしています。板橋区の交流事業について、期待するものは何ですか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

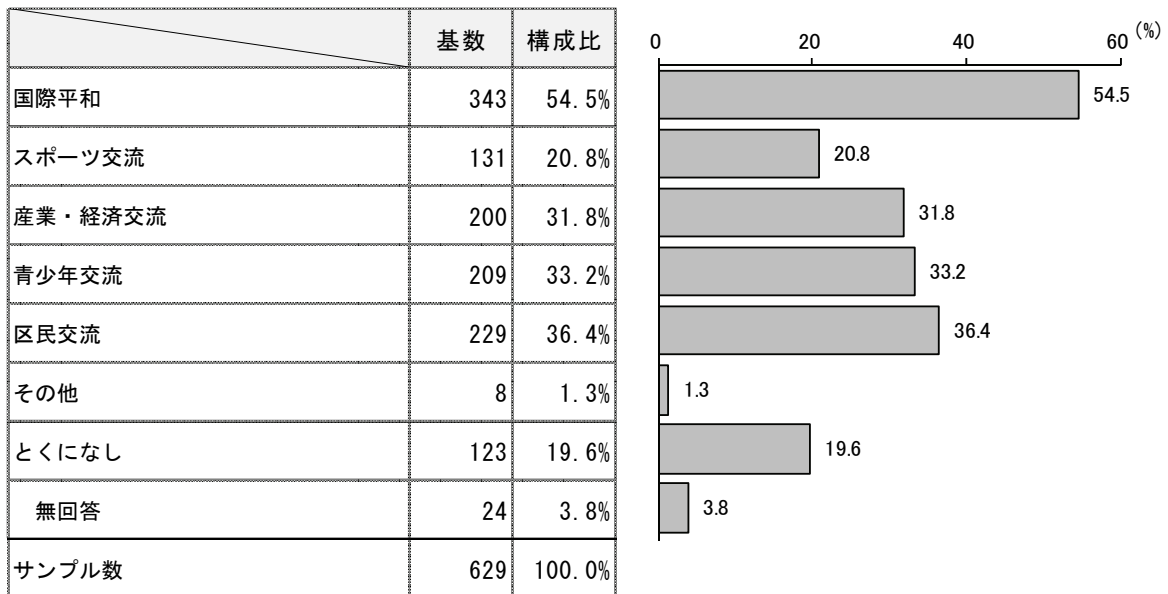
【交流国・都市】

カナダ バージンシティ、イタリア ボローニャ市

マレーシア ペナン州立植物園、モンゴル国、中国 北京市石景山区

- ・板橋区の交流事業に期待するものは、「国際平和」が54.5%で最も高く、次いで「区民交流」が36.4%、「青少年交流」が33.2%の順になっている。
- ・国籍別でみると、全ての国籍で「国際平和」が最も高くなる傾向があるが、“その他”は「青少年交流」が最も高くなっている。

図表187 板橋区の交流事業に期待するもの（複数回答）



図表188 国籍別板橋区の交流事業に期待するもの（複数回答）

	調査数	国際平和	スポーツ交流	産業・経済交流	青少年交流	区民交流	その他	とくになし	無回答
全体	629 100.0	343 54.5	131 20.8	200 31.8	209 33.2	229 36.4	8 1.3	123 19.6	24 3.8
韓国、朝鮮	138 100.0	54 39.1	25 18.1	31 22.5	28 20.3	34 24.6	1 0.7	49 35.5	7 5.1
中国	310 100.0	209 67.4	60 19.4	123 39.7	129 41.6	132 42.6	5 1.6	24 7.7	8 2.6
フィリピン	54 100.0	31 57.4	12 22.2	17 31.5	14 25.9	21 38.9	1 1.9	13 24.1	1 1.9
その他のアジア	58 100.0	25 43.1	18 31.0	11 19.0	15 25.9	22 37.9	-	16 27.6	3 5.2
その他	61 100.0	20 32.8	15 24.6	16 26.2	22 36.1	16 26.2	1 1.6	21 34.4	2 3.3

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

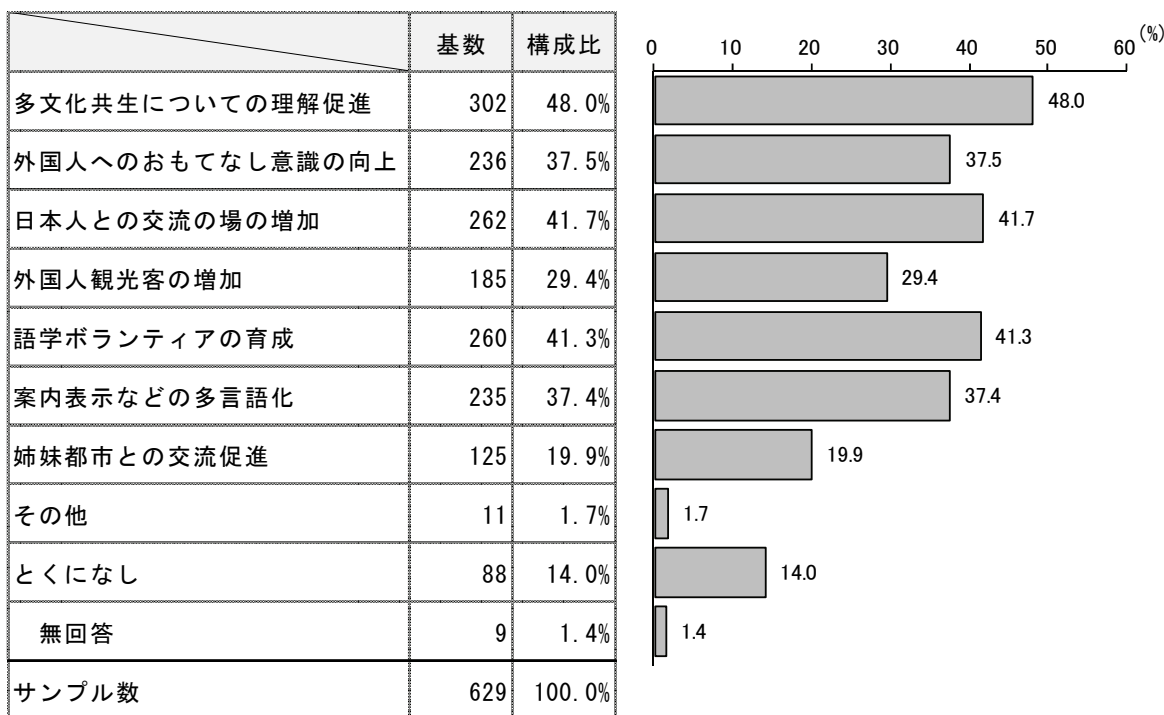
(3) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待すること

問32 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い、あなたが板橋区に期待することは何ですか。

★外国人・日本人 共通設問

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待することは、「多文化共生についての理解促進」が48.0%で最も高く、次いで「日本人との交流の場の増加」が41.7%、「語学ボランティアの育成」が41.3%の順になっている。
- ・国籍別にみると、全ての国籍で「多文化共生についての理解促進」が高い傾向があるが、“その他”では「案内表示などの多言語化」が最も高くなっている。

図表189 オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待すること（複数回答）



図表190 国籍別オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待すること（複数回答）

	調査数	多文化共生についての理解促進	外国人へのおもてなし意識の向上	日本人との交流の場の増加	外国人観光客の増加	語学ボランティアの育成	案内表示などの多言語化	姉妹都市との交流促進	その他	とくになし	無回答
全体	629	302	236	262	185	260	235	125	11	88	9
	100.0	48.0	37.5	41.7	29.4	41.3	37.4	19.9	1.7	14.0	1.4
韓国、朝鮮	138	49	32	31	22	38	36	17	3	39	2
	100.0	35.5	23.2	22.5	15.9	27.5	26.1	12.3	2.2	28.3	1.4
中国	310	165	127	155	86	151	121	75	-	24	2
	100.0	53.2	41.0	50.0	27.7	48.7	39.0	24.2	-	7.7	0.6
フィリピン	54	33	25	25	28	21	21	21	1	7	-
	100.0	61.1	46.3	46.3	51.9	38.9	38.9	38.9	1.9	13.0	-
その他のアジア	58	30	28	27	30	27	29	10	2	7	1
	100.0	51.7	48.3	46.6	51.7	46.6	50.0	17.2	3.4	12.1	1.7
その他	61	22	22	22	17	21	25	1	5	11	1
	100.0	36.1	36.1	36.1	27.9	34.4	41.0	1.6	8.2	18.0	1.6

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

(4) 多文化共生について

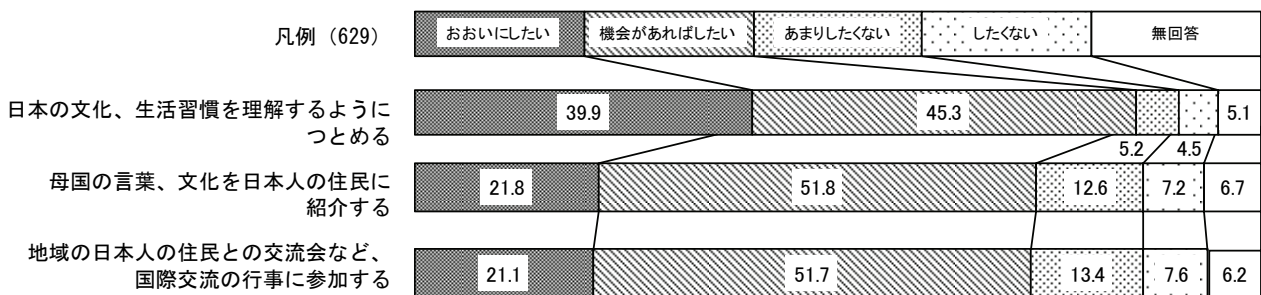
○多文化共生に関してしたいこと

問33 「多文化共生のまちづくり」を進めていくにあたって、あなたは、以下のことをどの程度
したいとおもいますか。(A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

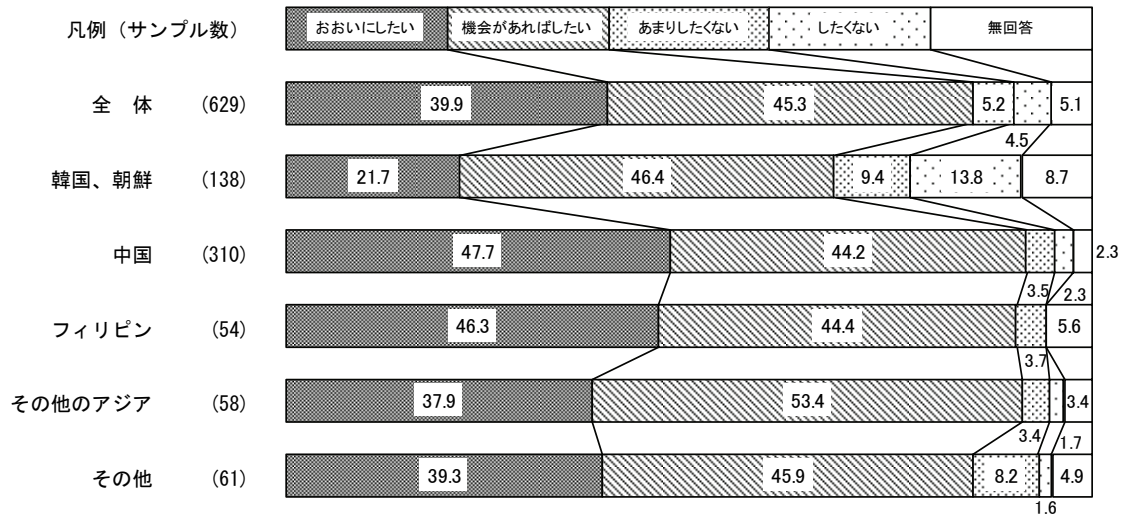
★外国人・日本人 共通設問

- ・「多文化共生のまちづくり」を進めていくにあたってしたいことは、「おおいにしたい」と「機会があればしたい」を合わせると、〈日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉は85.2%、〈母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する〉は73.6%、〈地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する〉は72.8%となっている。
- ・国籍別で見ると、「おおいにしたい」と「機会があればしたい」を合わせた割合は、〈日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉では“中国”、“フィリピン”、“その他のアジア”では9割、“その他”では8割を超えているのに対し、“韓国、朝鮮”は6割台後半と低くなっている。〈母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する〉、〈地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する〉は“中国”、“フィリピン”、“その他のアジア”が高く、“韓国、朝鮮”、“その他”が低くなっている。
- ・区内居住年数別で見ると、「おおいにしたい」は〈日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉、〈地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する〉で国内居住年数が短いほど高くなる傾向がある。〈日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉は居住年数10年以上と1年未満で30.5ポイントもの差がある。
- ・就業形態別で見ると、いずれの項目においても学生が最も高くなっており、「多文化共生のまちづくり」への参加意向が高いことがわかる。

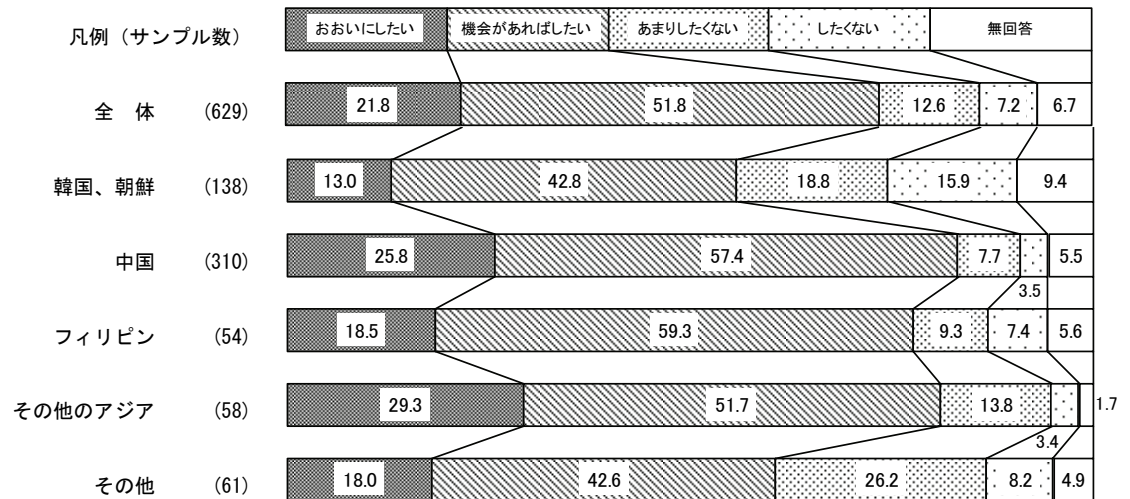
図表191 「多文化共生のまちづくり」に関してしたいこと（単数回答）



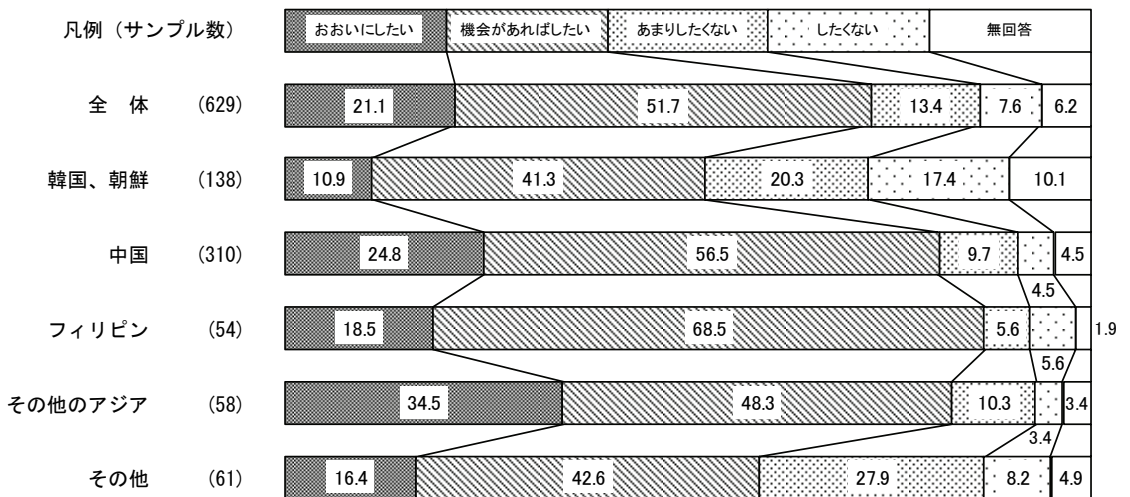
図表192 国籍別日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる（単数回答）



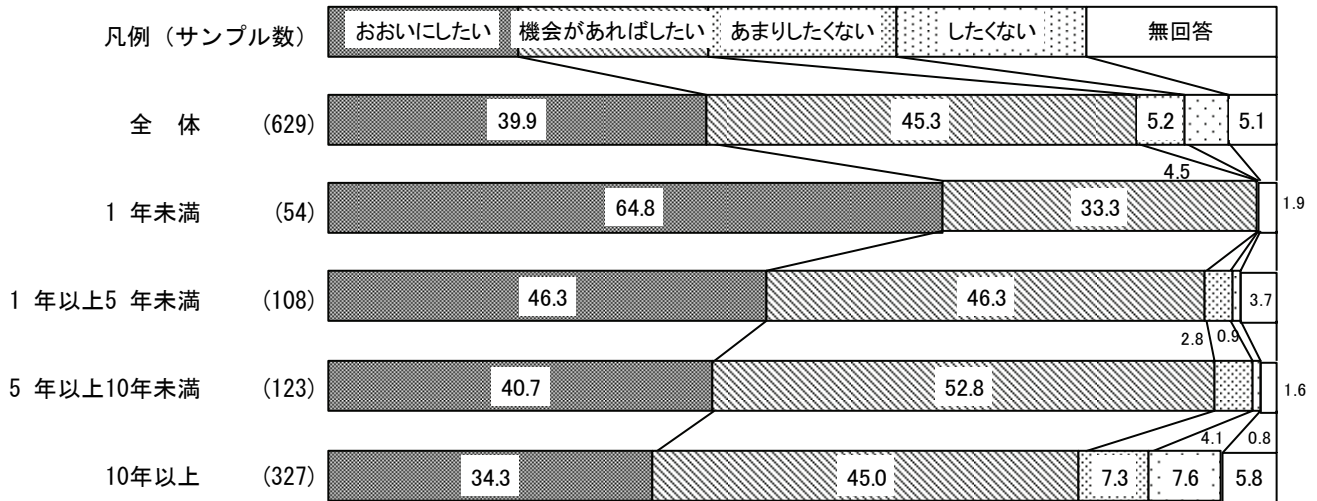
図表193 国籍別母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する（単数回答）



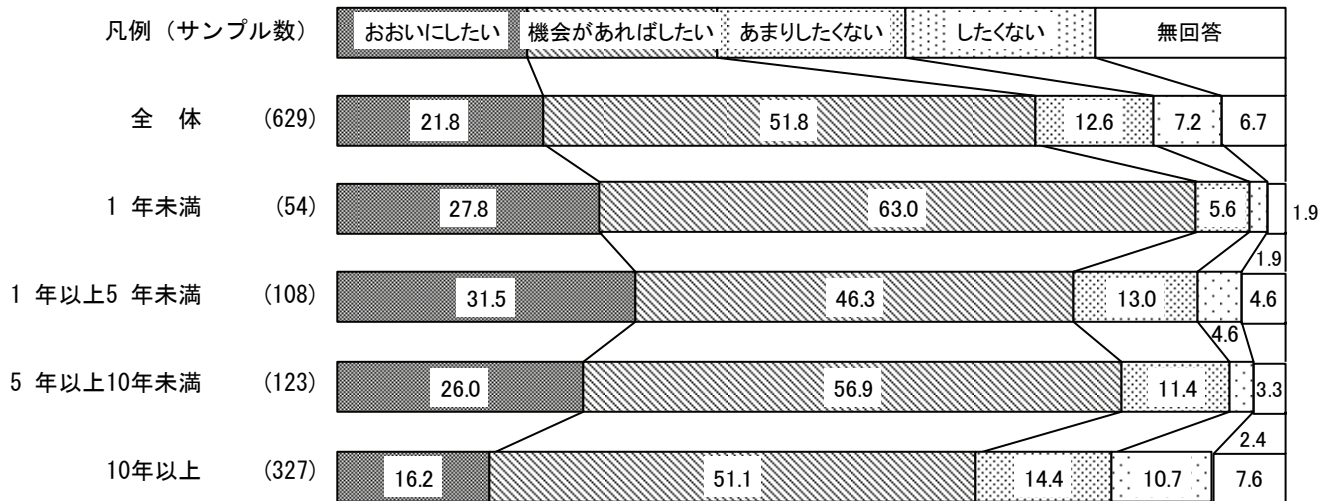
図表194 国籍別地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



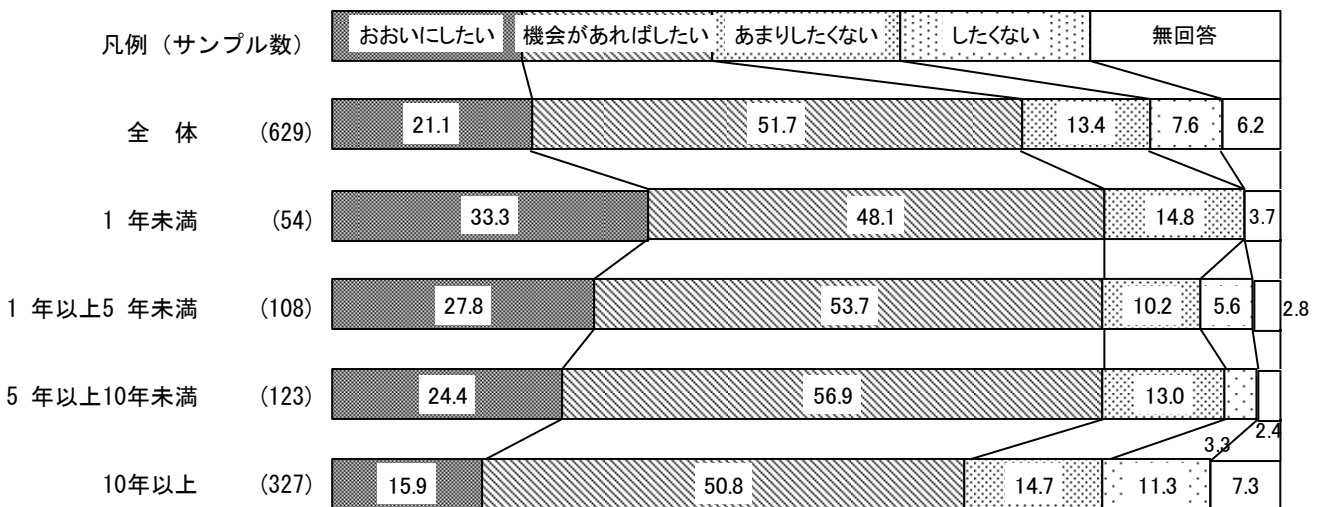
図表195 国内居住年数別日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる（単数回答）



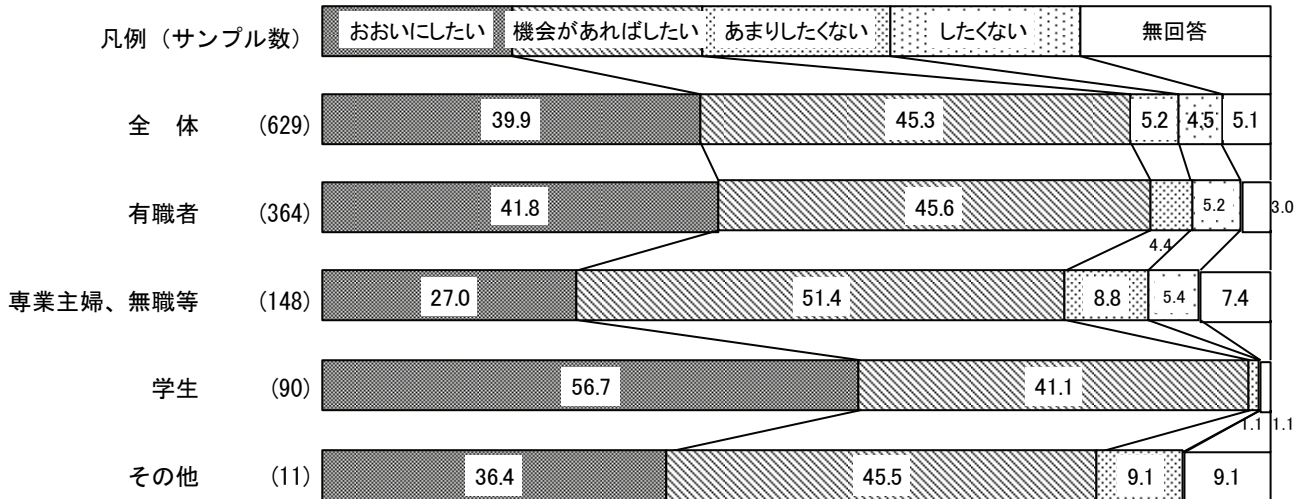
図表196 国内居住年数別母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する（単数回答）



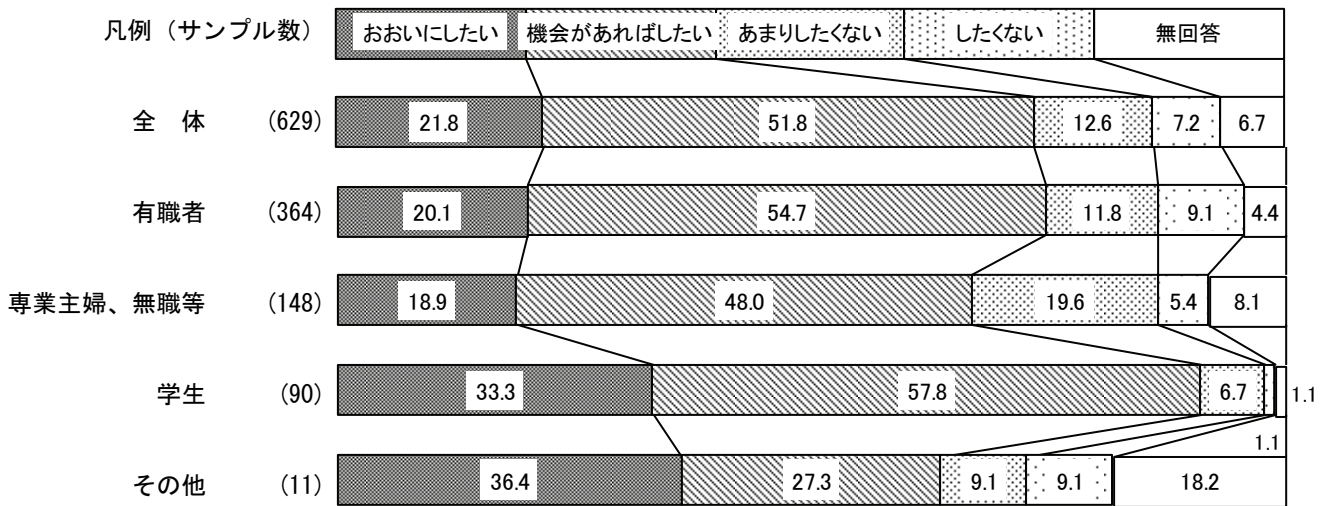
図表197 国内居住年数別地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



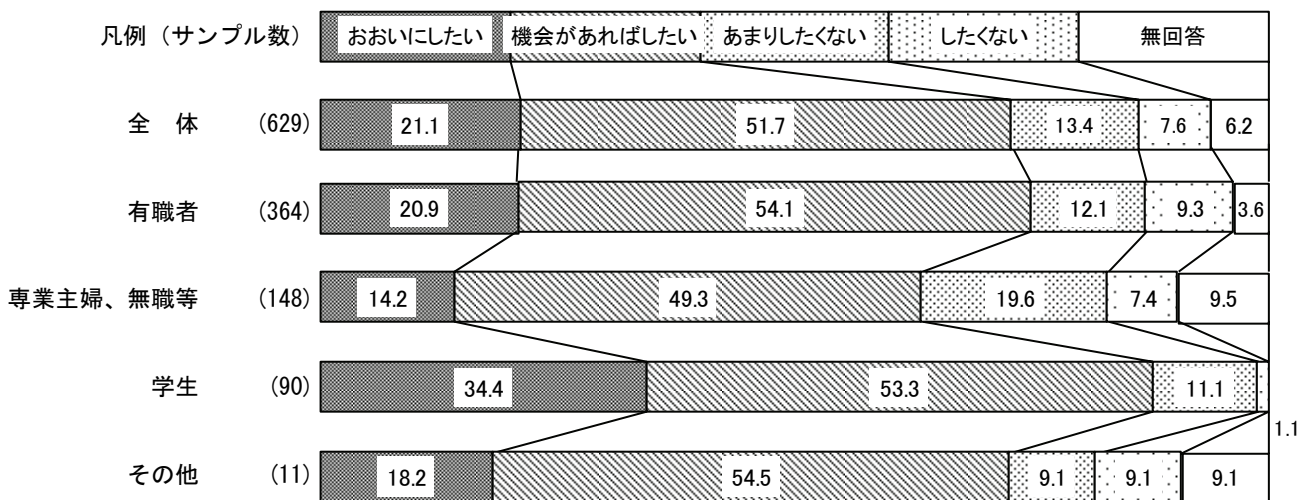
図表198 就業形態別日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる（単数回答）



図表199 就業形態別母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する（単数回答）



図表200 就業形態別地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



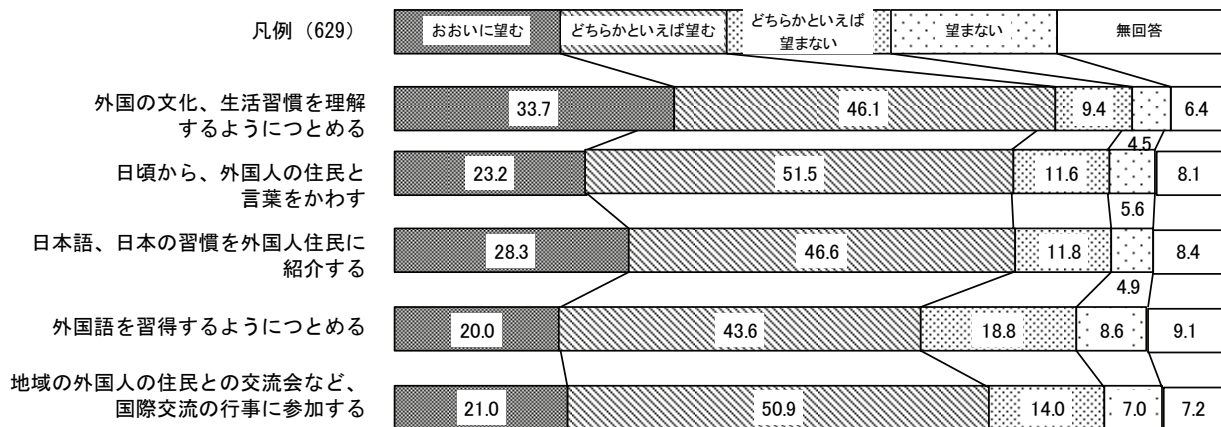
○多文化共生に関して日本人に望むこと

問34 「多文化共生のまちづくりを進めていくにあたって、あなたは、地域の日本人の住民に対して、以下のことを望みますか。(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

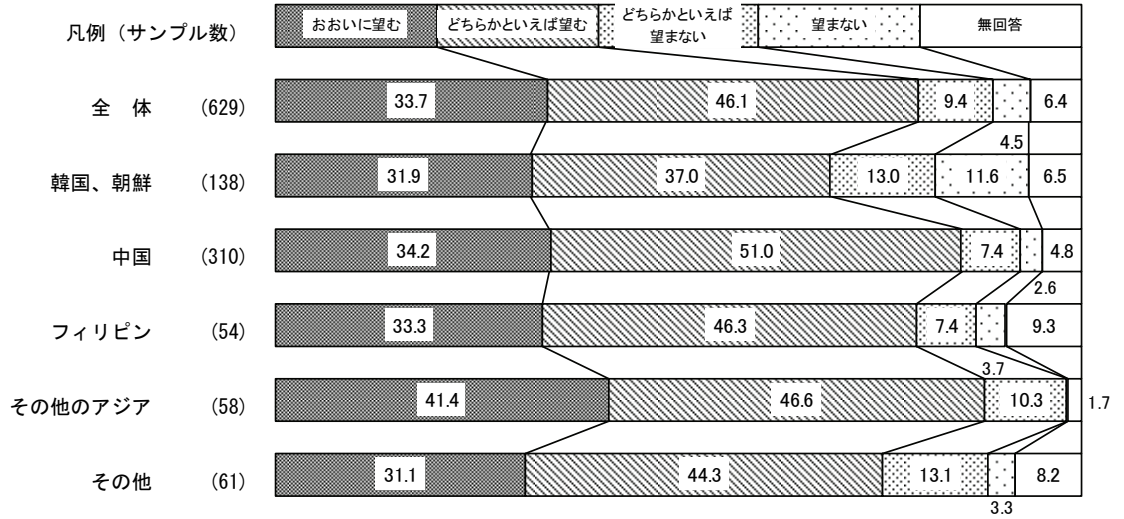
★外国人・日本人 共通設問

- ・多文化共生に関して日本人に望むことは、「おおいに望む」と「どちらかといえば望む」を合わせると、〈外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉は 79.8%、〈外国人の住民と言葉をかわす〉は 74.7%、〈日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する〉は 74.9%、〈外国語を習得するようにつとめる〉は 63.6%、〈国際交流の行事に参加する〉は 71.9%となっている。
- ・国籍別にみると、〈外国人の住民と言葉をかわす〉で“韓国、朝鮮”は他の国籍が7割を超えているのに対し、6割を下回っている。また、〈外国語を習得するようにつとめる〉、〈国際交流の行事に参加する〉、では“中国”、“フィリピン”、“その他のアジア”がいずれも7割を超えて高くなっている。
- ・国内の居住年数別にみると、〈外国人の住民と言葉をかわす〉、〈国際交流の行事に参加する〉で「おおいに望む」は国内居住年数が短いほど高くなる傾向がある。また、〈外国語を習得するようにつとめる〉で「おおいに望む」と「どちらかといえば望む」を合わせた割合は 10 年未満で6割台後半以上となっており、各居住年数で大きな差はないが、10 年以上では6割を下回っており、やや低くなっている。
- ・就業形態別にみると、いずれの項目においても学生が高くなっており、日本人の住民に対しての希望が強いことがわかる。

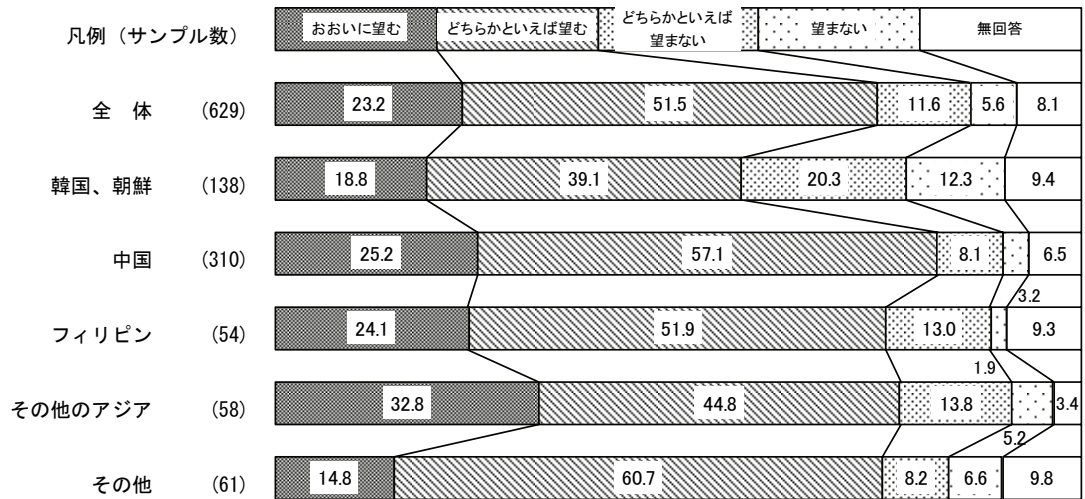
図表201 多文化共生に関して日本人に望むこと（単数回答）



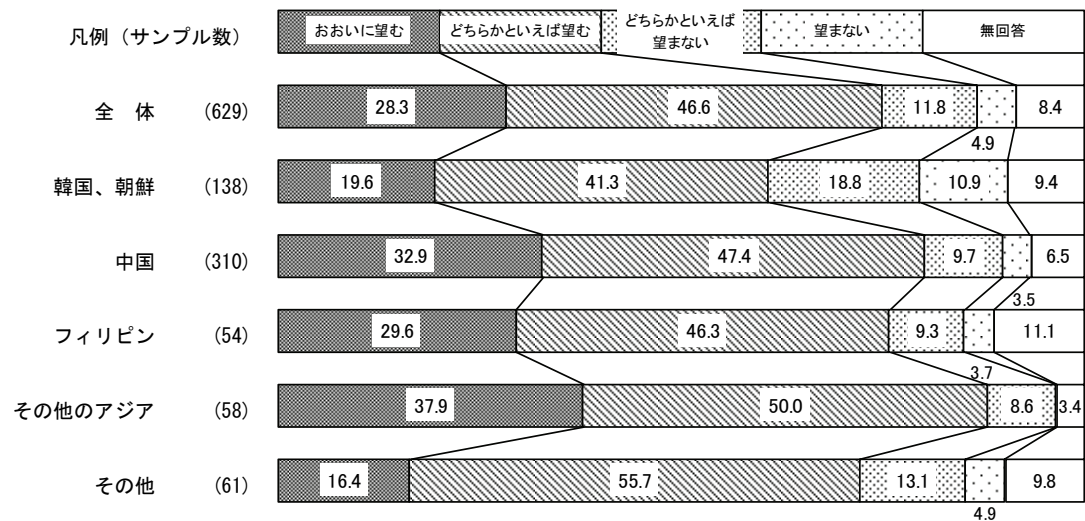
図表202 国籍別外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる（単数回答）



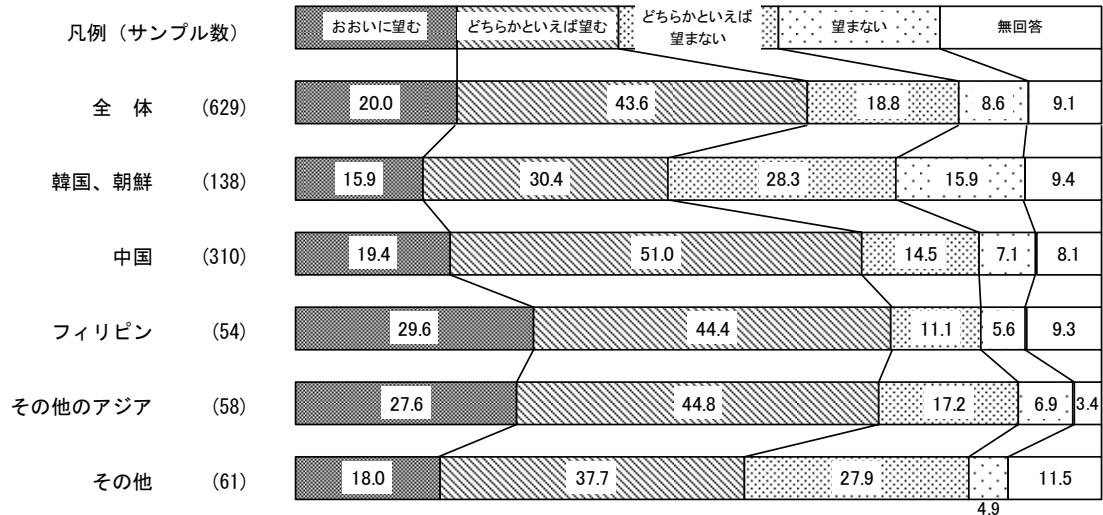
図表203 国籍別日頃から、外国人の住民と言葉をかわす（単数回答）



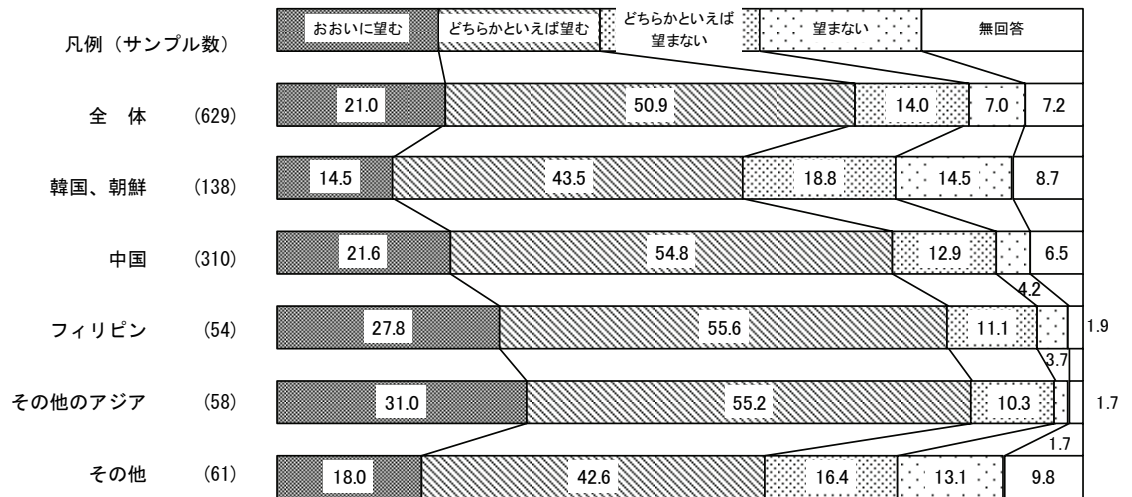
図表204 国籍別日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する（単数回答）



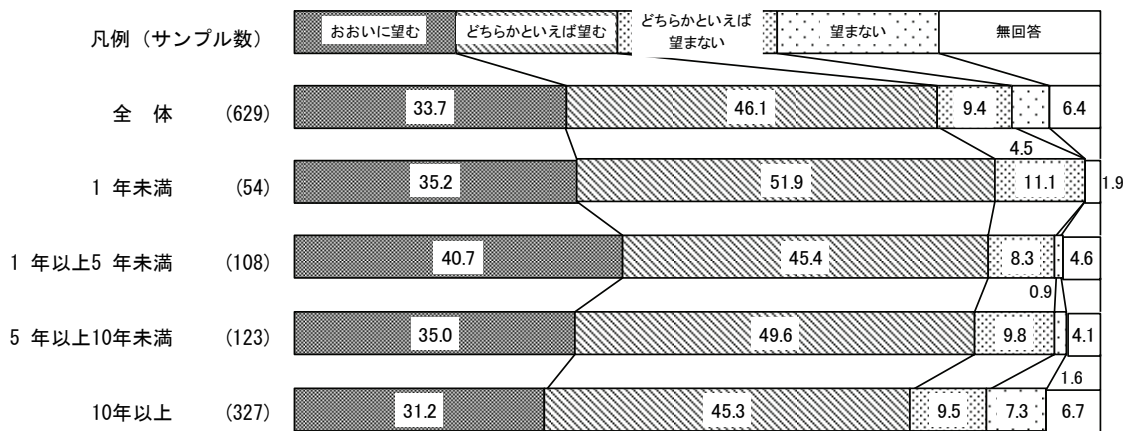
図表205 国籍別外国語を習得するようにつとめる（単数回答）



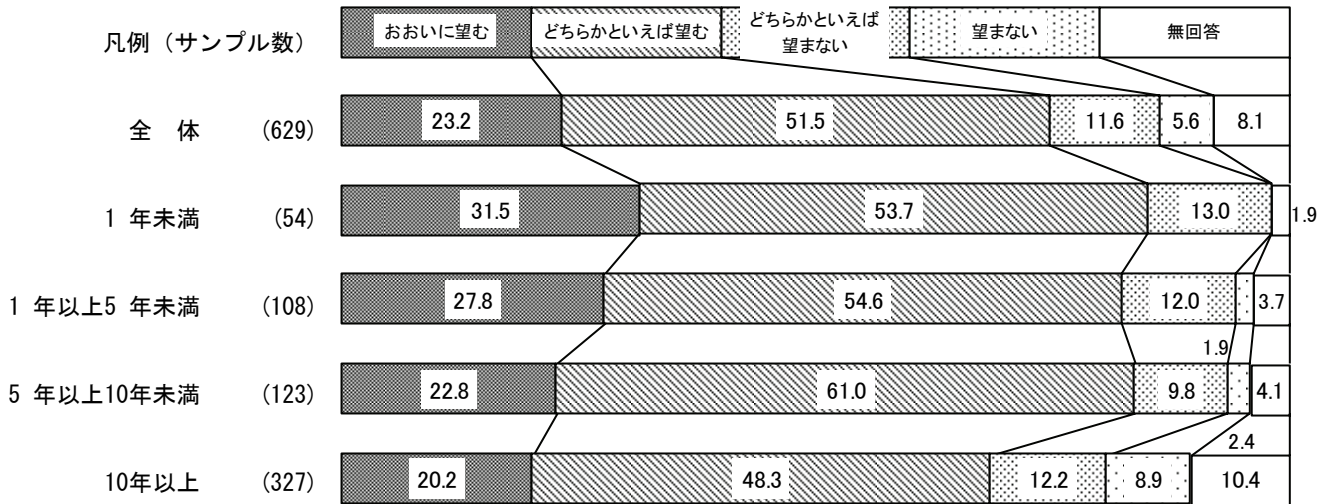
図表206 国籍別地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



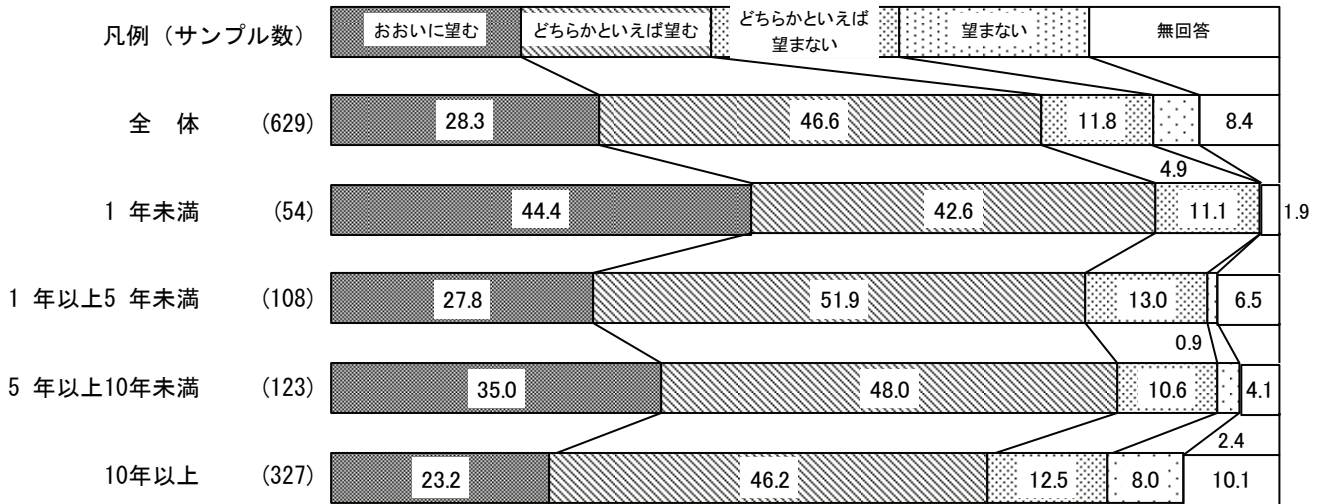
図表207 国内居住年数別外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる（単数回答）



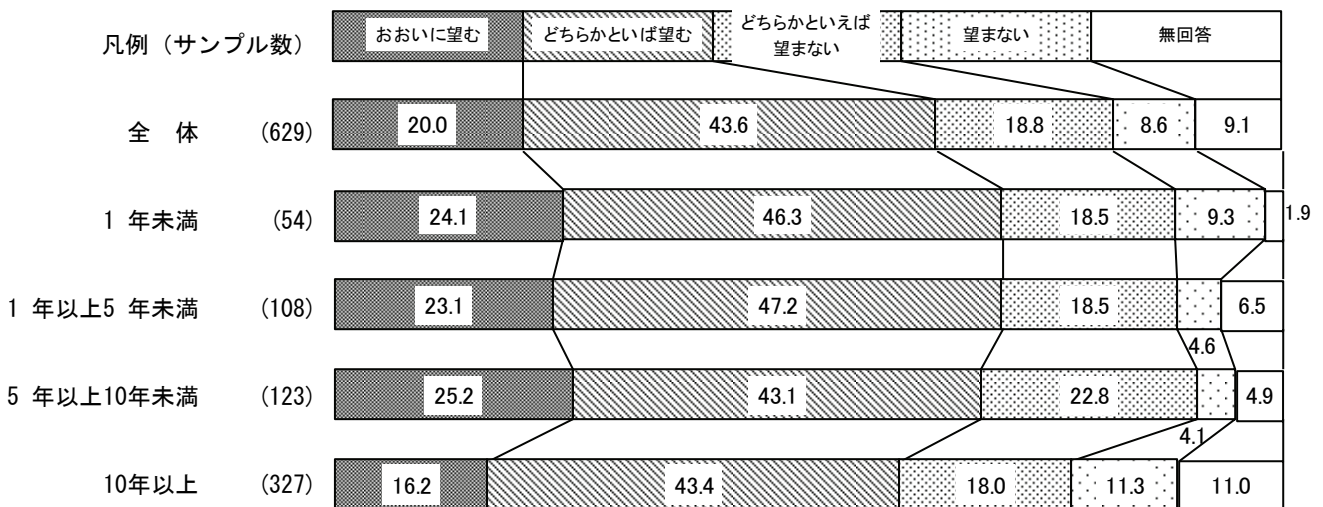
図表208 国内居住年数別日頃から、外国人の住民と言葉をかわす（単数回答）



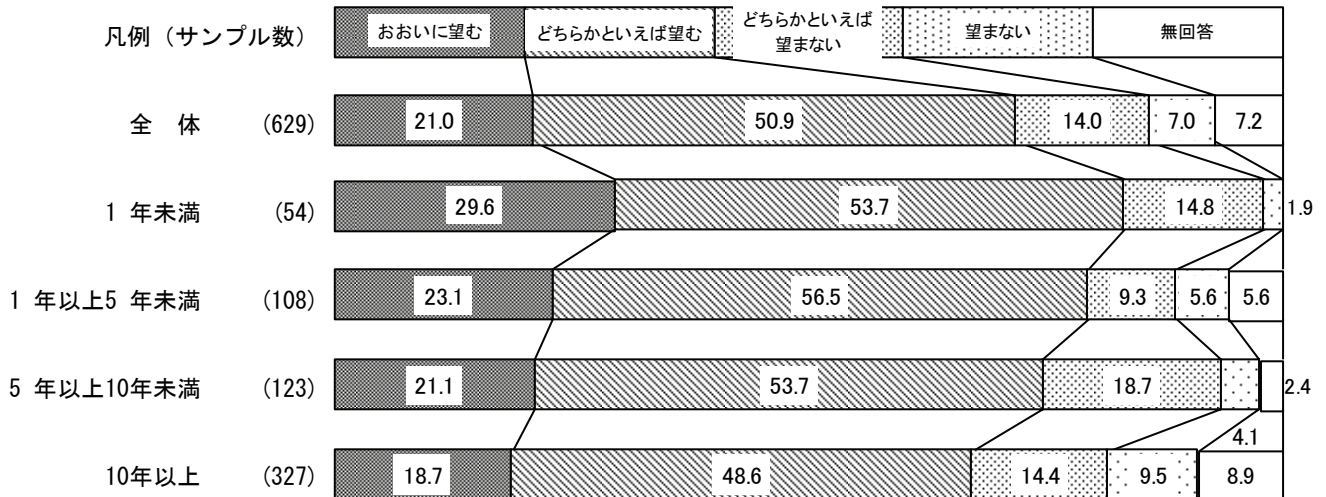
図表209 国内居住年数別日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する（単数回答）



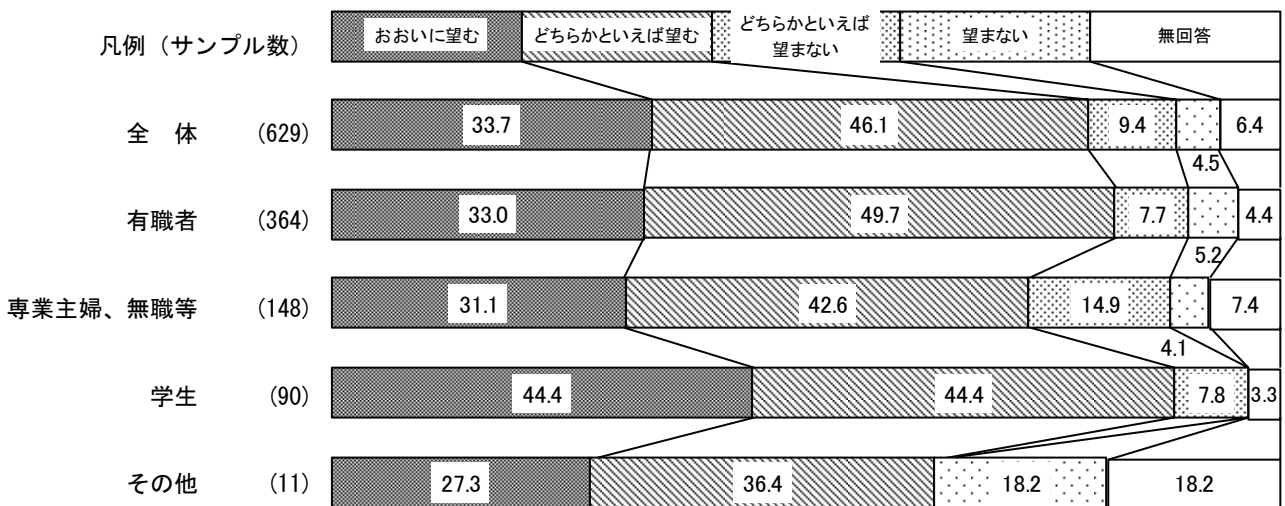
図表210 国内居住年数別外国語を習得するようにつとめる（単数回答）



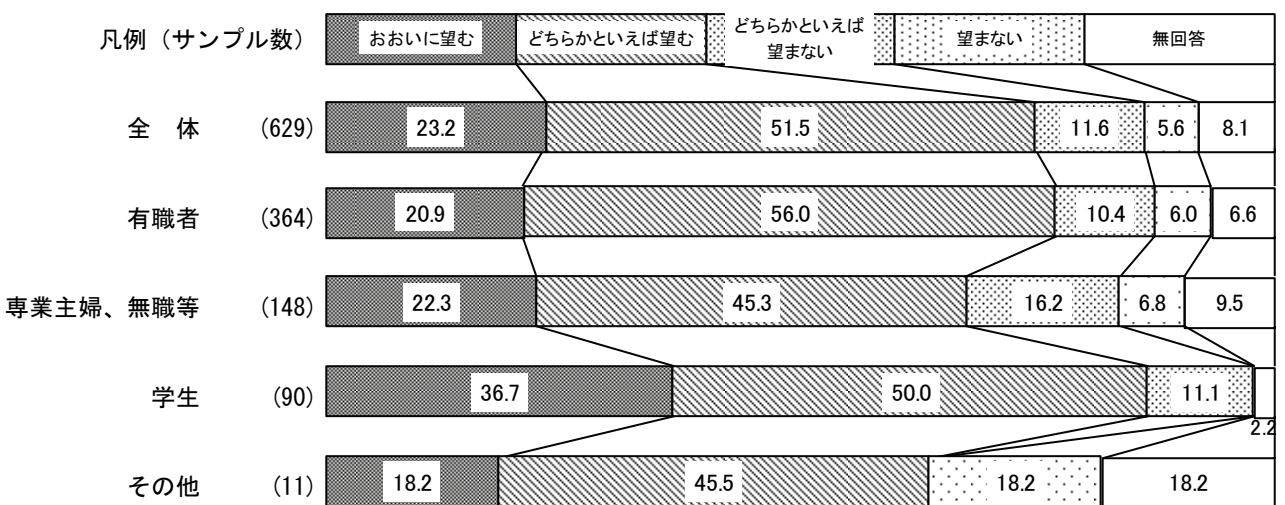
図表211 国内居住年数別地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



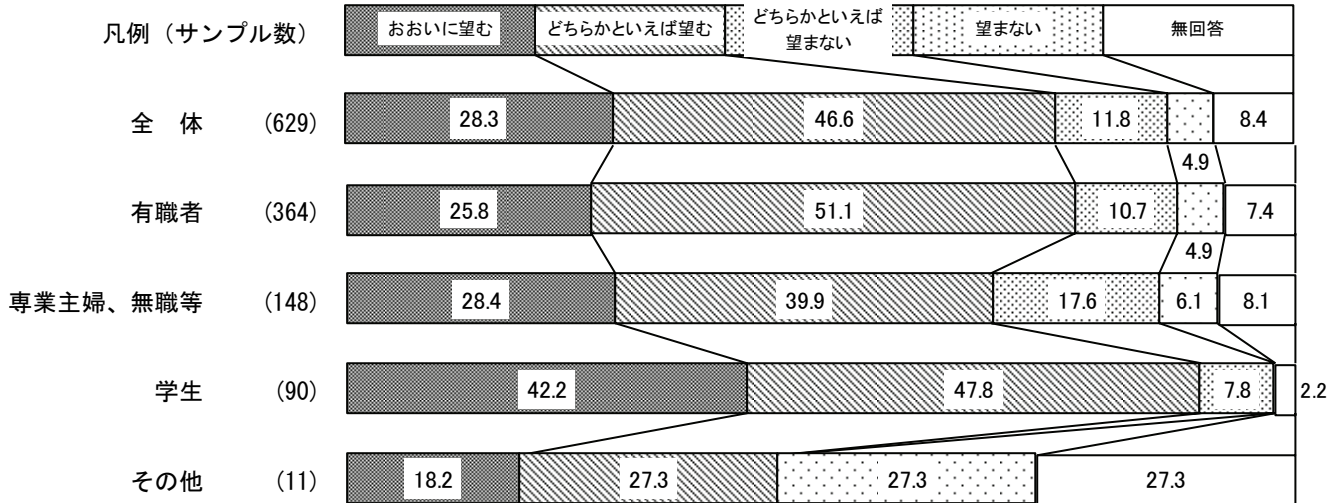
図表212 就業形態別外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる（単数回答）



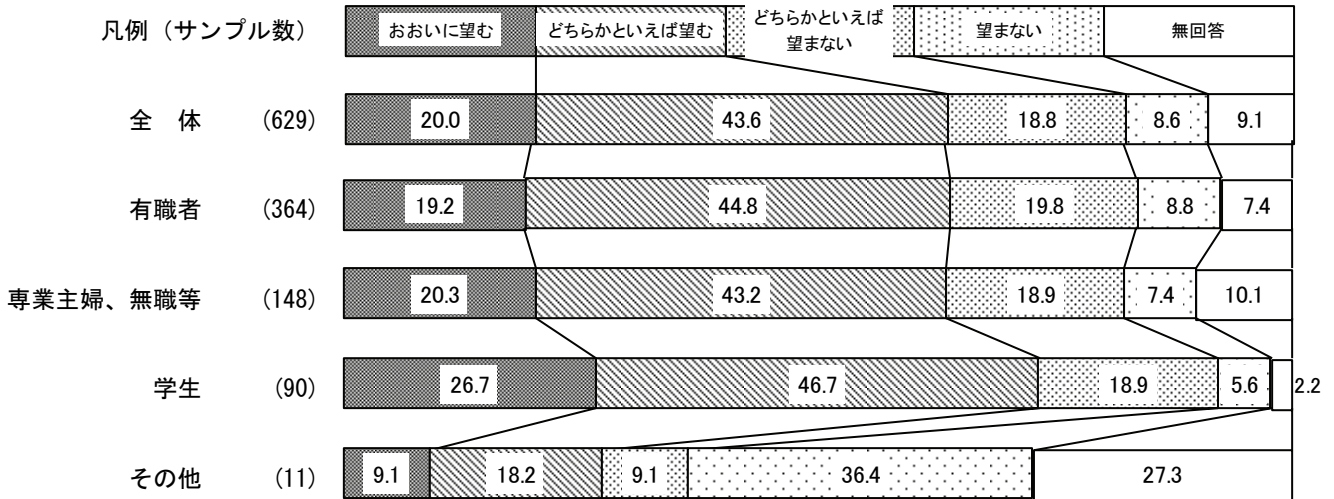
図表213 就業形態別日頃から、外国人の住民と言葉をかわす（単数回答）



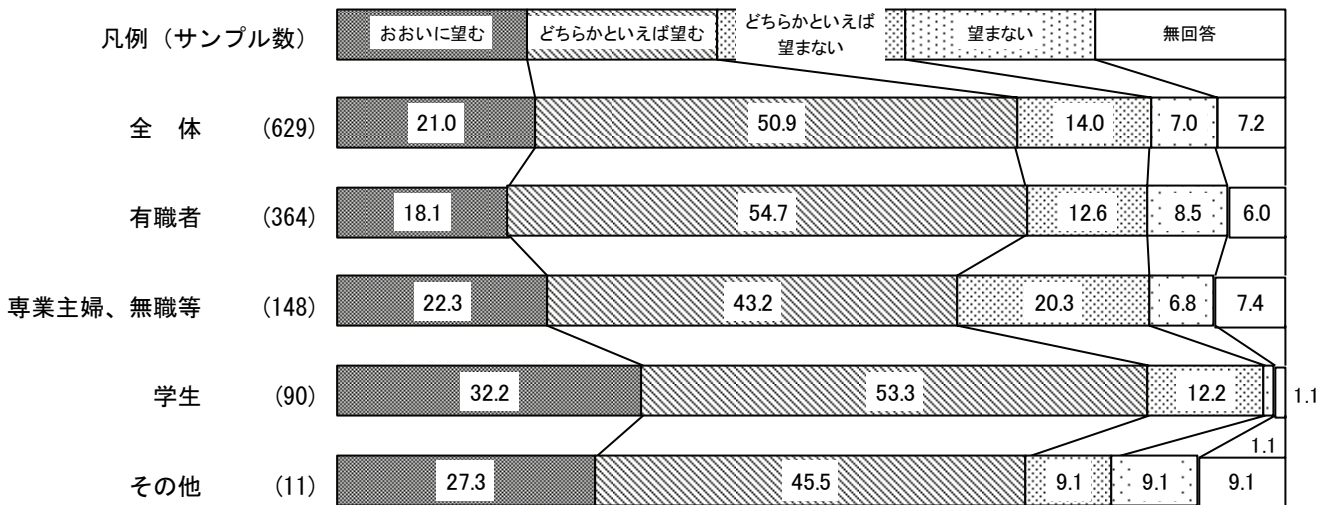
図表214 就業形態別日本語、日本の習慣を外国人住民に紹介する（単数回答）



図表215 就業形態別外国語を習得するようにつとめる（単数回答）



図表216 就業形態別地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



(5) 偏見や差別

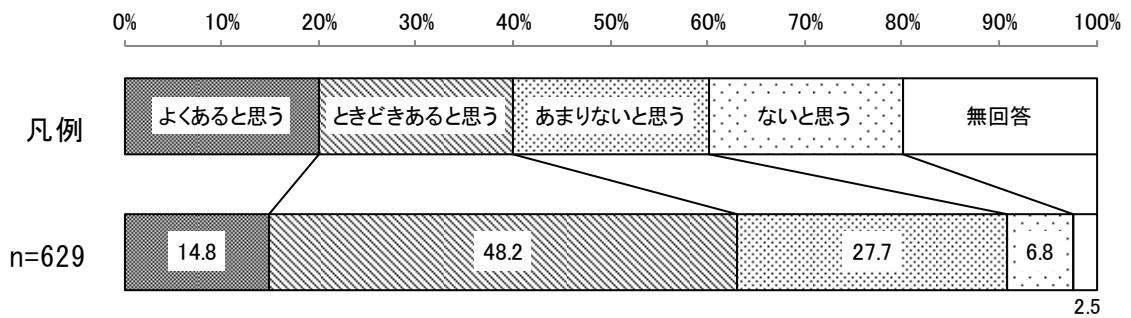
○偏見や差別の有無

問35 あなたは、一般的に見て、日本人から外国人に対して偏見、差別があると思いますか。(ひとつだけ○)

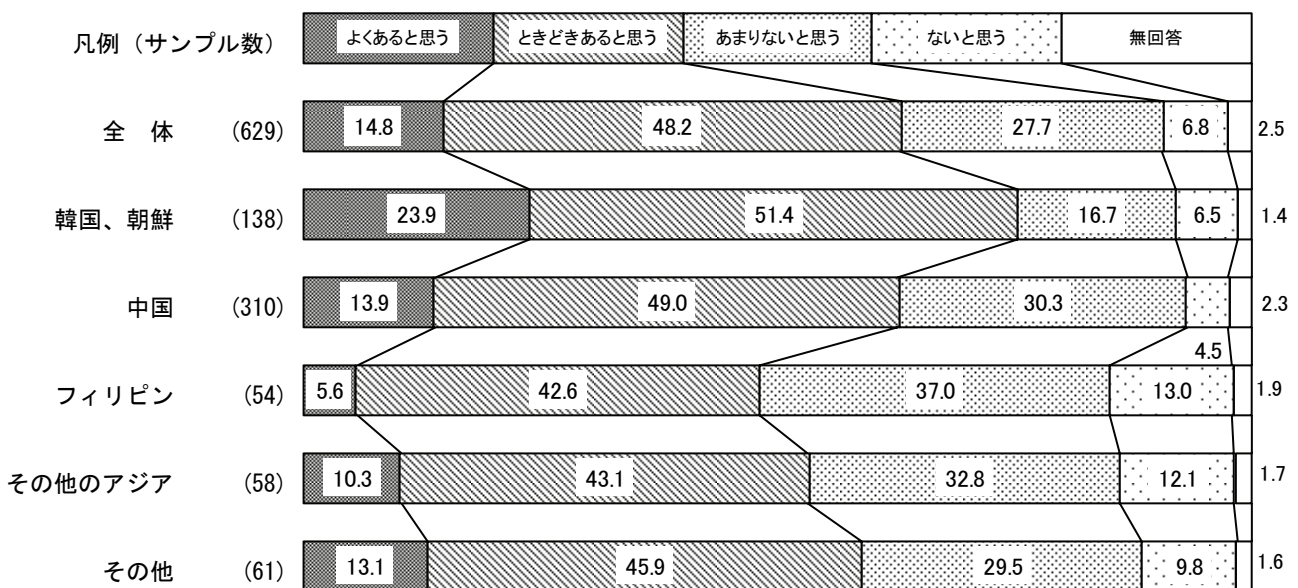
★外国人・日本人 共通設問

- ・偏見や差別の状況は、「よくあると思う」が 14.8%、「ときどきあると思う」が 48.2%、「あまりないと思う」が 27.7%、「ないと思う」が 6.8%となっている。
- ・国籍別にみると、「よくあると思う」と「ときどきあると思う」を合わせた割合は、“韓国、朝鮮”が 75.3%で最も高く、“フィリピン”が 48.2%で最も低くなっている。
- ・男女・年代別にみると、「よくあると思う」と「ときどきあると思う」を合わせた割合は、女性の 30 代、40 代が高くなっているが、「よくあると思う」は男性の 40 代、50 代が高くなっている。
- ・日本人のつきあいの程度別にみると、「よくあると思う」は、つきあいのない人が最も高くなっているが、次いで個人的なことについて相談できる人がいる人が高くなっている。
- ・国内居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど、「よくあると思う」の割合が高くなっている。

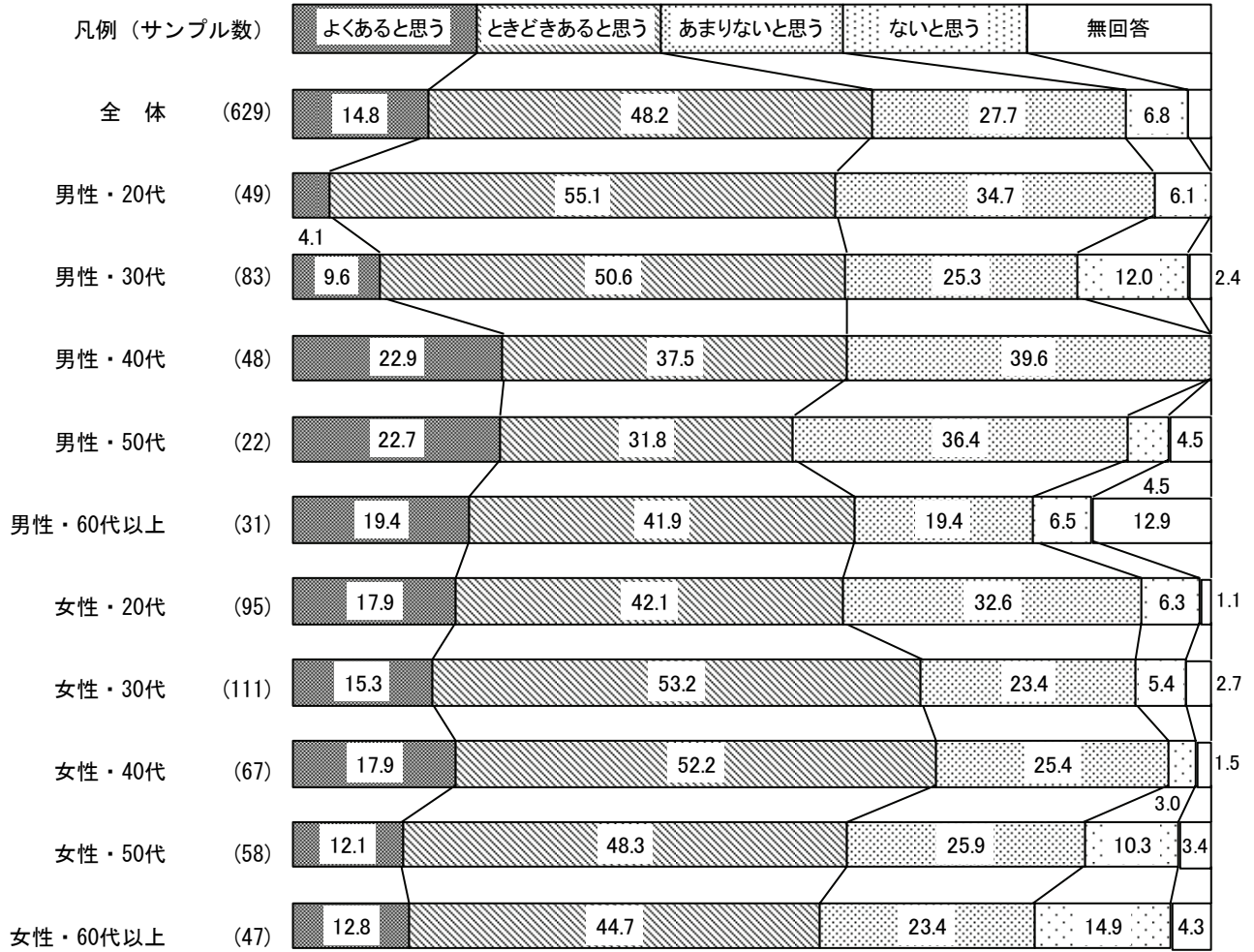
図表217 偏見や差別の有無（単数回答）



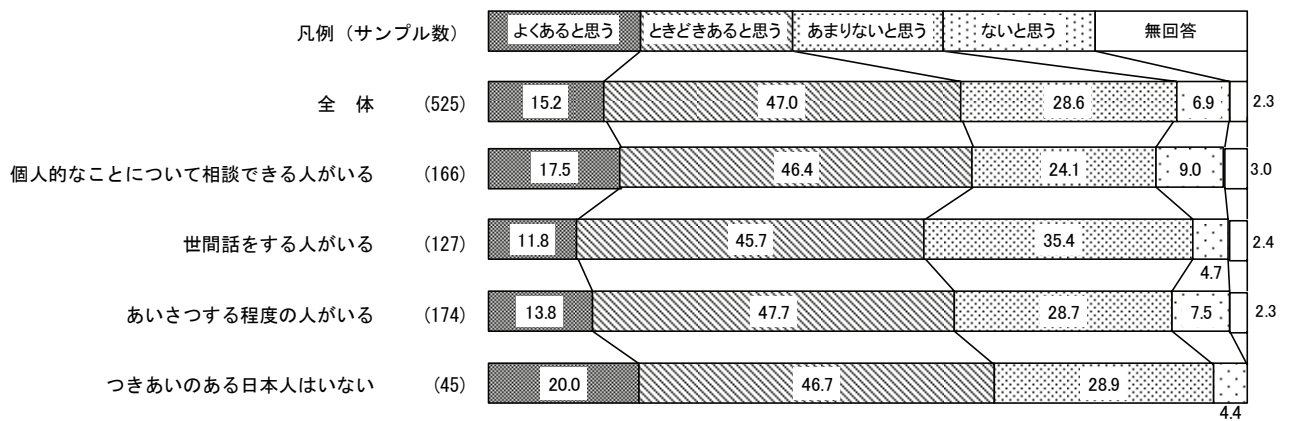
図表218 国籍別偏見や差別の有無（単数回答）



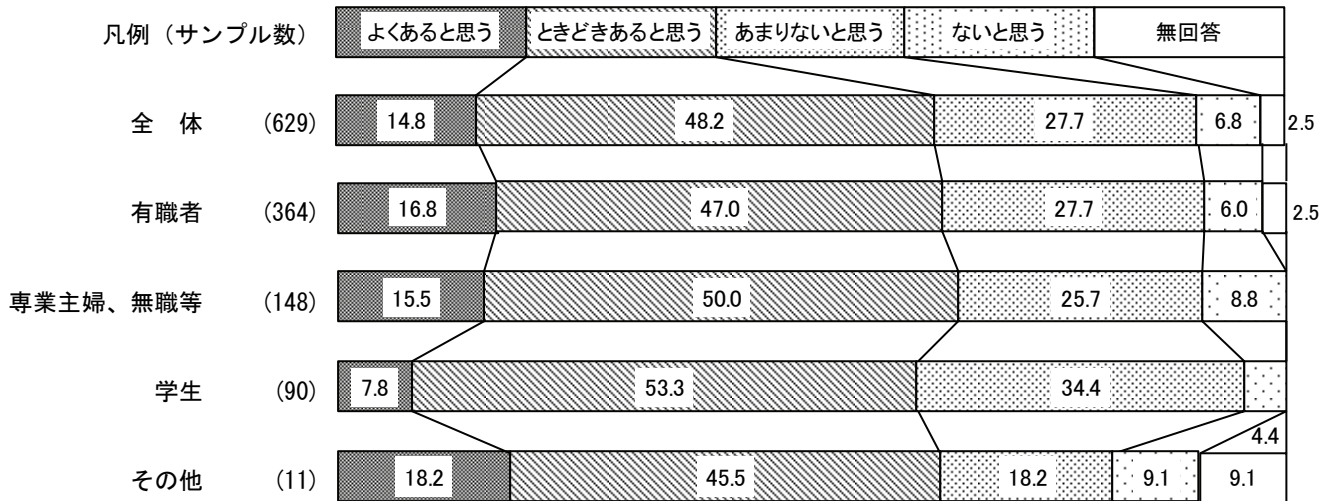
図表219 男女・年代別偏見や差別の有無（単数回答）



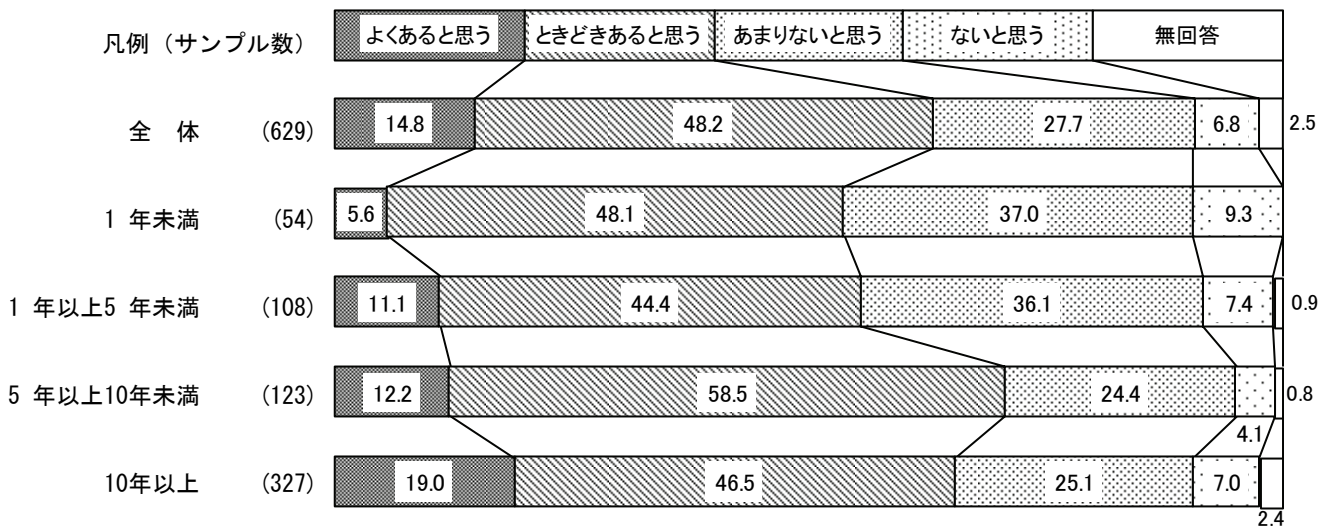
図表220 日本人とのつきあいの程度別偏見や差別の有無（単数回答）



図表221 就業形態別偏見や差別の有無（単数回答）



図表222 国内居住年数別偏見や差別の有無（単数回答）



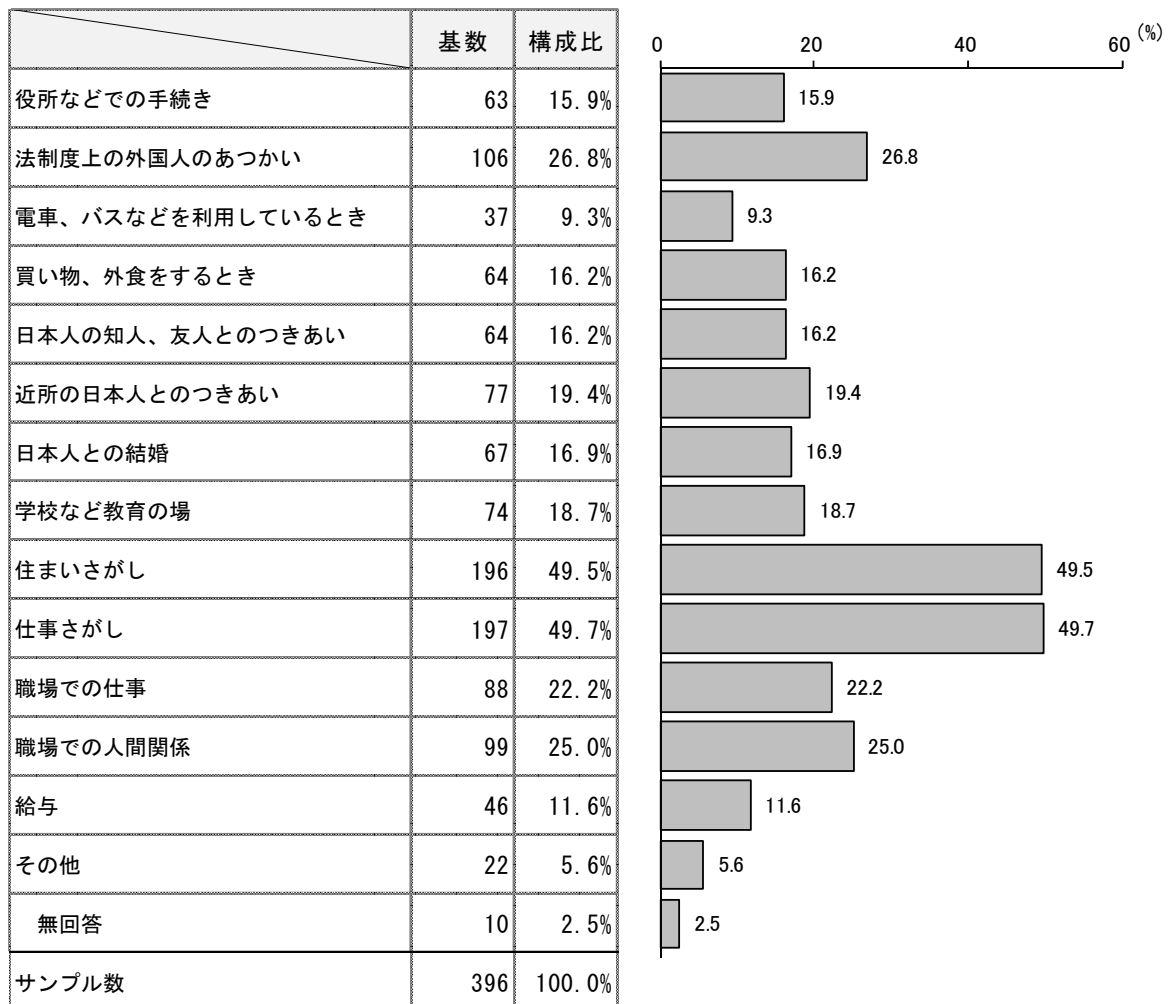
○偏見や差別の内容

問36 問35で1、2に回答した方(一般的に見て、日本人から外国人に対して、偏見、差別があると思う人)にお聞きします。あなたは、外国人に対する偏見、差別はどのような場合にあると思いますか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・偏見や差別があると回答した 396 人において、具体的な内容について聞いてみると、「仕事さがし」が 49.7%、「住まいさがし」が 49.5%で特に高くなっている。
- ・国籍別でみると、“中国”、“フィリピン”、“その他のアジア”では「仕事さがし」が最も高くなっているが、“韓国、朝鮮”、“その他”では「住まいさがし」が最も高くなっている。
- ・就業形態別にみると、専業主婦、無職等、学生では「仕事さがし」が最も高くなっており、有職者、その他では「住まいさがし」が最も高くなっている。

図表223 偏見や差別の内容（複数回答）



図表224 国籍別偏見や差別の内容（複数回答）

	調査数	役所などでの手続き	つかい 法制度上の外国人のあ	電車、バスなどを利用 しているとき	き 買物、外食をす	の 日本人の知人、友人と のつきあい	あい 近所の日本人とのつき	日本人との結婚	学校など教育の場	住まいさがし	仕事さがし	職場での仕事	職場での人間関係	給与	その他	無回答
全体	396	63	106	37	64	64	77	67	74	196	197	88	99	46	22	10
	1000	15.9	26.8	9.3	16.2	16.2	19.4	16.9	18.7	49.5	49.7	22.2	25.0	11.6	5.6	2.5
韓国、朝鮮	104	28	41	3	10	17	21	19	24	62	56	11	17	8	5	5
	1000	26.9	39.4	2.9	9.6	16.3	20.2	18.3	23.1	59.6	53.8	10.6	16.3	7.7	4.8	4.8
中国	195	16	33	19	35	33	34	26	29	89	94	44	52	23	10	2
	1000	8.2	16.9	9.7	17.9	16.9	17.4	13.3	14.9	45.6	48.2	22.6	26.7	11.8	5.1	1.0
フィリピン	26	5	9	2	4	2	5	8	5	9	13	9	9	4	1	2
	1000	19.2	34.6	7.7	15.4	7.7	19.2	30.8	19.2	34.6	50.0	34.6	34.6	15.4	3.8	7.7
その他のアジア	31	6	10	5	5	9	9	7	8	13	14	10	13	7	2	-
	1000	19.4	32.3	16.1	16.1	29.0	29.0	22.6	25.8	41.9	45.2	32.3	41.9	22.6	6.5	-
その他	36	7	12	7	8	3	8	5	7	21	17	14	8	4	4	1
	1000	19.4	33.3	19.4	22.2	8.3	22.2	13.9	19.4	58.3	47.2	38.9	22.2	11.1	11.1	2.8

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表225 就業形態別偏見や差別の内容（複数回答）

	調査数	役所などでの手続き	つかい 法制度上の外国人のあ	電車、バスなどを利用 しているとき	き 買物、外食をす	の 日本人の知人、友人と のつきあい	あい 近所の日本人とのつき	日本人との結婚	学校など教育の場	住まいさがし	仕事さがし	職場での仕事	職場での人間関係	給与	その他	無回答
全体	396	63	106	37	64	64	77	67	74	196	197	88	99	46	22	10
	1000	15.9	26.8	9.3	16.2	16.2	19.4	16.9	18.7	49.5	49.7	22.2	25.0	11.6	5.6	2.5
有職者	232	38	70	22	34	30	43	41	41	127	118	55	64	28	12	5
	1000	16.4	30.2	9.5	14.7	12.9	18.5	17.7	17.7	54.7	50.9	23.7	27.6	12.1	5.2	2.2
専業主婦、無職等	97	16	23	6	13	22	23	14	22	35	46	18	19	8	5	4
	1000	16.5	23.7	6.2	13.4	22.7	23.7	14.4	22.7	36.1	47.4	18.6	19.6	8.2	5.2	4.1
学生	55	7	9	8	15	11	8	7	8	26	27	11	12	7	5	1
	1000	12.7	16.4	14.5	27.3	20.0	14.5	12.7	14.5	47.3	49.1	20.0	21.8	12.7	9.1	1.8
その他	7	1	2	-	1	1	3	2	1	5	2	4	3	3	-	-
	1000	14.3	28.6	-	14.3	14.3	42.9	28.6	14.3	71.4	28.6	57.1	42.9	42.9	-	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

7 自由回答(抜粋)

問50 このアンケートの質問項目、とくに、日本人の住民との共生のあり方について、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

- ・自由記述回答者数：外国人 123 人
- ・同一の回答の中に複数の意見等がある場合は、個別にカウントをした。そのため回答総数は回答者数を超えている。
- ・また、長文の回答などを適宜要約した。

	回答件数
共生に対する肯定的意見	16(11.3%)
共生に向けた態度や要望	43(30.3%)
区への対応、政策など	25(17.6%)
言語学習	8(5.6%)
住宅、生活環境	7(4.9%)
子育て・保育、教育	7(4.9%)
入管制度、参政権、外国人登録、警察	4(2.8%)
その他	14(9.9%)
本調査の方法、あり方	9(6.3%)
本調査への感謝/その他	7(4.9%)
よくわからない/とくにない	2(1.4%)
計	142(100.0%)

1. 共生に対する肯定的意見

- ・日本の住民との共生がうれしい。満足している。
- ・留学期間中に、日本の友人をたくさんつくりたいと思う。
- ・地域の日本の住民の方ともっと交流する機会があれば参加したいと思う。
- ・偏見や差別は耳にする事がしばしばあるが、私は国際社会の日本であってほしいと思う。

2. 共生に向けた態度や要望

- ・異文化があって当たり前の中へ変えていっていただきたい。
- ・もっと多くの日本人の住民が外国人を理解し、もっと交流をすればよいと思う。
- ・日本の住民に、言葉が通じないことによって生じる不便さをもっと理解してほしい。
- ・国際問題が原因で日本に暮らす外国人に影響が出ないでほしいと思う。
- ・日本人と外国人の相互理解を促すような交流会をもっと開催してほしい。

3. 区への対応、政策など

- ・政策に関するお知らせを多言語に対応させてほしい。
- ・区の情報をチラシや掲示板、ポスターなどで告知してほしい。
- ・外国語相談窓口を設けて外国人が日本の暮らしになじめるようサポートしてほしい。
- ・区でイベントを開催してほしい。
- ・市役所に英語が話せる人を配置してほしい。

4. 言語学習

- ・中級、上級レベルの日本語を教える教室がほしい。
- ・いつでも参加できる日本語教室があってほしい。
- ・休日に開講している日本語教室を増設してほしい。

5. 住宅、生活環境

- ・未だに住宅を借りる時に永住権が有りながら不自由を感じる。
- ・外国人留学生の住まいがしの手続きをもっと簡単にしてほしい。
- ・住環境、生活施設がとても便利で素晴らしいと思う。
- ・ショッピングセンターがあってほしい。

6. 子育て・保育、教育

- ・育児休暇、子供を預けられる施設などがたりないと思う。
- ・日本人と外人の学生に対して外国の文化の教育をしてほしい。
- ・進学システムが複雑を感じる。進学制度に関する知識や情報をもっと取得し、理解したい。

7. 参政権、外国人登録

- ・税金は日本人と同様に納税しているのに、地方選挙権すらないのはおかしいと思う。
- ・在留に関する手続きを、最寄の役所でできるようにしてほしい。

8. その他

- ・生れた時から日本にいるため、日本人の住人との共生をあまり考えたことがない。
- ・板橋区がますます素晴らしいことを願っている。
- ・諸外国と比べ日本の国際化のレベルはまだまだだと思ふ。

9. 本調査の方法、あり方

- ・特別永住者にとって、このようなアンケートはチグハグな感じがする。
- ・このアンケートがくるまで板橋区で多文化共生のまちづくりを行っていることを知らなかった。
- ・文章が難しすぎる、表現も難しすぎる、文字が小さすぎる。

10. 本調査への感謝 / その他

11. よくわからない / とくにない

第3章-II 日本人区民調査

第3章- II 日本人区民調査

1 回答者の基本属性について

(1) 性別・年齢

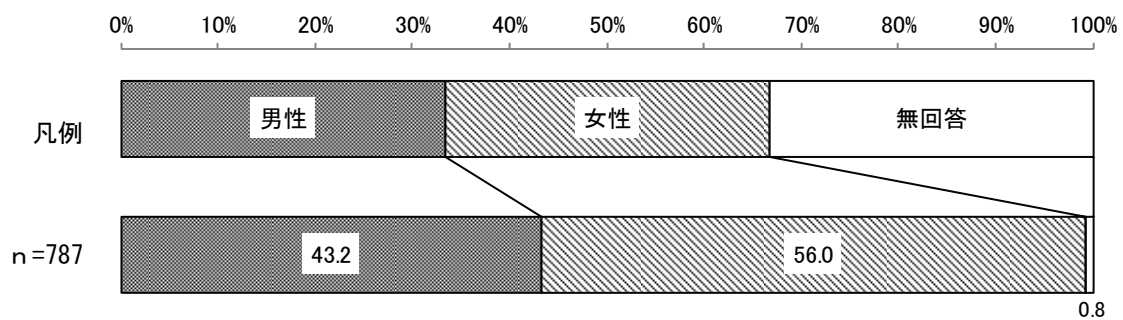
問1 はじめに、あなたの性別と生まれた年を記入してください。

★外国人・日本人 共通設問

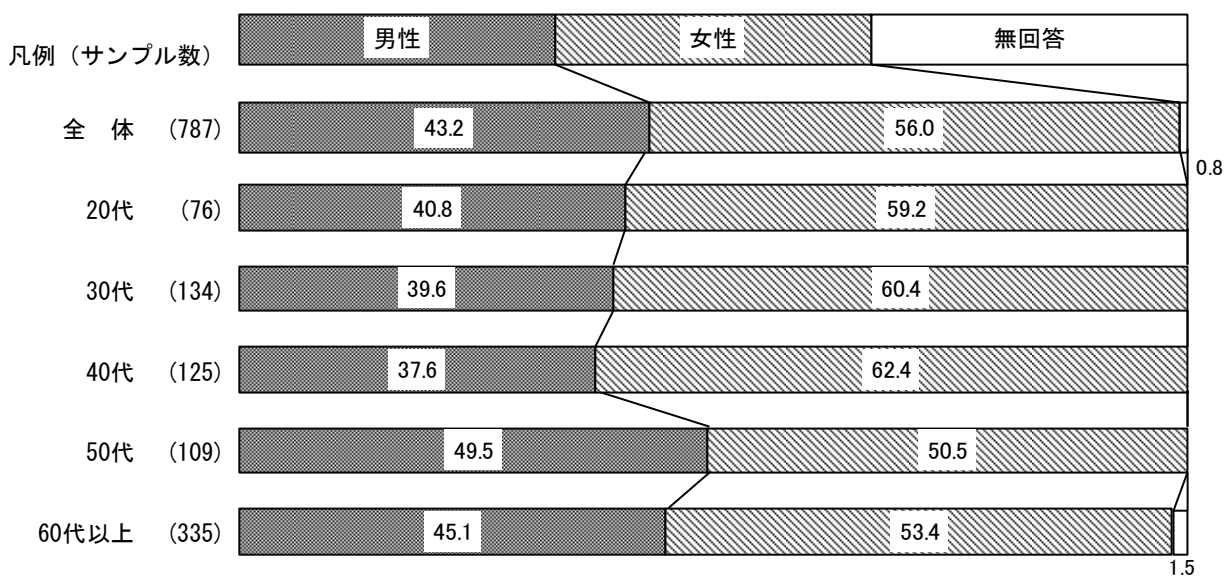
○性別

- ・回答者の性別は、「男性」が43.2%、「女性」が56.0%となっている。
- ・年代別にみると、いずれの年代においても「女性」が「男性」の数を上回っており、特に40代以下で女性が高いことがわかる。

図表226 回答者の性別（単数回答）



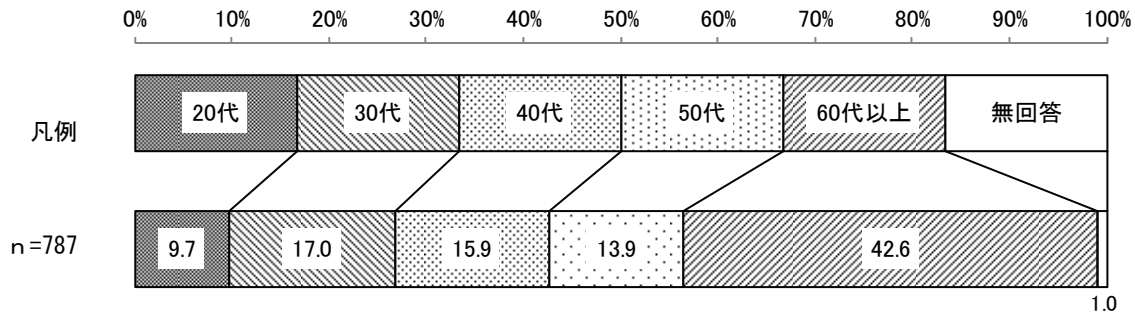
図表227 年代別回答者の性別（単数回答）



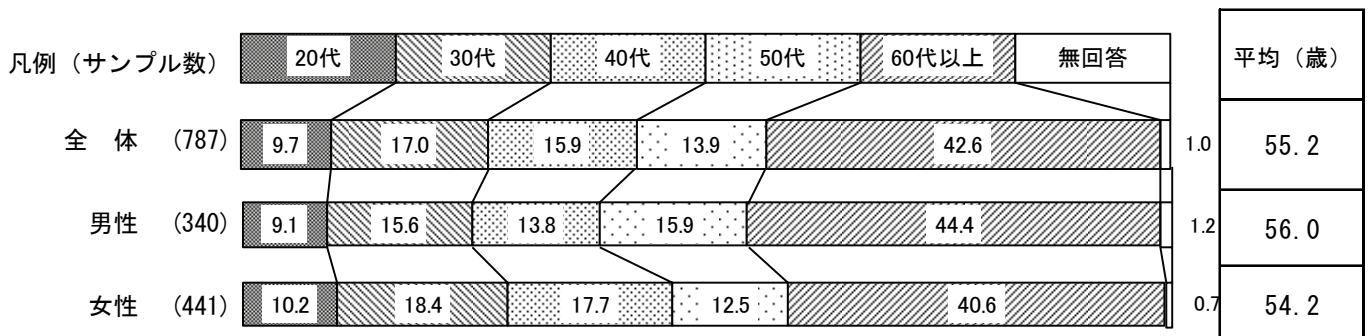
○年齢

- ・回答者の年齢は、「60歳以上」の割合が42.6%で最も高く、次いで「30代」が17.0%、「40代」が15.9%の順になっている。
- ・男女別にみると、20～40代の各年代において女性が男性をわずかだが上回っている。平均年齢は女性が54.2歳、男性が56.0歳、男女平均55.2歳となっている。
- ・居住地域別にみると、平均年齢が最も高いのは高島平地域で57.2歳、反対に最も若いのは板橋地域で54.0歳となっている。

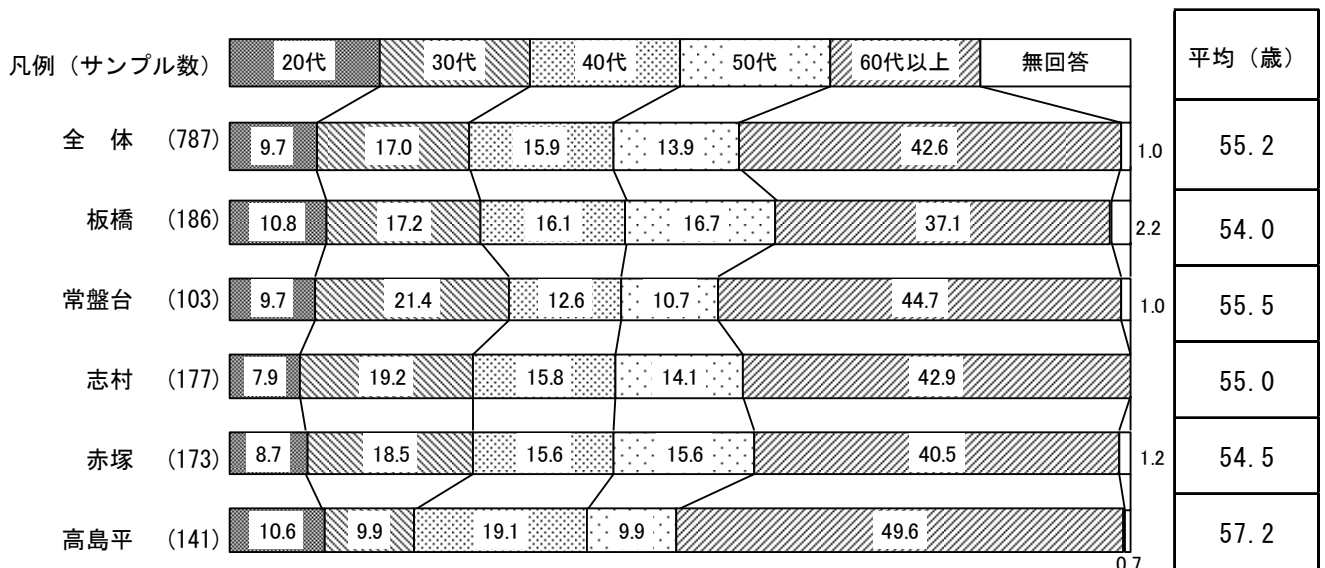
図表228 回答者の年齢層（単数回答）



図表229 男女別年齢層（単数回答）



図表230 居住地域別年齢層（単数回答）



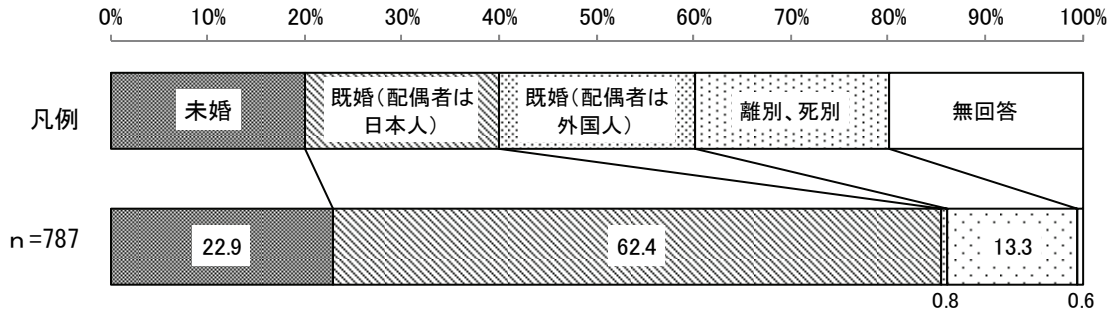
(2) 婚歴

問 32 あなたは、現在、結婚していますか。(ひとつだけ○)

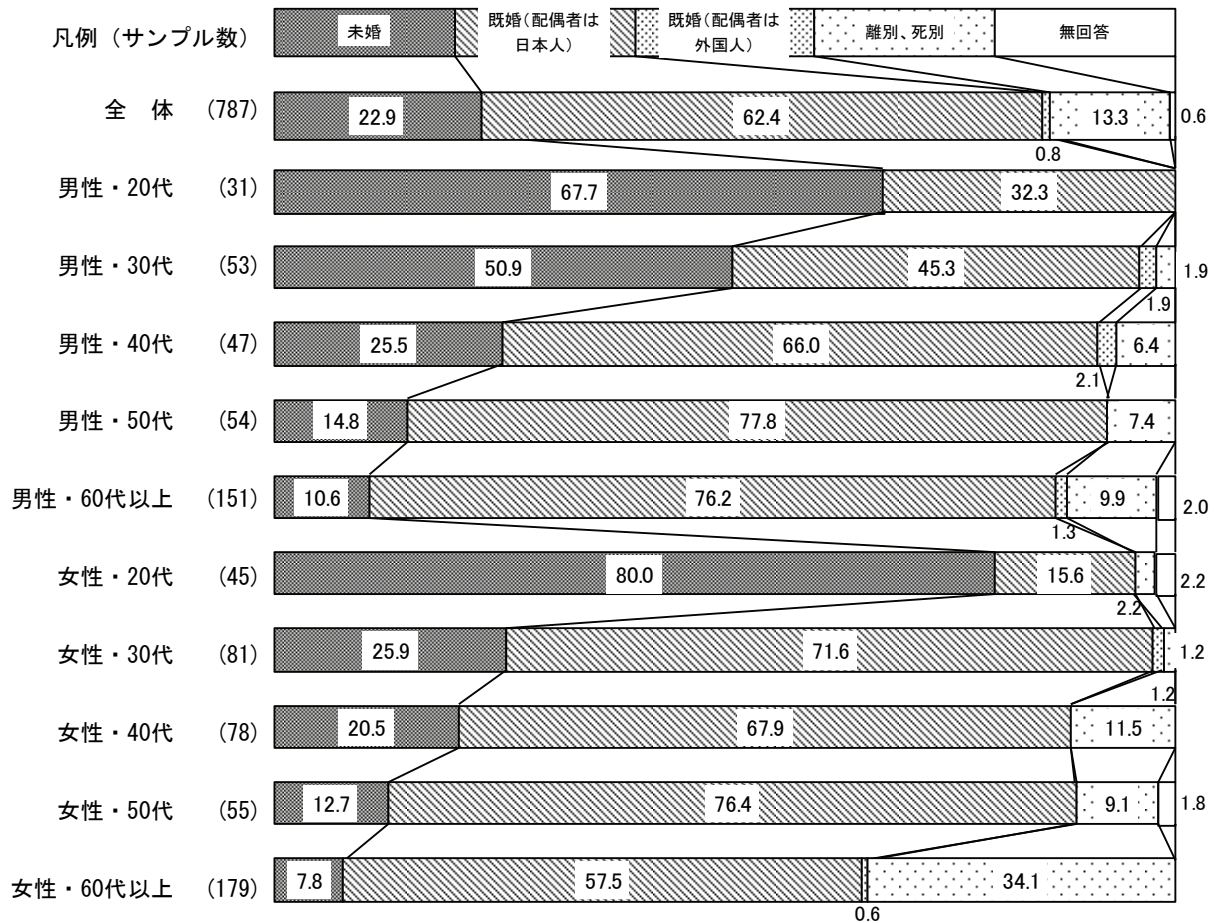
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の婚歴は、「既婚(配偶者は日本人)」が 62.4%、「未婚」が 22.9%、「離別、死別」が 13.3%の順になっている。
- ・男女・年代別にみると、20代においては、男性の 67.7%、女性の 80.0%が「未婚」となっている。年齢が上がるにつれ「未婚」は低くなり、男性は 40代、女性は 30代で半数を下回っている。

図表231 婚歴 (単数回答)



図表232 男女・年代別婚歴 (単数回答)



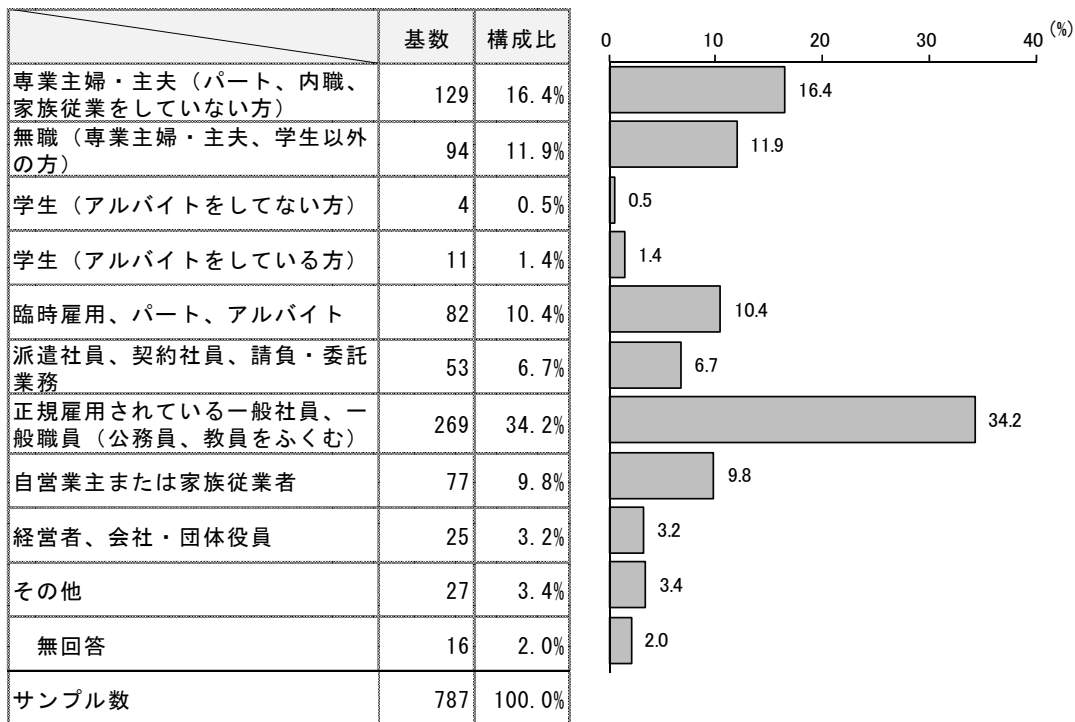
(3) 就業形態

問 33 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

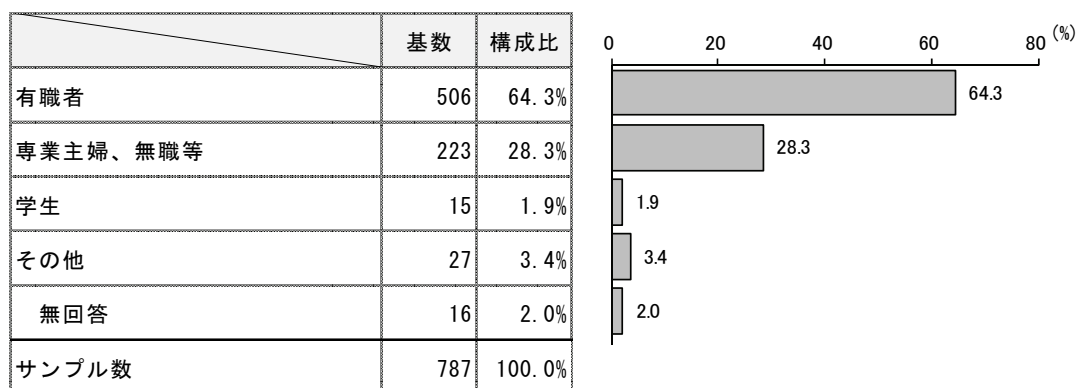
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の就業形態は、「正規雇用されている一般社員、一般職員(公務員、教員を含む)」が 34.2%で最も高く、次いで「専業主婦・主夫(パート、内職、家族従業をしていない方)」が 16.4%、「無職(専業主婦・主夫、学生以外の方)」が 11.9%の順になっている。
- ・雇用形態の有無を問わず「有職者」で再集計すると、64.3%で6割以上を占めている。
- ・男女・年代別にみると、男性、女性ともに 50 代以下では「正規雇用されている一般社員、一般職員(公務員、教員含む)」が最も高くなっている。比率をみると、男性は6割以上を占めているが、女性は3割台もしくは4割台となっており、「専業主婦・主夫(パート、内職、家族従業をしていない方)」、「臨時雇用、パート、アルバイト」が2割を占めている。

図表233 就業形態 (単数回答)



図表234 カテゴリ再集計就業形態 (単数回答)



図表235 男女・年代別就業形態（単数回答）

	調査数	専業主婦・主夫（パート・内職・家族従業をしていない方）	無職（専業主婦・主夫、学生以外の方）	学生（アルバイトをしていない方）	学生（アルバイトをしている方）	アルバイト（パート、アルバイト）	臨時雇用、パート、アルバイト	派遣社員、契約社員、請負・委託業務	社員、役員をふくむ	正社員、一般職（公務員）	正規雇用されている	自営業主または家族従業員	経営者、会社・団体役員	その他	無回答									
全体	787	129	94	4	11	82	53	269	77	25	27	16	100.0	16.4	11.9	0.5	1.4	10.4	6.7	34.2	9.8	3.2	3.4	2.0
男性・20代	31	-	-	2	5	1	-	19	1	1	1	1	100.0	-	-	6.5	16.1	3.2	-	61.3	3.2	3.2	3.2	3.2
男性・30代	53	1	1	-	-	3	4	40	2	2	-	-	100.0	1.9	1.9	-	-	5.7	7.5	75.5	3.8	3.8	-	-
男性・40代	47	-	2	1	-	1	3	35	3	1	1	-	100.0	-	4.3	2.1	-	2.1	6.4	74.5	6.4	2.1	2.1	-
男性・50代	54	-	2	-	-	1	4	39	5	3	-	-	100.0	-	3.7	-	-	1.9	7.4	72.2	9.3	5.6	-	-
男性・60代以上	151	1	57	-	-	9	11	16	24	11	14	8	100.0	0.7	37.7	-	-	6.0	7.3	10.6	15.9	7.3	9.3	5.3
女性・20代	45	2	1	1	6	6	7	21	-	-	-	-	100.0	4.4	2.2	2.2	13.3	13.3	15.6	46.7	-	-	-	2.2
女性・30代	81	20	1	-	-	9	7	38	5	-	1	-	100.0	24.7	1.2	-	-	11.1	8.6	46.9	6.2	-	1.2	-
女性・40代	78	10	2	-	-	20	8	30	7	-	1	-	100.0	12.8	2.6	-	-	25.6	10.3	38.5	9.0	-	1.3	-
女性・50代	55	13	-	-	-	11	3	19	7	-	1	1	100.0	23.6	-	-	-	20.0	5.5	34.5	12.7	-	1.8	1.8
女性・60代以上	179	80	26	-	-	21	4	10	22	5	7	4	100.0	44.7	14.5	-	-	11.7	2.2	5.6	12.3	2.8	3.9	2.2

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

(4) 居住地・居住形態

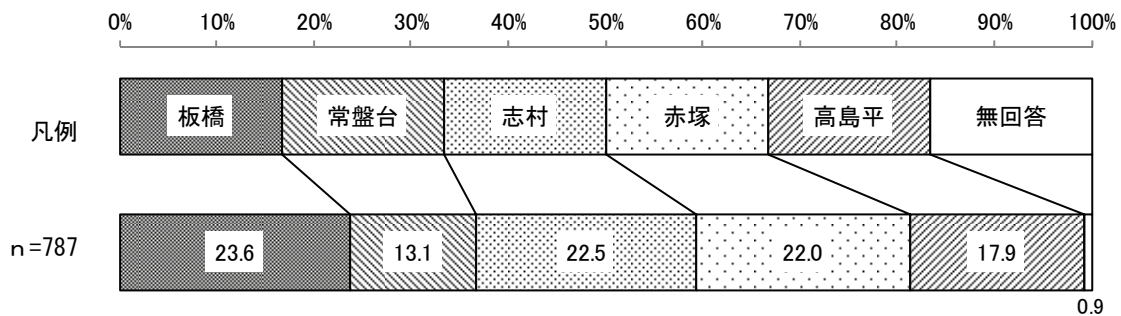
○居住地

問 39 あなたが現在、住んでいる板橋区の地域は以下の中のどれにあたりますか。
(ひとつだけ○)

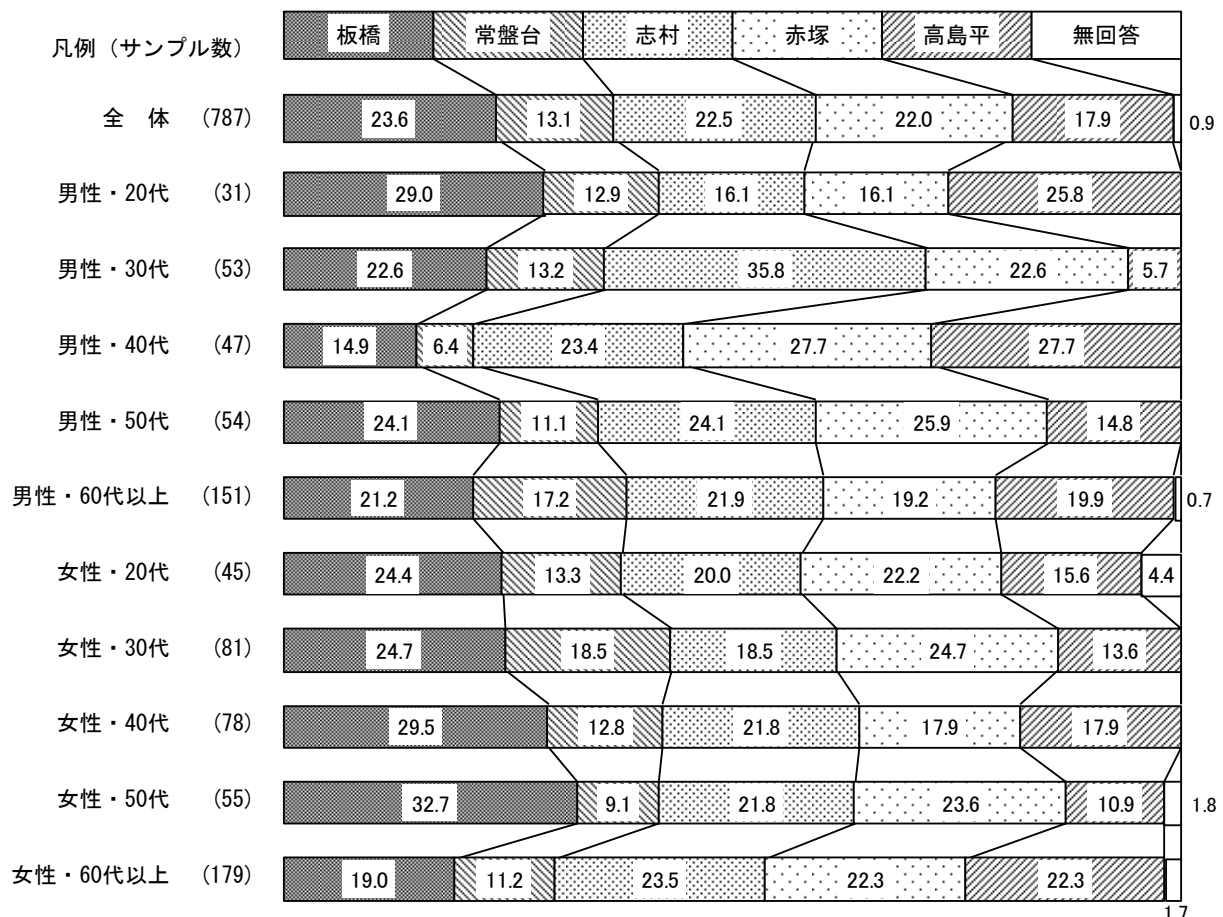
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の居住地は、「板橋地域」が最も高く 23.6%となっており、次いで「志村地域」が 22.5%、「赤塚地域」が 22.0%の順になっている。
- ・男女・年代別にみると、男性で傾向等はみられないが、女性は 20～50 代は「板橋地域」の割合が高くなっている。
- ・居住形態別にみると、一戸建は「板橋地域」、「赤塚地域」が最も高く、集合住宅は「志村地域」が最も高くなっている。

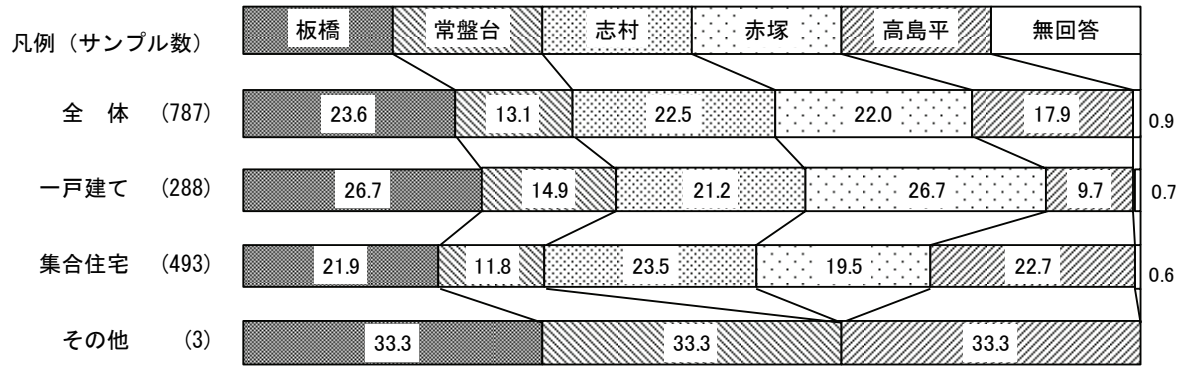
図表236 居住地（単数回答）



図表237 男女・年代別居住地（単数回答）



図表238 居住形態別居住地域（単数回答）



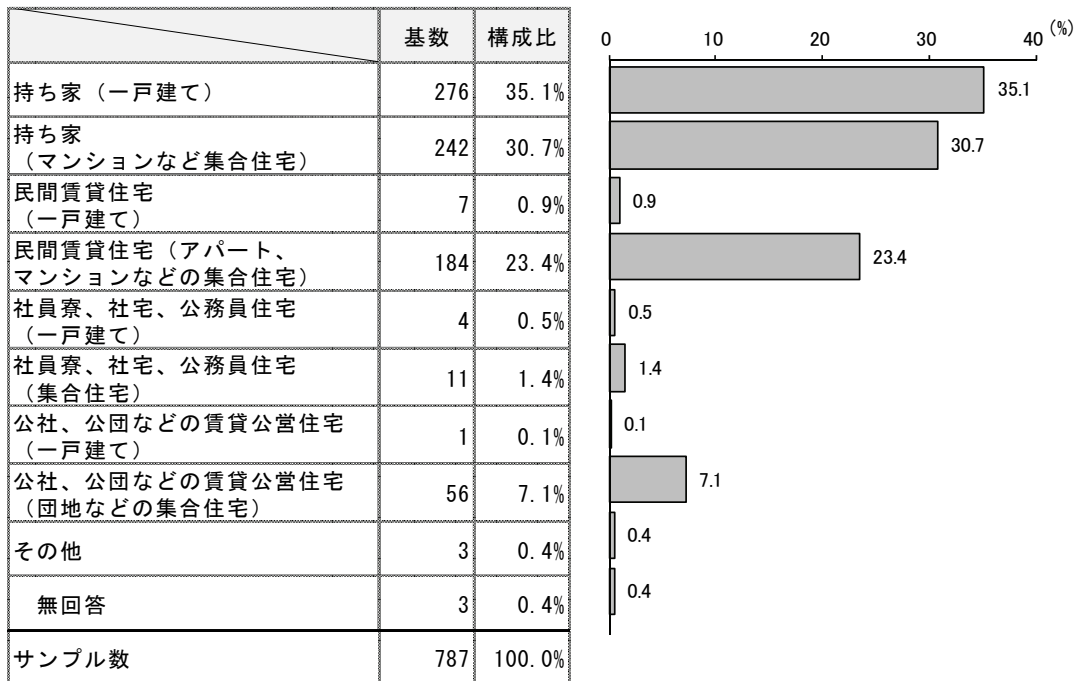
○居住形態

問 40 あなたの現在のお住まいは、以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

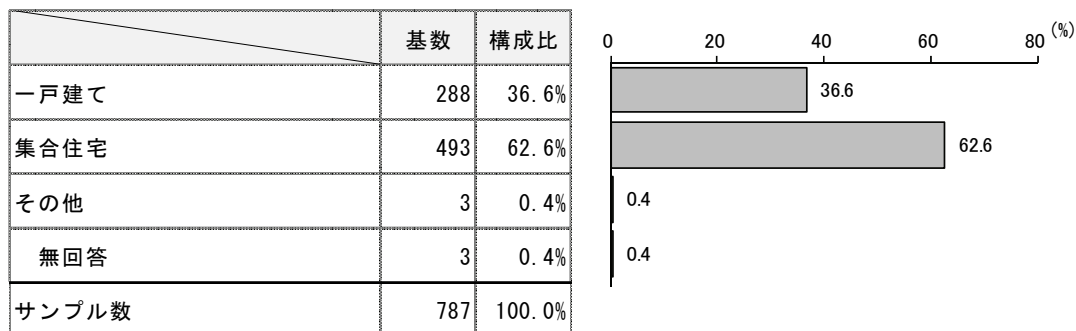
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の居住形態は、「持ち家(一戸建て)」が 35.1%で最も高く、次いで「持ち家(マンションなど集合住宅)」が30.7%、「民間賃貸住宅(アパート、マンションなどの集合住宅)」が23.4%などの順になっている。また、持ち家か賃貸かを問わず建物の種類で再集計すると、「一戸建て」が 36.6%、「集合住宅」が 62.6%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「持ち家(一戸建て)」は男性の 50 代以上、女性の 60 歳以上、「持ち家(マンションなど集合住宅)」は男性の 40 代、女性の 40 代、50 代、「民間賃貸住宅(アパート、マンションなどの集合住宅)」は男女ともに 20 代、30 代で高くなっている。このことから、年齢が高くなるほど持ち家に住んでいる割合が高くなることがわかる。

図表239 居住形態 (単数回答)



図表240 カテゴリ再集計居住形態 (単数回答)



図表241 男女・年代別居住形態（単数回答）

	調査数	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンションなど集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（アパート、マンションなどの集合住宅）	社員寮、社宅、公務員住宅（一戸建て）	社員寮、社宅、公務員住宅（集合住宅）	公社、公団などの賃貸公営住宅（一戸建て）	公社、公団などの賃貸公営住宅（団地などの集合住宅）	その他	無回答
全体	787 100.0	276 35.1	242 30.7	7 0.9	184 23.4	4 0.5	11 1.4	1 0.1	56 7.1	3 0.4	3 0.4
男性・20代	31 100.0	6 19.4	5 16.1	1 3.2	13 41.9	3 9.7	1 3.2	-	1 3.2	1 3.2	-
男性・30代	53 100.0	10 18.9	13 24.5	1 1.9	25 47.2	-	1 1.9	-	2 3.8	1 1.9	-
男性・40代	47 100.0	10 21.3	17 36.2	-	15 31.9	-	2 4.3	-	3 6.4	-	-
男性・50代	54 100.0	22 40.7	21 38.9	-	7 13.0	-	2 3.7	-	2 3.7	-	-
男性・60代以上	151 100.0	80 53.0	38 25.2	1 0.7	23 15.2	-	-	-	9 6.0	-	-
女性・20代	45 100.0	11 24.4	8 17.8	-	20 44.4	-	2 4.4	-	2 4.4	1 2.2	1 2.2
女性・30代	81 100.0	19 23.5	19 23.5	1 1.2	39 48.1	-	1 1.2	-	2 2.5	-	-
女性・40代	78 100.0	25 32.1	31 39.7	2 2.6	17 21.8	-	1 1.3	-	2 2.6	-	-
女性・50代	55 100.0	16 29.1	27 49.1	-	9 16.4	-	-	-	2 3.6	-	1 1.8
女性・60代以上	179 100.0	68 38.0	61 34.1	1 0.6	14 7.8	1 0.6	1 0.6	1 0.6	31 17.3	-	1 0.6

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

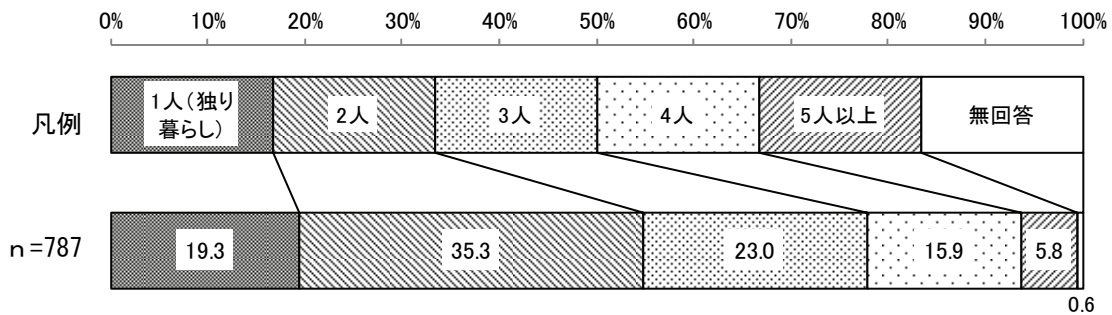
(5) 同居者数

問 34 あなたが現在、同居している人は何人いますか。あなたを含めてお答えください。

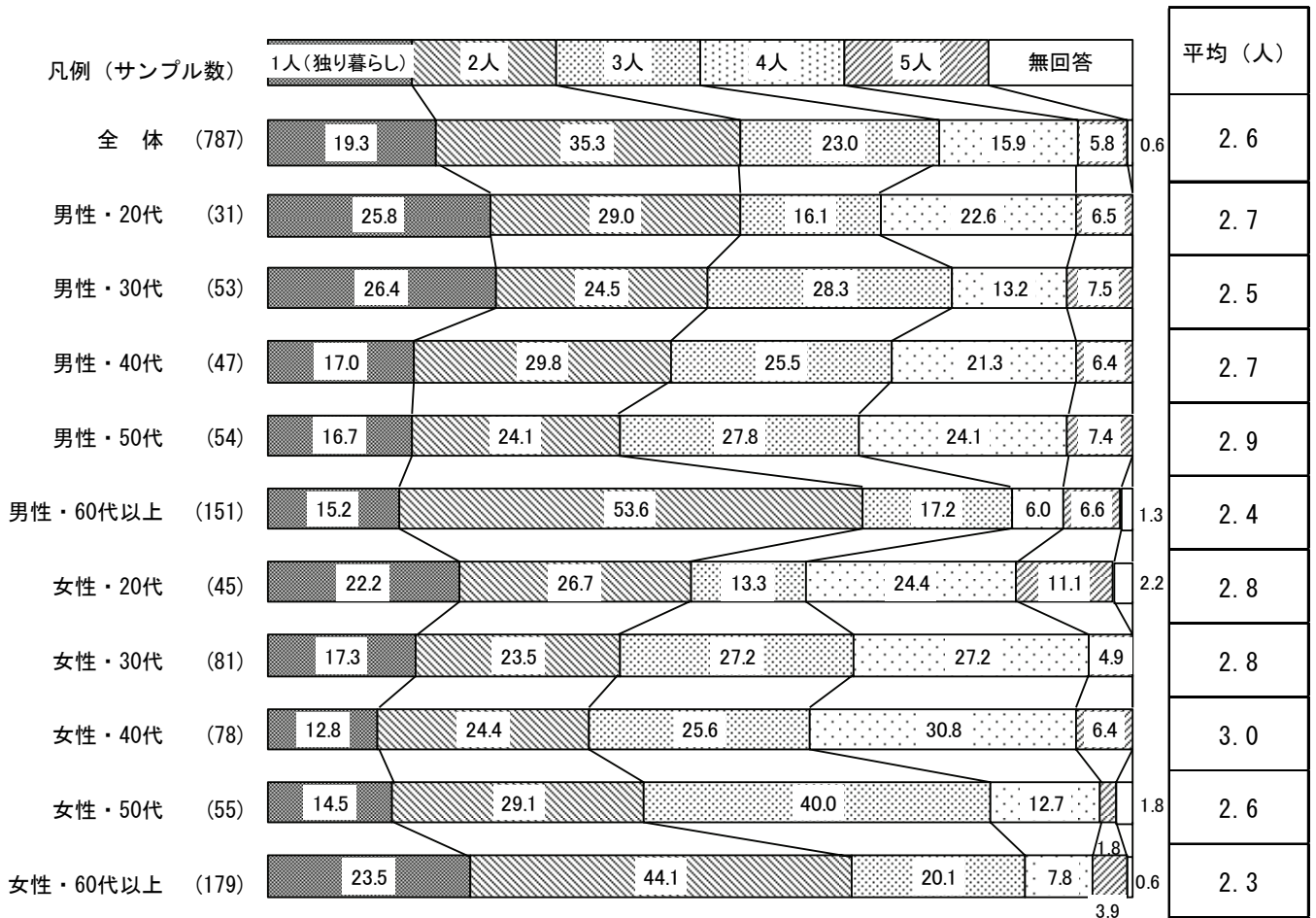
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者を含んだ同居者の人数は、「2人」が 35.3%で最も高く、平均すると 2.6 人となっている。
- ・男女・年代別にみると、男性では 50 代、女性では 40 代において同居者の人数は多く、それぞれ平均 2.9 人、3.0 人となっている。一方、男女ともに 60 歳以上は「2人」以下が約7割を占め、同居者の人数は、それぞれ平均 2.4 人、2.3 人となっている。

図表242 同居者の人数（単数回答）



図表243 男女・年代別同居者の人数（単数回答）

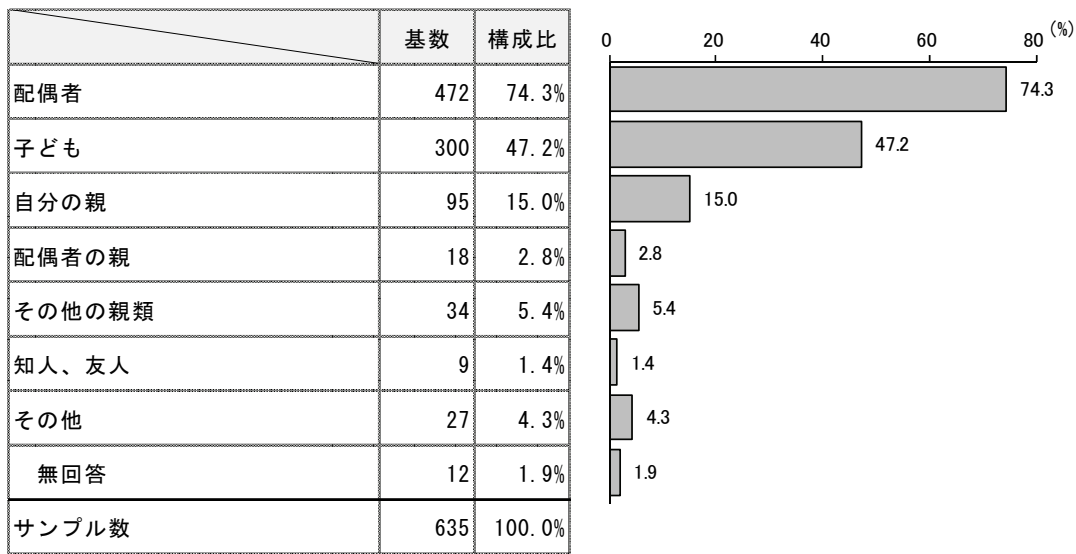


問 35 問 34 で 2 人以上と回答した方(1人で住んでいない人)にお聞きします。あなたが現在、いっしょに住んでいる人はどなたですか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・同居者と暮らしている 635 人についてその続柄をみると、「配偶者」が最も高く 74.3%、次いで「子ども」が 47.2%、「自分の親」が 15.0%の順になっている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに 20 代では「自分の親」が高くなっているが、30 代以上はどの年代においても「配偶者」の割合が最も高く、次いで「子ども」が高くなっている。

図表244 同居者の続柄（複数回答）



図表245 男女・年代別同居者の続柄（複数回答）

	調査数	配偶者	子ども	自分の親	配偶者の親	その他の親類	知人、友人	その他	無回答
全体	635	472	300	95	18	34	9	27	12
	100.0	74.3	47.2	15.0	2.8	5.4	1.4	4.3	1.9
男性・20代	23	9	3	12	-	6	1	2	-
	100.0	39.1	13.0	52.2	-	26.1	4.3	8.7	-
男性・30代	39	25	16	11	2	4	1	2	-
	100.0	64.1	41.0	28.2	5.1	10.3	2.6	5.1	-
男性・40代	39	32	24	5	1	-	1	-	-
	100.0	82.1	61.5	12.8	2.6	-	2.6	-	-
男性・50代	45	41	30	6	1	1	-	-	-
	100.0	91.1	66.7	13.3	2.2	2.2	-	-	-
男性・60代以上	128	109	42	8	3	6	1	4	7
	100.0	85.2	32.8	6.3	2.3	4.7	0.8	3.1	5.5
女性・20代	35	7	4	21	-	9	4	3	1
	100.0	20.0	11.4	60.0	-	25.7	11.4	8.6	2.9
女性・30代	67	57	39	11	1	3	-	3	-
	100.0	85.1	58.2	16.4	1.5	4.5	-	4.5	-
女性・40代	68	51	47	10	5	3	-	1	-
	100.0	75.0	69.1	14.7	7.4	4.4	-	1.5	-
女性・50代	47	39	29	4	2	-	-	1	1
	100.0	83.0	61.7	8.5	4.3	-	-	2.1	2.1
女性・60代以上	137	98	63	5	3	2	1	11	3
	100.0	71.5	46.0	3.6	2.2	1.5	0.7	8.0	2.2

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

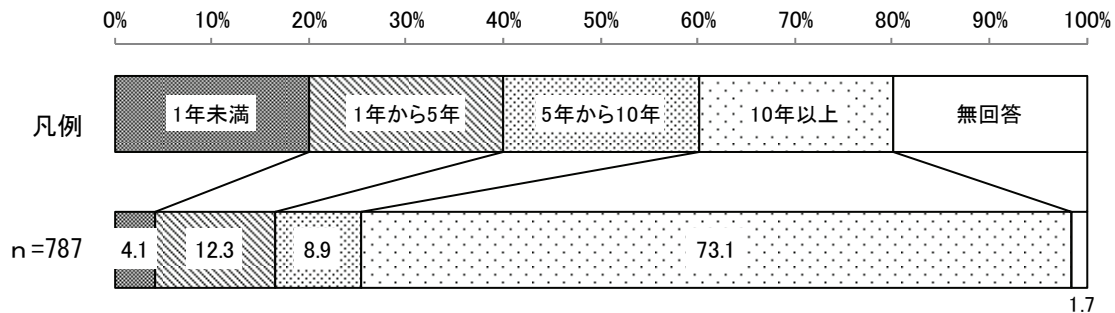
(6) 区内居住年数

問 36 あなたは、板橋区に何年、住んでいますか。板橋区に住んで1年未満の方は0と記入してください。

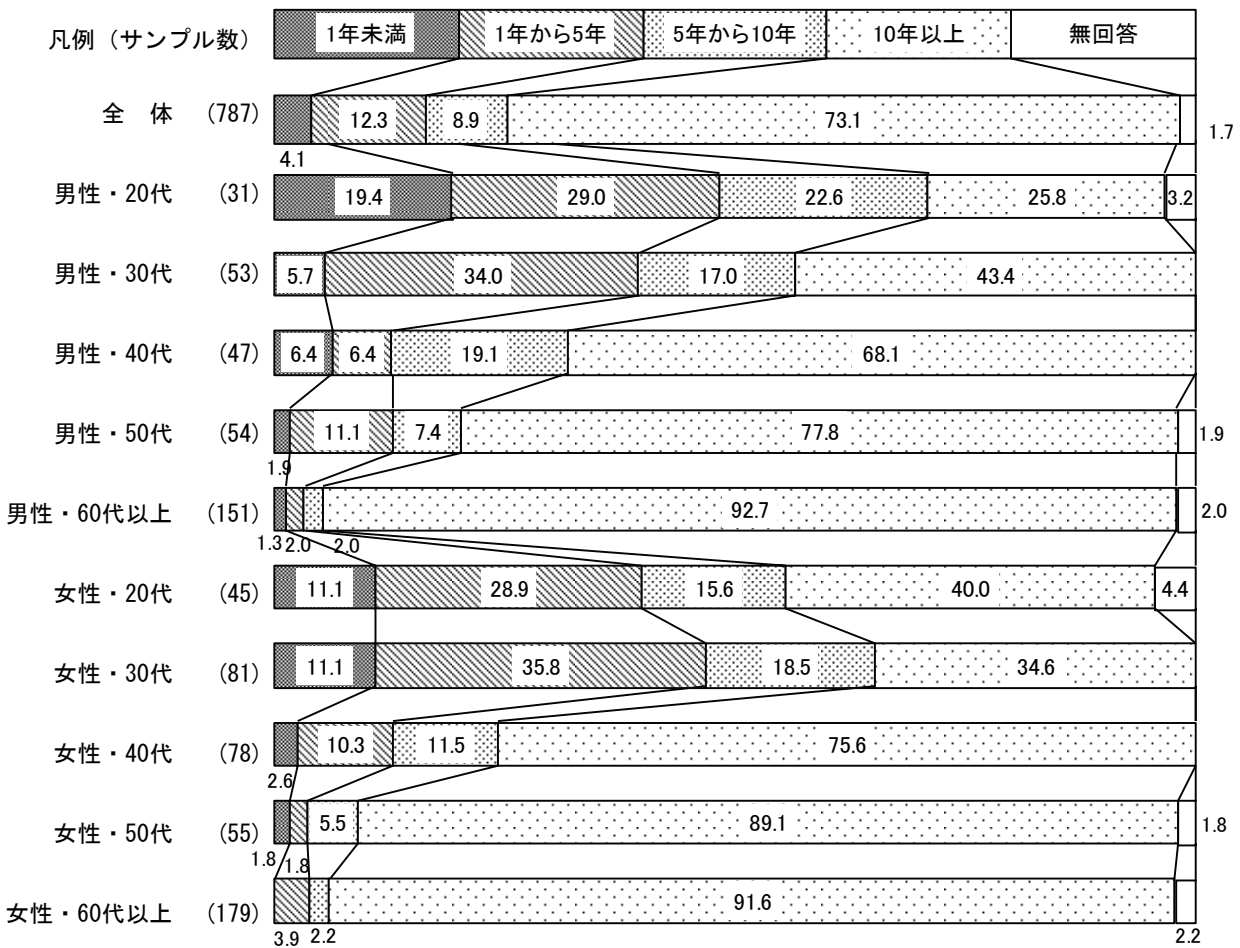
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の区内居住年数は、「10年以上」の割合が最も高く、73.1%となっている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに20、30代において、板橋区に住んでから10年未満の人の割合は5～7割程度となっており、居住年数が短いことがわかる。

図表246 区内居住年数（単数回答）



図表247 男女・年代別区内居住年数（単数回答）



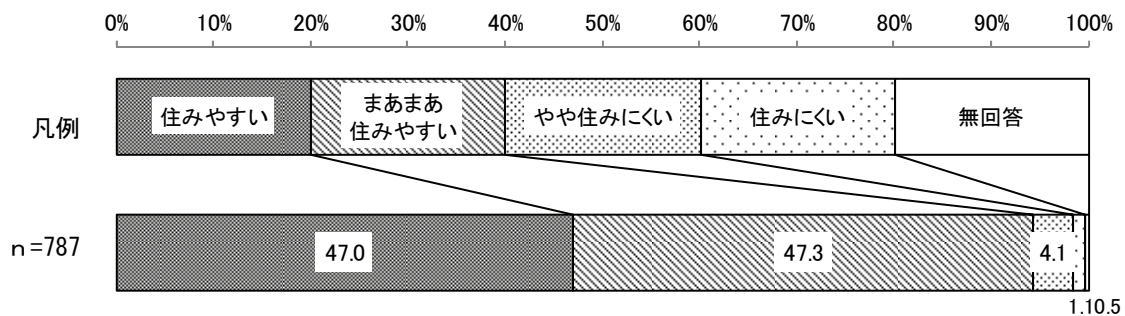
(7) 板橋区の住みやすさ

問 37 あなたにとって、板橋区は住みやすいところだと思いますか。(ひとつだけ○)

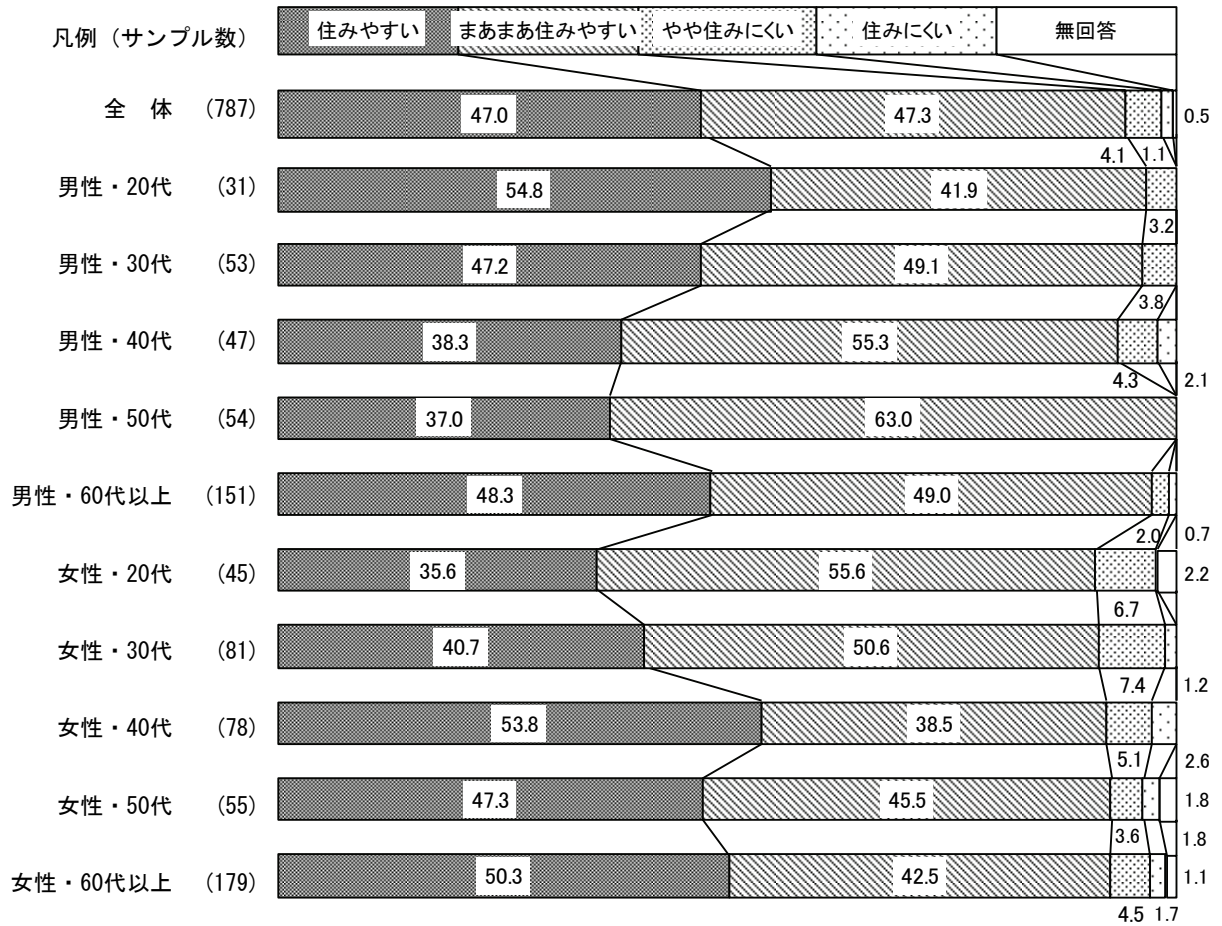
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の板橋区の住みやすさについては、「住みやすい」が 47.0%、「まあまあ住みやすい」が 47.3%で、合わせると9割以上の人が板橋区は住みやすいと答えている。
- ・男女・年代別にみると、男性 20 代、女性 40 代、60 歳以上で「住みやすい」が半数を超えている。また、「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせた割合は、いずれの年代においても9割以上となっている。
- ・外国人とのつきあいの程度別にみると、「住みやすい」の割合は、世間話をする人がいると回答した人で、半数以上となっている。「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせた割合でみると、参考値の個人的なことについて相談できる人がいると回答した人以外では9割以上を占めている。
- ・満 15 歳以下の子どもの有無別にみると、子どもの有無に関わらず、「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせた割合は9割以上となっており、子どもの有無によって有意な差はみられない。
- ・婚歴別にみると、「住みやすい」は、未婚・その他が既婚より 2.9 ポイント高いが、「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせた割合でみると、既婚が未婚・その他を 3.5 ポイント高くなっている。しかし、婚歴による有意な差はみられない。
- ・就業形態別にみると、「住みやすい」の割合は、専業主婦、無職等でのみ半数を超えている。また、「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせた割合は、参考値のその他を除くと、全て9割以上となっている。
- ・居住地域別にみると、「住みやすい」と回答した人の割合は、赤塚地域が 52.6%で最も高くなっている。一方、常盤台地域が 37.9%で最も低くなっている。しかし、「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせた割合は全て9割以上となっている。

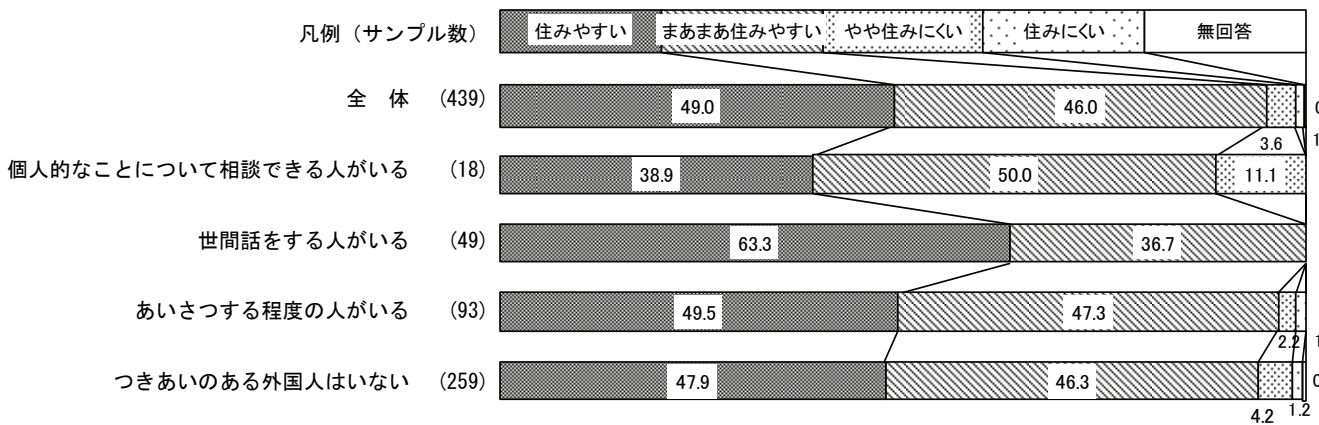
図表248 板橋区の住みやすさ（単数回答）



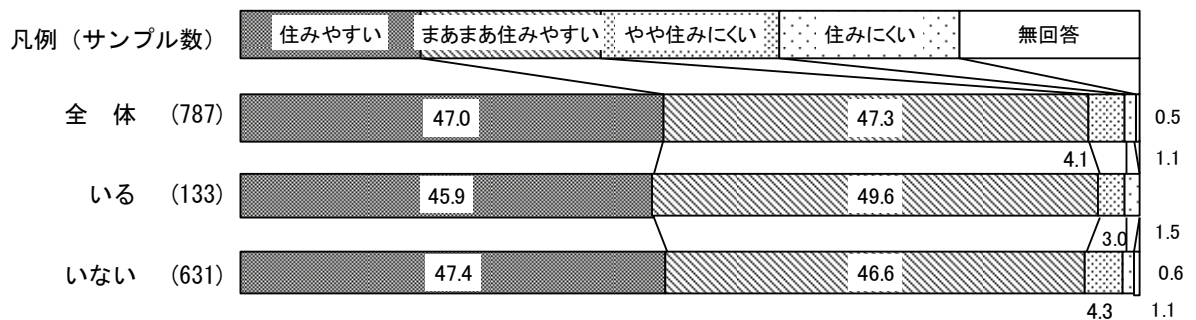
図表249 男女・年代別板橋区の住みやすさ（単数回答）



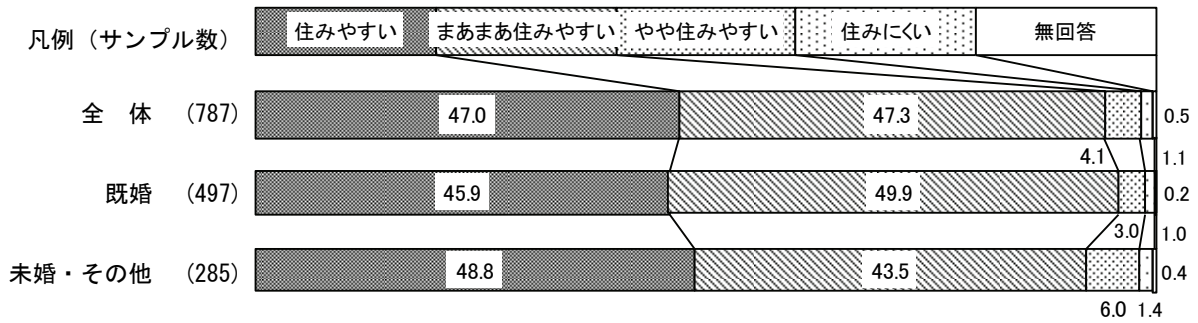
図表250 外国人とのつきあいの程度別板橋区の住みやすさ（単数回答）



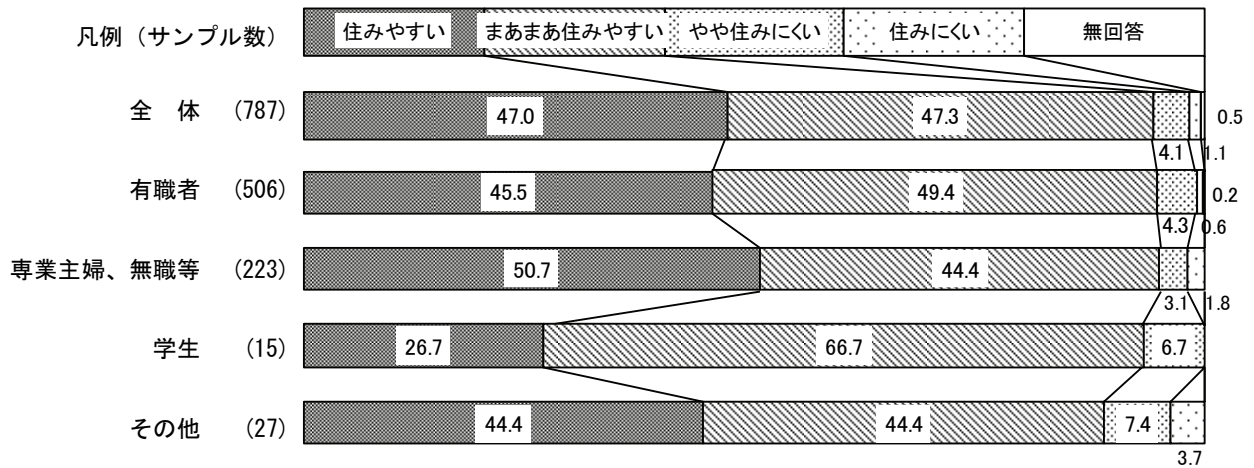
図表251 子どもの有無別板橋区の住みやすさ（単数回答）



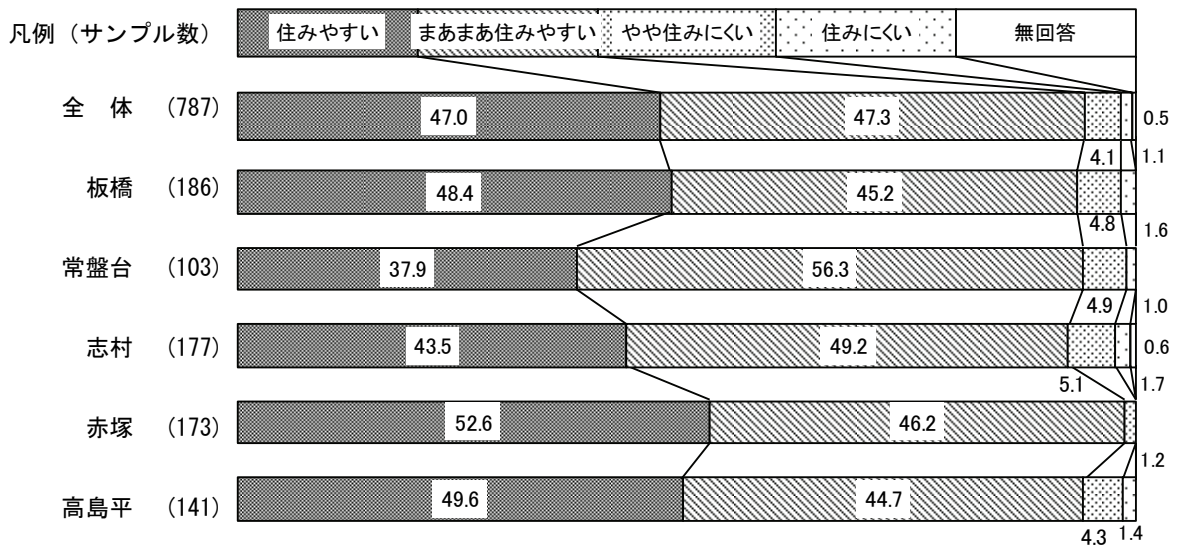
図表252 婚歴別板橋区の住みやすさ（単数回答）



図表253 就業形態別板橋区の住みやすさ（単数回答）



図表254 居住地域別板橋区の住みやすさ（単数回答）



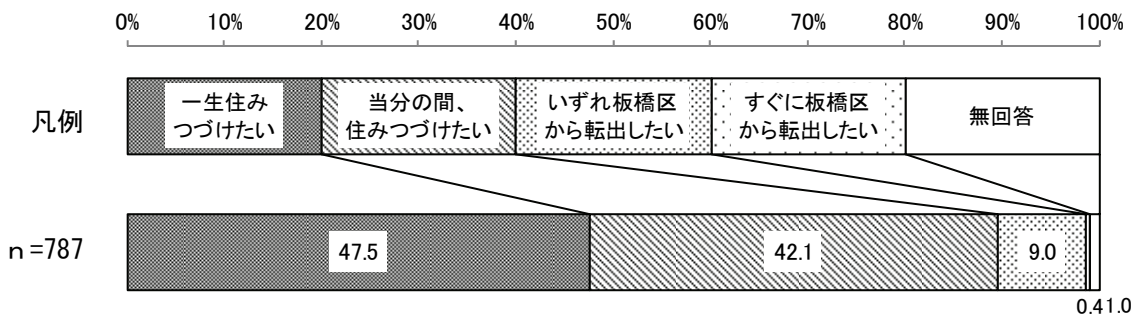
(8) 板橋区での定住意向

問 38 あなたは、今後、どれくらい板橋区に住みつづけたいですか。(ひとつだけ○)

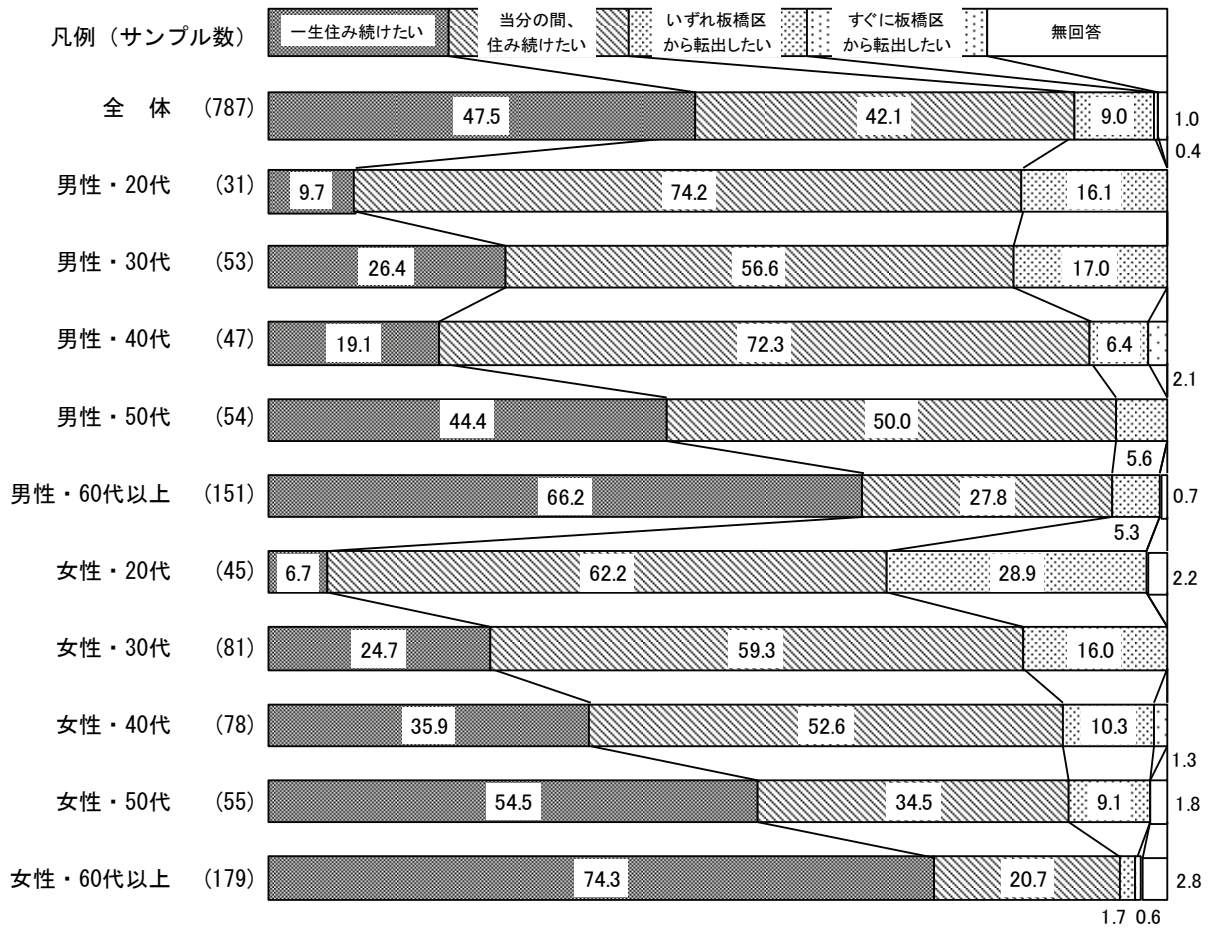
★外国人・日本人 共通設問

- ・回答者の板橋区での定住意向は、「一生住みつづけたい」が 47.5%、「当分の間、住みつづけたい」が 42.1%で、合わせた割合は 89.6%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「一生住みつづけたい」の割合は、女性 50 代以上、男性 60 歳以上で半数を超えている。男性 40 代で低くなるもの、男女ともに年齢が高くなるにつれ、「一生住みつづけたい」と思う割合が高くなる傾向がある。
- ・満 15 歳以下の子どもの有無別にみると、「一生住みつづけたい」は子どもがいる人が 35.3%、子どもがいない人が 49.6%で子どもがいない人が 14.3 ポイント高くなっている。
- ・居住地域別にみると、「一生住みつづけたい」は高島平地域が 56.0%で最も高くなっている。一方、常盤台地域が 42.7%で最も低くなっており 13.3 ポイントの差がある。しかし「一生住みつづけたい」と「当分の間、住みつづけたい」を合わせた割合は全て8割以上となっている。

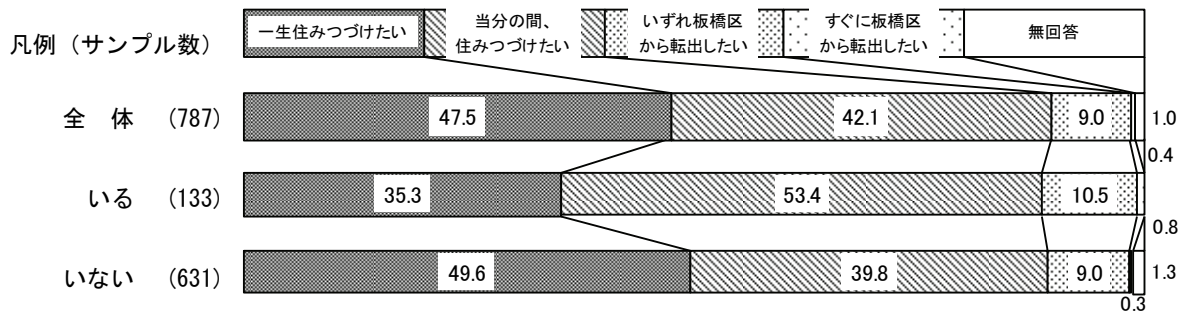
図表255 定住意向（単数回答）



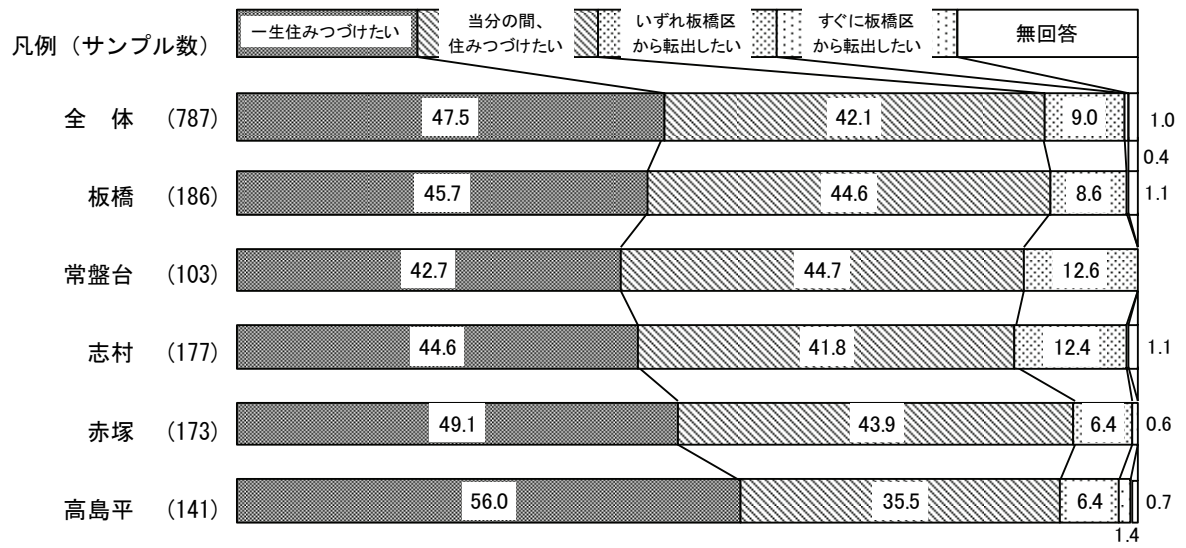
図表256 男女・年代別定住意向（単数回答）



図表257 子どもの有無別定住意向（単数回答）



図表258 居住地域別定住意向（単数回答）



2 ことばについて

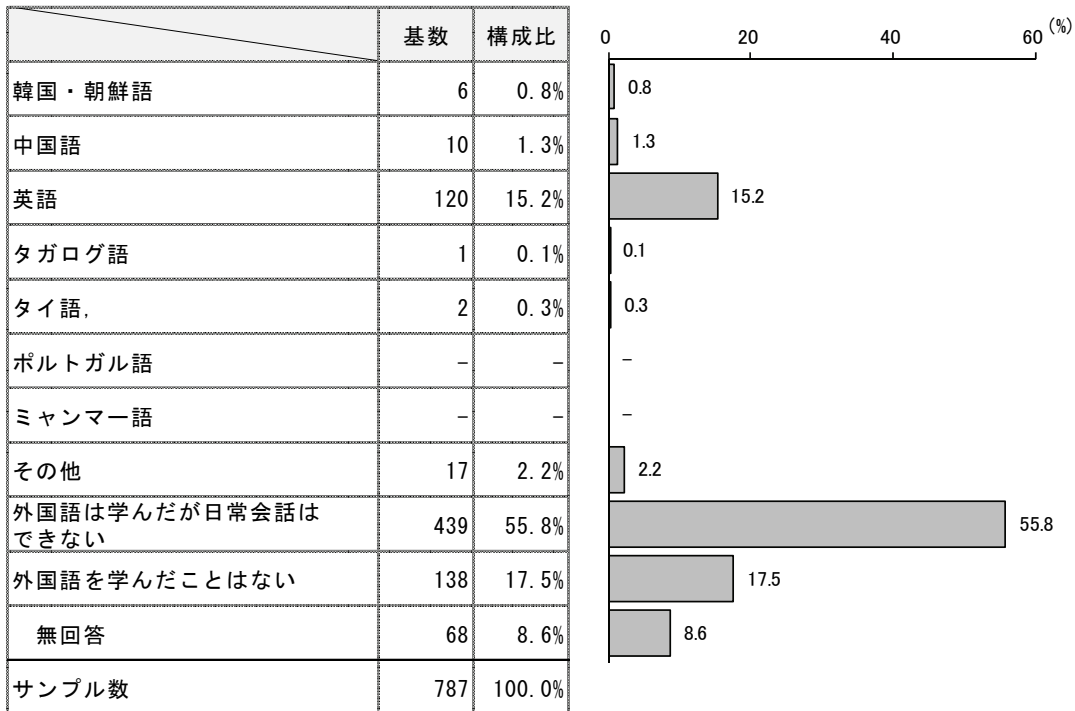
(1) 日常会話のできる外国語

問2 あなたは、日常会話のできる外国語はありますか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

・日常会話のできる外国語については、「英語」が15.2%、次いで「中国語」が1.3%となっているが、「外国語は学んだが日常会話はできない」が55.8%で半数以上を占めている。

図表259 日常会話できる外国語（複数回答）



(2) 日本語教室

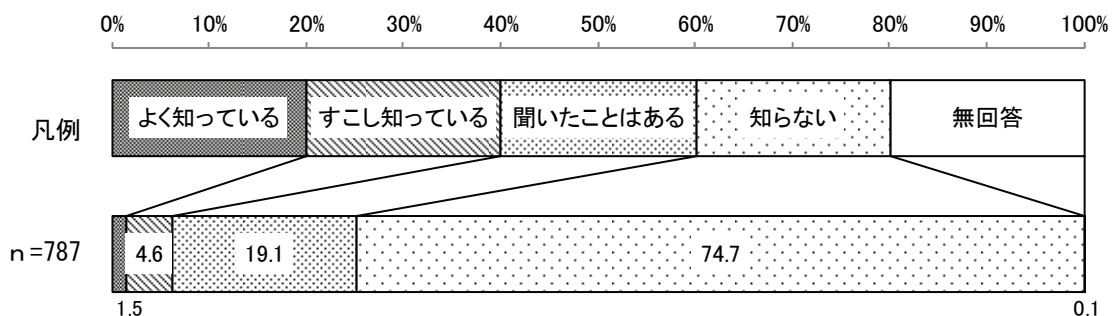
○日本語教室の認知度

問 3 あなたは、外国人向けに、板橋区が主催している日本語教室や、ボランティアによる日本語教室があることを知っていますか。(ひとつだけ○)

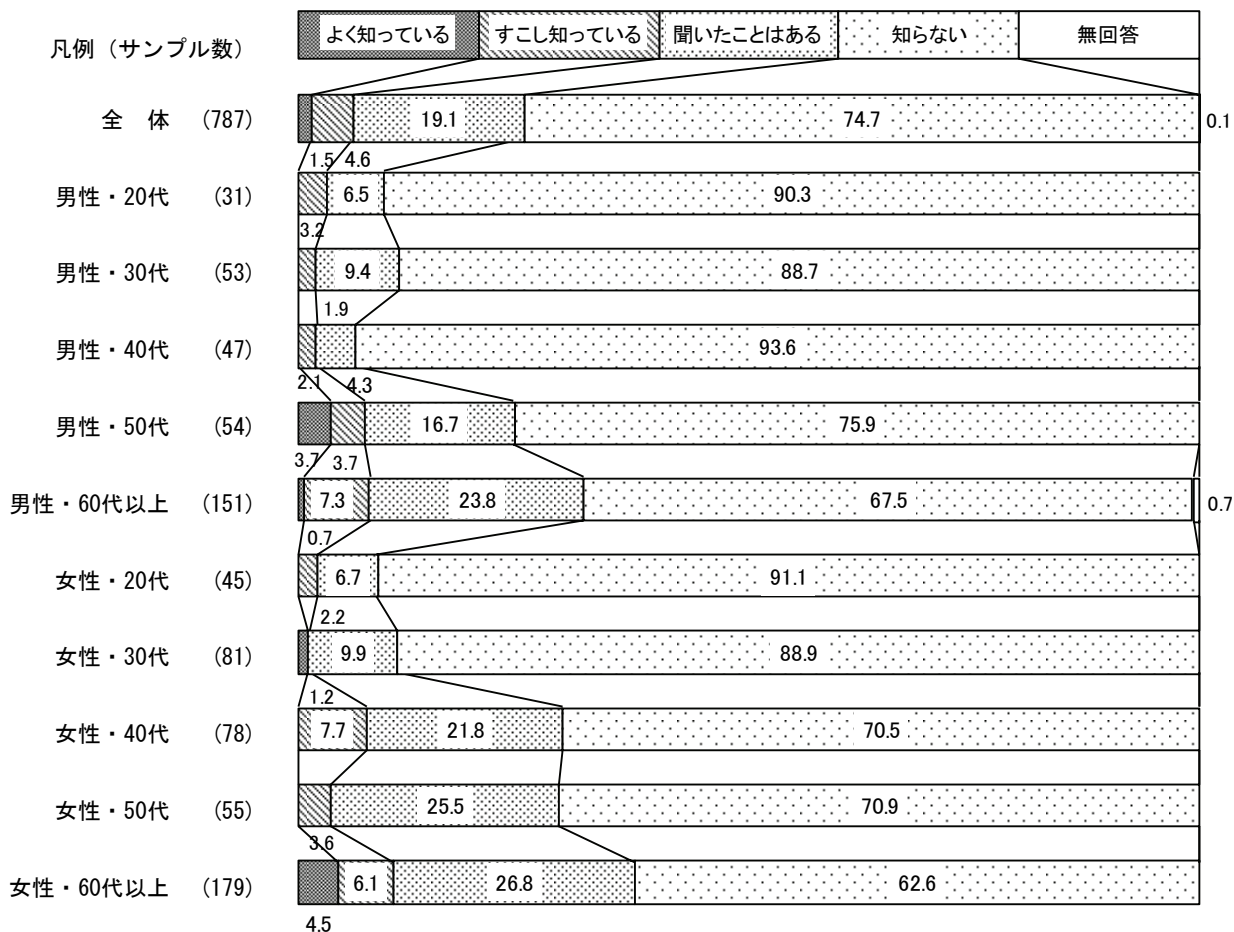
★外国人・日本人 共通設問

- ・日本語教室の認知度は、「よく知っている」が 1.5%、「すこし知っている」が 4.6%、「聞いたことはある」が 19.1%で、合わせると 25.2%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「よく知っている」、「すこし知っている」、「聞いたことはある」を合わせた認知度は、おおむね年齢が上がるにつれ高くなっている。

図表260 日本語教室の認知度（単数回答）



図表261 男女・年代別日本語教室の認知度（単数回答）

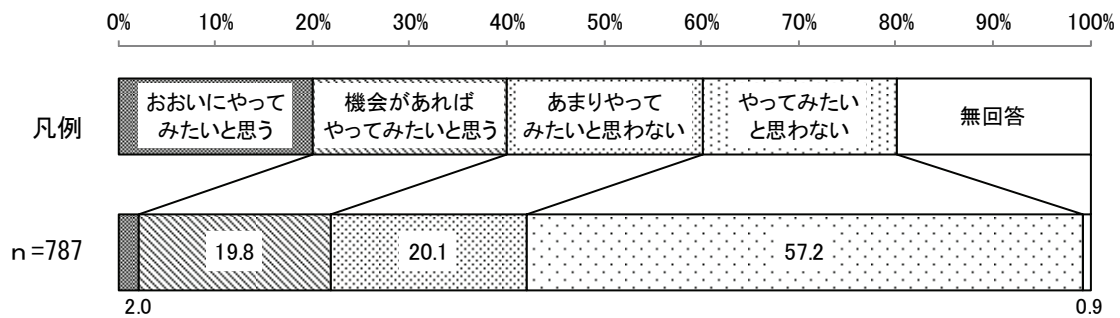


○ボランティア参加意向

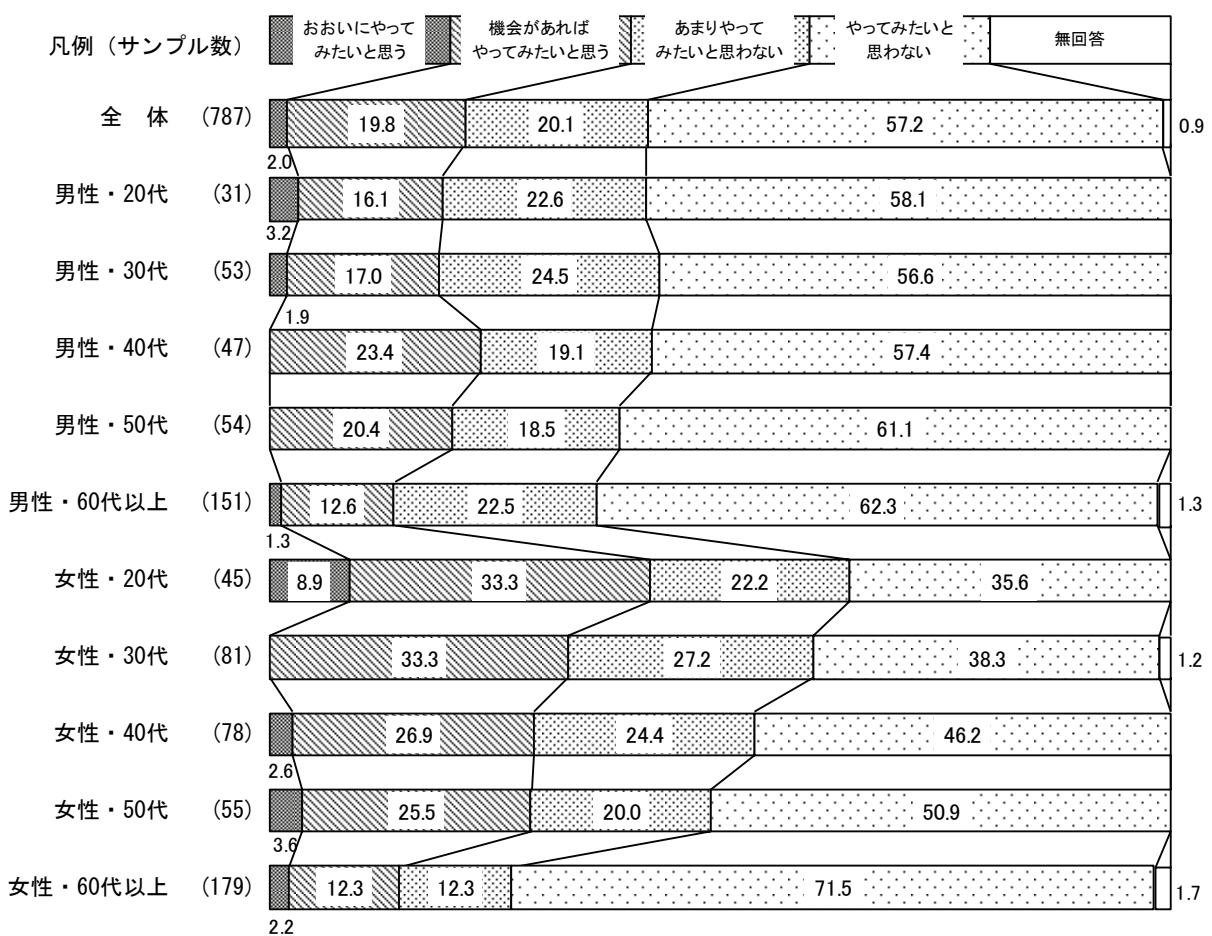
問4 あなたは、外国人向けのボランティアの日本語教師をやりたいと思いますか。
(ひとつだけ○)

- ・ボランティアの日本語教師の参加意向は、「おおいにやってみようと思う」が 2.0%、「機会があればやってみようと思う」が 19.8%で、合わせると 21.8%となっている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに「おおいにやってみようと思う」と「機会があればやってみようと思う」を合わせた割合は、どの年齢代も女性が男性の割合を上回っている。女性は年齢が低いほど割合が高くなっている。

図表262 日本語教室のボランティア参加意向（単数回答）



図表263 男女・年代別ボランティア参加意向（単数回答）



3 地域での生活や活動について

(1) 地域でのつきあいの程度

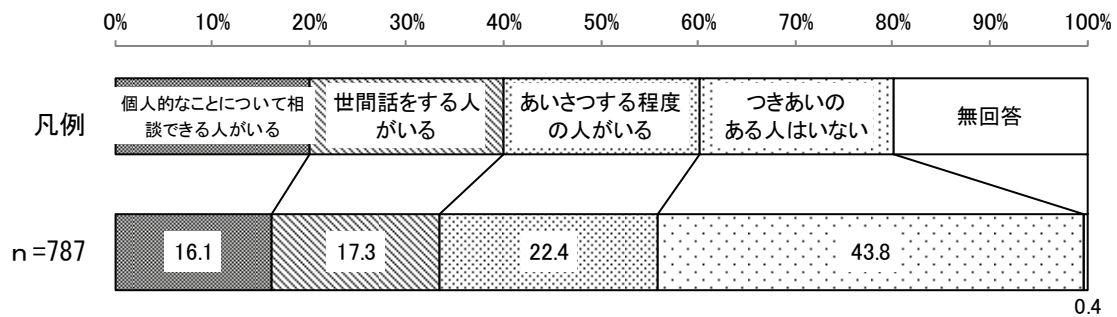
問5 あなたは、現在、住んでいる地域で、国籍を問わず、つきあいのある人はいますか。
(ひとつだけ○)

★外国人・日本人 共通設問

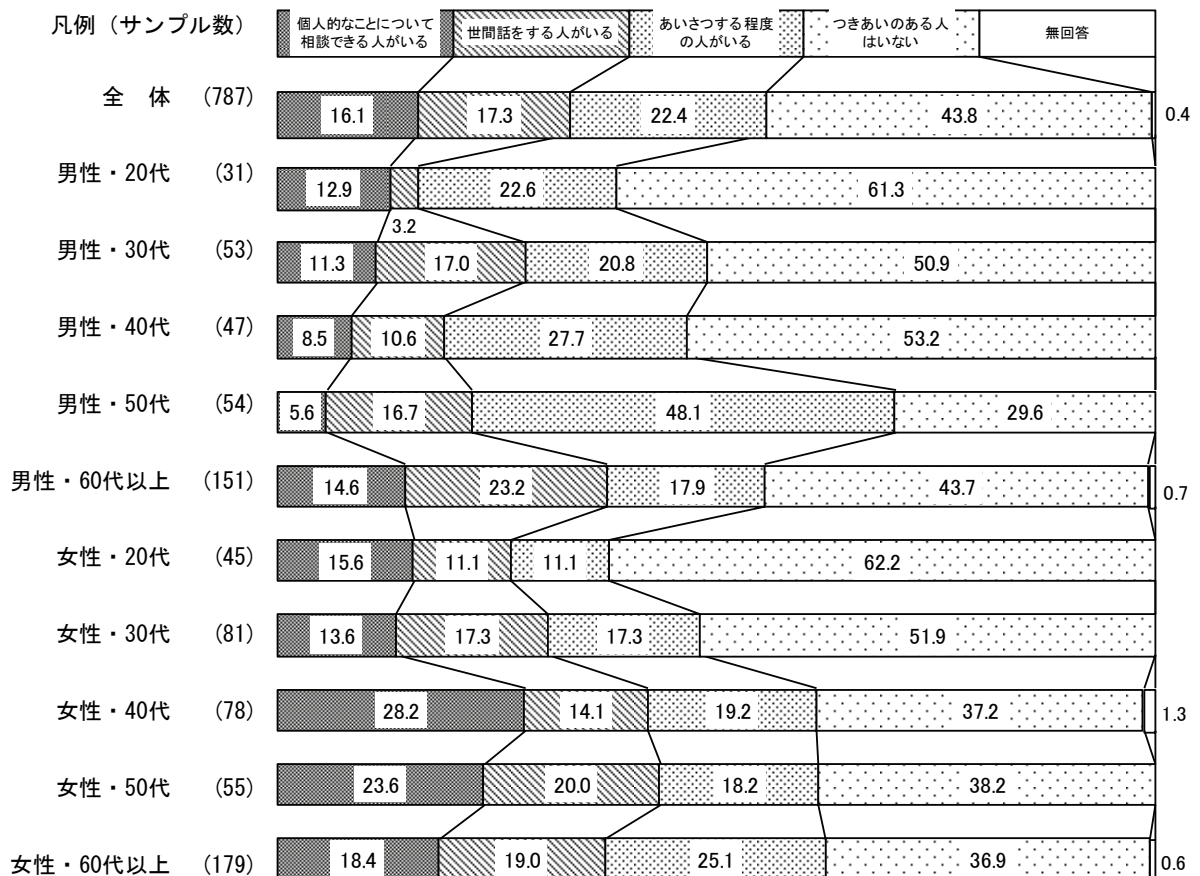
・地域でのつきあいの程度は、「個人的なことについて相談できる人がいる」が 16.1%、「世間話をする人がいる」が 17.3%、「あいさつする程度の人がある」が 22.4%、「つきあいのある人はいない」が 43.8%となっている。

・男女・年代別にみると、「個人的なことについて相談できる人がいる」は、女性 40代が 28.2%で最も高くなっている。しかし、「個人的なことについて相談できる人がいる」、「世間話をする人がいる」、「あいさつをする程度の人がある」を合わせた割合は、男性 50代が 70.4%で7割を超えている。

図表264 地域でのつきあいの程度（単数回答）



図表265 男女・年代別地域でのつきあいの程度（単数回答）



(2) 外国人とのつきあい

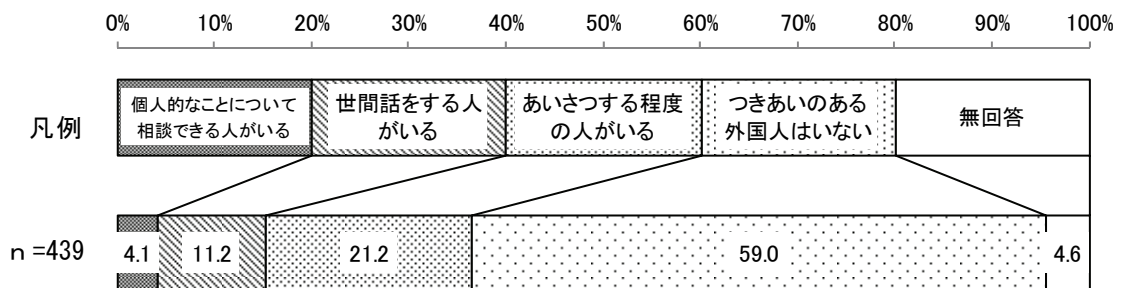
○外国人とのつきあいの程度

問6 問5で1、2、3に回答した方(住んでいる地域で、つきあいのある人)にお聞きします。
 現在、つきあいのある人の中に、外国人はいますか。(ひとつだけ○)

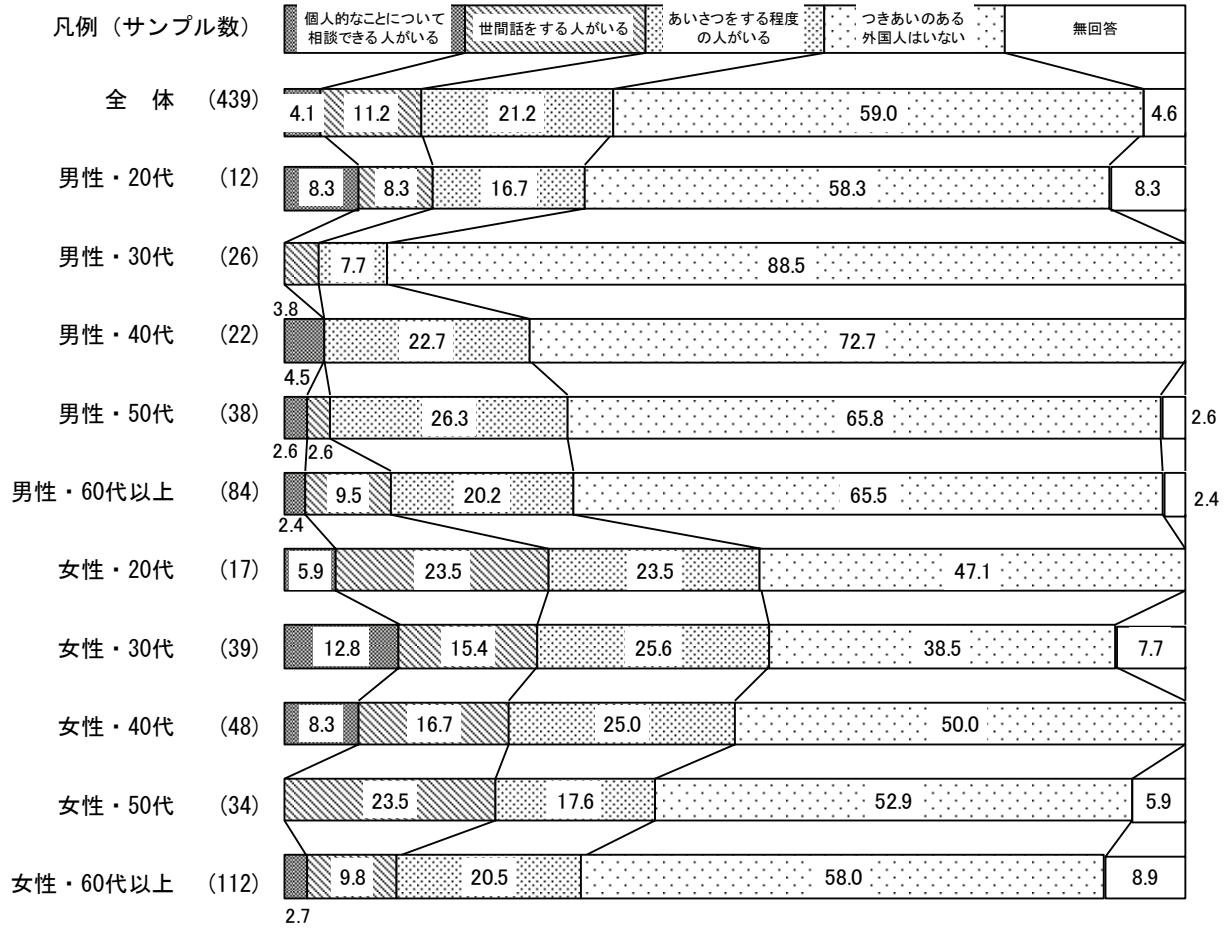
★外国人・日本人 共通設問

- ・地域でのつきあいがあると回答した439人に外国人とのつきあいについて聞いたところ、「個人的なことについて相談できる人がいる」が4.1%、「世間話をする人がいる」が11.2%、「あいさつする程度の人がある」が21.2%、「つきあいのある外国人はいない」が59.0%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「個人的なことについて相談できる人がいる」は女性30代が12.8%で最も高くなっている。「個人的なことについて相談できる人がいる」、「世間話をする人がいる」、「あいさつする程度の人がある」を合わせた割合は、男性は年齢が上がるにつれ高くなっており、逆に女性は概ね年齢が上がるほど低くなっている。
- ・多文化共生の認知度別にみると、「個人的なことについて相談できる人がいる」割合は、認知度が高くなるにつれて高くなっている。「個人的なことについて相談できる人がいる」、「世間話をする人がいる」、「あいさつする程度の人がある」を合わせた割合は、よく知っているで半数を超えている。
- ・就業形態別にみると、「個人的なことについて相談できる人がいる」、「世間話をする人がいる」、「あいさつする程度の人がある」を合わせた割合は、学生、その他の参考値以外では有意な差がみられない。
- ・区内居住年数別にみると、「個人的なことについて相談できる人がいる」、「世間話をする人がいる」、「あいさつする程度の人がある」を合わせた割合は、5年から10年で53.2%と最も高く半数を超えている。
- ・居住地域別にみると、「個人的なことについて相談できる人がいる」、「世間話をする人がいる」、「あいさつする程度の人がある」を合わせた割合は、板橋地域が41.9%で最も高くなっている。一方、常盤台地域が25.8%で最も低くなっている。

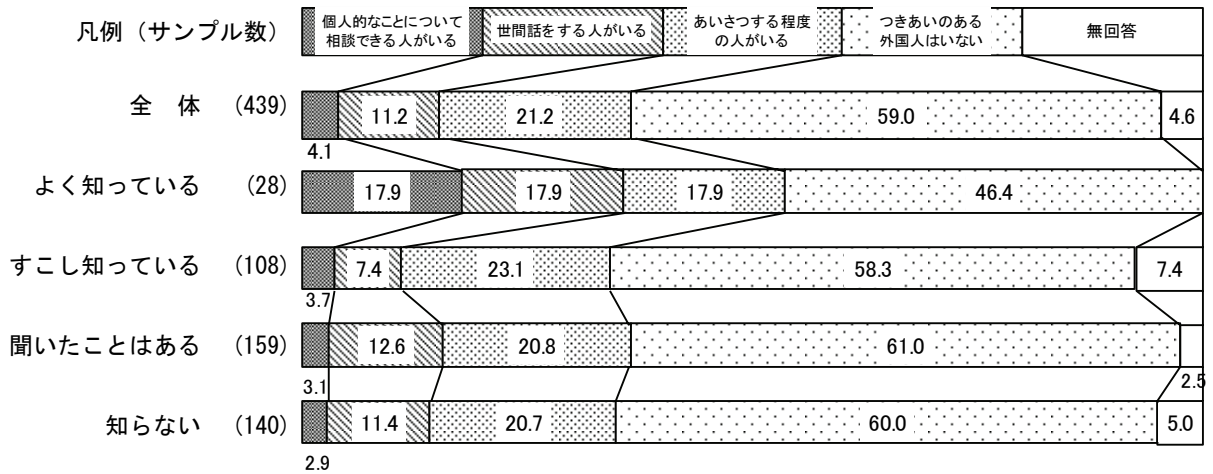
図表266 外国人とのつきあいの程度 (単数回答)



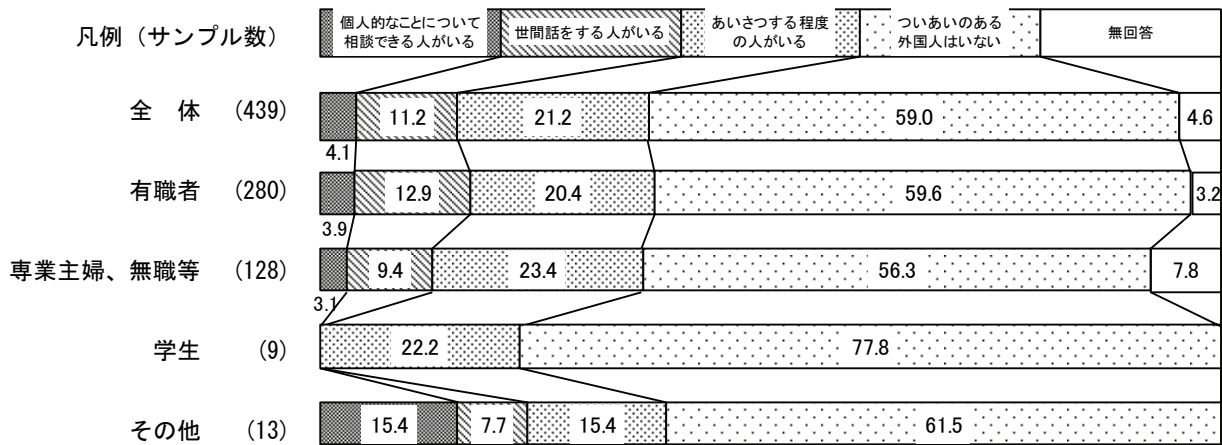
図表267 男女・年代別外国人とのつきあいの程度（単数回答）



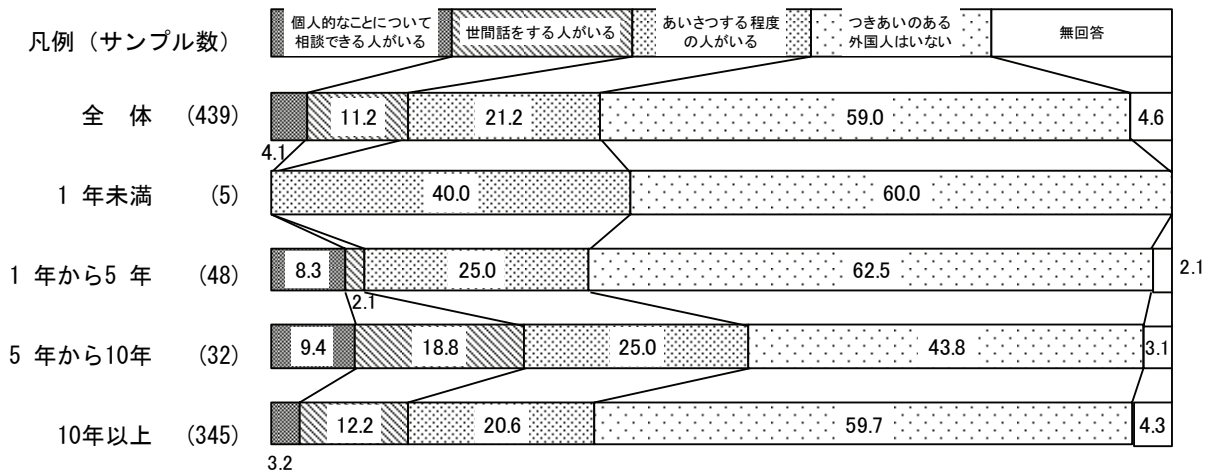
図表268 多文化共生の認知度別外国人とのつきあいの程度（単数回答）



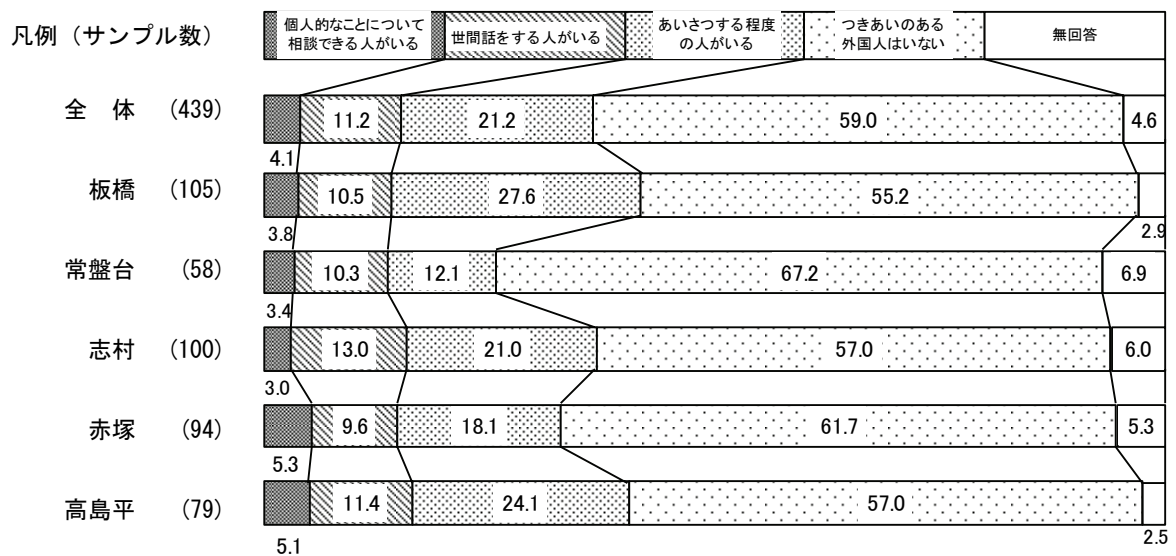
図表269 就業形態別外国人とのつきあいの程度（単数回答）



図表270 区内居住年数別外国人とのつきあいの程度（単数回答）



図表271 居住地域別外国人とのつきあいの程度（単数回答）



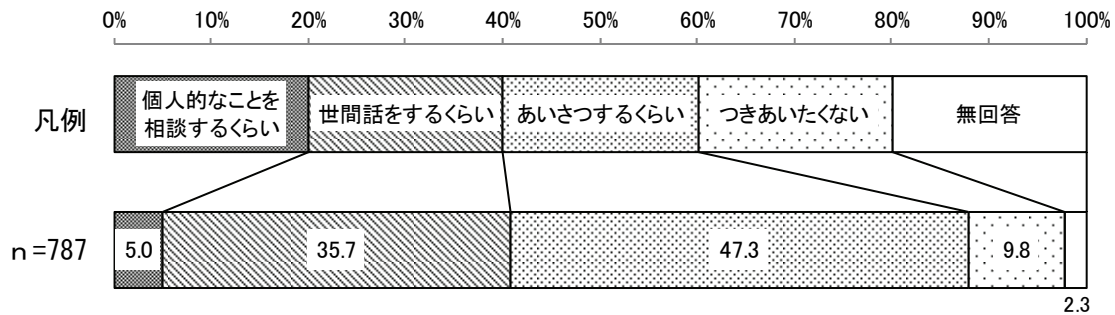
○外国人とのつきあいの意向

問 7 あなたは、今後、住んでいる地域で、外国人とどのくらいつきあいをしたいと思いますか。(ひとつだけ○)

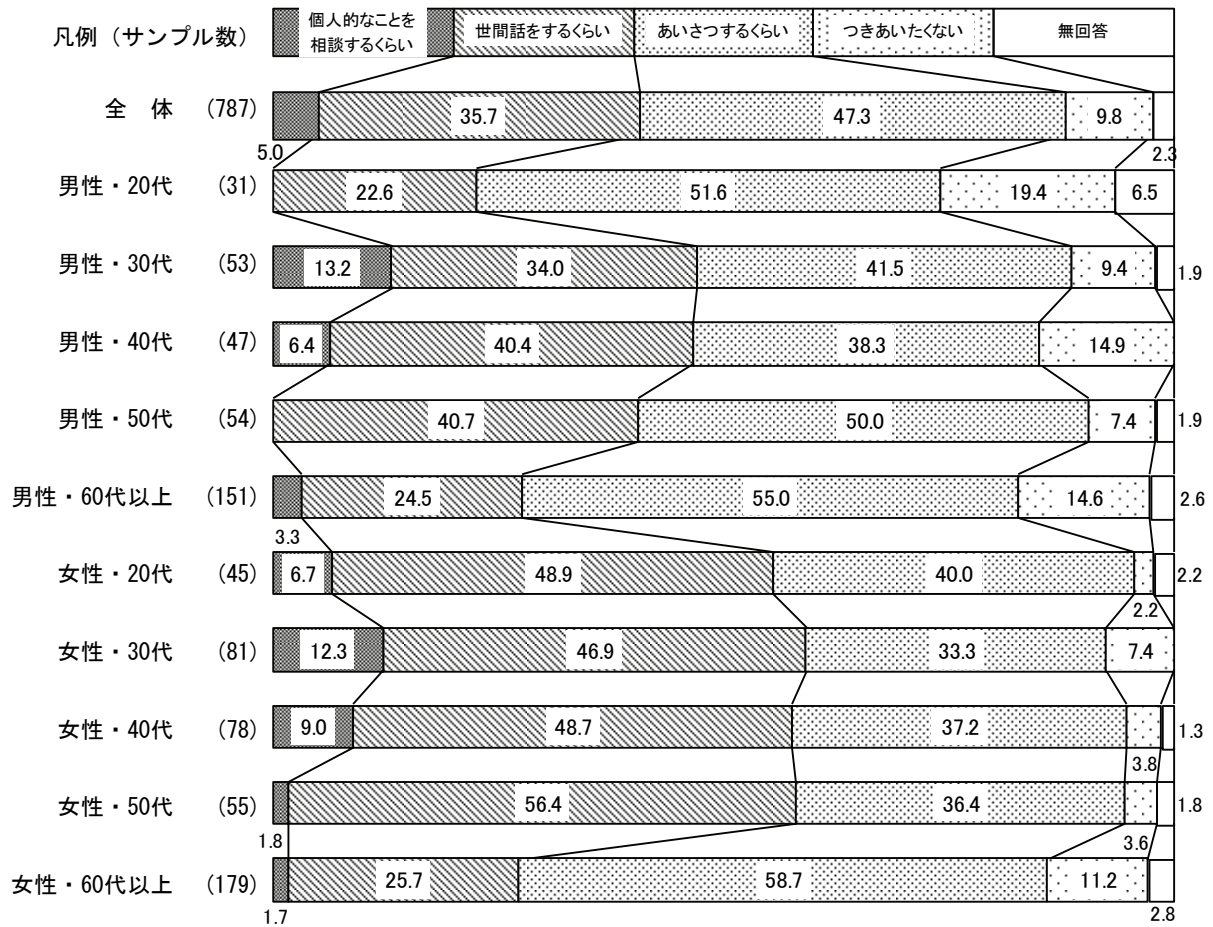
★外国人・日本人 共通設問

- ・今後の外国人とのつきあいの意向は、「個人的なことを相談するくらい」が 5.0%、「世間話をするくらい」が 35.7%、「あいさつするくらい」が 47.3%、「つきあいたくない」が 9.8%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「個人的なことを相談するくらい」と「世間話をするくらい」を合わせた割合は、男女ともに、いずれの年代においても現在の外国人とのつきあい(問 6)の状況を上回っている。特に女性 20～50代で意向が高いことがわかる。
- ・外国人とのつきあいの程度別にみると、つきあいの程度が高いほど「個人的なことを相談するくらい」の割合が高くなっている。
- ・就業形態別にみると、専業主婦、無職等、学生で「あいさつするくらい」が半数を超えている。

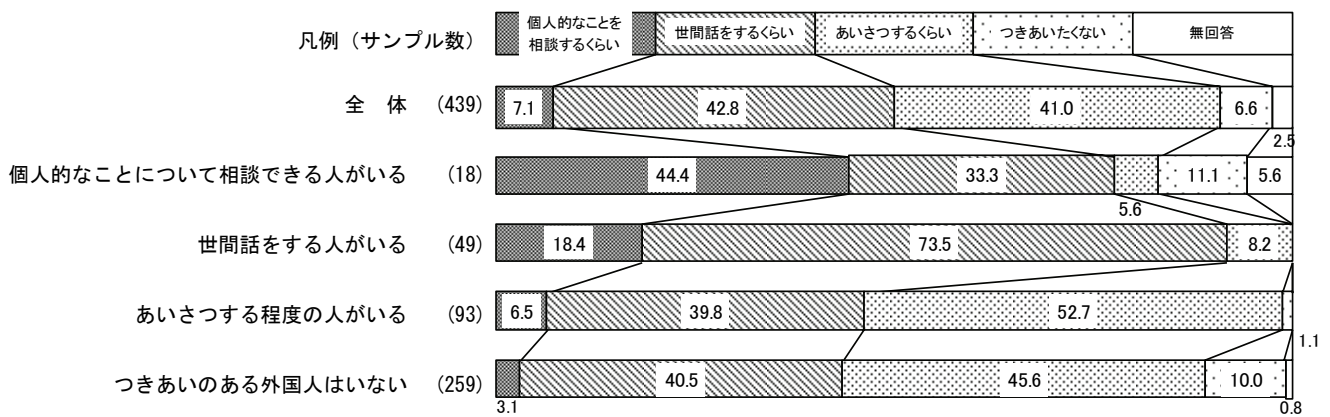
図表272 外国人とのつきあいの意向 (単数回答)



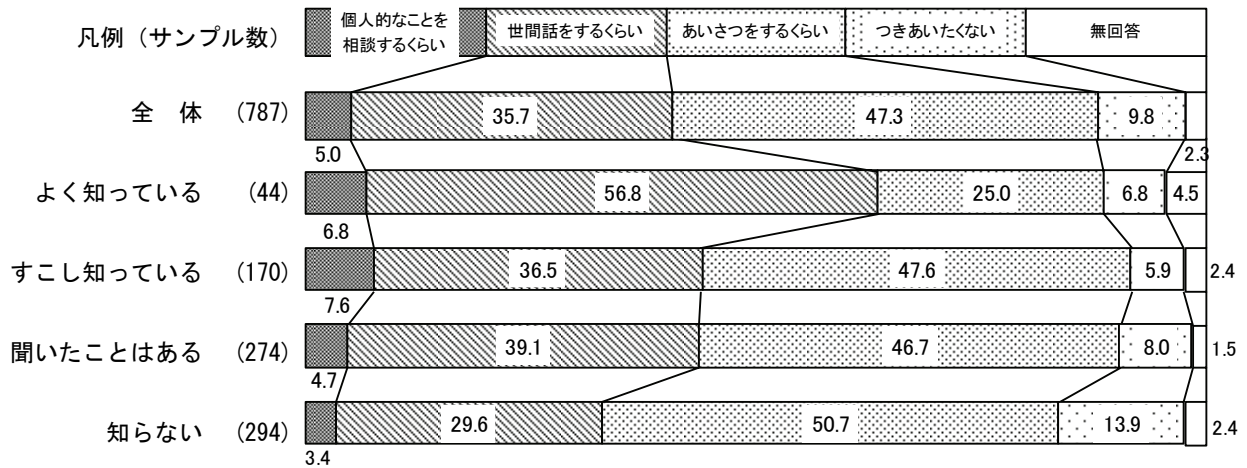
図表273 男女・年代別外国人とのつきあいの意向（単数回答）



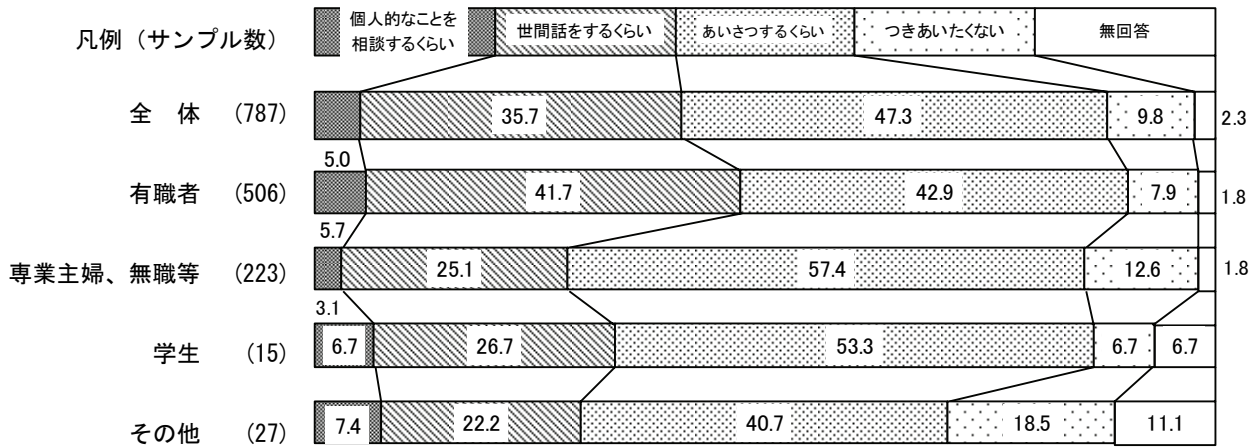
図表274 外国人とのつきあいの程度別外国人とのつきあいの意向（単数回答）



図表275 多文化共生の認知度別外国人とのつきあいの意向（単数回答）



図表276 就業形態別外国人とのつきあいの意向（単数回答）

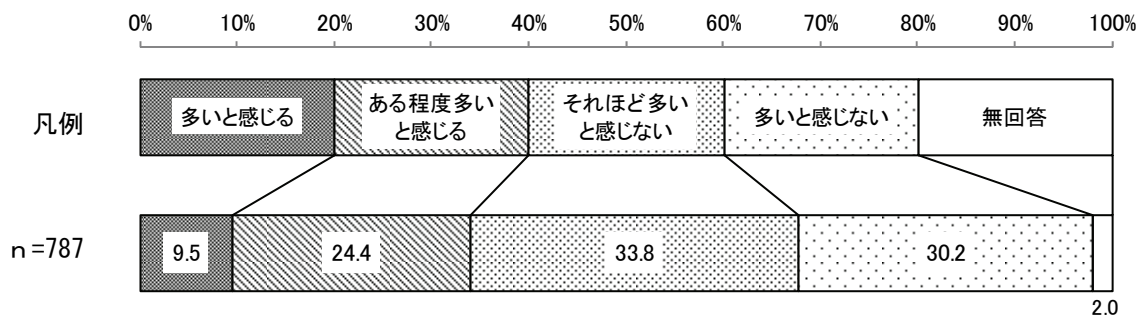


(3) 外国人増加の実感

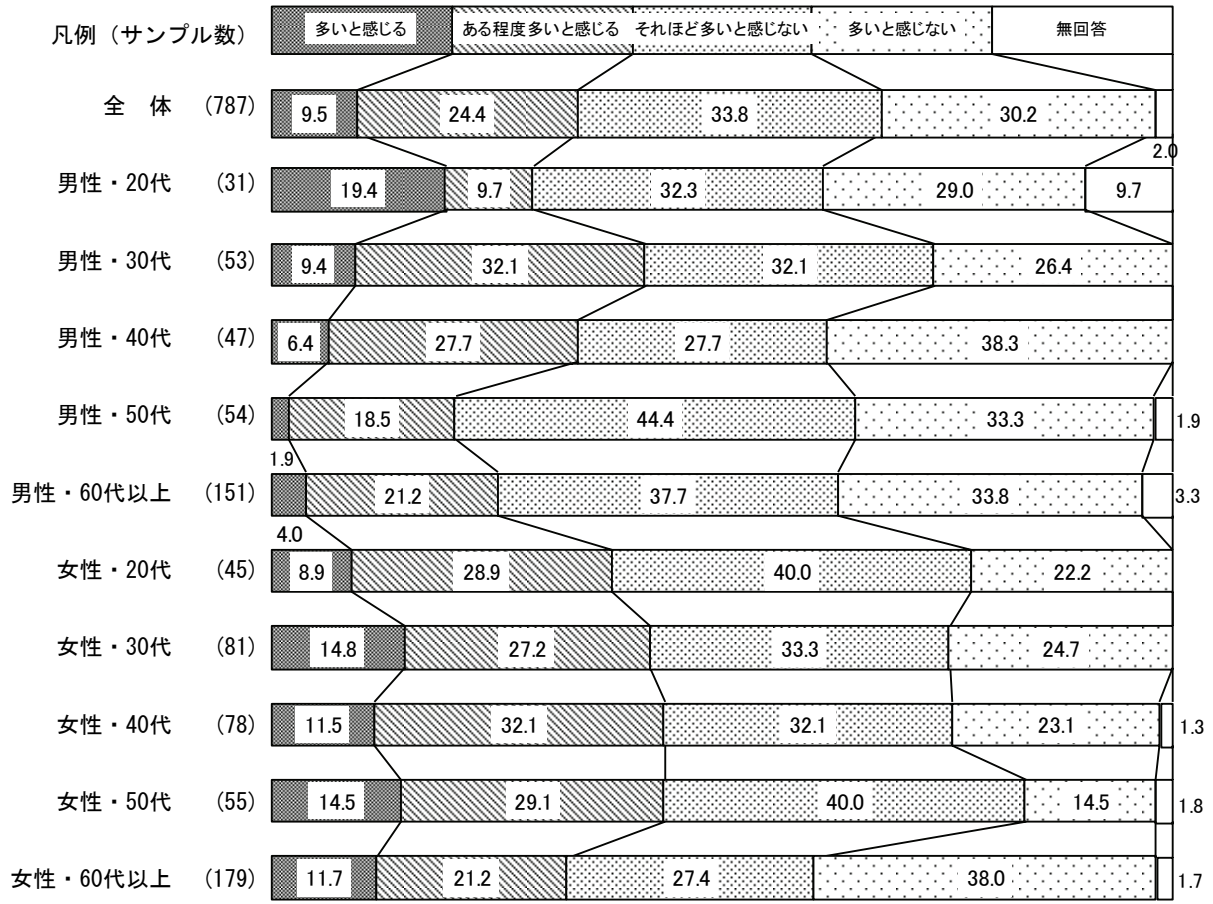
問8 あなたは、現在、住んでいる地域には、外国人の住民が多いと感じますか。
(ひとつだけ○)

- ・外国人の増加の実感は、「多いと感じる」が9.5%、「ある程度多いと感じる」が24.4%、「それほど多いと感じない」が33.8%、「多いと感じない」が30.2%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「多いと感じる」と「ある程度多いと感じる」を合わせた割合は、男性は30代が最も高く4割を超えている。女性は男性と比較して全体的に高い傾向にあり、30～50代で4割を超えている。
- ・外国人とのつきあいの程度別にみると、つきあいのある外国人はいないで「それほど多いと感じない」と「多いと感じない」を合わせた割合は7割を超えて高くなっている。
- ・居住地域別にみると、「多いと感じる」と「ある程度多いと感じる」を合わせた割合は、板橋地域が45.7%、高島平地域が42.6%で高くなっている。

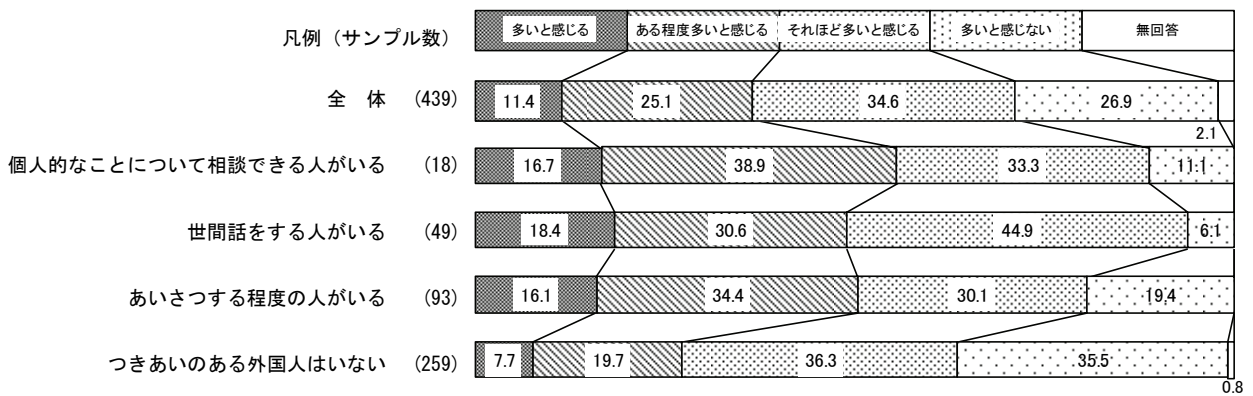
図表277 外国人増加の実感（単数回答）



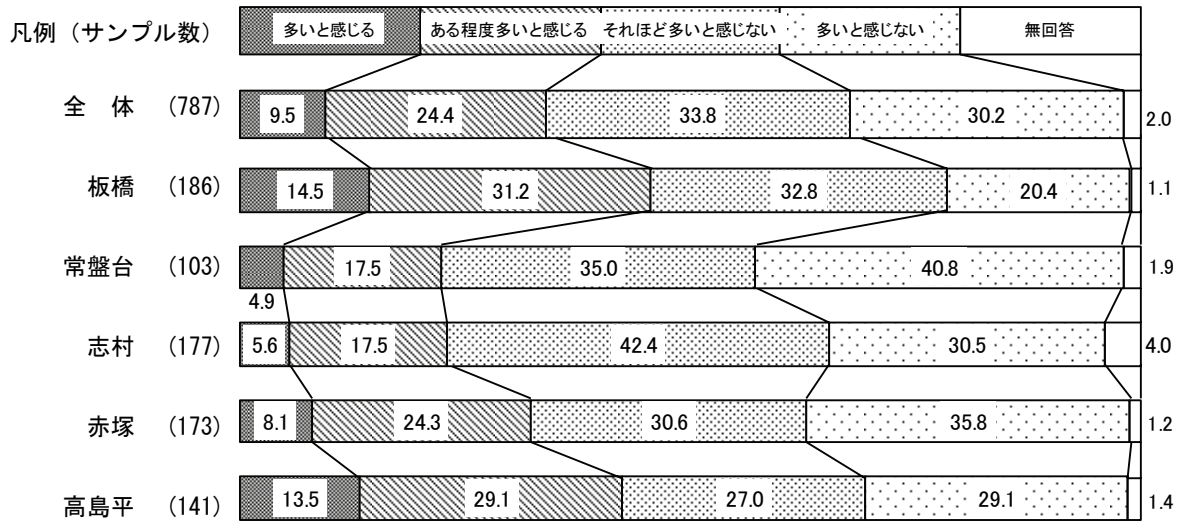
図表278 男女・年代別外国人増加の実感（単数回答）



図表279 外国人とのつきあいの程度別外国人増加の実感（単数回答）



図表280 居住地域別外国人増加の実感（単数回答）



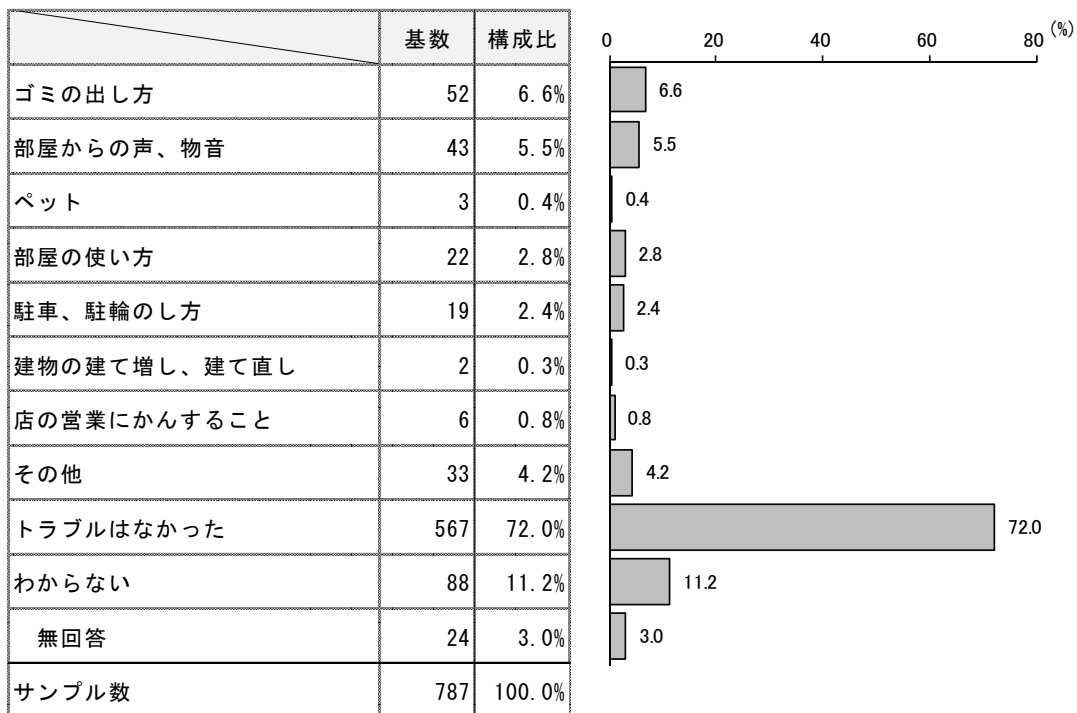
(4) 外国人とのトラブル

問9 あなたは、今までに地域の外国人との間で、どのようなトラブルを経験しましたか。
(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・外国人とのトラブルは、「トラブルはなかった」が72.0%で最も高いが、具体的なトラブルとしては、「ゴミの出し方」が最も高く6.6%、次いで「部屋からの声、物音」が5.5%の順になっている。
- ・居住形態別にみると、「トラブルはなかった」は、集合住宅が一戸建てと比較して3.8ポイント高く、一戸建てのほうがややトラブルがあることがわかる。

図表281 外国人とのトラブル（複数回答）



図表282 居住形態別外国人とのトラブル（複数回答）

	調査数	ゴミの出し方	部屋からの声、物音	ペット	部屋の使い方	駐車、駐輪のし方	直建物の建て増し、建て直し	と店の営業にかんすること	その他	トラブルはなかった	わからない	無回答
全体	787	52	43	3	22	19	2	6	33	567	88	24
	100.0	6.6	5.5	0.4	2.8	2.4	0.3	0.8	4.2	72.0	11.2	3.0
一戸建て	288	25	18	1	8	7	1	2	12	200	33	9
	100.0	8.7	6.3	0.3	2.8	2.4	0.3	0.7	4.2	69.4	11.5	3.1
集合住宅	493	27	25	2	14	12	1	4	21	361	55	15
	100.0	5.5	5.1	0.4	2.8	2.4	0.2	0.8	4.3	73.2	11.2	3.0
その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

(5) 地域活動

○地域活動

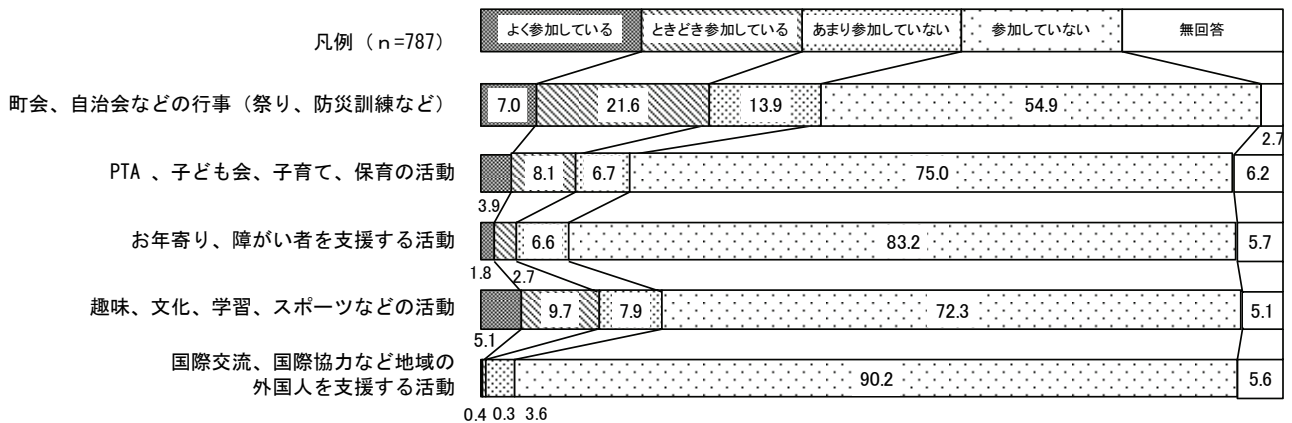
問 10 あなたは、以下の地域の活動に参加していますか。

(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

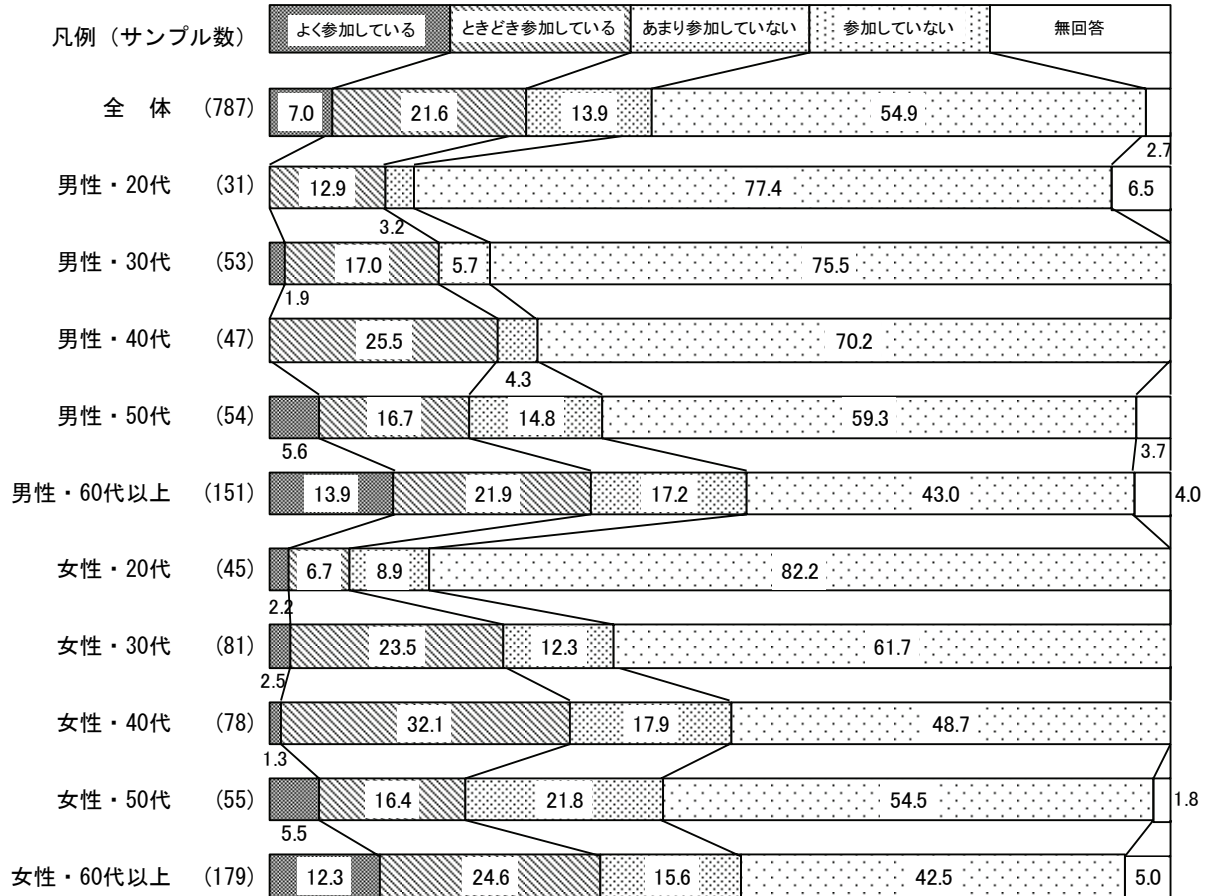
★外国人・日本人 共通設問

- ・地域活動の参加状況は、〈町会、自治会などの行事〉に「よく参加している」または「ときどき参加している」と解答した人の割合は 28.6%。同様に〈PTA などの活動〉は 12.0%、〈お年寄りなどの支援活動〉は 4.5%、〈趣味などの活動〉は 14.8%、〈国際交流などの活動〉は 0.7%となっている。
- ・男女・年代別にみると、〈町会、自治会などの行事〉は、男性は年齢が上がるにつれ参加率が高くなる傾向がある。女性も年齢が上がるにつれ参加率が高くなっているが、40代と60歳以上がその他の年齢と比較して、高くなっている。〈PTA などの活動〉は、男女ともに40代が高くなっており、子育て世代で参加率が高いことがわかる。〈お年寄りなどの支援活動〉は、全体的に参加率が低い、大きな違いはみられない。〈趣味などの活動〉は、男女ともに60歳以上が最も高く、年齢が上がるにつれ参加率が高くなる傾向がある。〈国際交流などの活動〉は、男性50代、60歳以上、女性60歳以上を除くと「参加していない」が9割以上となっている。
- ・就業形態別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、〈町会、自治会などの行事〉が専業主婦、無職等で31.4%、〈PTA などの活動〉は有職者で14.4%、〈お年寄りなどの支援活動〉は専業主婦、無職等が8.5%、〈趣味などの活動〉は専業主婦、無職等が18.4%で最も高くなっている。〈国際交流などの活動〉は「参加していない」がどの就業形態においても8割を超えている。

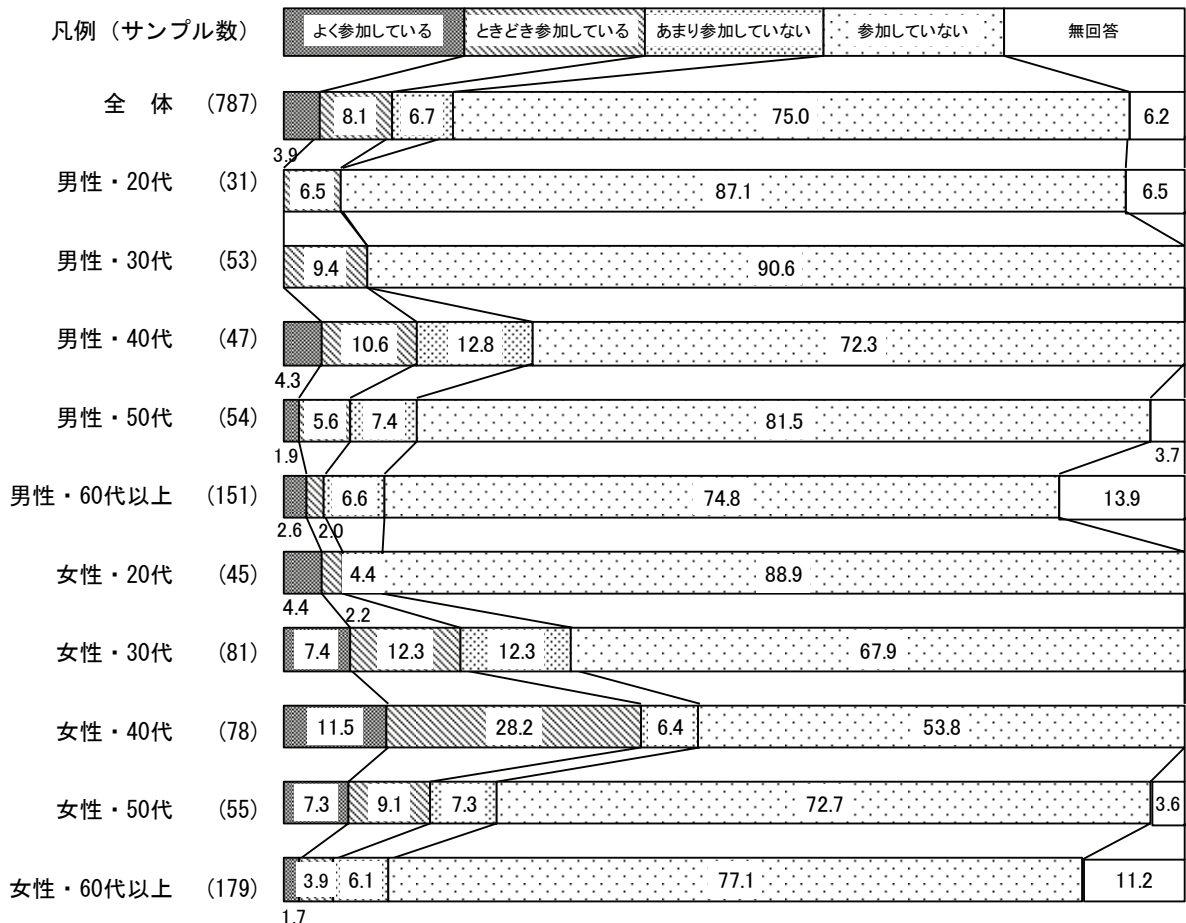
図表283 地域活動（単数回答）



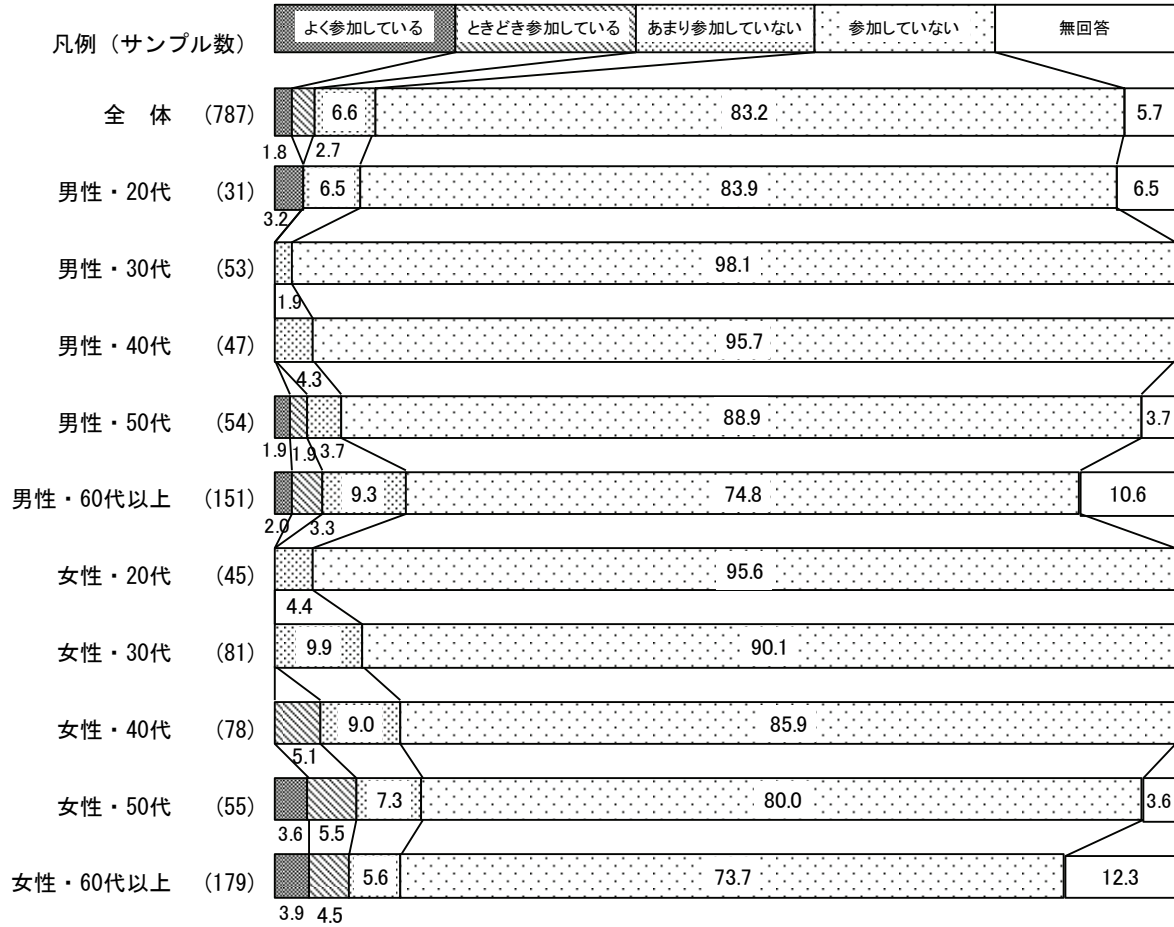
図表284 男女・年代別町会、自治会などの行事（単数回答）



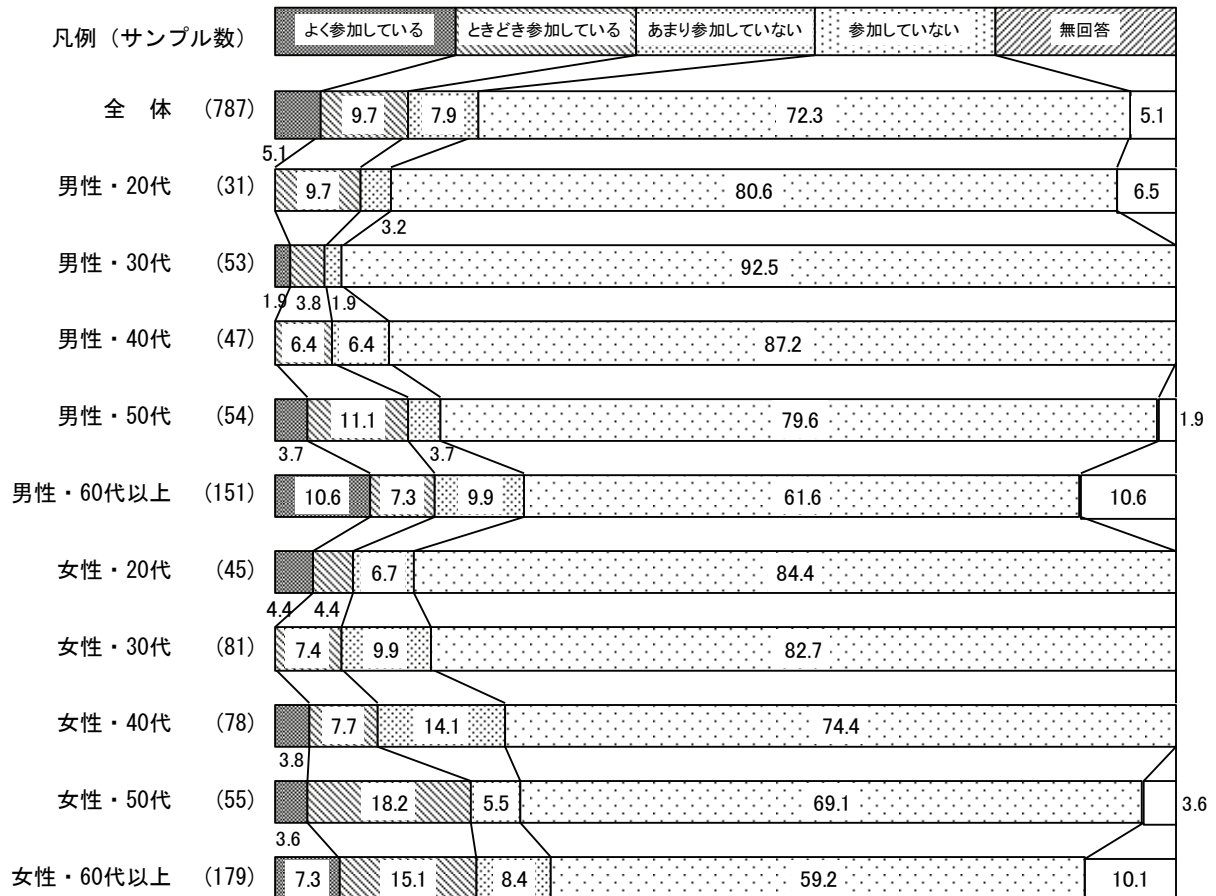
図表285 男女・年代別PTA、子ども会、子育て、保育の活動（単数回答）



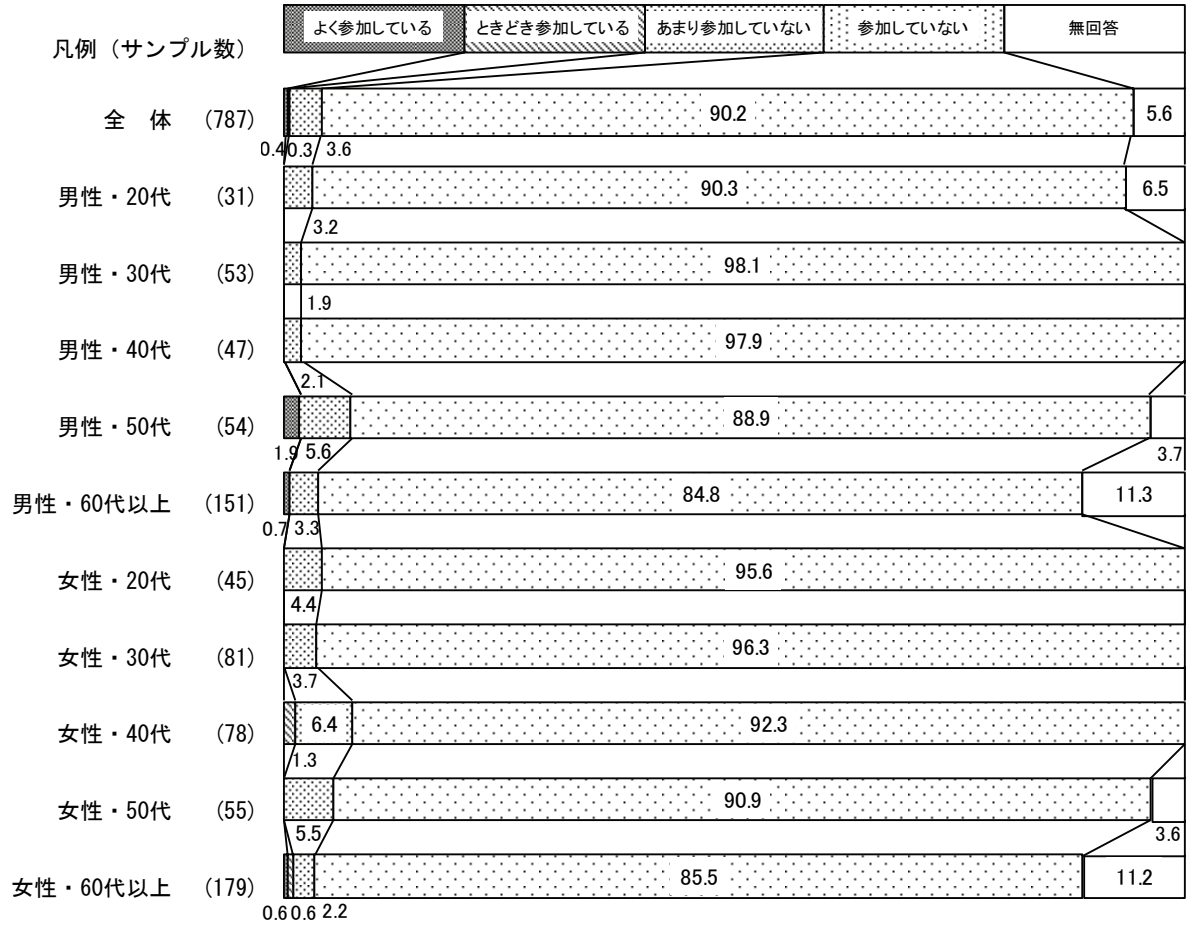
図表286 男女・年代別お年寄り、障がい者を支援する活動（単数回答）



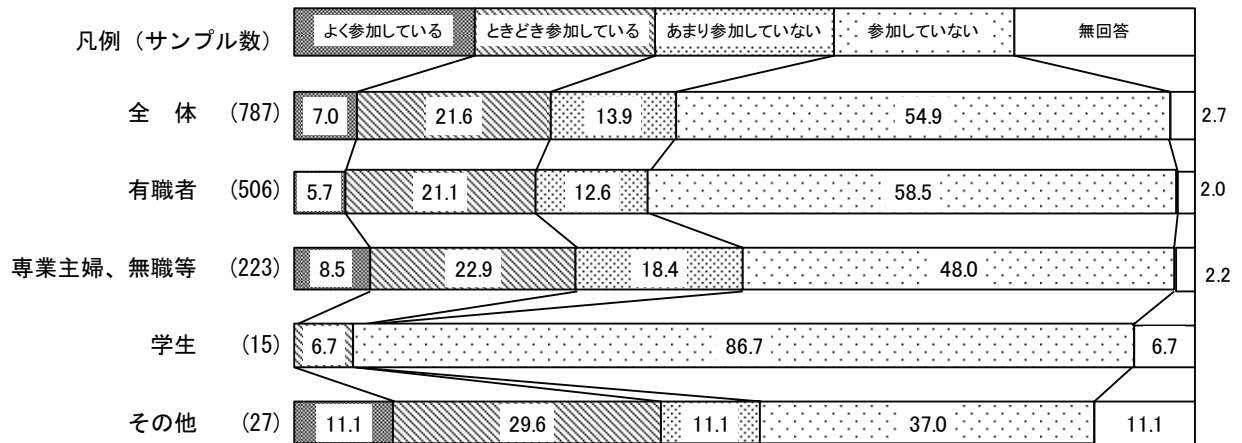
図表287 男女・年代別趣味、文化、学習、スポーツなどの活動（単数回答）



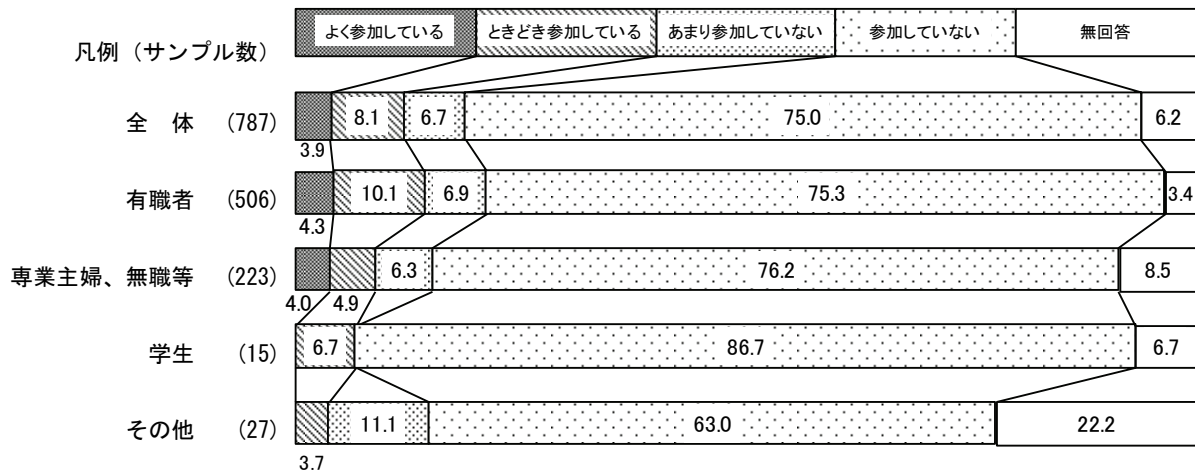
図表288 男女・年代別国際交流、国際協力など地域の外国人を支援する活動（単数回答）



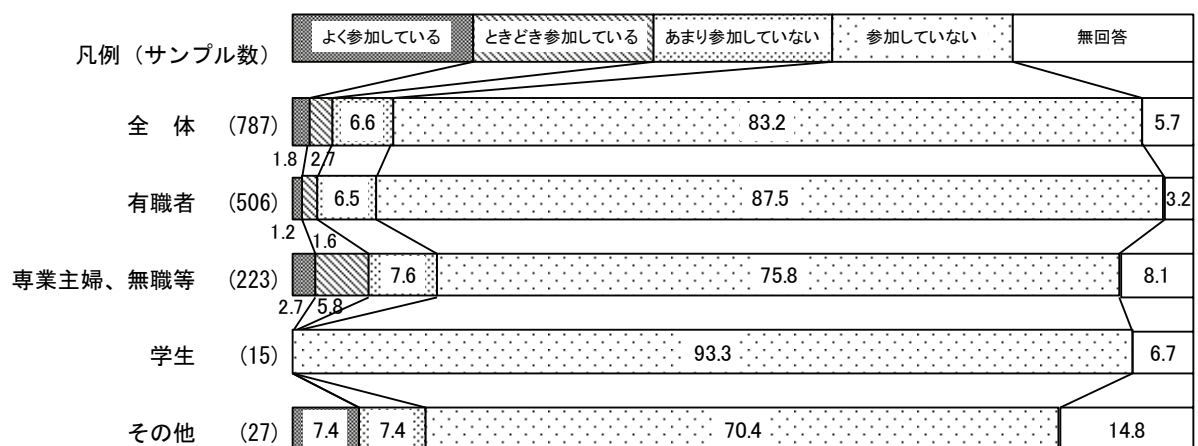
図表289 就業形態別町会、自治会などの行事（単数回答）



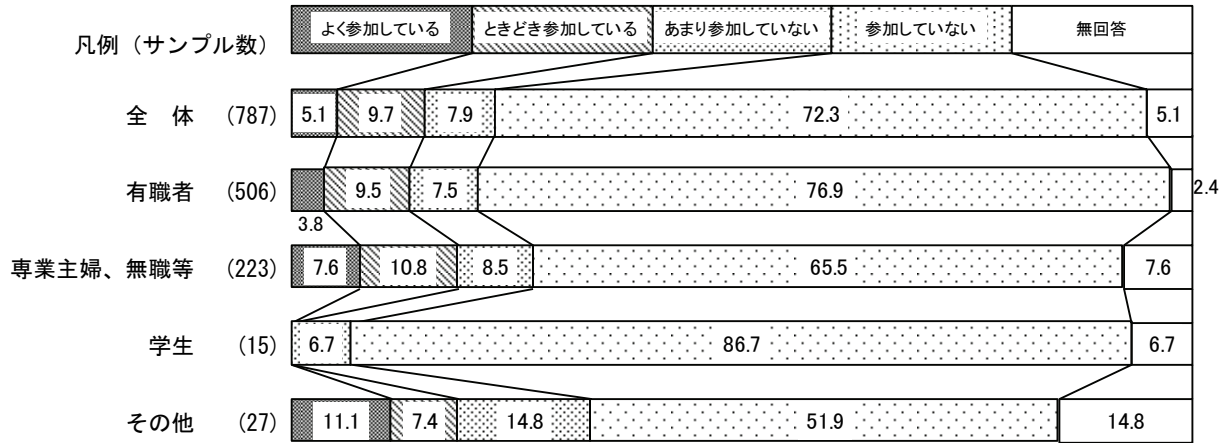
図表290 就業形態別PTA、子ども会、子育て、保育の活動（単数回答）



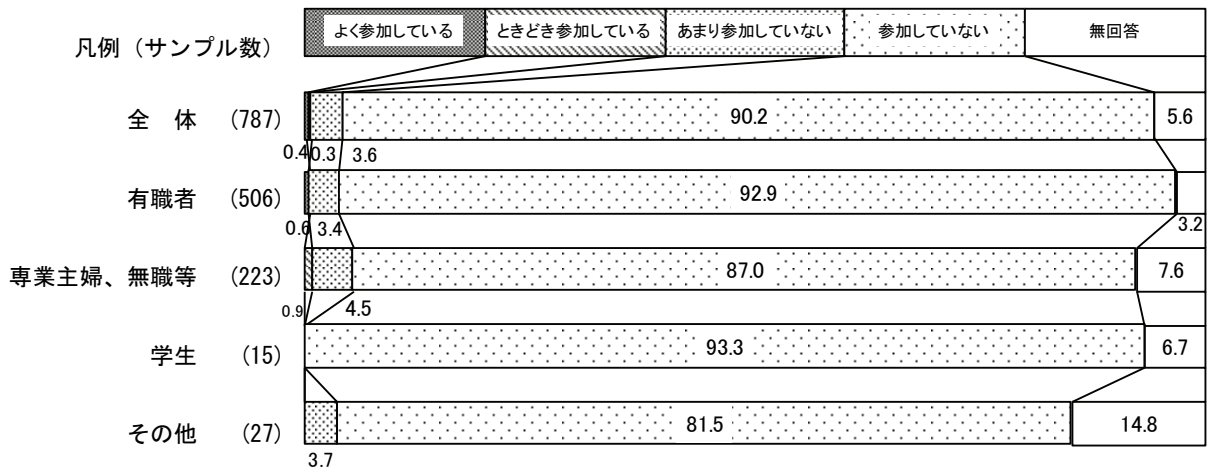
図表291 就業形態別お年寄り、障がい者を支援する活動（単数回答）



図表292 就業形態別趣味、文化、学習、スポーツなどの活動（単数回答）



図表293 就業形態別国際交流、国際協力など地域の外国人を支援する活動（単数回答）



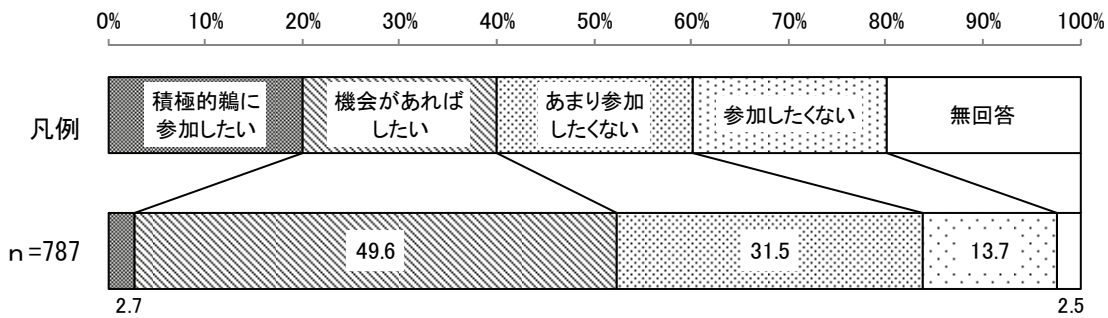
○地域活動への参加意向

問 11 あなたは、今後、地域の活動に参加したいと思いますか。(ひとつだけ○)

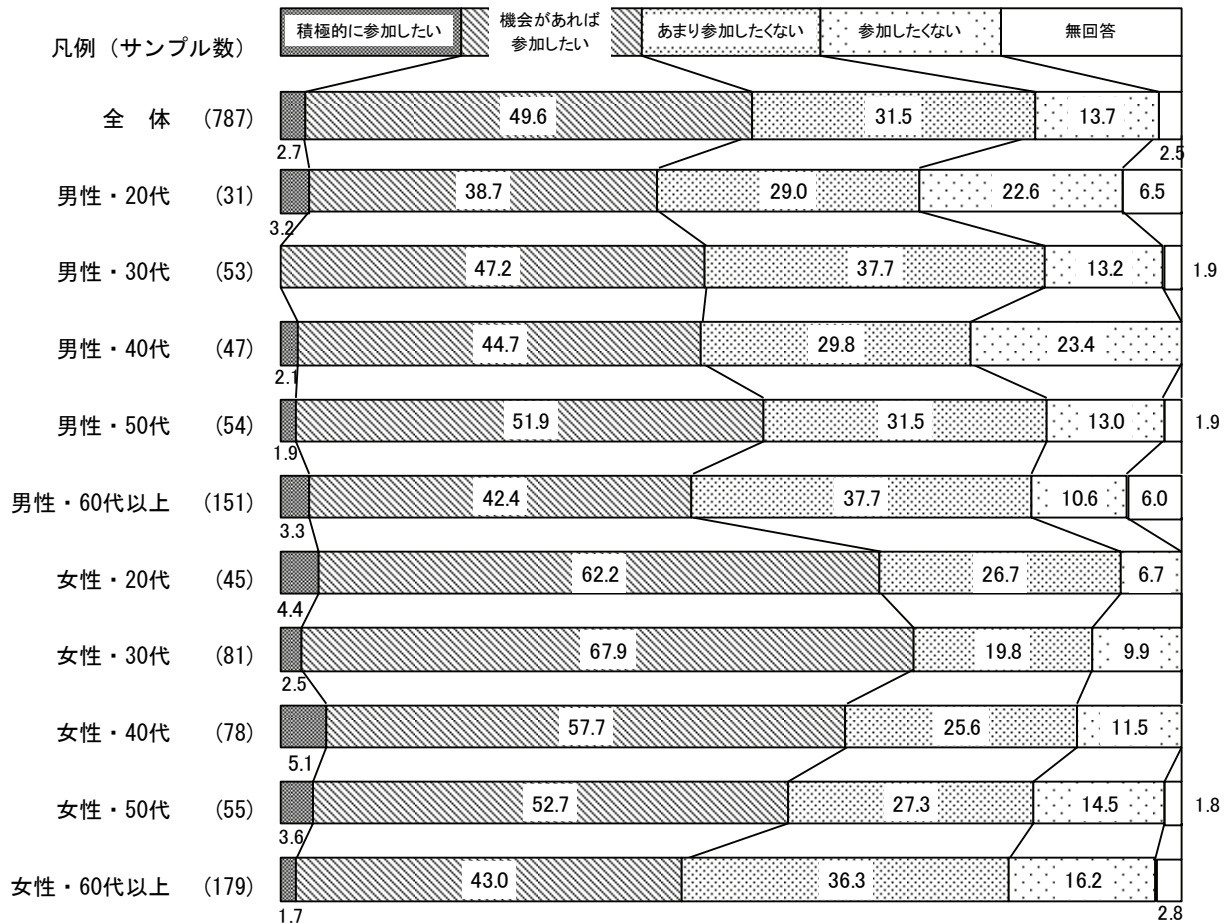
★外国人・日本人 共通設問

- ・地域活動への参加意向は、「積極的に参加したい」が 2.7%、「機会があれば参加したい」が 49.6%、「あまり参加したくない」が 31.5%、「参加したくない」が 13.7%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた割合は、全体的に女性が男性より高い傾向にある。男性は50代で半数を超えて最も高くなっているが、女性は20～50代で半数を超えている。
- ・就業形態別にみると、「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた割合は、有職者が56.2%で最も高くなっている。

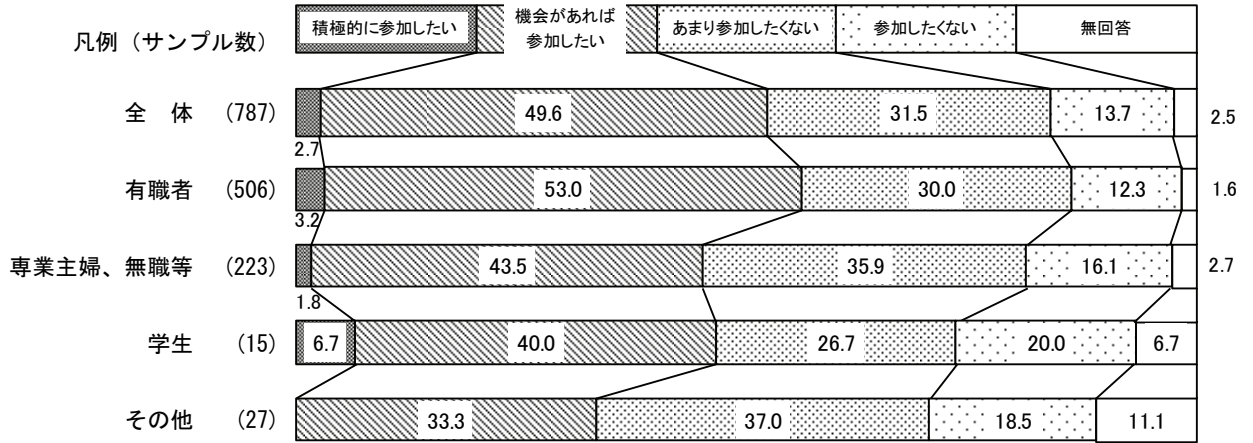
図表294 地域活動への参加意向（単数回答）



図表295 男女・年代別地域活動への参加意向（単数回答）



図表296 就業形態別地域活動への参加意向（単数回答）



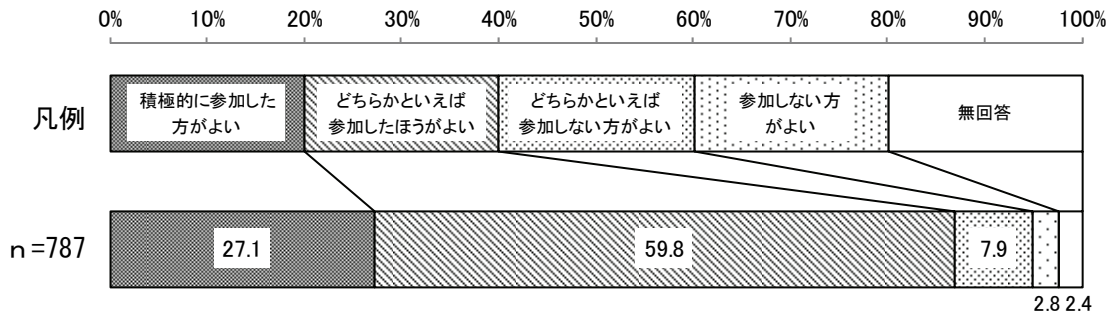
○地域活動への外国人の参加について

問 12 あなたは、外国人の住民が、地域の活動に参加することについて、どう思いますか。
(ひとつだけ○)

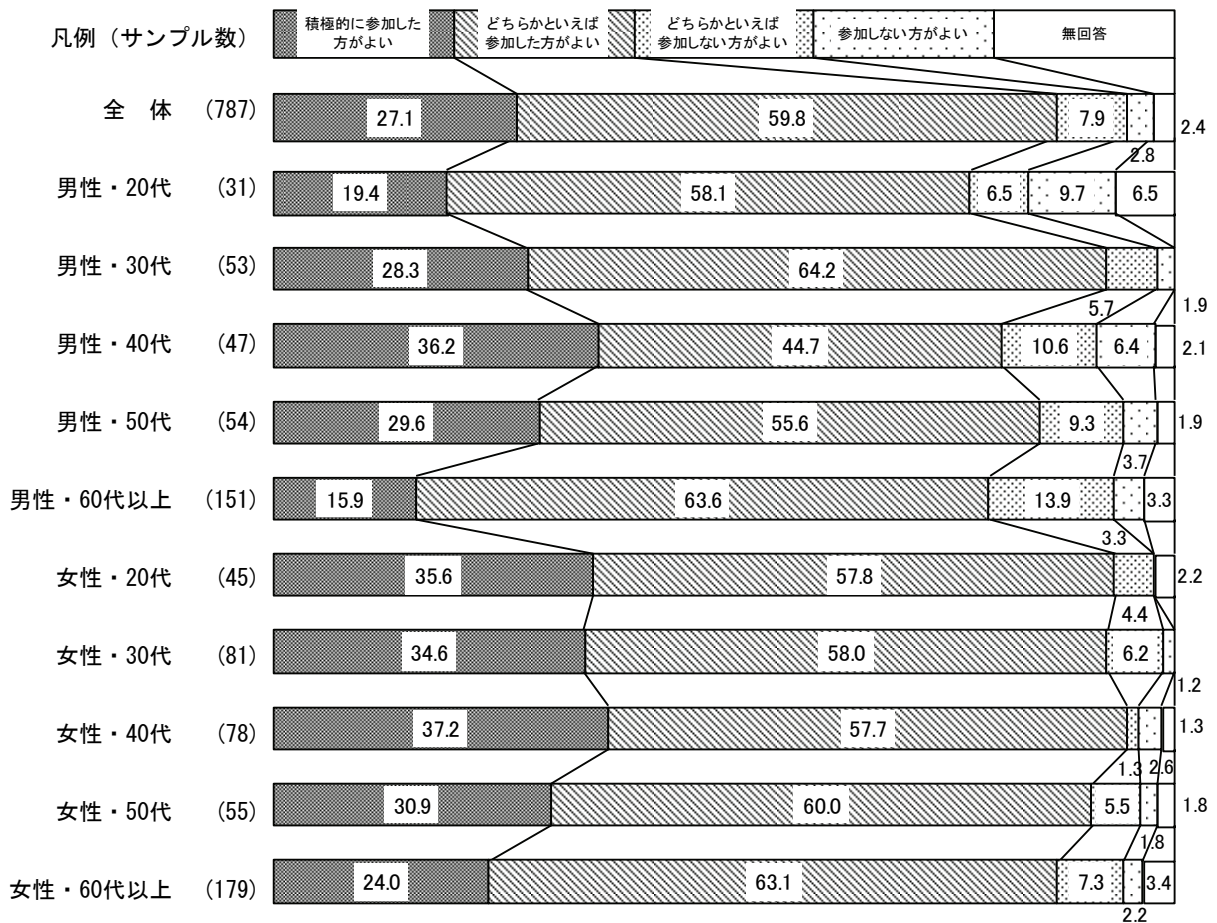
★外国人・日本人 対応設問

- ・外国人が地域活動へ参加することについては、「積極的に参加した方がよい」が27.1%、「どちらかといえば参加した方がよい」が59.8%、「どちらかといえば参加しない方がよい」が7.9%、「参加しない方がよい」が2.8%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「積極的に参加した方がよい」と回答した人の割合は、男性は40代でのみ3割を超えているが、女性は20～50代で3割を超えている。

図表297 地域活動への外国人の参加について（単数回答）



図表298 男女・年代別地域活動への外国人の参加について（単数回答）

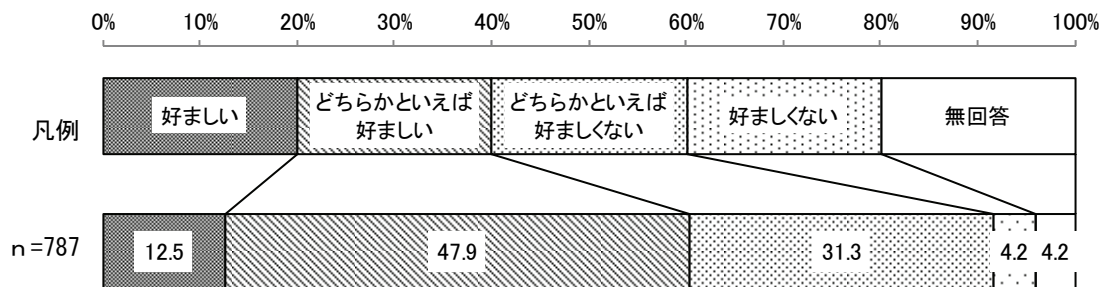


(6) 近所に外国人が住むことについて

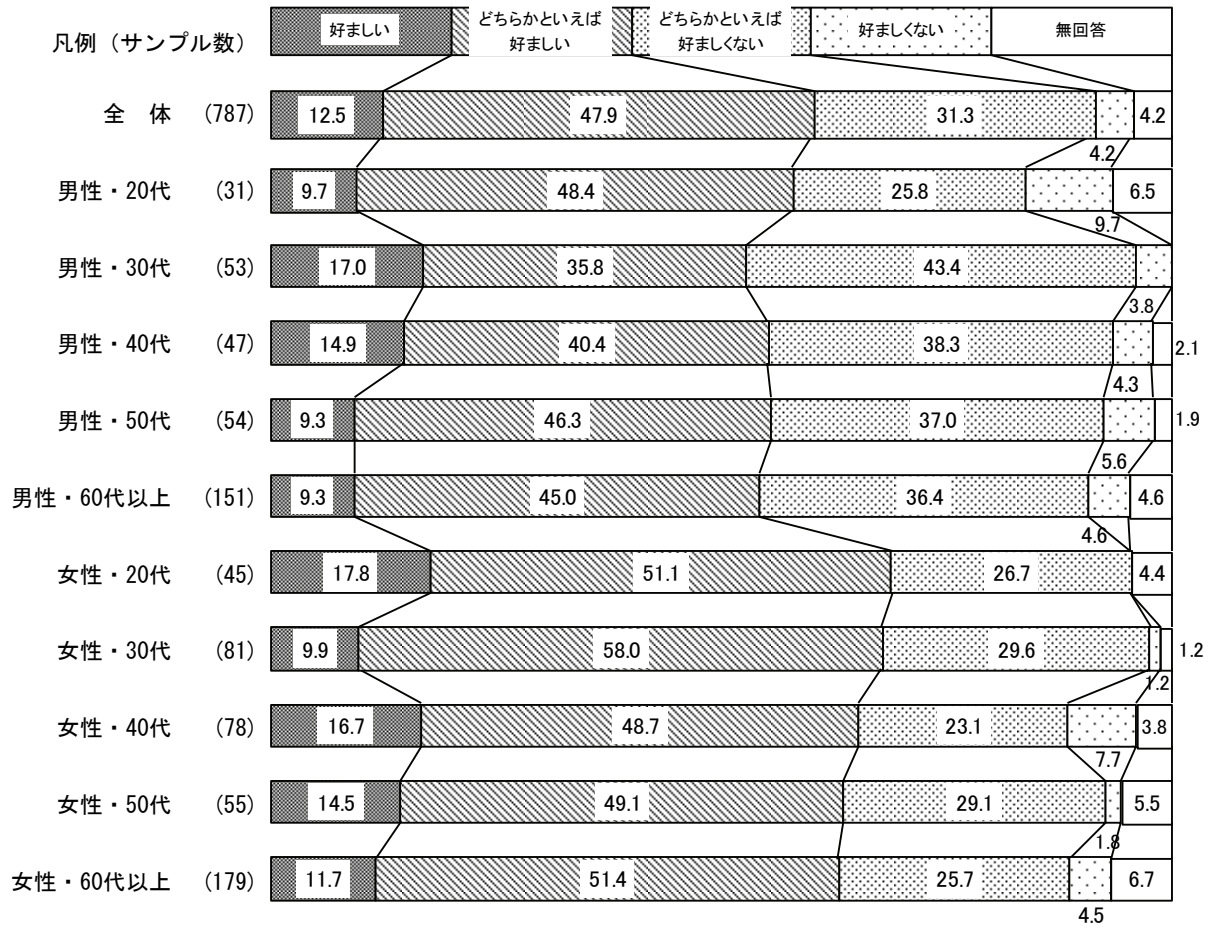
問 13 あなたは、近所に外国人が住むことについて、どう思いますか。(ひとつだけ〇)

- ・近所に外国人が住むことについては、「好ましい」が12.5%、「どちらかといえば好ましい」が47.9%、「どちらかといえば好ましくない」が31.3%、「好ましくない」が4.2%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「好ましい」と「どちらかといえば好ましい」を合わせた割合は、男女ともに20代が最も高くなっている。また、全体的に女性が男性より高い傾向にある。
- ・外国人とのつきあいの程度別にみると、つきあいの程度が高い人ほど、「好ましい」と「どちらかといえば好ましい」を合わせた割合は高くなっている。一方、外国人とのつきあいがいない人においても、半数以上の人が好ましいと感じている。
- ・満15歳以下の子どもの有無別にみると、「好ましい」と「どちらかといえば好ましい」を合わせた割合は、子どものいる人が高く、子どもがいない人より10.0ポイント高くなっている。
- ・多文化共生の認知度別にみると、概ね認知度が高い人ほど好ましいと感じる割合が高くなっている。
- ・就業形態別にみると、「好ましい」と「どちらかといえば好ましい」を合わせた割合は、「その他」以外の就業形態では半数を超えている。

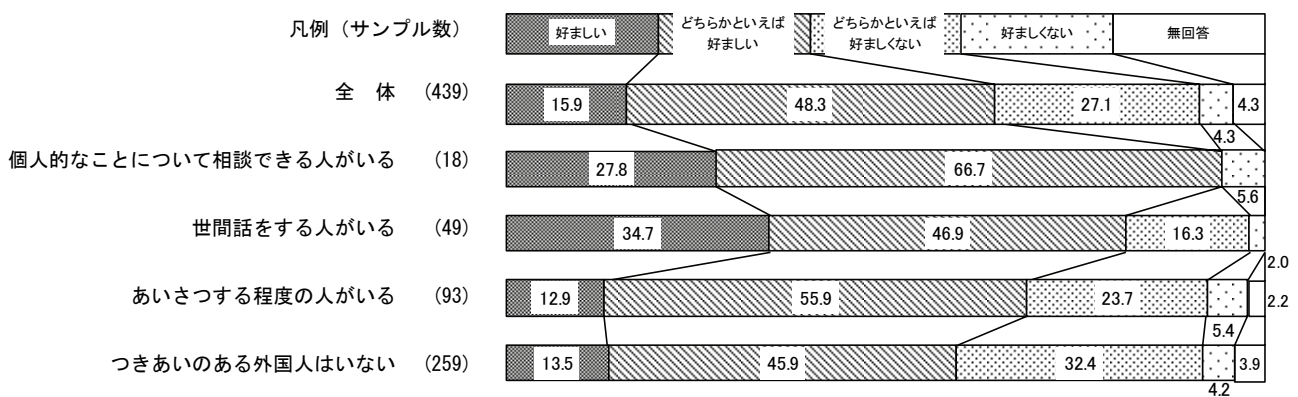
図表299 近所に外国人が住むことについて（単数回答）



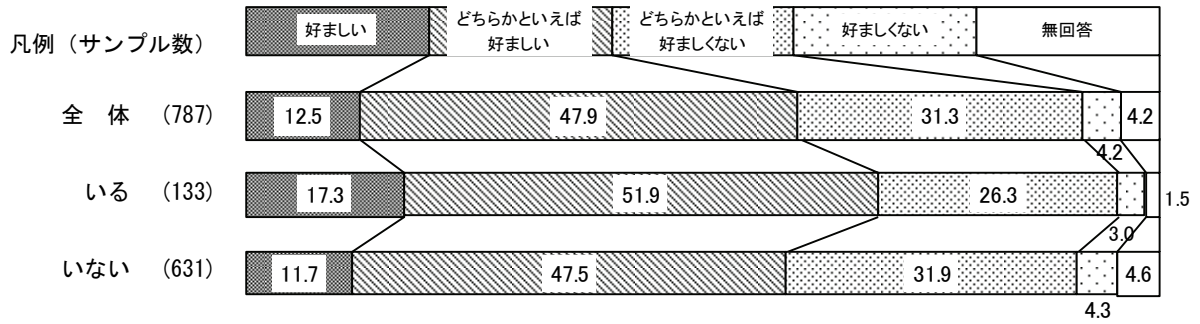
図表300 男女・年代別近所に外国人が住むことについて（単数回答）



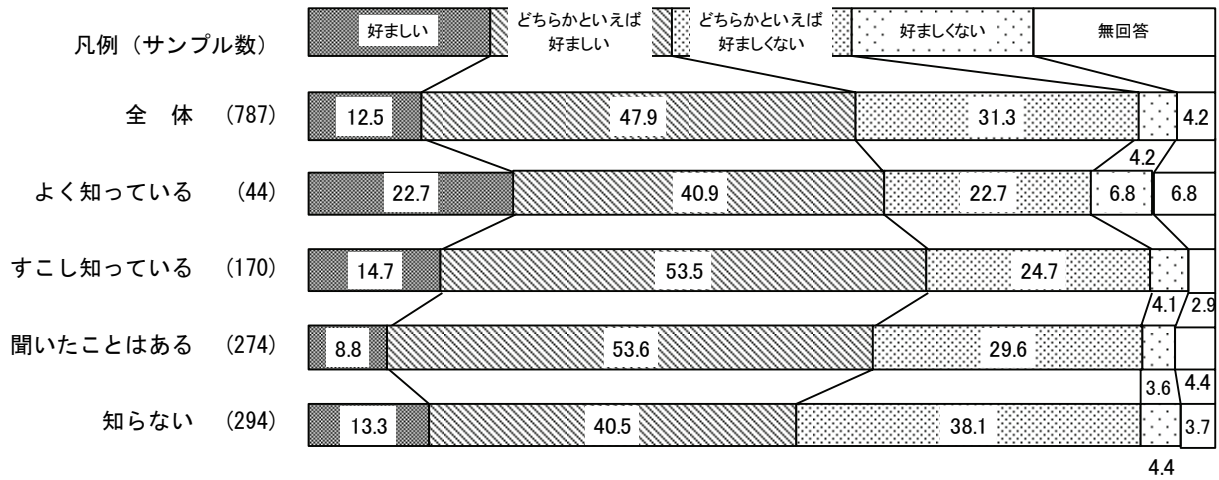
図表301 外国人とのつきあいの程度別近所に外国人が住むことについて（単数回答）



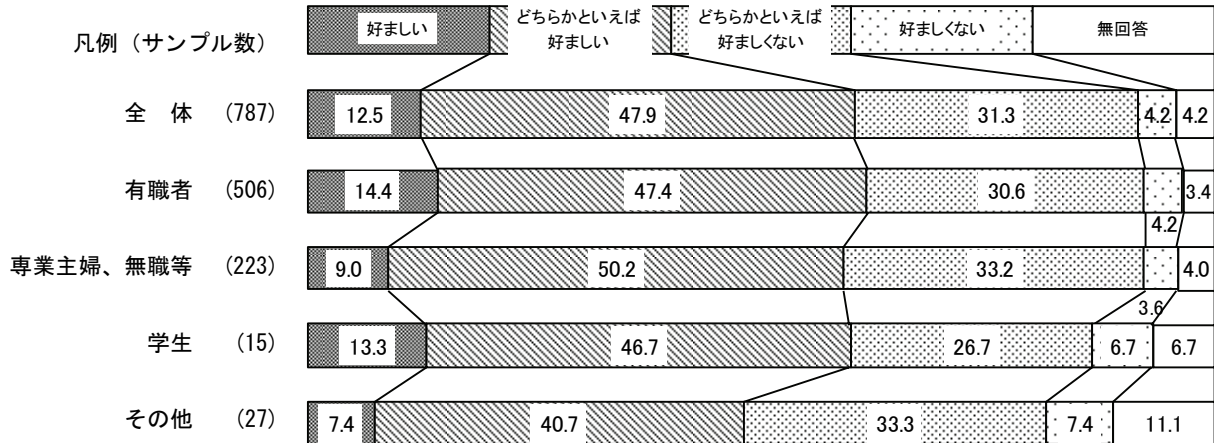
図表302 子どもの有無別近所に外国人が住むことについて（単数回答）



図表303 多文化共生の認知度別近所に外国人が住むことについて（単数回答）



図表304 就業形態別近所に外国人が住むことについて（単数回答）

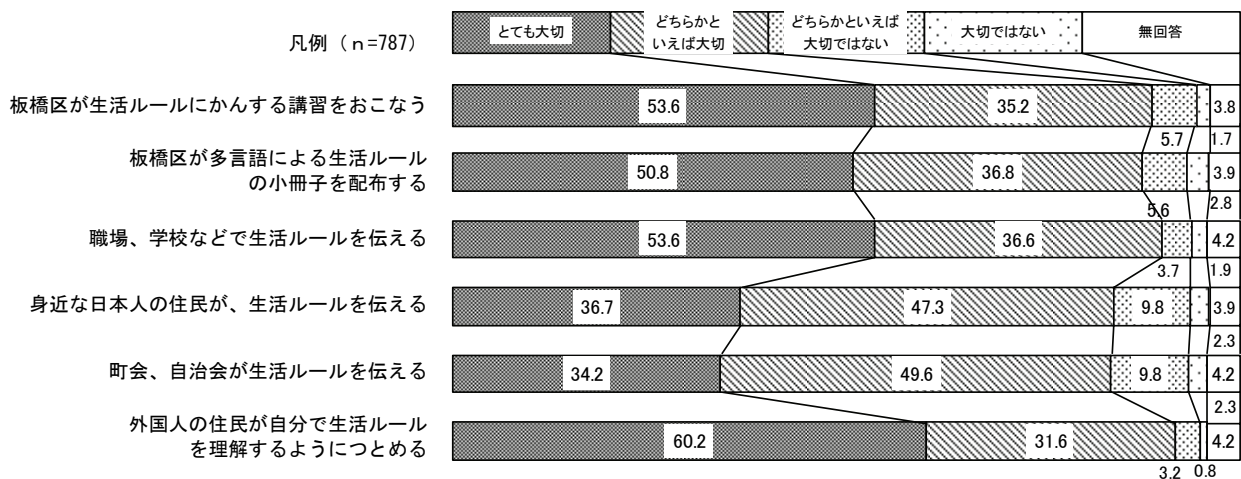


(7) 外国人が生活ルールを理解するための重要事項

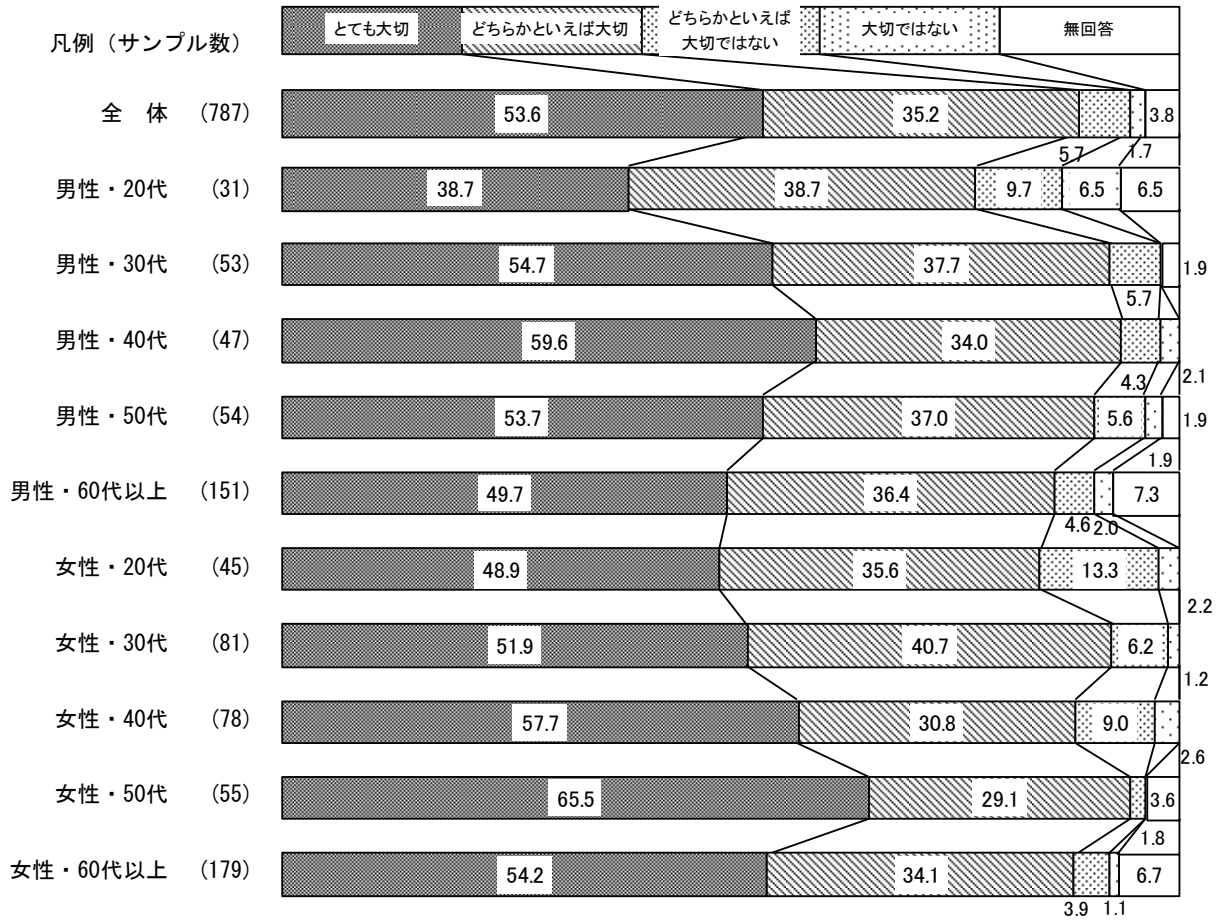
問 14 あなたは、外国人の住民に地域の生活ルールを理解してもらうには、以下のことは大切だと思いますか。(A～Fについて、それぞれひとつだけ○)

- ・外国人が生活ルールを理解するための重要事項は、「とても大切」と「どちらかといえば大切」を合わせると、〈板橋区が講習をおこなう〉が 88.8%、〈板橋区が多言語の小冊子を配布する〉が 87.6%、〈職場、学校で伝える〉が 90.2%、〈身近な日本人が伝える〉が 84.0%、〈町会、自治会が伝える〉が 83.8%、〈自分で理解するようつとめる〉が 91.8%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「とても大切」の割合は〈板橋区が講習をおこなう〉、〈板橋区が多言語の小冊子を配布する〉は、男性では 40 代、女性では 50 代で最も高くなっている。〈職場、学校で伝える〉は、全体的に女性が男性より高くなる傾向がみられる。〈身近な日本人が伝える〉は、男性では 20 代、60 歳以上、女性では 20 代、30 代で低くなっていることがわかる。〈町会、自治会が伝える〉は、女性の 40 代以上で高くなる傾向がある。〈自分で理解するようつとめる〉は、他の項目と比較してどの年代においても「とても大切」の割合が高くなっている。このことから、外国人の住民が自分で生活ルールを理解するようつとめることが大切であると考えている区民が多いことがわかる。

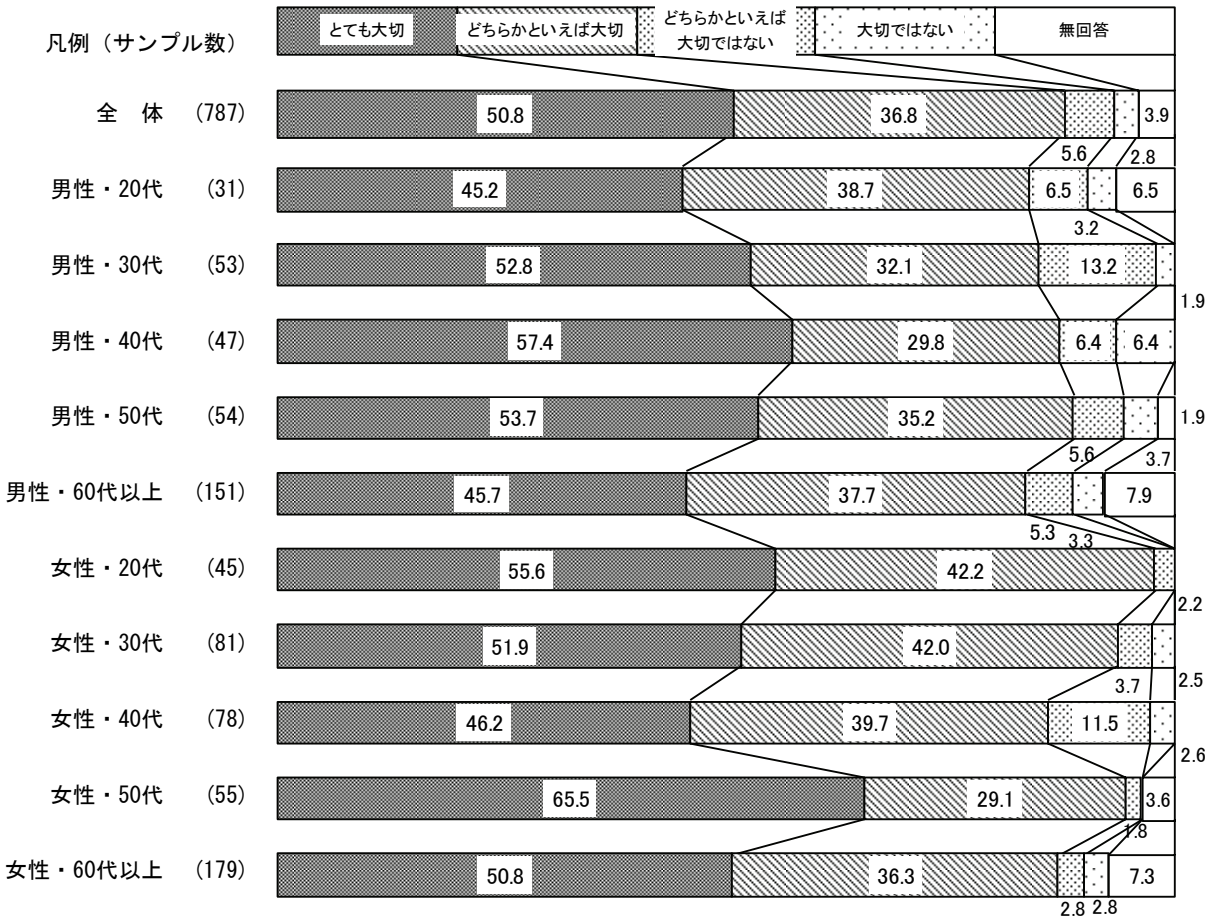
図表305 外国人が生活ルールを理解するための重要事項（単数回答）



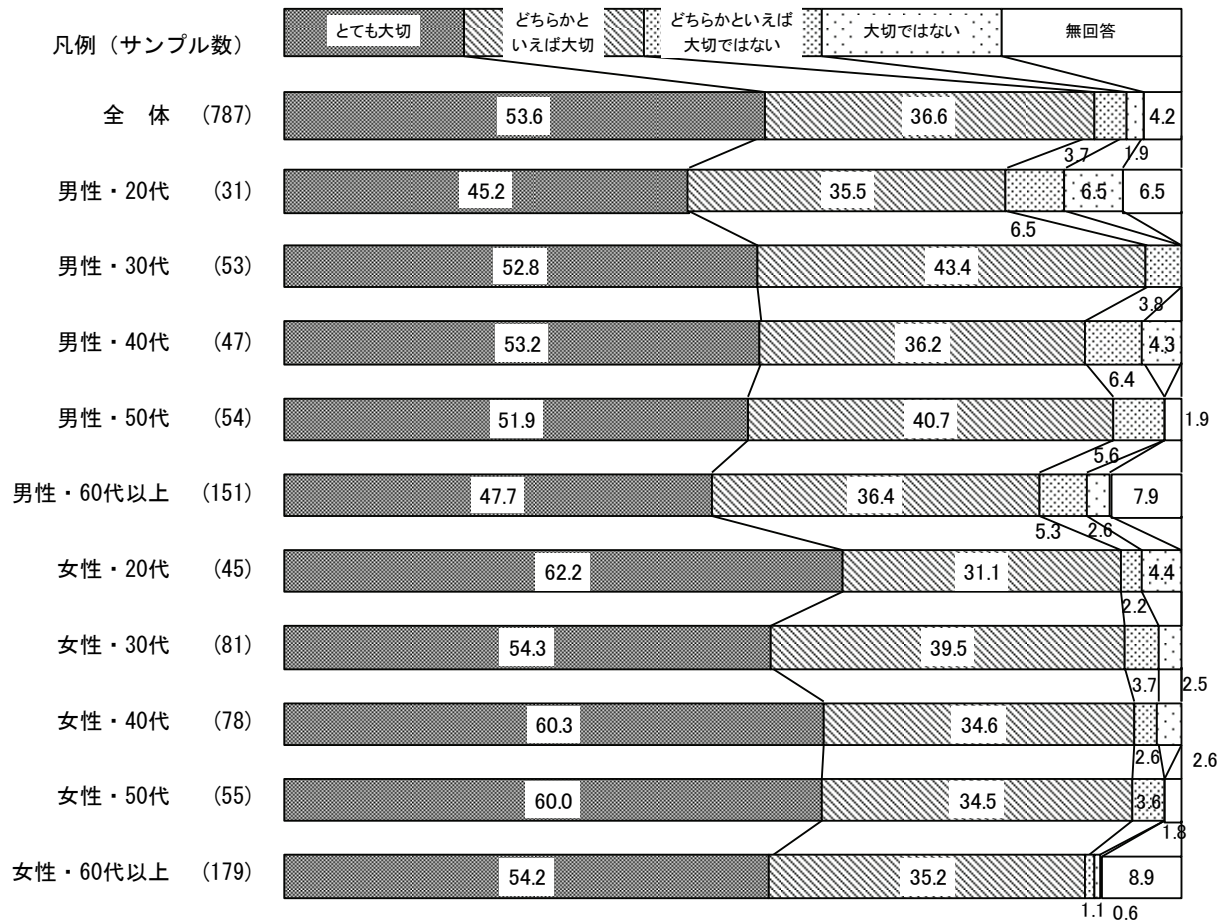
図表306 男女・年代別板橋区が生活ルールに関する講習をおこなう（単数回答）



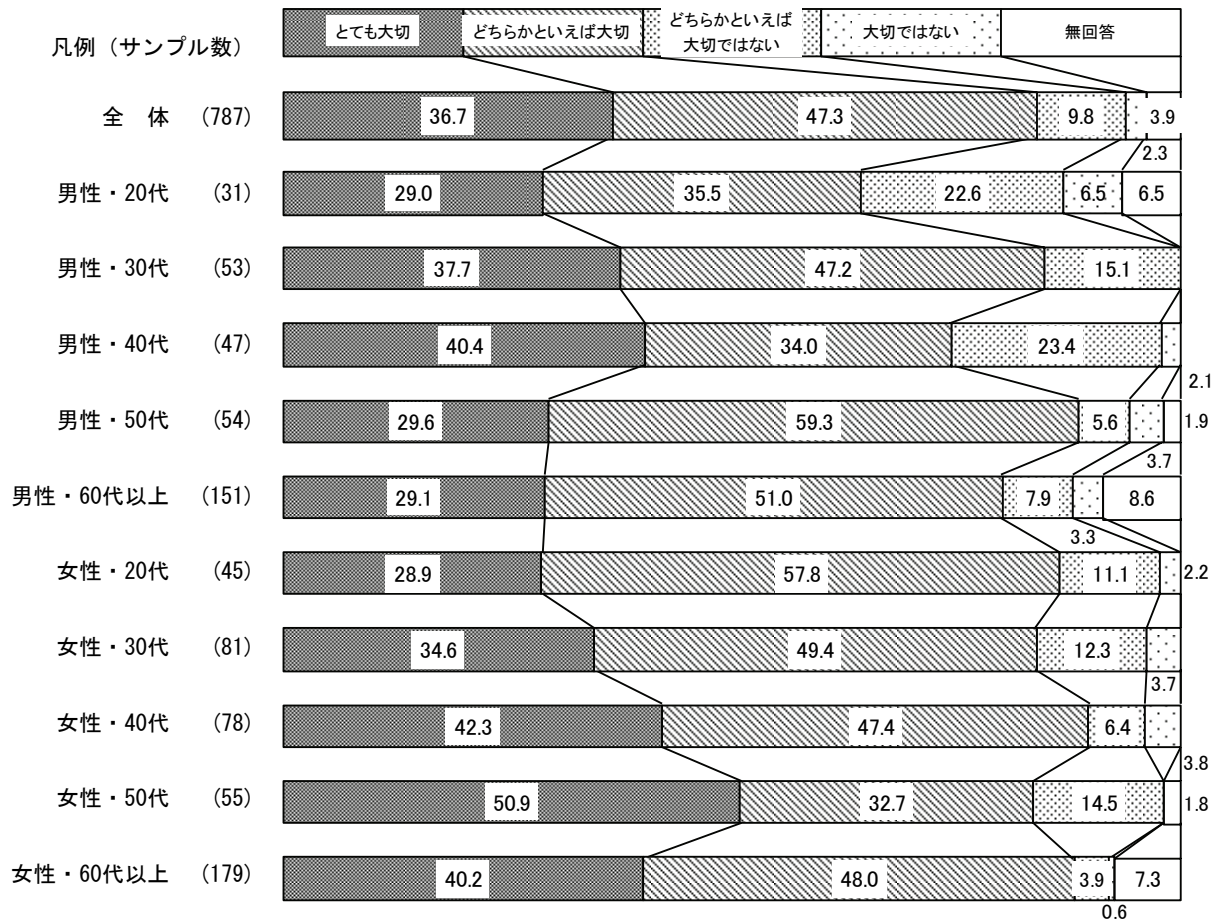
図表307 男女・年代別板橋区が多言語による生活ルールに関する小冊子を配布する（単数回答）



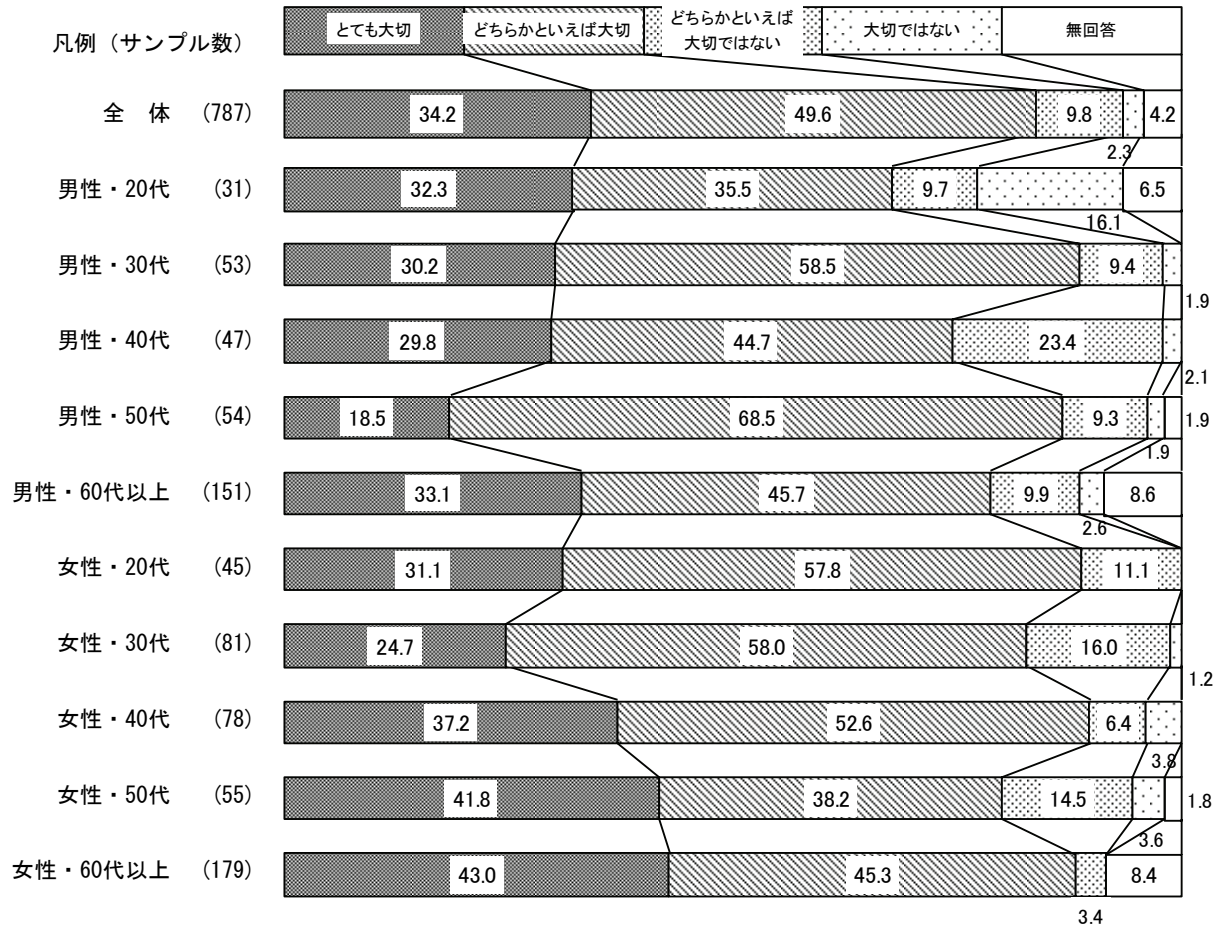
図表308 男女・年代別職場、学校などで生活ルールを伝える（単数回答）



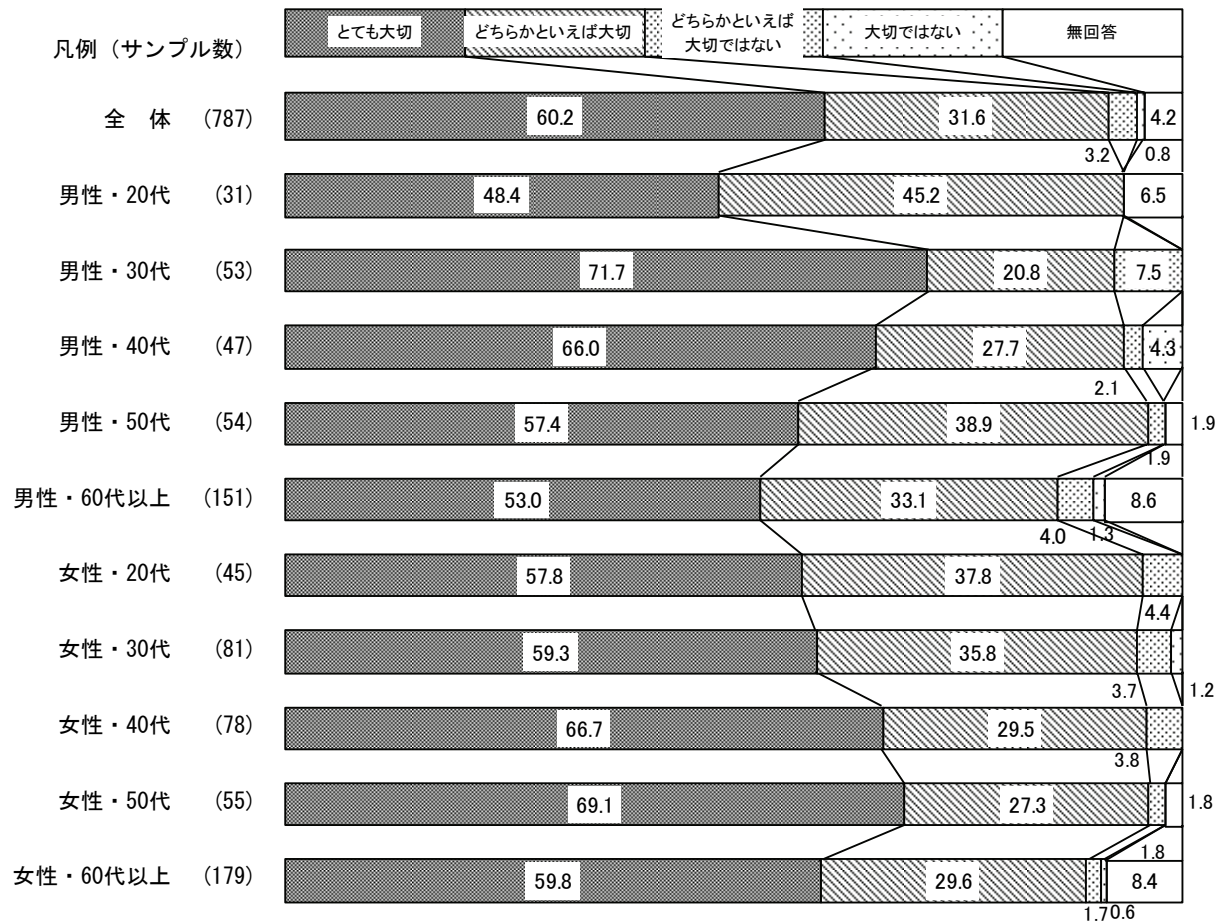
図表309 男女・年代別身近な日本人の住人が、生活ルールを伝える（単数回答）



図表310 男女・年代別町会、自治会が生活ルールを伝える（単数回答）



図表311 男女・年代別外国人の住民が自分で生活ルールを理解するようつとめる（単数回答）

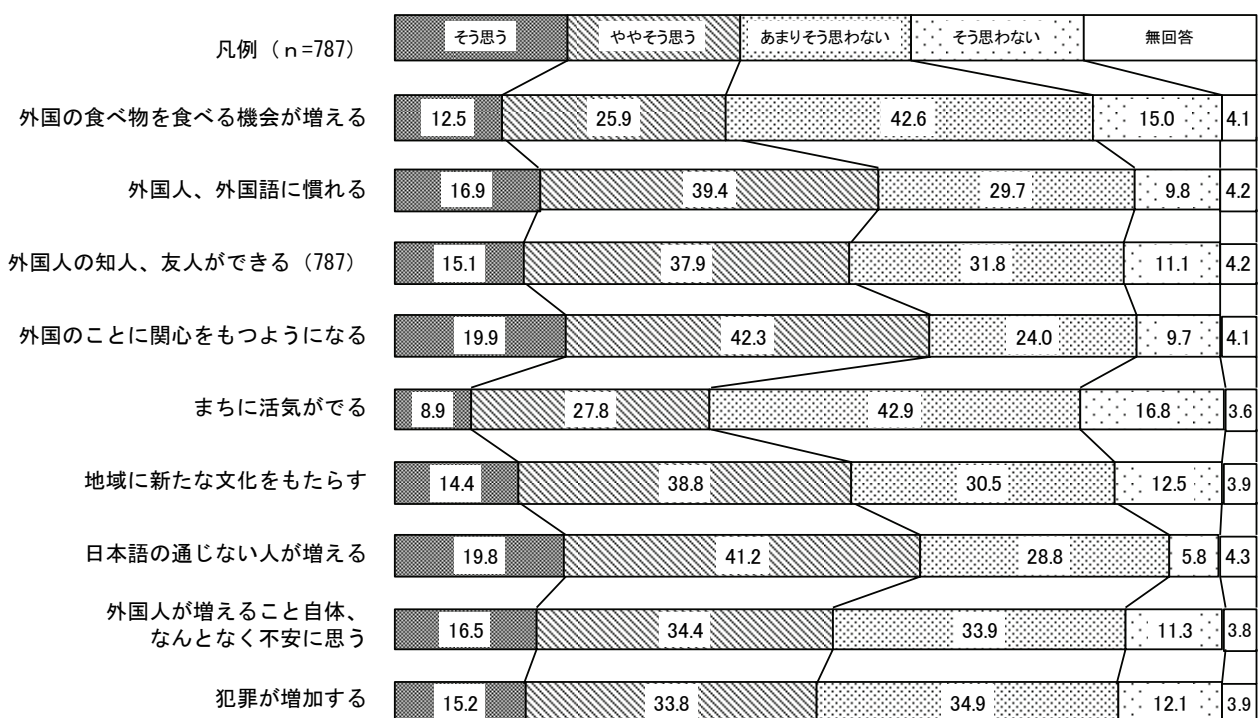


(8) 外国人増加の利点・欠点

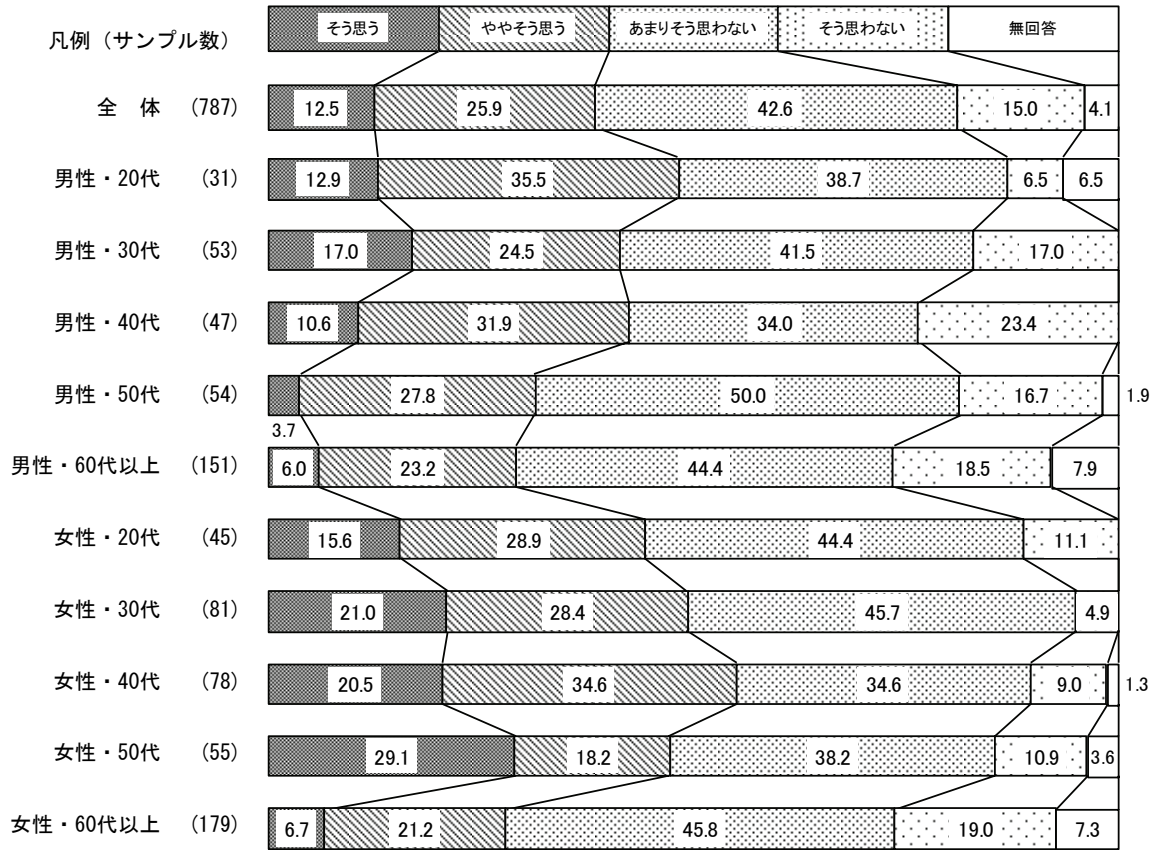
問 15 あなたは、住んでいる地域で外国人の住民が増加することについて、どう思いますか。(A～I)について、それぞれひとつだけ○)

- ・外国人が増加することについては、〈外国の食べ物を食べる機会が増える〉で、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は 38.4%、同様に〈外国人、外国語に慣れる〉が 56.3%、〈外国人の知人、友人ができる〉が 53.0%、〈外国のことに興味をもつようになる〉が 62.2%、〈まちに活気がでる〉が 36.7%、〈地域に新たな文化をもたらす〉が 53.2%、〈日本語の通じない人が増える〉が 61.0%、〈なんとなく不安に思う〉が 50.9%、〈犯罪が増加する〉が 49.0%となっている。
- ・利点について男女・年代別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、どの項目においても概ね女性の若い世代で高くなっている。しかし、〈まちに活気がでる〉、〈地域に新たな文化をもたらす〉は女性の 30 代が低くなっている。
- ・また、男女ともに 60 歳以上で利点を感じていないことがわかる。
- ・欠点について男女・年代別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、〈日本語の通じない人が増える〉が、若い世代で高くなっている。
- ・〈犯罪が増加する〉は、男性の 40 代以上でやや高くなっている。
- ・利点について就業形態別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、どの項目においても学生が高くなっている。
- ・欠点について就業形態別にみると、〈日本語の通じない人が増える〉は学生が最も高くなっているが、〈なんとなく不安に思う〉、〈犯罪が増加する〉に関しては、学生が低くなっている。
- ・外国人が近隣に住むことに対する評価別にみると、外国人が近隣に住むことについて好ましいと感じる人は、利点に対し「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が高く、逆に好ましくないと感じている人は、欠点に対し「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が高くなっている。

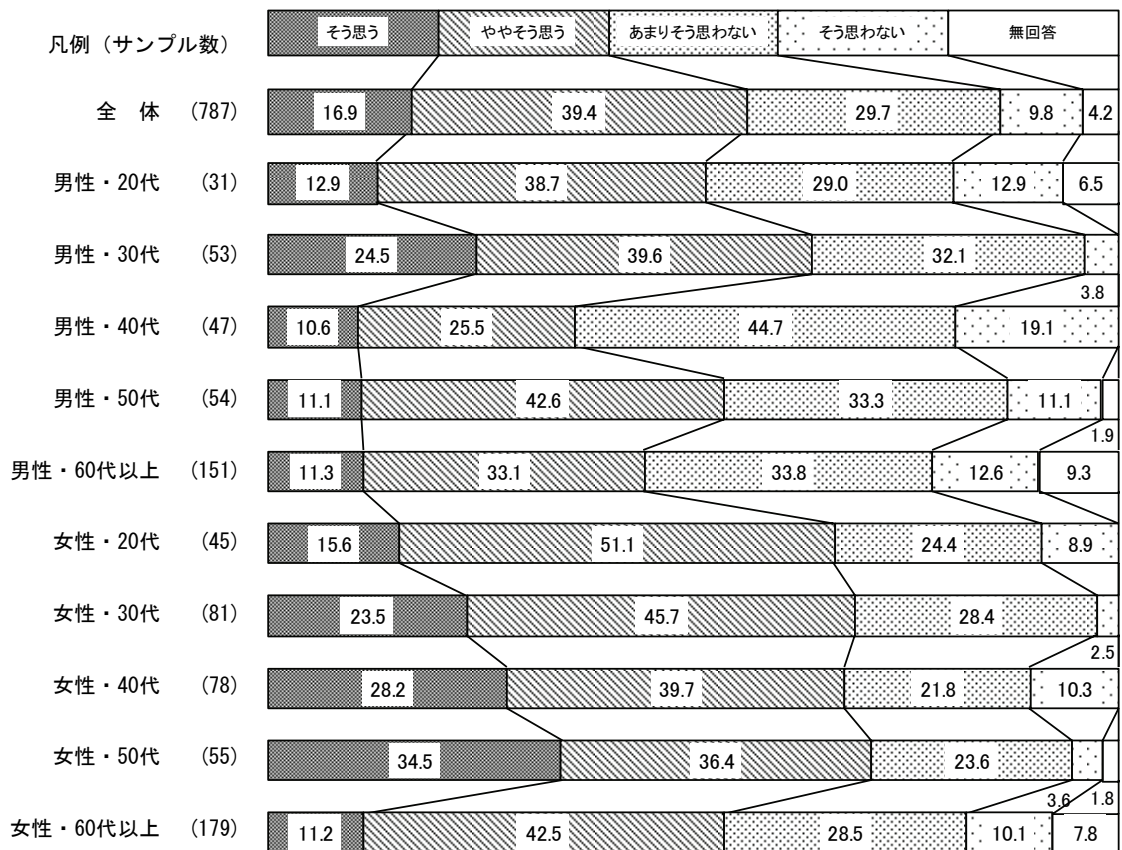
図表312 外国人の増加の利点・欠点（単数回答）



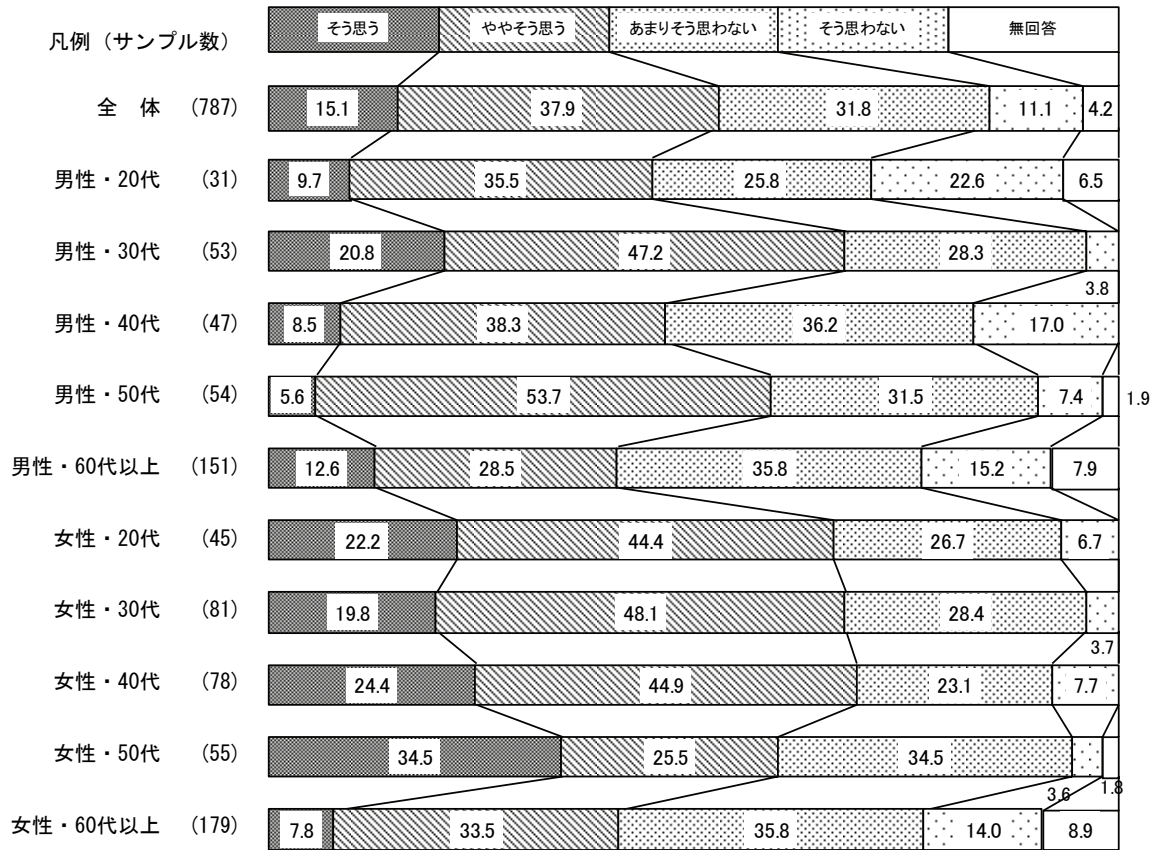
図表313 男女・年代別外国の食べ物を食べる機会が増える（単数回答）



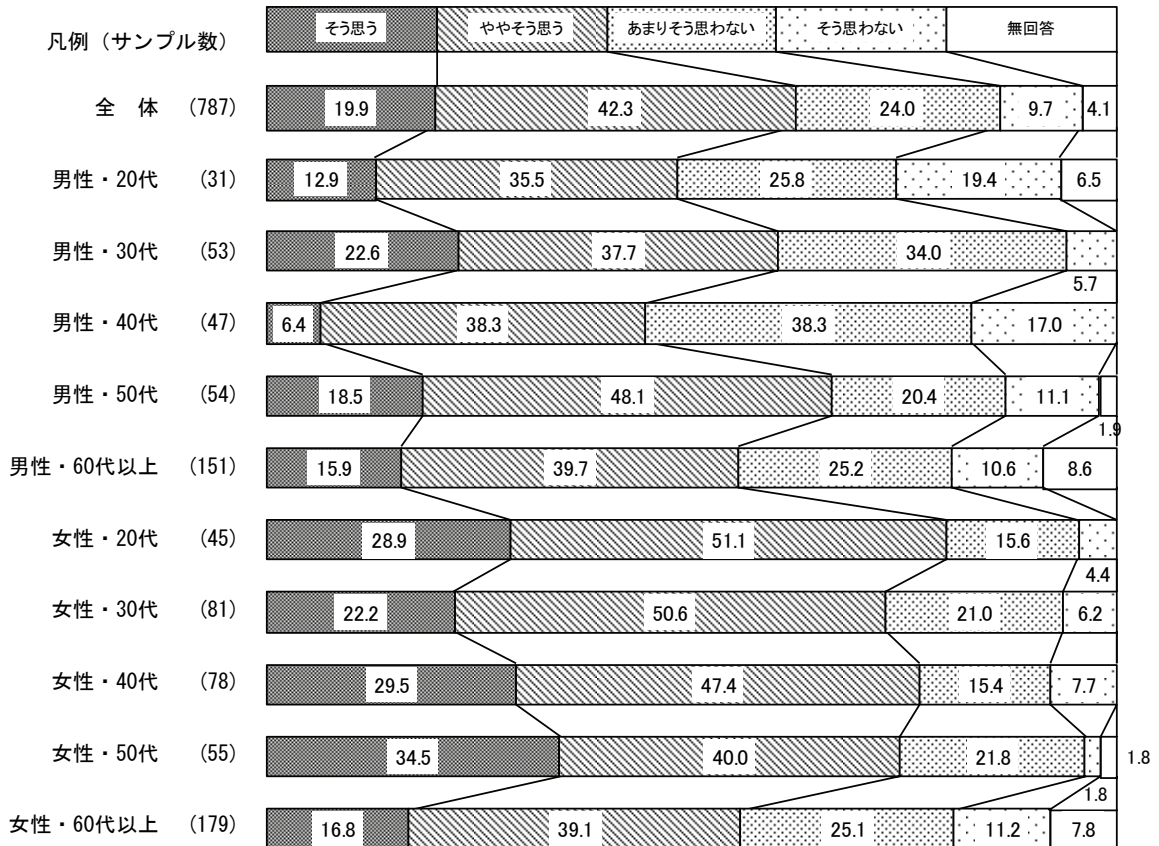
図表314 男女・年代別外国人、外国語に慣れる（単数回答）



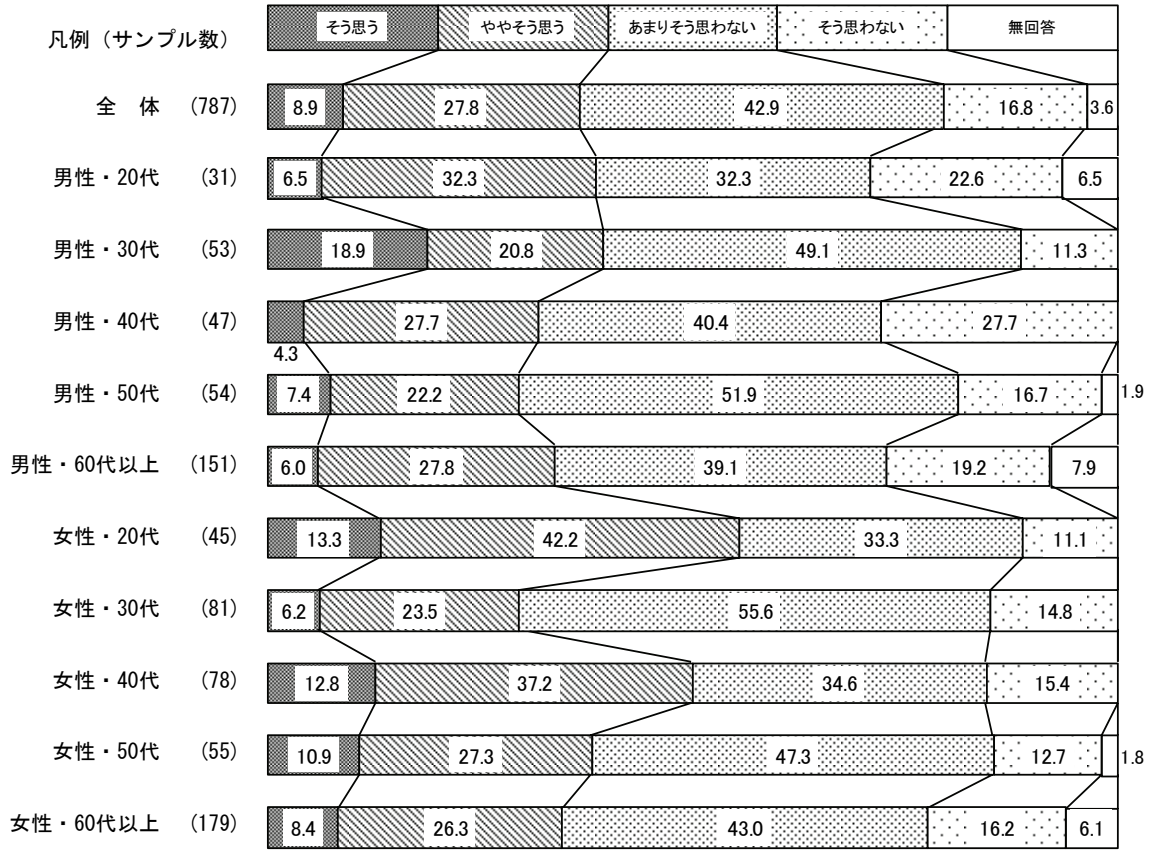
図表315 男女・年代別外国人の知人、友人ができる（単数回答）



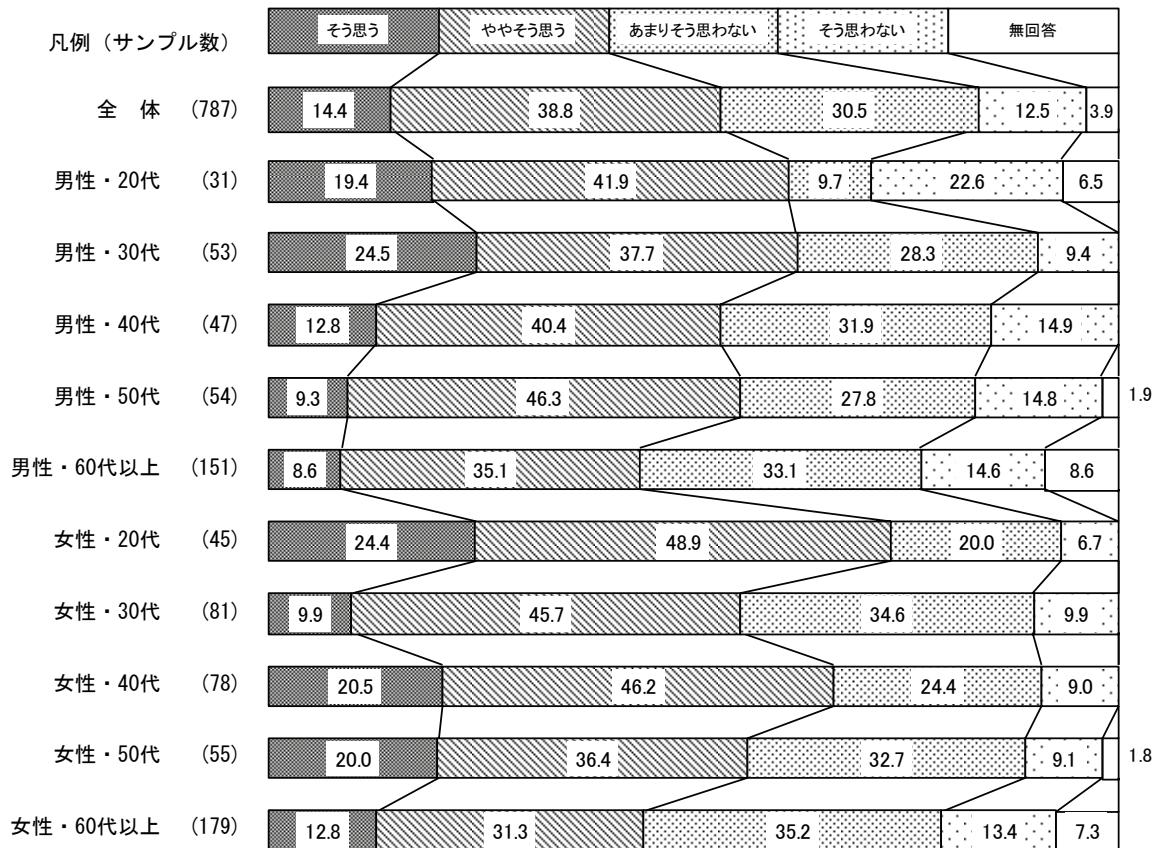
図表316 男女・年代別外国のことに興味をもつようになる（単数回答）



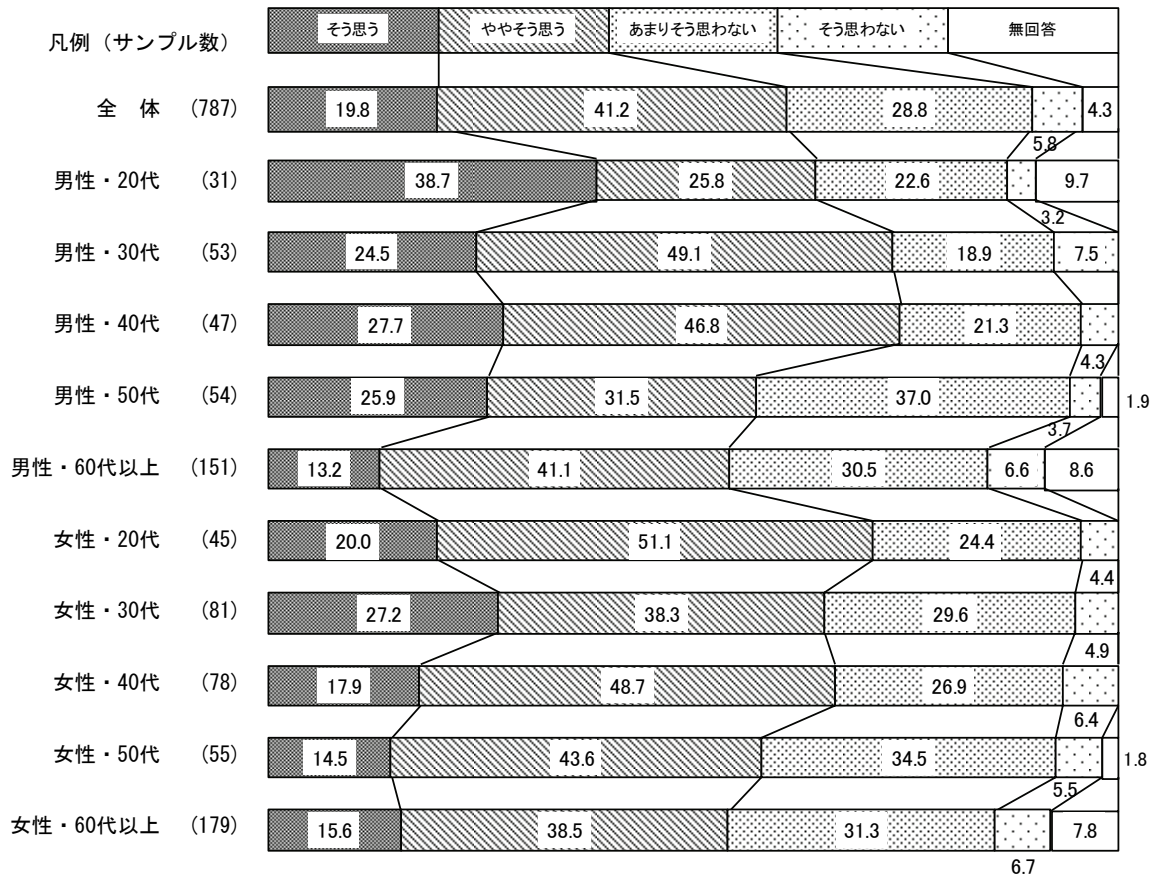
図表317 男女・年代別まちに活気がでる（単数回答）



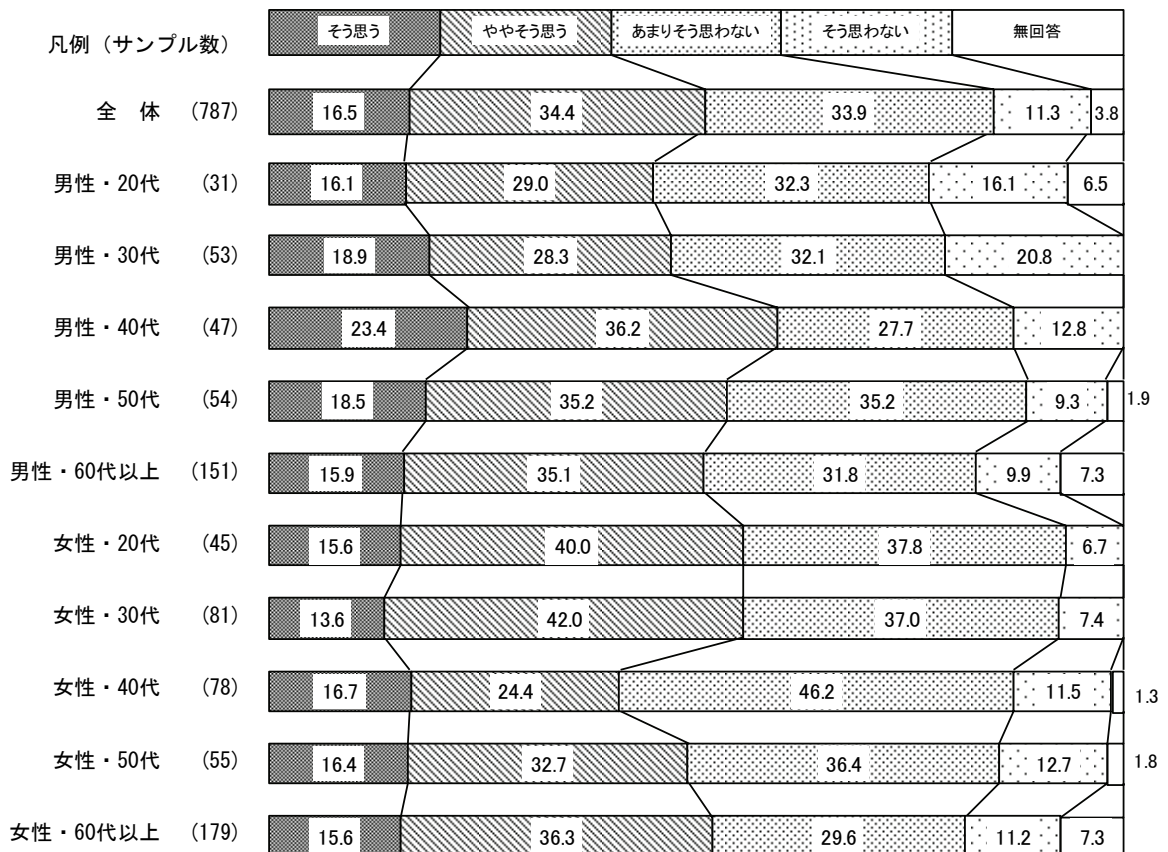
図表318 男女・年代別地域に新たな文化をもたらす（単数回答）



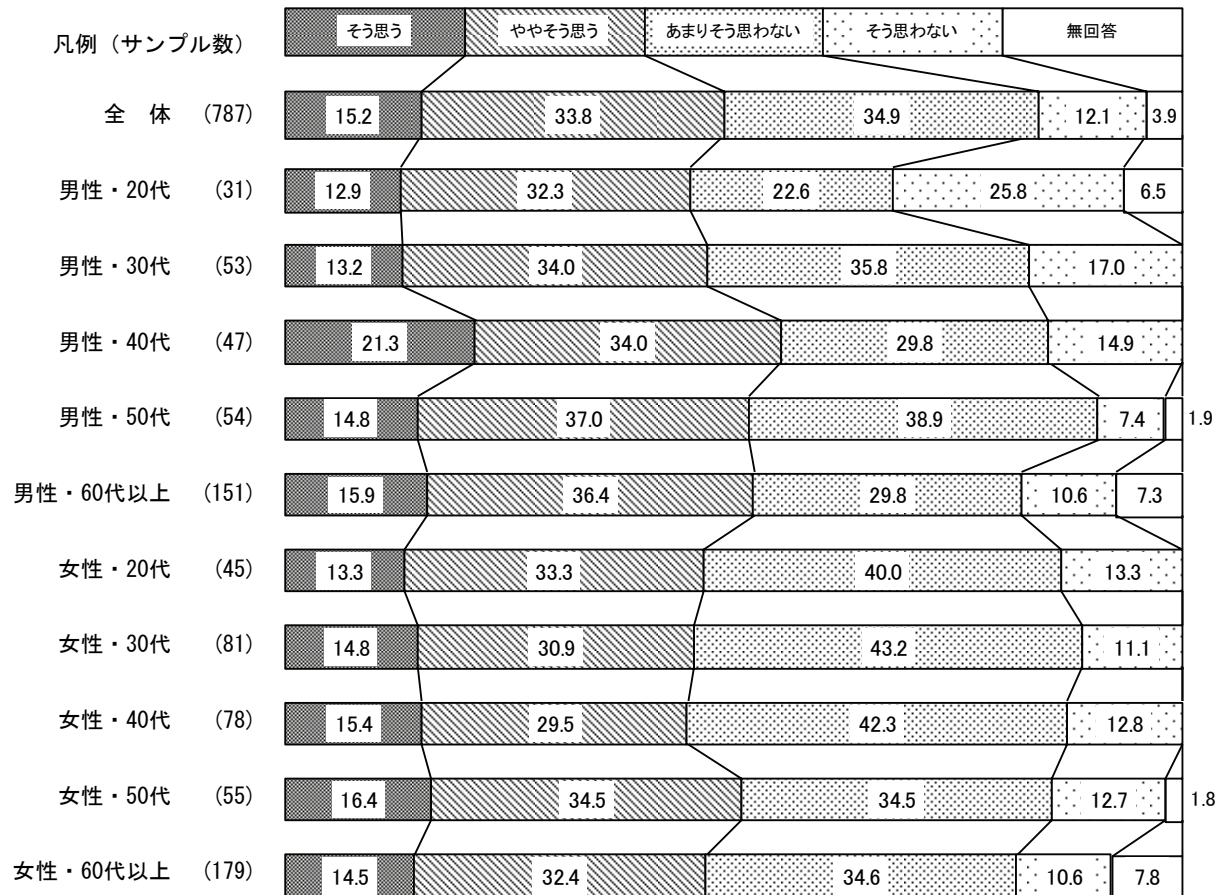
図表319 男女・年代別日本語の通じない人が増える（単数回答）



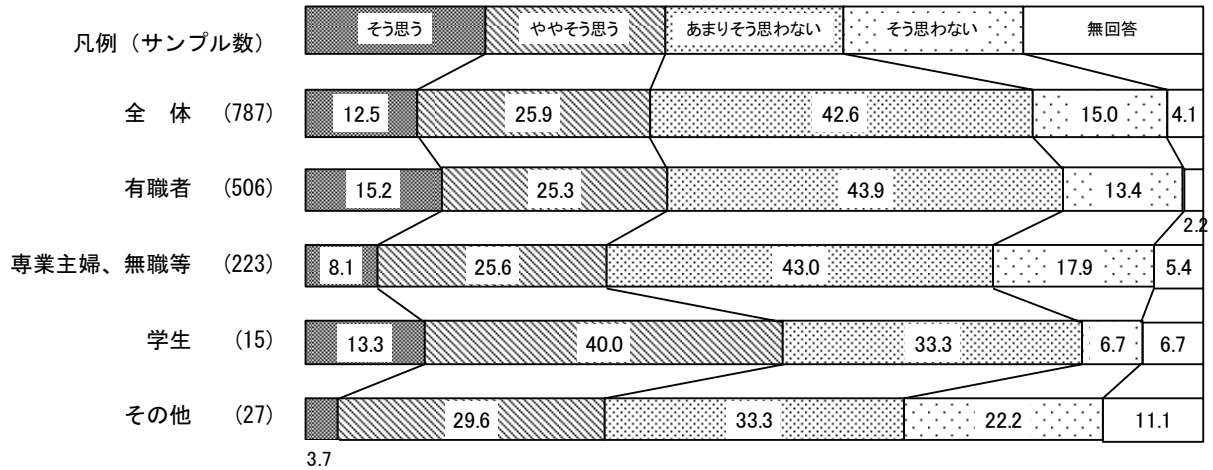
図表320 男女・年代別外国人が増えること自体、なんとなく不安に思う（単数回答）



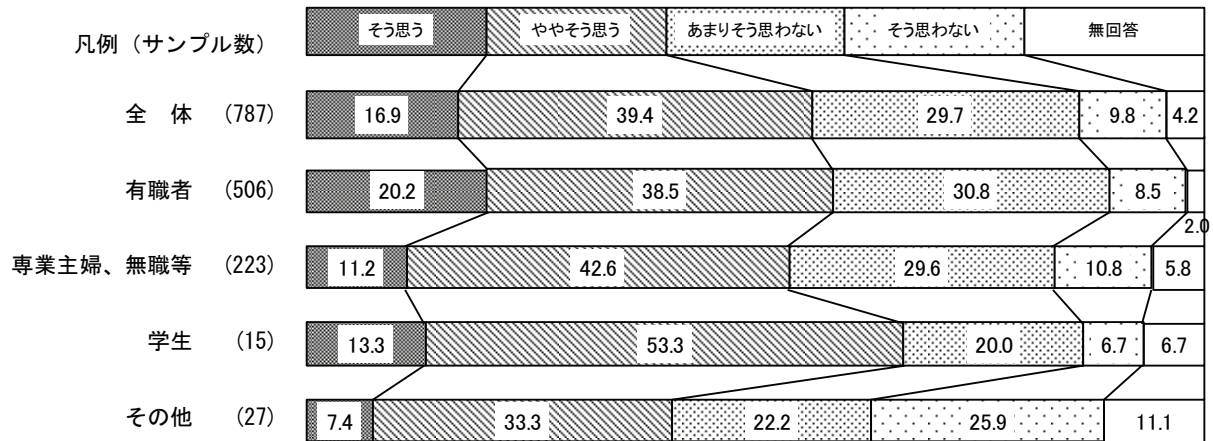
図表321 男女・年代別犯罪が増加する（単数回答）



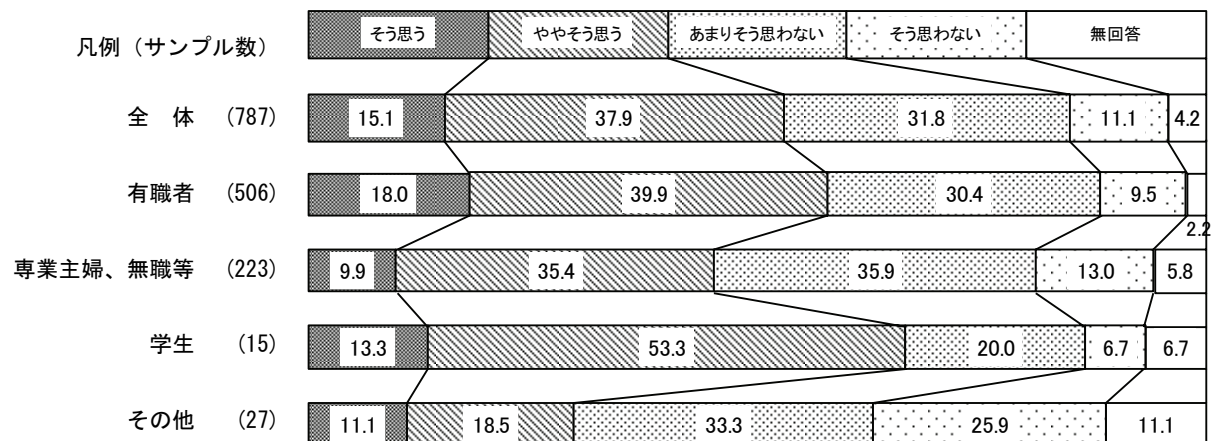
図表322 就業形態別外国の食べ物を食べる機会が増える（単数回答）



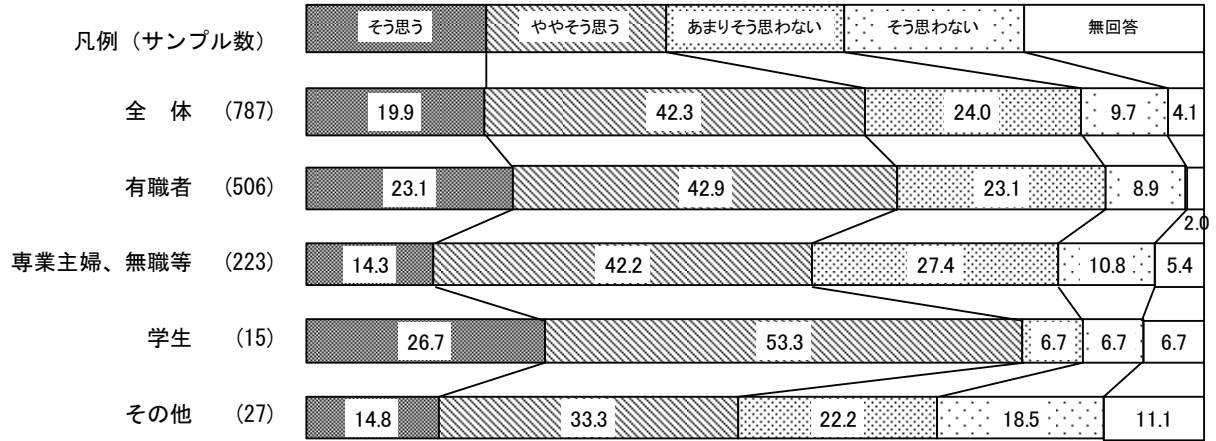
図表323 就業形態別外国人、外国語に慣れる（単数回答）



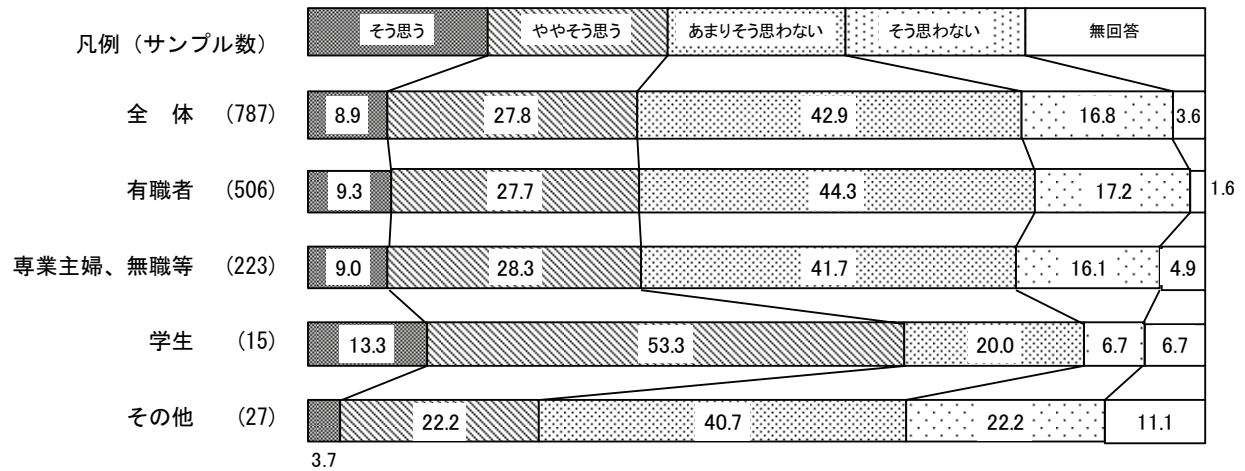
図表324 就業形態別外国人の知人、友人ができる（単数回答）



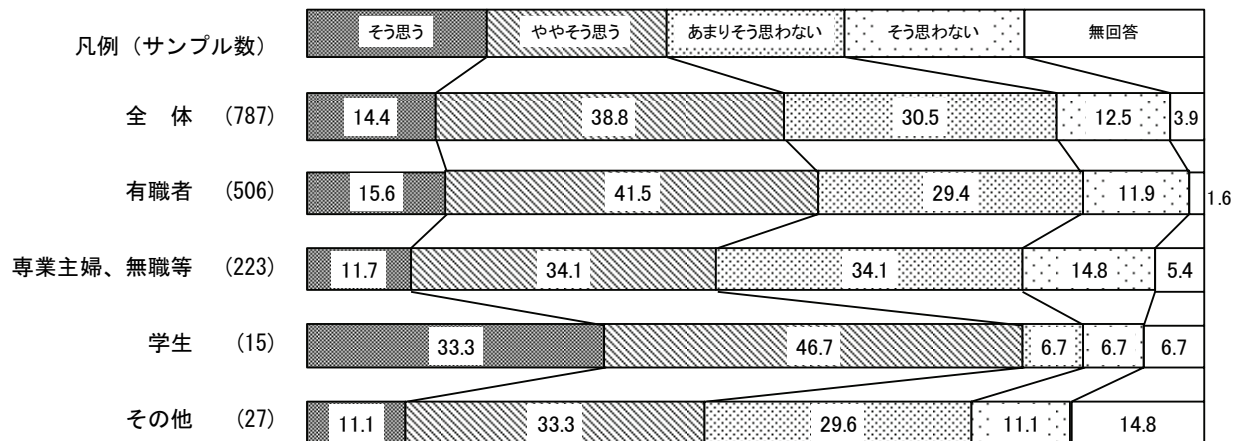
図表325 就業形態別外国のことに関心をもつようになる（単数回答）



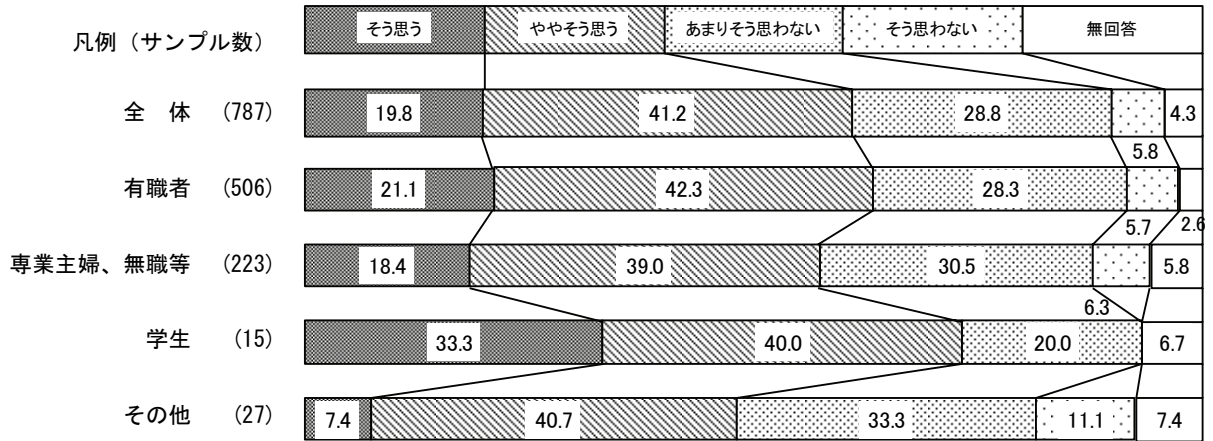
図表326 就業形態別まちに活気がでる（単数回答）



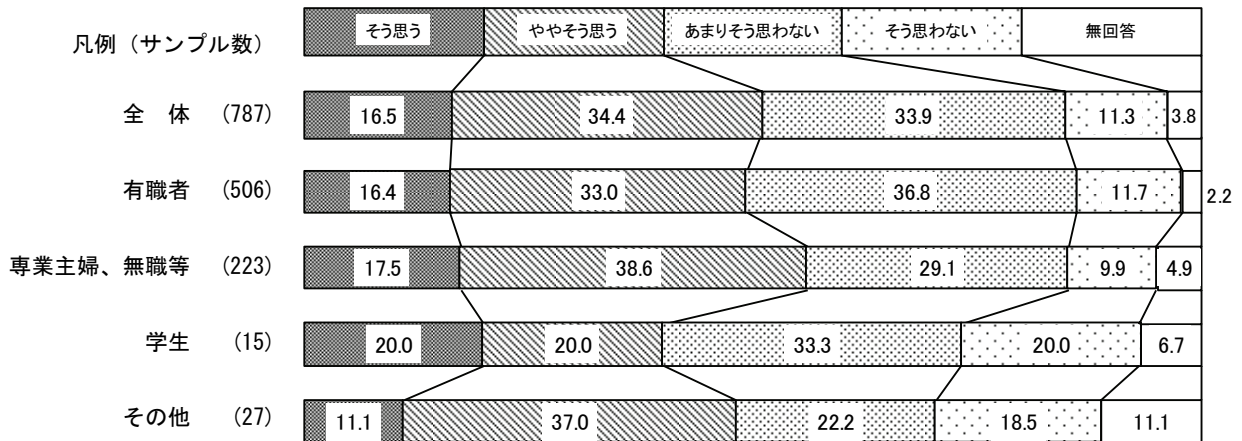
図表327 就業形態別地域に新たな文化をもたらす（単数回答）



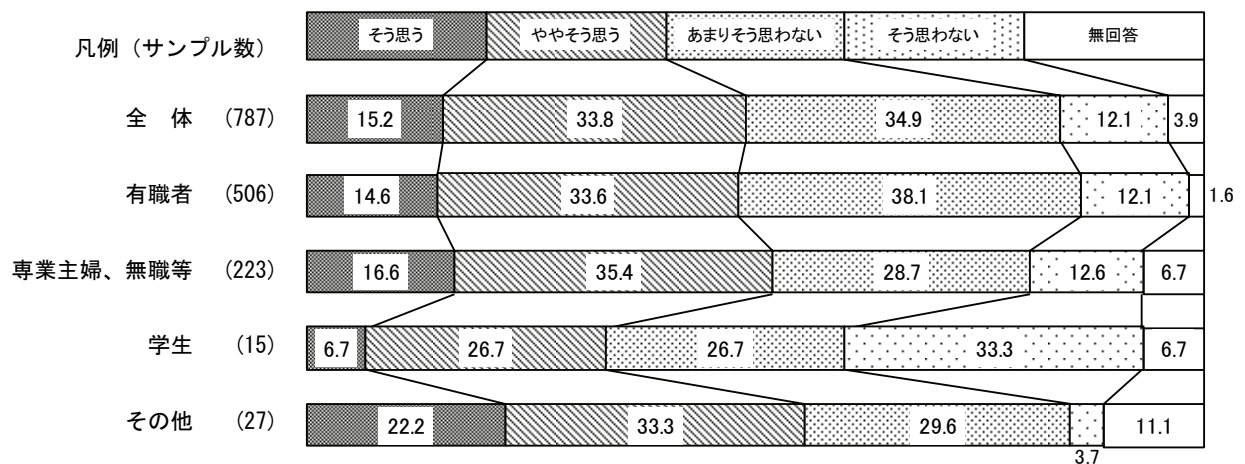
図表328 就業形態別日本語の通じない人が増える（単数回答）



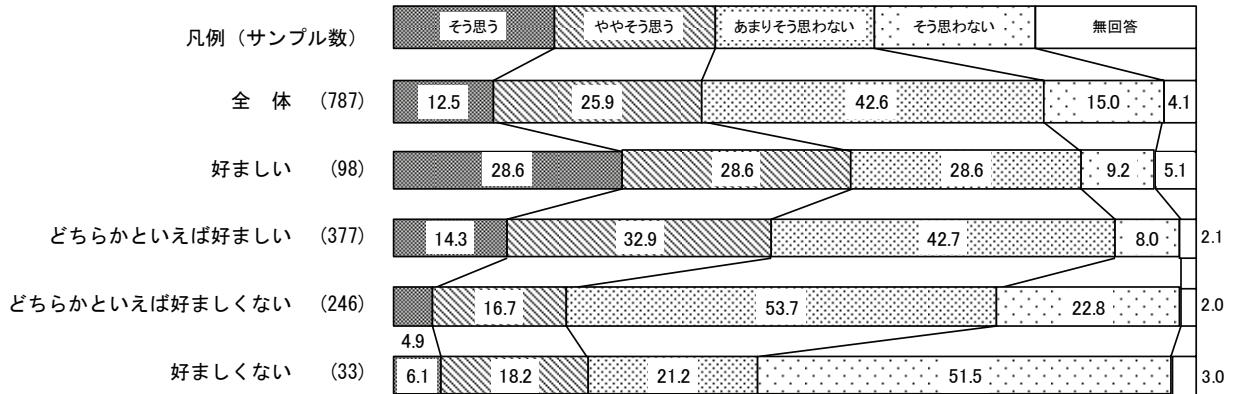
図表329 就業形態別外国人が増えること自体、なんとなく不安に思う（単数回答）



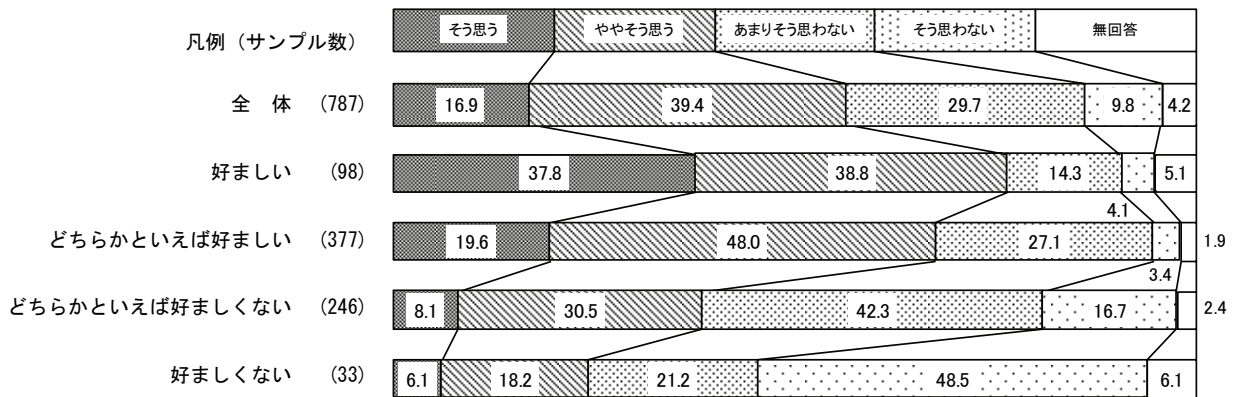
図表330 就業形態別犯罪が増加する（単数回答）



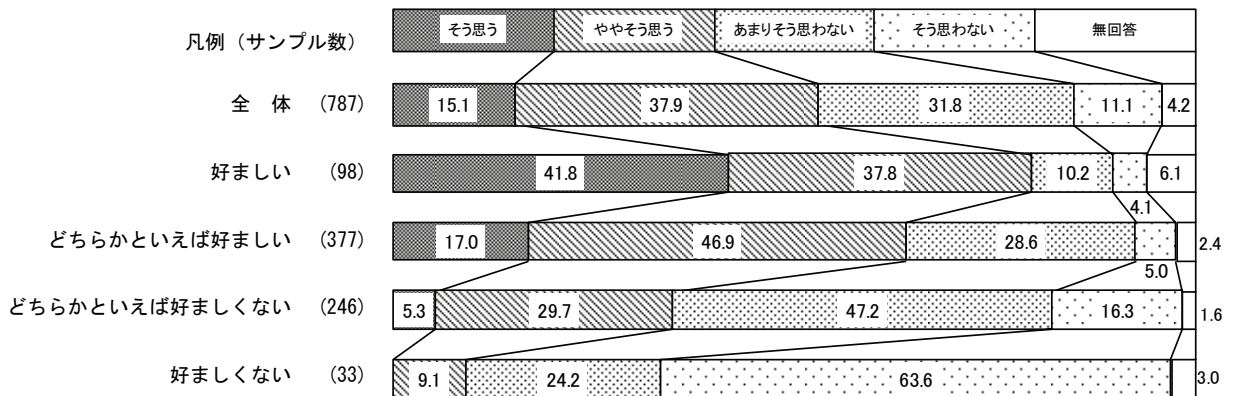
図表331 外国人が近隣に住むことへの評価別外国の食べ物を食べる機会が増える（単数回答）



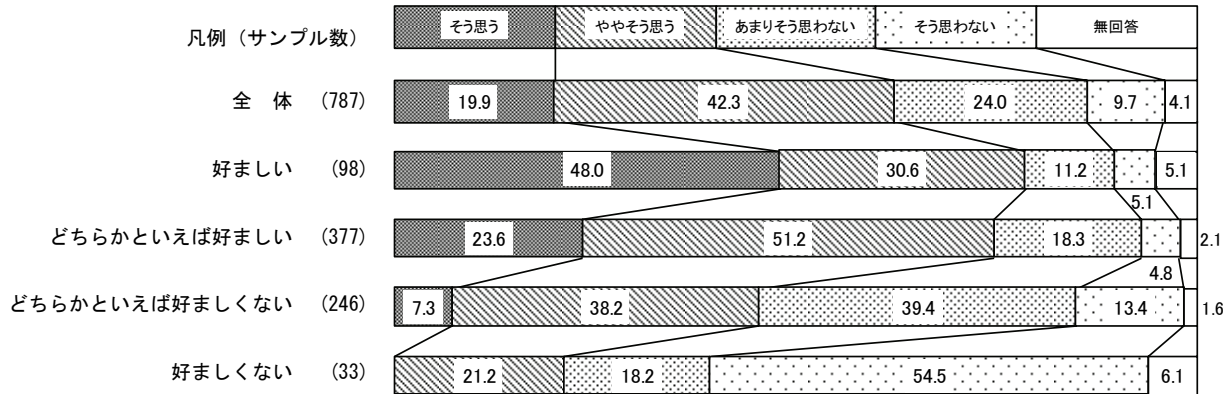
図表332 外国人が近隣に住むことへの評価別外国人、外国語に慣れる（単数回答）



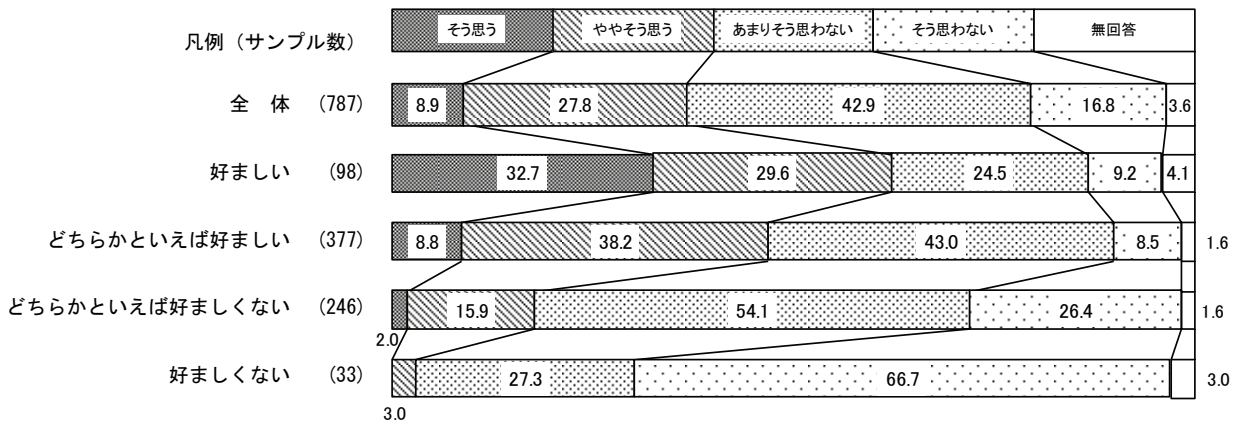
図表333 外国人が近隣に住むことへの評価別外国人の知人、友人ができる（単数回答）



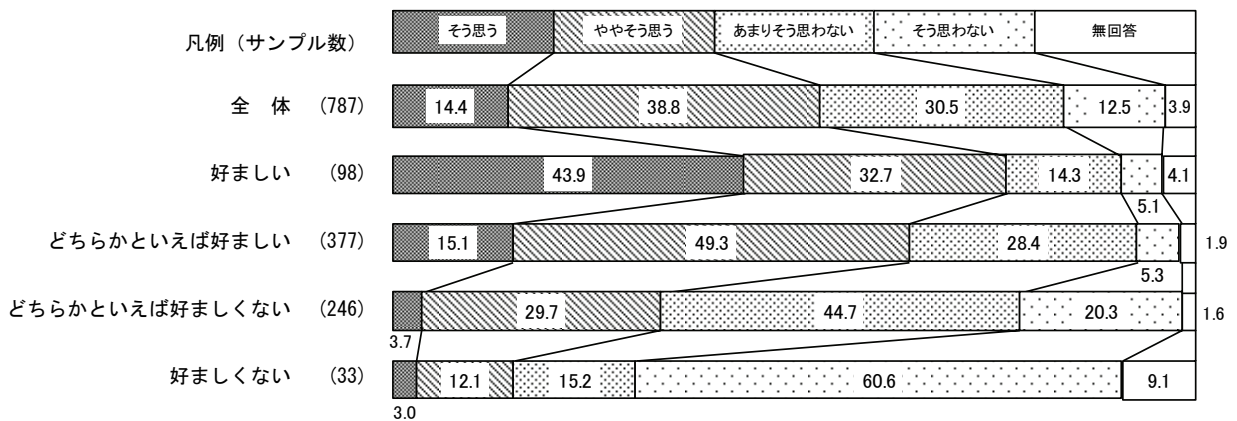
図表334 外国人が近隣に住むことへの評価別外国のことに関心をもつようになる（単数回答）



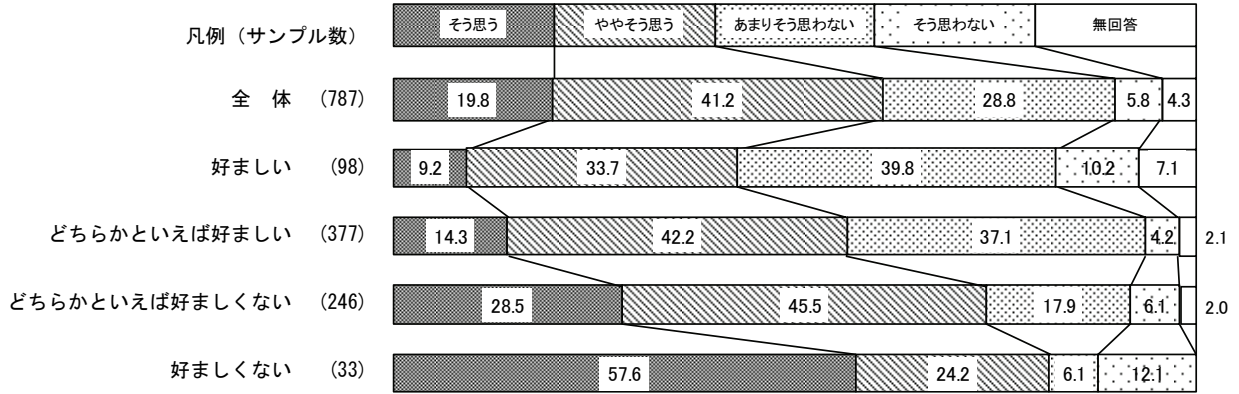
図表335 外国人が近隣に住むことへの評価別まちに活気ができる（単数回答）



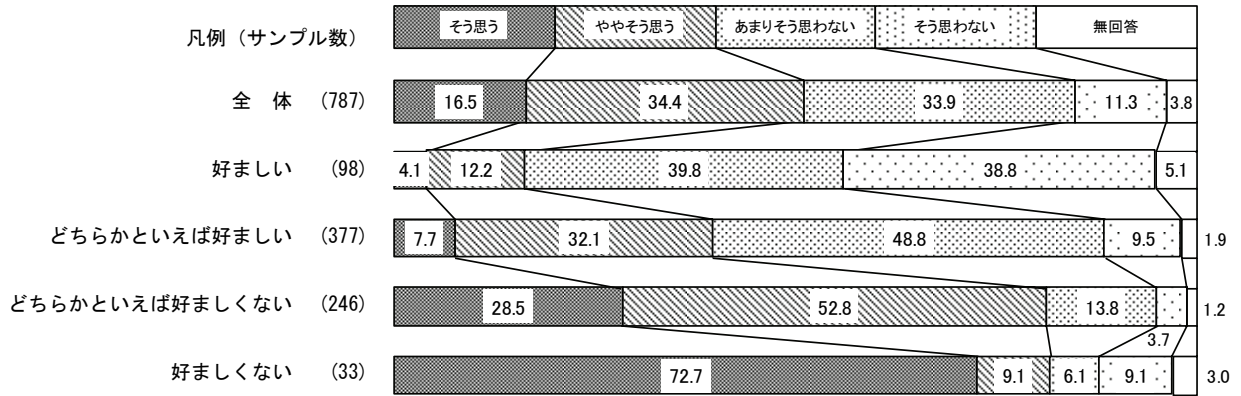
図表336 外国人が近隣に住むことへの評価別地域に新たな文化をもたらす（単数回答）



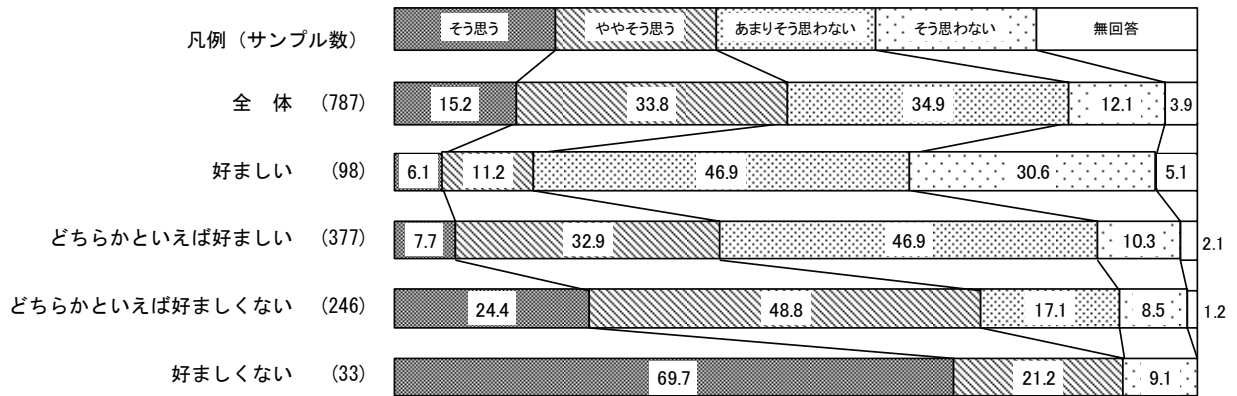
図表337 外国人が近隣に住むことへの評価別日本語の通じない人が増える（単数回答）



図表338 外国人が近隣に住むことへの評価別外国人が増えること自体、なんとなく不安に思う（単数回答）



図表339 外国人が近隣に住むことへの評価別犯罪が増加する（単数回答）



4 災害など緊急時の対応について

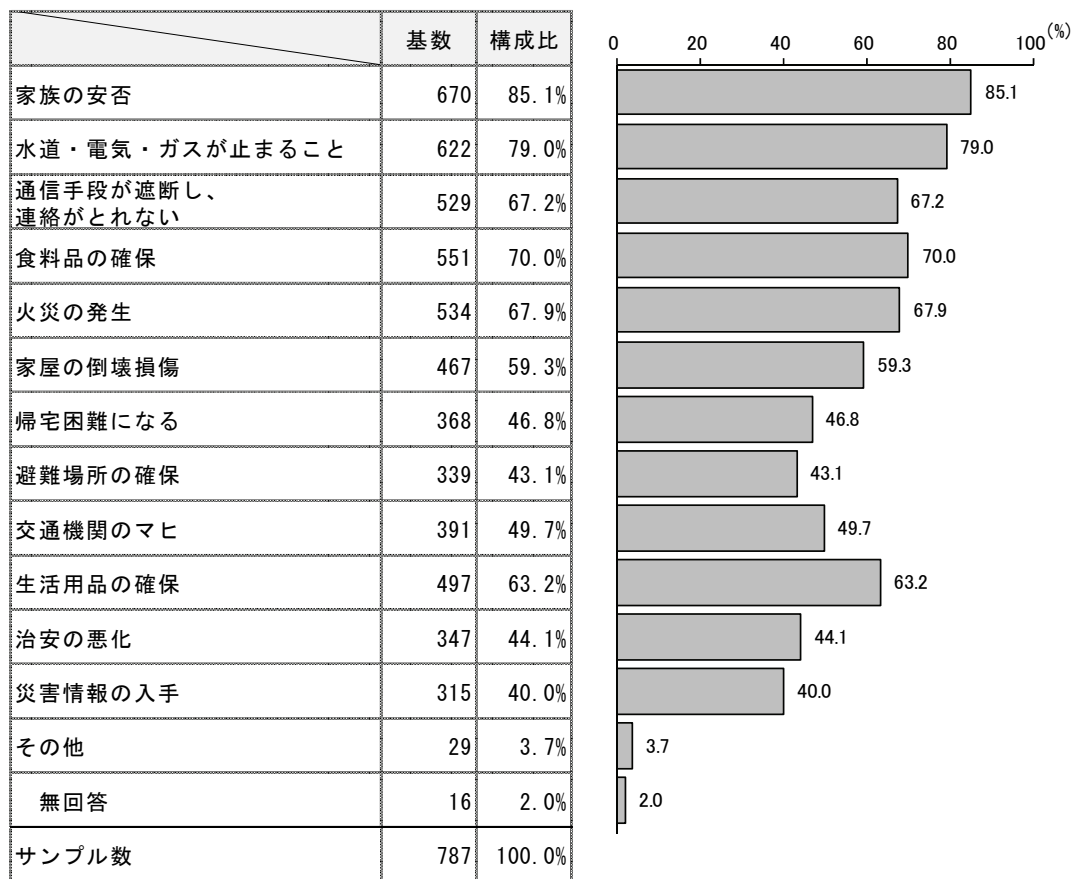
(1) 災害時に不安なこと

問 16 あなたが、地震などの災害が発生したときに不安なことは何ですか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・災害が発生したときに不安なことは、「家族の安否」が 85.1%、次いで「水道・電気・ガスが止まること」が 79.0%、「食料品の確保」が 70.0%となっている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに 20～50 代で「家族の安否」が最も高くなっており、男性の 20 代を除くと 8 割以上を占めている。また、男女ともに 60 歳以上では「水道・電気・ガスが止まること」が最も高くなっており、8 割を占めている。
- ・就業形態別にみると、有職者、学生は「家族の安否」が最も高くなっているが、専業主婦、無職等は「水道・電気・ガスが止まること」が最も高くなっている。

図表340 地震などの災害が発生したときに不安なこと（複数回答）



図表341 男女年代別地震などの災害が発生したときに不安なこと（複数回答）

	調査数	家族の安否	水道・電気・ガスが止まること	連絡手段が遮断し、連絡がとれない	食料品の確保	火災の発生	家屋の倒壊損傷	帰宅困難になる	避難場所の確保	交通機関のマヒ	生活用品の確保	治安の悪化	災害情報の入手	その他	無回答
全体	787 100.0	670 85.1	622 79.0	529 67.2	551 70.0	534 67.9	467 59.3	368 46.8	339 43.1	391 49.7	497 63.2	347 44.1	315 40.0	29 3.7	16 2.0
男性・20代	31 100.0	21 67.7	13 41.9	18 58.1	20 64.5	8 25.8	11 35.5	10 32.3	9 29.0	15 48.4	12 38.7	5 16.1	7 22.6	3 9.7	-
男性・30代	53 100.0	46 86.8	35 66.0	39 73.6	38 71.7	29 54.7	30 56.6	31 58.5	17 32.1	31 58.5	35 66.0	23 43.4	16 30.2	-	1 1.9
男性・40代	47 100.0	42 89.4	35 74.5	27 57.4	34 72.3	27 57.4	26 55.3	19 40.4	11 23.4	21 44.7	27 57.4	18 38.3	9 19.1	1 2.1	-
男性・50代	54 100.0	49 90.7	44 81.5	31 57.4	33 61.1	36 66.7	33 61.1	29 53.7	15 27.8	26 48.1	33 61.1	25 46.3	17 31.5	4 7.4	-
男性・60代以上	151 100.0	116 76.8	124 82.1	91 60.3	97 64.2	112 74.2	88 58.3	49 32.5	68 45.0	63 41.7	89 58.9	71 47.0	58 38.4	2 1.3	7 4.6
女性・20代	45 100.0	44 97.8	36 80.0	34 75.6	33 73.3	25 55.6	29 64.4	31 68.9	21 46.7	29 64.4	30 66.7	16 35.6	17 37.8	1 2.2	-
女性・30代	81 100.0	74 91.4	63 77.8	59 72.8	68 84.0	55 67.9	48 59.3	48 59.3	40 49.4	42 51.9	57 70.4	33 40.7	32 39.5	5 6.2	1 1.2
女性・40代	78 100.0	71 91.0	64 82.1	60 76.9	56 71.8	55 70.5	47 60.3	42 53.8	36 46.2	38 48.7	52 66.7	39 50.0	35 44.9	1 1.3	3 3.8
女性・50代	55 100.0	51 92.7	46 83.6	39 70.9	41 74.5	38 69.1	40 72.7	34 61.8	23 41.8	35 63.6	35 63.6	23 41.8	23 41.8	2 3.6	-
女性・60代以上	179 100.0	147 82.1	152 84.9	124 69.3	120 67.0	140 78.2	106 59.2	73 40.8	91 50.8	85 47.5	117 65.4	86 48.0	94 52.5	9 5.0	4 2.2

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

図表342 就業形態別地震などの災害が発生したときに不安なこと（複数回答）

	調査数	家族の安否	水道・電気・ガスが止まること	連絡手段が遮断し、連絡がとれない	食料品の確保	火災の発生	家屋の倒壊損傷	帰宅困難になる	避難場所の確保	交通機関のマヒ	生活用品の確保	治安の悪化	災害情報の入手	その他	無回答
全体	787 100.0	670 85.1	622 79.0	529 67.2	551 70.0	534 67.9	467 59.3	368 46.8	339 43.1	391 49.7	497 63.2	347 44.1	315 40.0	29 3.7	16 2.0
有職者	506 100.0	452 89.3	394 77.9	345 68.2	354 70.0	334 66.0	313 61.9	268 53.0	209 41.3	267 52.8	319 63.0	225 44.5	187 37.0	16 3.2	5 1.0
専業主婦、無職等	223 100.0	176 78.9	187 83.9	153 68.6	164 73.5	170 76.2	126 56.5	82 36.8	111 49.8	100 44.8	150 67.3	103 46.2	108 48.4	8 3.6	7 3.1
学生	15 100.0	12 80.0	9 60.0	7 46.7	6 40.0	6 40.0	7 46.7	5 33.3	4 26.7	6 40.0	5 33.3	4 26.7	4 26.7	2 13.3	-
その他	27 100.0	17 63.0	19 70.4	14 51.9	17 63.0	14 51.9	11 40.7	7 25.9	8 29.6	12 44.4	13 48.1	11 40.7	7 25.9	3 11.1	4 14.8

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

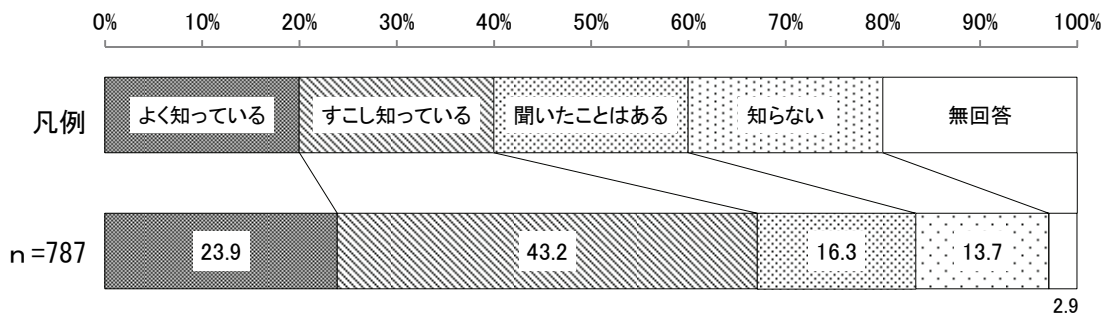
(2) 避難場所等の認知度

問 17 あなたは、地震などの災害が発生した場合の避難場所、避難道路を知っていますか。
(ひとつだけ○)

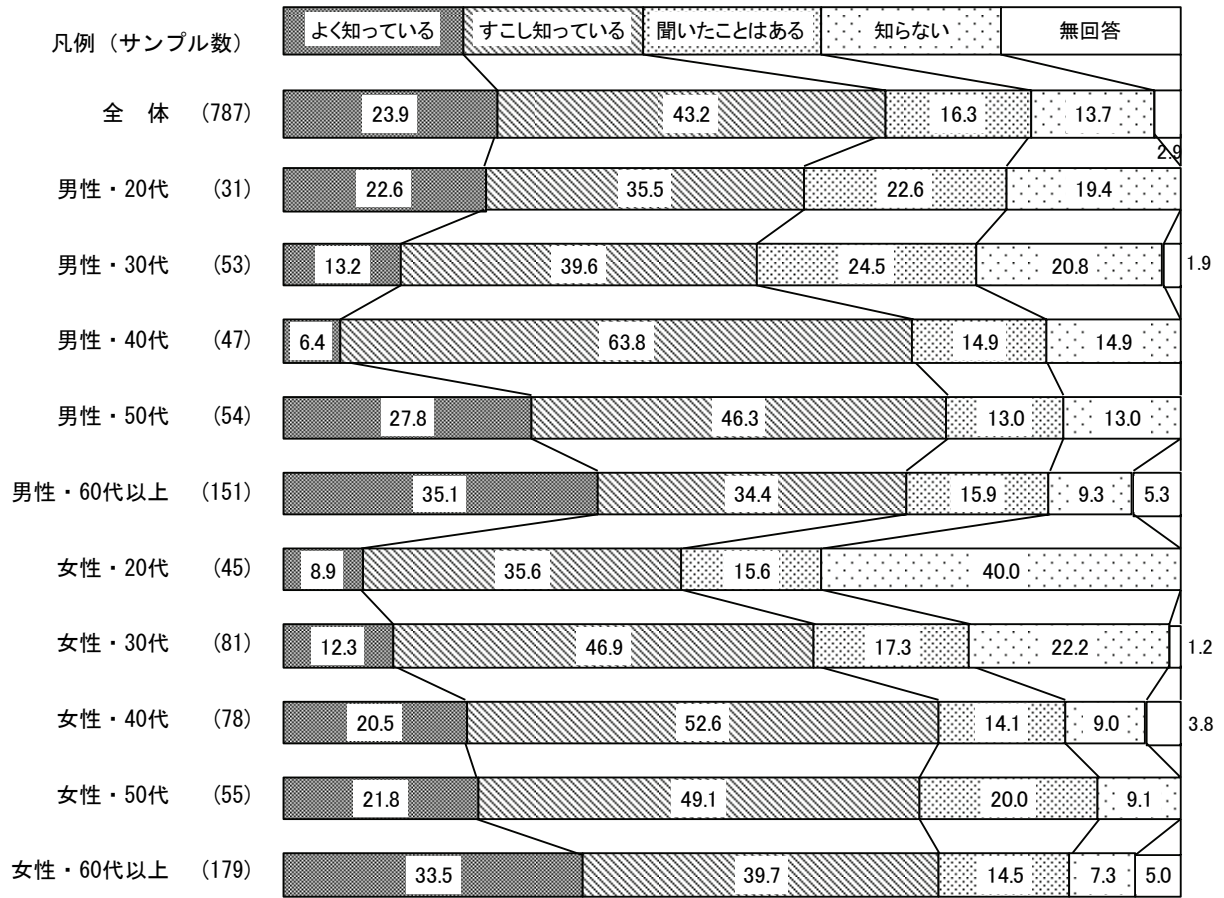
★外国人・日本人 共通設問

- ・避難場所等の認知度は、「よく知っている」が 23.9%、「すこし知っている」が 43.2%、「聞いたことがある」が 16.3%で、合わせた認知度は 83.4%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「よく知っている」、「すこし知っている」及び「聞いたことがある」を合わせた割合は、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて、認知度が高くなる傾向がある。「よく知っている」は男女ともに 60 歳以上が最も高くなっている。
- ・就業形態別にみると、「よく知っている」、「すこし知っている」及び「聞いたことがある」を合わせた割合は、学生が 93.3%で最も高くなっている。
- ・区内居住地域別にみると、「よく知っている」、「すこし知っている」及び「聞いたことがある」を合わせた割合は、赤塚地域が 86.1%で最も高く、常盤台地域が 79.7%で最も低い。しかし、「よく知っている」の割合は常盤台地域が 28.2%で最も高い。

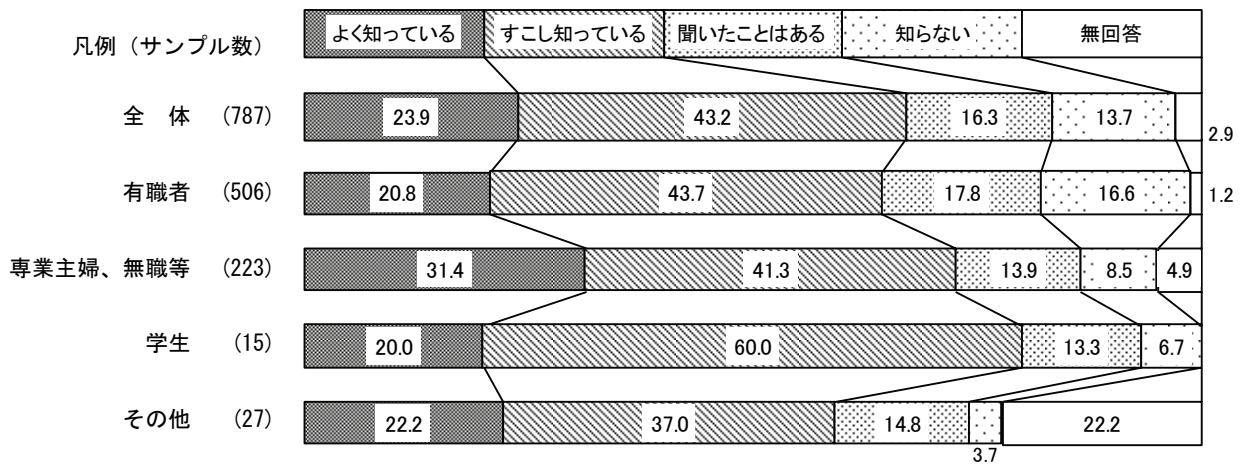
図表343 避難場所等の認知度（単数回答）



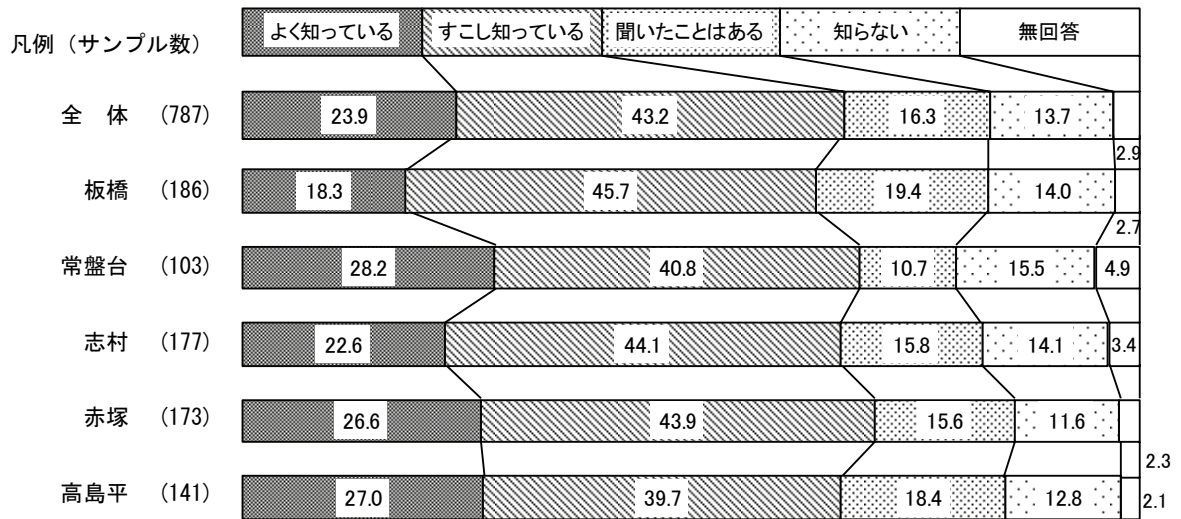
図表344 男女・年代別避難場所等の認知度（単数回答）



図表345 就業形態別避難場所等の認知度（単数回答）



図表346 区内居住地域別避難場所等の認知度（単数回答）



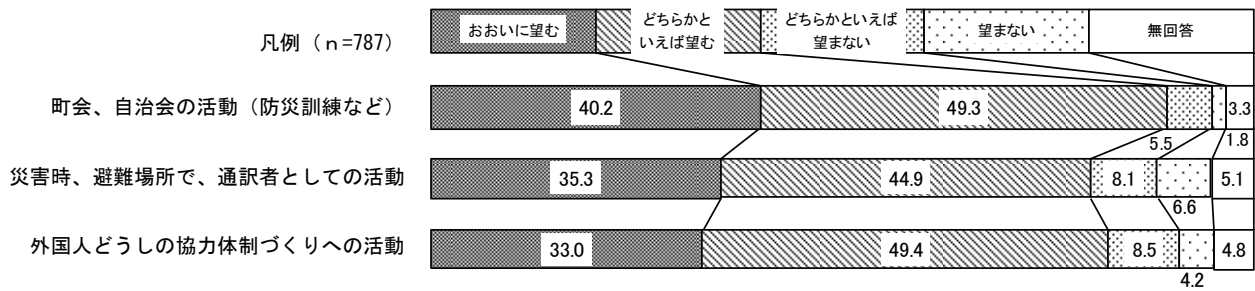
(3) 災害に関する活動への外国人の参加

問 18 あなたは、以下の地震などの災害に関する活動に、外国人の住民が参加することを望みますか。(A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

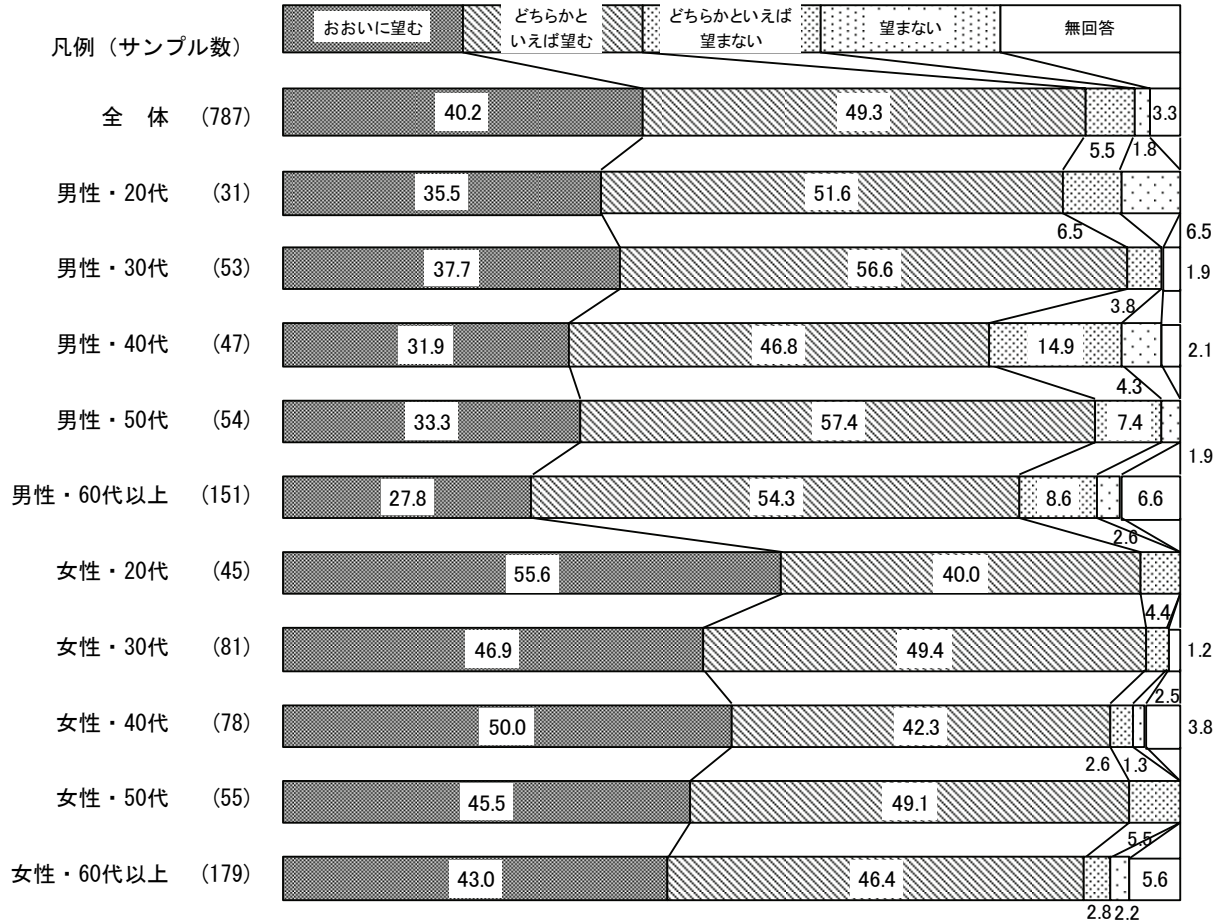
★外国人・日本人 対応設問

- ・外国人への災害活動のニーズは、「おおいに望む」と「どちらかといえば望む」を合わせた割合は、〈町会などの活動〉については 89.5%、〈避難場所での通訳〉については 80.2%、〈外国人どうしの協力体制づくり〉については 82.4%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「おおいに望む」、「どちらかといえば望む」を合わせた割合は、男性においては傾向等はみられないが、女性はその項目においても、年齢が下がるにつれ高くなる傾向がある。
- ・外国人とのつきあいの程度別にみると、〈町会などの活動〉、〈避難場所での通訳〉では、「おおいに望む」は、世間話をする程度の人がいると回答した人が最も高くなっている。しかし、〈外国人どうしの協力体制づくり〉は個人的なことについて相談できる人があると回答した人が最も高くなっている。
- ・就業形態別にみると、「おおいに望む」と「どちらかといえば望む」を合わせた割合は、どの項目においても学生が最も高くなっている。

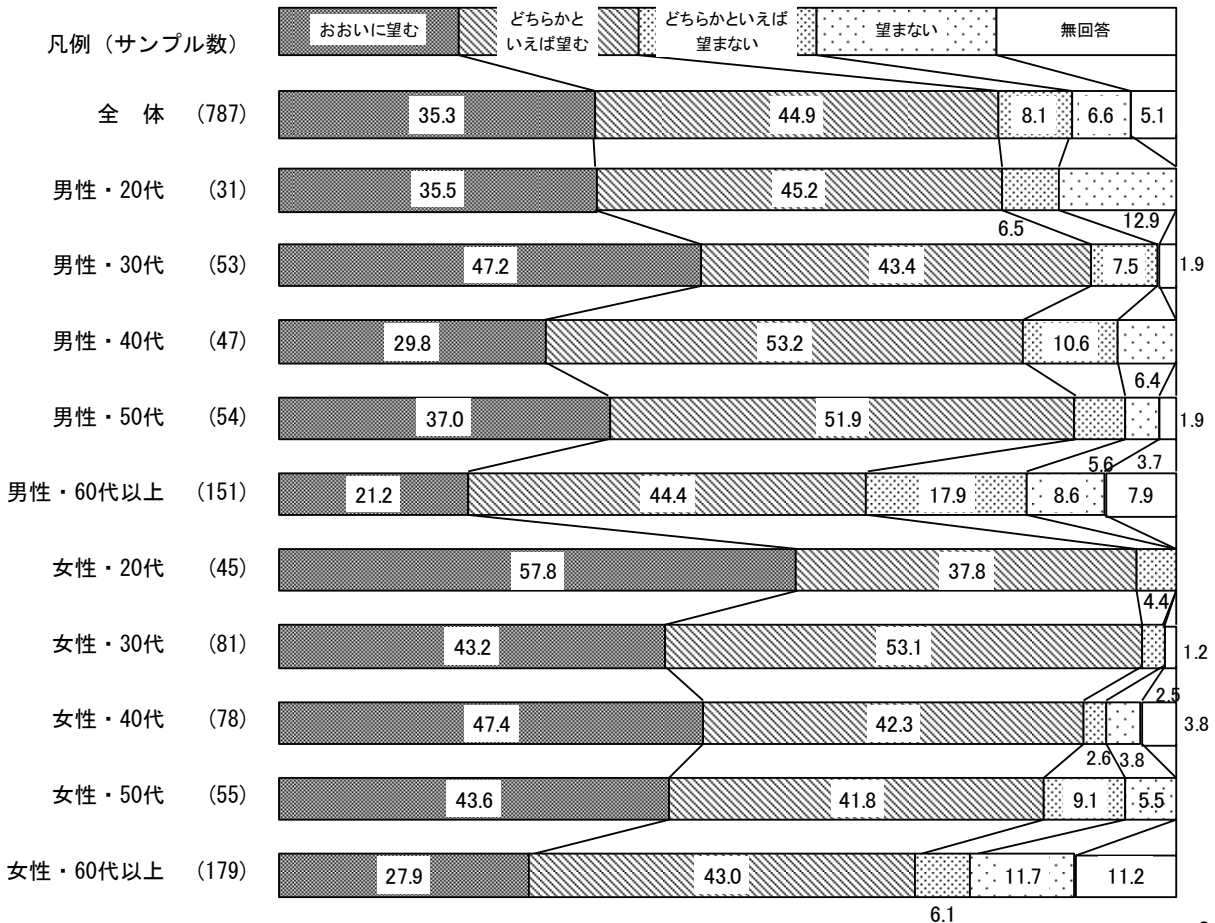
図表347 災害に関する活動への外国人の参加（単数回答）



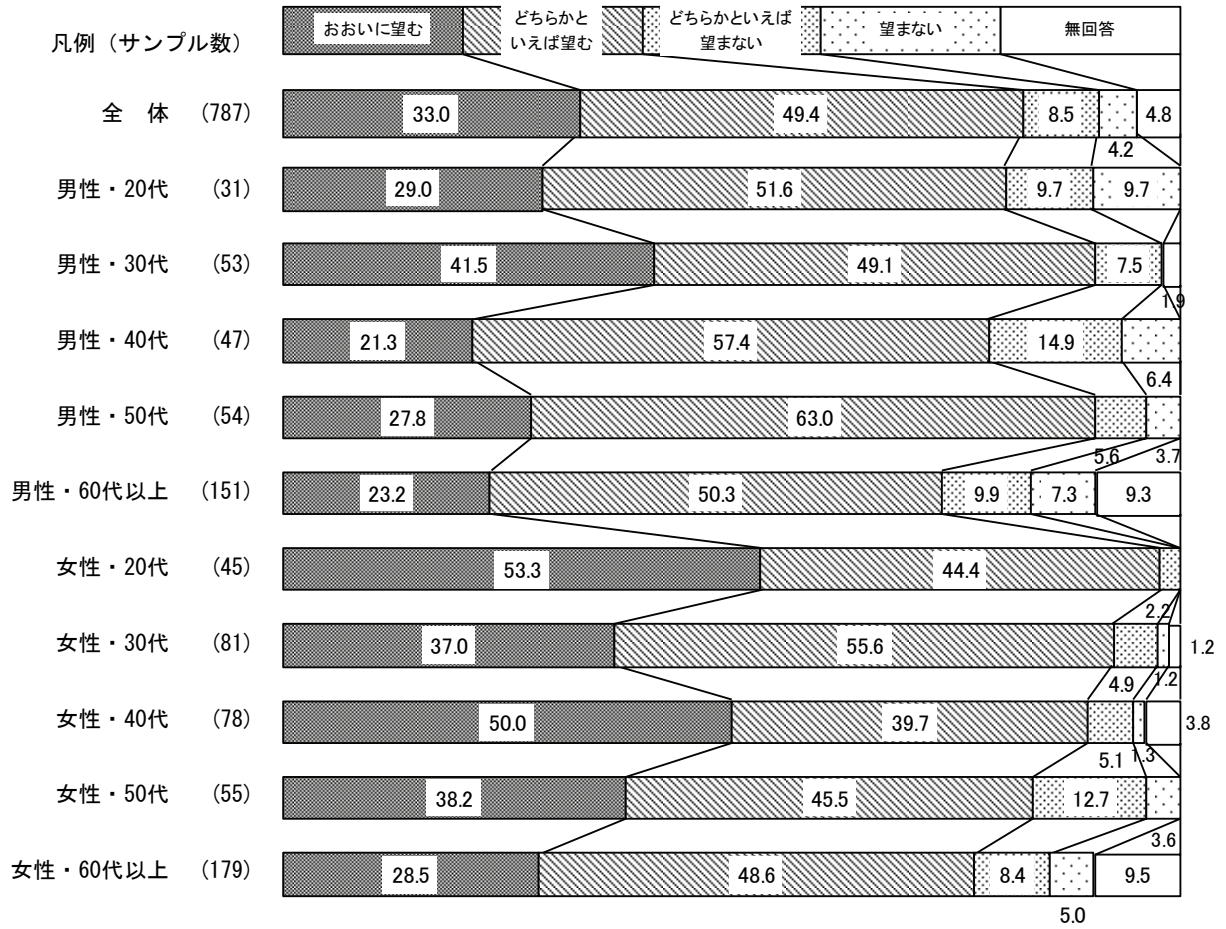
図表348 男女・年代別町会、自治体の活動（防災訓練など）（単数回答）



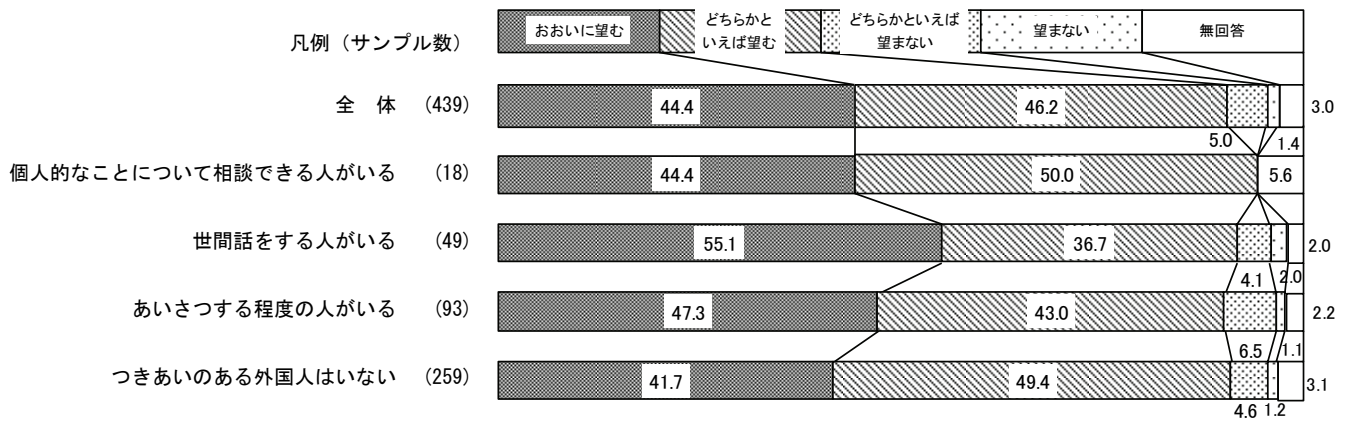
図表349 男女・年代別災害時、避難場所で通訳者としての活動（単数回答）



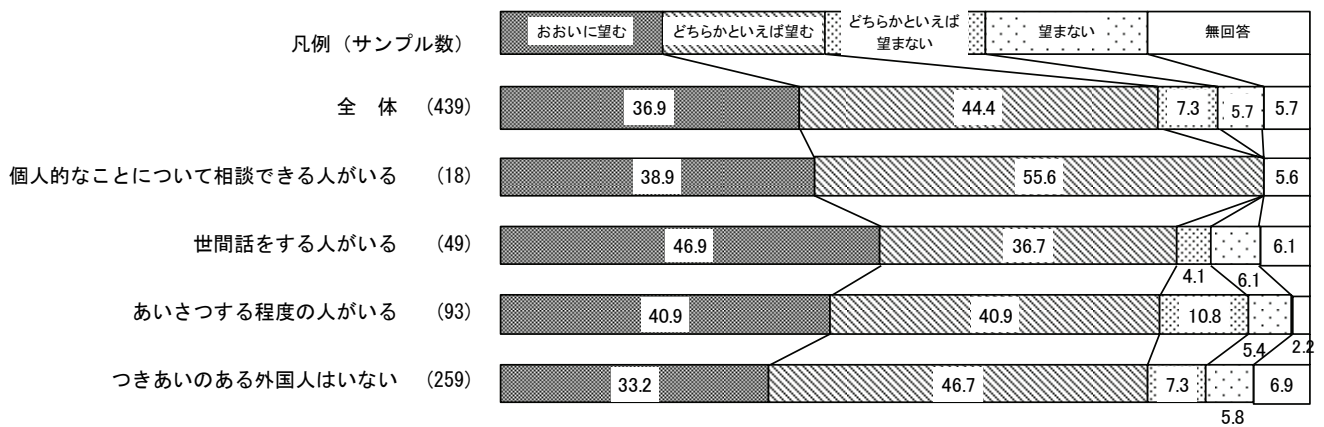
図表350 男女・年代別外国人どうしの協力体制づくりへの活動（単数回答）



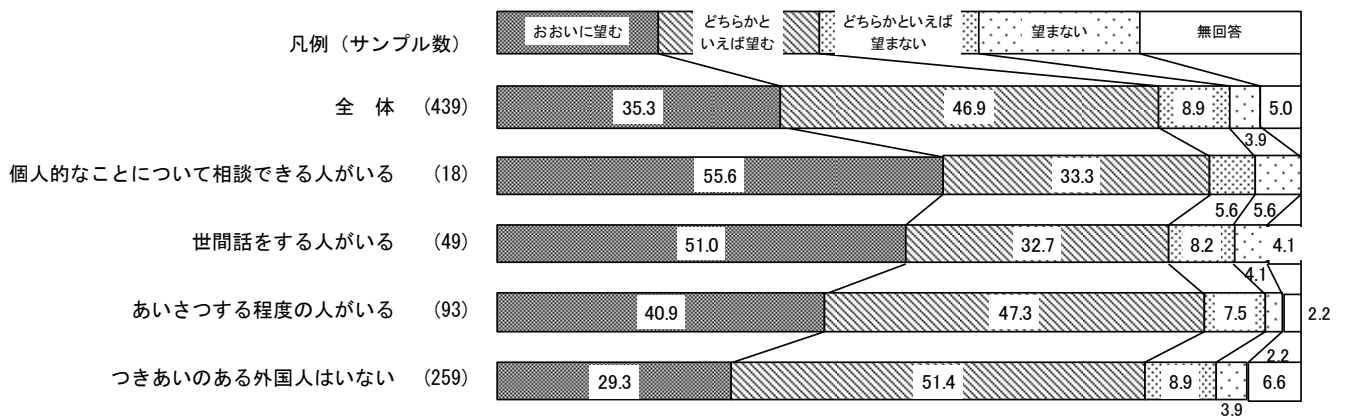
図表351 外国人とのつきあいの程度別町会、自治体の活動（防災訓練など）（単数回答）



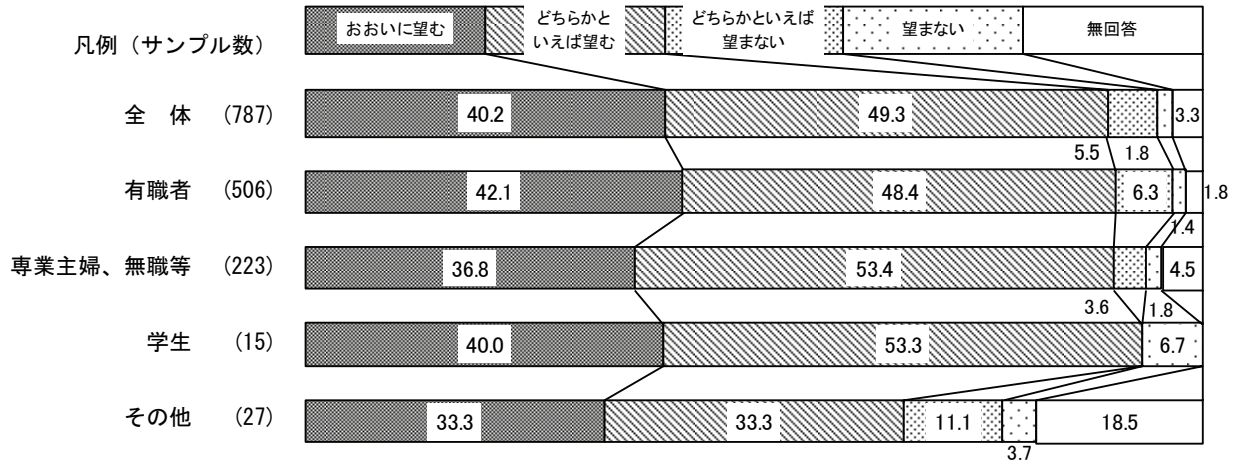
図表352 外国人とのつきあいの程度別災害時、避難場所で通訳者としての活動（単数回答）



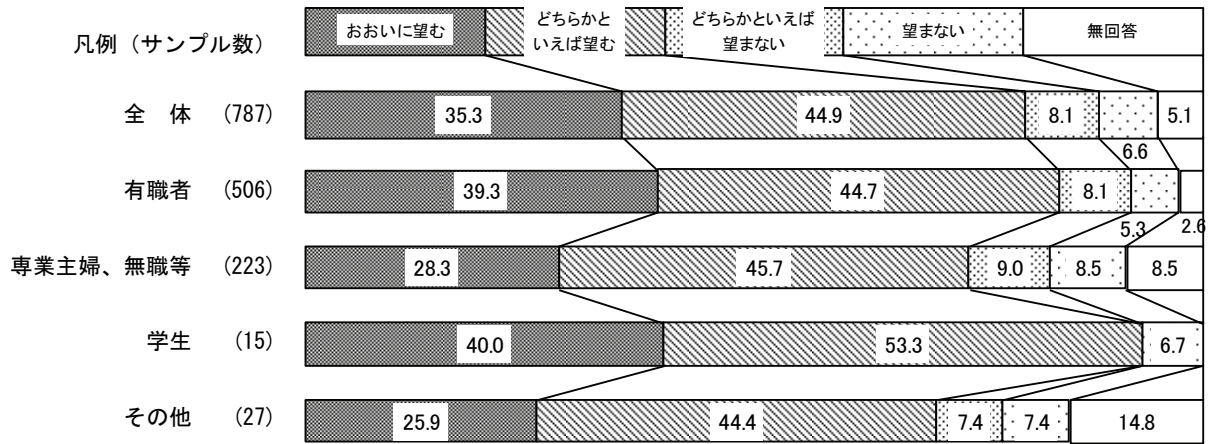
図表353 外国人とのつきあいの程度別外国人どうしの協力体制づくりへの活動（単数回答）



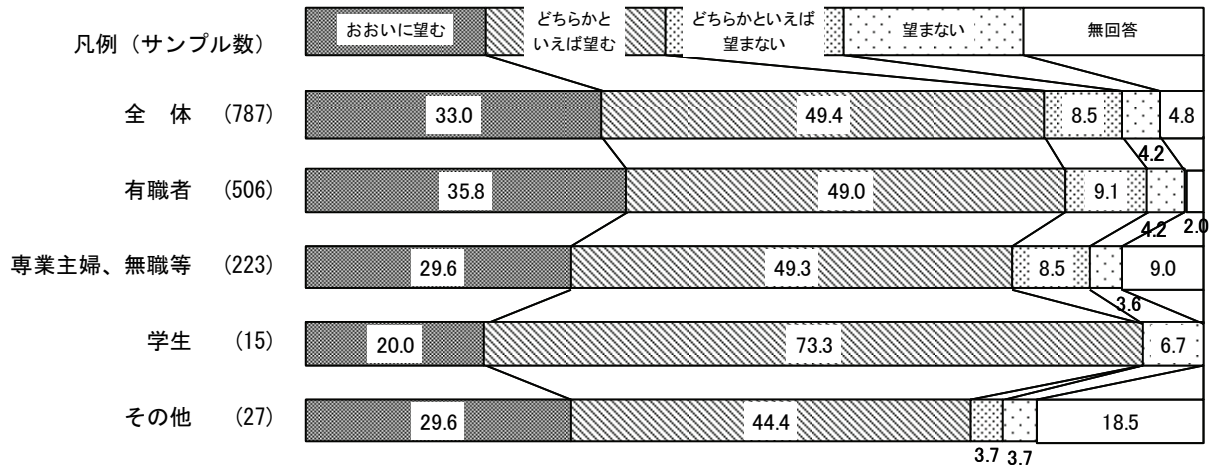
図表354 就業形態別町会、自治体の活動（防災訓練など）（単数回答）



図表355 就業形態別災害時、避難場所で通訳者としての活動（単数回答）



図表356 就業形態別外国人どうしの協力体制づくりへの活動（単数回答）



(4) 災害対策のニーズ

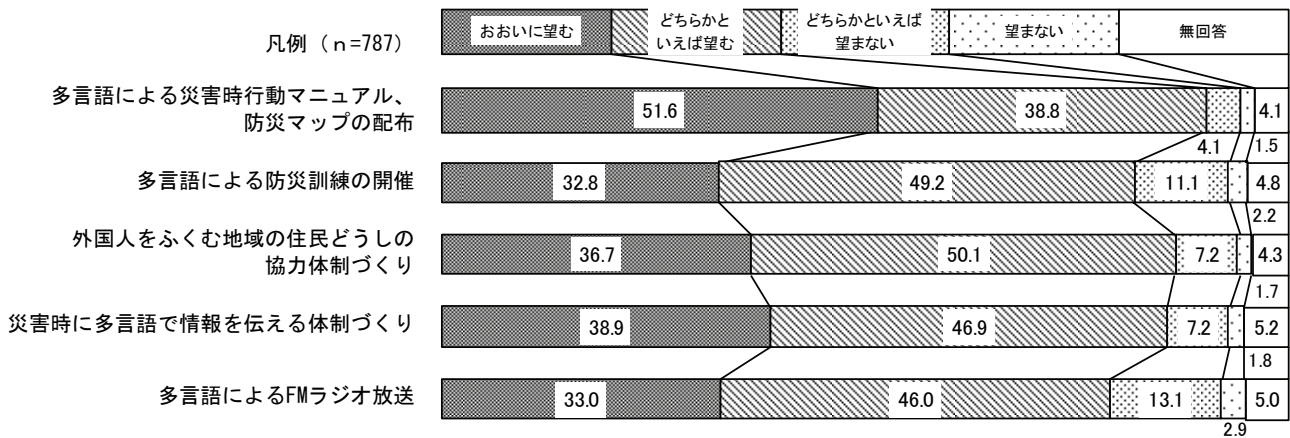
問 19 災害が起こった時には、外国人を含めて地域住民で協力し合って対応することが求められます。あなたは、以下の災害対策を、板橋区に望みますか。
(A～E について、それぞれひとつだけ○)

★外国人・日本人 共通設問

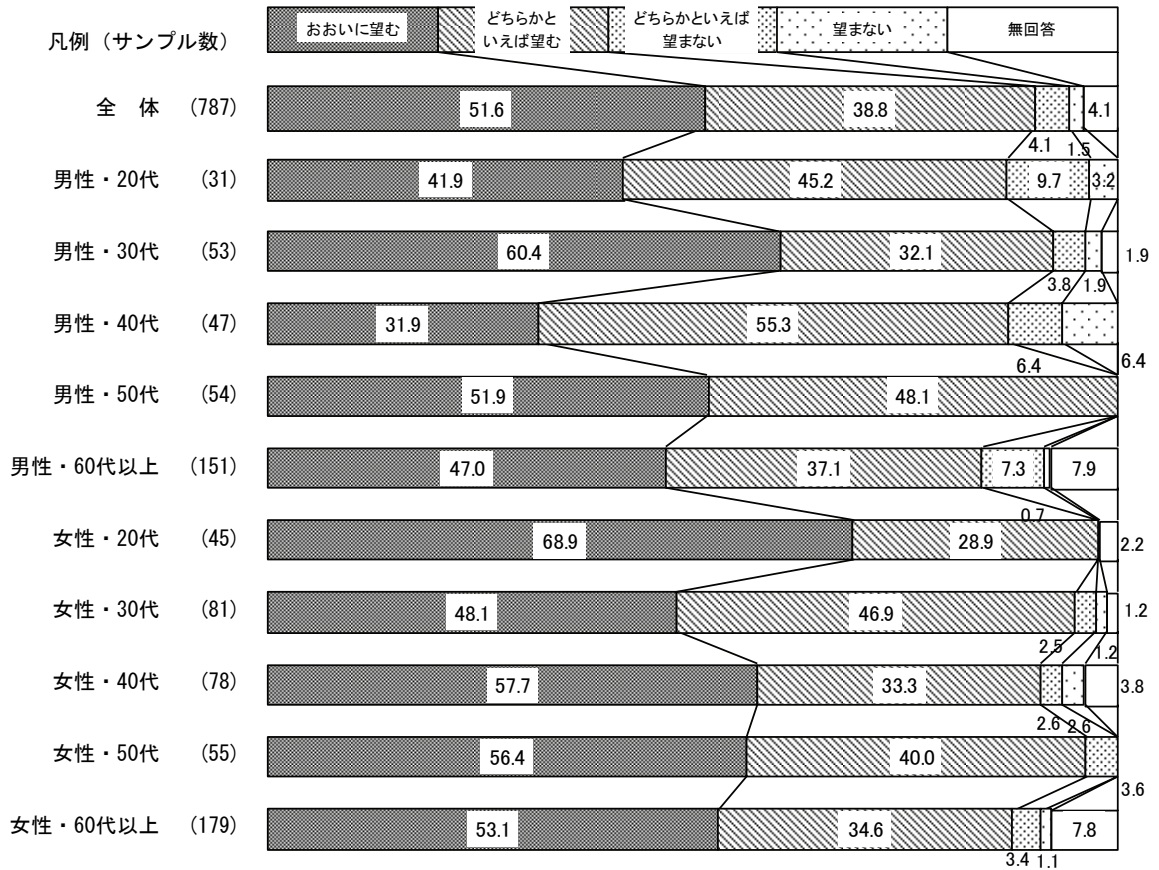
・板橋区への災害対策ニーズは、〈マニュアルなどの配布〉では、「おおいに望む」、「どちらかといえば望む」を合わせると、90.4%、同様に、〈防災訓練〉は 82.0%、〈協力体制づくり〉は 86.8%、〈情報を伝える体制づくり〉は 85.8%、〈FM ラジオ〉は 79.0%となっている。

・男女・年代別にみると、「おおいに望む」、「どちらかといえば望む」を合わせると、〈防災訓練〉は、男女ともに 50 代、〈住民どうしの協力体制づくり〉は、男性では 30 代、女性では 20 代が最も高いが、その他の災害対策では男性では 50 代、女性では 20 代が最も高くなっている。

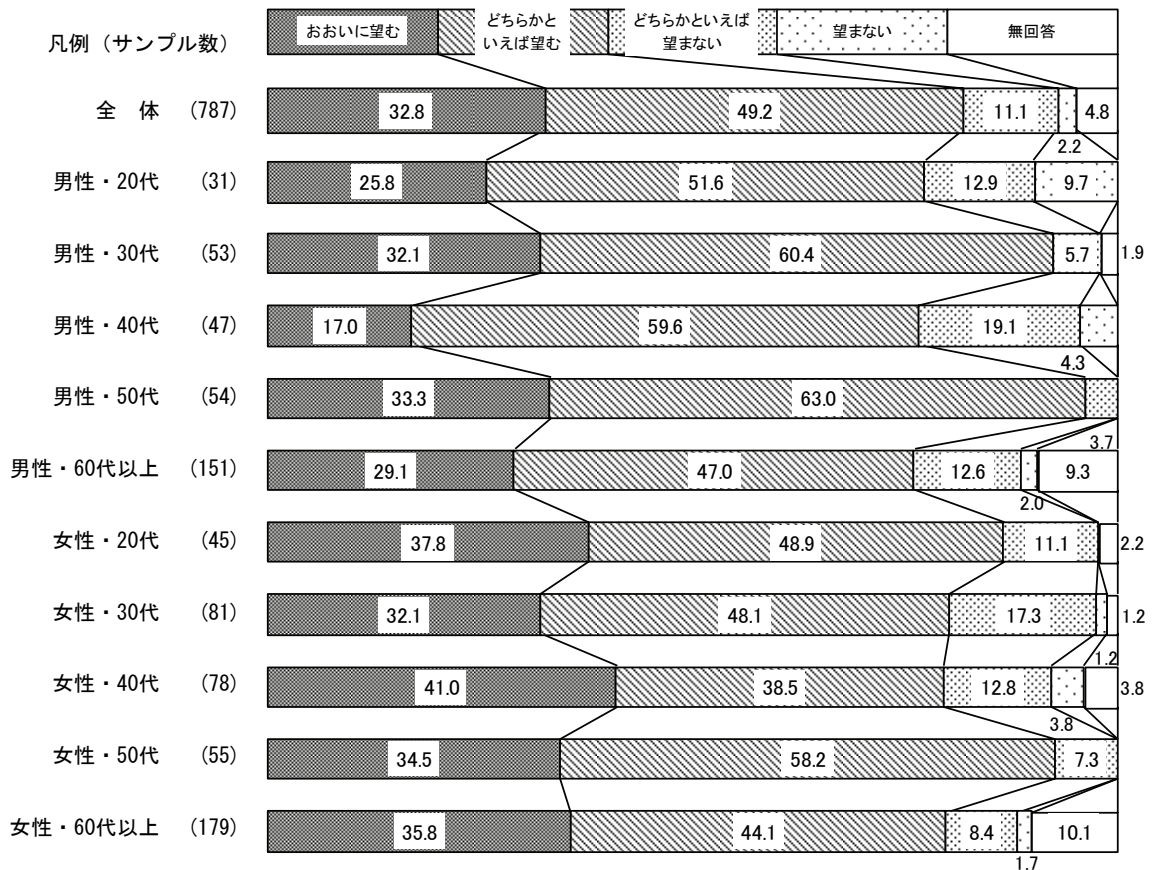
図表357 災害対策のニーズ（単数回答）



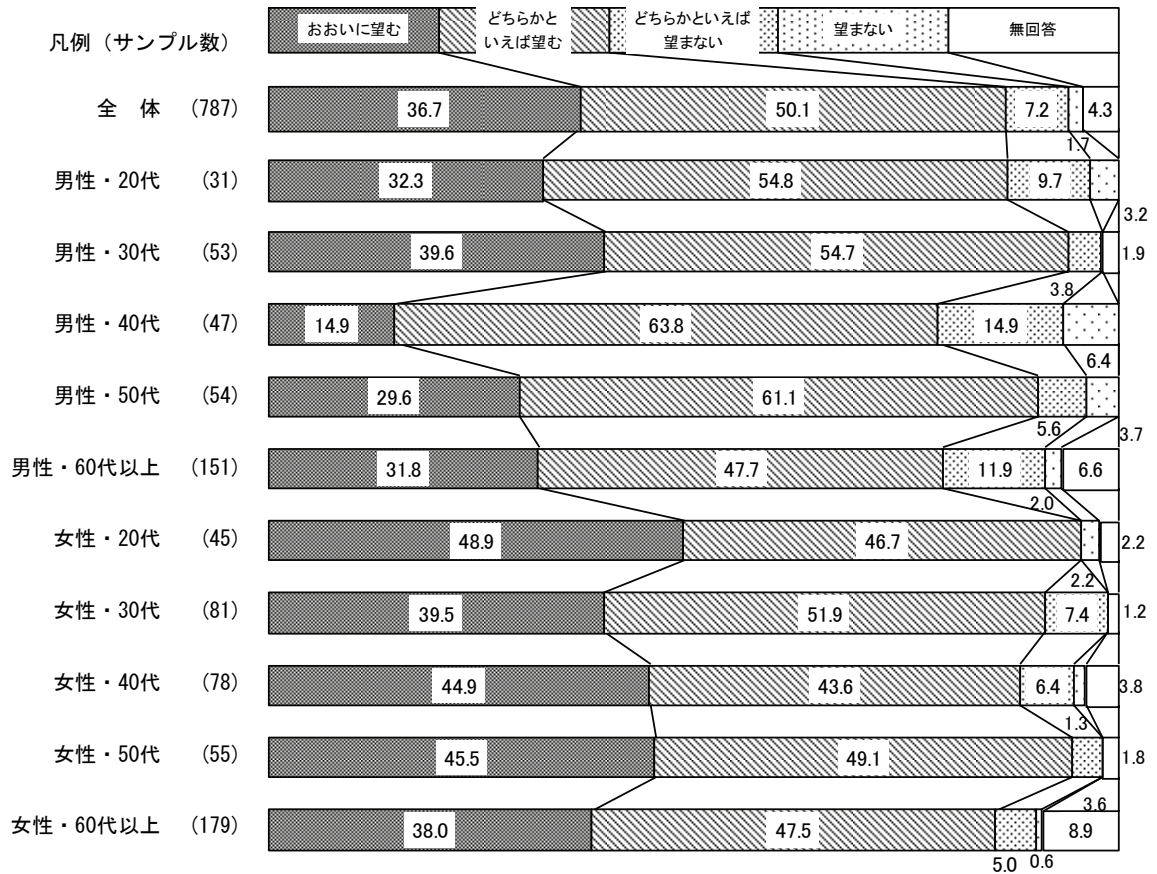
図表358 男女・年代別多言語による災害時行動マニュアル、防災マップの配布（単数回答）



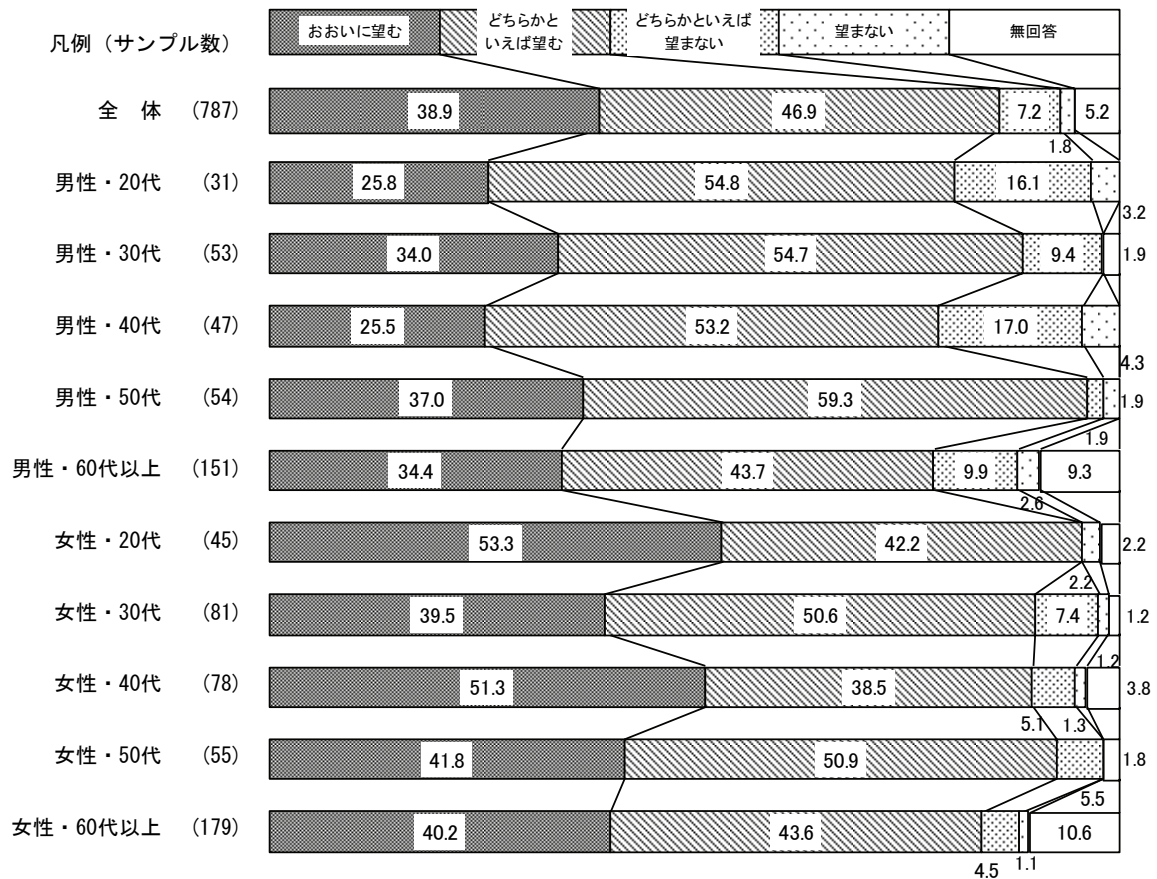
図表359 男女・年代別多言語による防災訓練の開催（単数回答）



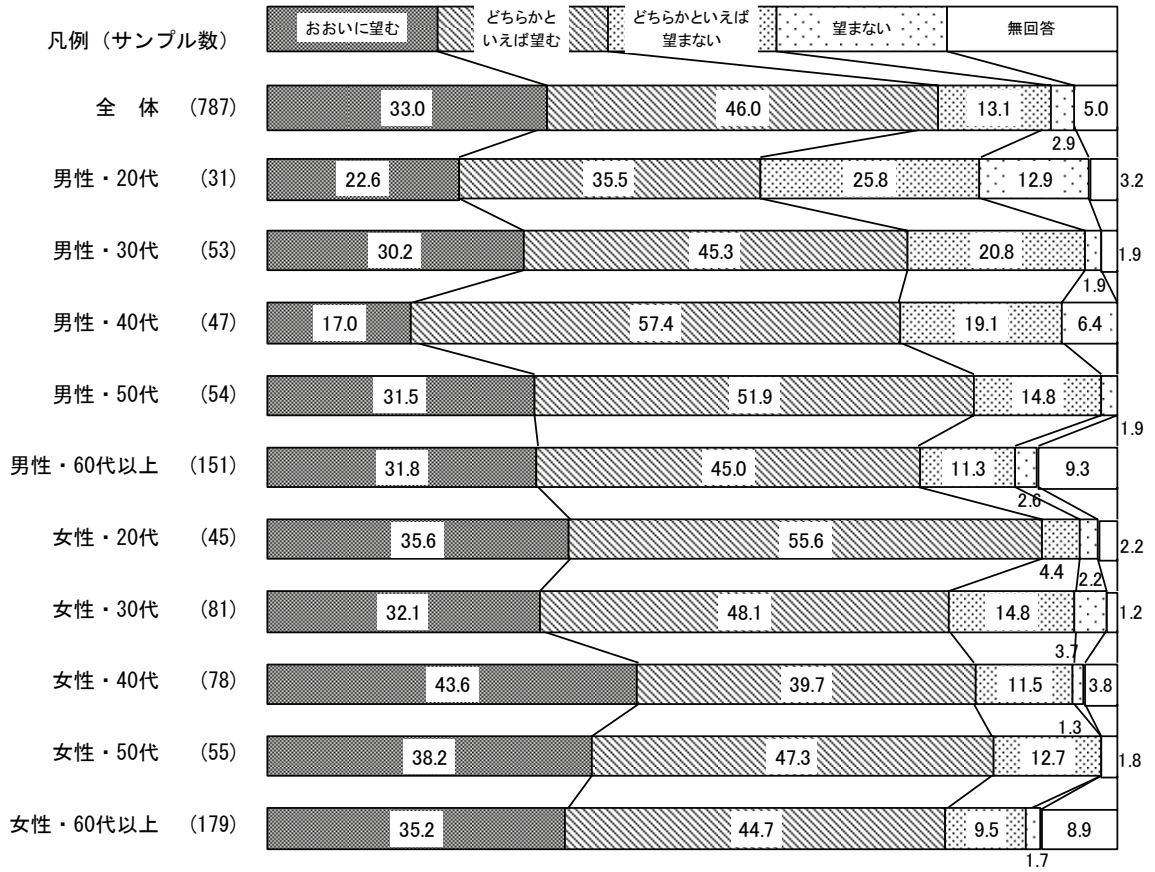
図表360 男女・年代別外国人を含む地域の住民どうしの協力体制づくり（単数回答）



図表361 男女・年代別災害時に多言語で情報を伝える体制づくり（単数回答）



図表362 男女・年代別多言語によるFMラジオ放送（単数回答）



(5) 避難時の心配ごと

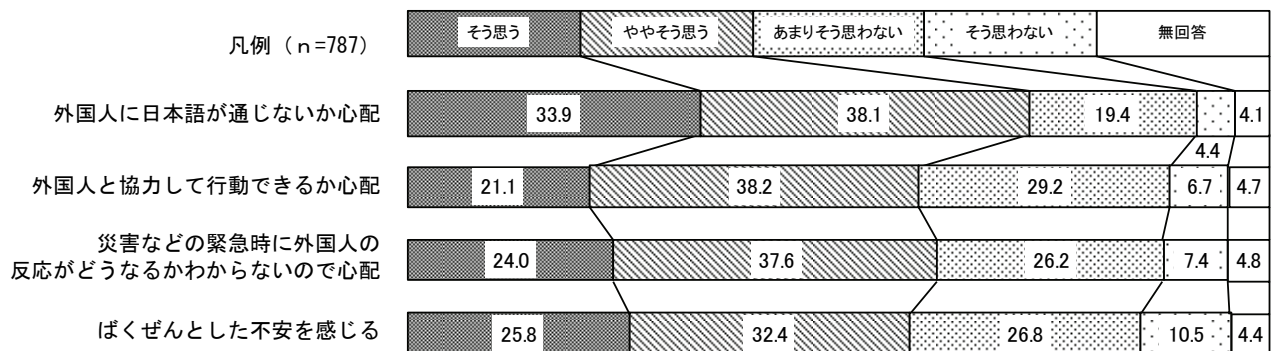
問20 あなたは、地震などの災害において避難することについて、以下のことは心配ですか。
(A～Dについて、それぞれひとつだけ○)

★外国人・日本人 共通設問

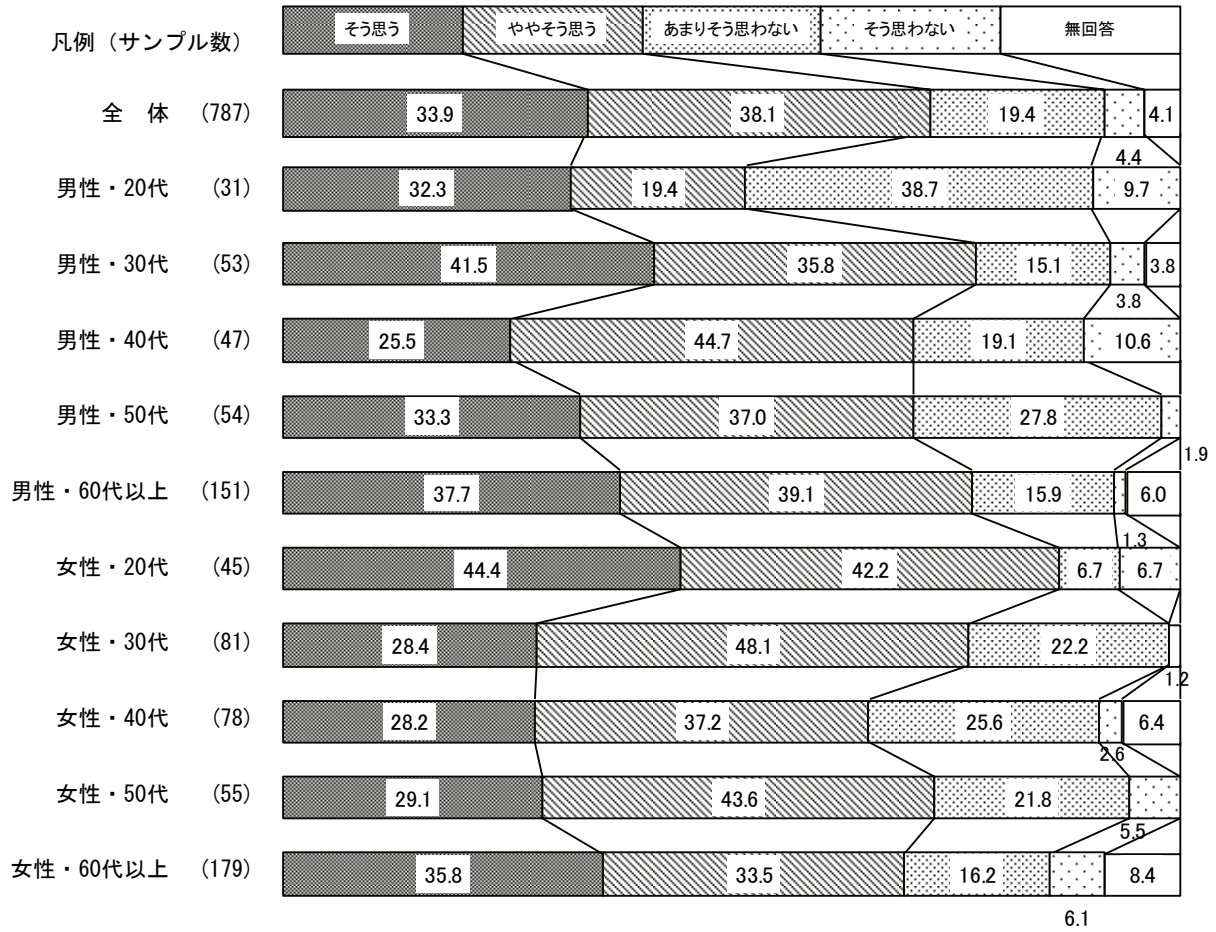
・避難時の心配ごとは、〈外国人に日本語が通じないか心配〉は、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、72.0%、同様に〈外国人と協力して行動できるか心配〉は 59.3%、〈外国人の反応がわからないので心配〉は 61.6%、〈ばくぜんとした不安を感じる〉が 58.2%となっている。

・男女・年代別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、〈外国人に日本語が通じないか心配〉が男性では30代、女性では20代が最も高い。〈外国人と協力して行動できるか心配〉は、男女ともに60歳以上が最も高くなっている。〈外国人の反応がわからないので心配〉は、男女ともに20代が最も高く、〈ばくぜんとした不安を感じる〉は男性では30代、女性では20代が最も高くなっている。

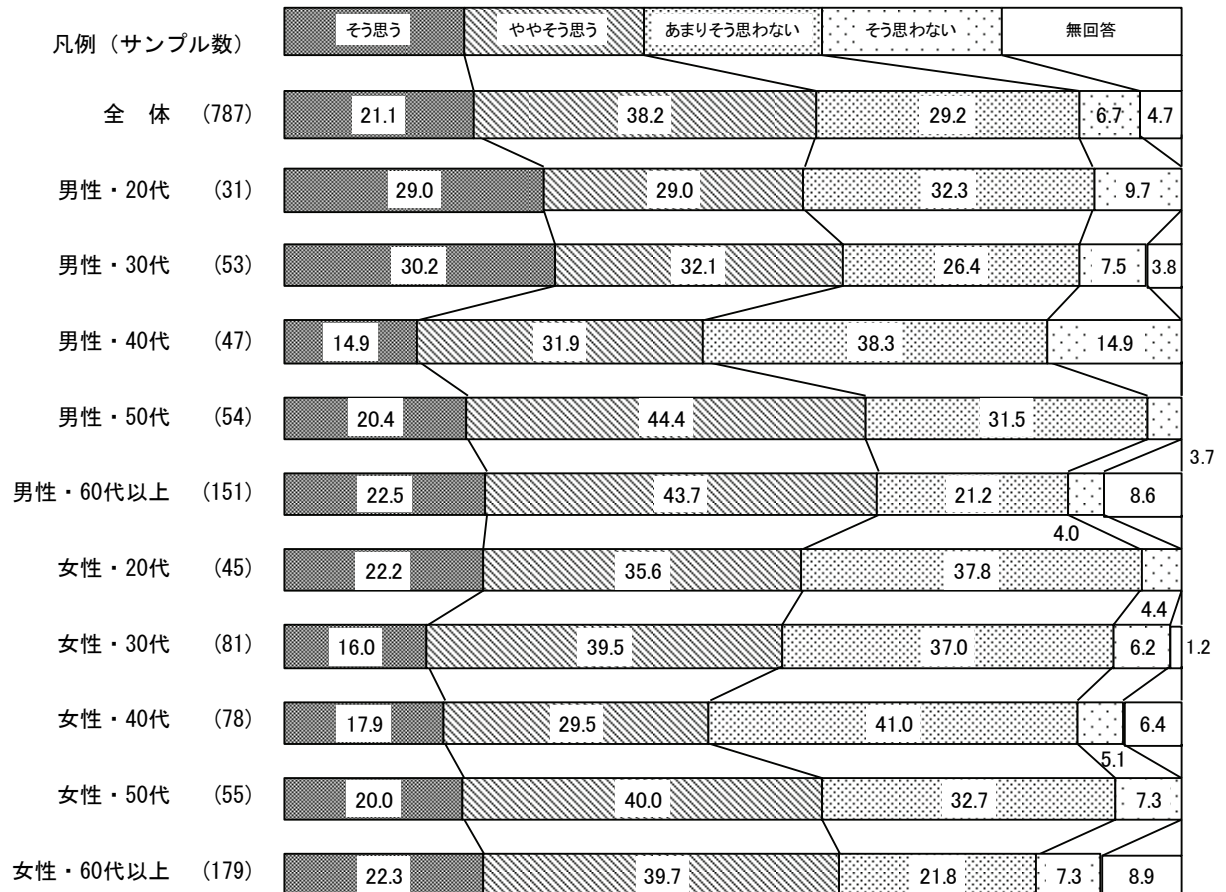
図表363 避難時の心配ごと（単数回答）



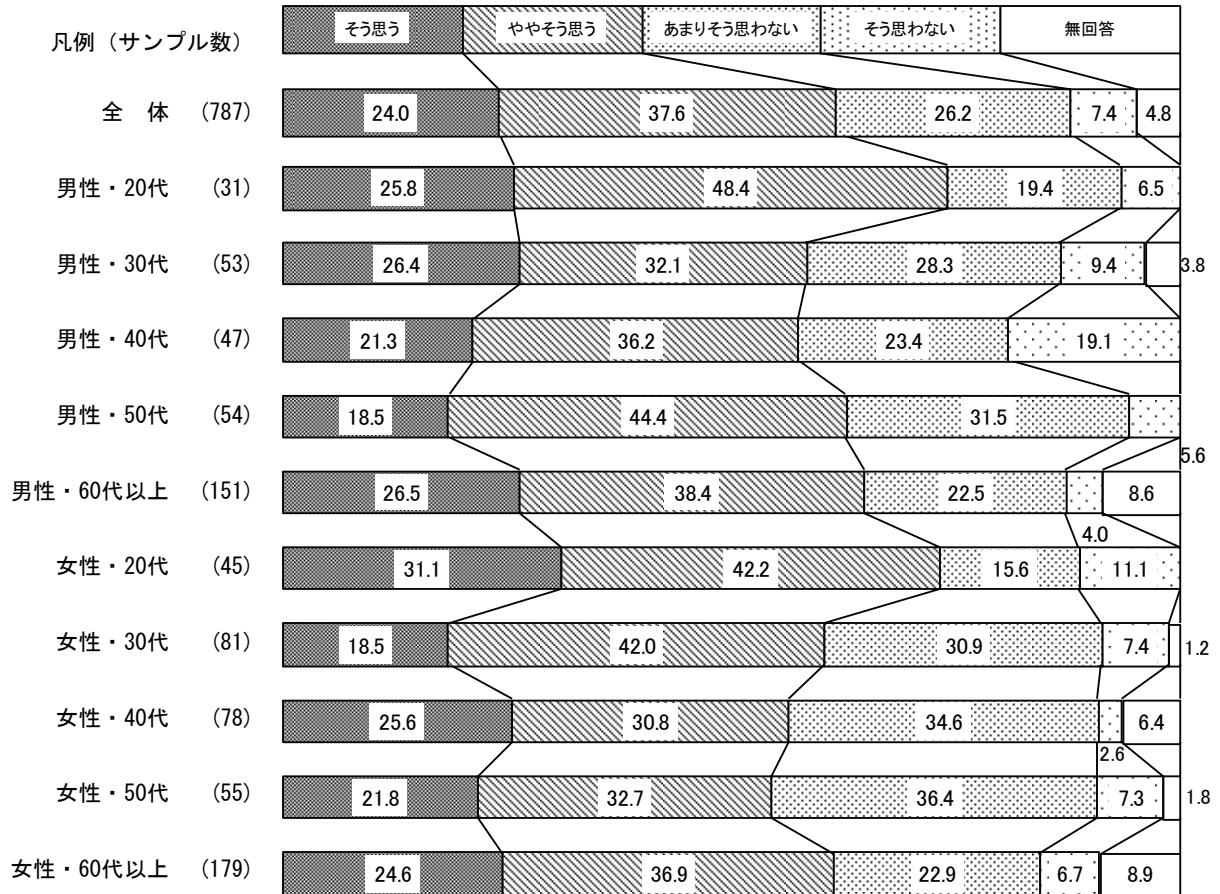
図表364 男女・年代別外国人に日本語が通じないか心配（単数回答）



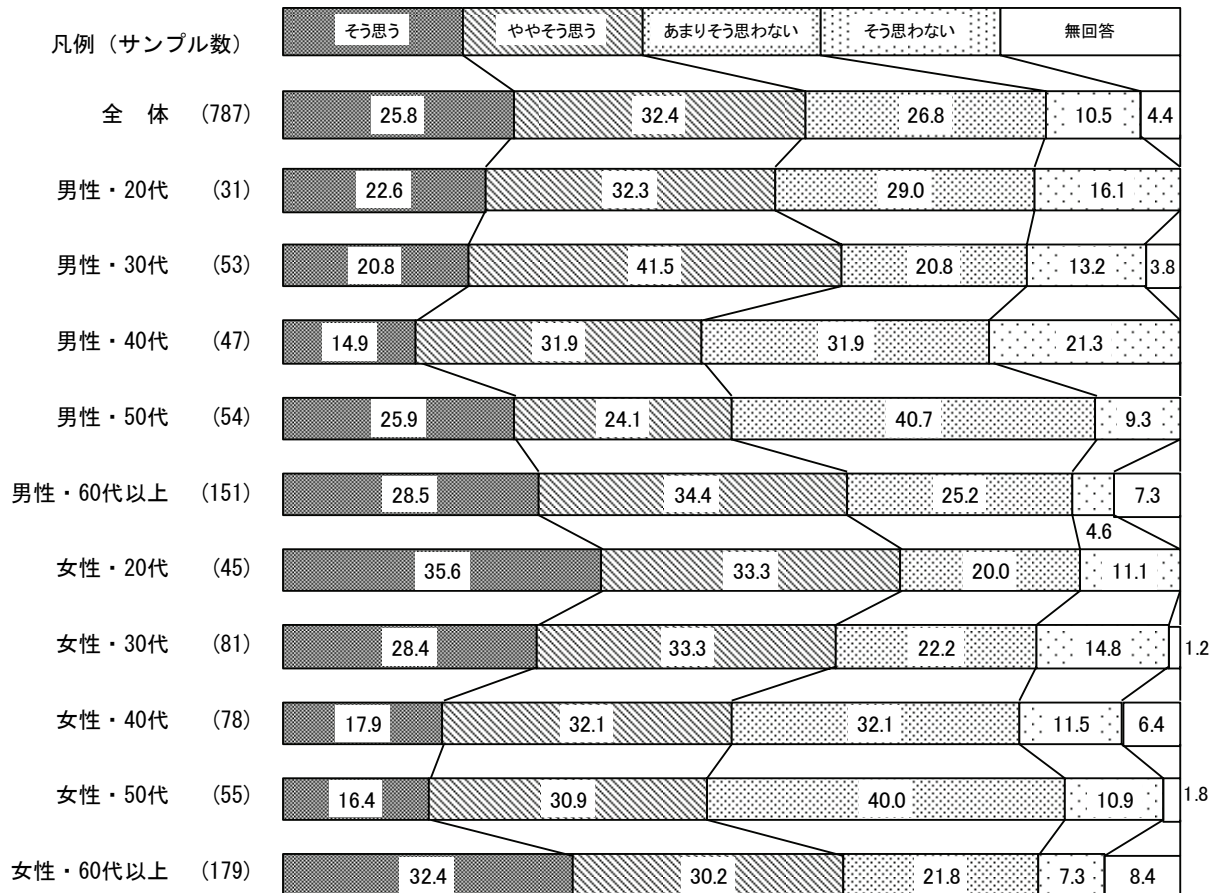
図表365 男女・年代別外国人と協力して行動できるか心配（単数回答）



図表366 男女・年代別災害などの緊急時に外国人の反応がどうなるかわからないので心配（単数回答）



図表367 男女・年代別ばくぜんとした不安を感じる（単数回答）



5 子育てや教育について

(1) 子どもの状況

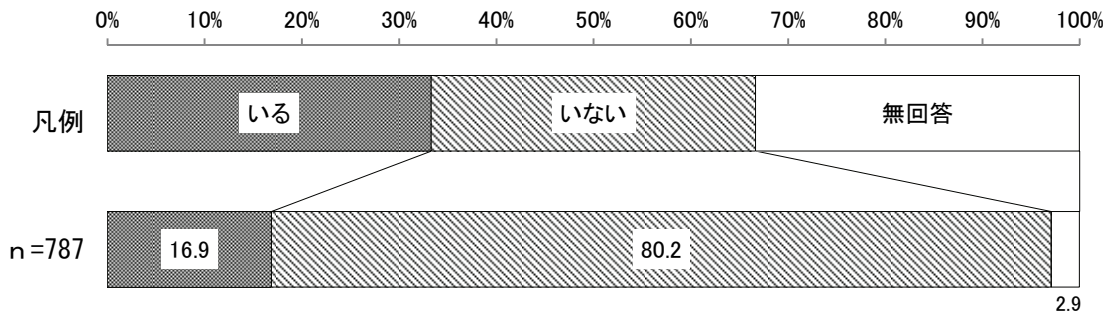
○子どもの有無

問 21 あなたは、現在、いっしょに暮らしている満 15 才以下のご自分のお子さんはいますか。(ひとつだけ○)

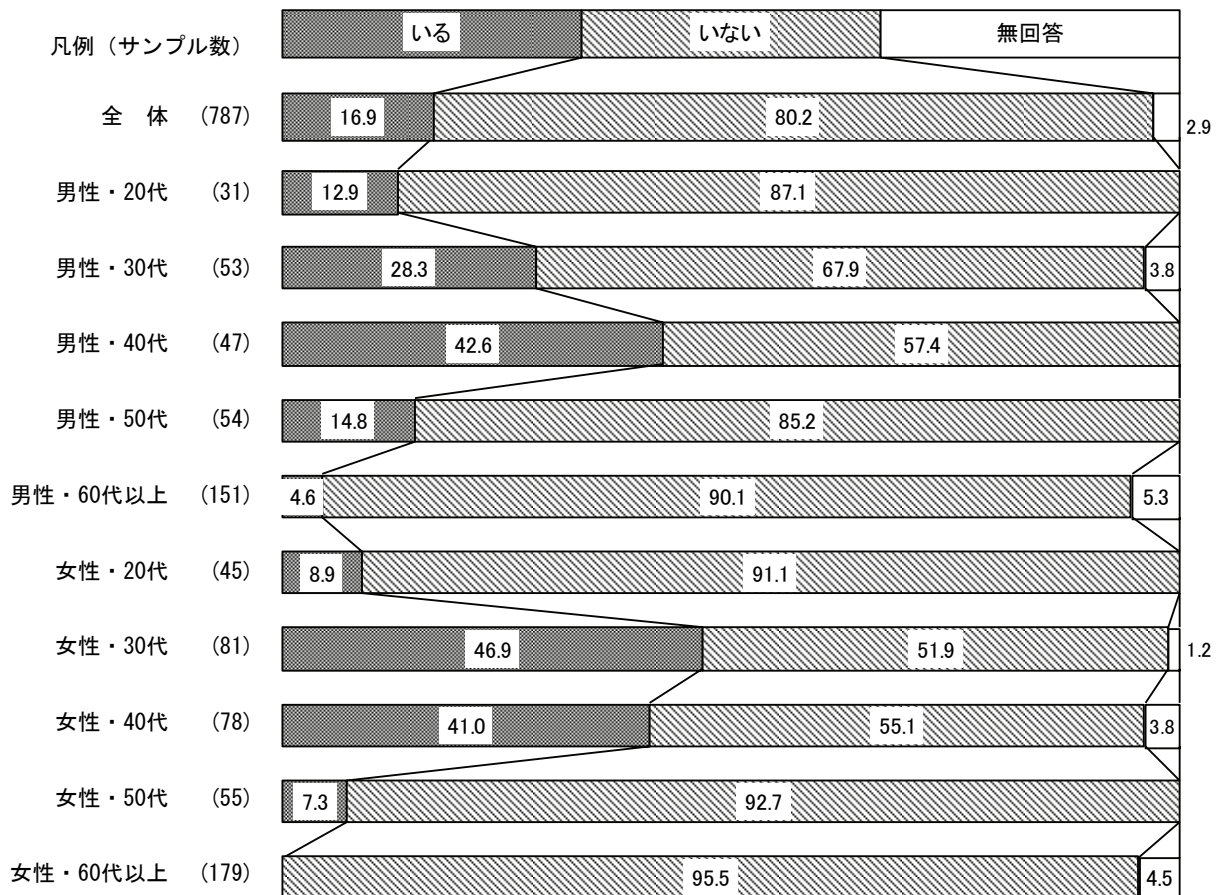
★外国人・日本人 共通設問

- ・満 15 歳以下の子どもの有無は、「いる」が 16.9%、「いない」が 80.2%となっている。
- ・男女・年代別にみると、子どもがいる割合は男性では 40 代、女性では 30 代、40 代が高く、4 割を超えている。
- ・居住地域別にみると、子どもがいる割合は、志村地域が 22.6%で最も高く、次いで常盤台地域が 19.4%となっている。

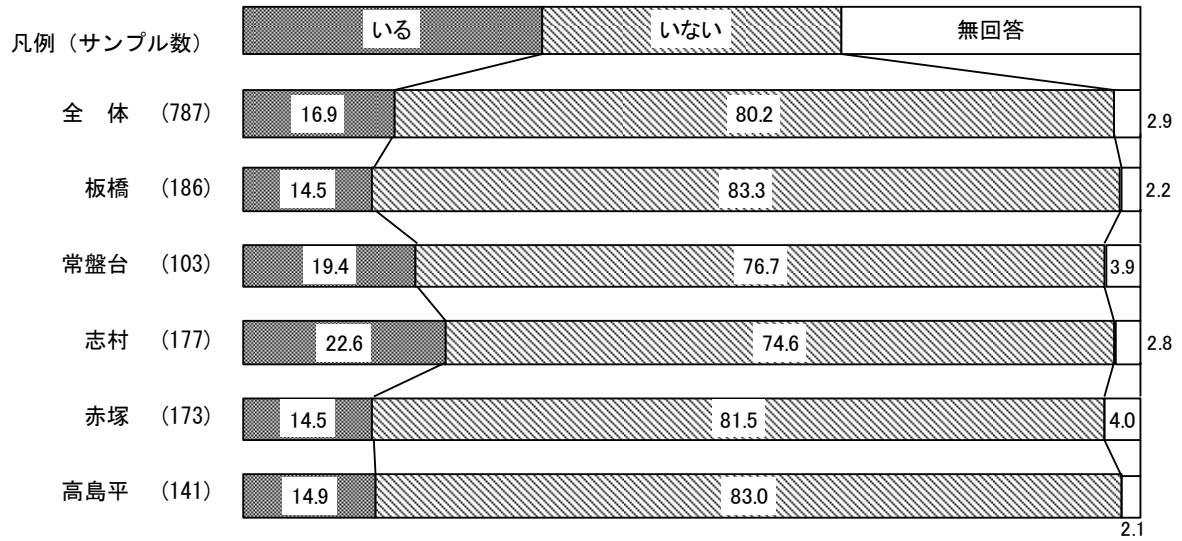
図表368 子どもの有無（単数回答）



図表369 男女・年代別子どもの有無（単数回答）



図表370 居住地域別子どもの有無（単数回答）



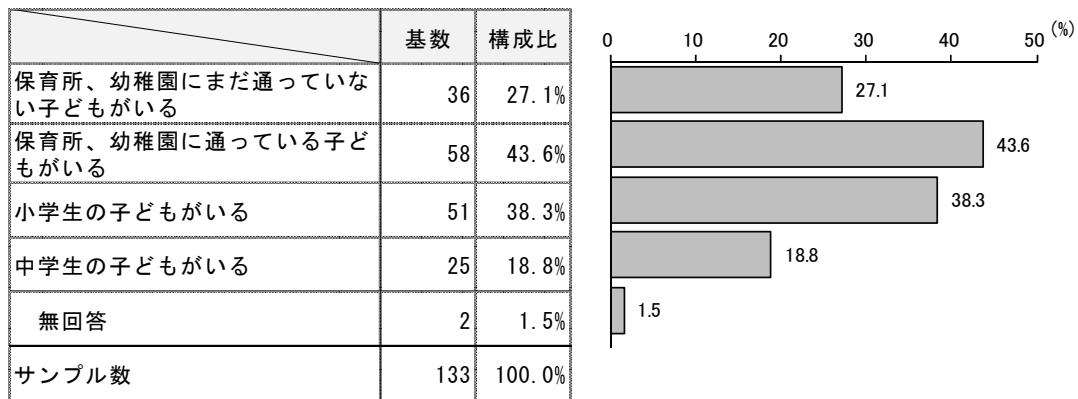
○子どもの学年

問 22 問 21 で 1 に回答した方(現在、満 15 才以下のご自分のお子さんと暮らしている人)にお聞きます。あなたが現在、いっしょに暮らしているお子さんについて、以下の中からあてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

・満 15 歳以下の子どもと暮らしている 133 人のうち、「中学生の子どもがいる」が 18.8%、「小学生の子どもがいる」が 38.3%、「保育所、幼稚園に通っている子どもがいる」が 43.6%、「保育所、幼稚園にまだ通っていない子どもがいる」が 27.1%となっている。

図表371 子どもの学年（複数回答）



図表372 男女・年代別子どもの学年（複数回答）

	調査数	通っている保育所、幼稚園にまだいない子どもがいる	保育所、幼稚園に通っている子どもがいる	小学生の子どもがいる	中学生の子どもがいる	無回答
全体	133	36	58	51	25	2
	100.0	27.1	43.6	38.3	18.8	1.5
男性・20代	4	3	-	-	1	-
	100.0	75.0	-	-	25.0	-
男性・30代	15	5	12	4	-	-
	100.0	33.3	80.0	26.7	-	-
男性・40代	20	3	5	14	5	-
	100.0	15.0	25.0	70.0	25.0	-
男性・50代	8	1	1	3	5	-
	100.0	12.5	12.5	37.5	62.5	-
男性・60代以上	7	1	2	3	1	1
	100.0	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3
女性・20代	4	2	3	-	-	-
	100.0	50.0	75.0	-	-	-
女性・30代	38	19	22	10	1	-
	100.0	50.0	57.9	26.3	2.6	-
女性・40代	32	2	12	16	9	1
	100.0	6.3	37.5	50.0	28.1	3.1
女性・50代	4	-	-	1	3	-
	100.0	-	-	25.0	75.0	-
女性・60代以上	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

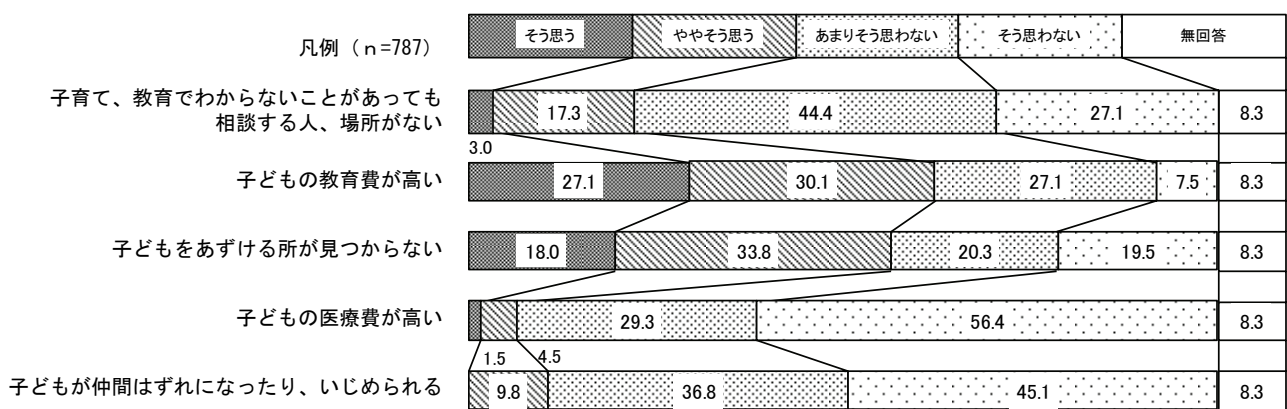
(2) 子育て、教育の悩み

問 23 問 21 で「1」に回答した方にお聞きします。あなたは、現在、以下の子育て、教育に関することについて、どう思いますか。

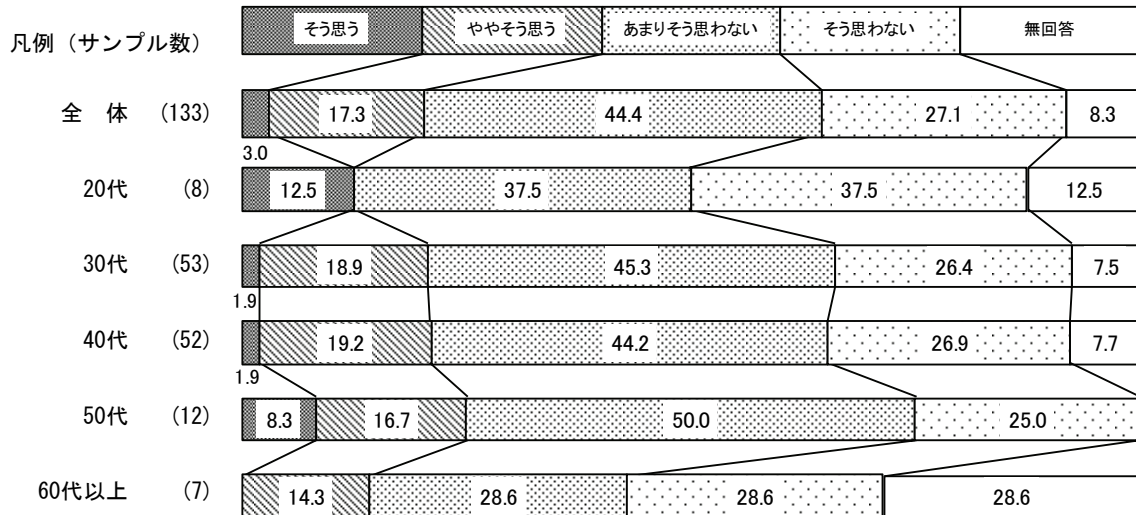
★外国人・日本人 共通設問

- ・子育て、教育の悩みは、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、〈子どもの教育費が高い〉が最も高く、57.2%となっており、次いで〈子どもをあずける所が見つからない〉が51.8%、〈相談する人、場所がない〉が20.3%などの順になっている。
- ・年代別にみると、「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合が最も高い〈子どもの教育費が高い〉については、30～50代が高くなっている。次いで「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合が高い〈子どもをあずける所が見つからない〉については、年齢が下がるにつれ高く、特に20代で高くなっている。

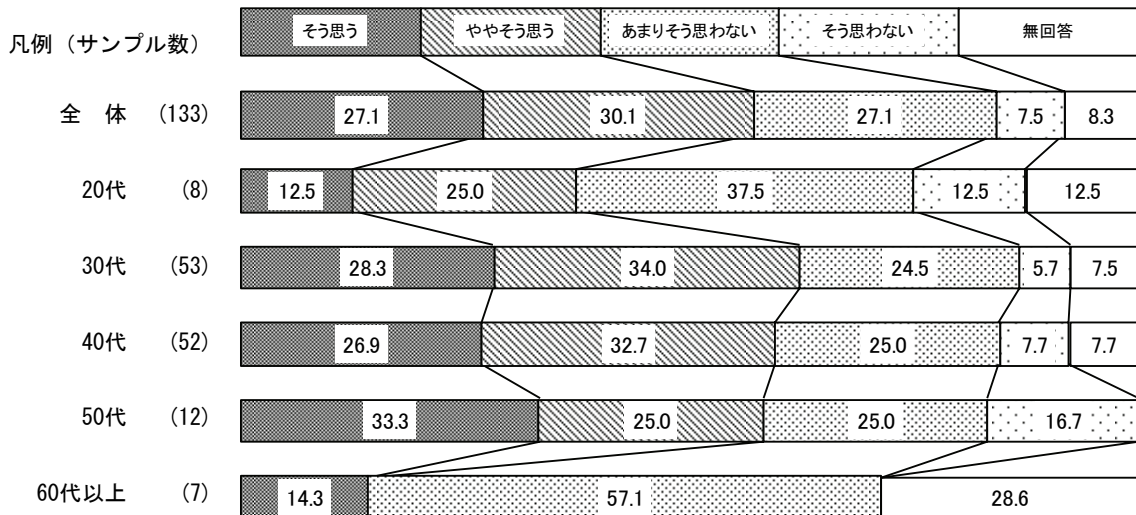
図表373 子育て、教育の悩み（単数回答）



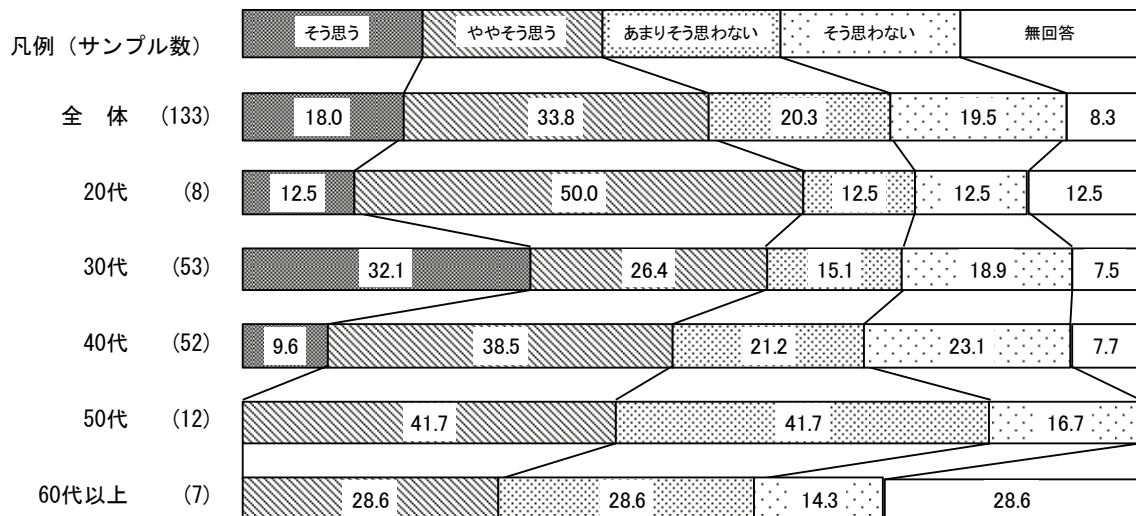
図表374 年代別子育て、教育でわからないことがあっても相談する人、場所がない（単数回答）



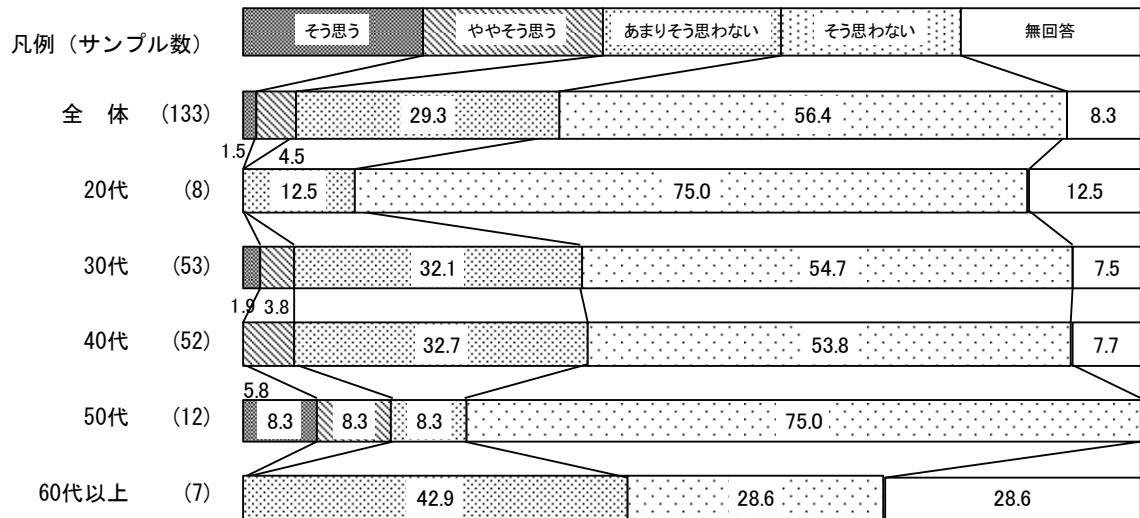
図表375 年代別子どもの教育費が高い（単数回答）



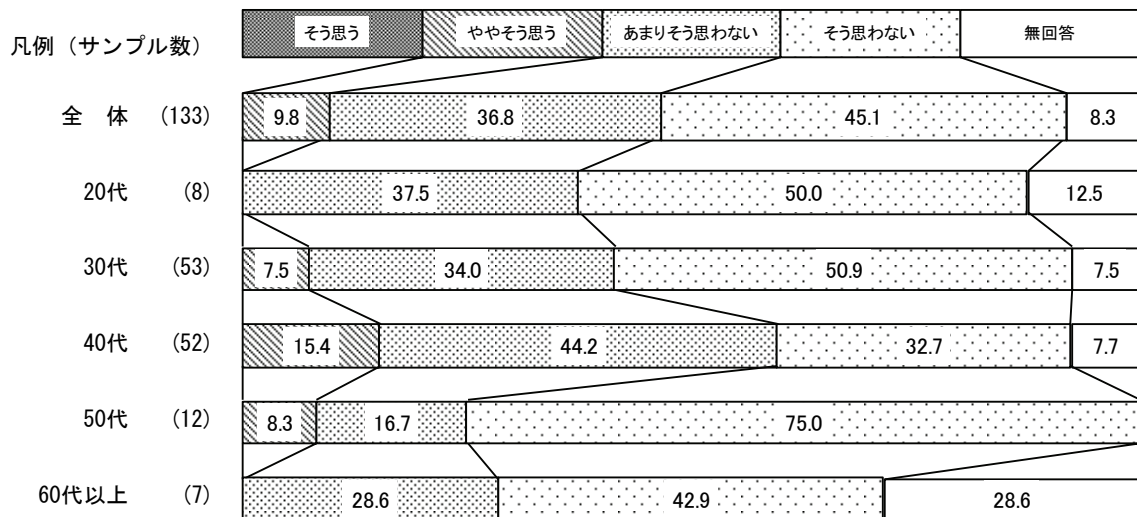
図表376 年代別子どもをあずける所が見つからない（単数回答）



図表377 年代別子どもの医療費が高い（単数回答）



図表378 年代別子どもが仲間はずれになったり、いじめられる（単数回答）



6 地域の外国人との共生について

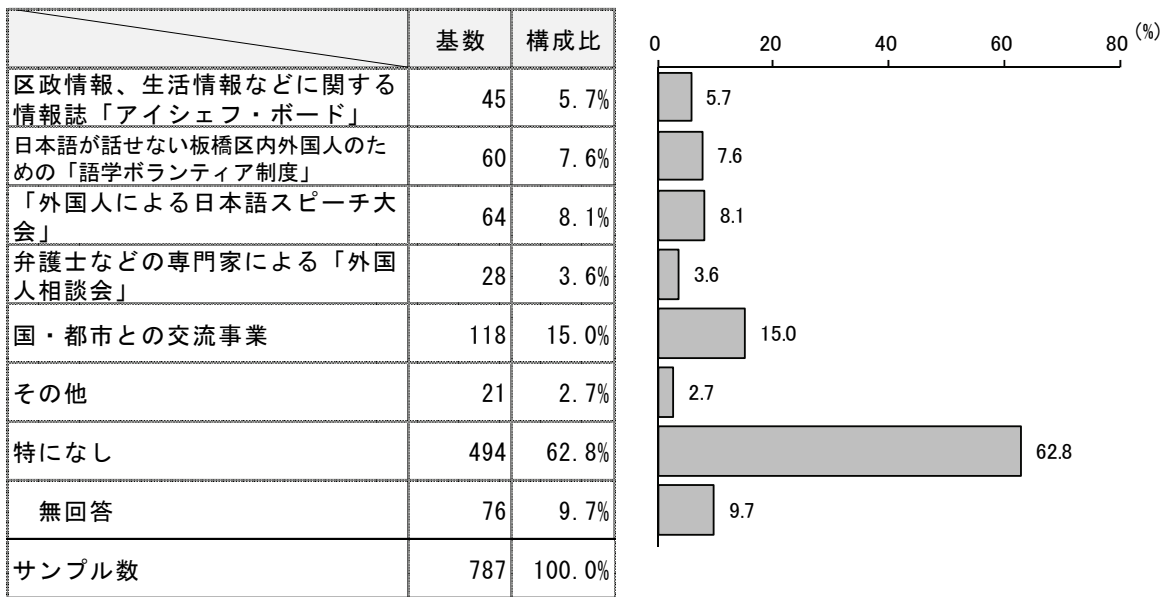
(1) 多文化共生事業の認知について

問 24 あなたは、板橋区の以下の多文化共生事業について、知っていますか。
(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

・板橋区が多文化共生事業についての認知度は、「特になし」が最も高いが、「特になし」を除くと、「国・都市との交流事業」が 15.0%で最も高く、次いで「外国人による日本語スピーチ大会」が 8.1%となっている。

図表379 多文化共生事業の認知（複数回答）



(2) 板橋区の交流事業に期待するもの

問 25 板橋区では、以下の国や都市と交流をしています。板橋区の交流事業について、期待するものは何ですか。(いくつでも○)

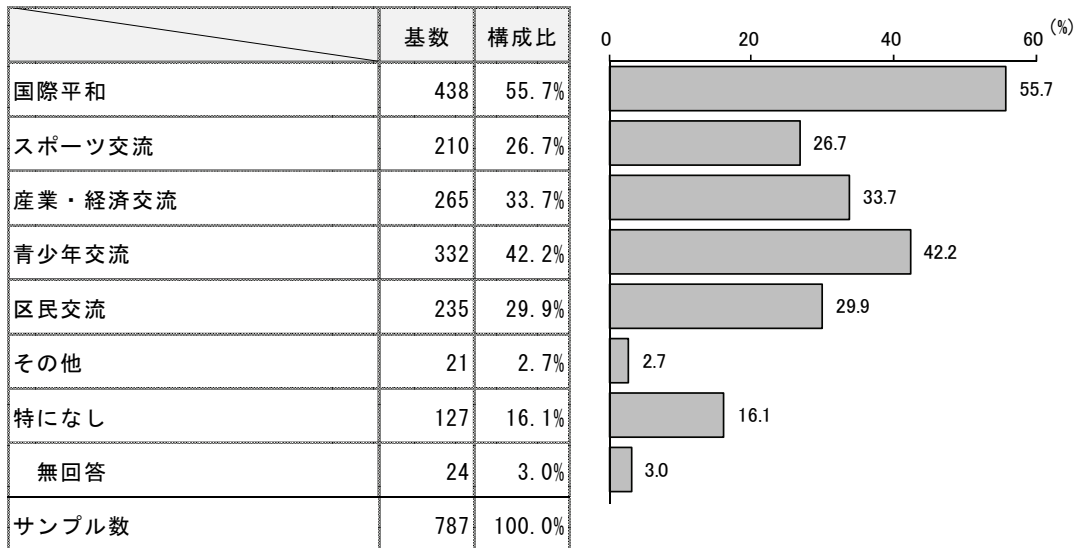
★外国人・日本人 共通設問

【交流国・都市】

カナダ バーリントン市、イタリア ポローニヤ市
マレーシア ペナン州立植物園、モンゴル国、中国北京市石景山区

- ・板橋区の交流事業について期待するものは、「国際平和」が 55.7%で最も高く、次いで「青少年交流」が 42.2%となっている。
- ・男女・年代別にみると、女性はどの年代においても「国際平和」が最も高く、次いで「青少年交流」となっている。男性は 30 代、50 代以上では「国際平和」が最も高いが、20 代では「スポーツ交流」、40 代では「区民交流」が最も高くなっている。

図表380 板橋区の交流事業について期待するもの（複数回答）



図表381 男女・年代別板橋区の交流事業について期待するもの（複数回答）

	調査数	国際平和	スポーツ交流	産業・経済交流	青少年交流	区民交流	その他	特になし	無回答
全体	787	438	210	265	332	235	21	127	24
	100.0	55.7	26.7	33.7	42.2	29.9	2.7	16.1	3.0
男性・20代	31	12	13	10	6	6	-	8	-
	100.0	38.7	41.9	32.3	19.4	19.4	-	25.8	-
男性・30代	53	28	9	27	22	14	1	9	-
	100.0	52.8	17.0	50.9	41.5	26.4	1.9	17.0	-
男性・40代	47	16	6	11	11	17	3	11	-
	100.0	34.0	12.8	23.4	23.4	36.2	6.4	23.4	-
男性・50代	54	29	10	16	22	18	3	6	-
	100.0	53.7	18.5	29.6	40.7	33.3	5.6	11.1	-
男性・60代以上	151	68	39	47	62	47	1	34	9
	100.0	45.0	25.8	31.1	41.1	31.1	0.7	22.5	6.0
女性・20代	45	30	18	15	23	14	-	5	1
	100.0	66.7	40.0	33.3	51.1	31.1	-	11.1	2.2
女性・30代	81	44	20	28	40	19	3	11	1
	100.0	54.3	24.7	34.6	49.4	23.5	3.7	13.6	1.2
女性・40代	78	45	22	31	42	28	2	11	2
	100.0	57.7	28.2	39.7	53.8	35.9	2.6	14.1	2.6
女性・50代	55	34	15	16	24	14	2	6	2
	100.0	61.8	27.3	29.1	43.6	25.5	3.6	10.9	3.6
女性・60代以上	179	124	54	58	74	55	5	24	7
	100.0	69.3	30.2	32.4	41.3	30.7	2.8	13.4	3.9

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

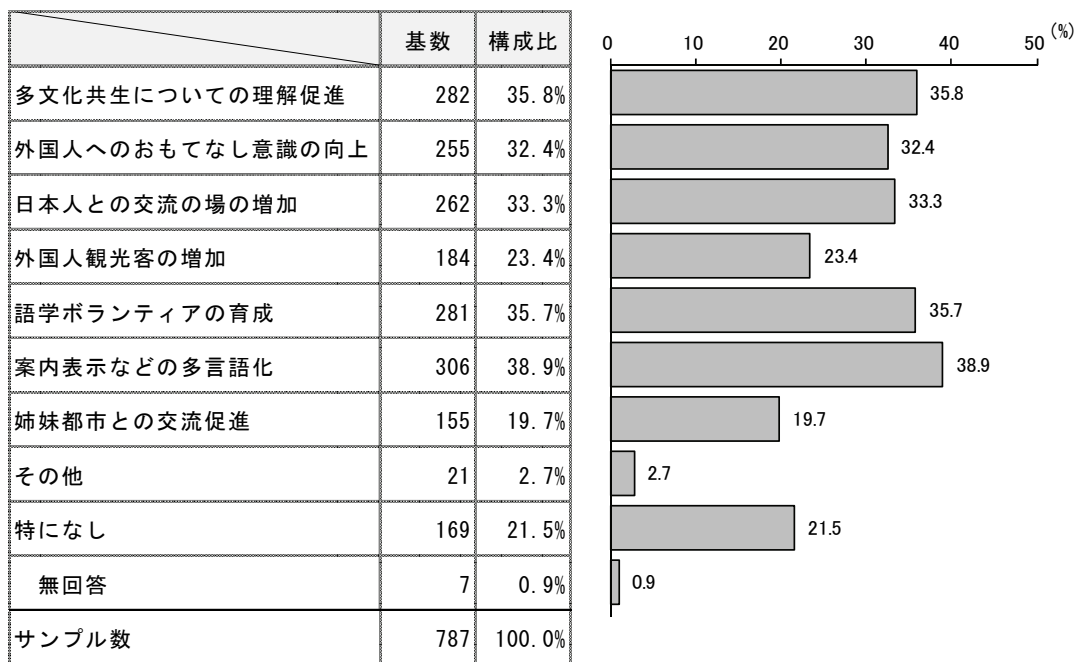
(3) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待すること

問 26 2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い、あなたが板橋区に期待することは何ですか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い板橋区に期待することは、「案内表示などの多言語化」が 38.9%で最も高く、次いで「多文化共生についての理解促進」が 35.8%、「語学ボランティアの育成」が 35.7%の順になっている。
- ・男女・年代別にみると、男性の 20 代、女性の 20 代、40 代では「多文化共生についての理解促進」が最も高いが、男性の 20 代、40 代以外の年代では「案内表示などの多言語化」が最も高くなっている。また、女性の 30 代、50 代以上では「語学ボランティアの育成」が最も高くなっている。

図表382 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い、あなたが板橋区に期待すること（複数回答）



図表383 男女・年代別東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い、あなたが板橋区に期待すること（複数回答）

	調査数	多文化共生についての理解促進	外国人へのおもてなし意識の向上	日本人との交流の場の増加	外国人観光客の増加	語学ボランティアの育成	案内表示などの多言語化	姉妹都市との交流促進	その他	特になし	無回答
全体	787	282	255	262	184	281	306	155	21	169	7
	100.0	35.8	32.4	33.3	23.4	35.7	38.9	19.7	2.7	21.5	0.9
男性・20代	31	11	9	8	10	6	7	7	-	8	-
	100.0	35.5	29.0	25.8	32.3	19.4	22.6	22.6	-	25.8	-
男性・30代	53	18	19	17	11	14	22	12	1	12	-
	100.0	34.0	35.8	32.1	20.8	26.4	41.5	22.6	1.9	22.6	-
男性・40代	47	12	8	9	5	11	9	8	4	18	-
	100.0	25.5	17.0	19.1	10.6	23.4	19.1	17.0	8.5	38.3	-
男性・50代	54	15	14	11	12	8	22	4	1	15	-
	100.0	27.8	25.9	20.4	22.2	14.8	40.7	7.4	1.9	27.8	-
男性・60代以上	151	51	51	60	47	49	61	36	1	30	2
	100.0	33.8	33.8	39.7	31.1	32.5	40.4	23.8	0.7	19.9	1.3
女性・20代	45	21	20	18	11	18	16	11	2	7	-
	100.0	46.7	44.4	40.0	24.4	40.0	35.6	24.4	4.4	15.6	-
女性・30代	81	29	22	22	16	36	34	17	3	11	1
	100.0	35.8	27.2	27.2	19.8	44.4	42.0	21.0	3.7	13.6	1.2
女性・40代	78	33	29	30	18	31	29	15	3	18	-
	100.0	42.3	37.2	38.5	23.1	39.7	37.2	19.2	3.8	23.1	-
女性・50代	55	16	16	20	9	23	22	5	1	12	1
	100.0	29.1	29.1	36.4	16.4	41.8	40.0	9.1	1.8	21.8	1.8
女性・60代以上	179	71	64	64	42	81	80	36	4	32	3
	100.0	39.7	35.8	35.8	23.5	45.3	44.7	20.1	2.2	17.9	1.7

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

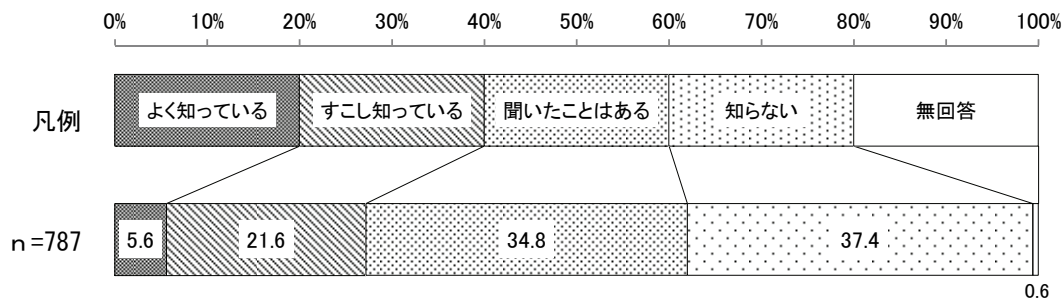
(4) 多文化共生について

○多文化共生という言葉の認知度

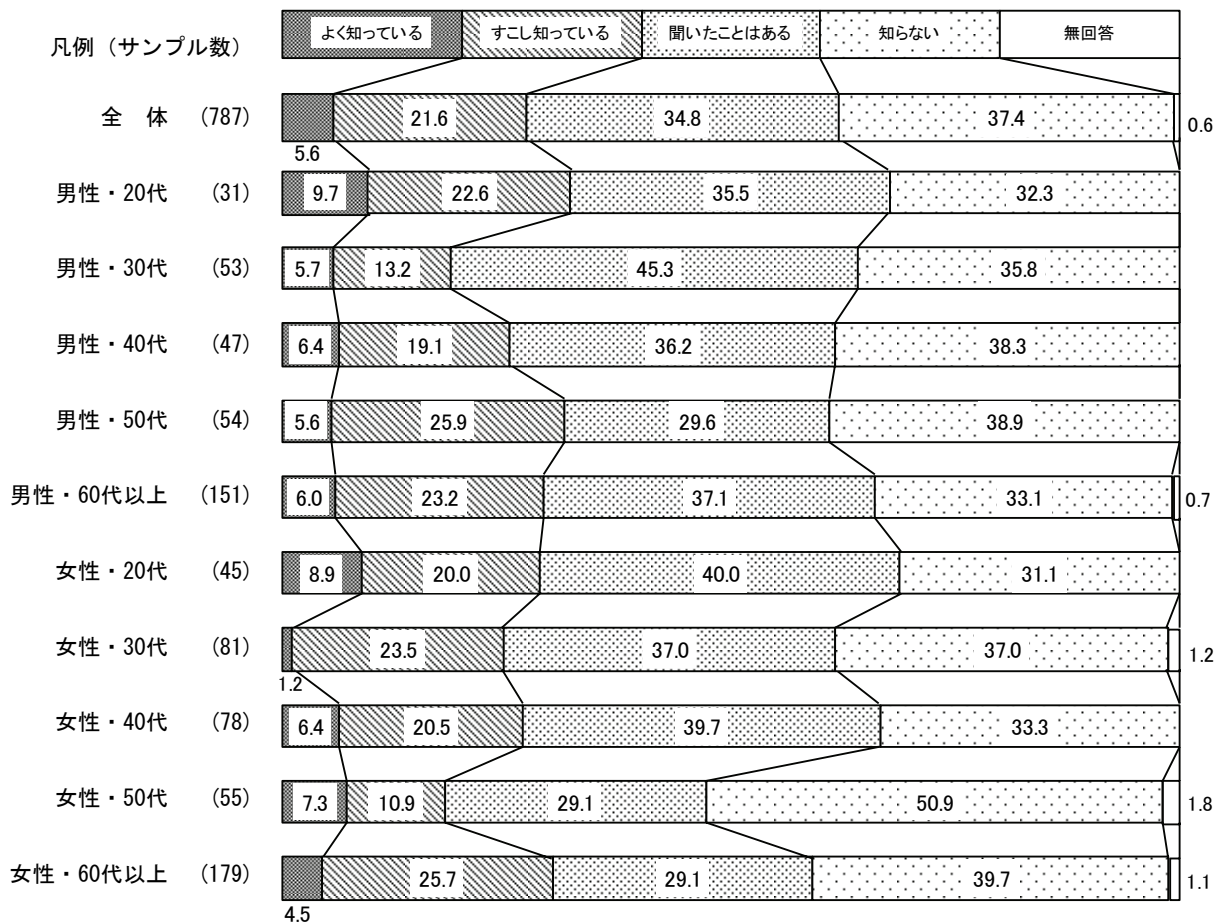
問 27 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。(ひとつだけ○)

- ・「多文化共生」という言葉の認知度は、「よく知っている」が 5.6%、「すこし知っている」が 21.6%、「聞いたことはある」が 34.8%となっており、合わせた認知度は 62.0%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「よく知っている」、「すこし知っている」及び「聞いたことはある」を合わせた認知度は、男女ともに 20 代が最も高くなっている。
- ・就業形態別にみると、「よく知っている」、「すこし知っている」及び「聞いたことはある」を合わせた認知度は、学生が 93.3%で最も高く、9割を超えている。

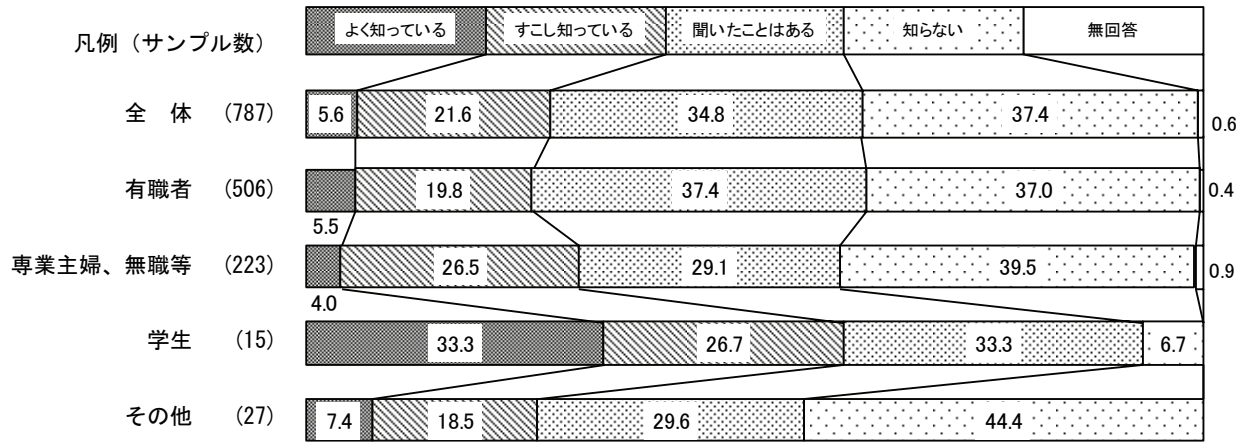
図表384 多文化共生という言葉の認知度（単数回答）



図表385 男女・年代別多文化共生という言葉の認知度（単数回答）



図表386 就業形態別多文化共生という言葉の認知度（単数回答）



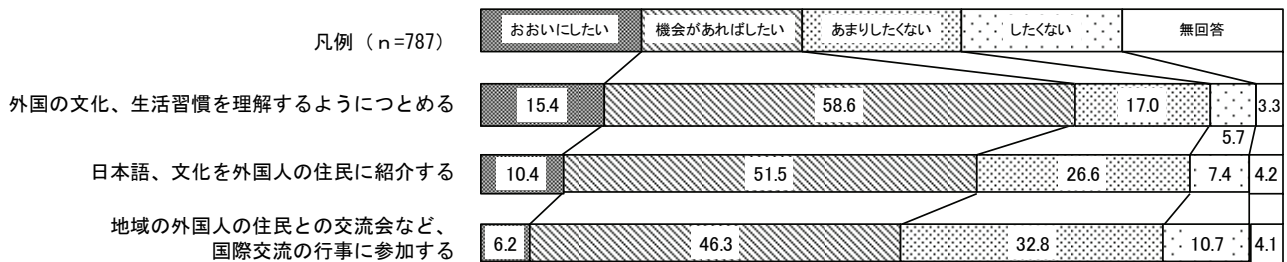
○多文化共生まちづくりへの参加意向

問 28 「多文化共生のまちづくりを進めていくにあたって、あなたは、以下のことをどの程度
したいと思いますか。(A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

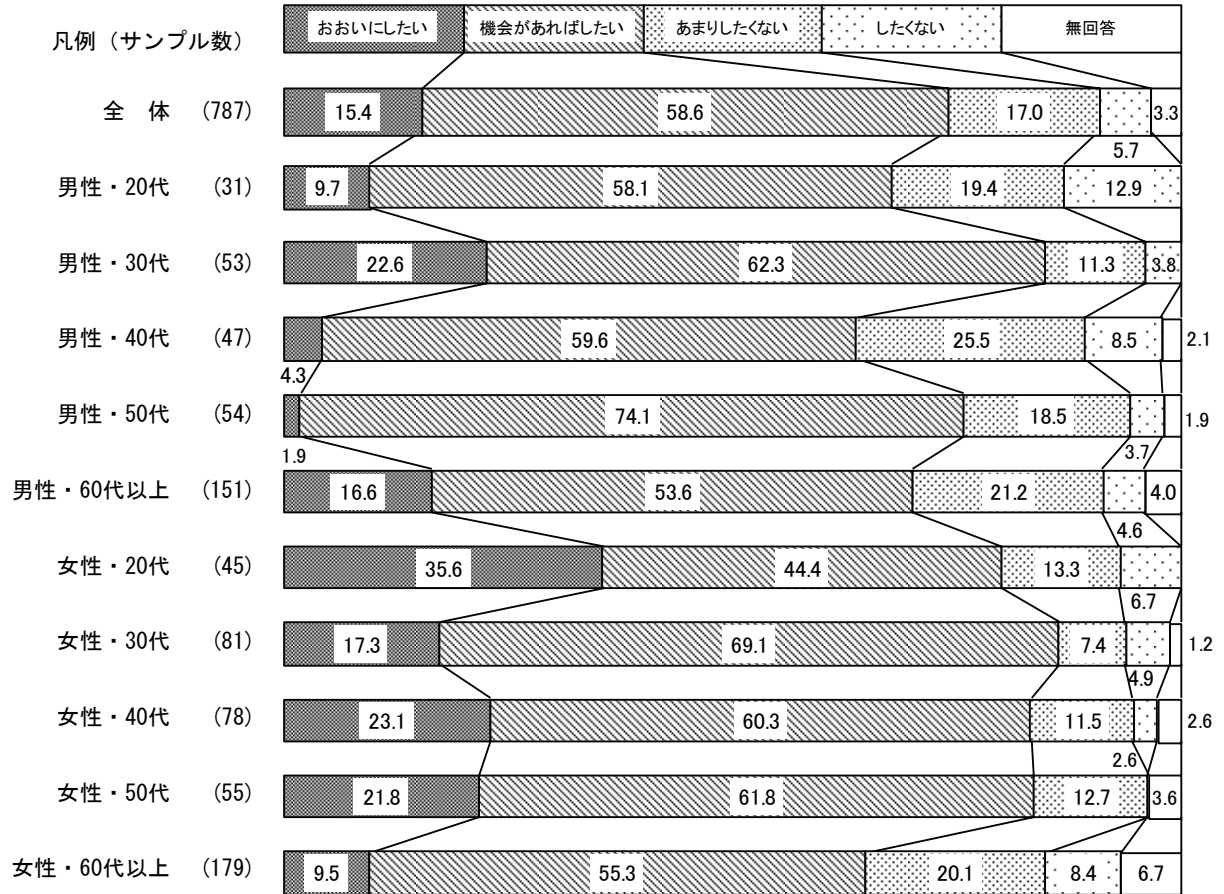
★外国人・日本人 共通設問

- ・「多文化共生のまちづくり」への参加意向は、〈外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉については、「おおいにしたい」と「機会があればしたい」を合わせると 74.0%、同様に〈日本語、文化を外国人住民に紹介する〉は 61.9%、〈国際交流の行事に参加する〉は 52.5%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「おおいにしたい」と「機会があればしたい」を合わせた割合は、いずれの項目も男女ともに 60 歳以上が低くなる傾向があり、「多文化共生のまちづくり」への参加意向が低いことがわかる。
- ・外国人とのつきあいの程度別にみると、「おおいにしたい」の割合はどの項目においても個人的なことについて相談できる人がいると回答した人が高くなっている。しかし、「おおいにしたい」と「機会があればしたい」を合わせた割合は、〈外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉、〈日本語、文化を外国人住民に紹介する〉では世間話をする人がいると回答した人が最も高くなっている。
- ・多文化共生の認知度別にみると、認知度が高いほど、参加意向も高くなる傾向がある。
- ・就業形態別にみると、〈外国の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉、〈日本語、文化を外国人住民に紹介する〉は有職者が最も高く、〈国際交流の行事に参加する〉は学生が最も高くなっている。

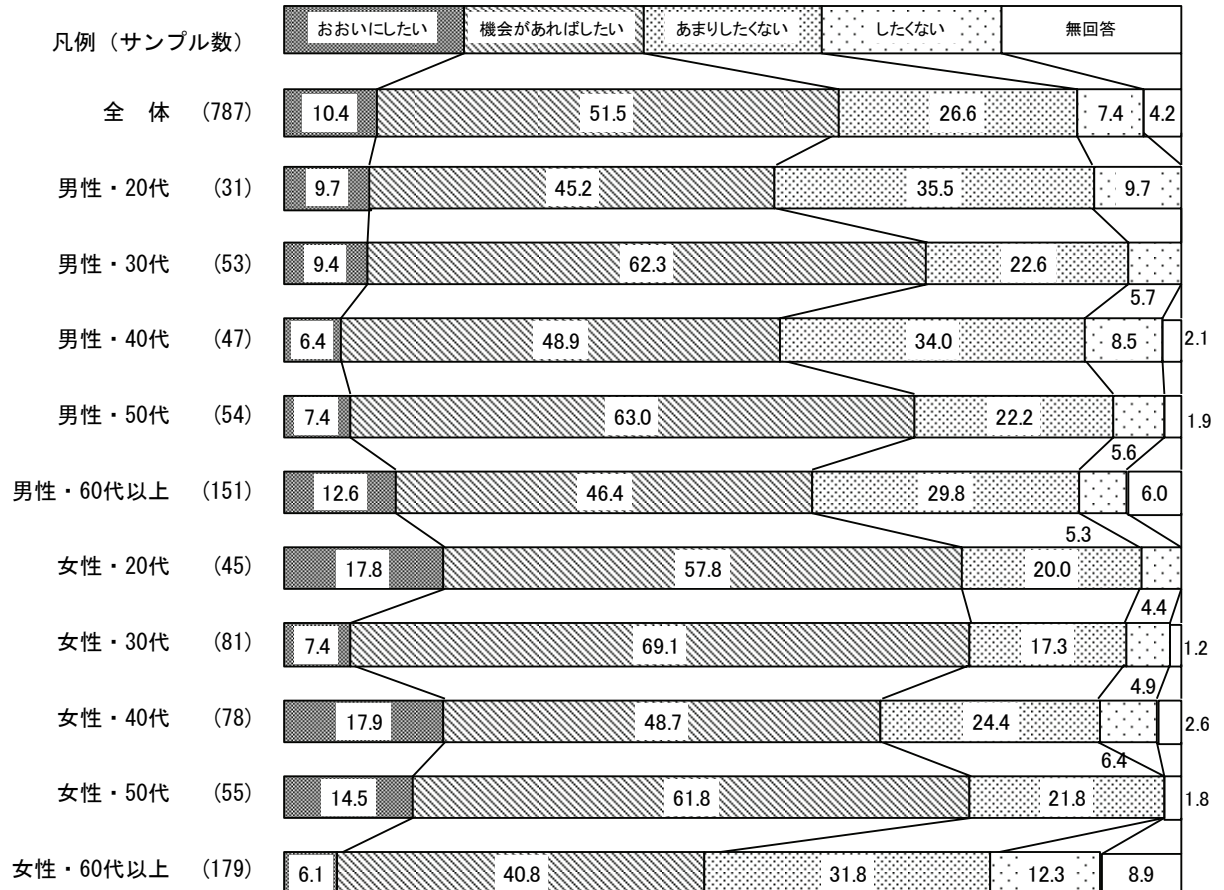
図表387 多文化共生のまちづくりへの参加意向（単数回答）



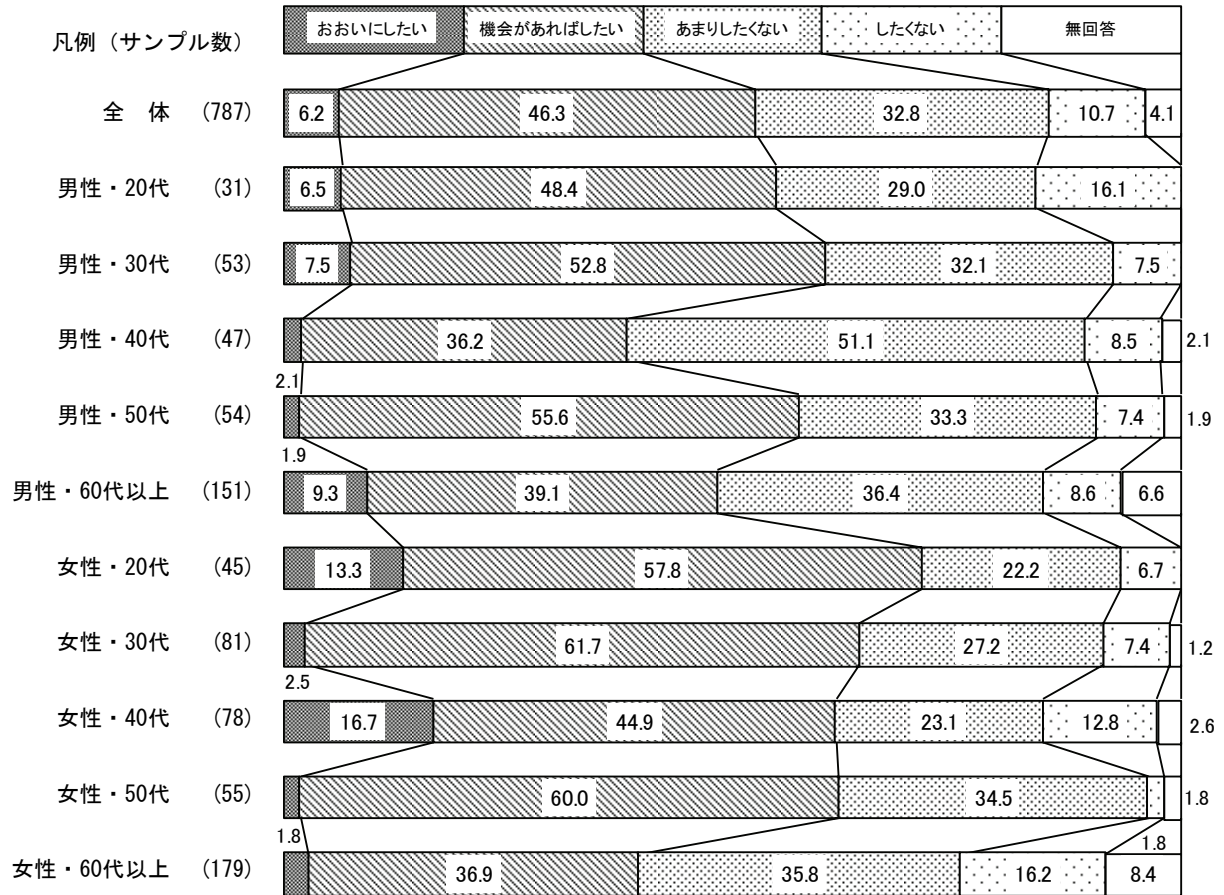
図表388 男女・年代別外国の文化、生活習慣を理解するようつとめる（単数回答）



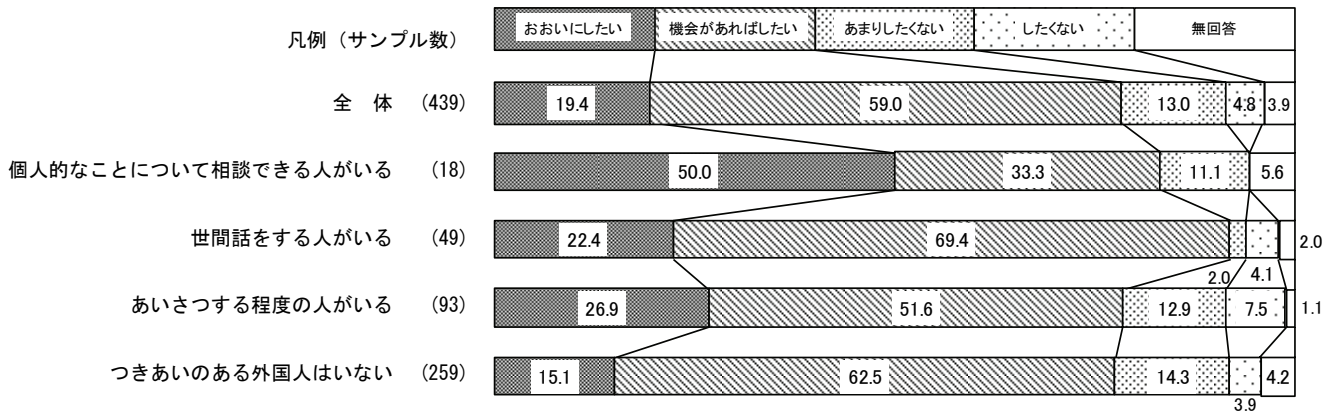
図表389 男女・年代別日本語、文化を外国人の住民に紹介する（単数回答）



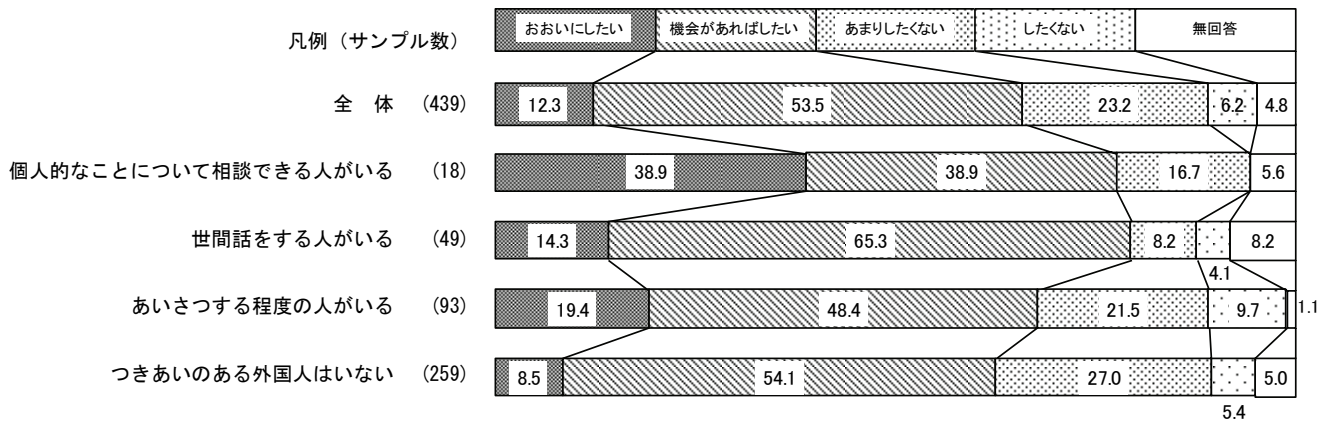
図表390 男女・年代別地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



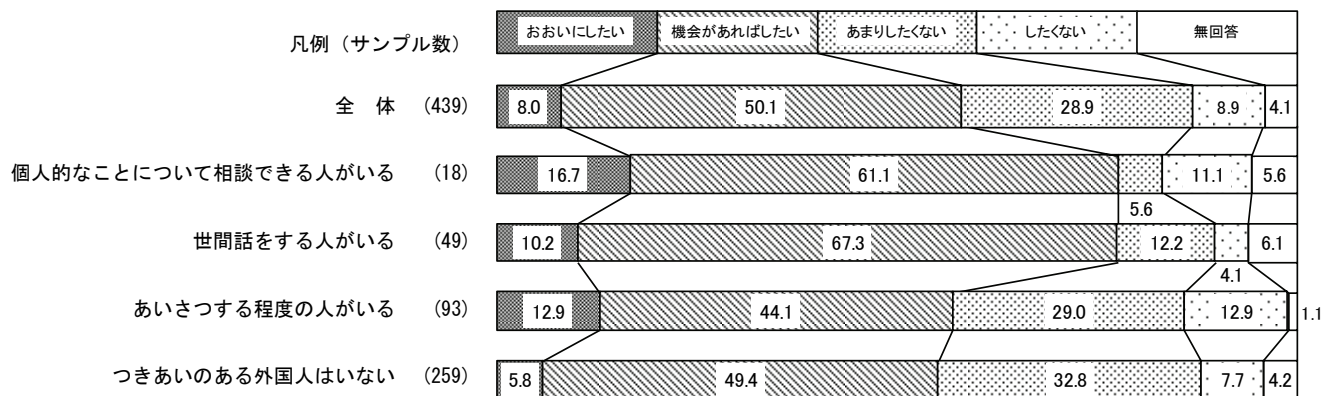
図表391 外国人とのつきあいの程度別外国の文化、生活習慣を理解するようつとめる（単数回答）



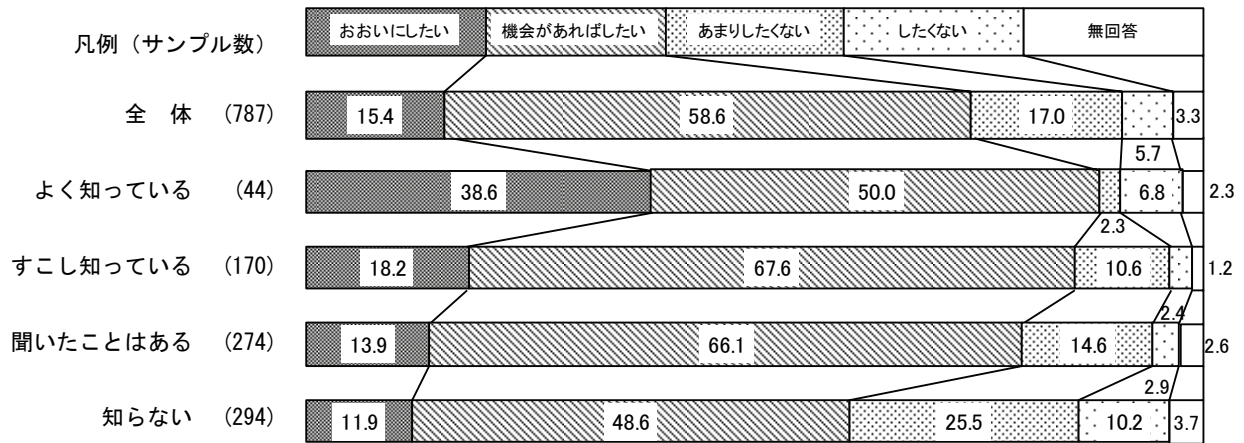
図表392 外国人とのつきあいの程度別日本語、文化を外国人の住民に紹介する（単数回答）



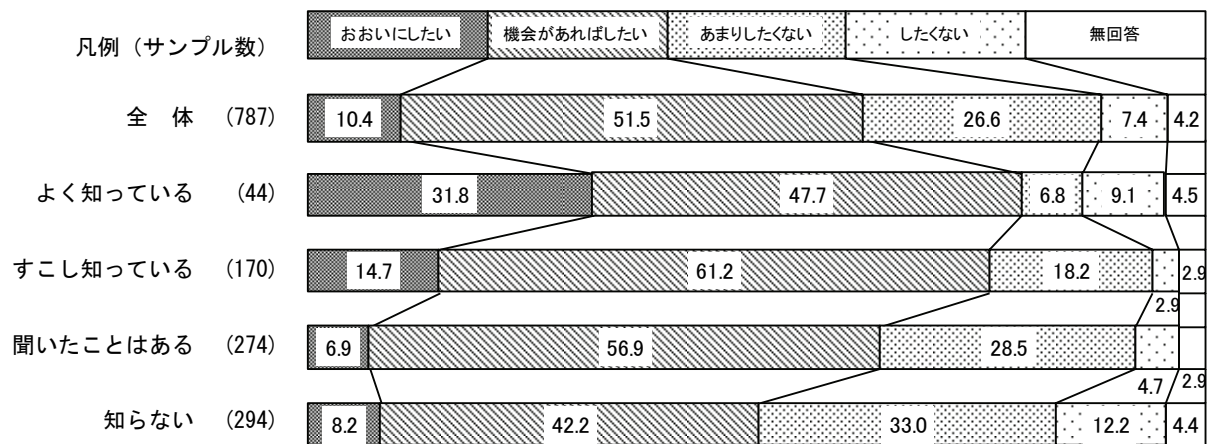
図表393 外国人とのつきあいの程度別地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



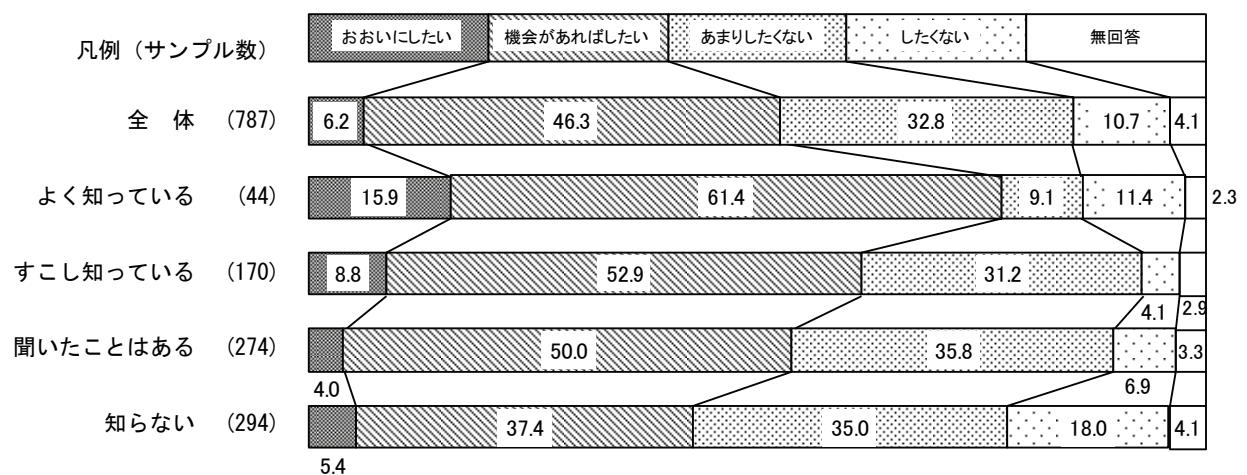
図表394 多文化共生の認知度別外国の文化、生活習慣を理解するようつとめる（単数回答）



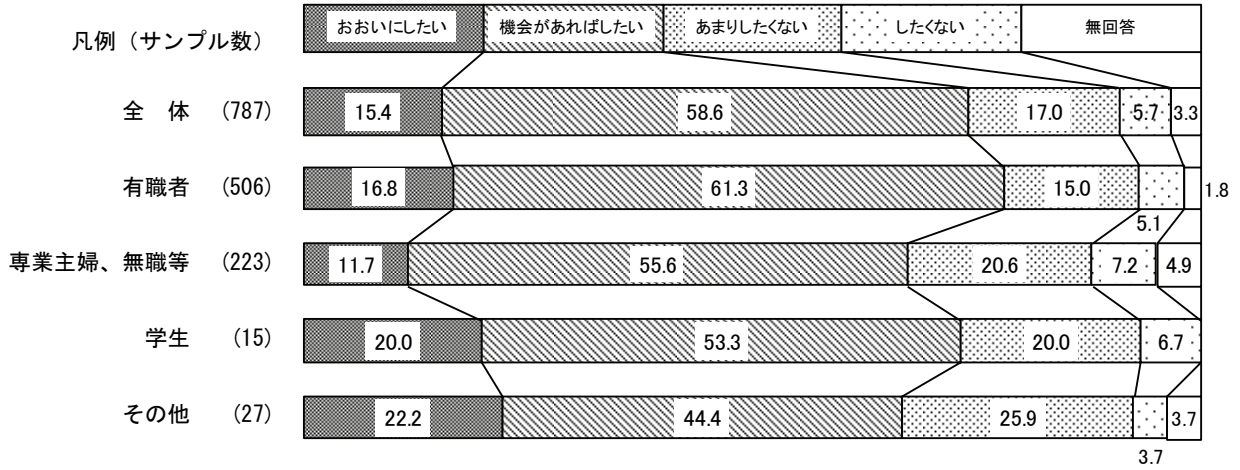
図表395 多文化共生の認知度別日本語、文化を外国人の住民に紹介する（単数回答）



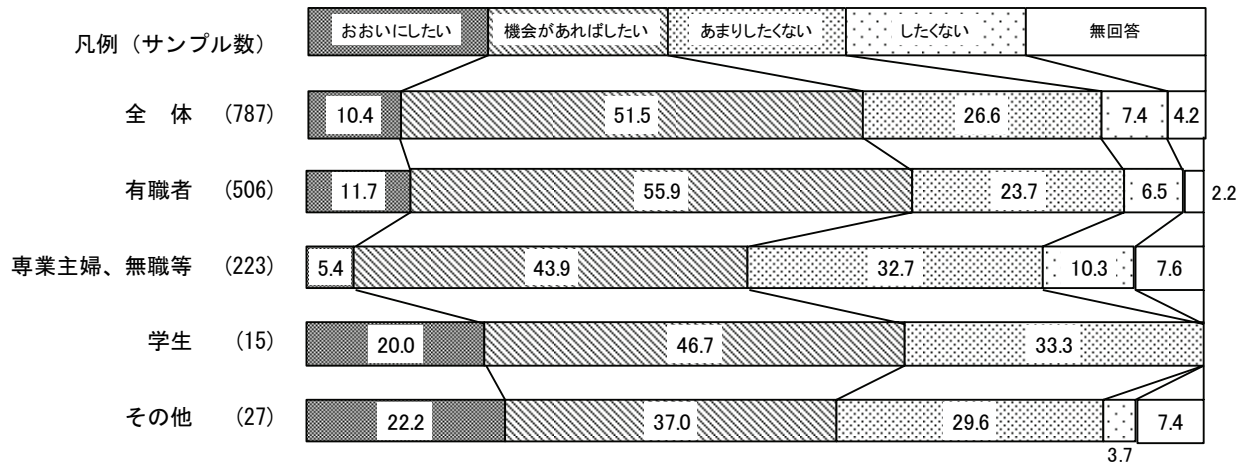
図表396 多文化共生の認知度別地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



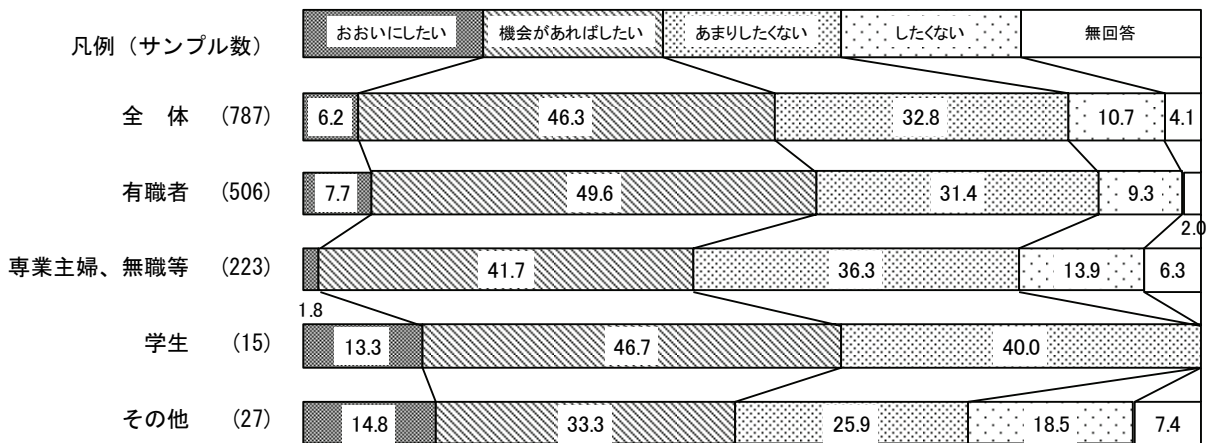
図表397 就業形態別外国の文化、生活習慣を理解するようつとめる（単数回答）



図表398 就業形態別日本語、文化を外国人の住民に紹介する（単数回答）



図表399 就業形態別地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



○多文化共生にかんして外国人に望むこと

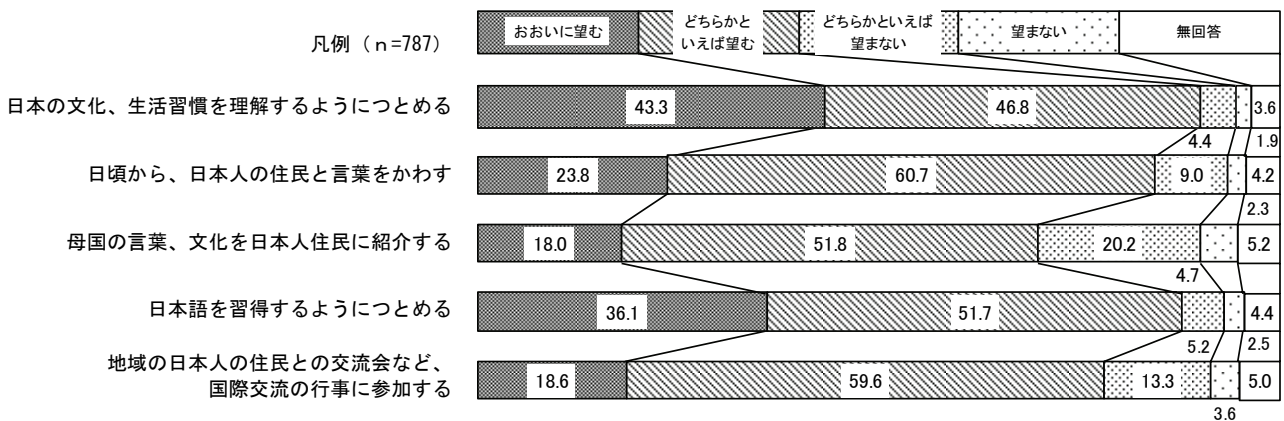
問 29 「多文化共生のまちづくりを進めていくにあたって、あなたは、外国人の住民に対して、以下のことを望みますか。(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

★外国人・日本人 対応設問

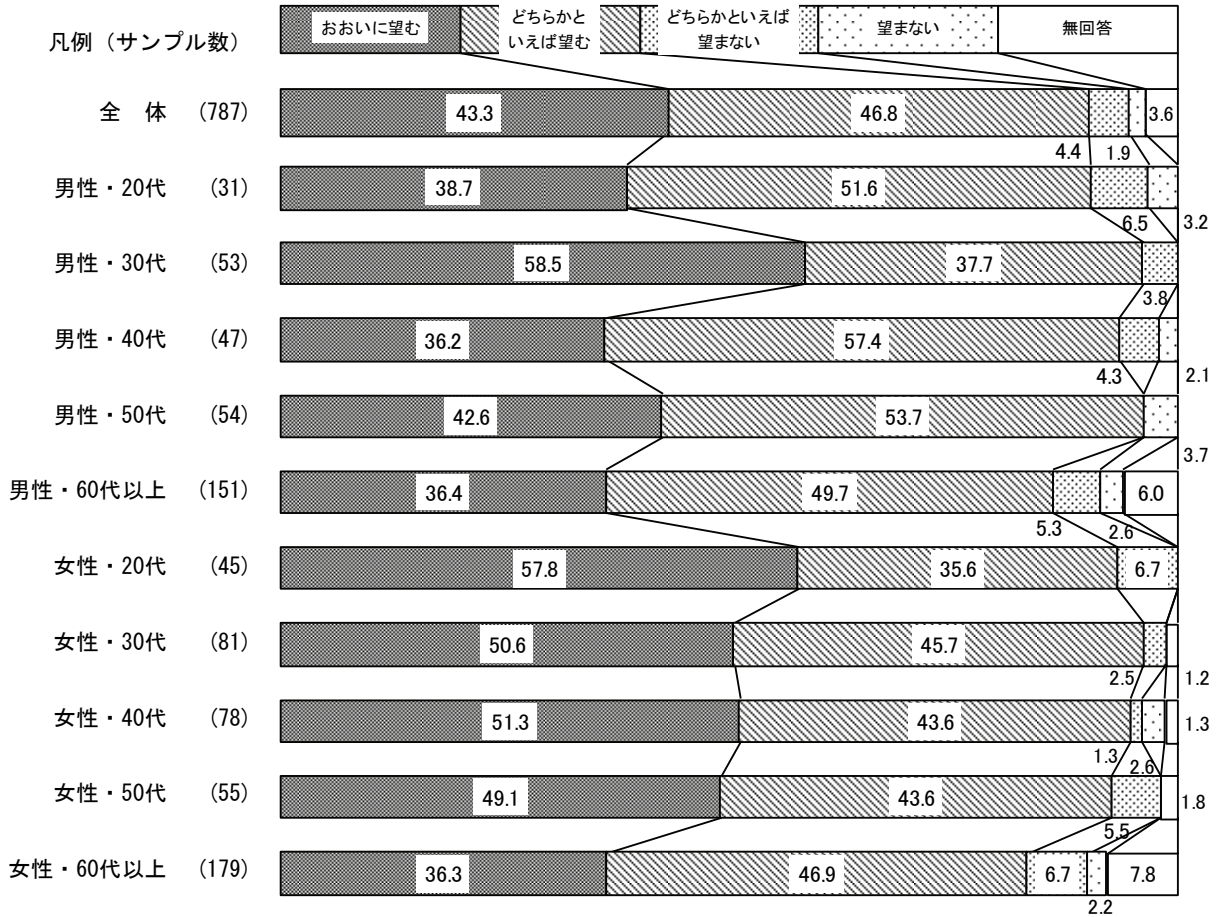
・多文化共生に関して外国人に望むことは、「おおいに望む」と「どちらかといえば望む」を合わせると、〈日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉は 90.1%、〈日本人の住民と言葉をかわす〉は 84.5%、〈母国の言葉、文化を日本人住民に紹介する〉は 69.8%、〈日本語を習得するようにつとめる〉は 87.8%、〈国際交流の行事に参加する〉は 78.2%となっている。

・男女・年代別にみると、「おおいに望む」と「どちらかといえば望む」を合わせた割合は、〈日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる〉は男女ともに 60 歳以上を除いた年代では9割を超えている。〈日本人の住民と言葉をかわす〉では男女ともに 50 代が最も高くなっている。〈母国の言葉、文化を日本人住民に紹介する〉では男性で 30 代、女性で 50 代が最も高くなっている。〈日本語を習得するようにつとめる〉では、男女ともに 50 代が最も高くなっているが、「おおいに望む」でみると男性の 30 代がその他の年代と比較して最も高く、有意な差がみられる。〈国際交流の行事に参加する〉では、男性で 30 代、女性で 50 代が最も高くなっている。

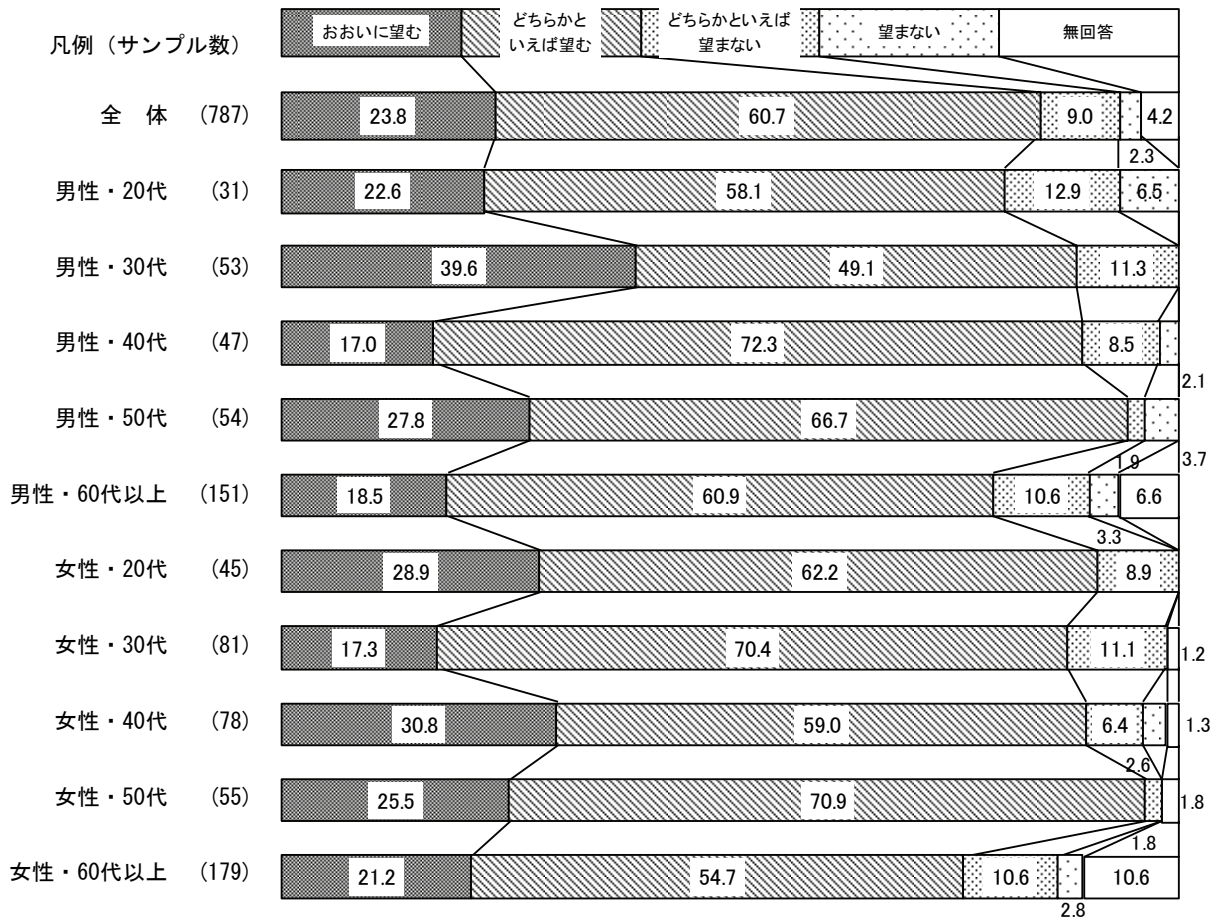
図表400 日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる（単数回答）



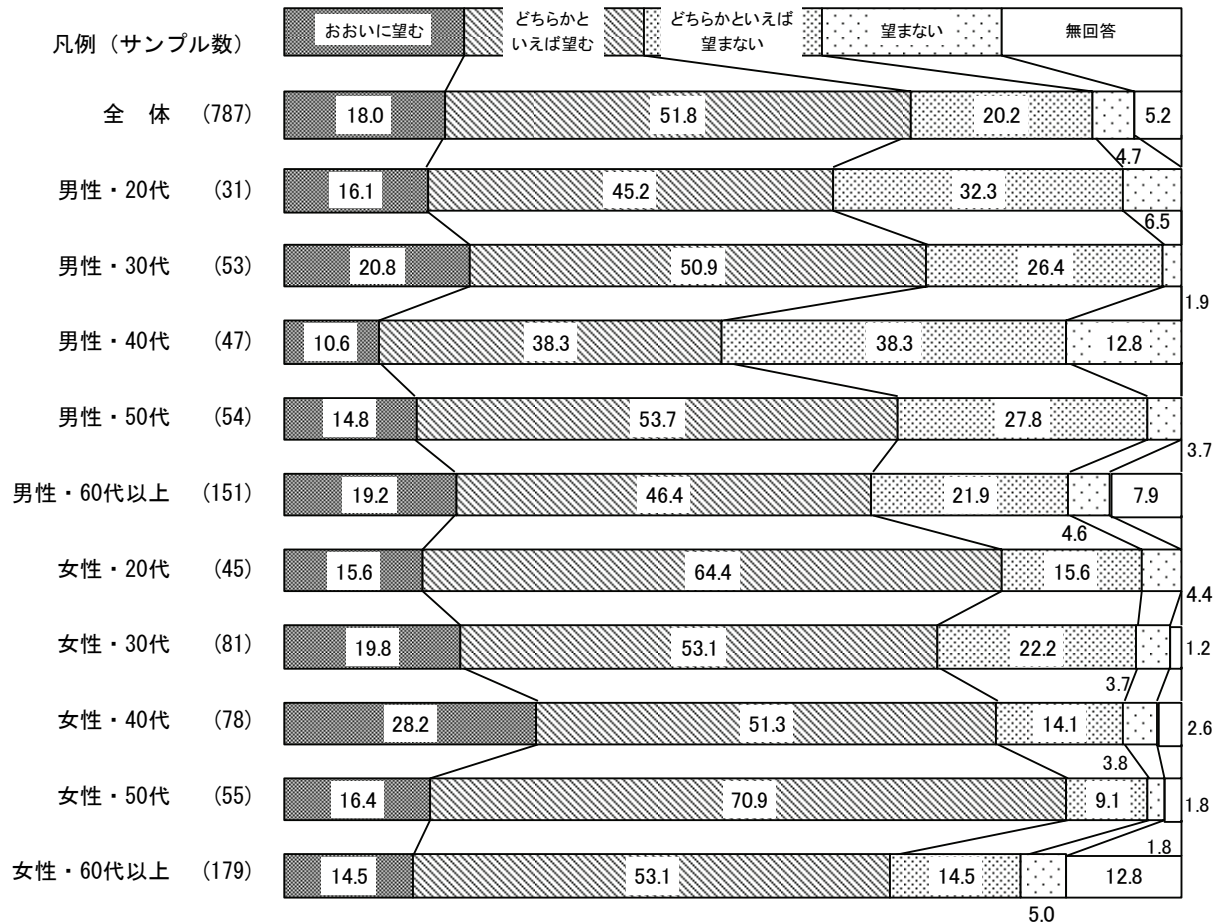
図表401 男女・年代別日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる（単数回答）



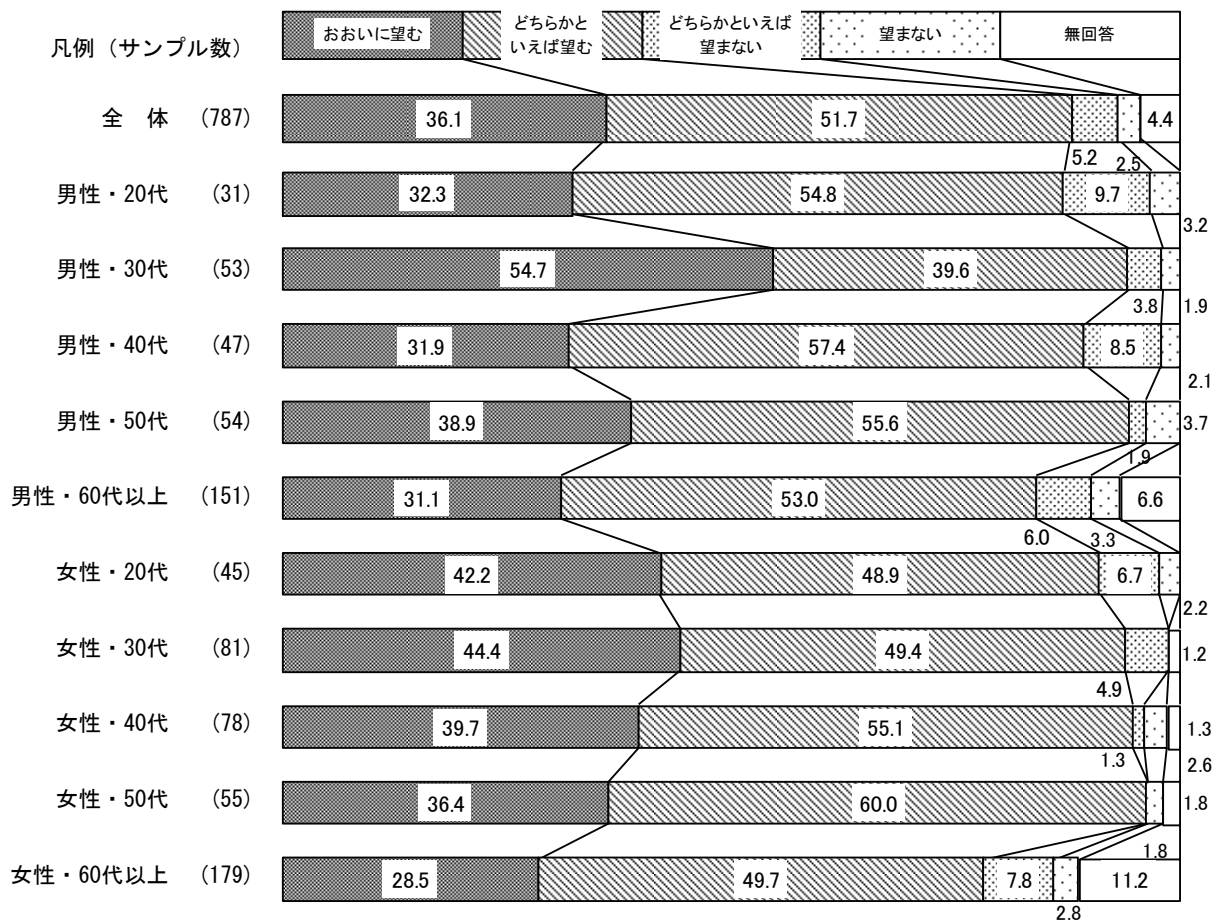
図表402 男女・年代別日頃から、日本人の住民と言葉をかわす（単数回答）



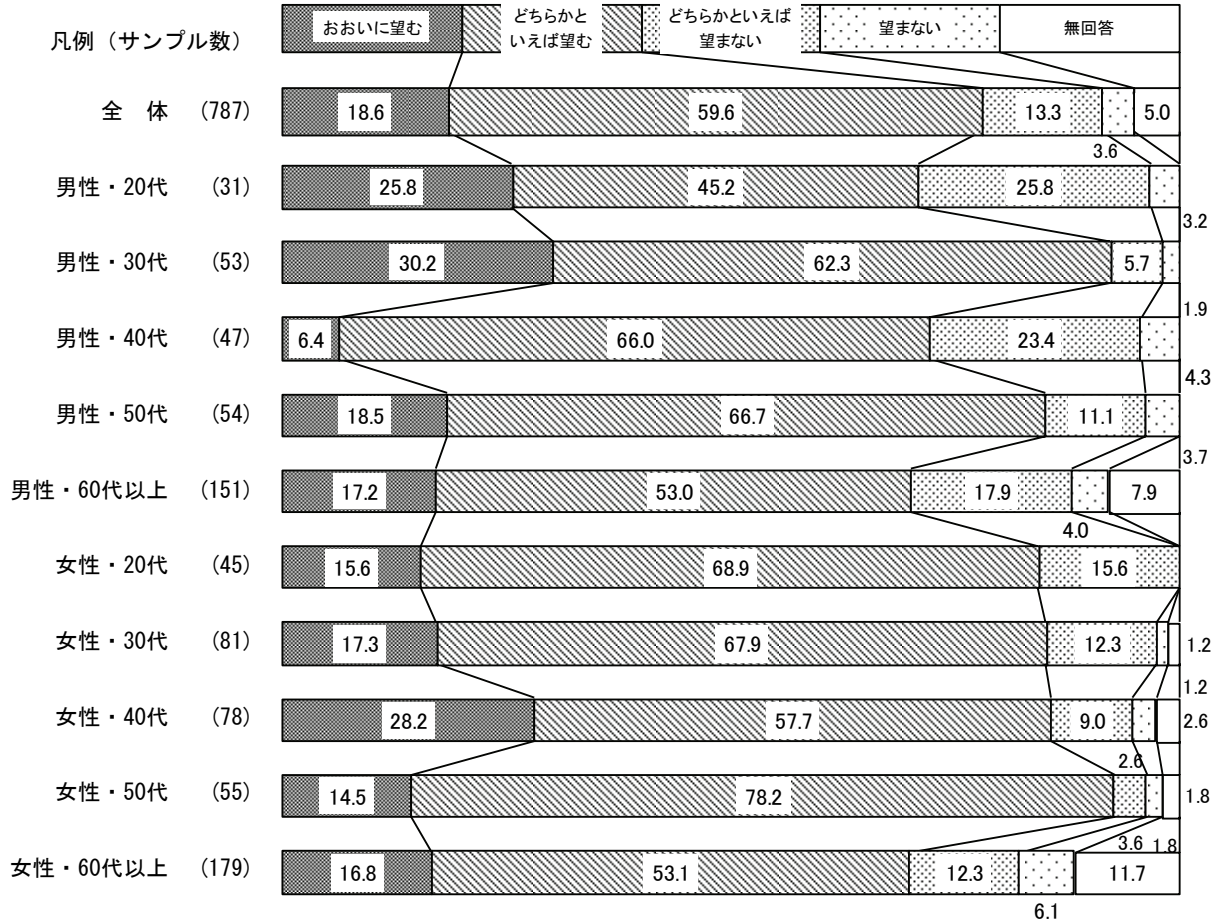
図表403 男女・年代別母国の言葉、文化を日本人住民に紹介する（単数回答）



図表404 男女・年代別日本語を習得するようにつとめる（単数回答）



図表405 男女・年代別地域の日本人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する（単数回答）



(5) 偏見や差別

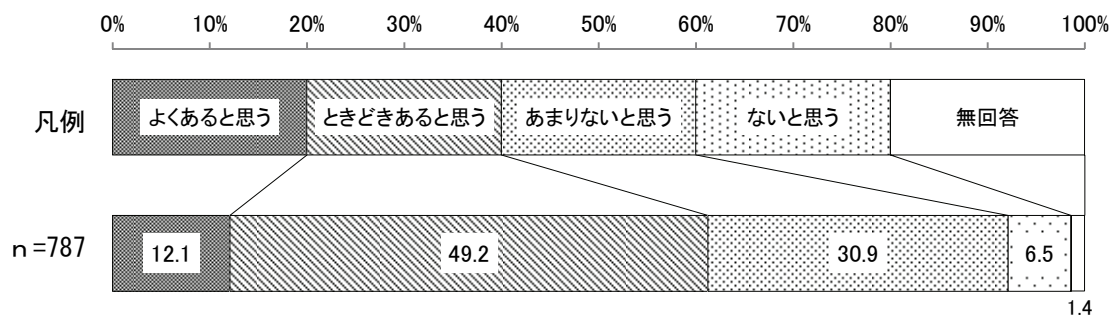
○偏見や差別の有無

問 30 あなたは、一般的に見て、日本人から外国人に対して偏見、差別があると思いますか。(ひとつだけ○)

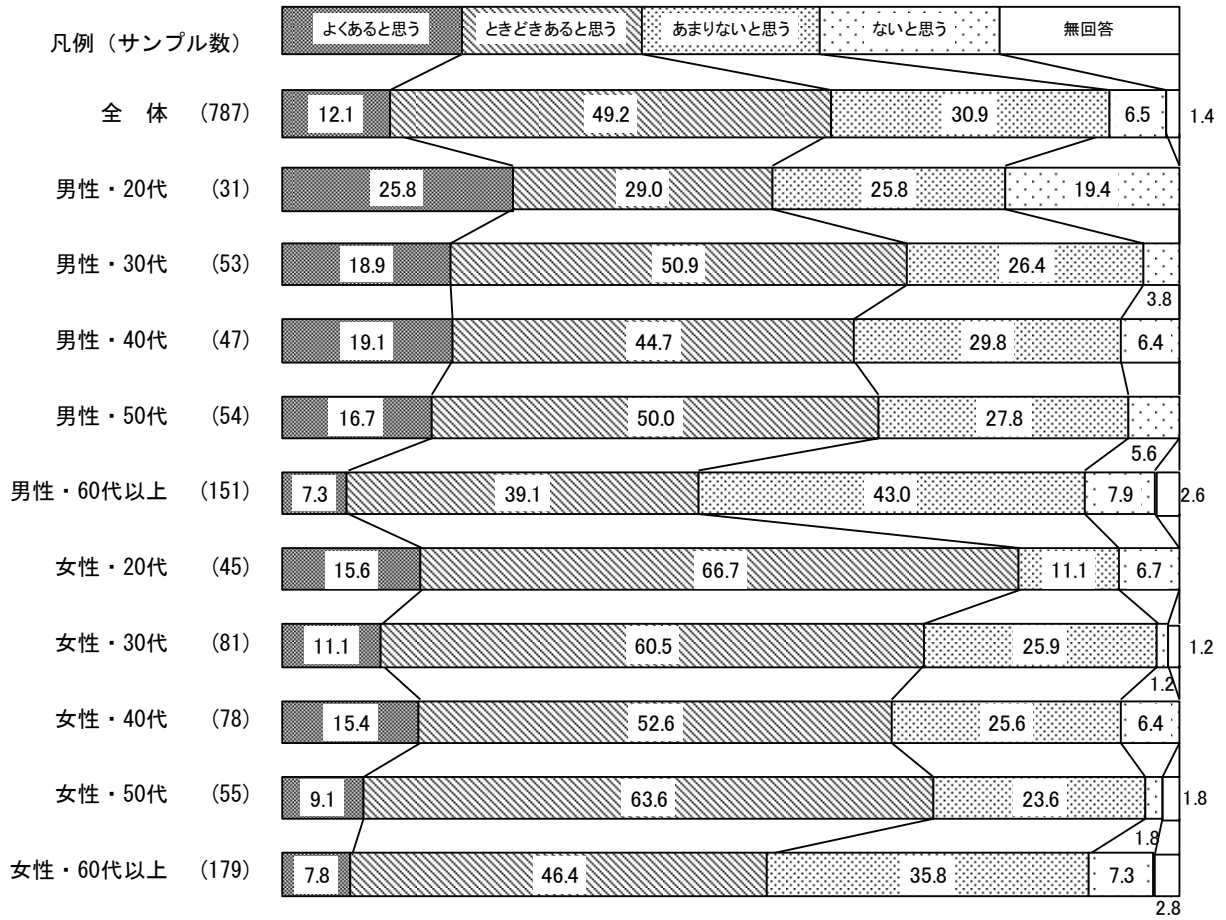
★外国人・日本人 共通設問

- ・日本人から外国人への偏見や差別の状況は、「よくあると思う」が 12.1%、「ときどきあると思う」が 49.2%、「あまりないと思う」が 30.9%、「ないと思う」が 6.5%となっている。
- ・男女・年代別にみると、「よくあると思う」と「ときどきあると思う」と合わせた割合は、男性は 30 代、女性は 20 代が最も高くなっている。一方、男女ともに 60 歳以上が最も低くなっている。男性の 60 歳以上では「あまりないと思う」と「ないと思う」を合わせた割合が半数を占めている。
- ・外国人とのつきあいの程度別にみると、「よくあると思う」と回答した人の割合は、つきあいが密になるほど高い傾向がある。
- ・就業形態別にみると、「よくあると思う」と「ときどきあると思う」を合わせた割合は、学生が最も高くなっている。

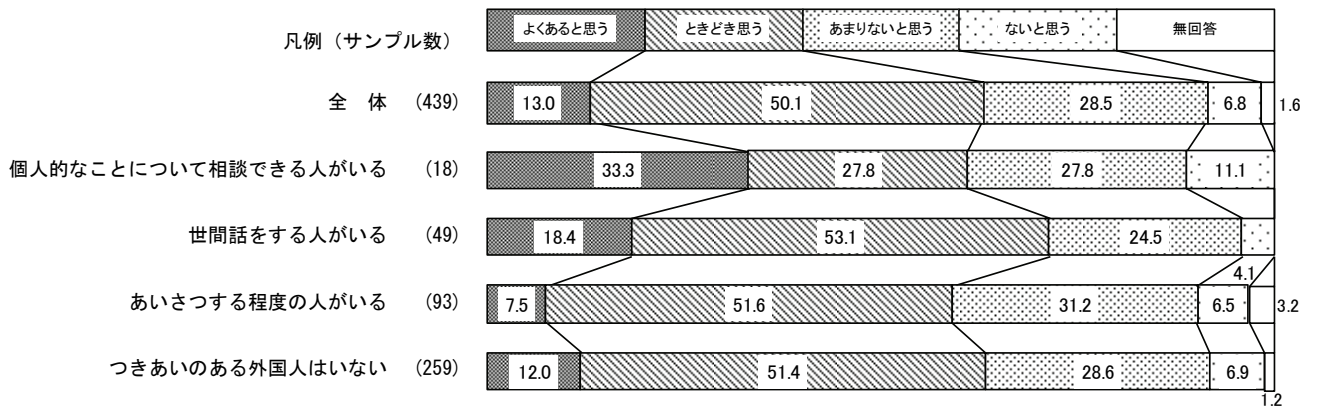
図表406 偏見や差別の有無（単数回答）



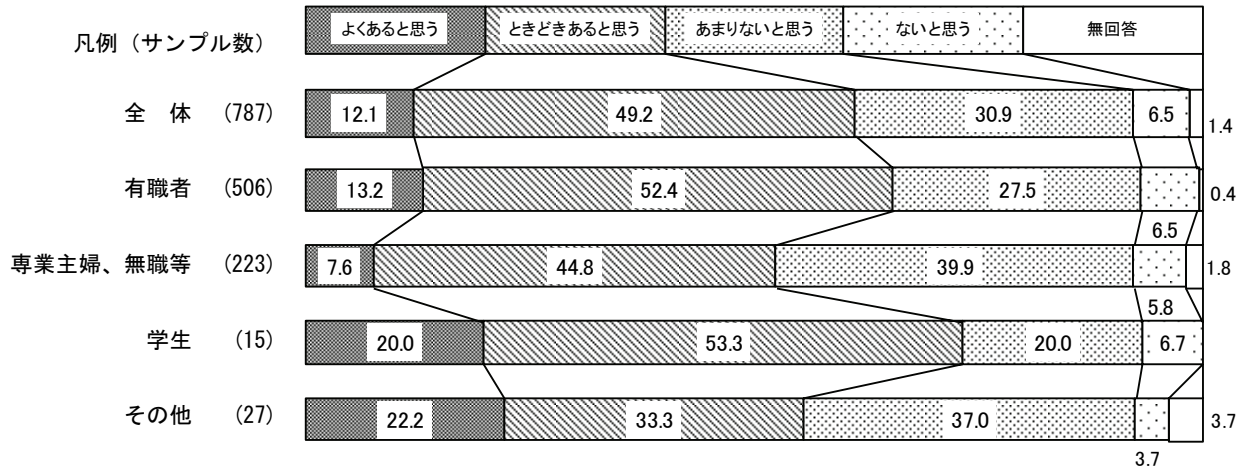
図表407 男女・年代別偏見や差別の有無（単数回答）



図表408 外国人とのつきあいの程度別偏見や差別の有無（単数回答）



図表409 就業形態別偏見や差別の有無（単数回答）



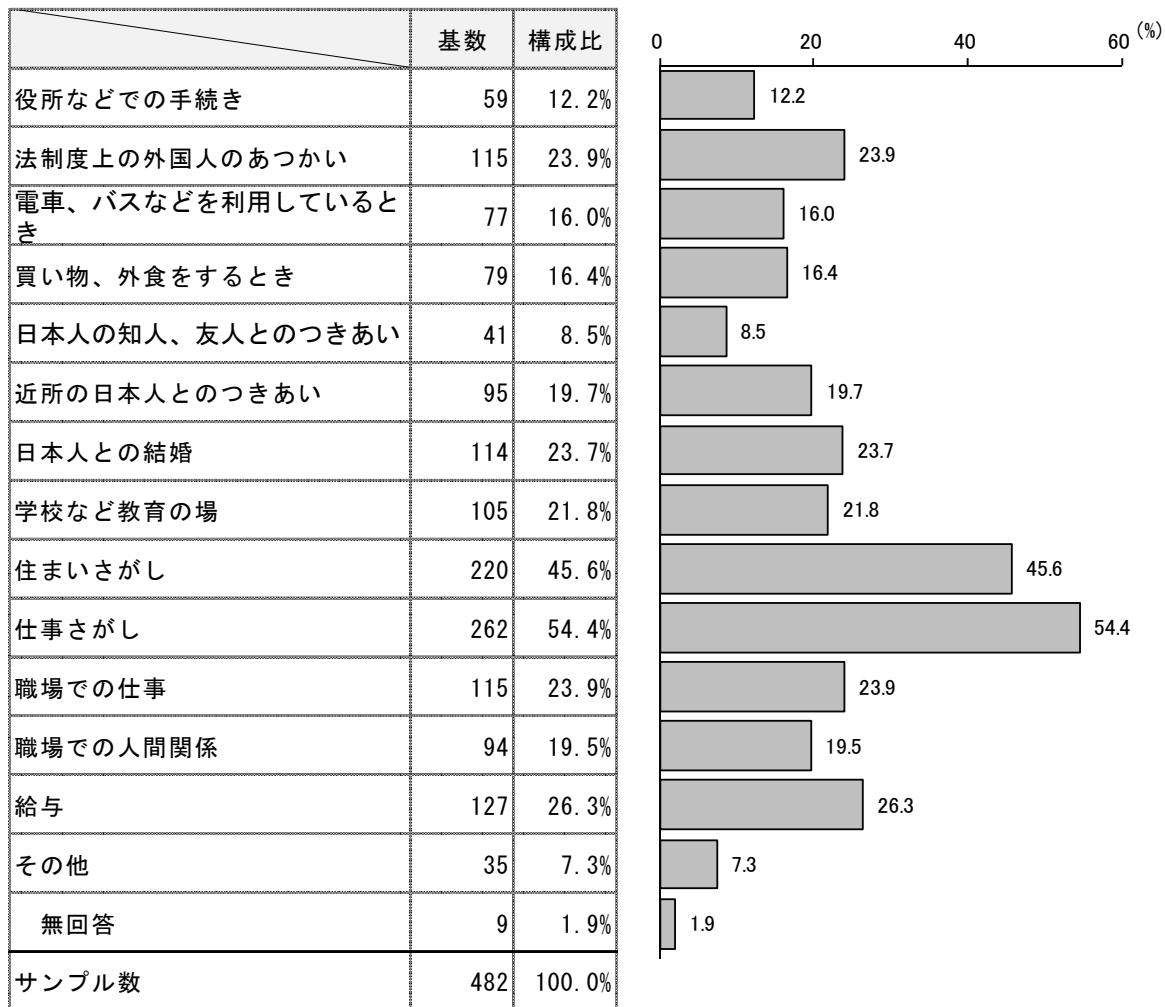
○偏見や差別の内容

問 31 問 30 で 1、2 に回答した方(一般的に見て、日本人から外国人に対して、偏見、差別があると思う人)にお聞きします。あなたは、外国人に対する偏見、差別はどのような場合にあると思いますか。(いくつでも○)

★外国人・日本人 共通設問

- ・日本人から外国人への偏見や差別があると回答した 482 人において、考えられる内容について聞いてみると、「仕事さがし」が 54.4%、「住まいさがし」が 45.6%で特に高くなっている。
- ・男女・年代別にみると、男女ともに「仕事さがし」が最も高く、次いで「住まいさがし」が高い傾向にあるが、男性の 60 代以上では「住まいさがし」が最も高く、次いで「仕事さがし」となっている。

図表410 偏見や差別の内容（複数回答）



図表411 男女・年代別偏見や差別の内容（複数回答）

	調査数	役所などでの手続き	法制度上の外国人の扱い	電車、バスなどを利用しているとき	買い物、外食をするとき	日本人の知人、友人とのつきあい	近所の日本人とのつきあい	日本人との結婚	学校など教育の場	住まいさがし	仕事さがし	職場での仕事	職場での人間関係	給与	その他	無回答
全体	482	59	115	77	79	41	95	114	105	220	262	115	94	127	35	9
	100.0	12.2	23.9	16.0	16.4	8.5	19.7	23.7	21.8	45.6	54.4	23.9	19.5	26.3	7.3	1.9
男性・20代	17	5	4	3	1	3	6	3	5	6	12	4	6	3	2	-
	100.0	29.4	23.5	17.6	5.9	17.6	35.3	17.6	29.4	35.3	70.6	23.5	35.3	17.6	11.8	-
男性・30代	37	3	9	6	8	6	14	8	7	19	20	9	8	8	4	-
	100.0	8.1	24.3	16.2	21.6	16.2	37.8	21.6	18.9	51.4	54.1	24.3	21.6	21.6	10.8	-
男性・40代	30	6	9	2	2	3	9	8	6	16	19	9	6	7	1	-
	100.0	20.0	30.0	6.7	6.7	10.0	30.0	26.7	20.0	53.3	63.3	30.0	20.0	23.3	3.3	-
男性・50代	36	1	15	3	7	2	5	8	7	18	18	15	4	14	1	-
	100.0	2.8	41.7	8.3	19.4	5.6	13.9	22.2	19.4	50.0	50.0	41.7	11.1	38.9	2.8	-
男性・60代以上	70	7	18	15	12	5	8	18	14	31	29	15	17	19	5	3
	100.0	10.0	25.7	21.4	17.1	7.1	11.4	25.7	20.0	44.3	41.4	21.4	24.3	27.1	7.1	4.3
女性・20代	37	7	4	9	14	1	8	4	13	14	21	11	9	12	4	-
	100.0	18.9	10.8	24.3	37.8	2.7	21.6	10.8	35.1	37.8	56.8	29.7	24.3	32.4	10.8	-
女性・30代	58	5	17	8	7	4	14	15	13	23	40	13	10	15	2	-
	100.0	8.6	29.3	13.8	12.1	6.9	24.1	25.9	22.4	39.7	69.0	22.4	17.2	25.9	3.4	-
女性・40代	53	5	11	2	3	3	8	16	15	26	32	12	8	16	1	1
	100.0	9.4	20.8	3.8	5.7	5.7	15.1	30.2	28.3	49.1	60.4	22.6	15.1	30.2	1.9	1.9
女性・50代	40	7	10	5	4	5	6	9	9	19	22	6	7	9	2	2
	100.0	17.5	25.0	12.5	10.0	12.5	15.0	22.5	22.5	47.5	55.0	15.0	17.5	22.5	5.0	5.0
女性・60代以上	97	10	16	23	20	9	16	22	15	44	45	18	19	23	12	3
	100.0	10.3	16.5	23.7	20.6	9.3	16.5	22.7	15.5	45.4	46.4	18.6	19.6	23.7	12.4	3.1

上段：件数（件）、下段：構成比（%）

7 自由回答(抜粋)

問 41 このアンケートの質問項目、とくに、外国人の住民との共生のあり方について、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

- ・自由記述回答者数:日本人 149 人
- ・同一の回答の中に複数の意見等がある場合は、個別にカウントをした。そのため回答総数は回答者数を超えている。
- ・また、長文の回答などを適宜要約した。

	回答件数
共生に対する肯定的意見	47(23.3%)
共生に向けた態度や要望	48(23.8%)
共生に対する消極的／否定的意見	6(3.0%)
共生に関しての情報	12(5.9%)
区の対応、政策など	27(13.4%)
言語学習	15(7.4%)
住宅、生活環境	9(4.5%)
子育て・保育、教育	3(1.5%)
防犯・防災対策	11(5.4%)
その他	6(3.0%)
本調査の方法、あり方	11(5.4%)
本調査への感謝／その他	3(1.5%)
よくわからない／とくにない	4(2.0%)
計	202(100.0%)

1. 共生に対する肯定的意見

- ・多くの方が、海外の文化に親しんで、興味を持つようなイベントや交流が増えていけば良いと思う。
- ・東南アジア系の人が多く、日本語が話せるので区別なしに接することが出来る。
- ・国や宗教によって考え方は様々なので、違いを認識した上で、どう共生していったらいいか考えていきたい。
- ・外国人との共生は優しくつき合えば、日本人と変わらない。
- ・グローバル社会なのだから、おたがいの言葉や習慣などを尊重して生活していけばよい。
- ・外国人と共生する事は何の問題もない。しかし行政には日本で暮らす上でのマナーは教えてほしい。
- ・外国の方が困っていたら、役に立てることがあれば行動にうつしたい。

2. 共生に向けた態度や要望

- ・自治会でのイベント(お餅つきや夏祭りなど)で交流できると安心になるかもしれない。
- ・「食」に関する交流から始めれば「ことば」・「生活」につながるとし、外国人との交流ができると思う。
- ・外国文化に触れ合えるようなお祭りが増えると、交流が深められると思う。
- ・外国人の方々に、日本の生活や決まりごとを理解してもらう為にも、冊子の配布は良いアイデア。
- ・共生については、まだ住民の理解が低いと思うので、今後どれだけ住民の理解度を上げるかが必要だと思う。
- ・子供の学校等でも、色々な国籍の人がいる。それぞれの母国の事を沢山調べ理解し合える機会を作してほしい。

3. 共生に対する消極的 / 否定的意見

- ・日本は島国なのであまり多くの外人を入れない方が良く思う。
- ・生活保護が必要な外国人は住民として受入れないでほしい。
- ・民団・総連などの韓国・北朝鮮系団体の活動に不安を感じる。
- ・外国人への施策に、限られた財源を使うのはやめてほしい。
- ・ヨーロッパで発生している、宗教による民族問題が将来多発することが心配。
- ・自己主張の強い外国人が増えていくと治安が悪くなりそうです。日本人の若い人の増加を図るべきだと思う。

4. 共生に関しての情報

- ・住民がどのように情報(外国人と共生について)収集する術があるのか教えてほしい。
- ・外国人に対する事業・活動を行っている事に対して、広報活動が不足しているのではないかな。
- ・文化交流の情報が分りにくいです、Webサイトを充実していただければ助かります。

5. 区の対応、政策など

- ・外国人の住民票などの手続き時に、もう少し理解したスタッフがいるとスムーズだと思う。
- ・ある程度、行政がリードしてくれないと最初の一步が踏みだせない。要は広報活動が不足しているのではないかな。
- ・区が、ホームパーティーのようなものをやっても面白そう。
- ・区は、外国人住民調査を定期的に行い、注意事項をまとめたチラシ等の配布を実施してほしい。
- ・生活の決まり事を理解してもらえよう、積極的に働きかけて欲しい。冊子の配布は良いアイデア。

6. 言語学習

- ・日本人向けの外国語を学ぶ機会を作る施策も行ってほしいです。
- ・住んでいる国の言葉を理解したり、習慣を学ぶのは当然で本人がすべきこと。
- ・日本語教師の資格を持ち、ボランティアとして活動したい、その場を設けて頂けたらと思います。
- ・日本語を母国語としていない者にも、ボランティア活動できる機会が増えたらと思っています。

7. 住宅、生活環境

- ・土地・家屋の売却が増えている、何十年後には外国人に占領されるのではないか。
- ・都営住宅にアジア系の人は入居させないでほしい。生活態度がダメ・協力性がない。
- ・近隣住民の関係が構築できるものを作り、そこに外国人も組み込んでいべきだと思う。
- ・一軒の家に多数で生活、住民とトラブルが発生している。住民調査を十分に行ってほしい。

8. 子育て・保育、教育

- ・外国人の方も、結婚し子供が学校に通っているので、PTAを通して交流している。そこで学ぶ事も多い。
- ・中学生の交流の拡大と小学生への国際理解教育の充実。
- ・子供たちにとって、これから多文化共生は重要になってくる、ととてもよいことだと思います。

9. 防犯・防災対策

- ・不法滞在者や違法営業(飲食店や風俗)をしっかり取り締まってほしい。
- ・日本文化を壊す・犯罪を犯す外国人の排除、正常な共生関係を作るためにも必要。
- ・外国人の犯罪のニュースを見るにつけ、子供がいるので安心・安全な街を強く希望します。
- ・外国人の為の防災ガイドブックなどの配布。

10. その他

- ・ペットとの暮らしについても色々検討してほしい。
- ・板橋区議会には「ヘイトスピーチ」に反対する意見表明決議をしてもらいたい。
- ・区庁舎の建替えですが、なぜ耐震性に問題のある建物を作ってしまったのか。
- ・オリンピック等一時的なものに踊らされて血税を無駄に使わないでほしい。

11. 本調査の方法、あり方

- ・共生といわれても、一生住み続けたい方・仕事で短期間住む方もいるので一概に回答できない。
- ・外国人という括りでの調査は、いろんな国の方がいるので、少々大ざっぱ過ぎませんか。
- ・このアンケートの結果集計は、どの様なことに活かされるのか？質問の意図が分かりませんでした。

12. 本調査への感謝 / その他

13. よくわからない / とくにない

第4章 參考資料

へいせい ねんど いたばしく たぶん かきょうせいじつたいちようさ
平成26年度 板橋区多文化共生実態調査

あんけーと きょうりょく ねが
～アンケートご協力のお願い～

いたばしく ことせき みんぞく みと あ あんしん く たぶん かきょうせい
板橋区では、国籍や民族のちがいを認め合い、だれもが安心して暮らせる「多文化共生のまちづくり」を推進しています。今回、板橋区をもっと住みよいまちにするために、外国人及び日本人区民に無記名のアンケート調査を実施いたしますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ちようさたいしよう ねが かた いたばしく す がいこくじん なか せんになん にほんじん なか
調査対象としてお願いする方は、板橋区にお住まいの外国人の中から3千人、日本人の中から2千人を無作為(くじ引き形式の一種)で選ばせていただきました。お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

ねん がつ
2014年12月

いたばしく
板橋区

きにゆう ねが
ご記入にあたってのお願い

- この調査は、外国人登録事務や出入国管理とは一切関係ありません。
- ご回答の内容は、すべて統計的に処理しますので、個人を特定することはありません。
- アンケート用紙は、「日本語(ルビ付き)」「その他の言語」の2種類が入っています。どちらか一方だけを選んで、ご記入ください。
- ご回答は、必ず封筒のあて名のご本人様が自分自身でご記入ください。
- ご回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中から、あてはまるものを選び、番号にはっきりと○印をつけてください。
- 設問により、ご回答いただく○の数(ひとつだけ○)、(いくつでも○)などと指定していますので、それに従いご記入ください。
- ご自分の答えが選択肢の中にある場合は、「その他」を選び、()内にその内容を具体的に記入ください。
- 回答欄が のものについては、案内にしたがって 内に文字や数字をご記入ください。
- ご回答の終わった調査票は、**1月13日(火曜日)まで**に、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに入れてください(切手を貼ったり、お名前やご住所を書く必要はありません)。

たいあわ さき
《お問合せ先》

いたばしくやくしよ くみんぶんかぶ ぶんか こくさいこうりゅうか
板橋区役所 区民文化部 文化・国際交流課

TEL:03-3579-2018

うけつけじかん げつようび きんようび じ じ にほんご
※受付時間:月曜日～金曜日 9時～17時まで(日本語のみ)

うらめん も らん
(裏面もご覧ください)

みなさまからお寄せいただくことの多いご質問へのご回答

Q1.どこで住所を調べ、なぜ自分が選ばれたのか？

A1.外国人登録原票から住所を調べ、アンケート結果に偏りのないようにするため、板橋区にお住まいの外国人の中から3千人を無作為(くじ引き形式の一種)で選ばせていただきました。

Q2.調査報告書などで個人の氏名、住所などの情報は出るのか？

A2.今回の調査は無記名でお答えいただき、アンケート結果もすべて数値として集計しますので、調査対象者のみなさまのお名前などの個人情報調査報告書に出ることは一切ございません。

Q3.調査結果を集計するのは誰か？

A3.今回の調査にあたっては、主に社会調査などを手がけ、プライバシーマーク認定企業でもある株式会社サーベイリサーチセンターに委託しております。

【株式会社サーベイリサーチセンター】

東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号 URL:<http://www.surece.co.jp/>

※ 板橋区文化・国際交流課が株式会社サーベイリサーチセンターに委託して行っている調査です。

Q4.個人情報をどのように管理しているのか？

A4.調査対象者のみなさまの住所、氏名などが印字された用紙等は、発送までは株式会社サーベイリサーチセンターが施錠された保管場所で厳重に管理します。宛先不明で戻った調査票については、粉砕処分いたします。

Q5.調査協力への謝礼はないのか？

A5.今回の調査は、多文化共生まちづくりに向けた今後の行政サービスに役立てるために実施いたしますので、謝礼はございません。大変申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

Q6.調査結果について知りたいがどうすればよいのか？

A6.板橋区役所のホームページで公開する予定であります。

Q7.調査についての質問や疑問がある場合、どこに連絡すればいいか？

A7.平日(月曜～金曜)、午前9時から午後5時までの間に、板橋区役所区民文化部文化・国際交流課(電話:03-3579-2018)までお問合せください。なお、問合せの際は、日本語のみでしか対応できませんので、ご了承ください。

へいせい ねんど いたばしくたぶんかきょうせいじつたいちょうさ がいこくじんよう
 平成26年度 板橋区多文化共生実態調査（外国人用）

【注意】

- 同封されているアンケート票は同じ内容です。どちらか一方だけをご記入ください。
- お答えはご本人（お送りした封筒の宛名の方）が自身のお考えをご記入ください。
- 本アンケートは全部で15ページあります。ご記入漏れのないようご注意ください。

問1 はじめに、あなたの性別と生まれた年を記入してください。

1 男性	西暦		年
2 女性			

ことばについて

問2 あなたは、日本語以外で日常会話のできる外国語はありますか。（いくつでも○）

1 韓国・朝鮮語	6 ポルトガル語
2 中国語	7 ミャンマー語
3 英語	8 その他 ()
4 タガログ語	9 外国語は学んだが日常会話はできない
5 タイ語	10 外国語を学んだことはない

問3 あなたはどのくらい日本語ができますか。（A～Cについて、それぞれひとつだけ○）

	よくなる	まあまあできる	あまりできない	できない
A 話す	1	2	3	4
B 読む	1	2	3	4
C 書く	1	2	3	4

問4 あなたは、日本語に関して困ることはありますか。（いくつでも○）

1 ひらがな、カタカナの読み書き	5 テレビ、ラジオのニュースの視聴
2 漢字の読み書き	6 新聞、雑誌などの読解
3 日常会話	7 その他 ()
4 役所、病院での説明の理解	8 とくにない

問5 あなたは、^{げんざい}現在、^{にほんご}日本語を^{まな}学んでいますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1 ^{まな} 学んでいる | 2 ^{まな} 学んでいない (問7へ) |
|-----------------------|------------------------------|

問6 【問5で1に回答された方(現在、日本語を学んでいる人)にお聞きします。】あなたは、^{にほんご}日本語をどのような^{ほうほう}方法で^{まな}学んでいますか。(いくつでも○)

- | | | |
|--------------------------------------|---------------------------|--|
| 1 ^{にほんごがっこう} 日本語学校 | 5 ^{かていきょうし} 家庭教師 | 9 ^{てれび らじお つうしんきょうい} テレビ、ラジオの通信教育 |
| 2 ^{だいがく にほんごこうざ} 大学の日本語講座 | 6 ^{かぞく} 家族 | 10 ^{しんぶん ざっし えいが りょう} 新聞、雑誌、映画などを利用 |
| 3 ^{ぼらんていあ} ボランティアなどによる | 7 ^{ゆうじん} 友人 | ^{どくがく} した独学 |
| 4 ^{やくしょ にほんごきょうしつ} 役所の日本語教室 | 8 ^{しょくば} 職場 | 11 ^た その他 () |

問7 あなたは、^{こんご}今後、^{にほんご}日本語を^{おも}学びたいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1 ^{せっきよくてき まな} 積極的に学びたい | 3 ^{まな} あまり学びたくない |
| 2 ^{きかい} 機会があれば学びたい | 4 ^{まな} 学びたくない |

問8 あなたは、^{いたばしくない}板橋区内の5つの^{しょうちゅうがっこう}小中学校に、^{がいこくじん こ む}外国人の子ども向けの「^{にほんごがっきゅう}日本語学級」があることを知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 ^し よく知っている | 3 ^き 聞いたことはある |
| 2 ^し すこし知っている | 4 ^し 知らない |

問9 あなたは、^{がいこくじん む}外国人向けに、^{いたばしく しゅさい}板橋区が主催している^{にほんごきょうしつ}日本語教室や、^{ぼらんていあ}ボランティアによる^{にほんごきょうしつ}日本語教室があることを知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 ^し よく知っている | 3 ^き 聞いたことはある |
| 2 ^し すこし知っている | 4 ^し 知らない |

問10 板橋区が主催している日本語教室や、ボランティアによる日本語教室が、もっと利用しやすくなるために、あなたは、今後、どのようなことが重要だと思いますか。(いくつかでも○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 日本語教室の場所、時間をもっと広く案内する | 5 レベル別の日本語教室を設ける |
| 2 夜間でも利用できる | 6 子ども向けの日本語教室を充実させる |
| 3 休日、祝日でも利用できる | 7 日本文化を紹介する講座を設ける |
| 4 子ども連れでも利用できる | 8 その他() |
| | 9 とくにない |

地域での生活や活動について

問11 あなたは、現在、住んでいる地域で、国籍を問わずつきあいのある人はいいますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 個人的なことについて相談できる人がいる | 3 あいさつする程度の人がいる |
| 2 世間話をする人がいる | 4 つきあいのある人はいない |
- (問 13 へ)

問12 【問11 で 1、2、3 に回答した方(住んでいる地域で、つきあいのある人)にお聞きします。】
現在、つきあいのある人の中に、日本人はいいますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 個人的なことについて相談できる人がいる | 3 あいさつする程度の人がいる |
| 2 世間話をする人がいる | 4 つきあいのある日本人はいない |

問13 あなたは、今後、住んでいる地域で、日本人とどのくらいつきあいをしたいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1 個人的なことを相談するくらい | 3 あいさつするくらい |
| 2 世間話をするくらい | 4 つきあいたくない |

問14 あなたには、外国人どうして相談、情報交換などができる仲間やグループはありますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------|--------------|
| 1 ある | 2 ない (問16 へ) |
|------|--------------|

問15 【問14で1に回答した方にうかがいます。】外国人どうして相談、情報交換できる仲間、グループはどのような人たちですか。板橋区では、外国人のグループをとおして、生活に役立つ情報を提供し、また、ご意見をお聞きしたいと考えています。お答えできる範囲でかまいませんので、以下について、自由に記入してください。

1 どのような仲間、グループですか。

2 どこで、どのような活動をしていますか。

問16 あなたは、今までに地域の日本人との間で、どのようなトラブルを経験しましたか。

(いくつでも○)

1 ゴミの出し方	5 駐車、駐輪のし方	8 その他 ()
2 部屋からの声、物音	6 建物の建て増し、建て直し	9 トラブルはなかった
3 ペット	7 店の営業に関すること	10 わからない
4 部屋の使い方		

問17 あなたは、以下の地域の活動に参加していますか。

(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

	よく さんか 参加している	ときどき さんか 参加している	あまり参加 さんか していない	さんか 参加 していない
A 町会、自治会などの行事 (祭り、防災訓練など)	1	2	3	4
B PTA、子ども会、子育て、保育の活動	1	2	3	4
C お年寄り、障がい者を支援する活動	1	2	3	4
D 趣味、文化、学習、スポーツなどの活動	1	2	3	4
E 国際交流、国際協力など地域の外国人を 支援する活動	1	2	3	4

とい 問18 あなたは、今後、地域の活動に参加したいと思いませんか。(ひとつだけ○)

1 積極的に参加したい	3 あまり参加したくない
2 機会があれば参加したい	4 参加したくない

とい 問19 あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なことはありますか。(いくつでも○)

1 ゴミの出し方	10 子育て、教育	19 日本人とのトラブル
2 日本語の不自由さ	11 仕事さがし	20 日本人の偏見、差別
3 情報の少なさ	12 職場での仕事	21 物価の高さ
4 住まいさがし	13 職場での人間関係	22 選挙権がないこと
5 住まいの使い方	14 給与	23 その他 ()
6 病院、医療	15 学校生活	24 とくにない
7 税金	16 災害時、緊急時の対応	25 わからない
8 年金	17 近所でのつきあい	
9 老後の生活	18 知人、友人とのつきあい	

とい 問20 あなたは、日常生活のことで困った場合、だれに相談しますか。(いくつでも○)

1 仕事以外の知人、友人(同じ国の人)	9 保育園、幼稚園、学校
2 仕事以外の知人、友人(日本人)	10 ボランティア団体(NPO、NGOをふくむ)
3 仕事以外の知人、友人(日本人以外の外国人)	11 弁護士、行政書士などの専門家
4 家族、親戚	12 東京都、板橋区の相談窓口
5 職場の同僚など仕事関係の人	13 民生委員、児童委員、社会福祉協議会
6 店の客	14 その他 ()
7 民族団体、同じ国の人々の組織	15 だれにも相談しない
8 教会、寺院	16 相談する相手がいない

さいがいの きんきゅうじ たいおう
災害など緊急時の対応について

と
問21 あなたが、地震などの災害が発生したときに不安なことは何ですか。(いくつでも○)

1 かぞく あんび 家族の安否	8 ひなんばしょ かくほ 避難場所の確保
2 すいどう でんき がす と 水道・電気・ガスが止まること	9 こうつうきかん 交通機関のマヒ
3 つうしんしゆだん しゃだん れんらく 通信手段が遮断し、連絡がとれない	10 せいかつようひん かくほ 生活用品の確保
4 しょくりようひん かくほ 食料品の確保	11 ちあん あつか 治安の悪化
5 かさい はっせい 火災の発生	12 さいがいのじょうほう にゆうしゆ 災害情報の入手
6 かおく とうかいそんしょう 家屋の倒壊損傷	13 その他()
7 きたくこんなん 帰宅困難になる	

と
問22 あなたは、地震などの災害が発生した場合の避難場所、避難道路を知っていますか。
(ひとつだけ○)

1 よく知っている	3 聞いたことはある
2 すこし知っている	4 知らない

と
問23 あなたは、以下の地震などの災害に関する活動に、参加したいと思いますか。
(A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

	おおいに さんか 参加したい	きかい があれば さんか 参加したい	あまり さんか 参加したくない	さんか 参加したくない
A ちょうかい じち かい かつどう 町会、自治会の活動 (防災訓練など)	1	2	3	4
B さいがいの じ ひなんばしょ つうやくしゃ 災害時、避難場所で、通訳者とし ての活動	1	2	3	4
C がいこくじん きょうりよくたいせい 外国人どうしの協力体制づくりへの 活動	1	2	3	4

問24 あなたは、以下の外国人を含む住民に対する災害対策のうち、何を板橋区に望みますか。
(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

	おおいに のぞ 望む	どちらかといえ のぞ ば望む	どちらかといえ のぞ ば望まない	のぞ 望まない
A 多言語による災害時行動マニュアル、防災マップの配布	1	2	3	4
B 多言語による防災訓練の開催	1	2	3	4
C 外国人をふくむ地域の住民どうしの協力体制づくり	1	2	3	4
D 災害時に多言語で情報を伝える体制づくり	1	2	3	4
E 多言語によるFMラジオ放送	1	2	3	4

問25 あなたは、地震などの災害において避難することについて、以下のことは心配ですか。
(A～Dについて、それぞれひとつだけ○)

	おも そう思う	ややそう思う	あまり おも そう思わない	おも そう思わない
A 日本人に外国語が通じないか心配	1	2	3	4
B 日本人と協力して行動できるか心配	1	2	3	4
C 災害などの緊急時に、日本人の反応がどうなるかわからないので心配	1	2	3	4
D ぱくぜんとした不安を感じる	1	2	3	4

子育てや教育について

問26 あなたは、現在、いっしょに暮らしている満15才以下のご自分のお子さんはいますか。
(ひとつだけ○)

1 いる	2 いない (問30へ)
------	--------------

問27 【問26で1に回答した方(現在、満15才以下のご自分のお子さんと暮らしている人)にお聞きします。】あなたが現在、いっしょに暮らしているお子さんについて、以下の中からあてはまるものを選んでください。(いくつでも○)

1 保育所、幼稚園にまだ通っていない子どもがいる (問29へ)	3 小学生の子どもがいる
2 保育所、幼稚園に通っている子どもがいる (問29へ)	4 中学生の子どもがいる

問28 【問27で3、4のいずれかに回答した方(小・中学校に通っているお子さんと暮らしている人)にお聞きします。】あなたは、お子さんの学校生活に関して、以下のことについて、どう思いますか。(A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

	おもう そう思う	おもう ややそう思う	あまり おもう そう思わない	おもう そう思わない
A 学校からの通知や連絡が理解しにくい	1	2	3	4
B 子どもが日本の生活習慣を理解しにくい	1	2	3	4
C 子どもが授業内容を理解しにくい	1	2	3	4

問29 【問26で1に回答した方(現在、満15才以下のご自分のお子さんと暮らしている人)にお聞きします。】あなたは、現在、以下の子育て、教育に関することについて、どう思いますか。(A～Jについて、それぞれひとつだけ○)

	おもう そう思う	おもう ややそう思う	あまり おもう そう思わない	おもう そう思わない
A 子育て、教育でわからないことがあっても相談する人、場所がない	1	2	3	4
B 子どもの教育費が高い	1	2	3	4
C 子どもをあずける所が見つからない	1	2	3	4
D 子どもの医療費が高い	1	2	3	4
E 子どもが日本語でコミュニケーションがとれない	1	2	3	4
F 子どもが仲間はずれになったり、いじめられる	1	2	3	4
G 子どもが母語でコミュニケーションがとれない	1	2	3	4
H 子どもが本名を使えない	1	2	3	4
I 進学するとき不利にならないか心配	1	2	3	4
J 就職するとき不利にならないか心配	1	2	3	4

ちいき がいこくじん きょうせい
地域の外国人との共生について

いたばしく こくせき 民族などの異なる人々がたがいの文化的ちがいを認め、理解しあい、
ちいき 地域でともに生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進しています。

問 30 あなたは、板橋区の以下の多文化共生事業について、知っていますか。

(いくつでも○)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1 | くせい 区政情報、せいけつ 生活情報などに関する
じょうほう 情報誌「アイシェフ・ボード」 | 4 | べんごし 弁護士などのせんもんか 専門家による「がいこくじん
そうだんかい 相談会」 |
| 2 | にほんご はな 日本語が話せない板橋区内外国人の
ため「ごがくぼらんてい あせいど 語学ボランティア制度」 | 5 | くに とし 国・都市とのこうりゅうじぎょう 交流事業 |
| 3 | がいこくじん 外国人によるにほんごすび 日本語スピーチ大会 | 6 | その他() |
| | | 7 | とくになし |

問 31 板橋区では、以下の国や都市と交流をしています。板橋区の交流事業について、期待するものは何ですか。(いくつでも○)

こうりゅうこく とし
【交流国・都市】

かなだ ばーりん とん し いたりあ ぼろー に や し
カナダ バージントン市、イタリア ポローニヤ市
まれー し あ べなん し ゆうり つしよくぶつえん もんごるこく ちゅうこく ぺきん し せつけいざんく
マレーシア ペナン州立植物園、モンゴル国、中国 北京市石景山区

- | | | | |
|---|-------------------------|---|---------------|
| 1 | こくさいへいわ 国際平和 | 5 | くみんこうりゅう 区民交流 |
| 2 | すぽーつこうりゅう スポーツ交流 | 6 | その他() |
| 3 | さんぎょう けいざいこうりゅう 産業・経済交流 | 7 | とくになし |
| 4 | せいしやうねんこうりゅう 青少年交流 | | |

問 32 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い、あなたが板橋区に期待することは何ですか。(いくつでも○)

- | | | | |
|---|----------------------------------|---|----------------------------|
| 1 | たぶんかきょうせい 多文化共生についてのりかいそくしん 理解促進 | 6 | あんないひょうじ 案内表示などのたげんごか 多言語化 |
| 2 | がいこくじん 外国人へのおもてなし意識のこうじょう 向上 | 7 | しまいとし 姉妹都市とのこうりゅうそくしん 交流促進 |
| 3 | にほんじん 日本人とのこうりゅう 交流の場のぞうか 増加 | 8 | その他() |
| 4 | がいこくじんかんこうきやく 外国人観光客のぞうか 増加 | 9 | とくになし |
| 5 | ごがくぼらんてい あい 語学ボランティアのいくせい 育成 | | |

問33 「多文化共生のまちづくり」を進めていくにあたって、あなたは、以下のことをどの程度したいと思いますか。(A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

	おおいにしたい	機会があればしたい	あまりしたくない	したくない
A 日本 <small>にほん</small> の文化 <small>ぶんか</small> 、生活習慣 <small>せいかつしゅうかん</small> を理解するようにつとめる	1	2	3	4
B 母国 <small>ぼこく</small> の言葉 <small>ことば</small> 、文化 <small>ぶんか</small> を日本人 <small>にほんじん</small> の住民 <small>じゅうみん</small> に紹介 <small>しょうかい</small> する	1	2	3	4
C 地域 <small>ちいき</small> の日本人 <small>にほんじん</small> の住民 <small>じゅうみん</small> との交流会 <small>こうりゅうかい</small> など、国際交流 <small>こくさいこうりゅう</small> の行事 <small>ぎょうじ</small> に参加 <small>さんか</small> する	1	2	3	4

問34 「多文化共生のまちづくり」を進めていくにあたって、あなたは、地域の日本人の住民に対して、以下のことを望みますか。(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

	おおいに望む	どちらかといえば望む	どちらかといえば望まない	望まない
A 外国 <small>がいこく</small> の文化 <small>ぶんか</small> 、生活習慣 <small>せいかつしゅうかん</small> を理解するようにつとめる	1	2	3	4
B 日頃 <small>ひごろ</small> から、外国人 <small>がいこくじん</small> の住民 <small>じゅうみん</small> と言葉 <small>ことば</small> をかわす	1	2	3	4
C 日本語 <small>にほんご</small> 、日本の習慣 <small>しゅうかん</small> を外国人住民 <small>がいこくじんじゅうみん</small> に紹介 <small>しょうかい</small> する	1	2	3	4
D 外国語 <small>がいこくご</small> を習得 <small>しゅうとく</small> するようにつとめる	1	2	3	4
E 地域 <small>ちいき</small> の外国人 <small>がいこくじん</small> の住民 <small>じゅうみん</small> との交流会 <small>こうりゅうかい</small> など、国際交流 <small>こくさいこうりゅう</small> の行事 <small>ぎょうじ</small> に参加 <small>さんか</small> する	1	2	3	4

問35 あなたは、一般的に見て、日本人から外国人に対して偏見、差別があると思いますか。(ひとつだけ○)

1 よくあると思う	3 あまりないと思う ⇒ 問33 へ
2 ときどきあると思う	4 ないと思う ⇒ 問33 へ

問36 【問35で1、2に回答した方(一般的に見て、日本人から外国人に対して、偏見、差別があると思う人)にお聞きします。】あなたは、外国人に対する偏見、差別はどのような場合にあると思いますか。(いくつかでも○)

1 役所などでの手続き	8 学校など教育の場
2 法制度上の外国人のあつかい	9 住まいさがし
3 電車、バスなどを利用しているとき	10 仕事さがし
4 買い物、外食をするとき	11 職場での仕事
5 日本人の知人、友人とのつきあい	12 職場での人間関係
6 近所の日本人とのつきあい	13 給与
7 日本人との結婚	14 その他 ()

あなたご自身について

問37 あなたの国籍は以下のどれにあたりますか。

(ひとつだけ○。二重国籍の人は、その他の欄にご記入ください。)

1 韓国、朝鮮	5 バングラデシュ	9 フィリピン
2 中国	6 タイ	10 ブラジル
3 ミャンマー	7 ネパール	11 マレーシア
4 米国	8 英国	12 その他()

問38 あなたは、現在、結婚していますか。(ひとつだけ○)

1 未婚	4 既婚(配偶者は日本人以外の外国人)
2 既婚(配偶者は同じ国の人)	5 離別、死別
3 既婚(配偶者は日本人)	

問39 あなたの^{しごと}お仕事は、大きく分けて以下の^い中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

1 専業主婦・主夫(パート、内職、家族従業員をしていない方)	6 派遣社員、契約社員、請負・委託業務
2 無職(専業主婦・主夫、学生以外の方)	7 正規雇用されている一般社員、一般職員(公務員、教員をふくむ)
3 学生(アルバイトをしてない方)	8 自営業主または家族従業者
4 学生(アルバイトをしている方)	9 経営者、会社・団体役員
5 臨時雇用、パート、アルバイト	10 その他 ()

問40 あなたの^{ざいりゅうしかく}在留資格は以下の^い中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

1 外交	9 医療	16 技能	24 永住者
2 公用	10 研究	17 技能実習	25 特別永住
3 教授	11 教育	18 文化活動	26 日本人の配偶者等
4 芸術	12 技術	19 短期滞在	27 永住者の配偶者等
5 宗教	13 人文知識・国際業務	20 留学	28 定住者
6 報道	14 企業内転勤	21 研修	29 資格なし
7 投資・経営	15 興行	22 家族滞在	
8 法律・会計業務		23 特定活動	

問41 あなたが^{げんざい}現在、同居している人は何人いますか。^{あなたをふくめて}あなたを含めて^{にんずう}人数を記入してください。^{ひとり}ひとりで^ま住んでいる方は1と^{きにゆう}記入してください。(1と記入した方は、問43へ)

あなたを^{ふく}含めて ^{にん}人

問42 【問41で2人以上と^{かいとう}回答した方(1人で^ま住んでいない人)にお聞きします。】あなたが^{げんざい}現在、^{いっしょ}いっしょに住んでいる人はどなたですか。(いくつでも○)

1 配偶者	4 配偶者の親	7 その他 ()
2 子ども	5 その他の親類	
3 自分の親	6 知人、友人	

問43 あなたは、日本に何年、住んでいますか。来日を繰返している場合は、通算して記入してください。日本に住んで1年未満の方は0と記入してください。

ねん
年

問44 あなたは、板橋区に何年、住んでいますか。板橋区に住んで1年未満の方は0と記入してください。

ねん
年

問45 あなたにとって、板橋区は住みやすいところだと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 住みやすい | 3 やや住みにくい |
| 2 まあまあ住みやすい | 4 住みにくい |

問46 あなたは、今後、どれぐらい板橋区に住みつづけたいですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 一生住みつづけたい | 3 いずれ板橋区から転出したい |
| 2 当分の間、住みつづけたい | 4 すぐに板橋区から転出したい |

問47 あなたが現在、住んでいる板橋区の地域は以下の中のどれにあたりますか。
(ひとつだけ○。細かい内訳は、15ページ目の「居住地域区分」をご覧ください。)

- | | | | | |
|------|-------|------|------|-------|
| 1 板橋 | 2 常盤台 | 3 志村 | 4 赤塚 | 5 高島平 |
|------|-------|------|------|-------|

問48 あなたの現在のお住まいは、以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 6 社員寮、社宅、公務員住宅 |
| 2 持ち家(マンションなど集合住宅) | (集合住宅) |
| 3 民間賃貸住宅(一戸建て) | 7 公社、公団などの賃貸公営住宅 |
| 4 民間賃貸住宅 | (一戸建て) |
| (アパート、マンションなどの集合住宅) | 8 公社、公団などの賃貸公営住宅 |
| 5 社員寮、社宅、公務員住宅 | (団地などの集合住宅) |
| (一戸建て) | 9 その他() |

問49 あなたは、板橋区内の生活に関する情報を何で入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1 区の広報誌、情報誌 | 4 インターネット(ツイッター、フェイスブック等) |
| 2 チラシ | 5 掲示板・ポスター |
| 3 テレビ | 6 その他() |

とい 問50 このアンケートの質問項目、とくに、日本人の住民との共生のあり方について、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

— ご協力、どうもありがとうございました。 —

ご記入いただきました調査票は、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて、
切手を貼らずに **1月13日（火曜日）まで** に郵便ポストに入れてください。

たぶん かきょうせい
多文化共生のまちをめざして



たぶん かきょうせい
多文化共生とは・・・

こくせき みんぞくなど こと ひとひと たが ぶんかてきちが みと りかい ちいき とも い
国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解しあい、地域で共に生き
ていくことを「多文化共生」と言います。板橋区では、多文化共生のまちづくりを進
めています。

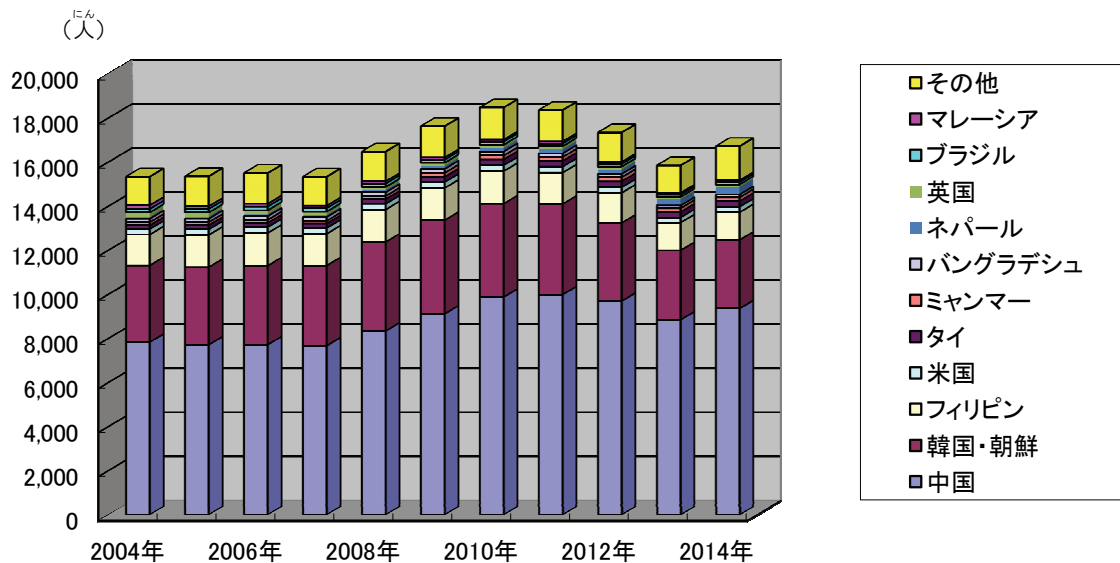
いたばし く げんじょう
～板橋区の現状～

じんこう がいこくじんじゅうみんすう
●人口と外国人住民数 (2014.1.1)

	にほんじん 日本人	がいこくじん 外国人	けい計
けい計	523,326人	16,714人	540,040人

そうじんこう し わりあい やく
総人口に占める割合は、約3.1%です

こくせきべつ がいこくじんじゅうみんすう かくねん がつ にちげんざい
●国籍別の外国人住民数 (各年1月1日現在)



いたばし おも とりく
～板橋の主な取組み～

にほんごがくしゅう しえん
日本語学習の支援

●日本語教室の運営

板橋区では、生活するうえで必要となる基本的な日本語を学ぶことができる、初級の日本語教室を3コース開講しています。前期は、4月から9月まで、後期は10月から翌年の3月までです。また、この日本語教室で日本語を教えるための教師養成講座も実施しています。

コース	げつ もくコース 月・木コース	か きんコース 火・金コース	すい どコース 水・土コース
にちじ 日時	しゅう かい げつよう もくよう 週2回 月曜・木曜 ごぜん じ 午前10時～12時	しゅう かい かよう きんよう 週2回 火曜・金曜 ごご じ ぶん じ 午後6時30分～8時30分	しゅう かい すいよう どのよう 週2回 水曜・土曜 ごぜん じ 午前10時～12時

●日本語学級の設置

日本語能力が十分でないため、学校生活や授業に慣れない児童・生徒を対象に、区内小中学校に5箇所「日本語学級」を設置しています。

児童・生徒は、在籍校から決められた日時に日本語学級に通級し、日本語の入門から段階的に指導を受けたり、学校での行動様式や行事について説明を受けています。



しょうがっこう 小学校	しんがししょう いたばしだいろくしょう いたばしだいほちしょう 新河岸小、板橋第六小、板橋第八小
ちゅうがっこう 中学校	いたばしだいにちゅう しむらだいにちゅう 板橋第二中、志村第二中

●日本語適応指導員（中国語）

中国籍児童・生徒が、早く学校生活に適応できるように、区内小中学校に日本語適応指導員（中国語）を派遣し、日本語の初期教育やコミュニケーションの援助等を行います。

がいこくご しえん
外国語の支援

●語学ボランティア登録制度

区内に住む日本語を話せない外国人のために、通訳・翻訳を行う語学ボランティア登録制度を設けています。区役所や学校からの依頼によって、パンフレット等を外国語に翻訳したり、学校内での保護者会で通訳をしたりします。

いぶんかりかい こくさいこうりゅう
異文化理解・国際交流

がいこくじん ふく さまざま ひとびと しゆたい たが ぶんか れきし りかい ぶんか しぎょう おこな
外国人を含めた様々な人々が主体となり、お互いの文化や歴史の理解を深める事業を行って
います。



くない しょうちゅうがっこう で、
地域の外国人住民が自分
の国の文化を紹介してい
ます。

にほんごきょうしつどう まな がいこく
日本語教室等で学ぶ外国
人の学習の成果を発表する
スピーチ大会を開催していま
す。

たぶんか きょうせい こくさいこうりゅう
多文化共生や国際交流
をテーマにした様々な講座
やイベントを開催していま
す。

ぼうさいいしき こうじょう めざ
防災意識の向上を目指して

● 留学生対象の防災訓練

だいがく れんけい がいこくじんりゅうがくせい たいしょう ぼうさいくんれん じっし
大学と連携し、外国人留学生を対象にした防災訓練を実施
しています。この防災訓練では、地震体験車、煙体験ハウス、
AED を使った訓練ができるほか、消火器による初期消火体験
をするなど本格的な訓練を行っています。防災語学
ボランティアや消防署の方なども参加し、地域ぐるみで防災
意識を高めています。



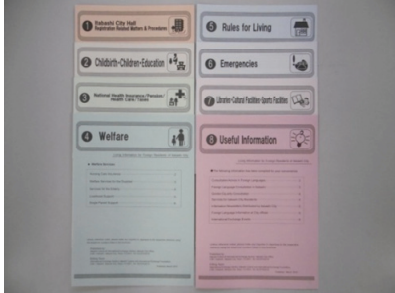
● 防災語学ボランティア

さいがいじ にほんご がいこくじんじゅうみん じょうほうていきょう おこな ぼうさいごがく ぼらんていあ
災害時に日本語のわからない外国人住民への情報提供を行うため、防災語学ボランティア
を養成しています。災害や救急救命法の知識、対応の方法を学ぶ講座を開催し、災害が起き
たときに対応できるようにしています。

こうざ まな ちしき がいこくじん ぼうさいがい どぶくく げんご にほんご
講座で学んだ知識をもとに、「外国人のための防災ガイドブック」を7言語（やさしい日本語、
英語、中国語、ハンガル、スペイン語、タガログ語、ベトナム語）で作成しました。

じょうほうていきょう
情報提供

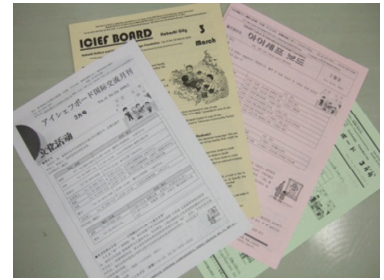
がいこくじん せいかつじょうほう にほんごるびつき えいご ちゅうごくご はんぐる げんご ほっしん
外国人のための生活情報を、日本語ルビ付き、英語、中国語、ハングルの4言語で発信して
います。下記のほかにもさまざまなパンフレットや案内を多言語で作成しています。



(がいこくじん せいかつじょうほう)
【外国人のための生活情報】
がいこくじん ゆうえき さいしん
外国人にとって有益な最新の
じょうほう
情報をまとめた8種類の
じょうほうし
情報紙です。



かんこうばんふれっとなど
【観光パンフレット等】
ごみの出し方や、板橋区
かんこうすぽっと
の観光スポットなどを
しょうかい ばんふれっと
紹介したパンフレットを
さくせい
作成しています。



こうほうし
【広報紙】
ちいき こくさいこうりゅういべんと
地域の国際交流イベント
ぎょうせいじょうほう
や行政情報などを掲載し
ています。

がいこくじんそうだん
外国人相談

むりょうせんもんかそうだんかい
●無料専門家相談会

ねん かい べんごし きょうせいしよし せんもんか たい つうやく かい むりょう そうだん
年に1回、弁護士や行政書士などの専門家に対し、通訳を介して無料で相談できます。ま
た、この無料専門家相談会は板橋区だけでなく、都内各地でリレー方式により月に1回程度行
っています。板橋区では、毎年開催しています。

いたばしく ばんふれっと せつめい じぎょう さまざま とりく おこな
板橋区では、このパンフレットで説明している事業のほかにも、様々な取り組みを行って
います。お気軽にお問い合わせください。

たぶんかきょうせい こくさいこうりゅうかん といあわ さき
【多文化共生や国際交流に関する問合せ先】

いたばしく くみんぶんかぶ ぶんか こくさいこうりゅうか でんわ
板橋区 区民文化部 文化・国際交流課 電話：03-3579-2018





平成26年度 板橋区多文化共生実態調査



区の鳥／ハクセキレイ
区の花／ニリンソウ
区の木／ケヤキ

～アンケートご協力のお願い～

日ごろから、板橋区政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

板橋区では、区内在住の外国人が1万8千人を超えている現状を踏まえ、国籍や民族のちがいを認め合い、だれもが安心して暮らせる「多文化共生のまちづくり」を推進しています。

このたび、地域での実情や区民ニーズを把握し、今後の行政サービスに役立てるために無記名のアンケート調査を実施いたしますので、ご協力の程、よろしく願いいたします。

調査対象としてお願いする方は、板橋区にお住まいの日本人の中から2千人、外国人の中から3千人を無作為(くじ引き形式の一種)で選ばせていただきました。

なお、ご回答の内容は、すべて機械的に処理し、プライバシーを保護するとともに、他の目的に利用することは一切ございませんので、ご安心ください。お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

2014年12月

板橋区

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、必ず封筒のあて名のご本人様が自分自身でご記入ください。
- ご回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中から、あてはまるものを選び、番号にはつきりと○印をつけてください。
- 設問により、ご回答いただく○の数を(ひとつだけ○)、(いくつでも○)などと指定していますので、それに従いご記入ください。
- ご自分の答えが選択肢の中にある場合は、「その他」を選び、()内にその内容を具体的にご記入ください。
- 回答欄が のものについては、案内にしたがって 内に文字や数字をご記入ください。
- ご回答の終わった調査票は、**1月13日(火曜日)まで**に、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに入れてください(切手を貼ったり、お名前やご住所を書く必要はありません)。

《お問合せ先》

板橋区役所 区民文化部 文化・国際交流課

電話:03-3579-2018

※受付時間:月曜日～金曜日 9時～17時

(裏面もご覧ください)

みなさまからお寄せいただくことの多いご質問へのご回答

Q1.どこで住所を調べ、なぜ自分が選ばれたのか？

A1.住民基本台帳から住所を調べ、アンケート結果に偏りのないようにするため、板橋区にお住まいの日本人の中から2千人を無作為(くじ引き形式の一種)で選ばせていただきました。

Q2.調査報告書などで個人の氏名、住所などの情報は出るのか？

A2.今回の調査は無記名でお答えいただき、アンケート結果もすべて数値として集計しますので、調査対象者のみなさまのお名前などの個人情報調査報告書に出ることは一切ございません。

Q3.調査結果を集計するのは誰か？

A3.今回の調査にあたっては、主に社会調査などを手がけ、プライバシーマーク認定企業でもある株式会社サーベイリサーチセンターに委託しております。

【株式会社サーベイリサーチセンター】

東京都荒川区西日暮里二丁目40番10号

URL:<http://www.surece.co.jp/>

※ 板橋区文化・国際交流課が株式会社サーベイリサーチセンターに委託して行っている調査です。

Q4.個人情報をどのように管理しているのか？

A4.調査対象者のみなさまの住所、氏名などが印字された用紙等は、発送までは株式会社サーベイリサーチセンターが施錠された保管場所で厳重に管理します。宛先不明で戻った調査票については、粉碎処分いたします。

Q5.調査協力への謝礼はないのか？

A5.今回の調査は、多文化共生まちづくりに向けた今後の行政サービスに役立てるために実施いたしますので、謝礼はございません。大変申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

Q6.調査結果について知りたいがどうすればよいか？

A6.板橋区役所のホームページで公開する予定でおります。

Q7.調査についての質問や疑問がある場合、どこに連絡すればいいか？

A7.平日(月曜～金曜)、午前9時から午後5時までの間に、板橋区役所区民文化部文化・国際交流課(電話:03-3579-2018)までお問合せください。

平成 26 年度 板橋区多文化共生実態調査(日本人用)

【注意】

- お答えはご本人(お送りした封筒の宛名の方)が自身のお考えをご記入ください。
- 本アンケートは全部で 9ページあります。ご記入漏れのないようご注意ください。

問 1 はじめに、あなたの性別と生まれた年を記入してください。

1 男性	1 明治	3 昭和		年
2 女性	2 大正	4 平成		

ことばについて

問 2 あなたは、**日常会話のできる外国語**はありますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------|---------------------|
| 1 韓国・朝鮮語 | 6 ポルトガル語 |
| 2 中国語 | 7 ミャンマー語 |
| 3 英語 | 8 その他() |
| 4 タガログ語 | 9 外国語は学んだが日常会話はできない |
| 5 タイ語 | 10 外国語を学んだことはない |

問 3 あなたは、外国人向けに、板橋区が主催している日本語教室や、ボランティアによる日本語教室があることを知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------|------------|
| 1 よく知っている | 3 聞いたことはある |
| 2 すこし知っている | 4 知らない |

問 4 あなたは、外国人向けのボランティアの日本語教師をやってみたいと思いますか。

(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 おおいにやってみたいと思う | 3 あまりやってみたいと思わない |
| 2 機会があればやってみたいと思う | 4 やってみたいと思わない |

地域での生活や活動について

問 5 あなたは、現在、住んでいる地域で、国籍を問わず、つきあいのある人はいますか。

(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 個人的なことについて相談できる人がいる | 3 あいさつする程度の人がいる |
| 2 世間話をする人がいる | 4 つきあいのある人はいない(問 7 へ) |

問 6 【問 5 で「1」、「2」、「3」に回答した方(住んでいる地域で、つきあいのある人)にお聞きします。】現在、つきあいのある人の中に、外国人はいますか。(ひとつだけ○)

1 個人的なことについて相談できる人がいる	3 あいさつする程度の人がいる
2 世間話をする人がいる	4 つきあいのある外国人はいない

問 7 あなたは、今後、住んでいる地域で、外国人とどのくらいつきあいをしたいと思いますか。(ひとつだけ○)

1 個人的なことを相談するくらい	3 あいさつするくらい
2 世間話をするくらい	4 つきあいたくない

問 8 あなたは、現在、住んでいる地域には、外国人の住民が多いと感じますか。(ひとつだけ○)

1 多いと感じる	3それほど多いと感じない
2 ある程度多いと感じる	4 多いと感じない

問 9 あなたは、今までに地域の外国人との間で、どのようなトラブルを経験しましたか。(いくつでも○)

1 ゴミの出し方	5 駐車、駐輪のし方	8 その他
2 部屋からの声、物音	6 建物の建て増し、建て直し	()
3 ペット	7 店の営業にかんすること	9 トラブルはなかった
4 部屋の使い方		10 わからない

問 10 あなたは、以下の地域の活動に参加していますか。(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

	よく 参加している	ときどき 参加している	あまり 参加していない	参加して いない
A 町会、自治会などの行事 (祭り、防災訓練など)	1	2	3	4
B PTA、子ども会、子育て、保育の活動	1	2	3	4
C お年寄り、障がい者を支援する活動	1	2	3	4
D 趣味、文化、学習、スポーツなどの活動	1	2	3	4
E 国際交流、国際協力など地域の外国人 を支援する活動	1	2	3	4

問 11 あなたは、今後、地域の活動に参加したいと思いますか。(ひとつだけ○)

1 積極的に参加したい	3 あまり参加したくない
2 機会があれば参加したい	4 参加したくない

問 12 あなたは、外国人の住民が、地域の活動に参加することについて、どう思いますか。

(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 積極的に参加した方がよい | 3 どちらかといえば参加しない方がよい |
| 2 どちらかといえば参加した方がよい | 4 参加しない方がよい |

問 13 あなたは、近所に外国人が住むことについて、どう思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 好ましい | 3. どちらかといえば好ましくない |
| 2. どちらかといえば好ましい | 4. 好ましくない |

問 14 あなたは、外国人の住民に地域の生活ルールを理解してもらうには、以下のことは大切だと思いますか。(A～Fについて、それぞれひとつだけ○)

	とても大切	どちらかといえば 大切	どちらかといえば 大切ではない	大切ではない
A 板橋区が生活ルールにかんする講習をおこなう	1	2	3	4
B 板橋区が多言語による生活ルールの小冊子を配布する	1	2	3	4
C 職場、学校などで生活ルールを伝える	1	2	3	4
D 身近な日本人の住民が、生活ルールを伝える	1	2	3	4
E 町会、自治会が生活ルールを伝える	1	2	3	4
F 外国人の住民が自分で生活ルールを理解するようにつとめる	1	2	3	4

問 15 あなたは、住んでいる地域で外国人の住民が増加することについて、どう思いますか。

(A～Iについて、それぞれひとつだけ○)

	そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない
A 外国の食べ物を食べる機会が増える	1	2	3	4
B 外国人、外国語に慣れる	1	2	3	4
C 外国人の知人、友人ができる	1	2	3	4
D 外国のことに興味をもつようになる	1	2	3	4
E まちに活気がでる	1	2	3	4
F 地域に新たな文化をもたらす	1	2	3	4
G 日本語の通じない人が増える	1	2	3	4
H 外国人が増えること自体、なんとなく不安に思う	1	2	3	4
I 犯罪が増加する	1	2	3	4

災害など緊急時の対応について

問 16 あなたが、地震などの災害が発生したときに不安なことは何ですか。(いくつかでも○)

1 家族の安否	7 帰宅困難になる
2 水道・電気・ガスが止まること	8 避難場所の確保
3 通信手段が遮断し、連絡がとれない	9 交通機関のマヒ
4 食料品の確保	10 生活用品の確保
5 火災の発生	11 治安の悪化
6 家屋の倒壊損傷	12 災害情報の入手
	13 その他()

問 17 あなたは、地震などの災害が発生した場合の避難場所、避難道路を知っていますか。
(ひとつだけ○)

1 よく知っている	3 聞いたことはある
2 すこし知っている	4 知らない

問 18 あなたは、以下の地震などの災害に関する活動に、外国人の住民が参加することを望みますか。(A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

	おおいに望む	どちらかといえば望む	どちらかといえば望まない	望まない
A 町会、自治会の活動 (防災訓練など)	1	2	3	4
B 災害時、避難場所で、通訳者としての活動	1	2	3	4
C 外国人どうしの協力体制づくりへの活動	1	2	3	4

問 19 災害が起こった時には、外国人を含めて地域住民で協力し合って対応することが求められます。あなたは、以下の災害対策を、板橋区に望みますか。

(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

	おおいに望む	どちらかといえば望む	どちらかといえば望まない	望まない
A 多言語による災害時行動マニュアル、防災マップの配布	1	2	3	4
B 多言語による防災訓練の開催	1	2	3	4
C 外国人をふくむ地域の住民どうしの協力体制づくり	1	2	3	4
D 災害時に多言語で情報を伝える体制づくり	1	2	3	4
E 多言語によるFM ラジオ放送	1	2	3	4

地域の外国人との共生について

板橋区では、国籍、民族などの異なる人々がたがいの文化的ちがいを認め、理解しあい、地域でともに生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進しています。

問 24 あなたは、板橋区の以下の多文化共生事業について、知っていますか。(いくつでも○)

1 区政情報、生活情報などに関する情報誌「アイシェフ・ボード」	4 弁護士などの専門家による「外国人相談会」
2 日本語が話せない板橋区内外国人のための「語学ボランティア制度」	5 国・都市との交流事業
3 「外国人による日本語スピーチ大会」	6 その他()
	7 特になし

問 25 板橋区では、以下の国や都市と交流をしています。板橋区の交流事業について、期待するものは何ですか。(いくつでも○)

【交流国・都市】

カナダ バーリントン市、イタリア ポローニャ市
マレーシア ペナン州立植物園、モンゴル国、中国北京市石景山区

1 国際平和	5 区民交流
2 スポーツ交流	6 その他()
3 産業・経済交流	7 特になし
4 青少年交流	

問 26 2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴い、あなたが板橋区に期待することは何ですか。(いくつでも○)

1 多文化共生についての理解促進	6 案内表示などの多言語化
2 外国人へのおもてなし意識の向上	7 姉妹都市との交流促進
3 日本人との交流の場の増加	8 その他()
4 外国人観光客の増加	9 特になし
5 語学ボランティアの育成	

問 27 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。(ひとつだけ○)

1 よく知っている	3 聞いたことはある
2 すこし知っている	4 知らない

問 28 「多文化共生のまちづくりを進めていくにあたって、あなたは、以下のことをどの程度したいと思いますか。(A～Cについて、それぞれひとつだけ○)

	おおいに したい	機会があれば したい	あまり したくない	したくない
A 外国の文化、生活習慣を理解する ようにつとめる	1	2	3	4
B 日本語、文化を外国人の住民に 紹介する	1	2	3	4
C 地域の外国人の住民との交流会 など、国際交流の行事に参加する	1	2	3	4

問 29 「多文化共生のまちづくりを進めていくにあたって、あなたは、外国人の住民に対して、以下のことを望みますか。(A～Eについて、それぞれひとつだけ○)

	おおいに 望む	どちらかといえば 望む	どちらかといえば 望まない	望まない
A 日本の文化、生活習慣を理解する ようにつとめる	1	2	3	4
B 日頃から、日本人の住民と言葉を かわす	1	2	3	4
C 母国の言葉、文化を日本人住民に 紹介する	1	2	3	4
D 日本語を習得するようにつとめる	1	2	3	4
E 地域の日本人の住民との交流会な ど、国際交流の行事に参加する	1	2	3	4

問 30 あなたは、一般的に見て、日本人から外国人に対して偏見、差別があると思いますか。
(ひとつだけ○)

1 よくあると思う	3 あまりないと思う (問 32 へ)
2 ときどきあると思う	4 ないと思う (問 32 へ)

問 31 【問 30 で「1」、「2」に回答した方(一般的に見て、日本人から外国人に対して、偏見、差別があると思う人)にお聞きします。】あなたは、外国人に対する偏見、差別はどのような場合にあると思いますか。(いくつでも○)

1 役所などでの手続き	8 学校など教育の場
2 法制度上の外国人のあつかい	9 住まいさがし
3 電車、バスなどを利用しているとき	10 仕事さがし
4 買い物、外食をするとき	11 職場での仕事
5 日本人の知人、友人とのつきあい	12 職場での人間関係
6 近所の日本人とのつきあい	13 給与
7 日本人との結婚	14 その他 ()

あなたご自身について

問 32 あなたは、現在、結婚していますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 未婚 | 3 既婚(配偶者は外国人) |
| 2 既婚(配偶者は日本人) | 4 離別、死別 |

問 33 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1 専業主婦・主夫(パート、内職、家族従業員をしていない方) | 6 派遣社員、契約社員、請負・委託業務 |
| 2 無職(専業主婦・主夫、学生以外の方) | 7 正規雇用されている一般社員、一般職員(公務員、教員をふくむ) |
| 3 学生(アルバイトをしてない方) | 8 自営業主または家族従業者 |
| 4 学生(アルバイトをしている方) | 9 経営者、会社・団体役員 |
| 5 臨時雇用、パート、アルバイト | 10 その他 () |

問 34 あなたが現在、同居している人は何人いますか。あなたを含めてお答えください。
ひとりで住んでいらっしゃる方は1と記入してください。

あなたを含めて

人

(「1」と記入した方は、問 36 へ)

問 35 【問 34 で 2 人以上と回答した方(1人で住んでいない人)にお聞きます。】あなたが現在、いっしょに住んでいる人はどなたですか。(いくつでも○)

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 1 配偶者 | 4 配偶者の親 | 7 その他 |
| 2 子ども | 5 その他の親類 | () |
| 3 自分の親 | 6 知人、友人 | |

問 36 あなたは、板橋区に何年、住んでいますか。板橋区に住んで1年未満の方は0と記入してください。

年

問 37 あなたにとって、板橋区は住みやすいところだと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 住みやすい | 3 やや住みにくい |
| 2 まあまあ住みやすい | 4 住みにくい |

問 38 あなたは、今後、どれくらい板橋区に住みつづけたいですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 一生住みつづけたい | 3 いずれ板橋区から転出したい |
| 2 当分の間、住みつづけたい | 4 すぐに板橋区から転出したい |

問 39 あなたが現在、住んでいる板橋区の地域は以下の中のどれにあたりますか。

(ひとつだけ○)

1 <u>板橋</u>	(稲荷台、本町、大和町、富士見町、双葉町、中板橋、栄町、仲町、幸町、中丸町、氷川町、仲宿、加賀 1～2 丁目、板橋 1～4 丁目、大山東町、大山西町、大山町、南町、熊野町、大山金井町、弥生町)
2 <u>常盤台</u>	(大谷口 1～2 丁目、向原 1～3 丁目、小茂根 1～5 丁目、大谷口上町、大谷口北町、東山町、南常盤台 1～2 丁目、常盤台 1～4 丁目、東新町 1～2 丁目、桜川 1～3 丁目、上板橋 1～3 丁目)
3 <u>志村</u>	(東坂下 1 丁目、小豆沢 1～4 丁目、志村 1～3 丁目、蓮沼町、大原町、泉町、清水町、宮本町、前野町 1～6 丁目、中台 1～3 丁目、相生町、若木 1～3 丁目、西台 1～4 丁目)
4 <u>赤塚</u>	(徳丸 1～8 丁目、赤塚 1～8 丁目、赤塚新町 1～3 丁目、四葉 1～2 丁目、大門、成増 1～5 丁目、三園 1 丁目)
5 <u>高島平</u>	(高島平 1～9 丁目、三園 2 丁目、新河岸 1～3 丁目、舟渡 1～4 丁目、蓮根 1～3 丁目、坂下 1～3 丁目、東坂下 2 丁目)

問 40 あなたの現在のお住まいは、以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

1 持ち家(一戸建て)	6 社員寮、社宅、公務員住宅 (集合住宅)
2 持ち家(マンションなど集合住宅)	7 公社、公団などの賃貸公営住宅 (一戸建て)
3 民間賃貸住宅(一戸建て)	8 公社、公団などの賃貸公営住宅 (団地などの集合住宅)
4 民間賃貸住宅 (アパート、マンションなどの集合住宅)	9 その他 ()
5 社員寮、社宅、公務員住宅 (一戸建て)	

問 41 このアンケートの質問項目、とくに、外国人の住民との共生のあり方について、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

— ご協力、どうもありがとうございました。 —

ご記入いただきました調査票は、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに

1月13日(火曜日)まで に郵便ポストに入れてください。

多文化共生のまちをめざして



多文化共生とは・・・

国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解しあい、地域で共に生きていくことを「多文化共生」と言います。板橋区では、多文化共生のまちづくりを進めています。

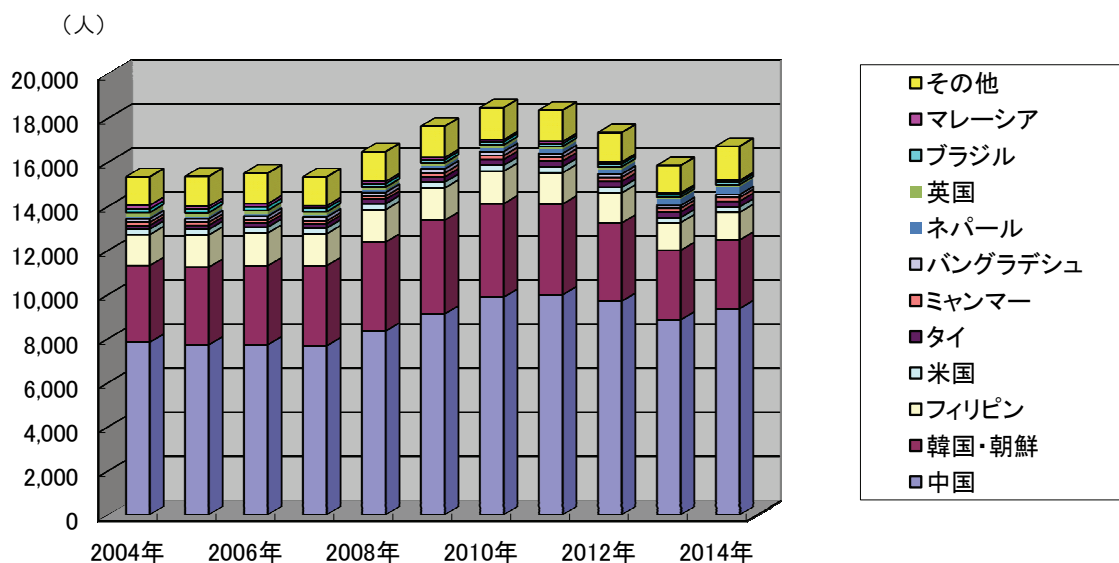
～板橋区の現状～

●人口と外国人住民数（2014.1.1）

	日本人	外国人	計
計	523,326人	16,714人	540,040人

総人口に占める割合は、**約3.1%**です

●国籍別の外国人住民数（各年1月1日現在）



～板橋の主な取り組み～

日本語学習の支援

●日本語教室の運営

板橋区では、生活するうえで必要となる基本的な日本語を学ぶことができる、初級の日本語教室を3コース開講しています。前期は、4月から9月まで、後期は10月から翌年の3月までです。また、この日本語教室で日本語を教えるための教師養成講座も実施しています。

コース	月・木コース	火・金コース	水・土コース
日時	週2回 月曜・木曜 午前10時～12時	週2回 火曜・金曜 午後6時30分～8時30分	週2回 水曜・土曜 午前10時～12時

●日本語学級の設置

日本語能力が十分でないため、学校生活や授業に慣れない児童・生徒を対象に、区内小中学校に5箇所「日本語学級」を設置しています。

児童・生徒は、在籍校から決められた日時に日本語学級に通級し、日本語の入門から段階的に指導を受けたり、学校での行動様式や行事について説明を受けています。



小学校	新河岸小、板橋第六小、板橋第八小
中学校	板橋第二中、志村第二中

●日本語適応指導員（中国語）

中国籍児童・生徒が、早く学校生活に適應できるように、区内小中学校に日本語適応指導員（中国語）を派遣し、日本語の初期教育やコミュニケーションの援助等を行います

外国語の支援

●語学ボランティア登録制度

区内に住む日本語を話せない外国人のために、通訳・翻訳を行う語学ボランティア登録制度を設けています。区役所や学校からの依頼によって、パンフレット等を外国語に翻訳したり、学校内での保護者会で通訳をしたりします。

異文化理解・国際交流

外国人を含めた様々な人々が主体となり、お互いの文化や歴史の理解を深める事業を行っています。



区内の小中学校で、地域の外国人住民が自分の国の文化を紹介しています。



日本語教室等で学ぶ外国人の学習の成果を発表するスピーチ大会を開催しています。



多文化共生や国際交流をテーマにした様々な講座やイベントを開催しています。

防災意識の向上を目指して

●留学生対象の防災訓練

大学と連携し、外国人留学生を対象にした防災訓練を実施しています。この防災訓練では、地震体験車、煙体験ハウス、AEDを使った訓練ができるほか、消火器による初期消火体験をするなど本格的な訓練を行っています。防災語学ボランティアや消防署の方なども参加し、地域ぐるみで防災意識を高めています。



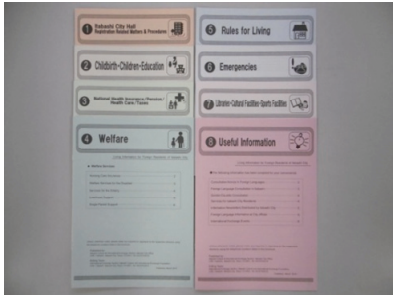
●防災語学ボランティア

災害時に日本語のわからない外国人住民への情報提供を行うため、防災語学ボランティアを養成しています。災害や救急救命法の知識、対応の方法を学ぶ講座を開催し、災害が起きたときに対応できるようにしています。

講座で学んだ知識をもとに、「外国人のための防災ガイドブック」を7言語（やさしい日本語、英語、中国語、ハングル、スペイン語、タガログ語、ベトナム語）で作成しました。

情報提供

外国人のための生活情報を、日本語ルビ付き、英語、中国語、ハングルの4言語で発信しています。下記のほかにも様々なパンフレットや案内を多言語で作成しています。



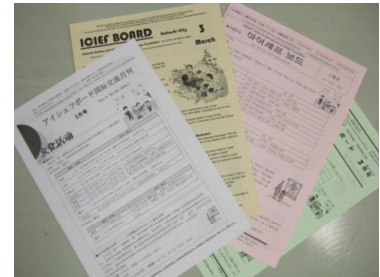
【外国人のための生活情報】

外国人にとって有益な最新の情報をまとめた8種類の情報紙です。



【観光パンフレット等】

ごみの出し方や、板橋区の観光スポットなどを紹介したパンフレットを作成しています。



【広報紙】

地域の国際交流イベントや行政情報などを掲載しています。

外国人相談

●無料専門家相談会

年に1回、弁護士や行政書士などの専門家に対し、通訳を介して無料で相談できます。また、この無料専門家相談会は板橋区だけでなく、都内各地でリレー方式により月に1回程度行っています。板橋区では、毎年開催しています。

板橋区では、このパンフレットで説明している事業のほかにも、様々な取り組みを行っています。お気軽にお問合せください。

【多文化共生や国際交流に関する問合せ先】

板橋区 区民文化部 文化・国際交流課 電話：03-3579-2018



板橋区多文化共生実態調査 報告書

2015年 3月 発行

**発行 板橋区区民文化部文化・国際交流課
〒173-8501 東京都板橋区板橋 2-66-1
TEL:03-3579-2018**

● この冊子は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。